

小竹貝塚発掘調査報告

第一分冊

富山県文化振興財團
埋蔵文化財発掘調査報告第六十集

二〇一四年

公益財團法人富山県文化振興財團
埋蔵文化財調査事務所

小竹貝塚発掘調査報告

— 北陸新幹線建設に伴う埋蔵文化財発掘報告X—
第一分冊
本文編



2014年

小竹貝塚発掘調査報告

— 北陸新幹線建設に伴う埋蔵文化財発掘報告 X —

第一分冊

本文編

2014年

公益財團法人富山県文化振興財團
埋蔵文化財調査事務所

序

北陸新幹線は、東京から北陸地方を通って大阪まで結ぶ整備新幹線です。当事務所では平成13年から路線内にある遺跡の発掘調査を行い、その成果を9冊の報告書にまとめ刊行してまいりました。本書は10冊目でその最後となります。

小竹貝塚は富山県の中央部に位置し、かつて潟湖であった射水平野の南東端に立地しています。貝塚の存在は戦後間もない頃から知られ、“日本海側最大級の貝塚”といわれてきました。その南側を北陸新幹線が通ることになり発掘調査を行いましたところ、縄文時代前期では国内最多となる埋葬人骨や、ヤマトシジミの厚い貝層が発見されるなど、多くの成果を得ることができました。

本書は発掘調査で出土した遺物や人骨の研究成果を考古学、人類学、自然科学の3分冊にまとめたものです。なかでも人骨は、遺存状態が良好で縄文時代前期では数少ない資料であることから、国立科学博物館人類研究部に分析をしていただきました。その結果、人骨の形態的特徴、病歴、食性、DNAの配列などが明らかになり、たいへん貴重な成果となりました。

こうした本書の成果が、数少ない日本海側の貝塚、さらには縄文時代前期の生活と環境を今後考えていく上で今後役立てば幸いです。

本書をまとめるにあたり、ご指導とご協力をいただきました多くの関係機関および関係諸氏に厚く感謝申し上げます。

平成26年3月

公益財團法人富山県文化振興財團
埋蔵文化財調査事務所
所長 岸本雅敏

例　　言

- 1 本書は富山県富山市呉羽町北、呉羽昭和町地内に所在する小竹貝塚の発掘調査報告書である。
- 2 調査は独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構からの委託を受けて、公益財團法人富山県文化振興財團が行った。
- 3 本遺跡の発掘調査期間と本書刊行までの整理期間は下記のとおりである。
- 調査期間　　平成 21（2009）年4月20日～7月14日
　　整理期間　　平成 22（2010）年1月12日～9月28日
- 4 本書の本文編集・執筆は下記のとおりである。分担は文末に記した。
- 第一分冊　執筆：町田賢一
　　第二分冊　執筆・分析：町田賢一、金原正子、松永篤知、小畠弘己、中沢道彦、百原新、納屋内高史、中村賢太郎、鈴木康二、中村由克、宮島宏、早瀬亮介、小原圭一、藤根久、米田恭子、矢作健二、石岡武智、望月明彦、株式会社アルカ、高橋敦、金原美奈子、金井慎司、山崎健、丸山真史、菊池大樹、江田真毅、松崎哲也、三輪みなみ、田村朋美、赤田昌倫、星野安治、大河内隆之、鈴木三男、小林和貴
- 第三分冊　執筆：鳥田美佐子、溝口優司、篠田謙一、米田穂、坂上和弘、河野礼子、茂原信生
　　編集は町田賢一が担当した。
- 5 発掘調査から本書作成に至るまで、下記の方々から多大なご教示・ご協力を得た。記して謝意を表したい。（敬称略、五十音順）
- 阿部朝衛、阿部芳郎、網谷克彦、泉拓良、伊藤正人、井上智博、岡村道雄、奥村香子、長田友也、金澤英作、金子直行、栗島義明、黒住耐二、小島秀彰、小杉康、佐々木由香、佐藤信之、佐藤雅一、瀧谷昌彦、菅谷通保、鈴木徳雄、須原拓、関根惣二、瀬口眞司、高田秀樹、高山茂樹、田中和之、谷藤保彦、塙原秀之、寺崎祐助、中村大、納屋内高史、西野雅人、布村昇、早坂廣人、原田昌幸、平口哲夫、藤田富士夫、細田勝、麻柄一志、町田勝則、松井章、松田光太郎、宮本望、邑本順亮、山口卓也、山田昌久、山田康弘、山本直人、国立科学博物館人類研究部、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、独立行政法人奈良文化財研究所埋蔵文化財センター環境考古学研究室、富山県教育委員会、富山県埋蔵文化財センター、富山市教育委員会埋蔵文化財センター

凡　例

1 本書は3分冊と付属CD-ROM1枚からなる。第一分冊は本文・挿図・一覧表・総括、第二分冊は自然科学分析、第三分冊は国立科学博物館人類研究部による人骨分析を掲載する。付属CD-ROMには本書に記載できなかった表・写真・自然科学分析関連のデータが記載してある。

2 本文・挿図で扱った遺構・遺物は、一覧に掲載している。

3 本書で示す方位は全て真北である。

4 挿図の縮尺は下記を基本とし、各図の下に縮尺率を示す。

遺構　貝層断面：1/80、竪穴建物・土坑・地点貝塚・炭化物集中地点・板敷遺構・杭：1/40。

埋葬人骨・土器棺・埋葬犬・集石：1/20

遺物　土器・陶磁器・土製品：1/3・1/4、植物製造物：1/1～1/8、骨角貝歯牙製品：2/3・1/2・1/4、

石製品：2/3～1/6、金属製品：1/1

5 遺構の略号は以下のとおりである。

S I：竪穴建物 S K：土坑 S X：炭化物集中地点

6 遺構番号は、調査時に地区ごとに付した番号に一定の数値を加算して遺構番号とした。番号は、遺構の種類にかかわらず連番とするが、建物と構列には新たに番号を付した。各地区の遺構番号に加算した数値は次のとおりである。

A 地区：加算せず、C 地区：+1000

7 遺物番号は種類に関わらず連番とし、本文・挿図・一覧表・写真団版の遺物番号は全て一致する。

8 遺跡の略号は市町村番号に遺跡名を統け、「01OD-地区名」とし、遺物の注記には略号を用いた。

9 本書に記載される図面・記述の凡例については、以下のとおりに示す。これ以外については、図中に凡例で示した。

赤彩土器○　漆塗土器△　漆付着土器□



赤漆



黒漆



茶漆



炭化物



赤彩

10 土層及び遺構埋土の色については、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財團法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』を参照した。

11 遺構一覧・遺物一覧の凡例は以下のとおりである。

①遺構の埋土に切り合い関係がある場合は、備考欄に新>古のように記号で示す。

②規模・法量の（ ）内は現存長を表す。

③重量はg単位で示す。計測は大きさにより台秤と電子秤を使い分けた。

目 次

第Ⅰ章 調査の経過	1
1 調査に至る経緯	1
2 作業の経過と方法	2
3 普及活動	14
第Ⅱ章 位置と環境	17
1 地理的環境	17
2 歴史的環境	20
第Ⅲ章 調査の成果	23
1 遺物の分類	23
2 A 地区の基本層序	26
3 A 地区の遺構・遺物	31
4 B・C 地区の基本層序	170
5 B・C 地区の遺構・遺物	190
第Ⅳ章 総 括	526
1 遺構・遺物と時期変遷	526
2 埋葬人骨	531
3 遺物	533
4 他遺跡との比較	535

写真図版

報告書抄録

挿図目次

- 第1図 小竹貝塚の位置
第2図 北陸新幹線関係調査遺跡位置図
第3図 小竹貝塚調査位置図
第4図 小竹貝塚既往の調査土層断面図・柱状図
第5図 調査区割図
第6図 B・C地区土壤採取用グリッド設定図
第7図 射水平野の変遷図
第8図 小竹貝塚と周辺の縄文遺跡
第9図 小竹貝塚周辺の北陸新幹線路線内地質図
第10図 射水平野周辺の縄文遺跡分布図
第11図 縄文土器分類図
第12図 土製品分類図
第13~15図 A地区基本層序図
第16図 A地区基本層序出土縄文土器実測図
第17図 A地区下層遺物重量分布図
第18図 A地区下層遺構全体図
第19図 A地区下層土坑群平面図
第20・21図 A地区下層土坑平面・断面図
第22図 A地区下層建物想定図
第23図 A地区中層遺物重量分布図
第24図 A地区中層遺構全体図
第25図 A地区中層建物群配置図
第26・27図 A地区S I 1平面・断面図
第28図 A地区S I 3平面・断面図
第29図 A地区S I 4平面・断面図
第30図 A地区S I 5・6平面・断面図
第31図 A地区S I 7・8平面・断面図
第32図 A地区S I 9・10平面・断面図
第33図 A地区中層土坑群平面図
第34図 A地区中層土坑断面図
第35図 A地区低地部遺構群平面図
第36図 A地区S X300・地点貝塚平面・断面図
第37図 A地区上層遺物重量分布図
第38図 A地区上層遺構全体図
第39図 A地区S I 2平面・断面図
第40図 A地区第1号土器集中地点出土状況図
第41図 A地区下層土坑出土縄文土器実測図
第42~48図 A地区Ⅲc層出土縄文土器実測図
第49図 A地区Ⅲc層出土土製品実測図
第50~52図 A地区S I 1出土縄文土器実測図
第53図 A地区S I 3・4出土縄文土器実測図
第54図 A地区S I 6・7出土縄文土器実測図
第55図 A地区S I 9・10出土縄文土器実測図
第56・57図 A地区中層土坑出土縄文土器実測図
第58~61図 A地区地点貝塚出土縄文土器実測図
第62図 A地区S X300出土縄文土器実測図
第63~69図 A地区低地部出土縄文土器実測図
第70~74図 A地区Ⅲb層出土縄文土器実測図
第75図 A地区S I 2出土縄文土器実測図
第76図 A地区第1号土器集中地点出土縄文土器
実測図
第77~84図 A地区Ⅱ~Ⅲa層出土縄文土器実測図
第85図 A地区Ⅱ~Ⅲa層出土土製品実測図
第86・87図 A地区出土赤彩縄文土器実測図
第88~105図 A地区出土石製品実測図
第106図 A地区出土骨角製品実測図
第107図 A地区出土弥生以降土器・陶磁器・金属
製品実測図
第108~115図 B・C地区基本層序図

- 第 116 ~ 119 図 C 地区貝層サンプル図
- 第 120・121 図 B・C 地区基本層序出土縄文土器
実測図
- 第 122 図 B・C 地区貝層下遺物重量分布図
- 第 123 図 B・C 地区貝層下平面図
- 第 124 図 B 地区貝層下板敷遺構平面図
- 第 125 図 C 地区貝層下遺構配置図
- 第 126 図 C 地区貝層下遺構平面・断面図
- 第 127 図 B・C 地区貝層遺物重量分布図
- 第 128 図 B・C 地区貝層上面全体図
- 第 129・130 図 B・C 地区埋葬人骨全体図
- 第 131 ~ 147 図 B・C 地区埋葬人骨出土状況図
- 第 148 図 C 地区貝層上面遺構全体図
- 第 149 図 C 地区貝層内土坑・集石平面・断面図
- 第 150 図 B・C 地区貝層下遺物重量分布図
- 第 151 ~ 177 図 B・C 地区Ⅲ b 層出土縄文土器
実測図
- 第 178 図 B・C 地区Ⅲ b 層出土土製品実測図
- 第 179 図 B・C 地区Ⅲ b 層出土漆塗着縄文土器
実測図
- 第 180 図 B・C 地区Ⅲ b 層出土赤彩縄文土器実
測図
- 第 181 ~ 185 図 B・C 地区埋葬人骨周辺・土坑
出土縄文土器実測図
- 第 186 図 C 地区第 2 号土器集中地点出土縄文土
器実測図
- 第 187 ~ 219 図 B・C 地区貝層出土縄文土器実
測図
- 第 220・221 図 B・C 地区貝層出土土製品実測図
- 第 222 図 B・C 地区貝層出土漆塗着縄文土器実測図
- 第 223 図 B・C 地区貝層出土赤彩縄文土器実測図
- 第 224 ~ 241 図 B・C 地区Ⅱ b ~ Ⅲ a 層出土縄文
土器実測図
- 第 242 図 B・C 地区Ⅱ b ~ Ⅲ a 層出土土製品実測図
- 第 243 図 B・C 地区貝 ~ Ⅲ a 層出土漆赤彩縄文
土器実測図
- 第 244 ~ 261 図 B・C 地区出土植物遺物実測図
- 第 262 ~ 346 図 B・C 地区出土石製品実測図
- 第 347 ~ 377 図 B・C 地区出土骨角貝製品実測図
- 第 378 図 B 地区弥生時代以降平面・断面図・木製品
実測図
- 第 379 図 B・C 地区弥生時代以降土器・陶器
実測図
- 第 380 図 B・C 地区弥生時代以降木製品実測図
- 第 381 図 埋葬人骨期以前の様相
- 第 382 図 埋葬人骨期の様相
- 第 383 図 埋葬人骨期以降の様相
- 第 384 図 主な人骨の埋葬形態と供伴・副葬品
- 第 385 図 遺物の製作過程推定図
- 第 386 図 小竹貝塚撒入遺物推定図

表 目 次

第1表	北陸新幹線関連埋蔵文化財包蔵地一覧	第17表	A地区出土金属製品一覧
第2表	小竹貝塚既往の調査一覧	第18表	B・C地区基本層序一覧
第3表	北陸新幹線関連埋蔵文化財包蔵地文献 一覧	第19表	C地区貝サンブル一覧
第4表	小竹貝塚調査文献一覧	第20表	B・C地区埋葬人骨一覧
第5表	小竹貝塚本調査一覧	第21表	B・C地区埋葬犬一覧
第6表	小竹貝塚調査・整理体制一覧	第22表	C地区土坑一覧
第7表	射水平野周辺の縄文時代遺跡一覧	第23表	B・C地区出土縄文土器一覧
第8表	A地区堅穴建物一覧	第24表	B・C地区出土土製品一覧
第9表	A地区土坑一覧	第25表	B・C地区出土漆製品一覧
第10表	A地区地点貝塚一覧	第26表	B・C地区出土植物製造物一覧
第11表	A地区出土縄文土器一覧	第27表	B・C地区出土石製品一覧
第12表	A地区出土土製品一覧	第28表	B・C地区出土骨角貝製品一覧
第13表	A地区出土漆製品一覧	第29表	B・C地区出土弥生時代以降土器・ 陶磁器一覧
第14表	A地区出土石製品一覧	第30表	B・C地区出土弥生時代以降木製品 一覧
第15表	A地区出土骨角製品一覧		
第16表	A地区出土弥生時代以降土器・陶磁器 一覧		

写真図版目次

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 図版1 B・C地区貝層（カラー） | 図版35 A地区出土骨角歯牙製品 |
| 図版2・3 埋葬人骨出土状況（カラー） | 図版35～40 A地区出土石製品 |
| 図版4～10 繩文土器集合（カラー） | 図版41 B地区貝層下全景 |
| 図版11 土製品集合（カラー） | 図版42 C地区貝層下全景 |
| 図版12～13 石製品集合（カラー） | 図版43 B・C地区貝層下遺構 |
| 図版14 骨角歯牙製品集合（カラー） | 図版44 B・C地区貝層下遺物出土状況 |
| 図版15・16 航空写真 | 図版45 B・C地区貝層上面全景 |
| 図版17 A地区下層遺構・遺物出土状況 | 図版46～64 B・C地区埋葬人骨出土状況 |
| 図版18～25 A地区地中層遺構 | 図版65 B・C地区貝層内遺構・遺物出土状況 |
| 図版26 A地区包含層遺物出土状況 | 図版66～70 B・C地区出土繩文土器（単体） |
| 図版27 A地区上層遺構・遺物出土状況 | 図版71～75 B・C地区Ⅲb層出土繩文土器（破片集合） |
| 図版28 A地区出土繩文土器（単体） | 図版75 B・C地区Ⅲb層出土土製品 |
| 図版29～34 A地区出土繩文土器（破片集合） | 図版76～82 B・C地区貝層出土繩文土器（破片集合） |
| | 図版82 B・C地区貝層出土土製品 |
| | 図版83～86 B・C地区Ⅱb～Ⅲa層出土繩文土器（破片集合） |
| | 図版86 B・C地区Ⅱb～Ⅲa層出土土製品 |
| | 図版87～103 B・C地区出土植物遺物 |
| | 図版104～124 B・C地区出土石製品 |
| | 図版125～132 B・C地区出土骨角歯牙貝製品 |

第Ⅰ章 調査の経過

1 調査に至る経緯

(1) 調査の契機

北陸新幹線は全国新幹線鉄道整備法に基づき昭和48（1973）年に整備計画が決定された整備新幹線で、長野や富山を通って東京と大阪間約700kmを結ぶ計画となっている。これまでに東京～長野間（約222km）を平成9（1997）年10月に開業、長野～金沢間（約228km）を平成27（2015）年3月開業予定とし、金沢～敦賀間（約125km）の工事も行っている。

北陸新幹線の富山県内におけるルートの概要是昭和60（1985）年に日本鉄道建設公団から富山県教育委員会（以下、県教委）に示され、路線予定地内の埋蔵文化財の取り扱いについて日本鉄道建設公団・北陸新幹線第二建設局・県教委・富山県埋蔵文化財センター（以下、県センター）の3者で協議が行われた。その結果、埋蔵文化財の分布状況を把握するため路線内の用地買収完了地域から分布調査が行われることとなった。

分布調査は県教委・県センター・当該市教育委員会によって昭和60（1985）年から平成18（2006）年まで断続的に行われ、63か所の埋蔵文化財包蔵地が確認された。

分布調査の結果を受けて、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下、鉄道・運輸機構）から埋蔵文化財包蔵地確認調査の要望が県教委に出され、協議の結果財团法人富山県文化振興財團（以下、財團）が受託することとなり、平成8（1996）年から平成20（2010）年まで朝日町～小矢部市の県内各所にある埋蔵文化財包蔵地61か所の確認調査を行った。なお、埴生条里遺跡は小矢部市教育委員会が実施した。

埋蔵文化財包蔵地確認調査の結果、本調査を必要とする38か所については鉄道・運輸機構と県教委の協議により財團が受託し、平成13（2001）年から平成20（2010）年まで37遺跡の本調査を行った。なお、吉城寺南遺跡は黒部市教育委員会が本調査を行った。

財團では、平成11（1999）年より遺物整理を行い、埋蔵文化財包蔵地確認調査については『北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査報告（1）～（10）』平成12（2000）～平成20（2010）年、本調査については『北陸新幹線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告I～X』平成19（2009）年～平成26（2014）年で調査の成果をまとめ報告書として刊行している。

(2) 既往の調査

小竹貝塚は、富山市呉羽昭和町から高木地区で井戸掘削時にヤマトシジミが出土することで古くからその存在が想定されていた。遺跡の名前が世に知られるようになったのは昭和33（1958）年に高瀬保氏が聞き取り調査と試掘調査から貝塚の概要と貝層範囲を示した論文（高瀬1958）からである。昭和39（1964）年には岡崎卯一氏が高瀬氏の成果を元に試掘を行い、貝層の様相把握を行っている（岡崎1966）。

貝塚の本格的な発掘調査は中央部をほぼ南北に走る新鍛治川掘



第1図 小竹貝塚の位置

1 調査に至る経緯

掘削工事に伴う調査が嚆矢となる。昭和 45（1970）年富山市教育委員会が掘削工事範囲の試掘調査を行い、貝層は見つからなかったが遺物包含層を確認した（富山考古学会 1971）。これを受け昭和 46（1971）年県教委が本調査実施し、縄文時代前期のヤマトシジミ・タニシからなる厚い貝層・埋葬人骨 1 体・遺物包含層を検出している（橋本 1972）。ただし、冬場の緊急調査で掘削土壤から遺物採集に追われていたようで詳細な出土層位や地点は不明である。県教委の調査後に新鋸治川の掘削工事がすぐに始まったがその際にも遺物が多く散乱していたようでそれらの遺物を吉久登・本江洋氏が採集し報告している（吉久・本江 1977）。

昭和 47（1972）年には富山市教育委員会（以下、市教委）が簡易ボーリングによる範囲確認調査を行った（藤田 1973）。その結果貝塚は、貝層の分布範囲だけで東西約 50m・南北 90m に及ぶとみられ、この時点で日本海側最大級の貝塚と呼ばれるようになった。以後、市教委は下水道や用水建設に伴う試掘調査を行っており、平成 12（2000）年 3 月には貝塚内に案内板を設置している。

平成 20（2008）年からは市教委が新鋸治川の護岸工事に伴う立会調査で埋葬人骨・貝層・竪穴住居などを確認（堀内他 2012）している。このほかにも市教委では 2か所で本調査を行い、南側の個人住宅建設に伴う調査（堀内他 2009）では縄文前期の竪穴建物 1 棟、南東側の用水建設に伴う調査（堀内他 2013）では縄文前期の土器捨て場と弥生時代の遺物を含む溝を検出している。

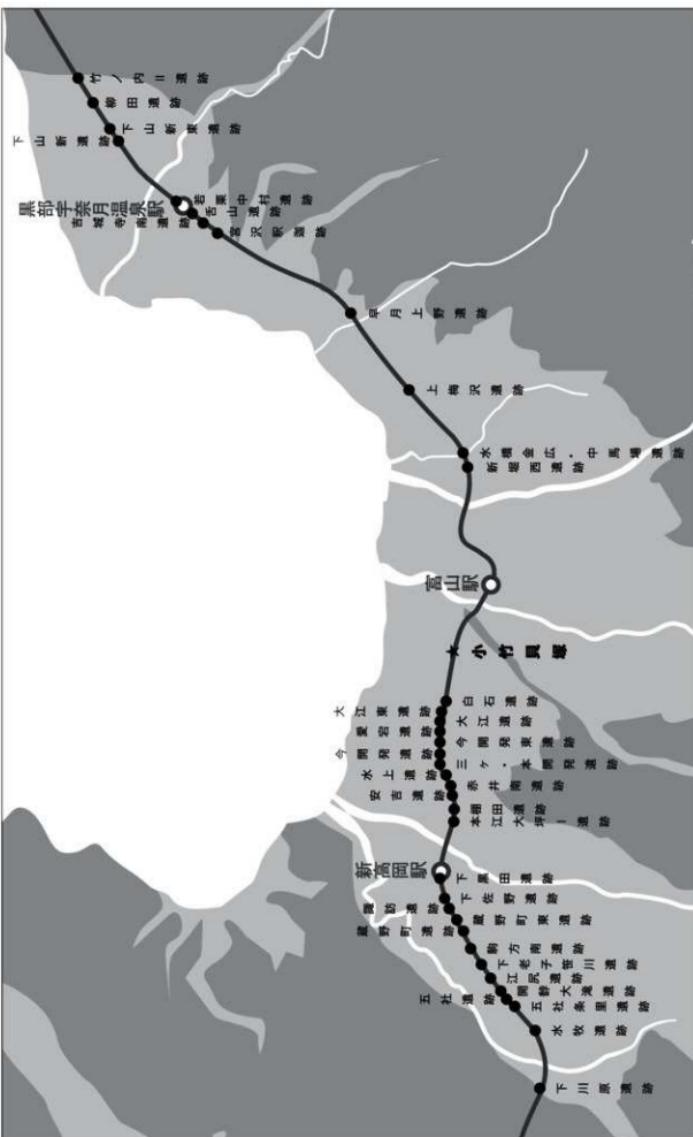
北陸新幹線建設に伴う調査は、財团が包蔵地確認調査を平成 19（2007）年から平成 21（2009）年に実施した。平成 19（2007）年の調査は貝塚東側の路線内 1,620 m² を対象とし、トレント 3 か所を掘削したが、遺構・遺物も検出せず遺跡の範囲外とした（細辻 2008）。平成 20（2008）年の調査は遺跡中央東側の新幹線建設に伴い切り回される用水部分 280 m² を対象とし、トレント 1 か所を掘削した。確認調査前に 1 m 近く掘削工事が行われていたが大量の縄文土器を含む遺物包含層を確認し（青山 2009）、平成 21（2009）年に A 地区として本調査を行った。平成 21（2009）年の調査は遺跡南側の路線部分 2,359 m² を対象とし、トレント 8 か所を掘削した。結果、トレント 6 か所で貝層・遺物包含層を確認し（町田 2009）、平成 22（2010）年に B・C 地区として本調査を行った。なお、東西端のトレントでは遺物は少量出土したが貝層・遺物包含層はなく本調査の対象外とした。

1 作業の経過と方法

（1）発掘調査の経過と方法

調査区については平成 21（2009）年の用水切り回しに伴う調査区を A 地区、平成 22（2010）年の新幹線路線部分の調査区は市道羽羽町北 1 号線を境に B・C 地区とした。発掘調査の基準となるグリッドの設定には、日本測地系による国家座標を用いた。X79600Y100 を XOYO の起点とし、南北方向を X 軸、東西方向を Y 軸とした。なお、日本測地系を基に起点を定めたので、国土地理院測量計算サイト W e b 版世界測地系座標変換（T K Y 2 J G D Ver.1.3.80）(<http://surveycalc.gsi.go.jp/sokuchi/tky2jgd/main.html>) により世界測地系に変換した。世界測地系に変換した座標は X79946.5832 Y-169.3465 である。グリッドは 2 × 2 m の方眼を基本とし、グリッド名は北東角の X 軸・Y 軸の座標で呼称した。

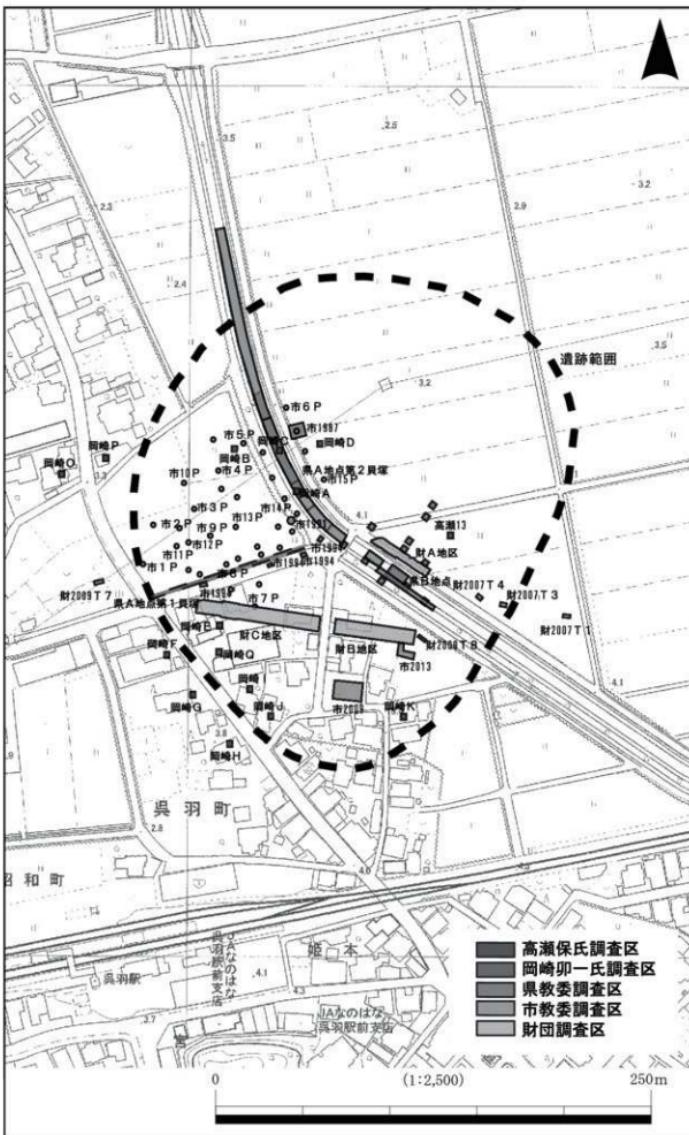
B・C 地区では路線幅の細長い調査区に対して X Y 座標が適合しないことから別に 3 衍のグリッドをつけて遺物及び土壤の取り上げを行った。このグリッドは路線中心線を基準にして平行に 2 m 幅で 4 分割（上 3 衍 100 ~ 400）、これに直交する 2 m 幅で分割（下 2 衍 01 ~ 66）した。結果、B 地区（101 ~ 123, 201 ~ 223, 301 ~ 323, 401 ~ 423）、C 地区（131 ~ 166, 231 ~ 266, 331 ~ 366, 431 ~ 466）となった。



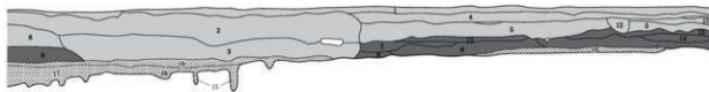
第2図 北陸新幹線関係本調査遺跡位置図

2 作業の経過と方法

第1表 北陸新幹線関連埋蔵文化財包藏地一覧

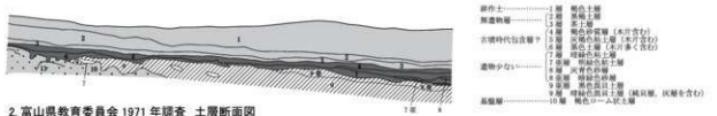


2 作業の経過と方法

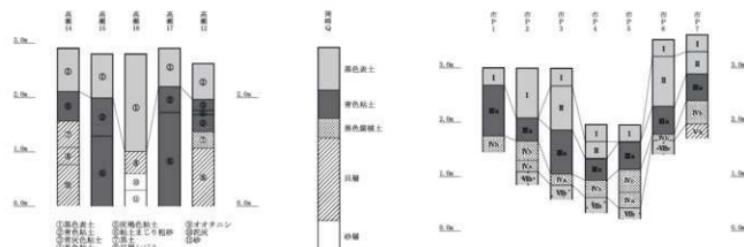


L. 塗土（黒色土）
2. 黄褐色土
3. 黄褐色土（黒色土、黒褐色土の混合土）
4. 黄褐色土（黒色土、黒褐色土、アスファルト、コンクリート混合土）
5. 油性土（油性土、白油性土）
6. 油性土（油性土、白色油性土）
7. 油性土（油性土、黑色油性土）
8. 油性土（油性土、黑色油性土）
9. 油性土（油性土、黑色油性土）
10. 油性土（油性土、黑色油性土）
11. 油性土（油性土、黑色油性土）
12. 油性土（油性土、黑色油性土）
13. 混合土（黒色土、白色土）
14. 混合土（黒色土、白色土）
15. 混合土（黒色土、白色土）
16. 混合土（黒色土、白色土）
17. 混合土（黒色土、白色土）

1. 富山市教育委員会 2009 年調査 土壠断面図

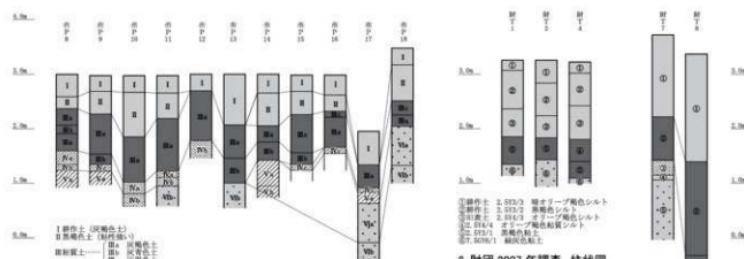


2. 富山県教育委員会 1971 年調査 土層断面図



3. 臺灣堡 1958 年調查 土屬柱社圖

4 圖麟耶—1964 年調查 枝狀圖



6. 財団 2007 年調査 柱状図

5. 廣州市教育局 2020 年高中一模試題

3 財司 2003 年調查 結果圖



第4図 小竹見堀既往の調査土壤断面図・柱状図(1/80)

1. 堀内・鹿島 2009, 2. 橋本 1972, 3. 高瀬 1958, 4. 岡崎 1966, 5. 藤田 1973, 6. 細辻 2008, 7. 町田 2010 を
参考にした。参考文献

調査日付	調査方法	調査者	調査地名	調査区域	調査範囲	調査目的	調査(?)	結果	文獻
1 1992.2.28	現地踏査	小林	小学校前-450m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
2 1992.3.1~12.1	現地踏査	小林	小学校前-450m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
3 1992.3.14	現地踏査-	小林	小学校前-150m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
4 1992.3.16~16.17	高山市営業部	高橋一、高橋幸、小林義	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
5 1992.2.20~27	高山市営業部	高橋二	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存-土建耐力壁	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
6 1992	既存点正	高橋一、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
7 1992.3.20~32	高山市営業部	高橋二	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
8 1992	既存点正	高橋一、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
9 1992.3.20~32	高山市営業部	高橋二、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
10 1992.3.20~32	高山市営業部	高橋二、高橋幸、小林義	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
11 1992.3.21~32	高山市営業部	高橋一、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設-既存(2-4階)既存施設-既存(5-6階)既存施設
12 1992.3.28	高山市営業部	高橋一、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
13 1992.4.1	高山市営業部	高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
14 1992.4.11	高山市営業部	高橋一、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
15 1992.5.21~2000.12	高山市営業部	高橋二	高橋中学校	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
16 1992.5.28~5.30	高山市営業部	高橋二	高橋中学校	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
17 1992.6.11	高山市営業部	高橋二、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
18 1992.6.15	高山市営業部	高橋二、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
19 1992.6.22~27	高山市営業部	高橋二、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
20 1992.7.20~2000.11	高山市営業部	高橋二	高橋中学校	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
21 1992.7.20~7.22	高山市営業部	高橋二	高橋中学校	北	北	既存施設	既存(1-2階)既存施設	既存	既存(1-2階)既存施設
22 1992.8.20~21	高山市営業部	高橋二、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
23 1992.9.19~10.30	高山市営業部	高橋二、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
24 1992.10.20~10.30	高山市営業部	高橋二、高橋幸、高橋幸	高橋中学校-177m	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
25 1992.10.24~10.31	高山市営業部	高橋二	高橋中学校	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
26 2001.1.13~2004.1.13	高山市営業部	高橋二	高橋中学校	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
27 2001.1.18~2001.22	高山市営業部	高橋二	高橋中学校	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設
28 2001.1.27~1.30	高山市営業部	高橋二、高橋幸	高橋中学校	北	北	既存施設	下層	既存	既存(1-2階)既存施設

第2表 小竹貝塚既住の調査一覧

2 作業の経過と方法

第3章 北陸新幹線關係埋藏文化財匂藏地圖李文獻一覽

著者	発行年	文部	編集機関
1.高須謙	1986	『鳥取町竹の真面目について』[山中更生 14]	鳥取市長官
2.高須謙	1986	『古事記から見た生糸津の山と水と野の移り』[成立生糸津南北地の学的研究]	鳥取市長官、第一港湾建設局候木本富山工事事務所
3.岡崎一郎	1966	『鳥取町竹の栽培の歴史』[農業土壤園芸の学的研究 第三集]	農業土壤園芸の学研究会
4.高須謙	1970	『鳥取県農林小作公团』[鳥取市古河町編 第5号]	鳥取市立文庫
5.高須謙	1971	『鳥取町竹の栽培技術』[鳥取市農業技術指導課編 第2号]	鳥取市立文庫
6.高須謙	1972	『鳥取市竹の産業調査』[鳥取市特許技術指導課編 第1回山中土壤園芸文化財研究会報告会 2]	鳥取市立文庫委員会
7.藤田喜士夫	1974	『鳥取町竹の栽培技術』[鳥取市農業技術指導課編報告書]	鳥取市物産委員会
8.久角久・本江洋	1977	『竹の育て方』[農業技術普及課編]	鳥取市立文庫
9.川原信義	1980	『竹の育て方』[農業技術普及課編山中土壤園芸文化財研究会報告会]	鳥取市物産委員会
山内一尋・寺林紳一・林本萬蔵・吉川	1980	『竹の育て方』[農業技術普及課編山中土壤園芸文化財研究会報告会]	鳥取市古河町文庫
1.山崎義和	1980	『山崎義和の農業遺産』[山崎市古河町紀念館 第13号]	山崎市古河町文庫
2.高須謙・中村大介	1982	『山崎義和の農業遺産』[山崎市古河町紀念館 第12号]	山崎市古河町文庫
3.吉川信義	1982	『山崎義和竹の栽培技術』[山崎市第5号]	山崎市古河町文庫
4.林本萬蔵	1986	『山崎義和(第1-2回)』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 平成6年度]	山崎市土壤園芸文化財セミナー
5.内山久・高須謙・吉川	1986	『山崎義和(第3回)』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 平成7年度]	山崎市土壤園芸文化財セミナー
6.内山久・高須謙・吉川	2000	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー]	山崎市物産委員会
7.内山久・吉川	2000	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第10号]	山崎市物産委員会
8.内山久・吉川	2001	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第11号]	山崎市物産委員会
9.内山久・吉川	2002	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第12号]	山崎市物産委員会
10.内山久・吉川	2003	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第13号]	山崎市物産委員会
11.内山久・吉川	2004	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第14号]	山崎市物産委員会
12.内山久・吉川	2005	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第15号]	山崎市物産委員会
13.内山久・吉川	2006	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第16号]	山崎市物産委員会
14.内山久・吉川	2007	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第17号]	山崎市物産委員会
15.内山久・吉川	2008	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第18号]	山崎市物産委員会
16.内山久・吉川	2009	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第19号]	山崎市物産委員会
17.内山久・吉川	2010	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第20号]	山崎市物産委員会
18.内山久・吉川	2011	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第21号]	山崎市物産委員会
19.内山久・吉川	2012	『山崎義和』[山崎市土壤園芸文化財セミナー 第22号]	山崎市物産委員会
20.内山久・吉川	2013	『山崎市竹の栽培技術』[山崎市古河町紀念館 第23号]	山崎市古河町文庫

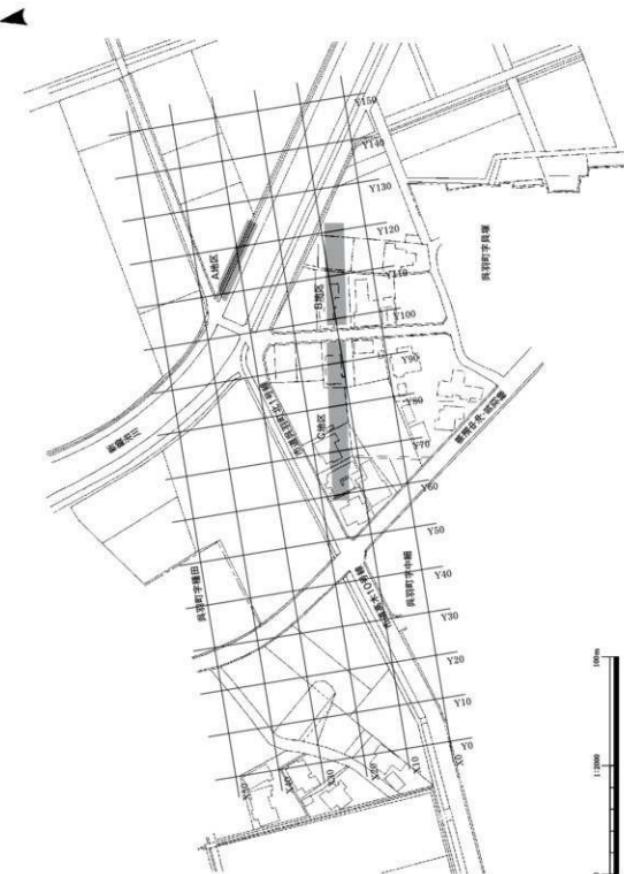
第4表 小竹貝塚調査文献一覧



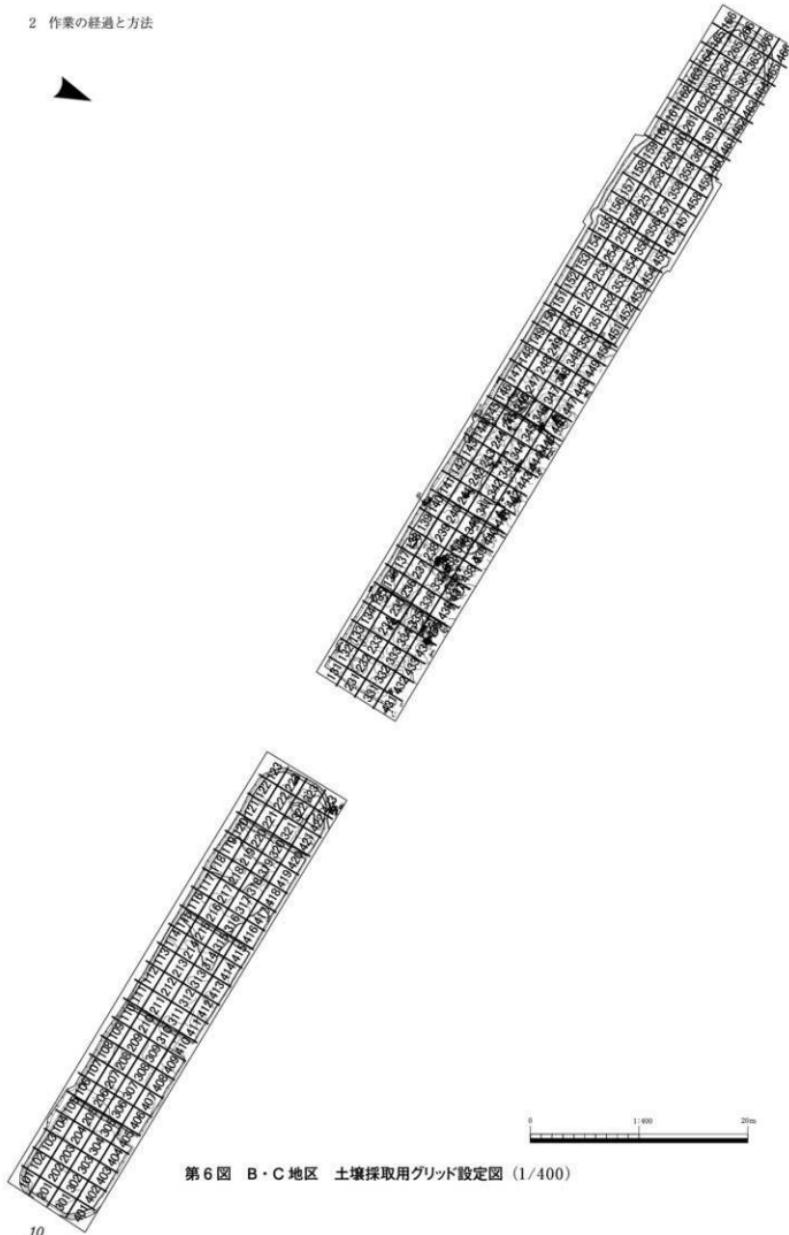
写真1 包藏地確認調査風景



写真2 表土機械掘削風景



第5図 調査区割図 (1:2,000)



発掘調査は表土・耕作土・無遺物層の除去、遺物包含層・貝層の発掘、遺構確認面の精査・遺構の検出、遺構の発掘、遺構の記録、写真撮影、空中写真測量、測量補足作業の順序で実施した。

表土・耕作土・無遺物層の除去は、A地区は確認調査前にすでに掘削が終了していたが、B・C地区は前年に行った確認調査の結果からその厚さが2m以上に達することが明らかになった。調査の事前準備として、鉄道・運輸機構の協力による調査対象地の鋼矢板打設後、平成22(2010)年1月～2月に重機による表土等の除去を行った。

遺物包含層の発掘はA地区ではスコップ等を用い、人力で掘削した。排土搬出にはベルトコンベアを使用し、調査区外に集積した。B・C地区は地表面より2m以上下から掘削を始めており、ベルトコンベアは使用できず、掘削土壤をワイヤーモッコに入れレッカでつり上げて搬出した。遺構確認面の精査・遺構の検出は、遺構確認面まで掘削した段階でジョレンやねじり鋸で精査し、検出した遺構は石灰によるマークインを行い、平板を用いて遺構概略図を作成した。検出した遺構には遺構番号を付すが、地区ごとに遺構の種類にかかわらず通し番号とした。

遺構の掘削は小さい土坑は長軸に沿って半蔵、大きい遺構は十字またはそれ以上に、溝は適宜に間隔をあけてセクションベルトを残し、移植ごとなどで発掘した。

遺構の記録は、断面図を20分の1の縮尺で実測し、遺構によっては10分の1の遺物出土状況図や平面図を作成した。各遺構の断面はデジタルカメラで撮影した。また、遺物出土状況や個別の遺構写真、ブラック写真是プロニー判(6×7)カメラを、調査区の全景写真については4×5カメラをそれぞれ併用した。また調査区全域にまたがる遺構平面図の作成には、空中写真測量を利用した。空中写真測量には、ラジコンヘリコプターを使用した。

地区	調査種別	調査期間	延べ日数	調査面積	調査担当者
A地区	人力掘削	平成21年4月20日～7月14日	56	198m ²	河西健二、町田賀一、松永篤知
B地区	機械掘削	平成22年1月12日～1月27日	6	393m ²	河西健二、菅田薫、木下保明、伊藤謙、町田賀一、吾郷信一、藤本伸幸、泉英樹、松永篤知
	人力掘削	平成22年4月26日～8月19日			鳥田美佐子、泉英樹
C地区	機械掘削	平成22年1月27日～2月18日	7	602m ²	河西健二、菅田薫、木下保明、伊藤謙、町田賀一、吾郷信一、藤本伸幸、泉英樹、松永篤知
	人力掘削	平成22年4月21日～9月28日	107		伊藤謙、町田賀一

第5表 小竹貝塚 本調査一覧

平成21年度	総括 所長 副所長 岸木薫 池野正男	幹部 課長 チーフ 竹中慎一 浅地正代	調査整理 幹部 課長 チーフ 竹中慎一 主任 江木裕一	調査第二課長 チーフ 主任 主任 主任 埋蔵文化財技師 埋蔵文化財技師 埋蔵文化財技師 埋蔵文化財技師	河西健二 菅田薫 木下保明 伊藤謙 町田賀一 吾郷信一 藤本伸幸 泉英樹 松永篤知
平成22年度				調査第一課長 チーフ 主任 主任 主任 埋蔵文化財技師	久々木義義 馬場俊枝子 菅田薫 伊藤謙 町田賀一 泉英樹
平成23年度				調査課長 主任	鳥田美佐子 町田賀一
平成24年度					
平成25年度					

第6表 小竹貝塚 調査・整理体制一覧

(2) 人骨の共同研究

B・C地区では埋葬人骨が多量に出土したことから以前から市教委の小竹貝塚人骨を分析している国立科学博物館の溝口優司人骨研究部長を招聘して人骨の取り扱い方について協議し、平成22(2010)年11

月2日に財團と国立科学博物館人類研究部との間で「小竹貝塚出土人骨の研究に関する連携・協力協定」を締結し、発掘調査終了後報告書刊行にいたるまで共同で研究することになった。経緯・その成果については第三分冊に掲載した。

(3) 貝層の剥ぎ取りと埋葬人骨出土状況の復元

B・C地区では、日本海側最大級のヤマトシジミ貝層と縄文前期では国内最多となる埋葬人骨が検出されたことから平成22年度に専門業者に委託してこれらの出土状況の一部保存を行った。貝層の剥ぎ取りは2か所実施し、1か所はC地区東側で埋葬人骨のある破碎貝層で幅2m×高さ1m、もう1か所はC地区西側の純貝層で幅1.5m×高さ2mでいずれも貝層上部から地山までの範囲を対象とした。埋葬人骨の出土状況復元は磨製石斧と砥石を副葬するB地区12・13号人骨を対象とし、まずレーザー3次元計測で詳細なデータを採取後、これをもとにレプリカを作成した。

なお、貝層の剥ぎ取りと埋葬人骨のレプリカは県センターで特別展や企画展で活用されたほかに平成24(2012)年4月から収蔵展示室にて常設展示を行っている。

(4) 土壌洗浄と選別

小竹貝塚では貝層や遺物包含層に多くの微細な遺物を含んでいることからこれらの土壌を採取し、平成22年度に業者委託して土壌洗浄（土糞袋袋分）を行った。土壌洗浄はウォーター・セパレーションに5・2.5・1mmの3つのメッシュかごを用いて遺物の採取を行った。基本層序採取サンプルなど一部の土壌は職員が4・2・1mmの3つのメッシュかごを用いて洗浄を行った。4mmメッシュ以上で採取した遺物は種類ごとに洗浄業者および職員が選別を行い、25mmメッシュ以下の遺物（微小遺物と呼称）は平成23年度に業者に委託して選別を行った。結果、小型の石製品や骨角貝製品、微小貝類、動植物遺存体などを採取することができた。

(5) 整理の経過と方法

出土遺物の多くは調査年度内に土壌洗浄業者、現地及び埋蔵文化財調査事務所の整理作業員で洗浄・バインダー処理、注記・分類を行った。土器の注記・接合・復元・色塗りは整理作業員が行った。木・繊維製品・金属製品・石製品・骨角貝製品はメモ写真を撮影し、それぞれの整理台帳を作成した。

木・繊維製品のうち特に資料価値の高い56点は専門業者に委託してトレハロースによる保存処理と一部復元を行った。

報告書刊行に向けての室内整理作業は、平成21(2009)年から開始している。平成21年度はA地区、平成22年度はB・C地区のそれぞれ基礎整理と自然科学分析委託を行った。平成23～24年度は土器・陶磁器の仕分け・接合・復元・実測、自然科学分析、全体図作製を行った。平成25年度は遺構・遺物の観察表作成、遺物写真撮影、挿図作製、原稿執筆、編集を行い、遺物・資料の県移管、報告書の印刷・刊行を行った。

遺物の実測は、土器・土製品・陶磁器・繊維製品を職員および整理作業員が行った。木製品・石製品・骨角貝製品の実測は業者に委託した。遺物実測図、遺構実測図、写真是各台帳を作成して整理し、パソコンコンピューターを使用してデータ入力を行った。遺物の写真撮影は木製品を委託業者が、それ以外を職員が撮影した。自然科学分析は、専門の業者に委託し、結果報告を掲載した（第二分冊）。この他に遺物の分析についてその分野に秀でた数名の方々と共に分析・研究を行い、結果報告を掲載した（第二分冊）。



写真3 C地区貝層土壤採取風景



写真4 貝層土壤集積風景



写真5 貝層土壤洗浄風景



写真6 貝層土壤洗浄後状況



写真7 微小遺物選別風景



写真8 微小遺物選別後状況



写真9 C地区貝層剥ぎ取り風景



写真10 埋葬人骨レプリカ展示風景

3 普及活動

(1) 現地説明会

一般の方々に普段立ち入ることができない現場の状況を公開した。

- A 平成 21 (2009) 年 6 月 6 日 (土) 10:00 ~ 12:00 参加人数約 360 人

A 地区を会場に行った。現場では調査区内上空を渡る仮設橋梁を設けるなど遺構や遺物出土状況を間近で見られるようにした。職員は全体説明の後、堅穴建物群や地点貝塚付近に立って説明した。現場に隣接するテント内では動物遺存体、縄文土器、石製品など出土遺物の説明を行った。

- B 平成 22 (2010) 年 6 月 26 日 (土) の 10:00 ~ 12:00 参加人数約 800 人

B・C 地区を会場に行った。現場は地表面から深いところにあり、安全上問題となることから周囲を巡回できる通路を作り、要所に看板を設けた。職員は全体説明の後、ヤマトシジミの貝層と埋葬人骨付近に立って説明を行った。現場に隣接するテント内では人骨、動物遺存体、縄文土器、木製品、石製品など出土遺物の説明を行った。

この他に平成 22 年には地元の富山県立呉羽高等学校 3 年生 (7 月 13 日)、富山市立呉羽小学校 6 年生 (7 月 16 日) の生徒が現地を見学した。

(2) 報道発表

テレビ・新聞など報道関係者に調査進捗状況の発表を行った。

- A 平成 22 (2010) 年 6 月 24 日

6 月 26 日に行われる B・C 地区の現地説明会の案内とその概要を発表。

- B 平成 22 (2010) 年 10 月 14 日

埋葬人骨の数 (71 体) や丸木舟の出土など B・C 地区の調査成果を発表。

- C 平成 23 (2011) 年 7 月 7 日

国立科学博物館人類研究部溝口優司、坂上和弘氏による出土人骨のクリーニング指導。

- D 平成 23 (2011) 年 10 月 4 日

国立科学博物館人類研究部溝口優司、坂上和弘氏とともにクリーニング終了後の人骨の公開。

(3) 展示

出土遺物の速報展を県センターにて展示を行っている。

- A 特別展「縄文土器の静と動」平成 22 (2010) 年 10 月 13 日 ~ 12 月 2 日

A 地区出土物を展示。

- B 企画展「小竹貝塚 - 平成 22 年度発掘調査速報展」平成 22 (2010) 年 12 月 14 日 ~ 平成 23 (2011)

年 3 月 24 日 B・C 地区出土土器、石製品、木製品、骨角製品などを展示

- C 企画展「古代のとびら」平成 23 (2011) 年 4 月 16 日 ~ 9 月 19 日 C 地区貝層剥取断面を展示。

- D 特別展「とやまの貝塚」平成 23 (2011) 年 10 月 15 日 ~ 12 月 1 日 A ~ C 地区出土遺物を展示。

(4) 調査成果および研究発表

小竹貝塚の調査成果や概要について学会、講座、学会誌などで発表した。

A 口頭発表

- ・平成 22 (2010) 年 1 月 30 日 富山考古学会 平成 22 年度総会 「富山市小竹貝塚の調査」

- ・平成 22 (2010) 年 9 月 25 日 呉羽談話会 「小竹貝塚からみた六千年前の呉羽」

- ・平成 23 (2011) 年 1 月 30 日 富山考古学会 平成 23 年度総会 「小竹貝塚 2010」

- ・平成 23 (2011) 年 2 月 4 日 縄文セミナー 「小竹貝塚 2010 年の調査」

- ・平成 23（2011）年 2月 15 日 中沖ふれあいサロン会 「小竹貝塚の発掘調査－2009・2010 年 発掘調査から見えたもの－」
 - ・平成 23（2011）年 2月 22 日 富山市日本海文化研究所 公開講座 「小竹貝塚の最新発掘調査成果について」
 - ・平成 23（2011）年 3月 21 日 平成 22 年度富山县いきいき文化財博士冬期研修会 「小竹貝塚ととやまの貝塚」
 - ・平成 23（2011）年 6月 25 日 第 212 回近江貝塚研究会 「小竹貝塚 VS 上久津呂中屋遺跡」
 - ・平成 23（2011）年 7月 27 日 富山県民生涯学習カレッジ 平成 23 年度前期ふるさと見発見講座／人間探求コース 「6,000 年前のとやま～2009・2010 年度富山市小竹貝塚の調査から～」
 - ・平成 23（2011）年 9月 19 日 日本地質学会 夜間小集会 考古学への地質学的貢献（10）「小竹貝塚について」
 - ・平成 23（2011）年 9月 24 日 明治大学博物館友の会 講演会 「日本考古学 2011 70 体以上の縄文人骨 富山県小竹貝塚調査」
 - ・平成 23（2011）年 10 月 23 日 富山県埋蔵文化財センター 特別展「とやまの貝塚」シンポジウム事例報告「富山県小竹貝塚、上久津呂中屋遺跡」
 - ・平成 23（2011）年 12 月 3 日 千葉市立加曾利貝塚博物館友の会 講演会「富山県富山市小竹貝塚の調査」
 - ・平成 24（2012）年 11 月 9 日 平成 24 年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会 調査部会 「日本海側最大級の小竹貝塚の調査」
 - ・平成 24（2012）年 11 月 17 日 土曜考古 11 月例会 「小竹貝塚の発掘調査成果について」
 - ・平成 25（2013）年 2 月 24 日 富山貝類同好会 総会 「小竹貝塚出土の貝類」
 - ・平成 25（2013）年 5 月 11 日 平成 25 年度富山考古学会 例会 「小竹貝塚のこれから」
 - ・平成 25（2013）年 6 月 28 日 呉羽地域連合自治振興会 研修会 「小竹貝塚からわかること」
- B 誌上発表
- ・平成 22（2010）年 6 月 財団『紀要富山考古学研究第 13 号』「竪穴住居、古墳、井戸状遺構」
 - ・平成 22（2010）年 10 月 ふるさと開発研究所『富山写真館万華鏡 226 号（新幹線は、いま）』「時空を超えて－北陸新幹線と小竹貝塚－」
 - ・平成 22（2010）年 11 月 株式会社ニュートンプレス『Newtown 2011 年 1 月号』
「アーキオリポート縄文時代前期の人骨を 71 体発見」
 - ・平成 23（2011）年 4 月 ニューサイエンス社『月刊考古学ジャーナル №613 2011 年 5 月号』
「遺跡速報富山県 小竹貝塚－縄文時代前期の貝塚調査－」
 - ・平成 23（2011）年 7 月 財団『紀要富山考古学研究第 14 号』「小竹貝塚の埋葬人骨」
 - ・平成 23（2011）年 10 月 富山県埋蔵文化財センター『シンポジウムとやまの貝塚資料集』
「富山県小竹貝塚、上久津呂中屋遺跡」
 - ・平成 24（2012）年 3 月 富山市教育委員会『日本海文化研究所公開講座平成 22 年度記録集』
「小竹貝塚の最新発掘調査成果について－北陸新幹線建設に先立つ 2010 年の発掘調査概要－」
 - ・平成 24（2012）年 7 月 財団『紀要富山考古学研究第 15 号』「小竹貝塚の貝層」
 - ・平成 25（2013）年 7 月 財団『紀要富山考古学研究第 16 号』「イノシシ形土製品」



写真 11 A地区 現地説明会風景



写真 12 A地区 現地説明会風景



写真 13 C地区 記者発表風景



写真 14 C地区 現地説明会風景



写真 15 B地区 現地説明会風景



写真 16 呉羽小学校6年生見学風景



写真 17 出土遺物記者発表風景



写真 18 出土人骨記者発表風景

第Ⅱ章 位置と環境

1 地理的環境

小竹貝塚は富山県のほぼ中央に位置し、北側は射水平野、南側は呉羽丘陵からつづく丘陵の一部に接している。調査前の現況は宅地や水田で標高は約32m。

1973年に発行された国土庁土地局国土調査課『土地分類図16(富山県)』によれば、小竹貝塚の位置する地質は、射水平野－三角州性低地(地形分類図)、沖積世－未固結堆積物－泥(表層地質図)、グライ士－細粒グライ土壤(土壤図)に分類され、脆弱な低地であることがわかる。

富山県内で精力的に地質の研究を行っている藤井昭二氏は、小竹貝塚の位置する射水平野の形成についてそれまでのボーリング調査や遺跡の分布状況から地層の堆積と縄文海進とを絡めて考えている(藤井1992)。これによれば、まず約2万年前の旧石器時代に海面が最も低下した時期に基盤となる礫層を形成する。縄文時代になると海面が次第に上昇するとともに河川から流入で礫層の上に砂や泥が堆積する。縄文時代前期になると、汀線付近には砂州が形成され、外海と内陸との間には湖(射水湖)が形成される。この湖は淡水ではなく砂州の途切れ部分から海水が流入する汽水湖であった。

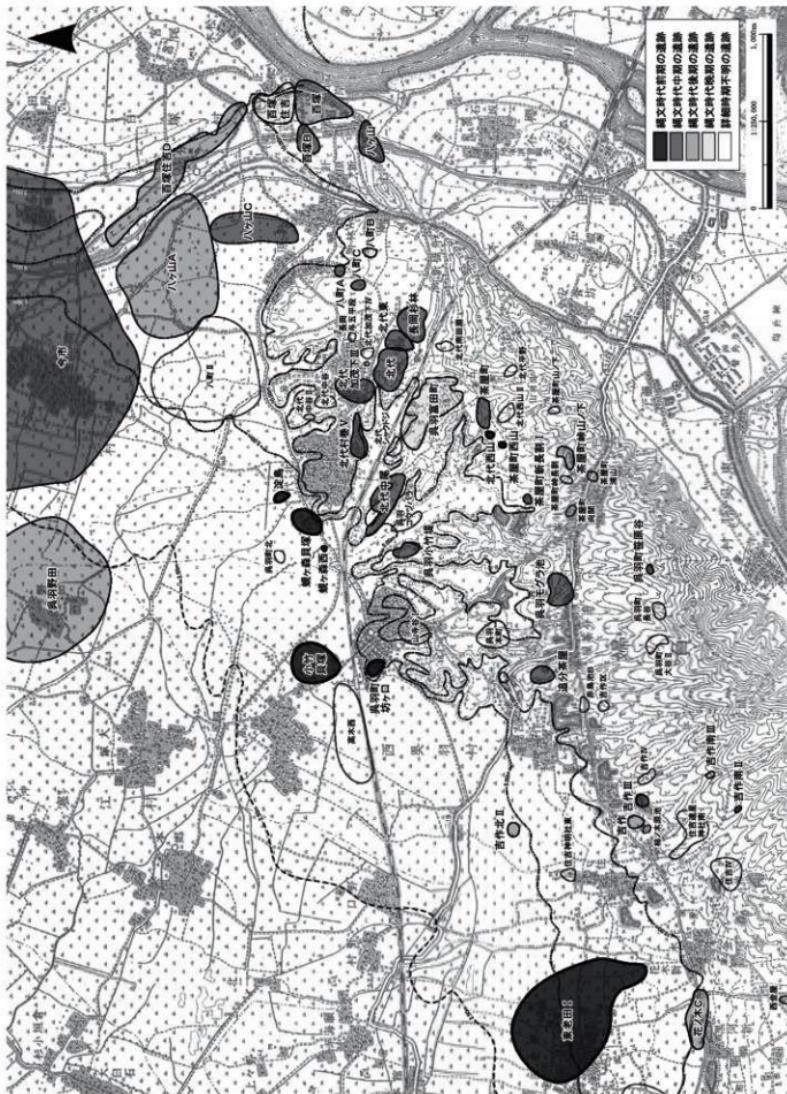
縄文時代前期には河川から運ばれてきた土砂により至る所に砂州が形成され、汽水湖(射水湖)が形成される。小竹貝塚の存続時期はこの汽水湖に面していたものとみられている。縄文海進のピークが過ぎると海面が低下し、汀線が外海に張り出し、砂丘の形成が進む。内陸側からは泥層が発達し、旧河川や低地部は池や沼となり泥炭層を形成する。このようにして残された湖部分が放生津潟となり周囲は泥炭層の堆積した軟弱地盤である射水平野となっていくようである。

このような小竹貝塚周辺の堆積地盤は、北陸新幹線建設に先立ち鉄道・運輸機構によって行われたボーリング調査の状況でも見てとれる(第9図)。これによれば小竹貝塚の地下には粘性土層と砂質層とが交互に堆積し、地表下約5~10mで基盤層である砂礫層に達する。砂礫層は路線内では小竹貝塚の地下で最も高い位置にあり、東西に下がっている。このことから小竹貝塚の立地は今では平坦な軟弱地盤の射水平野にあるものの、太古においては南側の呉羽山から派生する丘陵の末端ともみてとれる。つまり、小竹貝塚は單にかつて水域に面していた低地というのではなく、水域の中に南側から岬状に飛び出していた低丘陵の先端に形成されたのであろう。そのなかでも東側の堅穴建物を検出したA地区は高く、貝層を形成したB・C地区は西に向かって下がっていく地形を形成しているのはまさに地盤の砂礫層のあり方を表しているのだろう。



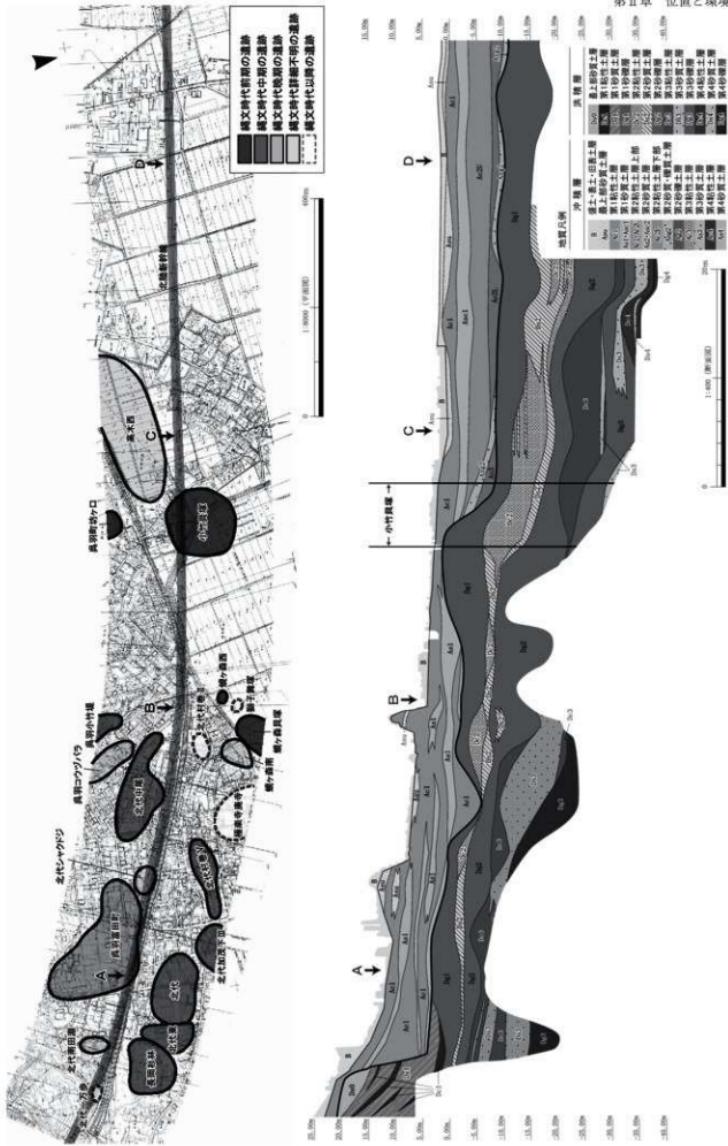
第7図 射水平野の変遷図 (藤井1992)

1 地理的環境



第8図 小竹貝塚と周辺の縄文遺跡 (1/25,000)

2万5千分の1地形図富山 (明治43年測図) を一部改変



第9図 小竹貝塚周辺の北陸新幹線路線内地質図
 「富山～石動間 埋蔵文化財包蔵地位置図」、「富山市地代・高木間地質調査地層想定断面図」を改変

2 歴史的環境

小竹貝塚の立地する射水平野周辺には呉羽山丘陵や射水丘陵を中心に多くの遺跡が分布する。ここでは、小竹貝塚の存続時代である縄文時代に限ってその分布を立地と遺跡の性格からみてみる。

縄文時代草創～早期

草創期～早期の遺跡はほとんどなく、丘陵部を中心に遺物が散発的に出土する程度。早期後葉～前期初頭になると低地部にある南太閤山I遺跡(80)でオニゲルミが集中して出土する“クルミ塚”がある。

縄文時代前期

前期の遺跡は標高5m付近と丘陵上との大きく2つに分けられる。前者には貝塚が全て立地しており、当時の水域に面していたと考えられる。他は散布地で一時的な利用とみられる。後者は堅穴建物をもつ平岡遺跡(71)や北押川C遺跡(59)、土坑をもつ北代西山遺跡(12)や杉谷64番遺跡(43)など明確な遺構がある集落を形成し、定住の様相が伺える。前期の遺跡は少ないが小竹貝塚付近は比較的集中している。

前～中葉の遺跡は少なく、あっても前時期同様に遺物が散布する程度しかない。小泉遺跡(93)では中葉(朝日C式期)の土器がまとまって出土しているが遺構は埋没樹根しかない。定住集落の可能性を示すのは建物の可能性がある土坑群を検出した小竹貝塚ぐらいである。

一方で後葉(福浦下層～蜆ヶ森式期)になると定住の可能性が高い集落や貝塚を形成するようになる。集落では丘陵上にある平岡遺跡(71)が大きい。平岡遺跡は堅穴建物14棟、掘立柱建物3棟、墓壙が規格的に配置され、中期の環状集落の萌芽とみられる。県内ではこれと同等な遺跡は同じく丘陵上にある立山町吉峰遺跡のみである。ただし、小竹貝塚でもA地区で堅穴建物10棟がまとまって検出されており、低地部にも大きな集落が形成されていた可能性がある。

貝塚は小竹貝塚の他に蜆ヶ森貝塚(3)や針原西遺跡(45)で形成されるがいずれもほぼヤマトシジミからなり、射水平野周辺では当時の環境を反映して汽水性貝塚しか作られない。

縄文時代中期

中期になると標高5m以下の低地、丘陵部でも遺跡が立地し、海面低下の影響か前期より縄文人の行動範囲が拡大する。ただし、5m以下の低地部は遺物が出土する程度の散布地で集落は丘陵部に集中する。

前期末葉(朝日下層式期)～前葉(新崎式期)は遺跡が少ない。貝塚は針原西遺跡で継続する。

中葉～後葉(上山田・天神山～串田新式期)になると遺跡が増大し、丘陵部で北代遺跡(10)、開ヶ丘遺跡群(64・65)、小杉流田遺跡群(83)、串田新遺跡(92)など各所で大規模な集落が形成され、これらの距離は直線で約3km離れておりいくつかのまとまりをもって集落を形成していた感がある。

縄文時代後期

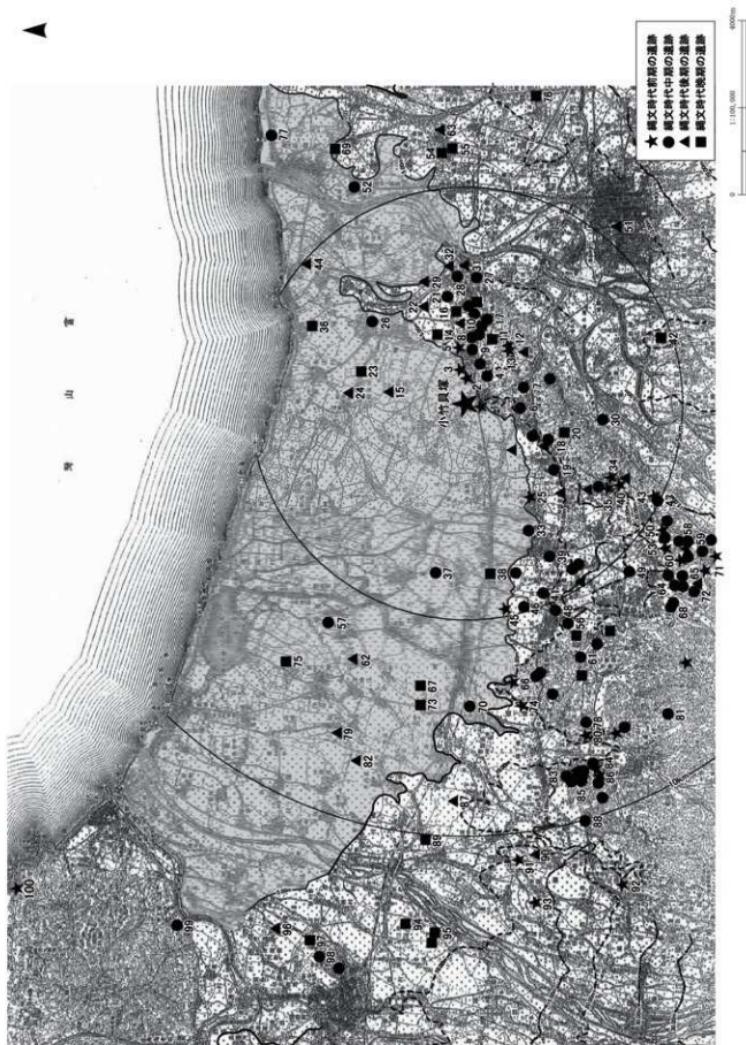
後期になると遺跡の分布は中期とほぼ同様に低地部から丘陵部まであるが、遺跡数は減少し、規模は小さく建物など明確な遺構をもつ遺跡は時期を通して皆無に近い。

縄文時代晩期

晩期になると後期より遺跡数が増加し、分布範囲も広がる。

いずれの時期も遺物のみ出土する散布地が主体だが、中葉(中屋式期)になると井口本江遺跡(94)で土坑群、後葉に大規模な掘立柱建物をもつ古沢A遺跡(34)や北野遺跡(49)が出現し、分散するものいくつかで集落が構成される。

このように射水平野周辺では前期から中期にかけて遺跡が増加し各所で集落が形成されるが後期以降、立地は変わらないものの遺跡数が減少し大規模な集落は作られなくなっていくのがわかる。



2 歷史的環境

第7表 射水平野周辺の縄文時代遺跡一覧

第Ⅲ章 調査の成果

1 遺物の分類

小竹貝塚において人工遺物は、土器、土製品、石製品、木製品、繊維製品、漆製品、骨角製品、貝製品など複数の種類の遺物が数多く出土している。これらの多くは縄文時代前期に属し、県内では類例がない。このため、これらの分類にあたってはこれまでの研究成果や同時期出土遺物を参考とした。

・石製品……富山県上久津呂中屋遺跡（鳥田他 2013）、山形県押出遺跡（佐藤他 1990）。

神奈川県羽根尾貝塚（戸田他 2003）、大工原氏の分類（大工原 2008）

・木・繊維製品……福井県浜鳥貝塚（網谷 1996）

・骨角貝歯牙製品……上久津呂中屋遺跡（鳥田他 2013）、金子・忍澤氏の分類（金子・忍澤 1986）

土器・土製品の分類は過去の研究をもとに独自に行った。

なお、遺物の記載は報告書頁数の関係上最低限とし、観察表を充実させて補足することとした。また、出土遺物の量は膨大で図化掲載したのは全体の1割程度で遺構出土や特徴的な遺物等に限定した。

(1) 縄文土器の分類（第11図）

縄文土器の器種は縦横の比率が概ね縦長を深鉢、横長を浅鉢、同等を鉢とし、口縁部の形状で波状を1、平を2とした。

A 深鉢の分類

器形では外開きをA、内湾をB、キャリバー形をC、直立をDとした。更に高さ15cm以下を小型とした。

B 鉢の分類

器形では外開きをA、内湾をB、キャリバー形をC、X字状をD、直立をEとした。更に高さ概ね7cm以下を小型とした。

C 浅鉢の分類

器形では外開きをA、内湾をB、キャリバー形で外開き口縁をC、キャリバー形で内湾口縁をD、キャリバー形で内屈口縁をE、複段内湾口縁をF、複段外開き口縁をG、内屈口縁Hとした。

(2) 土製品の分類（第12図）

土製品には土製円盤、有孔土製品（Aは有孔で土側、Bは貫通孔で垂飾）、イノシシ形土製品、土製玦状耳飾、耳栓、土製丸玉、土器片鐵、ミニチュア土器、棒状土製品、垂飾状土製品、円盤状土製品、種実状土製品、三叉状土製品、土製勾玉、錐状土製品、焼成粘土塊の16種類がある。最も多く出土しているのは片手で握った粘土塊を焼成した焼成粘土塊で様々な形状がある。土製円盤、ミニチュア土器、棒状土製品が次ぎ、他はいくつかしか出土していない。

A 土製円盤の分類

土製円盤とは、土器片を加工して創出した円形もしくはそれに近い土製品を指す。この分類は側面の調整で全面研磨をA、一部研磨をB、研磨なしをCとし、底部を利用したものをDとした。

土製円盤の多くのは中央に穿孔があり、この穿孔でも分類を行った。

表裏両面から穿孔貫通を1、表裏両面から穿孔未貫通を2、表面のみから穿孔未貫通を3、裏面のみから穿孔し未貫通を4、穿孔なしを5、表裏両面から穿孔2貫通を6、表裏両面から穿孔2貫通1未貫通1を7とする。

鳥田美佐子・朝田亜紀子・町田賢一・2013「上久津呂中屋遺跡発掘調査報告」公益財团法人富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所佐藤庄一・中橋至・佐々木洋平・佐藤正俊・鶴谷文雄 1990「押出遺跡発掘調査報告」山形県教育委員会

戸田哲也・坪田弘子・麻生順司・鶴泉岳二・鈴崎智子・江田真綾・鶴澤和宏・松島義章・米田穣・2003「羽根尾貝塚」玉川文化財研究所

1 遺物の分類

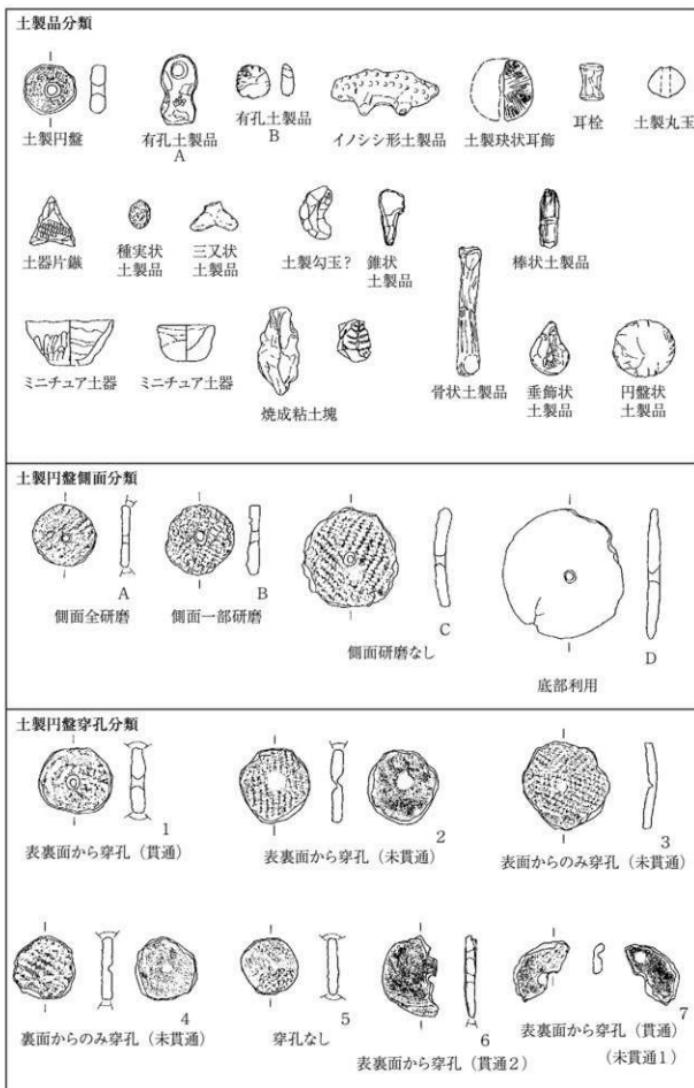


第11図 縄文土器分類図

大工原豊 2008 「縄文石器研究序論」六一書房

網谷克彦 1996 「鳥浜貝塚出土の木製品の形態分類」「鳥浜貝塚研究1」鳥浜貝塚研究会

24 金子浩昌・忍澤成視 1986 「骨角器の研究 縄文篇」慶友社



第12図 土製品分類図 (1:3)

2 A地区の基本層序

(1) A地区の概要

A 概要

A地区は遺跡の東側に位置し、北から南に下る地形。北西側の高い部分を台地部、南東側の低い部分を低地部とした。台地部と低地部では遺構の様相が異なり、主に台地部が居住区、低地部が廃棄場となる。遺構検出面は3面あり、上から上層（縄文時代前期末葉）、中層（縄文時代前期後葉）、下層（縄文時代前期中葉）とに分けて調査を行った。上層では堅穴建物1・土器集中地点1、中層では堅穴建物9・土坑135・地点貝塚9・焼土1・炭化物集中地点1、下層では土坑74を検出した。なお、堅穴建物の集中する調査区北西側は当初の調査区より境界ぎりぎりまで拡張して調査を行った（拡張区と呼称）。

B 基本層序（第13～15図）

基本層序はおむね以下のとおり。

I層：現況の水田表土や圃場整備時の盛土からなる。標高30～45m。ほぼ水平に堆積し、1～2に分層できる。黄灰色シルト主体。中世～近世の土器・陶磁器を含む。用水工事などにより包蔵地確認調査前に除去されており、壁面のみで確認。

II層：粘質土と腐食土を交互に含み弥生時代～中世の湿地・洪水堆積層とみられる。標高21～30m。ほぼ水平に堆積し、3～6に分層できる。灰～灰黄色粘土質シルトと灰黃褐色腐食土主体。弥生時代～中世の土器・陶磁器を含む。

IIIa層：縄文時代前期～末葉遺物包含層および前期後葉遺構（中層）埋土で、上面が前期末葉遺構（上層）検出面となる。標高16～31m。台地部から低地部に向かって厚く堆積し、1～5に分層できる。褐色粘土質シルト主体。堅穴建物や土器集中地点のある調査区北西部では堆積がなく、II層の下部から縄文時代前期末葉の土器が出土する。

IIIb層：縄文時代前期後葉遺物包含層で上面が縄文時代前期後葉遺構（中層）検出面となる。標高16～30m。台地部から低地部に向かって傾斜して堆積する。黒褐色シルト主体。

IIIc層：縄文時代前期中葉遺物包含層で上面が縄文時代前期後葉遺構（中層）検出面となる。標高14～27m。台地部から低地部に向かって傾斜して堆積する。台地部では発掘調査前に一部で上面まで削平されていた。褐色粘土質シルト主体。

IV層：上面が縄文時代前期中葉遺構（下層）検出面。標高14～31m。褐色粘土質シルト。無遺物層の地山だが、低地部で前期前葉～中葉の土器が上面に含まれていた。

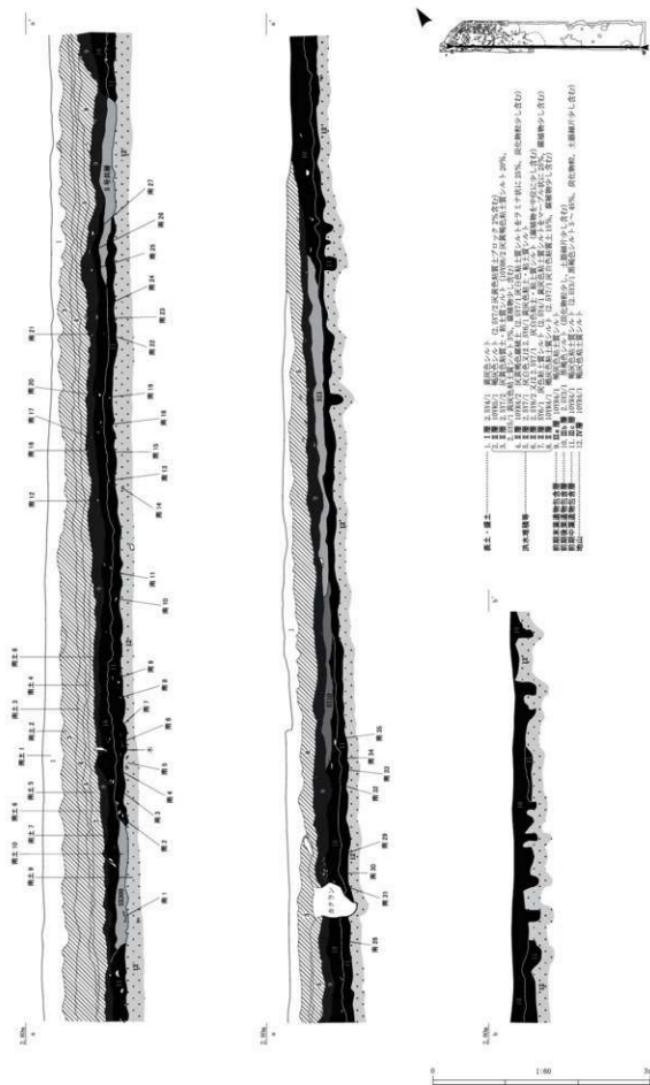
C 基本層序出土土器（第16図）

発掘調査では層位ごとに分けて掘削を行ったが上下の層位からの混入も多いことから、原位置が明確な基本層序断面に刺さっていた縄文土器片からその層位の土器型式を明らかにする。

層位では、5・6・8がIIIb層、1・7・9・10・12がIIIa層、13がS I 1埋土上層、11がS I 1埋土中層、14はS I 7埋土上層、15がS X66埋土中層、2・3・4がII層下～IIIa層直上に対応する。

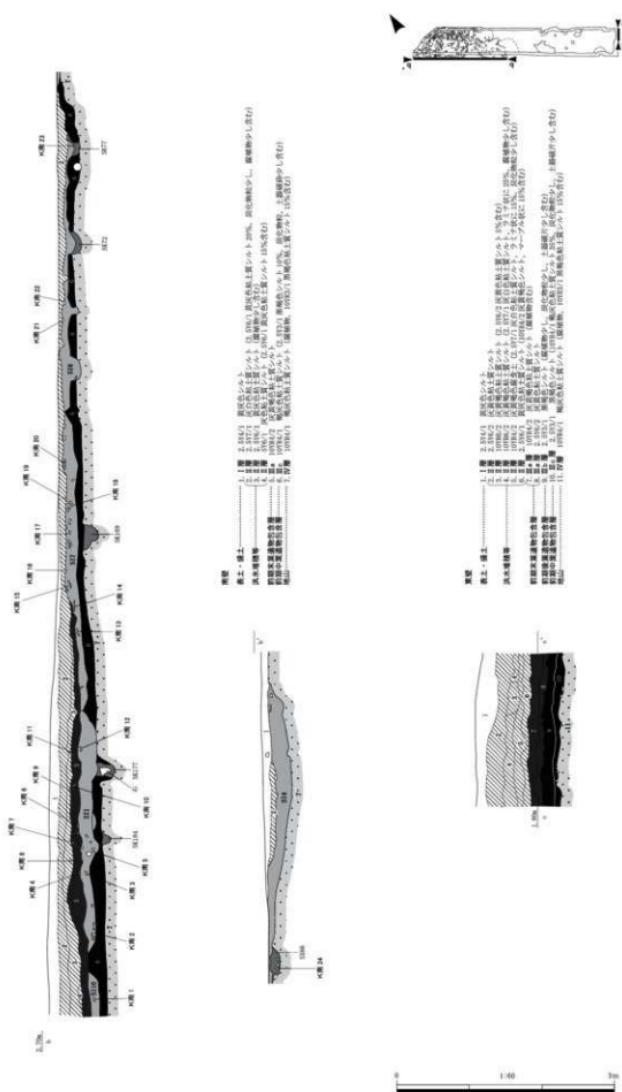
型式学と対応させてみると、IIIb層、S I 1とS X66埋土では小島編年（小島2008）の規ヶ森I式古段階（8・15）とI式新段階（5）は層位では新旧はみられない。これに刈羽式沈線文類相当の（11）や非結束羽状縄文（6）が併存する。IIIb層は前期後葉（規ヶ森I式期）の遺物包含層、中層の遺構（S I 1とS X66）は前期後葉（規ヶ森I式期かそれより前）の遺構となる。

小島俊彰2008「規ヶ森I式土器」『絶対縄文土器』アム・プロモーション

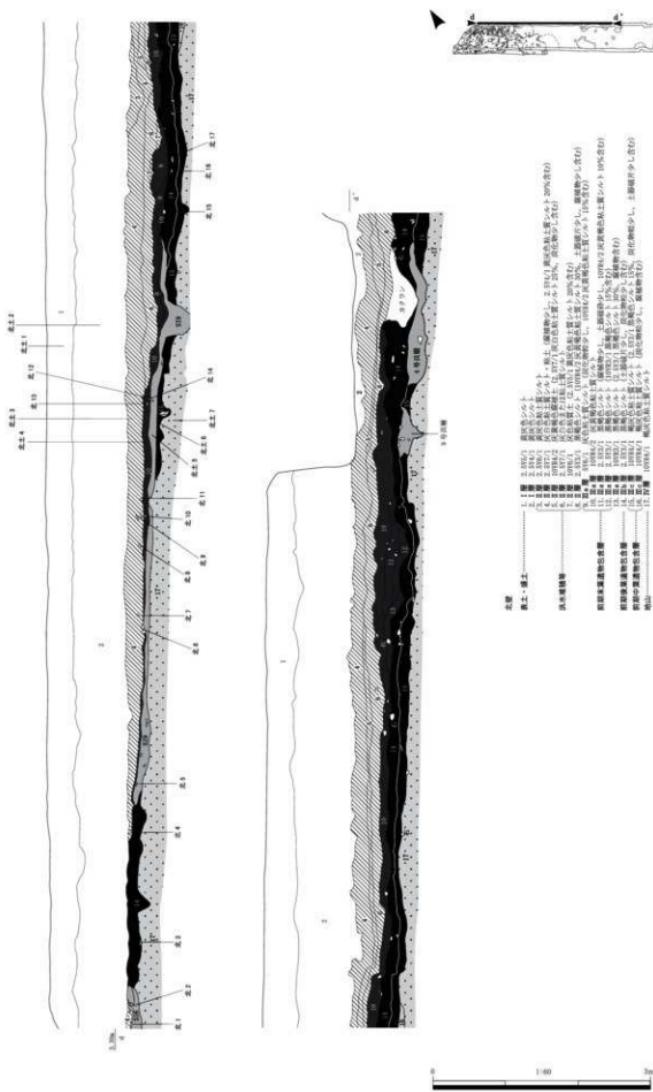


第13図 A地区 南西壁 基本層序 (1/60)

3 A地区の基本層序



第14図 A地区 南壁・東壁 基本層序 (1/60)



第15図 A地区 北壁 基本層序図 (1/60)

3 A地区の遺構・遺物

II～III a層、S I 1・7埋土上層では小島編年のある規ヶ森II式新段階(9)と加藤編年(加藤1997)の福浦上層I b(3)、II a(13)、II b(1, 14)、II c式(2)は層位では新旧はみられない。これに無文地矢羽状沈線文の底部(4)や非結束羽状繩文(12)が併存する。II～III a層は前期末葉の遺物包含層(規ヶ森II～福浦上層式期)、S I 1・7埋没後の窪地は前期末葉(福浦上層式期)に利用されたことがわかる。

3 A地区の遺構・遺物

(1) 縄文時代前期中葉(下層)

A 概要(第17～22図)

台地部で土坑74基を検出。2段掘りや柱痕とみえる埋土をもつ土坑があり、土坑の深度で分類するといくつかのグループとなり、一部は第22図にあるような建物になるかもしれない。

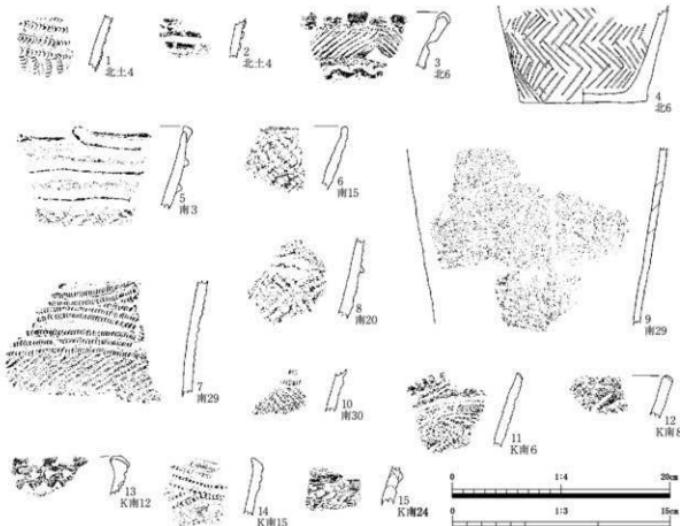
低地部では遺構はないがIII c～IV層から縄文土器・石製品のはかに動物遺存体が多く出土している。

遺物の分布状況は捨て場とみられる低地部に多い傾向にある。人工遺物の総量は縄文土器620.9 kg、焼成粘土塊43 kg、石製品1400 kg、骨角歯牙製品26.9 g(20点)。

B 土坑(第19～21図)

第80号土坑(S K80、第20・41図)

不整規円形の大型。2段掘りで深い。埋土は4層。遺物は縄文土器・焼成粘土塊。16は無文地半截竹管押引状爪形文、17は斜行縄文地コンバス文で朝日C式。



第16図 A地区 基本層序 縄文土器(1～8・10～15 1/3, 9 1/4)

加藤三千雄 1997 「北陸における縄文時代前期末葉土器群の展開(1)」『石川考古学研究会会誌』石川考古学研究会

第88号土坑（SK88、第20・41図）

楕円形の中型。2段掘り。埋土は2層。遺物は縄文土器。18は無文地大型爪形文、19は無文地斜・横位平行沈線+小型D字爪形文、20は無文地横位平行沈線文で朝日C～福浦下層式。

第92号土坑（SK92、第20図）

不整形の中型。埋土は2層で柱痕状と掘り方状からなる。遺物は縄文土器・磨石。

第93号土坑（SK93、第20・101図）

不整形の中型。2段掘り。埋土は3層で柱痕状と掘り方状からなる。遺物は縄文土器・磨製石斧・凹石。1210は凹石。

第95号土坑（SK95、第20図）

不整形の中型。2段掘り。埋土は3層で柱痕状と掘り方状からなる。遺物は縄文土器・砥石。

第98号土坑（SK98、第20・98図）

楕円形の小型。逆凸字状の2段掘り。埋土は1層。遺物は縄文土器・磨石。1192は側面研磨の特殊磨石。

第99号土坑（SK99、第20・41・96図）

不整楕円形の小型。埋土は1層。遺物は縄文土器・石錐。22は斜行縄文で口縁部ヨコナデ。1180は打欠石錐で側面にも剥離がある。

第111号土坑（SK111、第20図）

楕円形の小型。2段掘り状。埋土は1層。遺物は縄文土器。

第129号土坑（SK129、第20図）

不整円形の小型。逆台形状掘り方。埋土は1層。遺物は縄文土器。

第144号土坑（SK144、第20・41図）

不整形の小型。半円形掘り方。埋土は1層。遺物は縄文土器。32は無文地肋骨文で諸磯a式相当。

第152号土坑（SK152、第20・41・90図）

不整形の大型。皿状の掘り方。埋土は1層。SK213に切られる。遺物は縄文土器・石匙・石皿。34は無文地半截竹管押引状爪形文で刈羽式相当。35は無文地三角隆帯で蜆ヶ森I式。36はヨコナデのみの無文で口唇部面取り状。1112は横型の石匙つまみ部。

第155号土坑（SK155、第20・41図）

不整形の中型。2段掘り。埋土は2層。遺物は縄文土器・砥石・軽石。37は斜行縄文。38は無文地隆帯上爪形刻みで北白川下層IIb式相当。

第159号土坑（SK159、第20・41図）

不整形の大型。2段掘りが2孔。埋土は2層。遺物は縄文土器。41・45は斜行縄文。42は無文地小型C字爪形文、43は無文地横位平行沈線+小型D字爪形文、44は無文地横位平行沈線、46は無文地コンパス文+小型D字爪形文で朝日C式。

第164号土坑（SK164、第21図）

不整楕円形の中型。2段掘りで深い。埋土は2層。遺物は縄文土器。

第166・168号土坑（SK166・168、第21・41・99図）

不整形の大型。2段掘りが2孔。埋土は5層。SK166がSK168を切る。遺物は縄文土器・磨石。49は斜行縄文。50は無文地横位平行沈線+コンパス文、51は無文地平行沈線文で朝日C～福浦下層式。1195は側面研磨の特殊磨石。

第170号土坑（SK170、第21図）

3 A地区の遺構・遺物

楕円形の小型。逆台形状の掘り方。埋土は1層。遺物は縄文土器。

第178・179・180号土坑（SK178・179・180、第21・41図）

不整形の小型が3基並ぶ。SK180が最も新しい。SK179・180は浅く、埋土は1層。SK178は2段掘りの埋土2層。遺物は縄文土器。54は無文地平行沈線間小型C字爪形文で福浦下層～規ヶ森I式。

第186号土坑（SK186、第21・41図）

不整形の小型。逆台形状の掘り方。埋土は1層。遺物は縄文土器。56は斜行縄文地小型D字爪形文で朝日C式。

第187号土坑（SK187、第21・41図）

不整形の中型。2段掘りが2孔。埋土は1層。遺物は縄文土器。57は無文地横位平行沈線多条で福浦下層式。

第197号土坑（SK197、第21図）

楕円形の小型。埋土は1層で大型剥片含む。遺物は台石。

第200号土坑（SK200、第21図）

不整形円形の中型。深い掘り方。埋土は3層。遺物は縄文土器。

第202号土坑（SK202、第21・41図）

不整形円形の大型。深い掘り方。埋土は柱痕状と掘り方状の2層。遺物は縄文土器。59は無文地格子目文で刈羽式相当。

第203号土坑（SK203、第21・41・90図）

不整形の中型。深い。埋土は柱痕状の1層。遺物は縄文土器・石匙。60は無文地横位平行沈線+コンパス文、62は羽状縄文地横位平行沈線文で朝日C式。61は非結束羽状縄文。1113は横長の石匙。

第204号土坑（SK204、第21図）

楕円形の中型。浅い2段掘り。埋土は2層。遺物は縄文土器。

第206号土坑（SK206、第21図）

楕円形の小型。2段掘り。埋土は1層。遺物は縄文土器。

第213号土坑（SK213、第20図）

楕円形の小型。深い。埋土は柱痕状の1層。遺物はない。

C 遺物包含層（Ⅲc層）

a 縄文土器（第42～49図）

前期前～後葉の土器が出土。前葉の土器は地山のIV層に刺さった形で出土。後葉の土器は上のⅢb層からの流入とみられる。前期前葉の布目式併行～前期後葉の規ヶ森I式で前期中葉の朝日C式が中心。

63～66・68～73・90は無文地に大型爪形文。内面は66が横位条痕で他はヨコナデ。74は斜行縄文地大型爪形文の後、横位沈線1。67・78・79・81・84・85・128は無文地小型C字爪形文。79・84は波状口縁頂部。87・88は平行沈線間小型C字爪形文。88は爪形文下に格子状沈線文。76・82・83・86は無文地小型D字爪形文。81は底面外側にも同心円状に刺突。89・91・93は無文地刺突文。89は波頂部に楕円形平行沈線文。91は押引状刺突文を三角形に施す。93は半截竹管押引状爪形文と押引状刺突を交互に4段以上。92は羽状縄文地斜行刺突。95～111はコンパス文で94は斜行縄文地で他は無文地。96・105・108は波頂部から縦位平行沈線を垂下。104・107～111は肋骨文にコンパス文を内包。123～127・129・130は口縁部に複数の横位平行沈線。これらの時期は爪形文を主体とする北白川下層IIa式やコンパス文を主体とする黒浜式に類似する前期中葉の朝日C式が大半で一部に諸機a式の要素をもつ前期後葉の福浦下層式。

112～118は無文地に肋骨文。112は肋骨文に小型C字爪形文を内包。120・121は綾杉状沈線文。これらは肋骨文を指標とする諸磽a式相当。

134～145・147は無文地格子目文で刈羽式相当。146・148～159は半截竹管押引による爪形文。160は浮線文でいざれも諸磽b式中段階相当。161～165は平行や梯子状隆帯上を斜行に刻む北白川下層IIc式相当。166～168は無文地隆帯上を縦位に刻む北白川下層IIb式相当。169～180・182～190は横位平行隆帯を2条以上もつ北白川下層Ic式相当もしくは観ヶ森I式。

181・191～193は浅鉢。181は木葉状文、191・192は列孔文、193は梯子状隆帯で諸磽b、北白川下層IIc式相当。

194～198・200～207・212・215は非結束羽状繩文。201・207は羽状繩文を一部ナデ消す。215は内面に種実圧痕。208～211・213・214・217～221・225・228・229・233・235は斜行繩文。209・229は付加条、219・225は撲糸文とみられる。220は内面横位条痕。225は竹管状刺突。216・226は無文で216は外側に種実圧痕。222～224・227・230～232・234は底部。227が尖底、231・232が下げ底気味、234が上げ底気味ではかは平底。223は底面外側に羽状繩文。224・230・231は底面外側に種実圧痕。これらの時期は朝日C～観ヶ森I式。

b 土製品（第49図）

236・239はミニチュア土器の鉢。237・252是有孔土製品。237は底部転用で縁辺を打欠き穿孔。238は土器片鏡。240～248・251・253～255は土製円盤。249・250は棒状土製品。256～260は焼成粘土塊。

c 石製品（第89～93・95～97・99～105図）

台帳記入で427点。石鎚98、磨製石斧50、輕石35、石皿32、石錐31、磨石30、叩石30、石鍬28、石匙23、砥石16、凹石15点の順に多い。

1092は異形石器で左右が弱く抉れる。1093～1095は凹基無茎の石鎚。1116・1117は横型の石匙で刃部はやや丸い。1122～1124は石錐。1136は二次加工剝片。1147は十字状の異形石器。1166・1168・1174・1175は磨製石斧。1174～1176は未成品か。1183～1185は打欠石鍬。1196は磨石。1197・1203・1204は叩石。1207・1211・1212・1221は凹石。1213・1214は砂岩製砥石で1213は筋砥石。1218は石皿。1228は半次の玦状耳飾。上部を両面から穿孔するも未貫通。1234はサメ歯を模倣した垂飾。上部に2孔。

d 骨角歯牙製品（第106図）

1247は髪針。1252は髪針の基部か。両面に小円形刺突。

e 動物遺存体（第二分冊 18 山崎他報文）

現地調査時はイルカ類が多く、頭骨のみやつながった椎骨などがみられた。他にはニホンジカやイノシシが破片で見つかった。この他に糞石が3点出土。

f 植物遺存体（第二分冊 14 金原報文）

オニグルミが割合多い他にオニバス、コブシ、クリがみられた。

(2) 繩文時代前期後葉（中層）

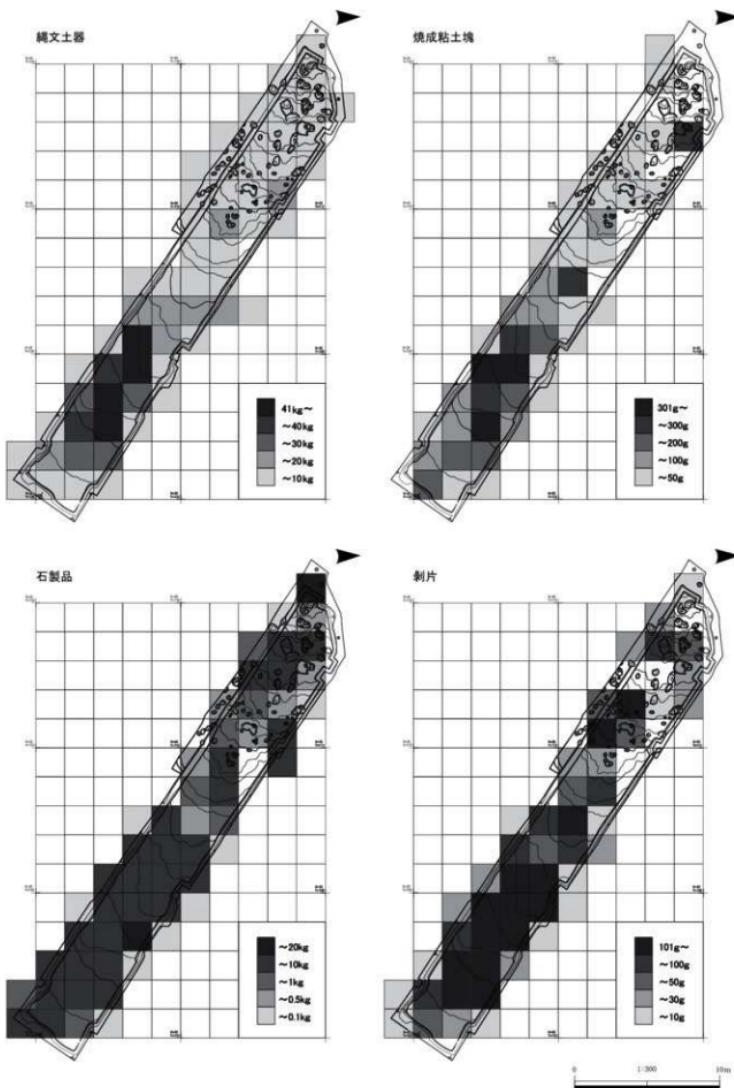
A 概要（第23・24図）

調査区全面で遺構を検出。A地区で最も盛行する時期。台地部では堅穴建物・焼土・土坑などの居住域、低地部では地点貝塚や土器捨て場など生業・廃棄域を検出し、地点によって様相が異なる。

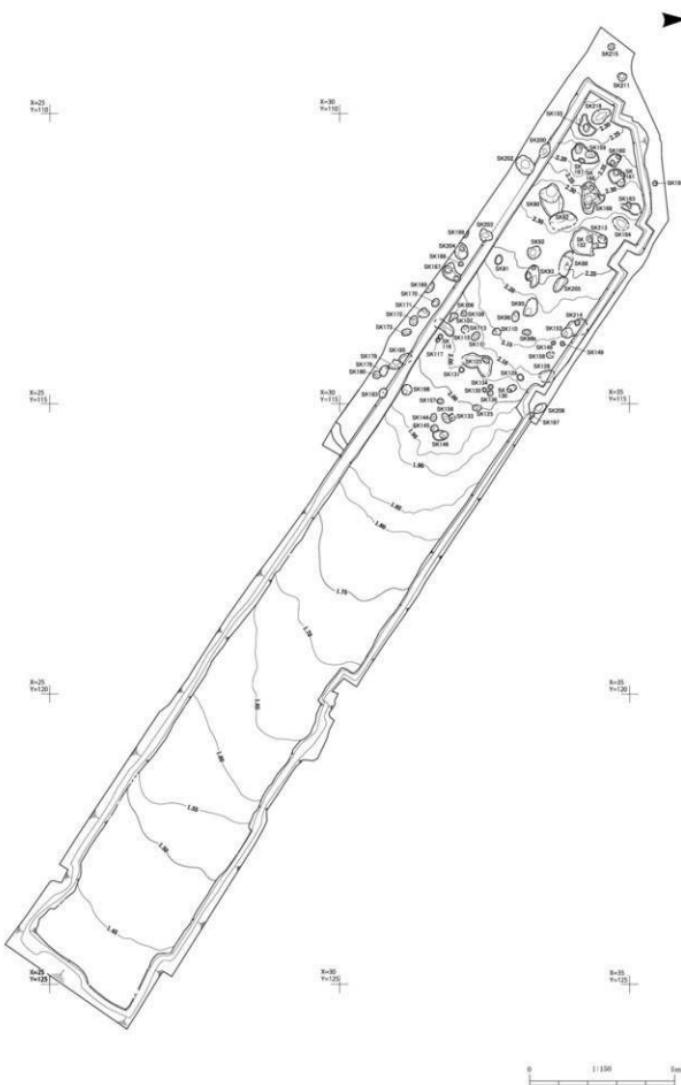
遺物の分布状況は堅穴建物の密集する台地部と低地部の2か所分かれ多い傾向にある。人工遺物の総量は繩文土器 8675 kg、焼成粘土塊 75 kg、石製品 1035 kg、骨角歯牙製品 748 g (60個)。

B 堅穴建物（第25～32図）

3 A地区の遺構・遺物

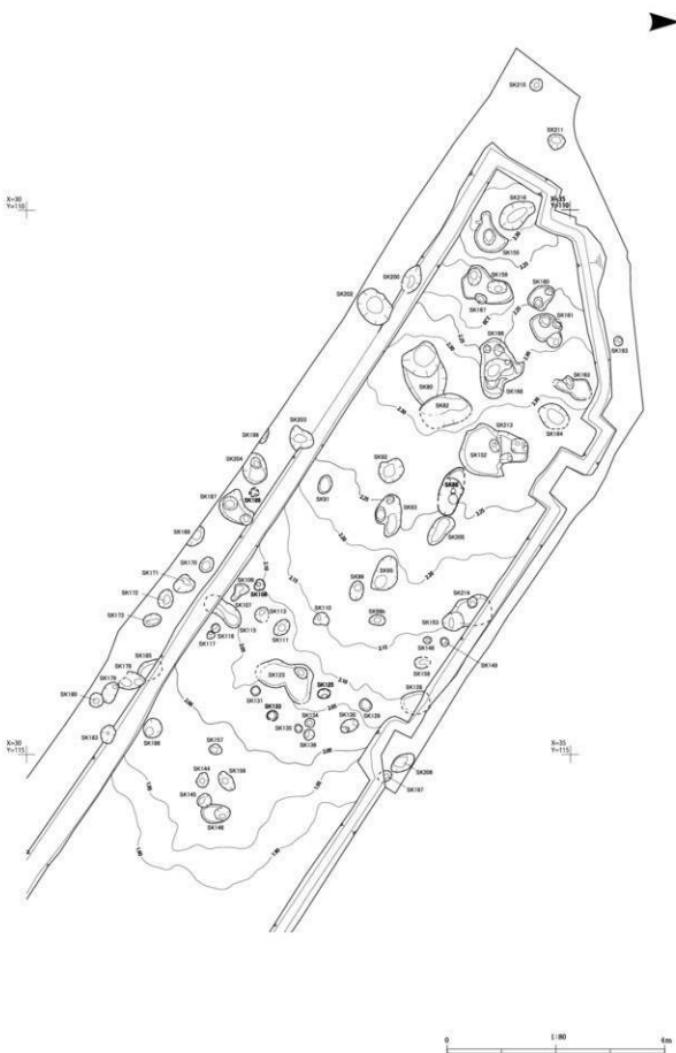


第17図 A地区 遺物重量分布図（下層）(1/300)

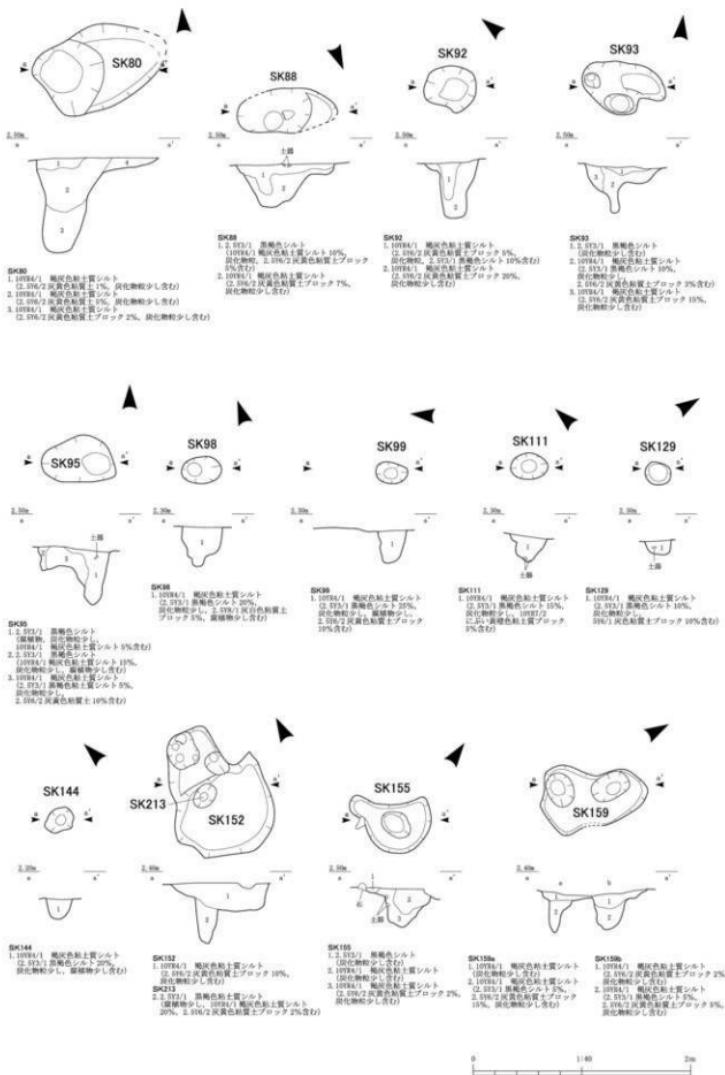


第18図 A地区 下層 遺構全体図 (1/150)

3 A地区の遺構・遺物

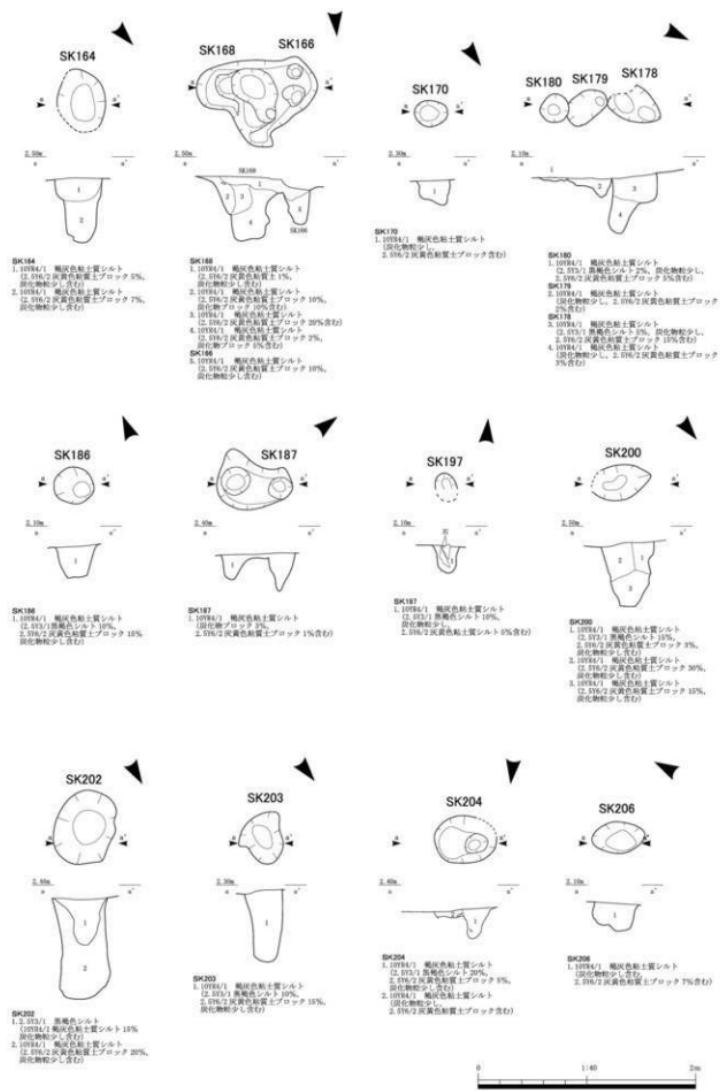


第19図 A地区 下層 土坑群 平面図 (1/80)



第20図 A地区 下層 土坑 平面図・断面図1 (1/40)

3 A地区の遺構・遺物



第21図 A地区 下層 土坑 平面図・断面図2 (1/40)



第22図 A地区 下層 建物想定図 (1/80)
土坑の長軸 50 cm以上で深さ 10 cm以内の相違で考えた場合

3 A地区の遺構・遺物

調査区北側の台地部で9棟の竪穴建物をⅢb層上面で検出。掘り込みの深い(S I 3・4・7)と浅い(S I 1・5・6・8~10)がある。

第1号竪穴建物 (S I 1, 第 26・27・50~52・88・90・93~96・98・103・105 図)

長軸4.36m、短軸4.30mの不整形。南西部が調査区外。深さは掘り方底面まで最大26cm、床面まで最大14cm。床構造は、まず荒掘り(掘り方)後、炭化物を含む黒褐色シルト層約4cmと黄橙色~褐灰色シルト層約4cmを互層にして敷き貼床としている。貼床面上には足の踏み場のないほど多くの縄文土器が破片で出土。炉はないが、中央部に炭化物の多く入る穴が3基(P 1・3・4)あった。柱穴はP 5以外に明確なものはない。時期は前期後葉の規ヶ森I式期(諸磯b式新段階・刈羽式併行)。

遺物は縄文土器、土製円盤、土製块状耳飾?・焼成粘土塊・石鎌・石匙・石錐・異形石器・磨製石斧・石皿・磨石・砥石・块状耳飾・垂飾・輕石・オニグルミが出土。261~300は床面上から出土縄文土器・土製品。261~280・283は縄文地に横位隆帯貼付で規ヶ森I式。281・282は縄文施文後口縁部をヨコナデ。284は無文。285~288は縄文地横位平行沈線で刈羽式相当。289~292は鉢で無文地に沈線文。293は列孔文の浅鉢で諸磯b式新段階相当。294~300は土製品。294は土製円盤。298は土製块状耳飾か。295~297・299・300は焼成粘土塊。これらは居住・廃絶直後の遺物とみられる一括遺物。

301~326は埋土から出土縄文土器・土製品。301・302・305・306は縄文地に隆帯貼付。303・304・309は無文地隆帯貼付で規ヶ森I式。307・308・311・313は縄文地横位平行沈線。310・314は格子目文で刈羽式相当。317・318は無文地に隆帶上刻みで北白川下層IIc式相当。312・315・316・319は縄文のみ。320は平底で内外面に工具痕と種実圧痕が見える。322~326は土製品。322は勾玉状、323・324は棒状。325はミニチュア土器の鉢。326焼成粘土塊。

1063~1070は凹基無茎の石鎌。1107は擬型の石匙。1144は異形石器。1149~1152・1154・1170は磨製石斧。1182は打欠石鎌。1189は磨石。1153・1216・1217は砥石。1229・1230は装饰品で1229は块状耳飾未成品。1063・1064・1066・1068~1070・1107・1144・1149~1152・1154・1170・1216・1217・1229は床面上、1189は掘り方から出土。

第3号竪穴建物 (S I 3, 第 28・53・88・94~96・98・101・105 図)

直径約25mの不整形。深さは掘り方底面まで最大22cm、床面まで最大16cm。床構造は、荒掘り後黒褐色シルト層を敷き貼床としている。柱穴は多くあるがP 5・8~10・16の6本が主柱穴か。炉はないが、中央に炭化物の入る穴(P 1~3)がある。時期は前期後葉の規ヶ森I式期。

遺物は縄文土器・焼成粘土塊・石鎌・二次加工削片・磨製石斧・凹石・磨石・石皿・石錐・块状耳飾・丸玉。327~335は縄文土器。327は無文地小型C字爪形文。328は無文地半截竹管押引爪形文で刈羽式相当。329は羽状縄文。330・331は無文地隆帯貼付で規ヶ森I式。332はヨコナデ無文で規ヶ森II式。333は無文地横位平行沈線、334無文地コンバス文で朝日C式。335は斜行縄文のみで体部上半で屈曲し、規ヶ森II~福浦上層式か。1071は凹基無茎の石鎌。1155・1171・1173は磨製石斧。1178は石錐。1206・1208・1209は凹石。1223は块状耳飾。333・334・1173は掘り方出土で他は埋土出土。327~330・1071・1171・1206・1208・1209は埋土下層、1155はP 10、1191はP 8、1223はP 18出土では建物の時期に相当。

第4号竪穴建物 (S I 4, 第 29・53・88・94・98 図)

直径約30mの半円形で西側約半分が調査区外。深さは掘り方底面まで最大60cm、床面まで最大36cmと竪穴建物で最も深い。床構造は荒掘り後褐灰色粘土質シルト層を敷き貼床としている。柱穴は小さなものが多くあるがP 6~8が深く主柱穴になるものとみられる。炉はない。時期は前期後葉の規ヶ森I式期。

遺物は縄文土器・焼成粘土塊・石鎌・石錐・磨製石斧・叩石・磨石・垂飾。336~352は縄文土器。336・

347・350・352は無文地三角隆帯貼付。342・348は縄文地隆帯上刻みで刈羽式相当。337は無文地斜行沈線。338無文地半截竹管押引状爪形文。346は縄文地半截竹管押引状爪形文で刈羽式相当。339は口縁部ヨコナデ胴部羽状縄文に耳袋状突起。345は微隆起線文で観ヶ森II式。340は無文地波状隆帯貼付。344は結節沈線文で福浦上層式。343は内面に漆が付着し漆液容器か。351は縄文地にあやくり文。349は斜行縄文。1073は凹基無茎の石鎌。1158・1160は磨製石斧。1194は叩石。336～338はP1出土ではば建物の時期に相当。341は掘り方。339・344は埋土上層出土。他は埋土出土。

第5号堅穴建物（S15、第30・88図）

長軸420mの半円形で北側の半分以上が調査区外。深さは最大13cmと浅く、貼床はない。柱穴は4本（P1～4）あるが浅い。炉は地床炉とみられる焼土を2か所もつ。時期は前期後葉の観ヶ森I式期。

遺物は縄文土器・石鎌。1075は凹基無茎の石鎌。1076は平基無茎の石鎌。いずれも埋土出土。

第6号堅穴建物（S16、第30・54図）

隅丸方形とみられる長軸0.92m、短軸0.50mのコーナー部のみ検出。深さは最大15cmと浅く、貼床はない。柱穴は1本（P1）あるが浅く、位置もぞれており不明。炉はない。時期は前期後葉の観ヶ森I式期。遺物は縄文土器。353・354は縄文土器。353は無文地隆帯貼付で観ヶ森I式。354はヨコナデ無文で観ヶ森II式。いずれも埋土出土。

第7号堅穴建物（S17、第31・54・88・100・105図）

長軸360mの半円形、南半分以上がS11に切られるか調査区外。深さは最大19cmで貼床はない。柱穴は3（P1～3）あるが浅い。炉は地床炉とみられる焼土を1か所もつ。時期は前期後葉の観ヶ森I式期。

遺物は縄文土器・土製块状耳飾・ミニチュア土器・焼成粘土塊・土製円盤・石鎌・石匙・石錐・尖頭器・二次加工剝片・磨製石斧・磨石・叩石・砥石・块状耳飾・ヒシ属。355～378は縄文土器。355・364～366・368～370は縄文地に横位隆帯貼付。356・358・376は縄文地隆帯置換の平行沈線で刈羽式相当。367は無文地横位隆帯上斜行刻み。362は無文地隆帯上爪刺突。363は無文地小型C字爪形文。371は無文地沈線間爪形文。373は無文地縱位平行沈線。375は肋骨文で諸磣a式相当。372は無文地結節浮線2。374はヨコナデ無文で観ヶ森II式。357は羽状縄文。359・377は平底。361・378は斜行縄文。360・379～381は土製品。360は土製円盤。379は線刻のある土製块状耳飾か。380はミニチュア土器。381は土器片鎌。

1077～1079は凹基無茎の石鎌。1202は叩石。1225は块状耳飾。355～360は床面直上。1202は炉。361・362はP1。363はP2出土ではば建物の時期に相当。他は埋土出土。

第8号堅穴建物（S18、第31図）

長軸430mの半円形で南側の半分以上が調査区外。深さは掘り方底面まで最大26cm、床面まで最大14cm。床構造は、荒掘り後黒褐色シルト層を敷き貼床としている。柱穴、炉はない。北西肩部に縄文土器が潰れた状態で出土。時期は前期後葉の観ヶ森I式期。遺物は縄文土器・石錐・磨製石斧が出土。

第9号堅穴建物（S19、第32・55・88図）

直径約36mの円形で南側をS11に切られ、北側は調査区外。深さは最大15cmと浅く、貼床はない。柱穴、炉はない。床面から多くの縄文土器が出土。時期は前期後葉の観ヶ森I式期。

遺物は縄文土器・土製円盤・焼成粘土塊・石鎌・磨製石斧・石皿・砥石・輕石。382～395・397は縄文土器。382・384～386・393・397は縄文地三角隆帯で観ヶ森I式。383は縄文地平行沈線で刈羽式相当。391は無文地弧状沈線の鉢。389はヨコナデ無文で観ヶ森II式。392は鋸歯状文で福浦上層式。394は無文地平行沈線間小型C字爪形文で北白川下層IIb式相当。395は無文地コンパス文で朝日C式。387は無文胴部。388は斜行縄文。390は土製円盤。396は焼成粘土塊。1080は凹基無茎の石鎌。383～388・390は

3 A地区の遺構・遺物

床面直上ではほぼ建物の時期に相当。

第10号竪穴建物（S I 10, 第32・55・97図）

長軸2.33mの隅丸方形で西側をS I 1に切られ、南側は調査区外。深さは掘り方底面まで最大15cm、床面まで最大8cm。床構造は、荒掘り後黒褐色シルト層を敷き貼床としている。柱穴はない。炉は地床がとみられる焼土の1か所。時期は前期後葉の親ヶ森I式期。

遺物は縄文土器・磨製石斧・石錐。398～409は縄文土器。398は無文地平行沈線+小型C字爪形文で朝日C式。409は縄文地平行沈線+円形沈線で諸磧a式相当。400・401・403・405・407は縄文地三角隆帯、408は無文地三角隆帯で親ヶ森I式。402は無文地平行沈線間小型C字爪形文で北白川下層IIb式相当。

406は無文地隆帯上爪形刺突で諸磧b式相当。399は羽状縄文。404は斜行縄文。1188は石錐。

C 土坑（第33図）

建物に伴うものか不明な土坑があった。特徴的もしくは遺物が出土している土坑を図化した。

第4・5号土坑（SK 4・5, 第34・56・105図）

不整形の中型。埋土は2～3層。SK 4が新しい。遺物は縄文土器・管玉。410は無文地に平行沈線間C字爪形文、411は無文地に平行沈線間C字爪形文と斜行沈線で福浦下層式。1232は管玉。

第7号土坑（SK 7, 第34・56・91図）

不整形の中型。埋土は2層。排水溝で切られる。遺物は縄文土器・石錐。414は斜行縄文地平行沈線で刈羽式沈線文類相当。415は無文地三角隆帯で親ヶ森I式。1118はY字状の石錐。

第8・11号土坑（SK 8・11, 第34図）

不整形の小型。2段掘りで柱穴状。遺物は縄文土器。

第18号土坑（SK 18, 第34・56・90図）

瓢箪形の中型。埋土は1層で浅い。遺物は縄文土器・石匙。425は非結束羽状縄文。1111は縦型の石匙つまみ部。

第36号土坑（SK 36, 第34図）

不整円形の小型。埋土は1層で浅い。遺物は縄文土器・石錐。

第50・51・52号土坑（SK 50・51・52, 第34・56・91図）

不整形の小型。埋土は1層のピット状。SK 51をSK 50・52が切る。遺物は縄文土器・石錐。441は無文地口唇部に梢円形の突起をつけ矢羽状に刻む。442は縄文地に隆帯貼付で親ヶ森I式。1119は石錐。

第56・57号土坑（SK 56・57, 第34・56図）

不整形の小型。埋土は1層のピット状。SK 56がSK 57を切る。遺物は縄文土器・石匙。443は縄文地三角隆帯貼付で親ヶ森I式。

第67号土坑（SK 67, 第34図）

不整円形の小型。埋土は1層のピット状。遺物は縄文土器。

第69号土坑（SK 69, 第34・56図）

不整形の中型。埋土は1層で浅い。遺物は縄文土器。447は非結束羽状縄文の深鉢で口唇部刻み。

第73号土坑（SK 73, 第34・57図）

不整形の中型。埋土は1層で浅い。遺物は縄文土器・石皿。449は平行沈線間小型C字爪形文で北白川下層IIb式相当。

第78号土坑（SK 78, 第34・105図）

不整円形の小型。2段掘りで柱穴状。遺物は縄文土器・管玉。1233は半欠の管玉。

第83号土坑（SK83、第34・57・90～92・94図）

不整形の中型。埋土は1層で浅い。剝片石器（石匙・石錐・二次加工剝片）が底面からまとめて出土している。遺物は縄文土器・石匙・石錐・二次加工剝片・磨製石斧。451・452は無文地平行沈線間爪形文で452は格子目文。刈羽式格子目文相当。1110は台形状に弧状の刃部がつく石匙で1120・1121はT字状の石錐。1135は大型の二次加工剝片。1157・1161は磨製石斧。

第90号土坑（SK90、第34・57図）

不整形の中型。埋土は1層で浅い。遺物は縄文土器・砥石。453は無文地平行沈線。

第105号土坑（SK105、第34図）

不整円形の小型。埋土は1層のピット状。遺物は縄文土器。

第121・122号土坑（SK121・122、第34・57・100図）

不整円形の中型。SK122がSK121を切り、深い掘り方で柱穴状。遺物は縄文土器・焼成粘土塊・叩石。458は斜行縄文の平底。1201は磨石転用の叩石。

第124号土坑（SK124、第34・57図）

不整円形の小型。埋土は1層で浅い。遺物は縄文土器・焼成粘土塊。459は斜行縄文の平底。460は無文地半截竹管押引状爪形文で諸磧b式相当。

第177号土坑（SK177、第34図）

半円形の小型。埋土は4層で柱穴状。遺物なし。

第195号土坑（SK195、第34・57・98図）

不整円形の中型。埋土は2層。遺物は縄文土器・磨石。470は縄文地三角隆帯貼付で観ヶ森I式。1190は磨石。

D 地点貝塚（第35図）

低地部にヤマトシジミの破碎貝を1～数回の単位で廃棄しマウンド状としている小貝塚が6か所あった。いずれもⅢc層上面で検出。時期は出土縄文土器から前期中（朝日C式）～後葉（観ヶ森I式）。

第1号貝層（第36・58・95図）

不整形。長軸47cm、短軸28cm、深さ51cm。地点貝塚で最小。遺物は縄文土器・磨製石斧・ヤマトシジミ（細破碎）。472は縄文土器。無文地格子目文で刈羽式相当。1172は磨製石斧。

第2号貝層（第36・58・93図）

不整形。北側を調査区外。長軸93cm、短軸55cm、深さ12cm。遺物は縄文土器・焼成粘土塊・石錐・異形石器・ヤマトシジミ（細破碎）。473～480・482は縄文土器。473は斜行縄文。474は無文で内面に爪痕。475・480は無文地隆帯貼付で観ヶ森I式。476は無文地隆帯上斜行刻みで北白川下層IIc式相当。477・478は無文地コンパス文で朝日C式。479無文平底。482は無文地小型C字爪形文で北白川下層IIb式相当。481は焼成粘土塊で刺突痕がある。1140・1145はダルマ状の異形石器。

第3号貝層（第36図）

不整形。長軸52cm、短軸34cm、深さ8cm。遺物は縄文土器・ヤマトシジミ（細破碎）・オニグルミ。

第4号貝層（第36・58・106図）

不整形。北側を調査区外。長軸124cm、短軸59cm、深さ16cm。遺物は縄文土器・叩石・骨角製品・ヤマトシジミ（細破碎）。483は無文地隆帯上円形刺突で北白川下層IIb式相当。484は内湾口縁に羽状縄文地平行沈線で諸磧a式相当。1251はサメ類製垂飾状歯牙製品。

第5号貝層（第36・58～60・86・88・90・93・94・97・98・105・106図）

3 A地区の遺構・遺物

不整形。南側を調査区外。長軸 387 cm、短軸 208 cm、深さ 18 cm。地点貝塚で最大で細破碎ヤマトシジミの他に動物遺存体や縄文土器片などが多く出土。遺物は縄文土器・石鎌・石匙・石錐・異形石器・磨製石斧・石錐・磨石・石皿・叩石・砥石・块状耳飾・動物遺存体・オニグルミ。487 は無文地コンパス文、488～491・506 は大型爪形文、511 は羽状縄文地平行沈線で朝日 C 式。485～526 は縄文土器で 485～505 は下層出土。485・486・509 は無文地肋骨文、519 は無文地押引状爪形文を菱形状で諸磈 a 式相当。507・508 は無文地小型爪形文で北白川下層 II b 式相当。492・493 は無文地平行沈線間爪形文、517 は無文地押引状爪形文、518 は無文地継縦平行沈線、524・526・1026 は木葉状文の浅鉢で諸磈 b 式相当。495・512・516・520・521 は格子目文で刈羽式相当。497・1027 は無文地梯子状隆帶上斜行刻みで北白川下層 II c 式相当。513 は縄文地隆帶上押引状突刺で刈羽式相当。496・498・499・501・514・515 は非結束羽状縄文。500・504・522・523 は斜行縄文。503 は無文。502 は斜行縄文の平底で底面に工具痕。505 無文地に継位沈線の平底。525 は無文の平底で底面に種実痕。527～534 は土製品。527～532 は土製円盤。533 は棒状土製品。534 は焼成粘土塊。

1081～1084 は石鎌で 1084 は平基無茎で他は凹基無茎。1108 は梢円形の刃部につまみがつく石匙。1139 は両尖匕首状の異形石器。1162・1164 は磨製石斧。1186 は打欠石錐。1193 は側面研磨の特殊磨石。1224 は半欠の块状耳飾。

1236 は刺突具 I の先端か。1239 は上端に擦り切痕があり刺突具 II か。1241 は基部に抉りがあり彫刻不定形垂飾か。1245 は組み合せ式釣針の鈎部。1254 はイノシシ製垂飾状歯牙製品。

第 6 号貝層（第 36 図）

不整形。長軸 49 cm、短軸 61 cm、深さ 6 cm。遺物は縄文土器・ヤマトシジミ（細破碎）。

第 7 号貝層（第 36・61・88・106 図）

不整形。長軸 120 cm、短軸 92 cm、深さ 13 cm。遺物は縄文土器・石鎌・磨製石斧・骨角製品・ヤマトシジミ（細破碎）・オニグルミ・ヒシ果実・糞石。535～548 は縄文土器。535 は縄文地半截竹管押引状爪形文、544 は縄文地平行沈線で刈羽式相当。545 は無文地半截竹管押引状爪形文で諸磈 b 式相当。542 は縄文地隆帶貼付で刈羽式相当。536～540 は非結束羽状縄文。541・547 は斜行縄文。546 は小型無文の鉢。548 は無文平底。1085・1086 は凹基無茎の石鎌。1237 は基部欠損で刺突具 I か。1238 は一部欠損でヤス状刺突具か。

第 8 号貝層（第 35・61・96 図）

不整形。長軸 50 cm、短軸 44 cm。遺物は縄文土器・土製品・石錐・ヤマトシジミ（細破碎）。

549 は焼成粘土塊。1181 は打欠石錐で側面に敲打痕があり叩石の転用か。

第 9 号貝層（第 36・99 図）

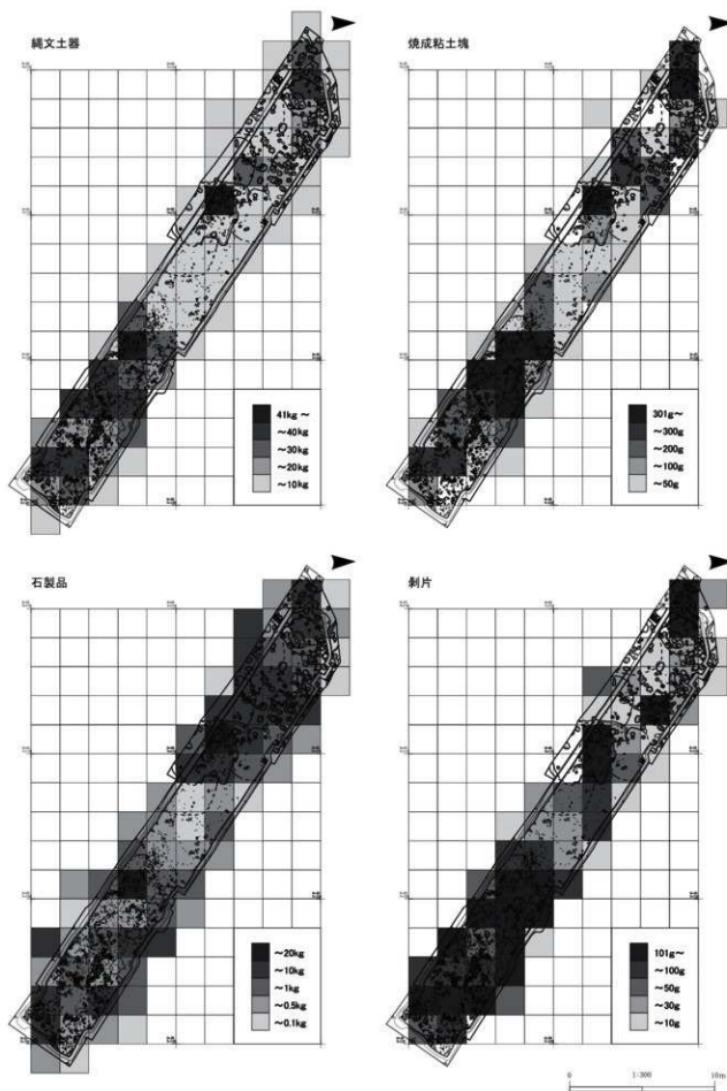
断面のみ確認全容は不明。深さ 34 cm。遺物は縄文土器・磨石・ヤマトシジミ（細破碎）。1198 は梢円形の磨石。

E 炭化物集中地點

低地部に炭化物を集中して廃棄していた地点が 1 か所あった。

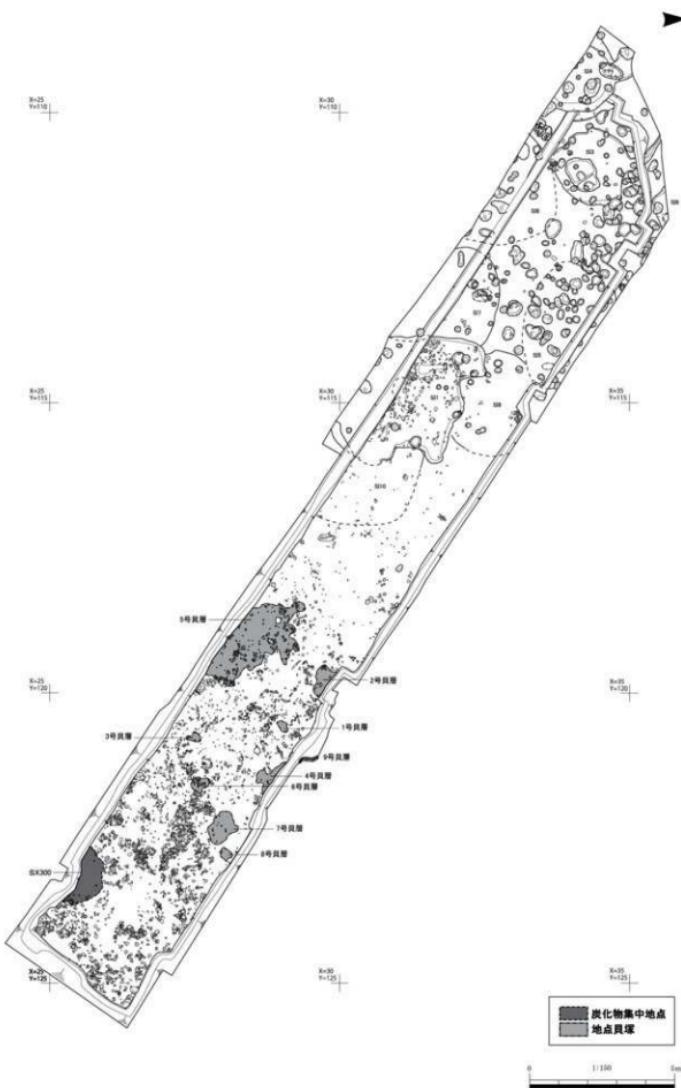
第 300 号炭化物集中（S X300、第 24・35・36・62・86・89・90・94・100・104 図）

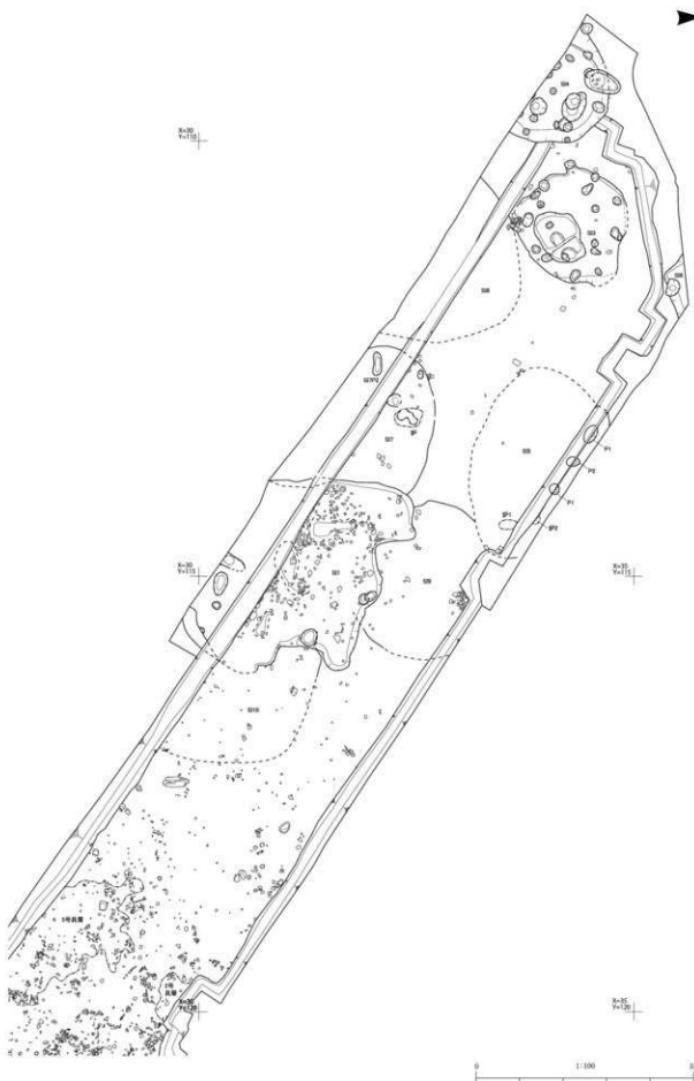
黒色シルトに炭化植物（主にクリ）や炭化物が多く入った浅い窪み。半円形で南側が調査区外。III c 層上面で検出。遺物は縄文土器・石鎌・石匙・磨製石斧・叩石・石皿・クリ・オニグルミ・カラスサンショウ。550～564 は縄文土器。550・551 は縄文地隆帶貼付で観ヶ森 1 式。552・1028 は無文地梯子状隆帶上斜行刻みで北白川下層 II c 式相当。555 は無文地半截竹管押引状爪形文で諸磈 b 式相当。553・554・556・557・559・561 は非結束羽状縄文。560・562 は羽状縄文平底。563 は無文平底。564 は斜行縄文平底。565～567 は土製品。565 は棒状土製品。566・



第23図 A地区 遺物重量分布図（中層）(1/300)

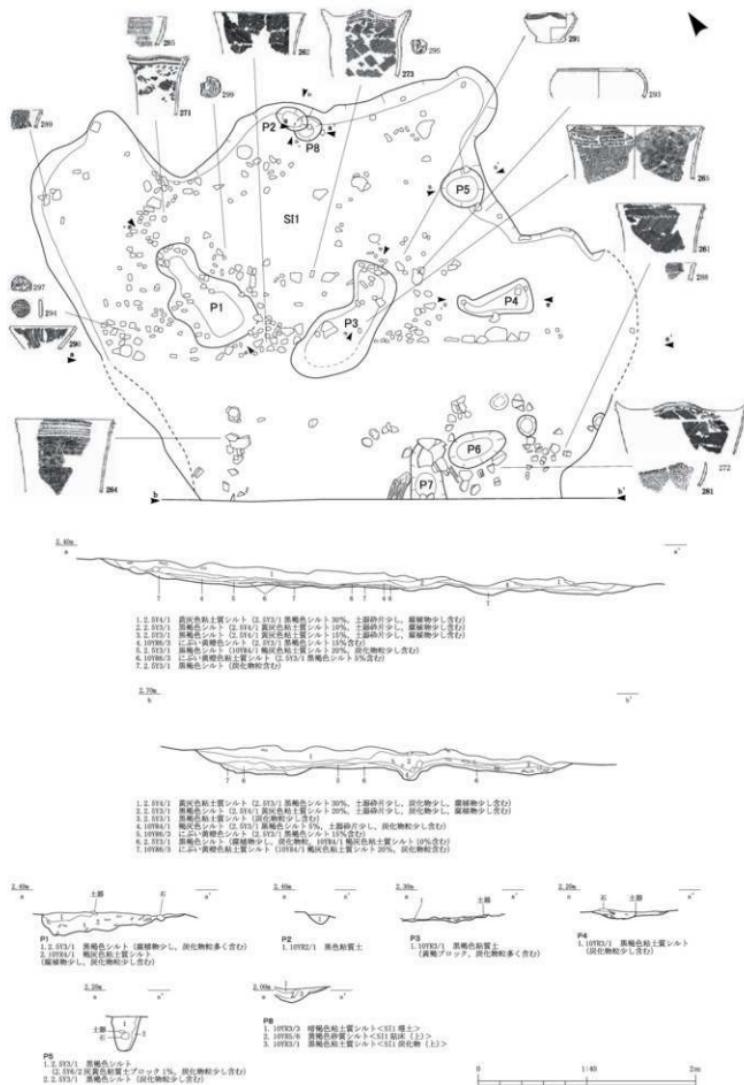
3 A地区の遺構・遺物



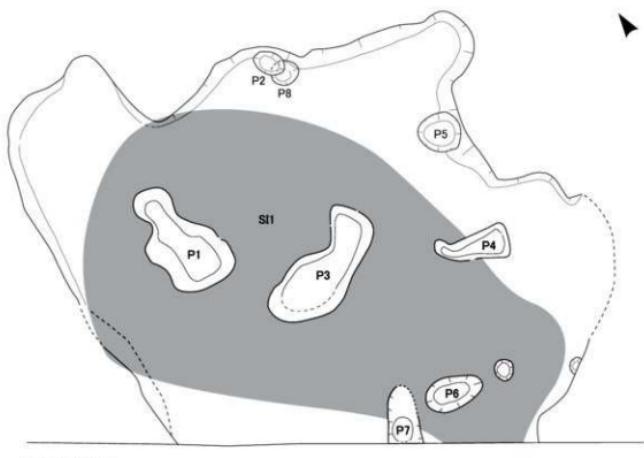


第25図 A地区 中層 建物群配置図 (1/100)

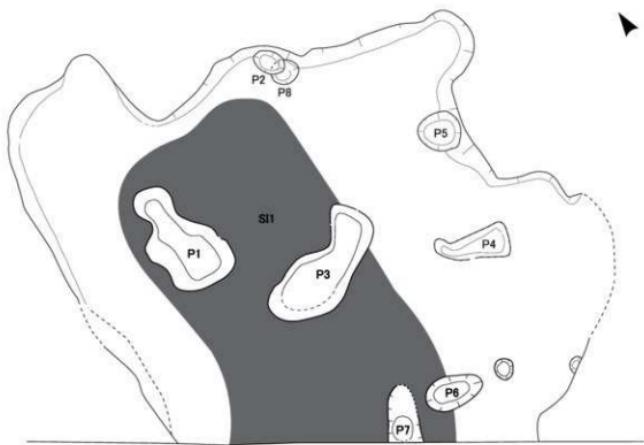
3 A地区の遺構・遺物



第26図 A地区 SI1 平面図・断面図 (1/40)



SI1 貼床範囲

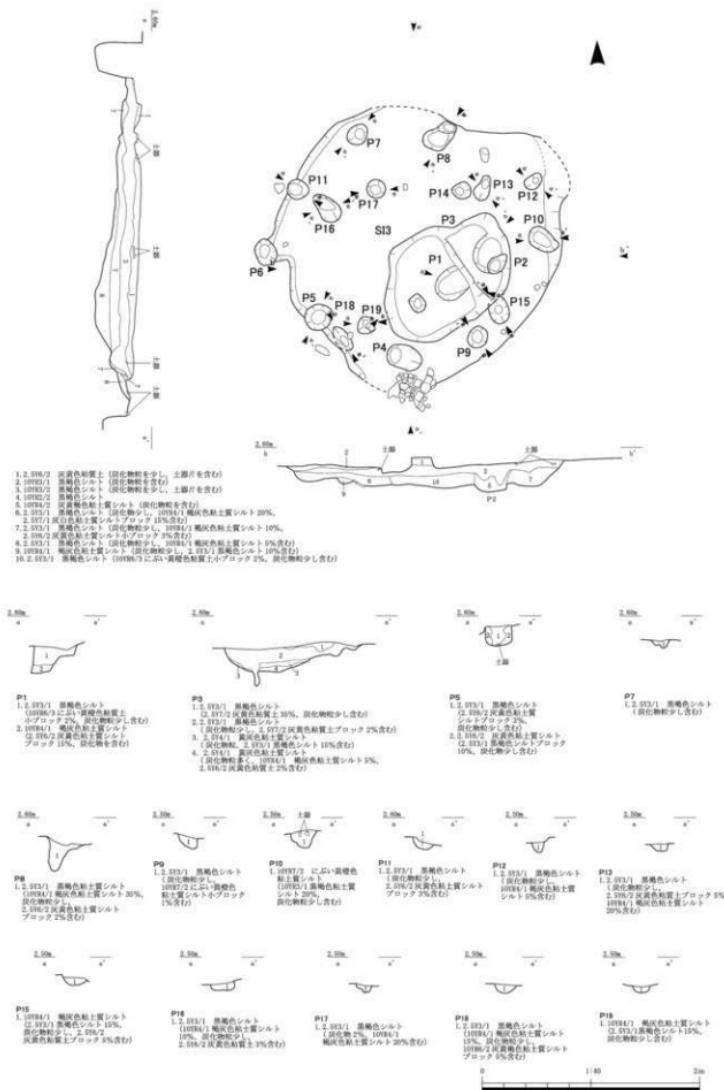


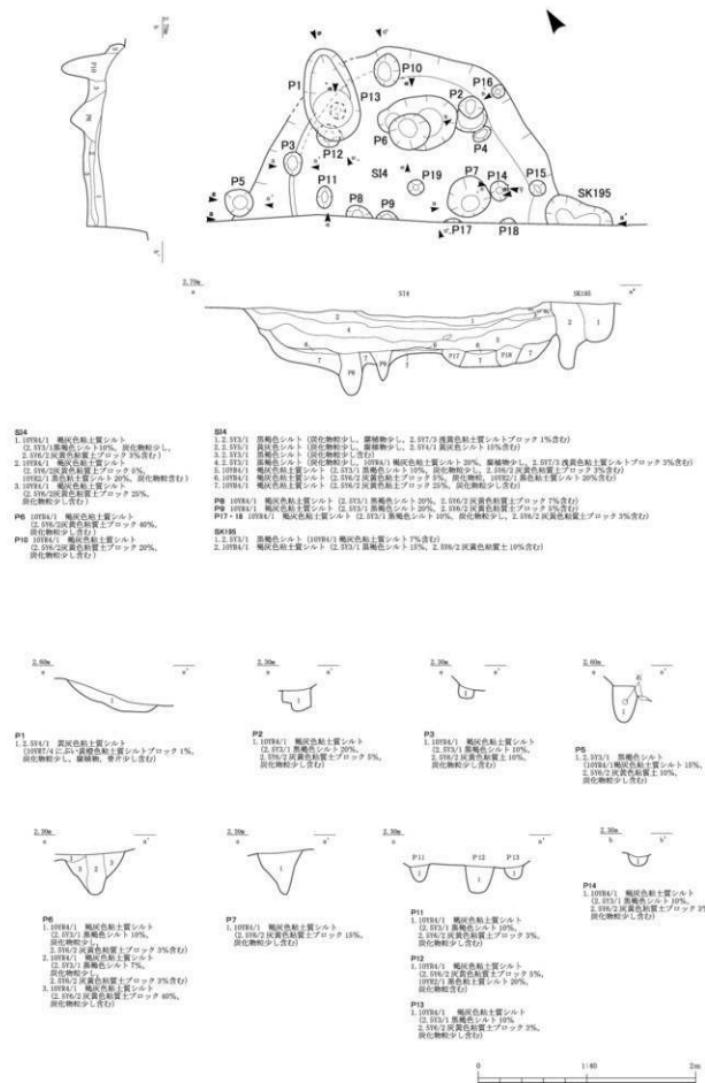
SI1 貼床下炭化物層範囲



第27図 A地区 SI1 貼床・炭化物層 平面図 (1/40)

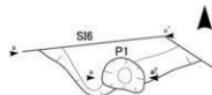
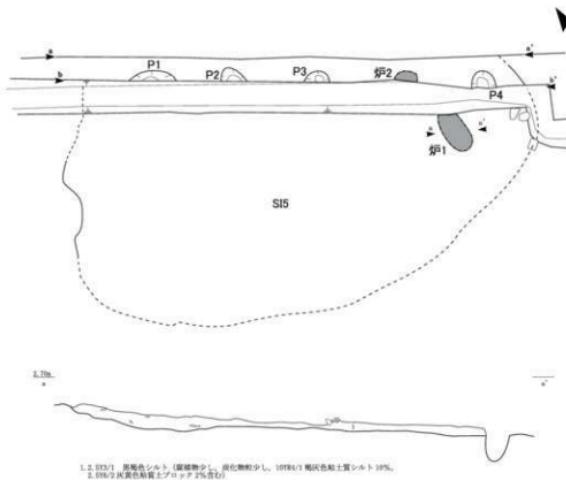
3 A地区の遺構・遺物





第29図 A地区 SI4 平面図・断面図 (1/40)

3 A地区の遺構・遺物



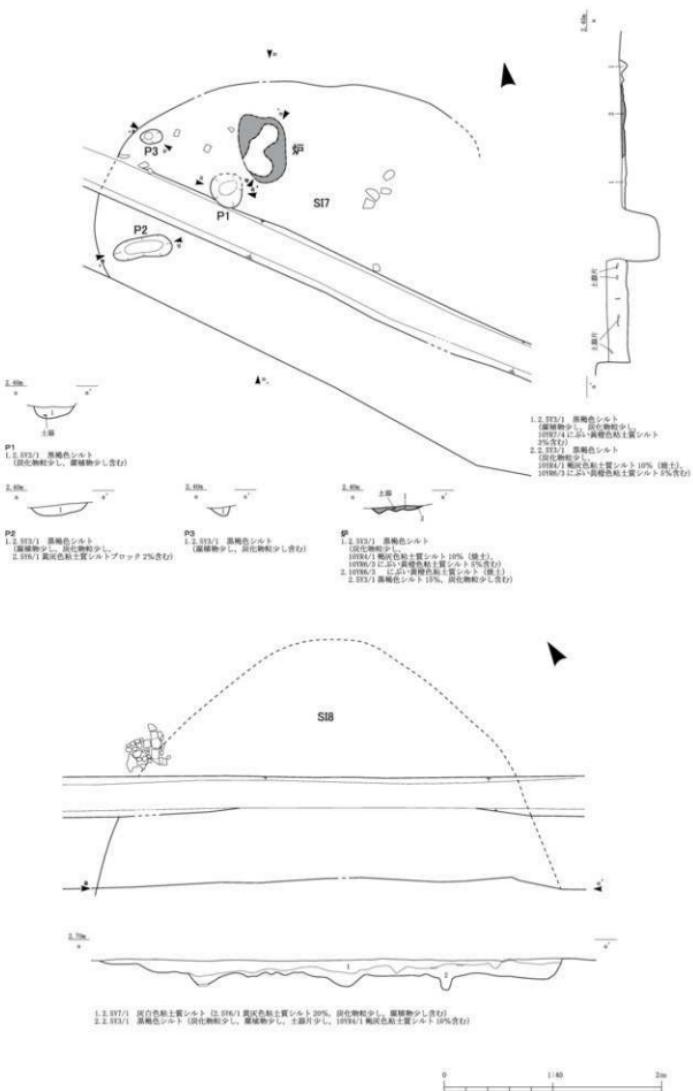
1. 10TB_{0.2} 沖縄褐色細粒土 (2.5% / 黒褐色シルト 10% 含む)
 2. 5TB₁ 沖縄褐色シルト (腐化物粒少し。腐殖物少し。土壌鉢片少し含む)
 3. 10TB_{0.1} 沖縄褐色土質シルト (2.5% / 黑褐色シルト 15%、腐殖物少しある)



P1
1.2. ST3/1 黒褐色シルト
(10TR4/1) 黒灰色粘土質シルト 10%
腐植物質少し、無機物質少し含む

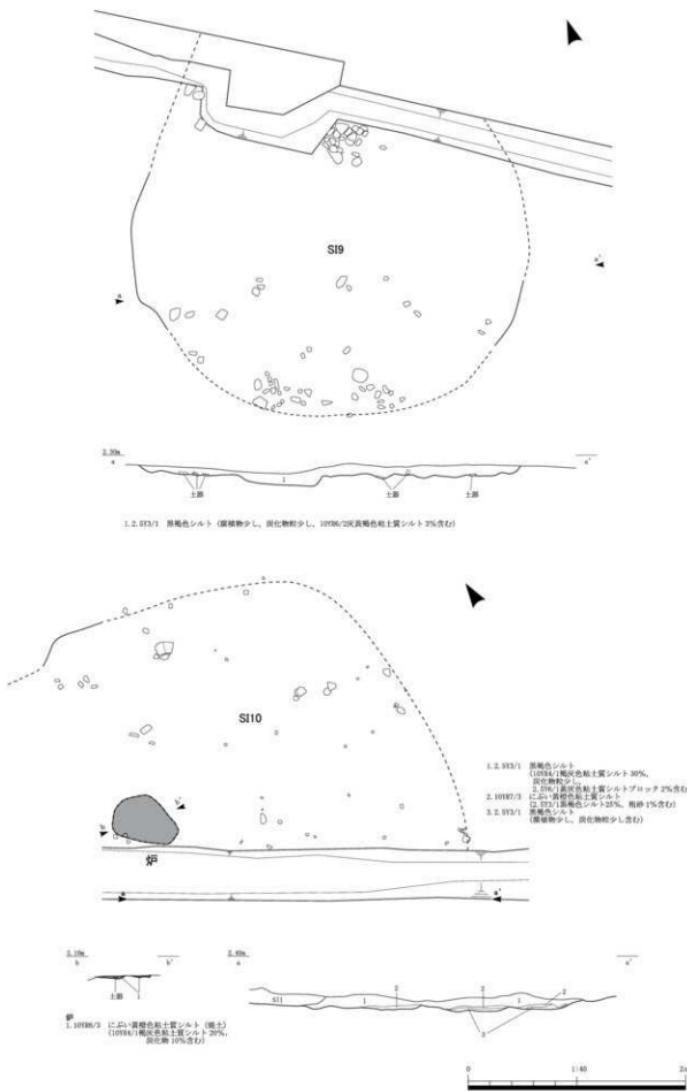


第30図 A地区 SI5・6 平面図・断面図 (1/40)

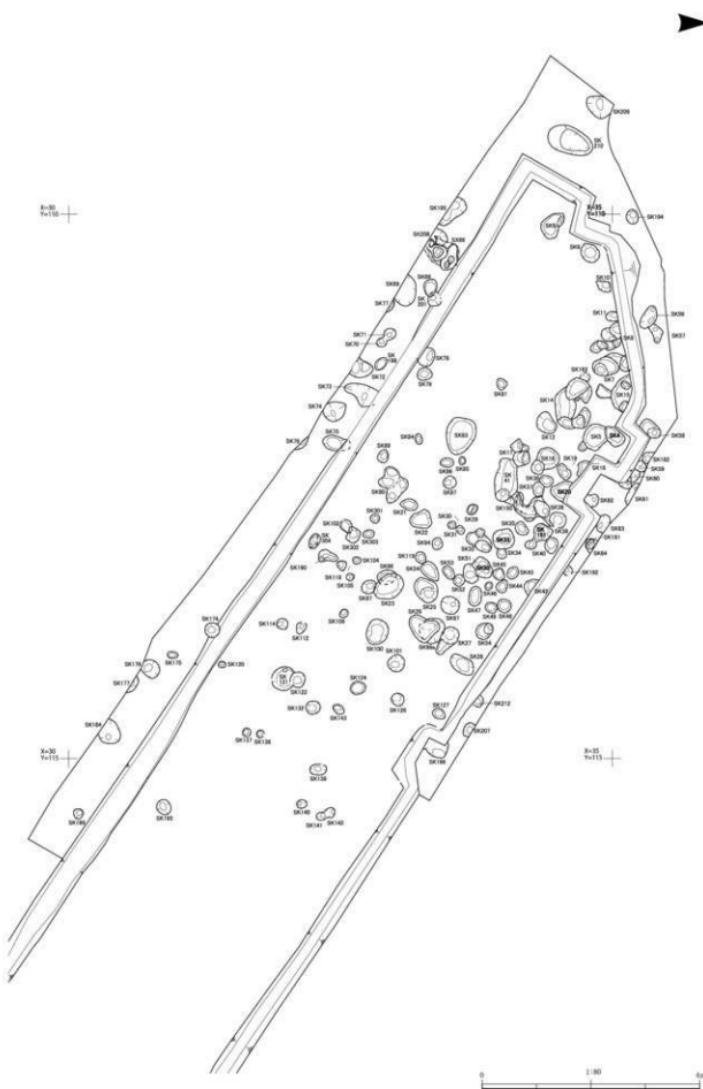


第31図 A地区 SI7・8 平面図・断面図 (1/40)

3 A地区の遺構・遺物

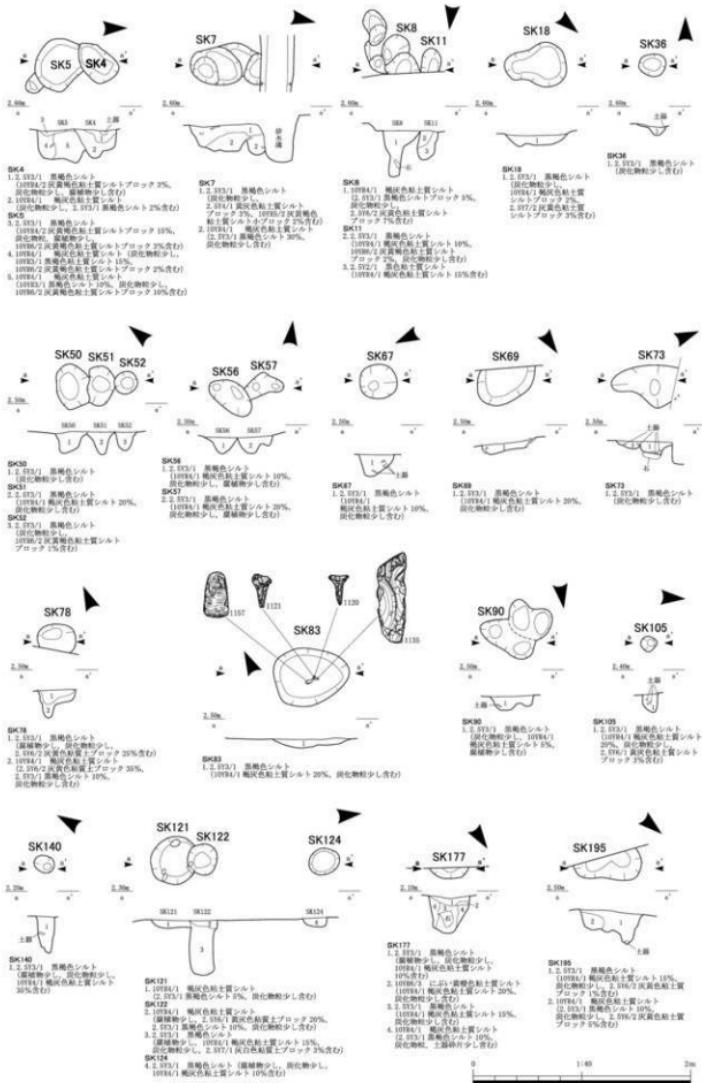


第32図 A地区 SI9・10 平面図・断面図 (1/40)



第33図 A地区 中層 土坑群 平面図 (1/80)

3 A地区の遺構・遺物

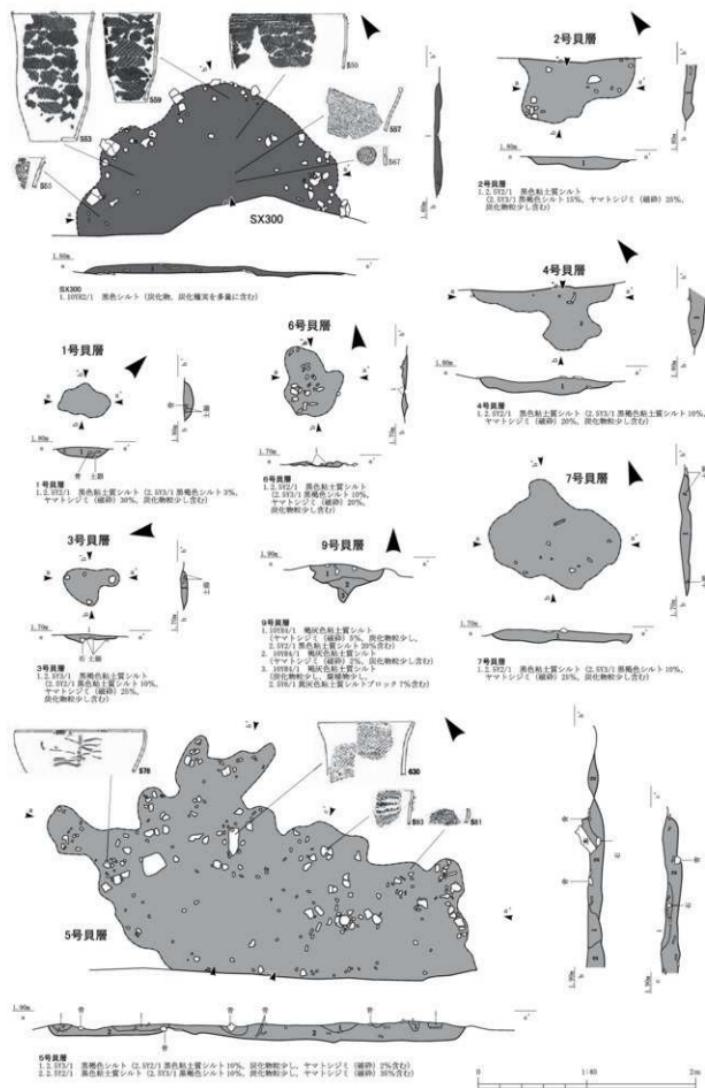


第34図 A地区 中層 土坑 断面図 (1/40)



第35図 A地区 低地部 遺構群 平面図 (1/80)

3 A地区の遺構・遺物



第36図 A地区 SX300、地点貝塚 平面図・断面図 (1/40)

567 は土製円盤。1087 は凹基無茎、1088 平基無茎の石鏡。1114 は半欠の石匙。1159 は磨製石斧。1200 は磨石転用の叩石。1220 は石皿。

F 遺物包含層

Ⅲ b 層を基本とするが、Ⅲ a 層の下部やⅢ c 層の上部にも一部流入しおり、層の分化が難しい低地部で点上げした遺物（Ⅲ b～IV 層出土）はここで扱う。

a 繩文土器（第 63～74・86・87 図）

布目式相当～観ヶ森 II 式が出土。568～671・1049 は低地部のⅢ b～IV 層の点上げ資料。568 は結節回転文の深鉢。IV 層に突き刺さて出土し、A 地区最古の布目式相当。569 は無文地平行沈線+コンバス文、570～575 は大型爪形文で朝日 C 式。576 は無文地矢羽状・平行沈線間小型 C 字爪形文で北白川下層 II b 式相当。577～579 は肋骨文。580 は綾状沈線文で諸磧 a 式相当。581 は無文地弧状沈線文。582 は無文地小型 C 字爪形文+縦位沈線文、625 は浮線文、626・627 は有孔浅鉢で諸磧 b 式相当。583・586～588・624 は格子目文、584 は繩文地半截沈線文。585 は無文地押引状沈線文、611・613・615 は繩文地平行沈線で刈羽式相当。589・597 は無文地梯子状隆帶上斜行刻み、598～600 は繩文地隆帶上繩文で北白川下層 II c 式相当。591 はイノシシの歯面突起で諸磧 b 式中段階。590・592～596 は繩文地隆帶刺突で刈羽式相当または観ヶ森 I 式。601～610・614 は繩文地隆帶貼付、612・616・619・620 は無文地隆帶貼付で観ヶ森 I 式。617・618・621・629～647 は非結束羽状繩文。648～655 は斜行繩文。666 は斜行繩文をナデ消す。656・658・660 は羽状繩文平底。657・659・661・662・668 は斜行繩文の底部で 668 は下げ底気味で他は平底。623・665・667・670・671 は無文の底部で 665 が下げ底気味で他は平底。622 は無文浅鉢。628 は上部無文、下部繩文の浅鉢。1049 は内湾浅鉢で赤彩。

672～781・784 はⅢ b 層出土。672～681・694 は繩文地隆帶貼付、682～684・686～691・693 は無文地隆帶貼付で観ヶ森 I 式。692 は無文地波頂部突起、697・698 はヨコナデ無文で観ヶ森 II 式。695 は無文地弧状沈線。699～703・705～707・709 は繩文地隆帶上刺突で刈羽式相当。708・712 は繩文地梯子状隆帶上斜行刻み、710・713 は繩文地隆帶上繩文で北白川下層 II c 式相当。714～717・725 は繩文地平行沈線、718・719・722・723 は格子目文、720・721・724・726・727 は半截竹管押引状爪形文で刈羽式もしくは諸磧 b 式相当。728 はイノシシの歯面突起で諸磧 b 式中段階。729 は無文地渦巻状沈線文の鉢。730・731 は無文地刺突文。732 は肋骨文+コンバス文、733 は肋骨文+刺突文、735・736 は綾状沈線文で諸磧 a 式相当。734 は無文地平行沈線。739・741 は無文地 D 字爪形文、742 は大型爪形文、743 は無文地コンバス文で朝日 C 式。737 は羽状繩文地小型 D 字爪形文。738 は無文地弧状沈線文。740 は無文地半截竹管押引状爪形文。745～748 は内湾浅鉢で諸磧 b 式相当。749～766 は非結束羽状繩文。767～769・771～775 は斜行繩文。776・777 は無文。778～781 は繩文平底で 779・781 は工具痕、780 は種衷圧痕。

1029 は入組文、1034・1045 は列孔文の赤彩浅鉢で諸磧 b 式相当。1035・1040～1042 は有文の内湾浅鉢で赤彩。1043・1048・1054 は外反赤彩浅鉢で北白川下層 II c 式相当。

b 土製品（第 74 図）

782～787 は土製円盤。788・789 はミニチュア土器。790～794 は焼成粘土塊。

c 漆（第 87 図）

1062 は漆塊。土器などの容器付着物が剥落したものか。

d 石製品（第 89～97・99～105 図）

台帳記入で 589 点。石鏡 148、磨製石斧 117、軽石 43、二次加工剥片 40、石匙 36、石皿 33、石錐 32、石錐 30、砥石 25、磨石 24、叩石 17、玦状耳飾 16 点の順に多い。

3 A地区の遺構・遺物

1097～1101・1103・1141は石鎚で凹基無茎。1103は側面左右を抉る。1141は十字状。1104・1106・1115は石匙で1104・1106は縦型。1115は横型。1125・1126は石錐。1129は尖頭器で押出型に近い。1137は二次加工剥片。1146は異形石器。1165は磨製石斧。1177は打製石斧の基部。1227は球状耳飾。

e 骨角歯牙製品（第106図）

1242は彌形角製品で1243は骨角未成品。1244はイノシシ牙製単式釣針。1246・1253は髪針の基部か。1248は両面列点刺突の札状加工垂飾。1250はトリ製管玉。

f 動物遺存体（第二分冊18山崎他報文）

現地調査ではイルカ類、イノシシ、ニホンジカが目についた。詳細は山崎他報文。

f 植物遺存体（第二分冊14金原報文）

現地調査ではオニグルミが目についた。詳細は金原報文。

（3） 繩文時代前期末葉（上層）

A 概要（第37・38図）

調査区の北側（台地部）で竪穴建物1棟、焼土2、土器集中地点を検出。南側の低地部には遺構はない。遺物はⅡ層下～Ⅲa層直上で台地部に多く出土。遺物の分布状況は地区内ほぼ同じく出土する傾向にある。人工遺物の総量は繩文土器6678kg、焼成粘土塊25kg、石製品45.7kg、骨角製品33g（4点）。

B 竪穴建物

第2号竪穴建物（S I 2、第39・75・89・90・92・94図）

長軸412m、短軸391mの不整円形。深さは13cm。付属施設はピット16、焼土3。小型で浅い掘り方が多く、主柱穴とはなり得そうもない。地床炉とみられる焼土が一つ。他に焼土が二つあるがこれに伴うかは不明。浅い掘り込み。遺物は繩文土器、土製円盤、焼成粘土塊・石鎚・石匙・磨製石斧・石皿・軽石。時期は前期末葉の観ヶ森II～福浦上層式期。

796～804は繩文土器。795はヨコナデ無文の観ヶ森II式。796は斜行縄文で口唇部内面伸長し、観ヶ森II～福浦上層式。797は結節浮線文+鋸歯状文と繩文地連弧状隆帶上縄文、798は鋸歯状文+結節浮線文、801は半隆起線文？で福浦上層式。799は無文地隆帶上刻み、803は無文地半截竹管押引状爪形文で刈羽式相当。800は繩文地三角隆帶で観ヶ森I式。802は斜行縄文で口唇部も斜行縄文。804は無文平底。

1090・1091は石鎚で1090は凹基無茎、1091は平基無茎。1109は石匙。1132は菱形状の小型尖頭器。1156は磨製石斧。

C 土器集中地点

台地部で土器が同一面にまとまって出土した地点が1か所あった。

第1号土器集中地点（第40・76図）

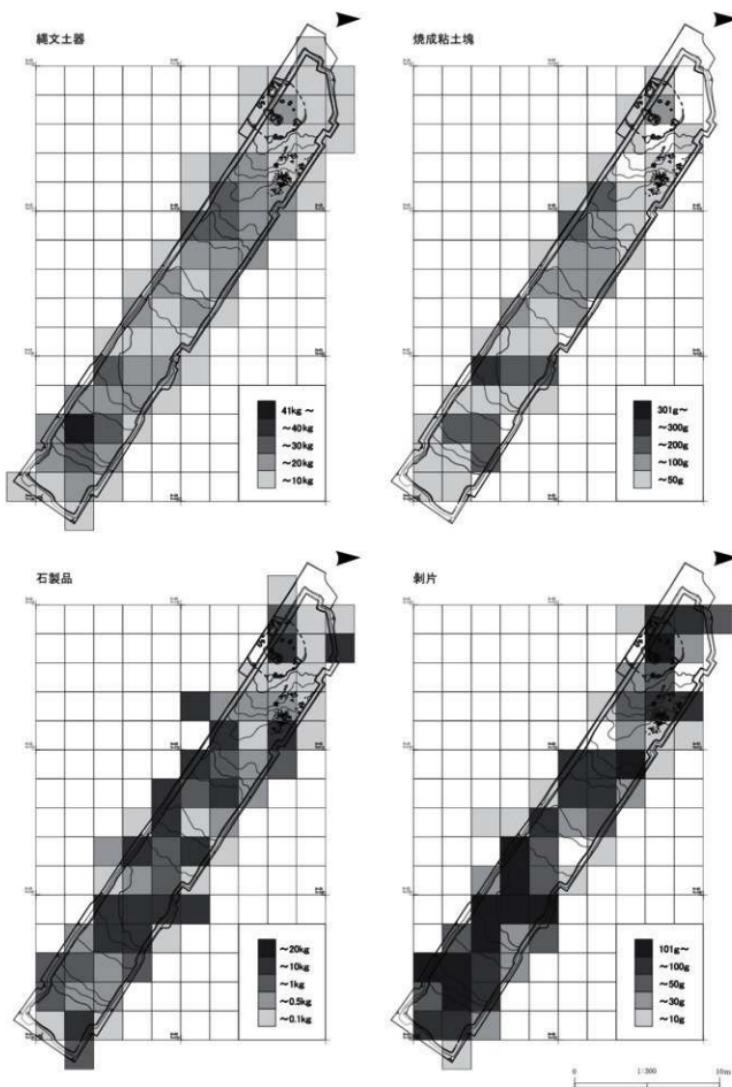
調査区の北側で福浦上層式土器が潰れた状態で約10点がまとまってみつかった。廃棄後すぐに埋まったようでⅡ層にパックされ良好な状態で出土した。一部は確認調査時に出土している。遺物取り上げ時に23個体を確認。型式では観ヶ森II～福浦上層式があるが同一レベルでまとめており同時期の一括資料。

805・807はヨコナデ無文の観ヶ森II式。806・808・809・818・819は半隆起線文、810は羽状縄文地にソーメン状隆帶、811・812は結節浮線文、813～815・817・820は鋸歯状文、816は結節沈線文、821は無文地隆帶上縄文で福浦上層式。

D 遺物包含層

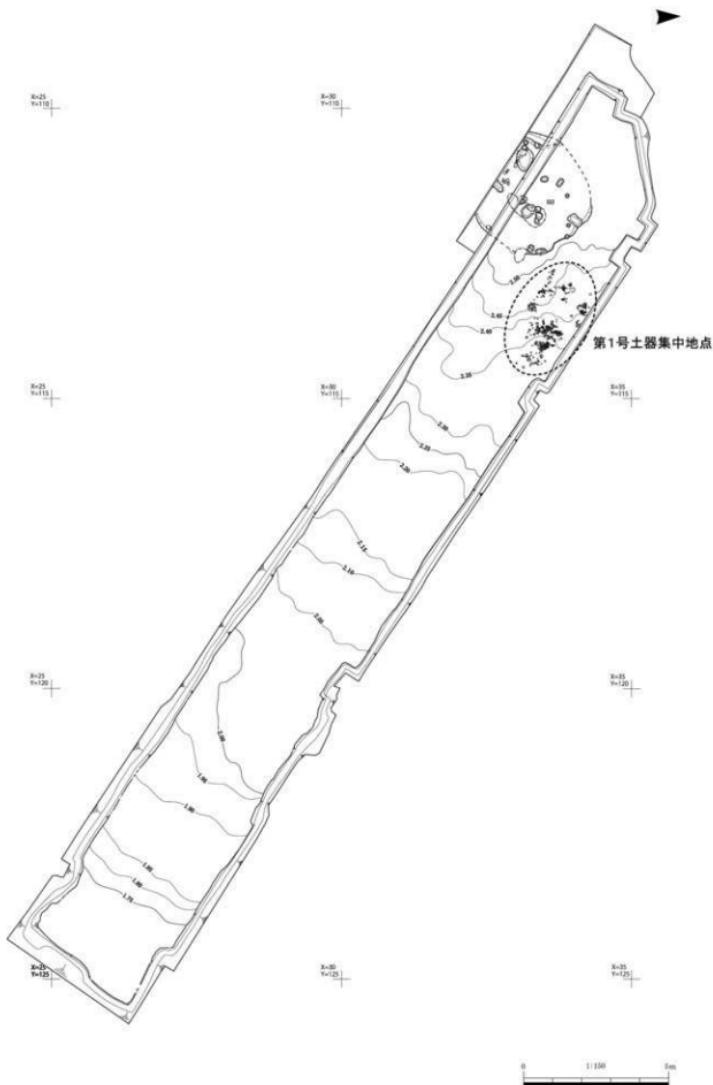
Ⅱ～Ⅲa層を基本とするが、Ⅲb層の上部にも一部流入している。

a 繩文土器（第77～87図）

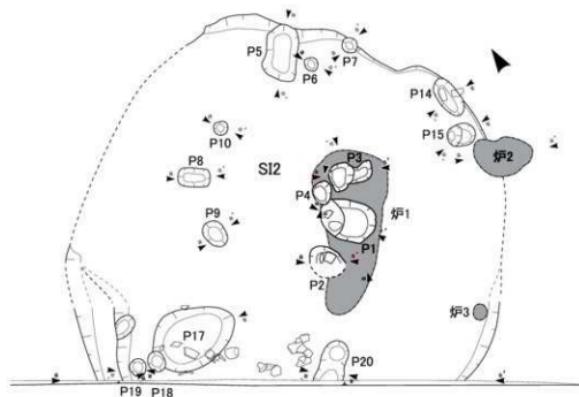


第37図 A地区 遺物重量分布図（上層）(1/300)

3 A地区の遺構・遺物



第38図 A地区 上層 遺構全体図 (1/150)



1.3.837/1. 鹽白熱點土壤化土 (3.838/1. 鹽白熱點土壤化土 30% 鹽化物質之1. 鹽酸鹽水之1.3%)



1. 2. ST3/1 黒褐色シルト
2. 100ST/4 に5% 黄褐色粘土質シルト〔堆土〕
(2. ST3/1 黒褐色シルト 2. ST3/1 黄褐色シルト 25%、炭化物粒少し含む)
3. 2. ST3/1 黒褐色~2. 回り1 黑褐色シルト
〔堆土の他〕、100ST/6.17% 黃褐色粘土質シルト 小さび 2 ~ 3% 含む)

伊2

1. 303M7/4 にぶい 黄褐色地土質シルト (地土)

(鉄物質少し、2. 5% / 黄褐色シルト 20% 含む)

2. 303V3/1 黄褐色シルト (鉄物質含む)

3. 303V3/1 黄褐色シルト

(鉄物質少し、2. 10% / 黄褐色地土質シルト 10%



P1

1. 100%3/2 黒褐色シルト

(100%)に少い黒褐色粘質土(黒土)を
ブロック粒に2%、炭化物質を多く含む)

P2
1. HYD1/1 黒褐色シルト
(剪土粒と炭化物粒を含む)

1103/1 黑褐色シルト
炭化物粒を少
1103/2 にぶい黒褐色粘質土
ブロック 3%含む
1104/1 黑褐色粘土質シルト

P4	P5
1. 10103/1 黒褐色シルト (0)005/2 天藍青兩色粘土質シルト ブロック 10% 水化物質なし,	1. 10103/1 黒褐色シルト (0)004/1 天藍青兩色粘土質シルト 10%

P5

1. 3000J/1 黒褐色シルト
(炭化物鉱物少)、
1000J/1 開成色粘土質シルト 10%
礫砂土層(少)含む)
2. 3000J/1 黒灰褐色粘土質シルト



P6
1.2.5Y3/1 黒褐色シルト
(炭化物鉱々土含む)

P7

IP9
L. 10VR3/1 黑褐色
(碳化物较少)

PIG
L. 10933/1
碳化物類

ト P14
1.2.5/3/1 黒褐色シルト
(炭化物粒少し) 2.0/6/2



P15
1.2.93/1 黒褐色シルト
(19934/1) 極灰色粘土質シルト 25%
泥炭質砂 1%。

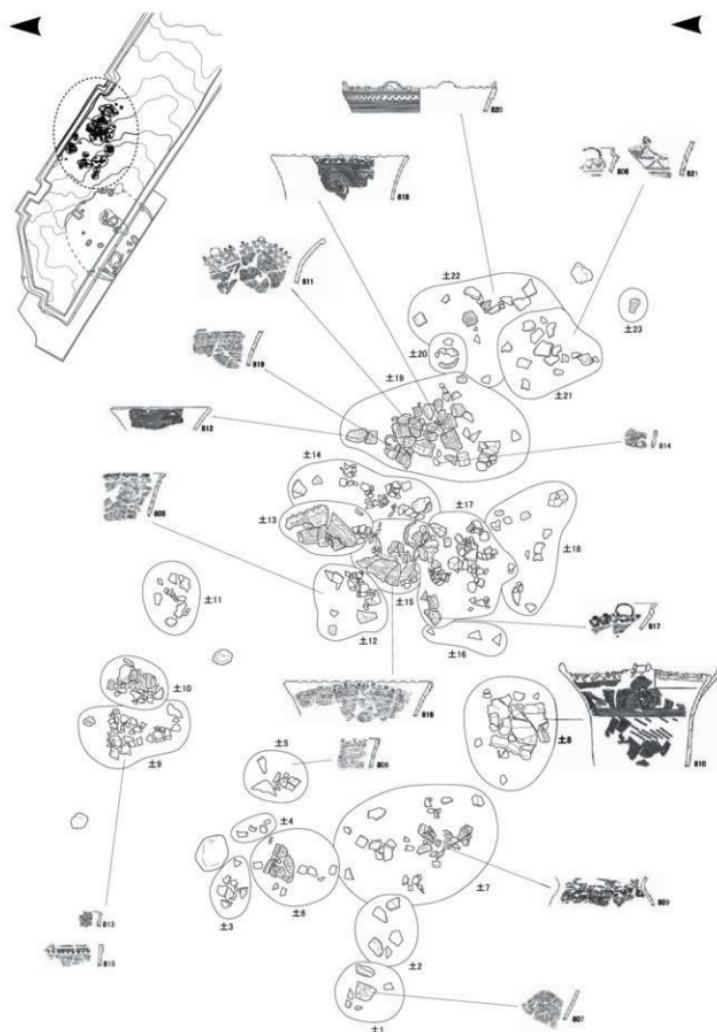
1.2.5V7/1 灰白色紙上質シルト
 (2.5V4/1 黒灰色シルト2%、炭化物粒少し含
 有)
 2.2.5V6/1 黒灰色紙上質シルト
 (2.5V2/1 悪褐色シルト15%、炭化物粒少し、
 鹿鳴鉄を含む)

L 2.5V/1 灰白色
(2.5V/1 黑褐色)
炭化物粒少し含む)

1.2.5(7/1) 灰白色粘土質シルト
(2.5(3/1) 黑褐色シルト 10%、
腐植物少し含む)

第39図 A地区 SI2 平面図・断面図 (1/40)

3 A地区の遺構・遺物



埠頭 番号	遺物	遺構	種類	平面形	規模(cm・m)				出土遺物	gt	特記事項
					長さ	幅	深さ	面積			
8	SII	SII	柱穴遺物	不整	4.36	(4.3)	0.26	41.67	城文土器・土製円盤・土製筒状瓦 陶・他成形土塊・石器・石器・石器・石器 ・無形石器・磨制石器・石器・磨 石・鐵石・块状石器・磨石・鐵石	>SII-SII-SII。粘床有 旧SK1 >P8	
	P1	柱穴	不整	1.30	0.63	0.21					
	P2	柱穴	椭円	0.30	0.20	0.09					
	P3	柱穴	不整	1.24	0.57	0.04					
	P4	柱穴	不整	0.69	0.32	0.08					
	P5	柱穴	円	0.38	0.36	0.32					
	P6	柱穴	椭円	0.55	0.31						
	P7	柱穴	椭円	(0.53)	0.34						
	P8	柱穴	円	0.26	0.23	0.12					
	SII	SII	柱穴遺物	円	4.12	(3.91)	0.13	28.45			
7	P9	炉	椭円	1.52	0.71	0.06			城文土器・土製円盤・他成形土 塊・石器・石器・磨制石器・石器・磨 石	>P4	
	P10	炉	不整	0.55	0.36	0.39					
	P11	炉	円	0.15	0.13						
	P12	柱穴	椭円	0.48	0.37	0.51					
	P13	柱穴	椭円	0.31	(0.15)	0.19					
	P14	柱穴	不整	0.32	0.25	0.23					
	P15	柱穴	椭円	0.22	0.18	0.38					
	P16	柱穴	椭円	0.50	0.32	0.26					
	P17	柱穴	円	0.14	0.13	0.08					
	P18	柱穴	円	0.15	0.14	0.09					
	P19	柱穴	椭円	0.30	0.18	0.12					
	P20	柱穴	椭円	0.26	0.20	0.11					
	P21	柱穴	円	0.14	0.14	0.05					
	P22	柱穴	椭円	0.40	0.26	0.11					
	P23	柱穴	椭円	0.27	0.20	0.19					
	P24	柱穴	椭円	0.81	0.56	0.07					
	P25	柱穴	円	0.19	0.15	0.05					
	P26	柱穴	円	0.18	0.16	0.03					
	P27	柱穴	椭円	(0.36)	0.25	0.02					
9	SII	SII	柱穴遺物	円	2.51	2.49	0.22	6.25	粘床有 >P3 >P3 >P15,P1-P2	>P3	
	P1	柱穴	椭円	(0.26)	0.25	0.25					
	P2	柱穴	円	3.80	3.50	0.18					
	P3	柱穴	不整	1.40	0.94	0.22					
	P4	柱穴	椭円	2.40	2.10						
	P5	柱穴	円	0.25	0.25	0.17					
	P6	柱穴	椭円	0.25	0.20	0.11					
	P7	柱穴	椭円	0.22	0.17	0.08					
	P8	柱穴	椭円	0.30	0.22	0.31					
	P9	柱穴	円	0.20	0.19	0.13					
	P10	柱穴	椭円	0.29	0.20	0.16					
	P11	柱穴	円	0.19	0.19	0.11					
	P12	柱穴	椭円	0.19	0.12	0.09					
	P13	柱穴	椭円	0.24	0.14	0.07					
	P14	柱穴	椭円	0.17	0.15	0.08					
	P15	柱穴	椭円	(0.21)	0.18	0.07					
	P16	柱穴	椭円	0.31	0.20	0.08					
	P17	柱穴	円	0.18	0.18	0.08					
	P18	柱穴	椭円	0.25	(0.11)	0.08					
	P19	柱穴	椭円	0.17	0.15	0.06					

第8表 A地区 堅穴建物一覧

3 A地区の遺構・遺物

遺跡 番号	遺物	遺構	種類	平面形	規模(m×m)				出土遺物	炉	特記事項
					長さ	幅	深さ	面積			
10	S4	竪穴建物	円		3.00	(1.56)	0.59	8.575			<SK195、粘床有、田名: SK2
10	P1	柱穴	楕円		0.86	0.49	0.09				○P12-P13
10	P2	柱穴	楕円		0.22	0.21	0.19				○P4
10	P3	柱穴	楕円		0.23	0.17	0.11				
10	P4	柱穴	不整		(0.36)	0.32	0.12				○P2
10	P5	柱穴	楕円		0.26	0.24	0.33				
10	P6	柱穴	不整		0.73	0.50	0.37				
10	P7	柱穴	円		0.40	0.38	0.39				
10	P8	柱穴	楕円		0.23	(0.11)	0.39				
10	P9	柱穴	楕円		0.21	(0.06)	0.28				
10	P10	柱穴	円		0.31	0.25	0.50				
10	P11	柱穴	楕円		0.22	0.13	0.19				
10	P12	柱穴	円		0.22	(0.21)	0.25				○P1
10	P13	柱穴	楕円		(0.14)	(0.14)	0.11				○P1
10	P14	柱穴	楕円		0.18	0.17	0.07				
10	P15	柱穴	円		0.15	0.15	0.11				
10	P16	柱穴	円		0.12	0.12					
10	P17	柱穴			0.21	(0.04)	0.15				
10	P18	柱穴			0.22	(0.05)	0.18				
10	P19	柱穴	円		0.15	0.15	0.18				
11	S5	竪穴建物	円		(4.26)	(2.48)	0.13	21.80			
11	P1	炉	楕円		(0.36)	0.22	0.02				
11	P2	炉			0.21	(0.10)	0.02				
11	P1	柱穴			0.43	(0.06)					○
11	P2	柱穴			0.25	(0.11)					
11	P3	柱穴			0.24	(0.06)					
11	P4	柱穴			0.21	(0.15)					
11	S8	竪穴建物			(0.80)	(0.80)	0.15	1.12			○
11	P1	柱穴	楕円		0.39	0.30	0.09				
12	S7	竪穴建物	円		(2.72)		0.19	19.50			<SK1
12	P1	炉	楕円		0.85	0.41	0.04				
12	P1	柱穴	楕円		(0.30)	0.28	0.10				
12	P2	柱穴	楕円		0.55	0.20	0.08				
12	P3	柱穴	楕円		0.29	0.12	0.07				
12	S8	竪穴建物	楕円		(4.25)	(2.16)	0.23	16.50	○	○	○
13	S9	竪穴建物	円		3.80	(3.01)	0.15	24.275	○	○	○
13	S10	竪穴建物	円		(2.33)		0.13	19.275	○	○	○
13	P1	炉	楕円		0.59	0.42	0.03				田名: SK3

第8表 A地区 堅穴建物一覧

機器 番号	遺構	層位	平面形	規模 (m ²)			出土遺物	切り合い	特記事項
				長さ	幅	深さ			
18	SK 4	中層	楕円	3.50	3.30	0.25	縄文土器・菅玉	>SK5	
18	SK 5	中層	楕円	0.50	(0.40)	0.31	縄文土器	<SK4	
18	SK 7	中層	不整	(0.65)	0.39	0.28	縄文土器・石盤		
18	SK 8	中層	不整	0.32	(0.20)	0.42	縄文土器		
18	SK 11	中層	楕円	(2.3)	0.17	0.27	縄文土器		
18	SK 18	中層	不整	0.58	0.41	0.10	縄文土器・石點		
18	SK 36	中層	楕円	0.25	0.21	0.08	縄文土器・石盤		
18	SK 50	中層	不整	0.42	0.30	0.19	縄文土器・石盤	>SK51	
18	SK 51	中層	不整	0.36	(0.23)	0.21	縄文土器	<SK50	
18	SK 52	中層	楕円	0.21	0.21	0.19	縄文土器		
18	SK 56	中層	楕円	0.35	0.30	0.15	縄文土器・石點	>SK57	
18	SK 57	中層	不整	(0.36)	0.11	0.15	縄文土器	<SK56	
18	SK 67	中層	円	0.35	0.33	0.20	縄文土器		
18	SK 69	中層	楕円	0.51	(0.34)	0.09	縄文土器		
18	SK 73	中層	不整	(0.59)	0.40	0.11	縄文土器・石皿		
18	SK 78	中層	楕円	0.38	(0.25)	0.25	縄文土器・菅玉		
14	SK 80	下層	不整	1.16	0.82	0.87	縄文土器・燒成粘土地	<SK82	
18	SK 83	中層	楕円	0.70	0.55	0.09	縄文土器・石點・石鏡・二次加工剝片・磨製石斧		
14	SK 88	下層	楕円	0.92	0.41	0.40	縄文土器	<SK29-41	
18	SK 90	中層	不整	0.42	0.31	0.12	縄文土器・硃石		
14	SK 92	下層	不整	0.48	0.44	0.51	縄文土器・磨石		
14	SK 93	下層	不整	0.75	0.50	0.42	縄文土器・磨製石斧・凹石		
14	SK 95	下層	楕円	0.67	0.45	0.50	縄文土器・硃石		
14	SK 98	下層	楕円	0.37	0.25	0.36	縄文土器・磨石		
14	SK 99	下層	楕円	0.30	0.21	0.30	縄文土器・石盤		
18	SK105	中層	楕円	0.15	0.15	0.18	縄文土器		
14	SK111	下層	楕円	0.34	0.25	0.22	縄文土器		
18	SK121	中層	円	0.46	(0.35)	0.08	縄文土器	<SK122	
18	SK122	中層	円	0.30	0.28	0.50	縄文土器・燒成粘土地・叩石	>SK121	
18	SK124	中層	円	0.28	0.26	0.10	縄文土器・燒成粘土地		
14	SK129	下層	楕円	0.24	0.21	0.13	縄文土器		
18	SK140	中層	楕円	0.18	0.15	0.33	縄文土器		
14	SK144	下層	不整	0.15	0.21	0.19	縄文土器		
14	SK152	下層	不整	1.21	0.91	0.25	縄文土器・石點・石皿	>SK213	
14	SK155	下層	不整	0.68	0.45	0.35	縄文土器・硃石・絆石		
14	SK159	下層	不整	0.84	0.65	0.39	縄文土器		
15	SK164	下層	楕円	(0.56)	0.45	0.60	縄文土器		
15	SK166	下層	不整	0.24	0.19	0.30	縄文土器・磨石	<SK168	
15	SK168	下層	不整	1.11	0.80	0.61	縄文土器	>SK166	
15	SK170	下層	楕円	0.31	0.25	0.24	縄文土器		
18	SK177	中層		0.36	(0.10)	0.32			
15	SK178	下層	不整	0.45	0.35	0.51	縄文土器		
15	SK179	下層	楕円	0.36	0.29	0.16	縄文土器	<SK180	
15	SK180	下層	円	0.26	0.26	0.03	縄文土器	>SK179	

第9表 A地区 土坑一覧

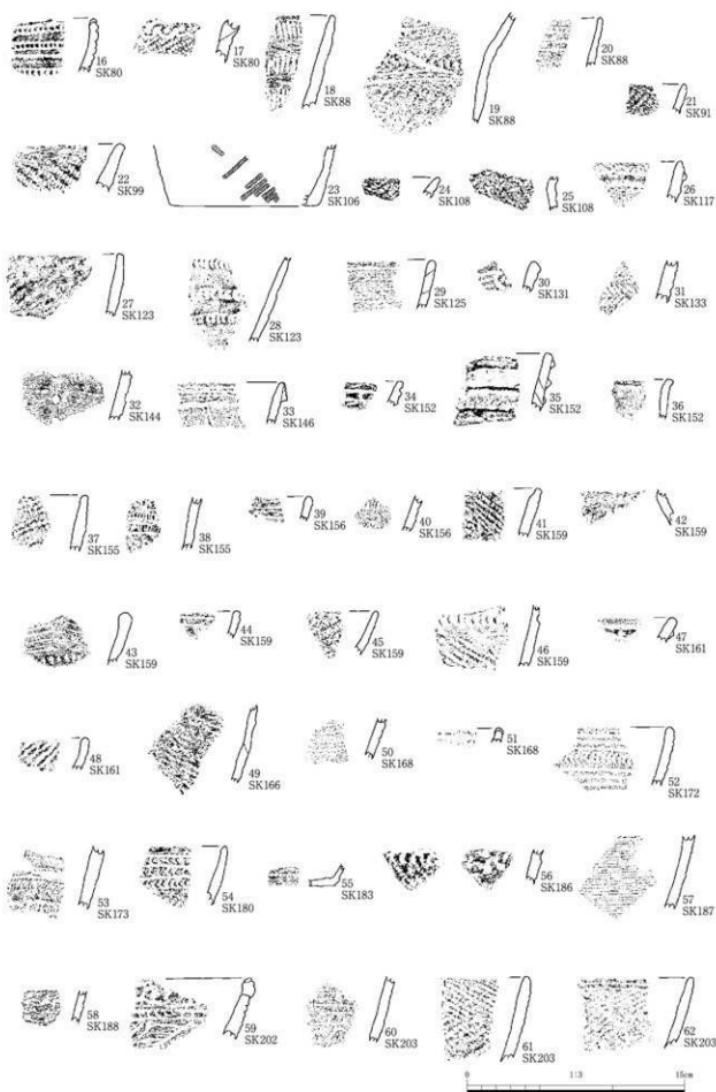
3 A地区の遺構・遺物

探査 番号	遺構	層位	平面形	規模(m・m ²)			出土遺物	切り合い	特記事項
				長さ	幅	深さ			
15	SK186	下層	円	0.38	0.33	0.29	縄文土器		
15	SK187	下層	不整	0.71	0.53	0.35	縄文土器		
18	SK195	中層	楕円	0.62	(0.26)	0.30	縄文土器・磨石		
15	SK197	下層	楕円	(0.25)	0.20	0.24	台石		
15	SK200	下層	楕円	0.49	0.32	0.59	縄文土器		
15	SK202	下層	楕円	0.69	0.61	0.93	縄文土器		
15	SK203	下層	不整	0.48	0.42	0.66	縄文土器・石器		
15	SK204	下層	楕円	0.55	0.45	0.29	縄文土器		
15	SK206	下層	楕円	0.50	0.30	0.25	縄文土器		
14	SK213	下層	楕円	0.25	0.17	0.40		<SK152	
16	SX300	中層		2.45	(1.15)	0.10	炭化植物遺存体・縄文土器・石器・石器・磨製石斧・ 切石・石皿	田舎・炭化物集中地点	

第9表 A地区 土坑一覧

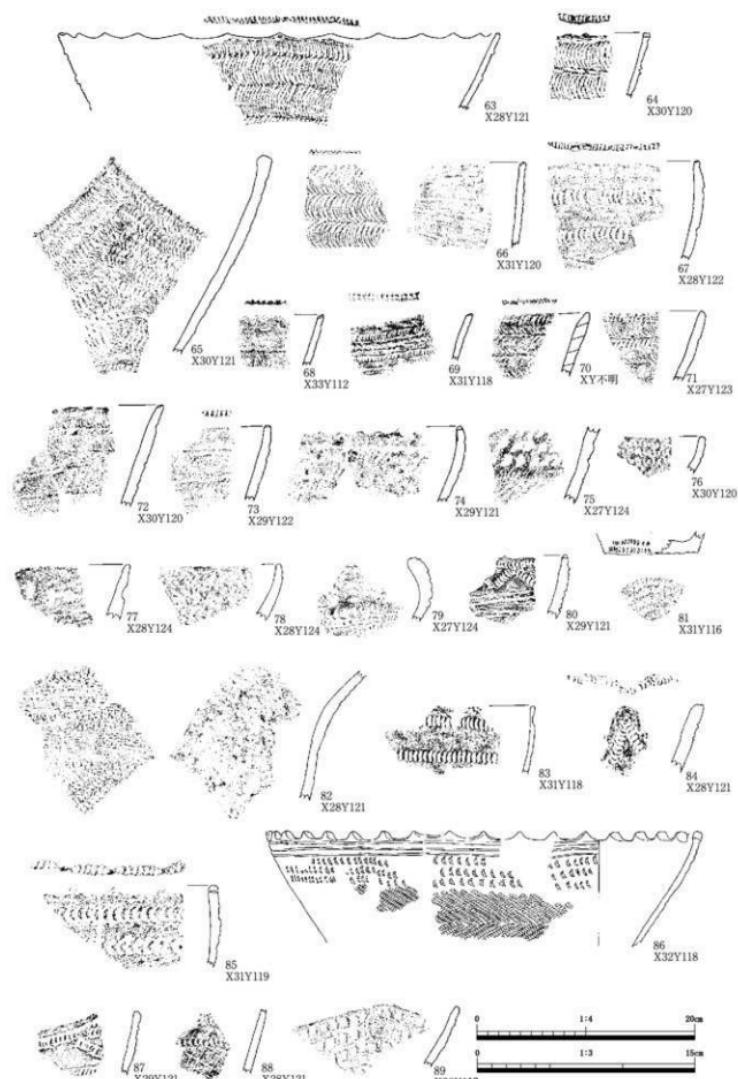
探査 番号	遺構	平面形	規模(m・m ²)				出土遺物	切り合い	特記事項
			長さ	幅	深さ	面積			
16	1号貝塚	不整	0.47	0.28	0.18	0.24	ヤマトシジミ・縄文土器・磨製石斧		
16	2号貝塚	不整	0.93	(0.55)	0.12	1.125	ヤマトシジミ・縄文土器・傳成粘土塊・石器・圓形石器		
16	3号貝塚	不整	0.52	0.34	0.08	0.24	ヤマトシジミ・縄文土器		
16	4号貝塚	不整	1.24	0.58	0.16	1.16	ヤマトシジミ・縄文土器・切石・重飾状齒牙製品		
16	5号貝塚	不整	3.87	2.08	0.18	12.00	ヤマトシジミ・動物遺存体・縄文土器・石器・石器・石器・ 圓形石器・磨製石斧・石器・磨石・石器・半石・砾石・ 块状瓦器	貝塚下からイルカ 殻多く出土	
16	6号貝塚	不整	0.49	0.61	0.06	0.70	ヤマトシジミ・縄文土器		
16	7号貝塚	不整	1.20	0.92	0.13	1.80	ヤマトシジミ・縄文土器・石器・磨製石斧・骨角製剣突具		
16	8号貝塚	不整	0.50	0.42	不明		ヤマトシジミ・縄文土器・傳成粘土塊・石器		
16	9号貝塚	不明	不明	不明	0.35		ヤマトシジミ・縄文土器・磨石		

第10表 A地区 地点貝塚一覧

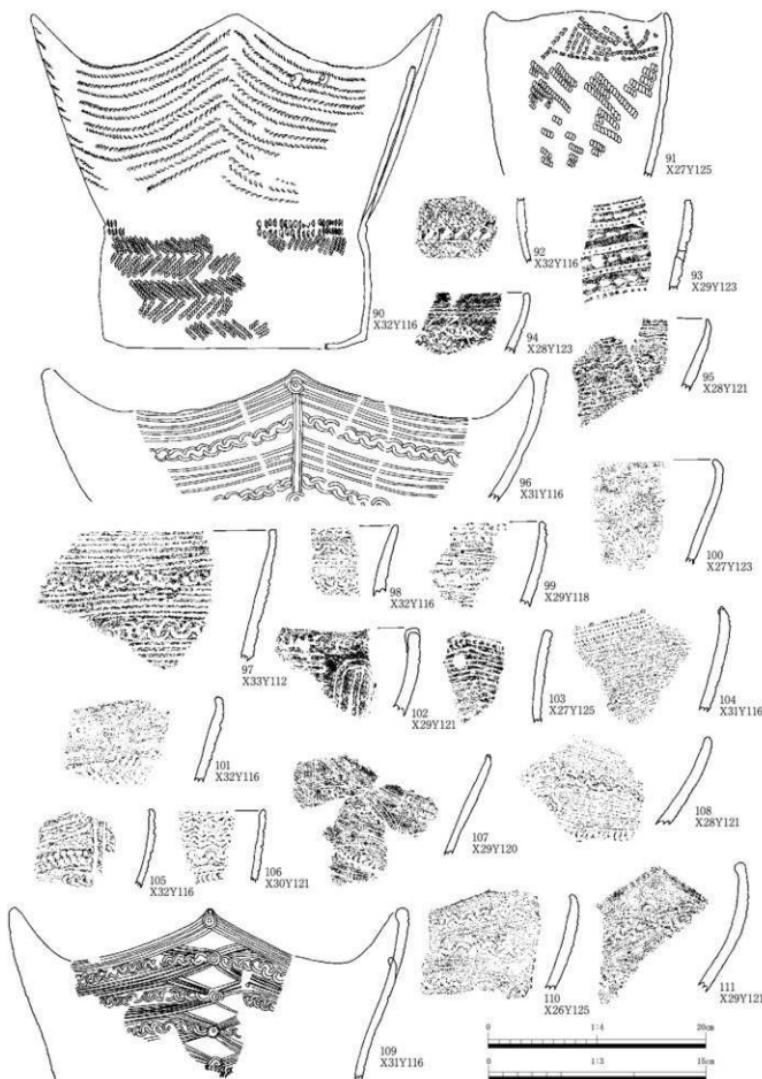


第41図 A地区 下層 土坑 繩文土器 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

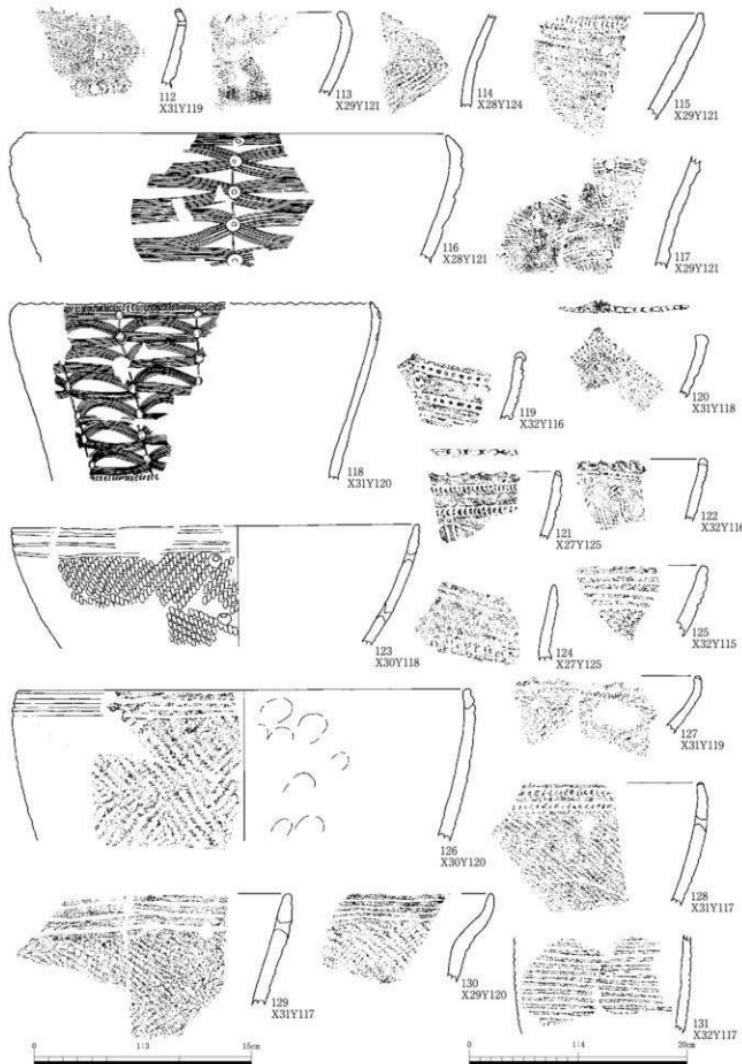


第42図 A地区 IIIc層 繩文土器 1 (63~85・87~89 1/3, 86 1/4)

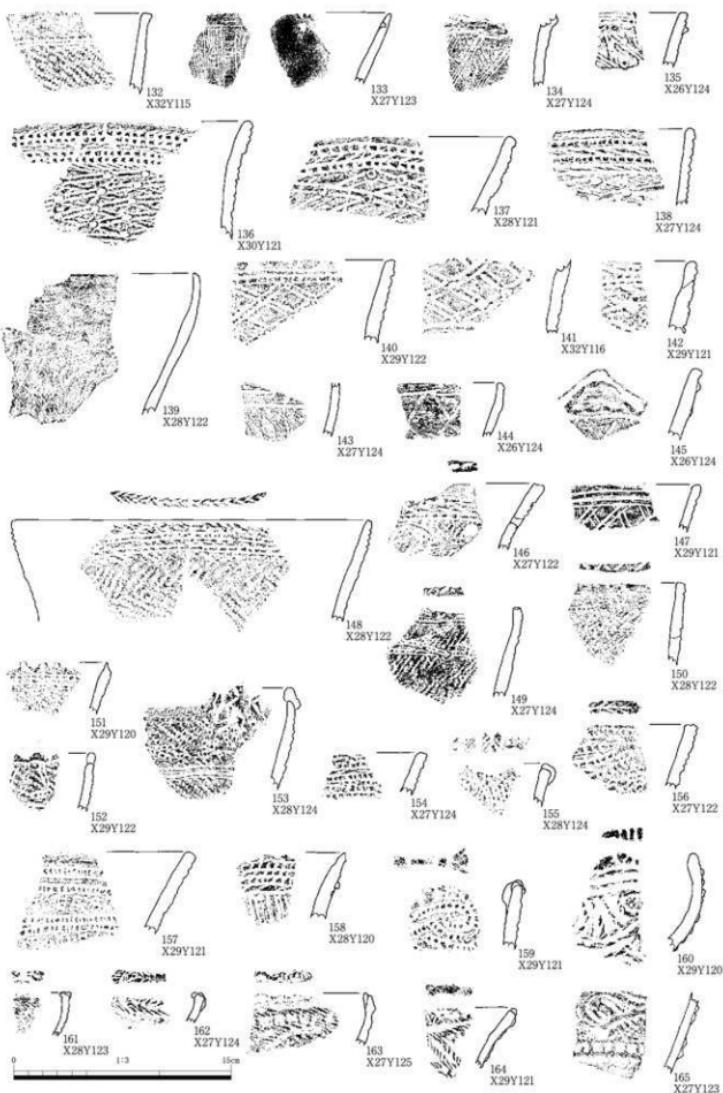


第43図 A地区 IIIc層 繩文土器2 (90~108・110・111 1/3, 109 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

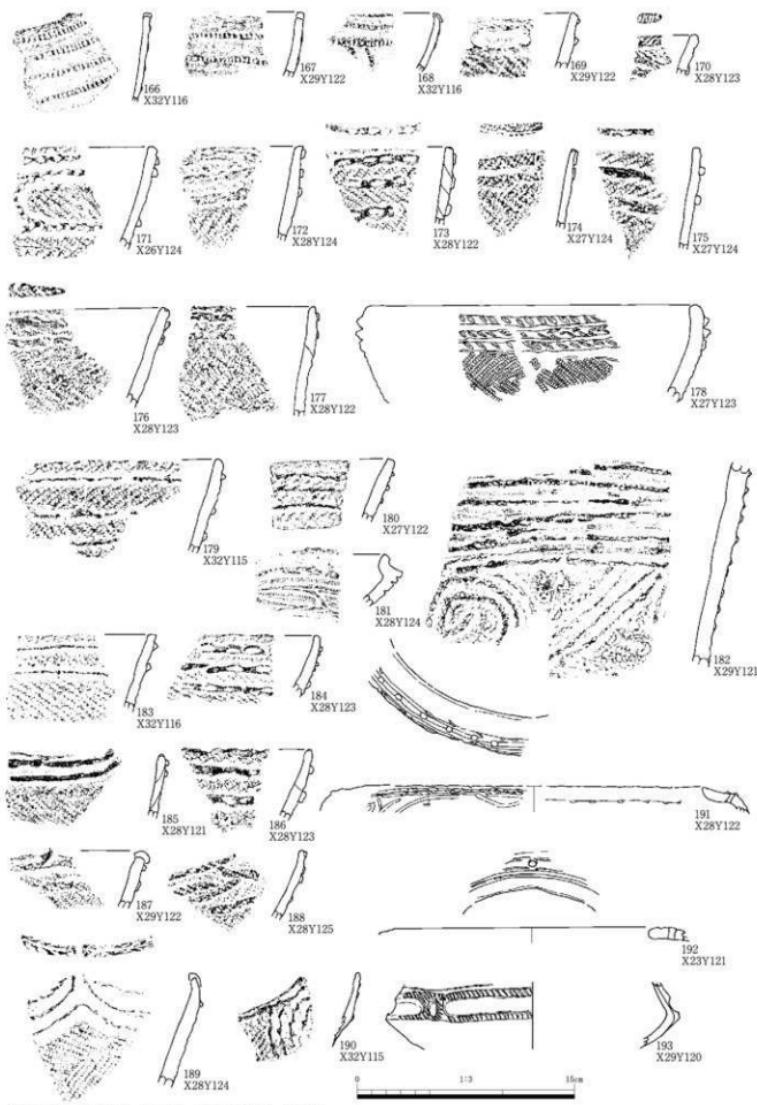


第44図 A地区 IIIc層 繩文土器3 (112~117・119~131 1/3, 118 1/4)



第45図 A地区 IIIc層 繩文土器 4 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

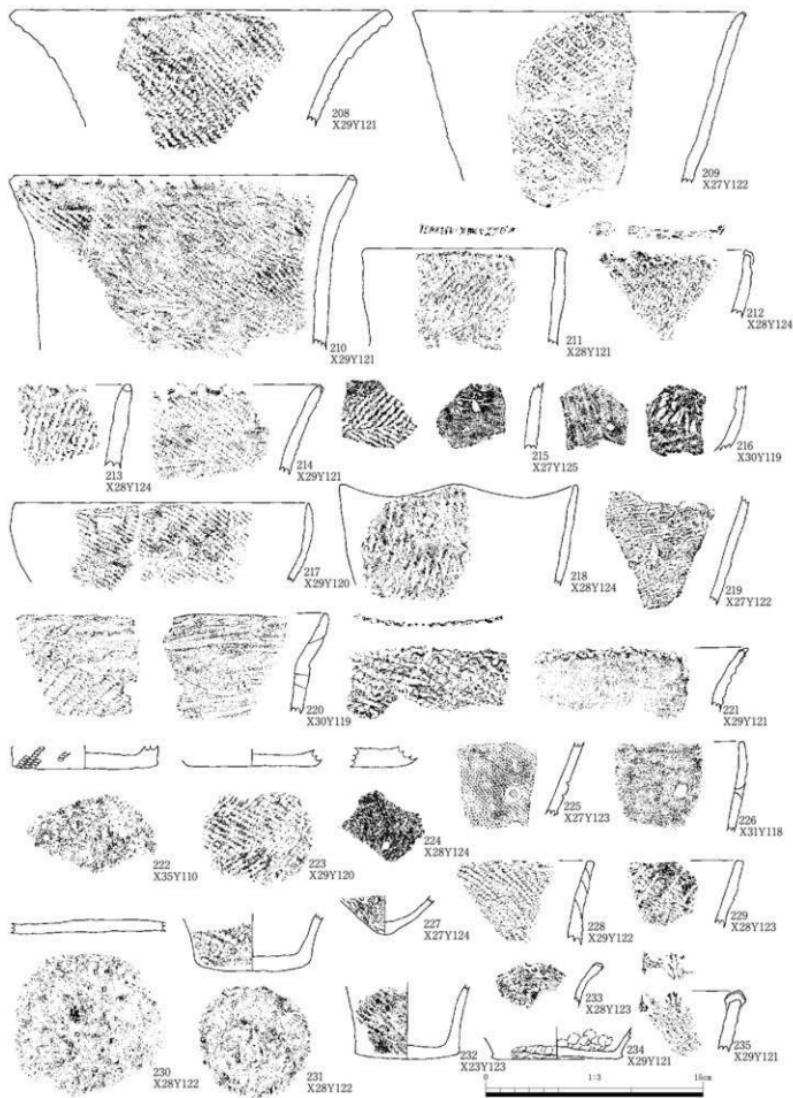


第46図 A地区 IIIc層 繩文土器 5 (1/3)

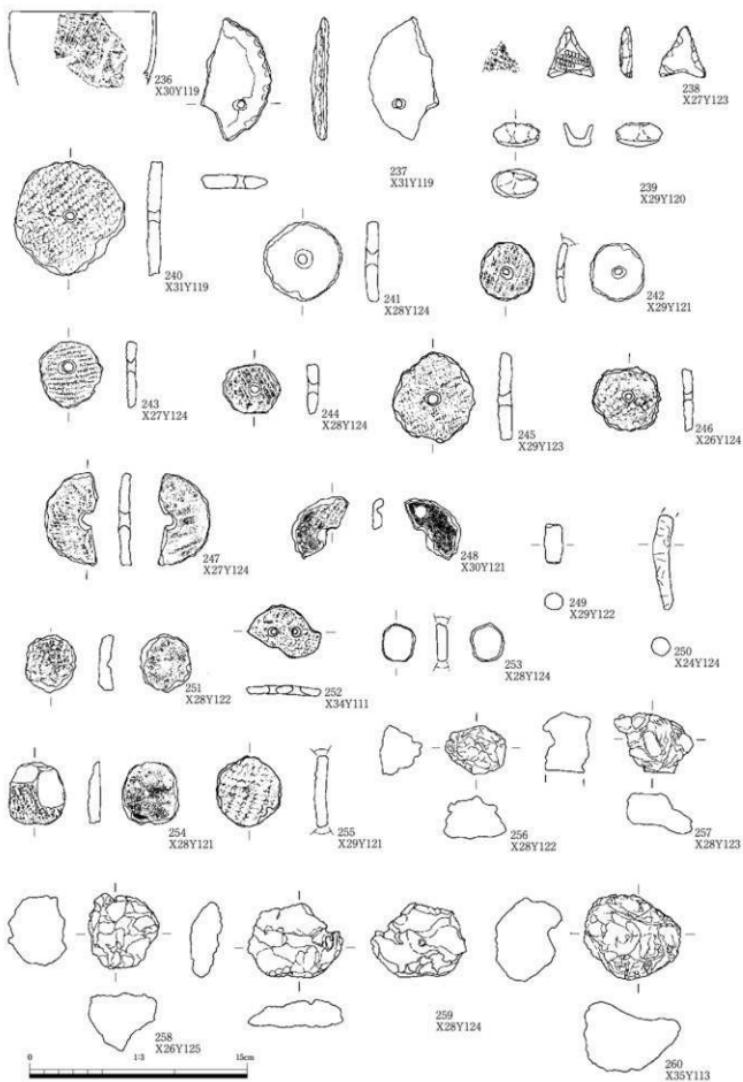


第47図 A地区 IIIc層 繩文土器6 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

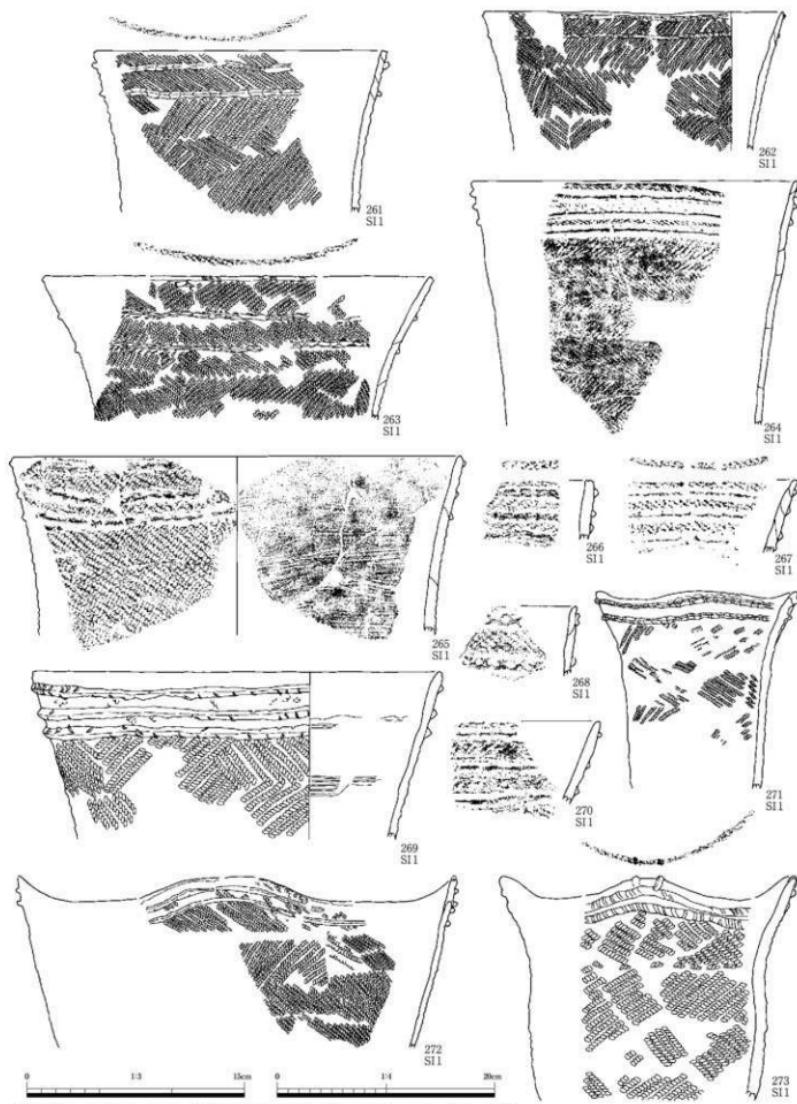


第48図 A地区 IIIc層 繩文土器 7 (1/3)

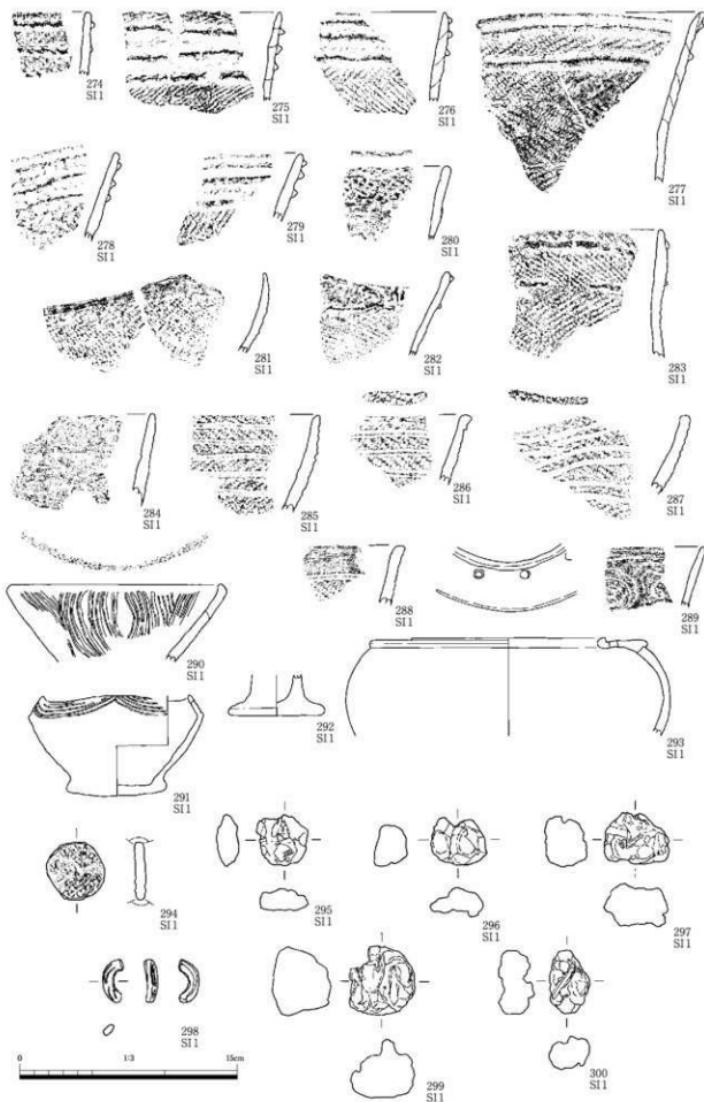


第49図 A地区 IIIc層 土製品 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物



第50図 A地区 SI1 繩文土器1 (261~271・273 1/3, 272 1/4)

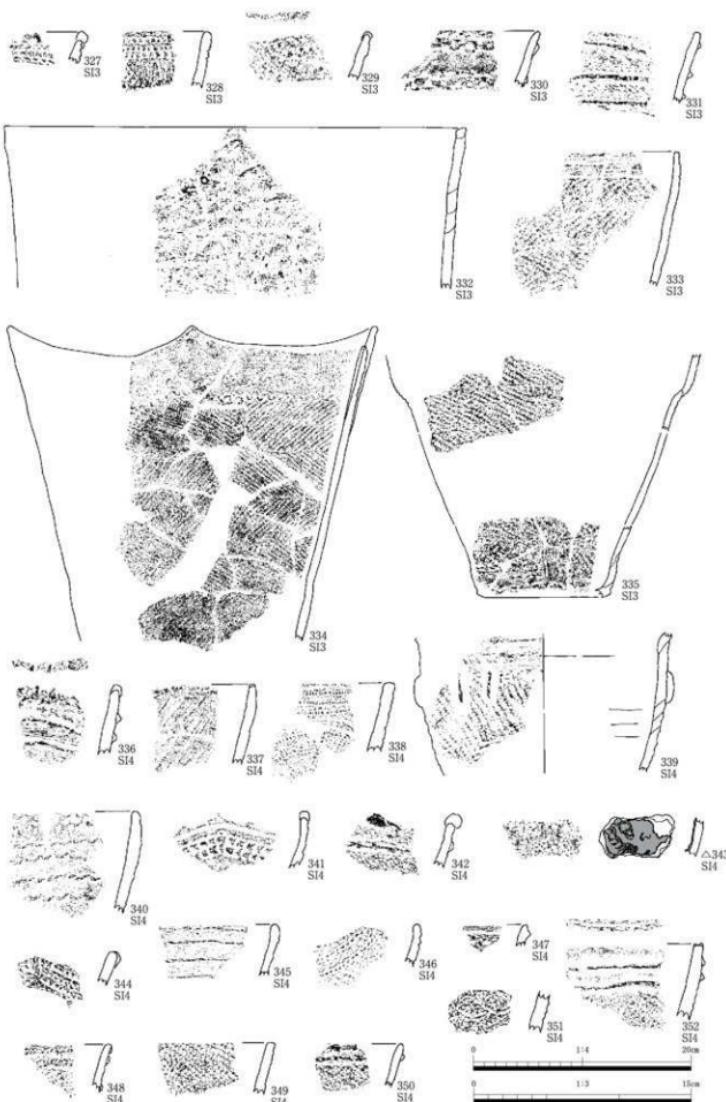


第51図 A地区 SI1 縄文土器2・土製品 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物



第52図 A地区 S11 繩文土器3・土製品 (301~319・321~326 1/3, 320 1/4)



第53図 A地区 S13・S14 繩文土器 (327~333・336~352 1/3, 334・335 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

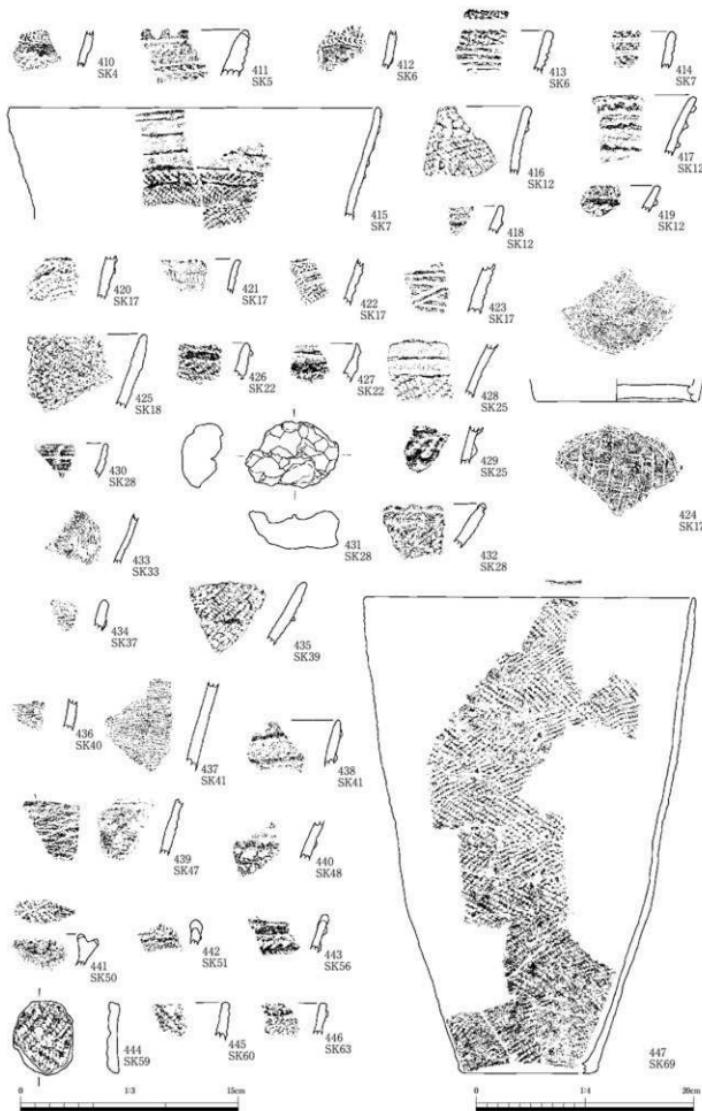


第54図 A地区 S16・S17 繩文土器・土製品 (1/3)



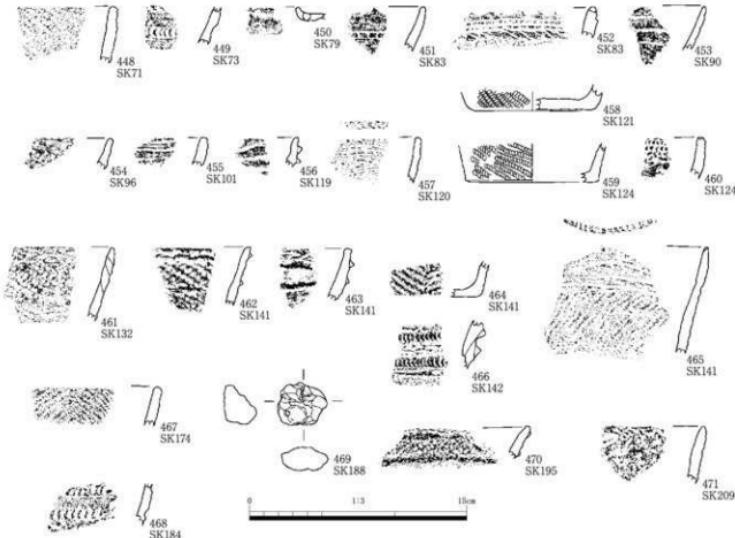
第55図 A地区 SI9・SI10 繩文土器・土製品 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物



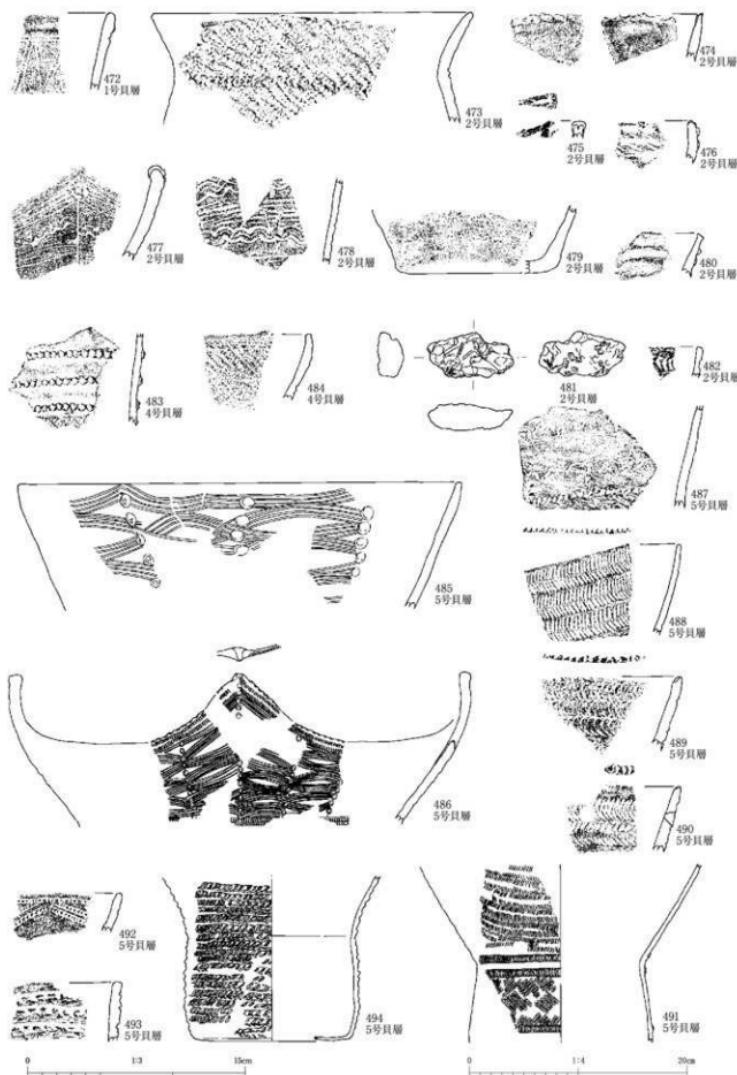
第56図 A地区 中層 土坑 純文土器 1・土製品 (410~414・416~446 1/3, 415・447 1/4)

朝日C～氣屋式で中心は観ヶ森II～福浦上層式。822～824は結節沈線文、825～834は結節浮線文、835～839・841は鋸齒状文+結節浮線文、840・842・844～847・849は鋸齒状文+半隆起線文、843は鋸齒状文+沈線文、850は鋸齒状文+ソーメン状隆帯、848は半隆起線文、851・852・855・856は無文地ソーメン状隆帯、853は波状隆帯、854無文地斜行刺突、857～859は縄文地隆帯上縄文で福浦上層式。860～864はヨコナデ無文、872は無文地微隆起線文、878・879・882は無文地結節浮線文で観ヶ森II式。880・881は無文地矢羽状沈線、883は無文地レンズ状沈線で諸磧c式相当。884は無文地同心円状沈線。865～871・885～893・904は無文地三角隆帯貼付、894～903・905～919は縄文地隆帯貼付で観ヶ森I式。921～924・926～930は縄文地隆帯上刺突、932・935は無文地隆帯上刺突で刈羽式相当もしくは観ヶ森I式。933・936・937は無文地梯子状隆帯上斜行刻み、931は無文地隆帯上縄文。934は縄文地隆帯上縄文で北白川下層IIc式相当。938・939は浮線文、941・942は無文地隆帯上刻みで諸磧b式相当。940・943・944・947・949・950は縄文地平行沈線、945・946・948は半截竹管押引状爪形文。951～955は格子目文で刈羽式相当。956は無文地肋骨文状沈線文、960は綾状沈線文で諸磧a式相当。957・958は鋸齒状沈線文。959は内湾器形に無文地半截竹管押引状爪形文で有尾式相当。961は網目状撚糸文、963・964は無文地コンパス文、965は大型爪形文で朝日C式。962・966～971は浅鉢で諸磧b式相当。972～982・984は非結束羽状縄文。983は結束羽状縄文。987～991は斜行縄文。986・992・995は斜行縄文平底。985は羽状縄文平底。993・996・998は無文。993・997・998・1001・1005は種実圧痕が残る。999・1000・1002は底部圧痕。1004は底部内面破損部に製作痕。1006は補修孔の残る底部。994は縦位縄文の平底で網代痕のある後期前葉気屋式。1007は無文浅鉢。1033・1046・1047・1050・1055～1058・1061は赤彩浅鉢。1060

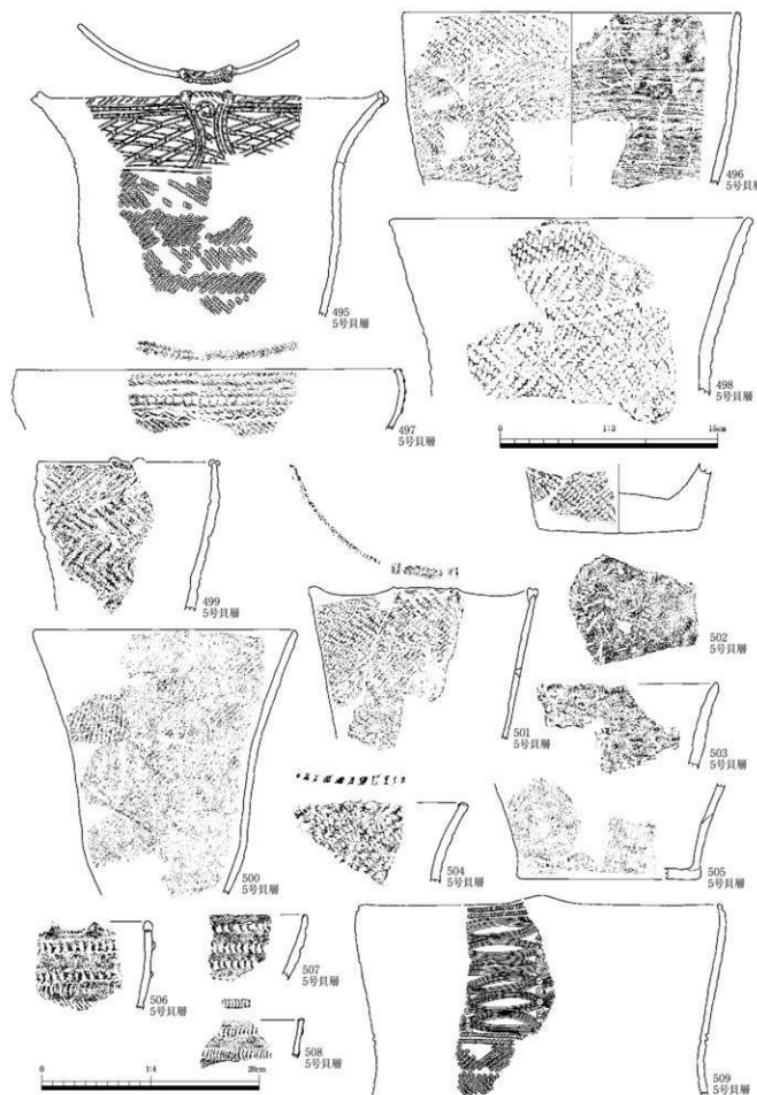


第57図 A地区 中層 土坑 縄文土器 2・土製品 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

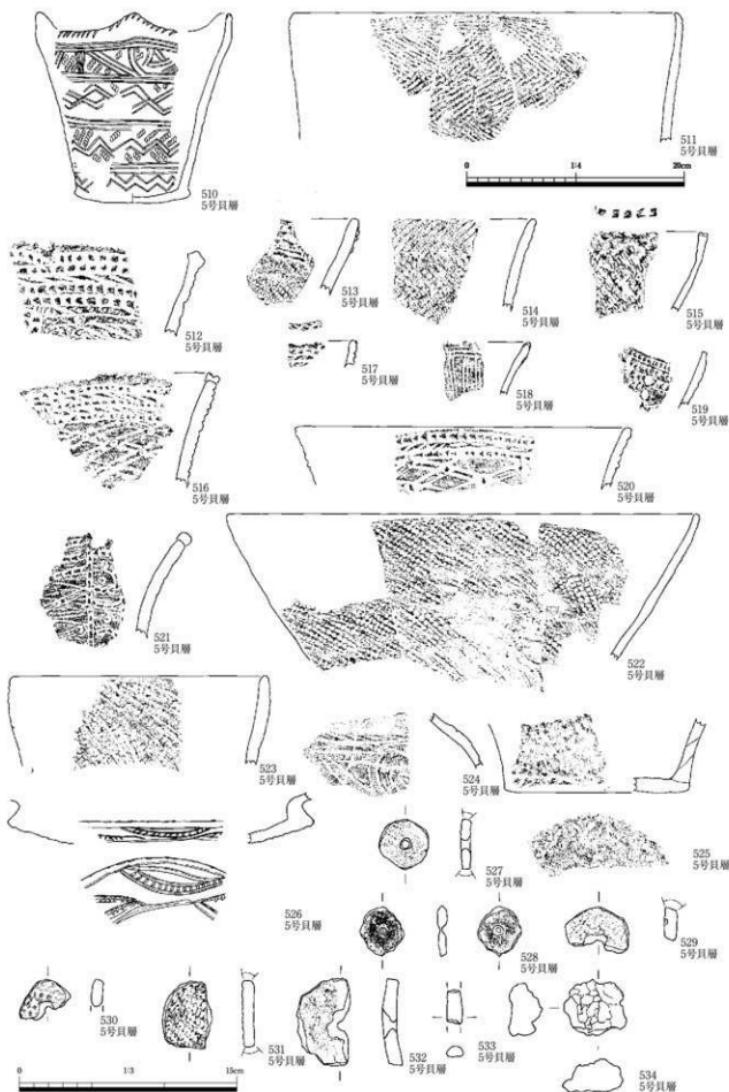


第58図 A地区 中層 地点貝塚 繩文土器 1 (472~485・487~490・492・493 1/3, 486・491・494 1/4)



第59図 A地区 中層 地点貝塚 繩文土器2 (498・499・502~508 1/3. 495~497・501・509 1/4)

3 A地区の遺構・遺物



第60図 A地区 中層 地点貝塚 繩文土器3・土製品 (510・512~534 1/3, 511 1/4)

は赤彩の鉢か。

b 土製品（第85図）

1008～1010はミニチュア土器。1011～1021は土製円盤。1022は有孔土製品で鍵塚型土偶か。1023～1024は焼成粘土塊。1025は棒状土製品。

c 石製品（第89・91～95・97・99・100・102・103・105図）

台帳記入で278点。磨製石斧82、石鎌47、石皿19、軽石19、石匙15、磨石14、叩石13、石錐13、二次加工剥片13、砥石12点の順に多い。

1096・1102は凹基無茎の石錐。1105は小型の石匙。1127はT字状の石錐。1131・1133・1134は菱形状の小型尖頭器。1138・1142・1143・1148は異形石器。1163・1167は小型磨製石斧。1187は打欠石錐。1199は凹石。1205は叩石。1215は軽石製砥石か。1219は石皿。1226は半次の块状耳飾。1235は玉未成品。

d 骨製品（第106図）

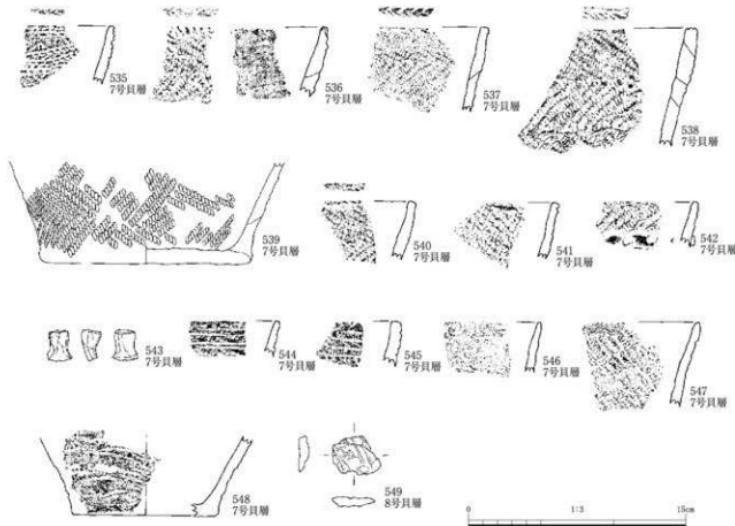
1240は逆刺付刺突具。1249は髪針の基部か。

e 動物遺存体（第二分冊18山崎他報文）

現地調査ではあまり出土していない。詳細は山崎他報文。

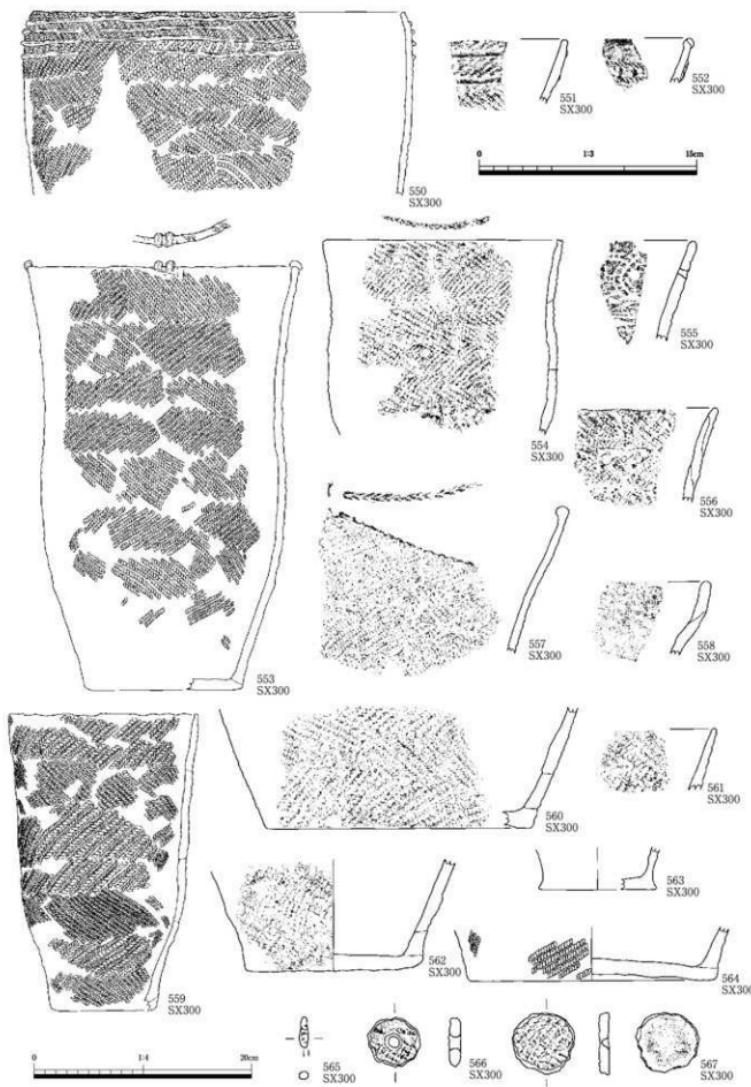
f 植物遺存体（第二分冊14金原報文）

現地調査ではあまり出土していない。詳細は金原他報文。

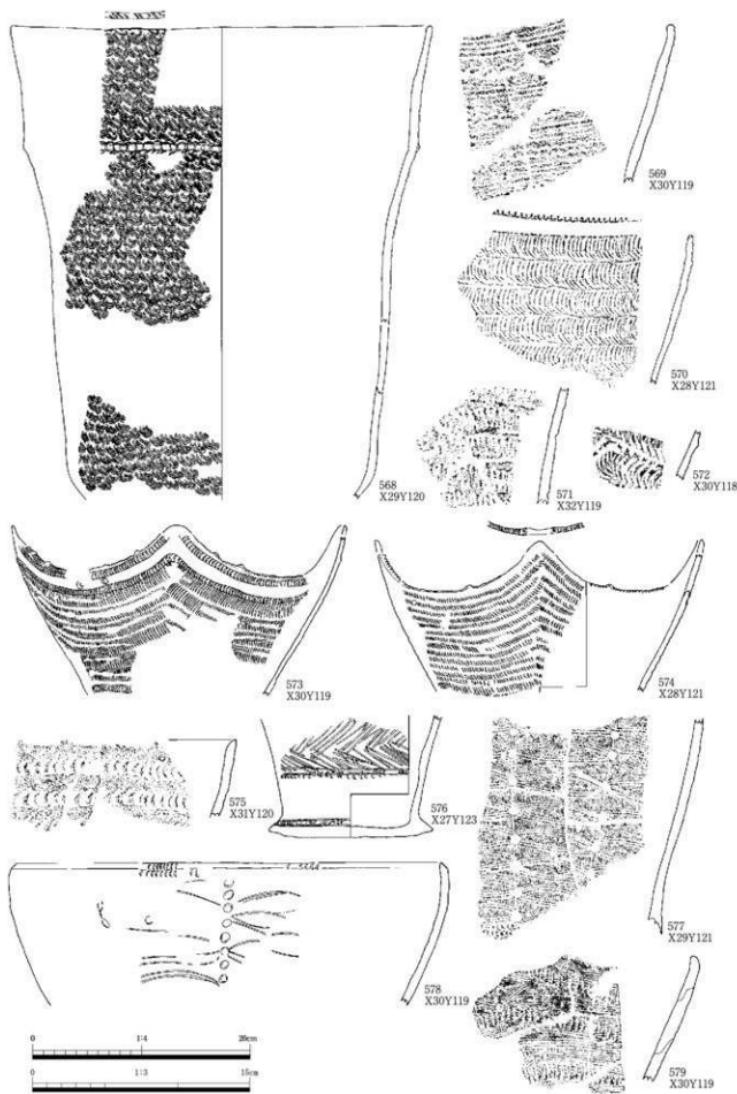


第61図 A地区 中層地点貝塚 繩文土器4・土製品 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

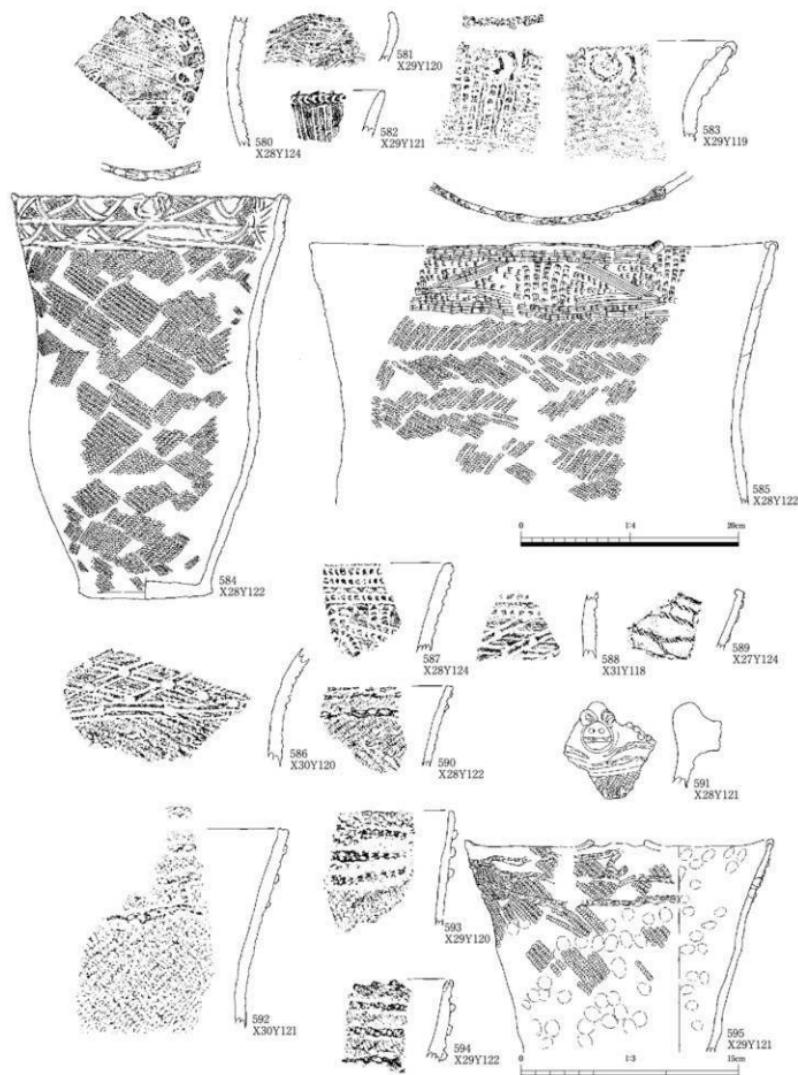


第62図 A地区 中層 SX300 繩文土器・土製品 (511・552・555・556・558・560～567 1/3, 550・553・554・557・559 1/4)

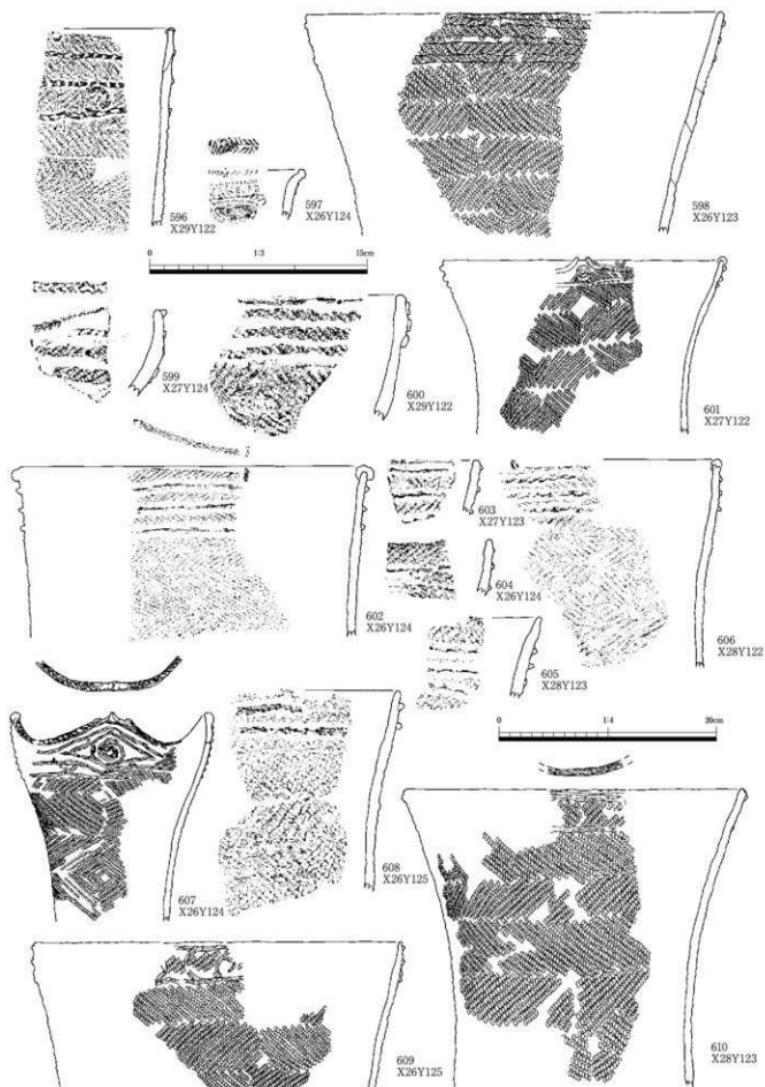


第63図 A地区 低地部 繩文土器 1 (569~572・575~579 1/3, 568・573・574 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

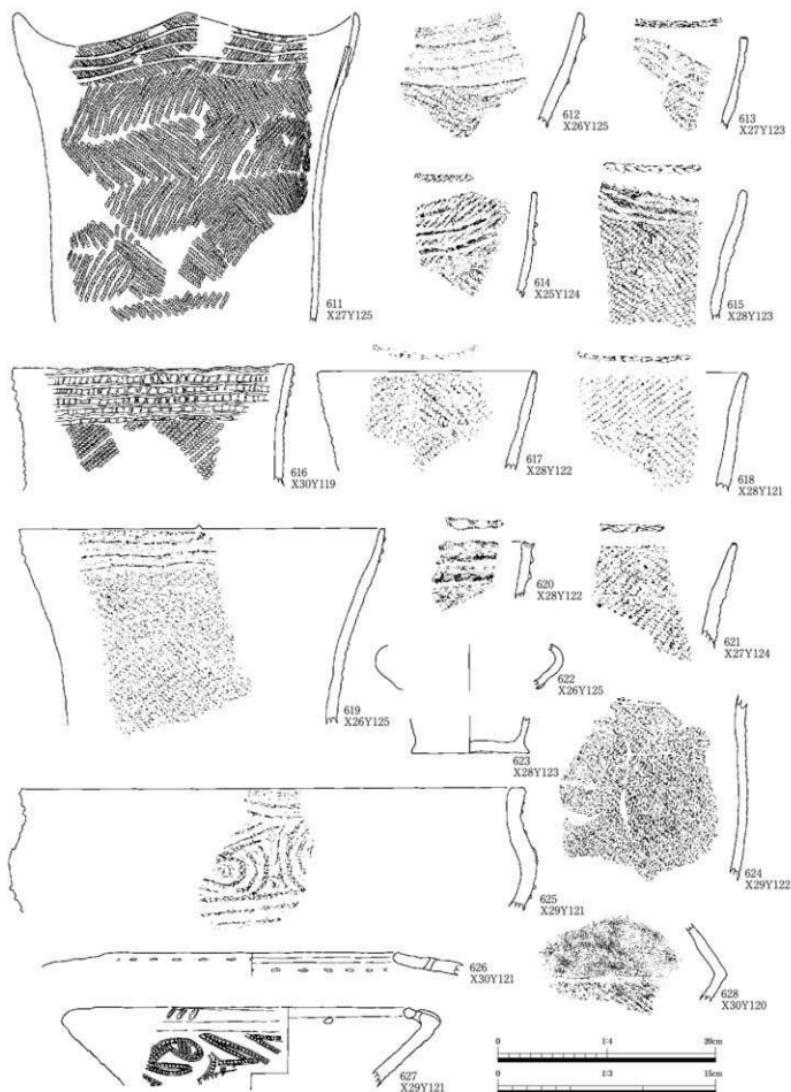


第64図 A地区 低地部 繩文土器2 (580~583・586~593・594・595 1/3, 584・585・595 1/4)

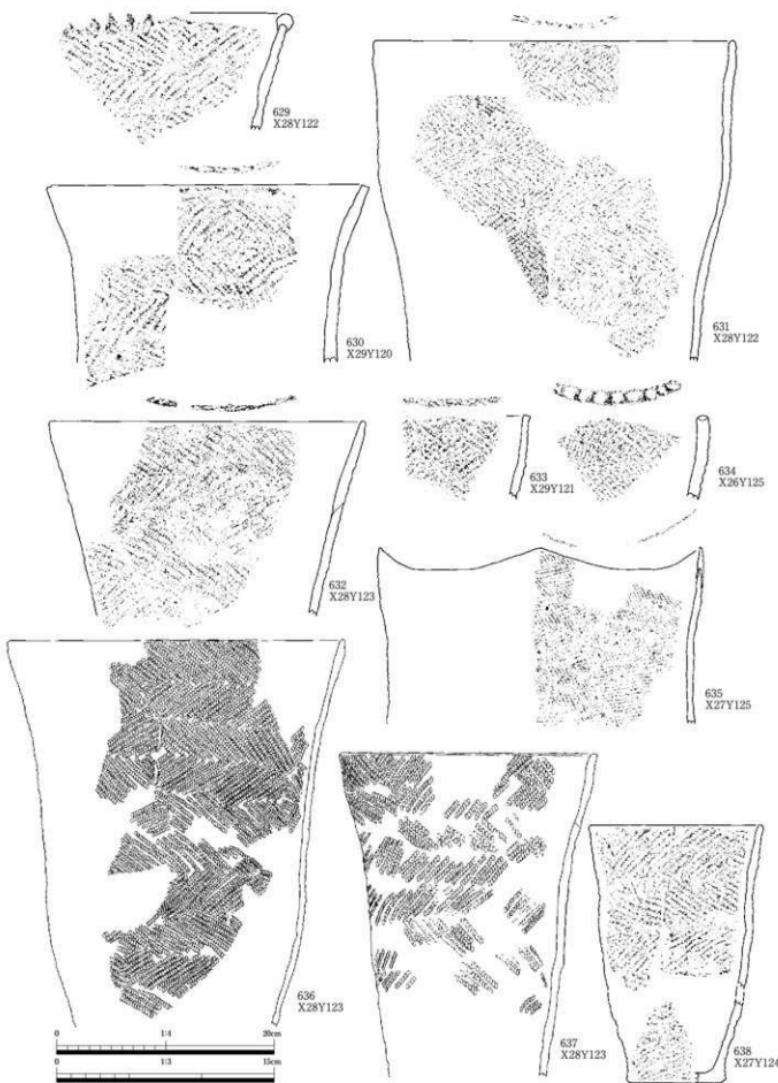


第65図 A地区 低地部 繩文土器3 (597・599・600・603~605・608 1/3, 596・598・601・602・
606・607・609・610 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

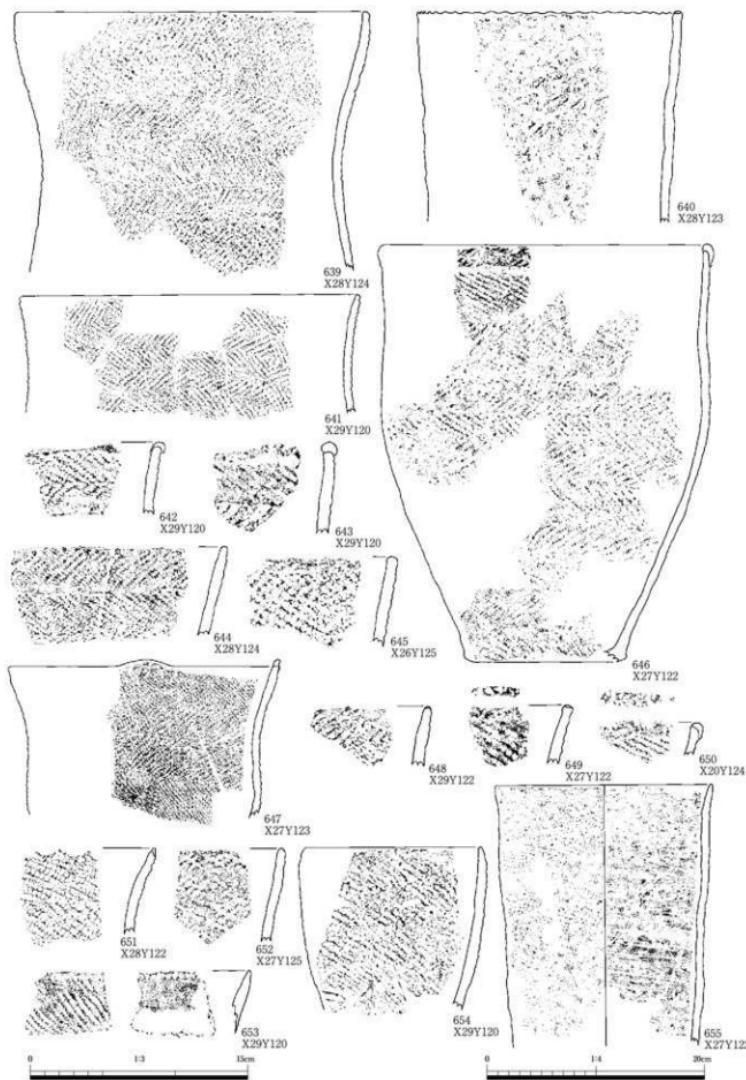


第66図 A地区 低地部 繩文土器4 (612~623・626~628 1/3, 611・624・625 1/4)

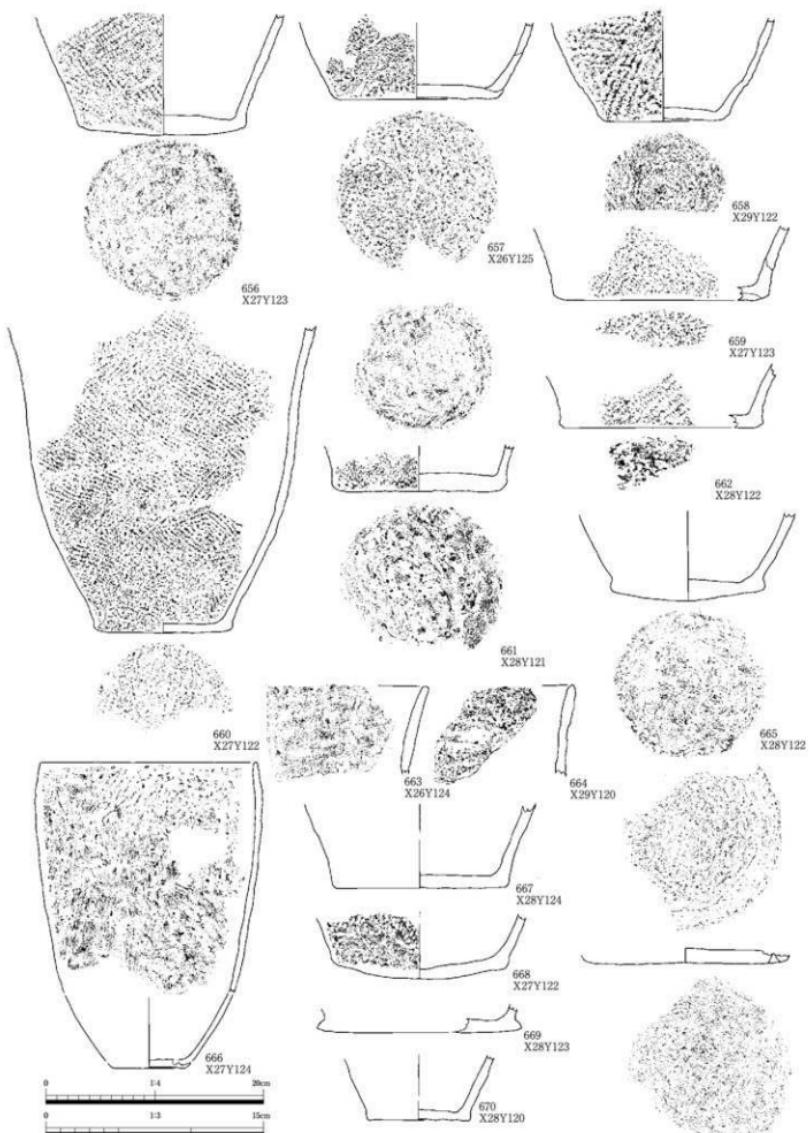


第67図 A地区 低地部 繩文土器5 (629・630・632~634・638 1/3, 631・635~637 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

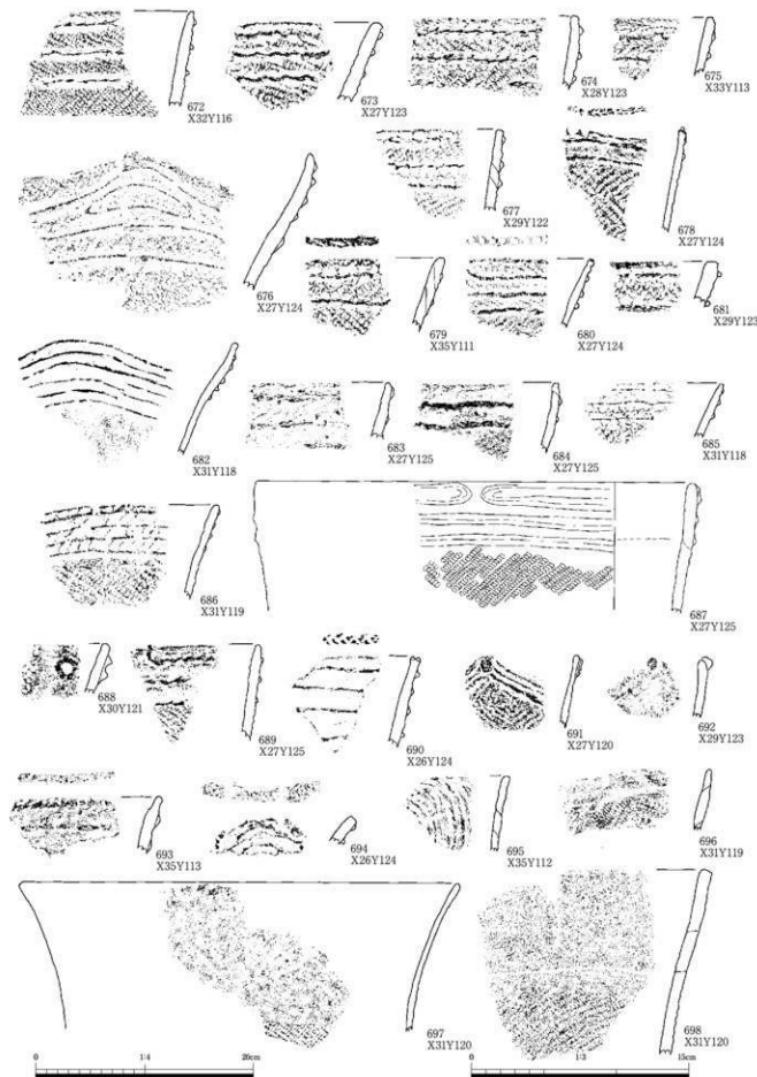


第68図 A地区 低地部 繩文土器 6 (640・642~645・648~654 1/3, 639・641・646・647・655 1/4)

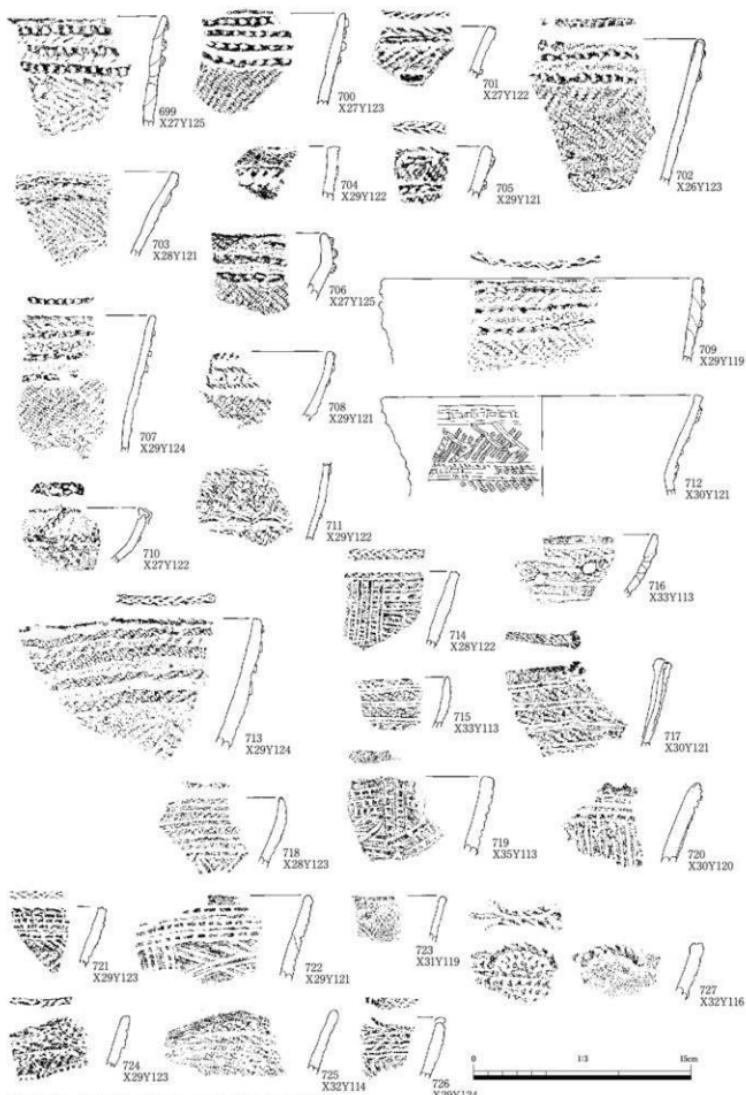


第69図 A地区 低地部 縄文土器7 (658・659・661~665・667~671 1/3, 656・657・660・666 1/4) 671 X27Y123

3 A地区の遺構・遺物

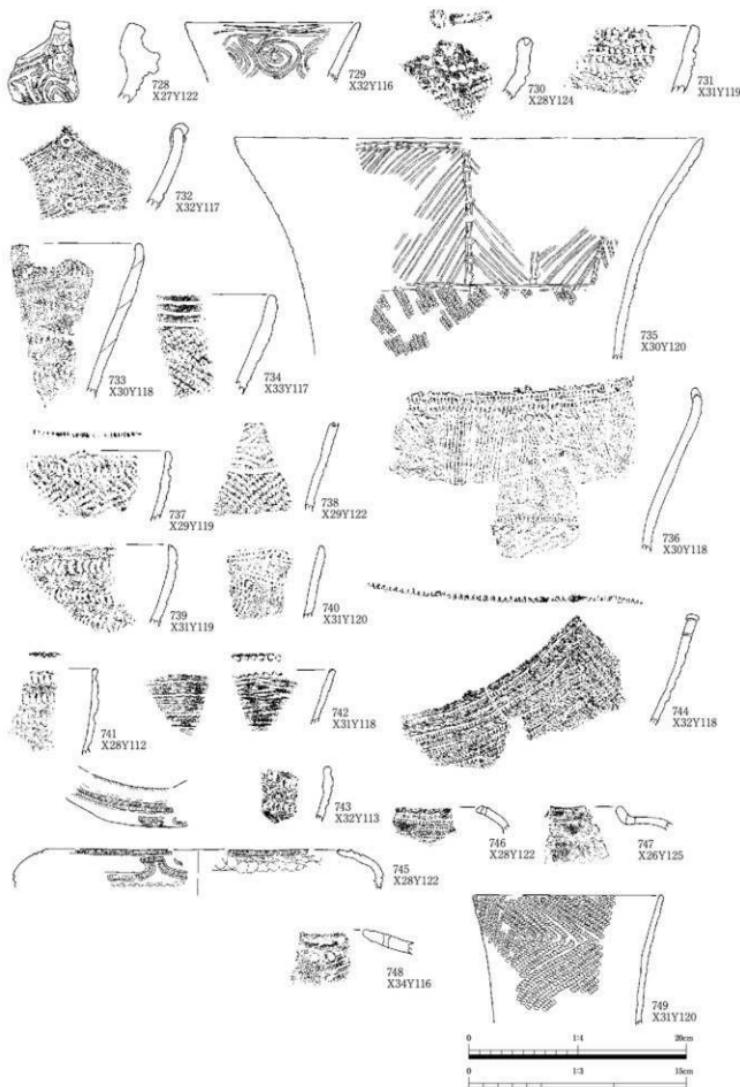


第70図 A地区 III b層 繩文土器 1 (672~696・698 1/3, 697 1/4)

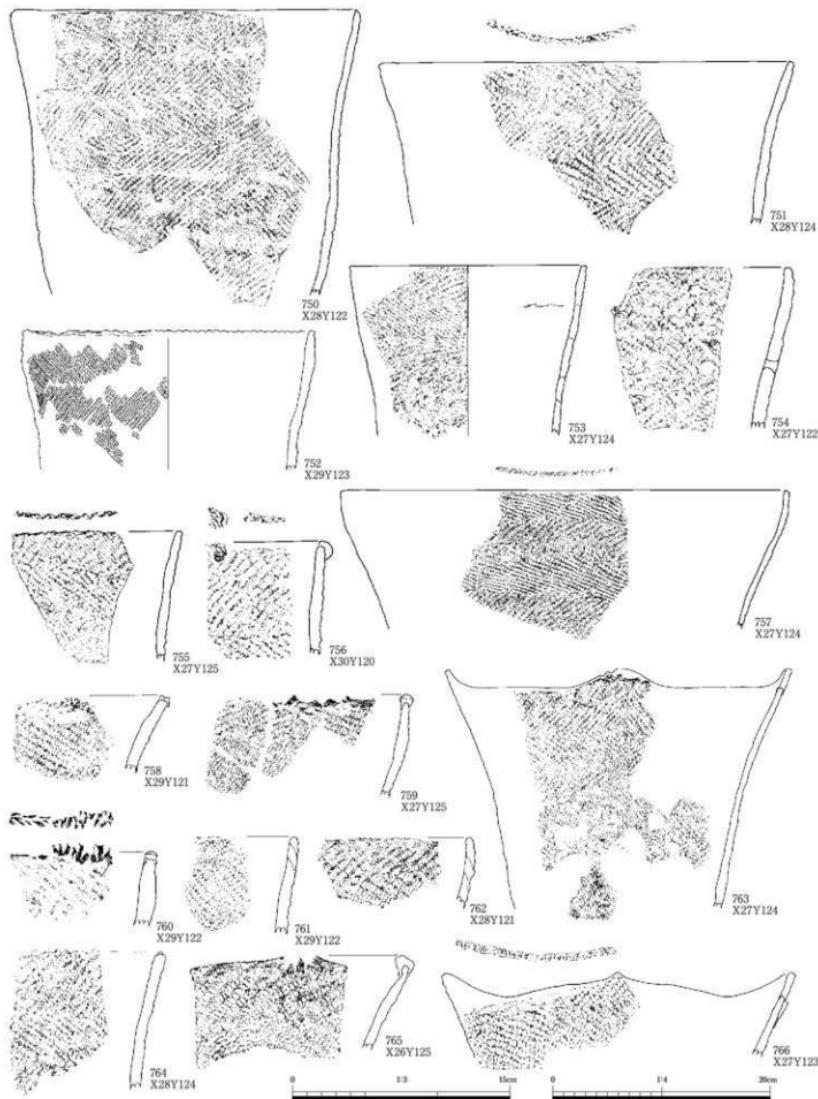


第71図 A地区 III b層 繩文土器 2 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

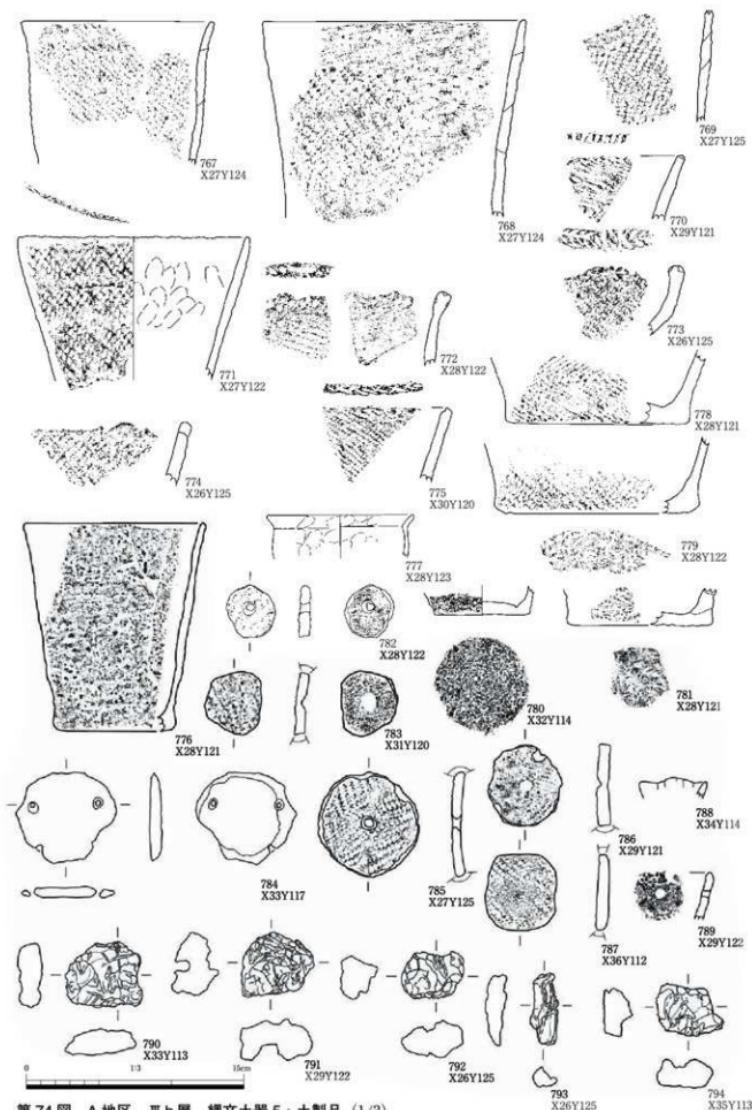


第72図 A地区 III b層 繩文土器3 (728~734・736~749 1/3, 735 1/4)

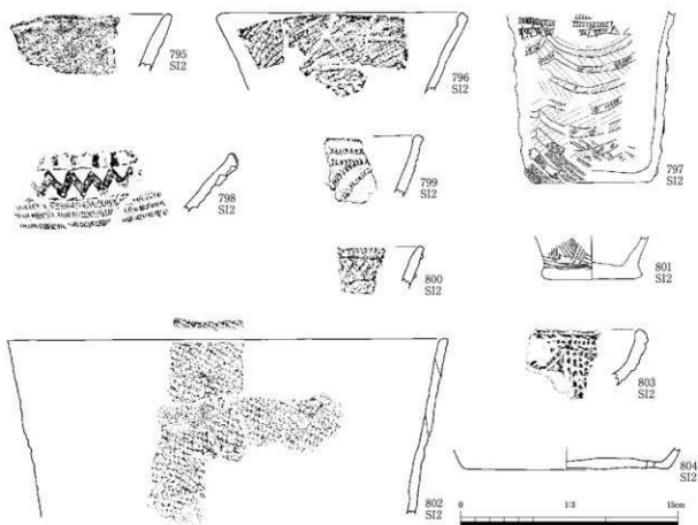


第73図 A地区 III b層 漢文土器4 (751・752・754~756・758~762・764~766 1/3. 750・753・757・763 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

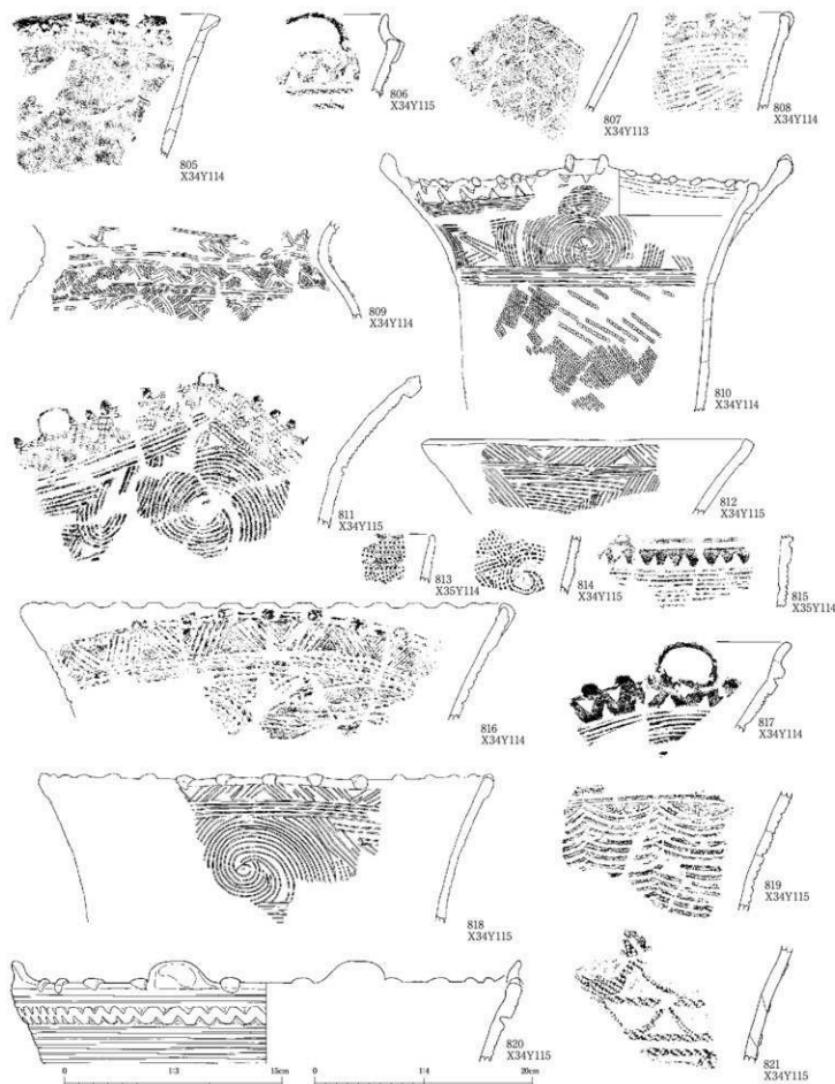


第74図 A地区 III b層 繩文土器 5・土製品 (1/3)

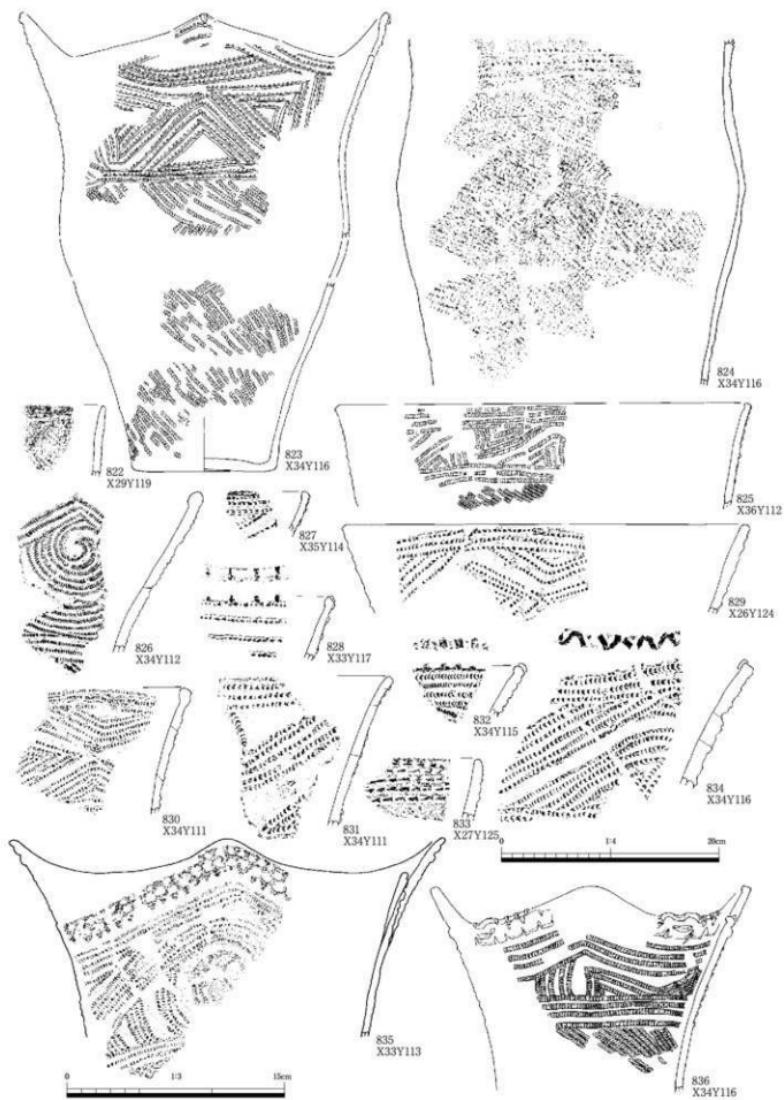


第75図 A地区 SI2 繩文土器 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

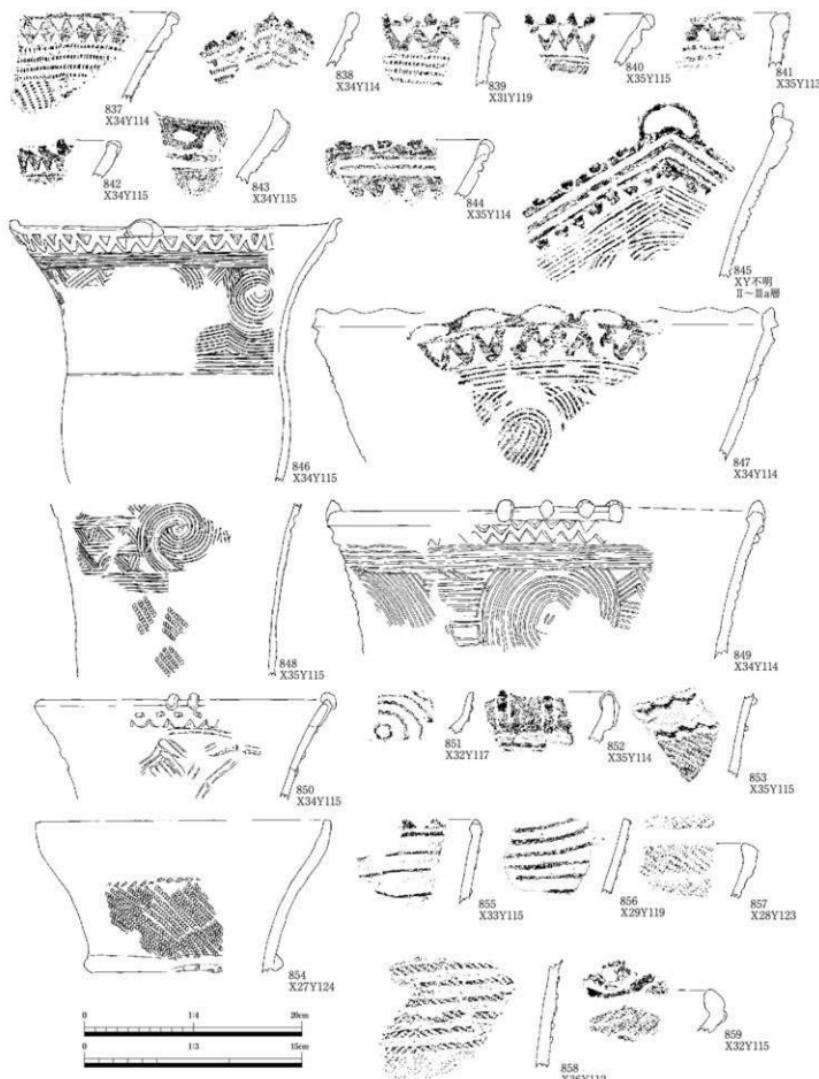


第76図 A地区 上層 第1号土器集中地点 繩文土器 (805~809・811~821 1/3, 810 1/4)



第77図 A地区 II層～IIIa層 繩文土器 1 (822・826～834 1/3, 823～825・835・836 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

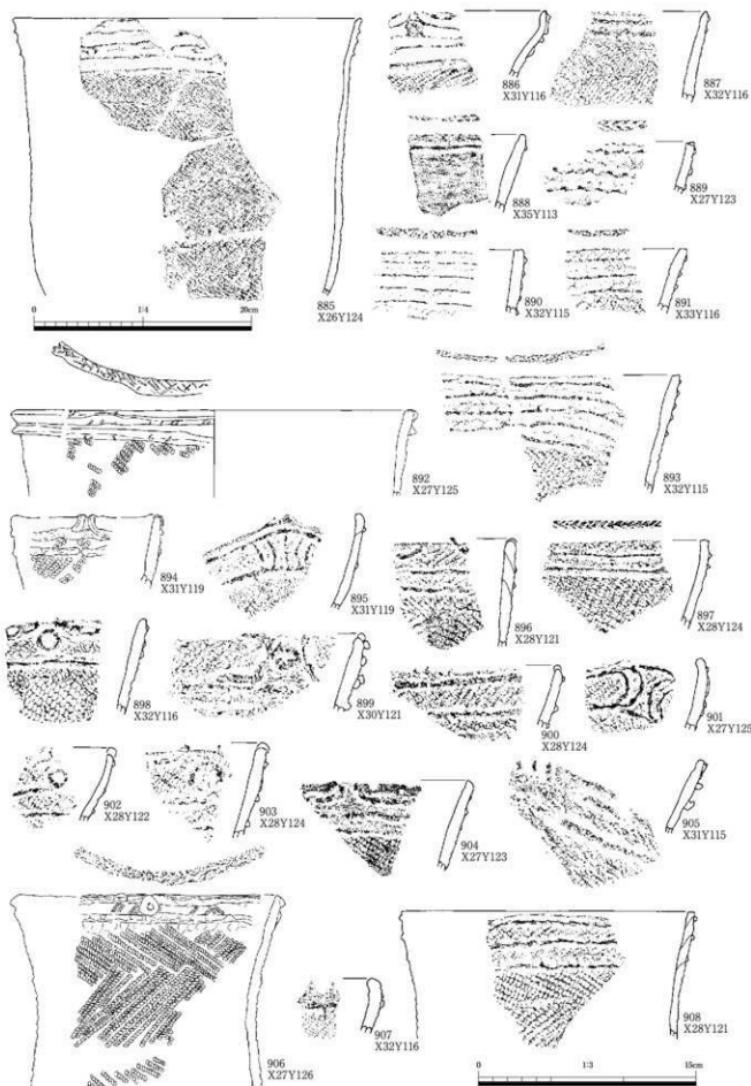


第78図 A地区 II層～IIIa層 繩文土器2 (837～845・847・849～859 1/3, 846・848 1/4)

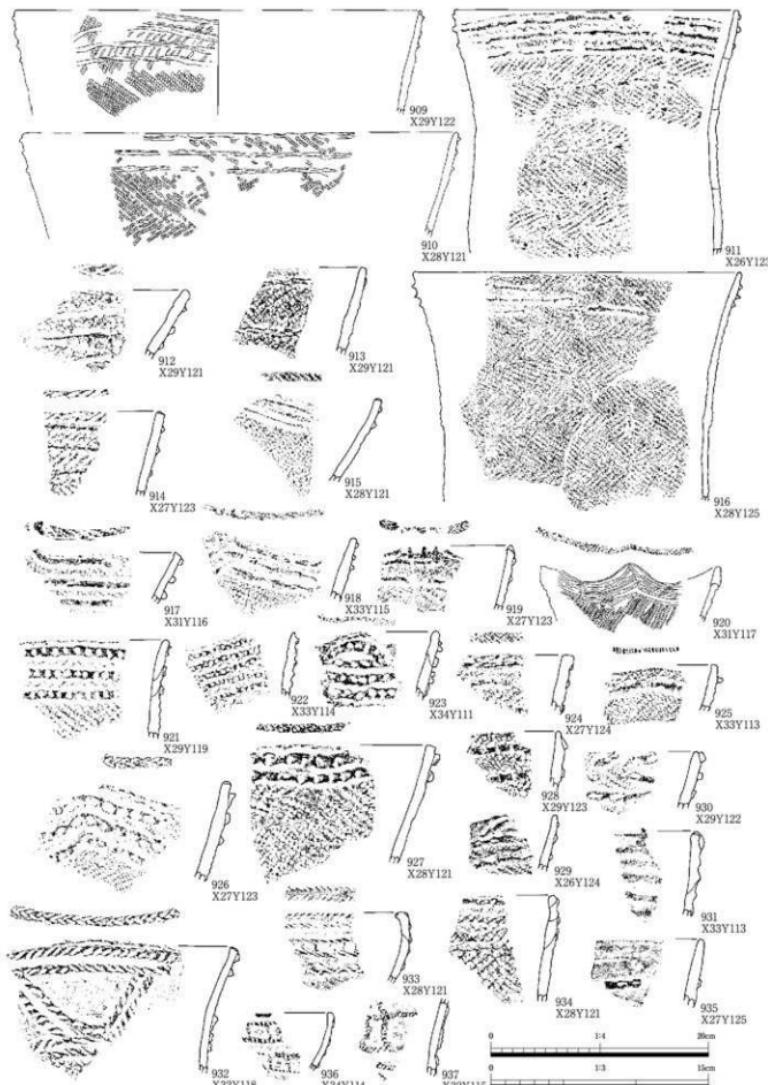


第79図 A地区 II層～IIIa層 繩文土器3 (860～865・867～881・883・884 1/3, 866・882 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

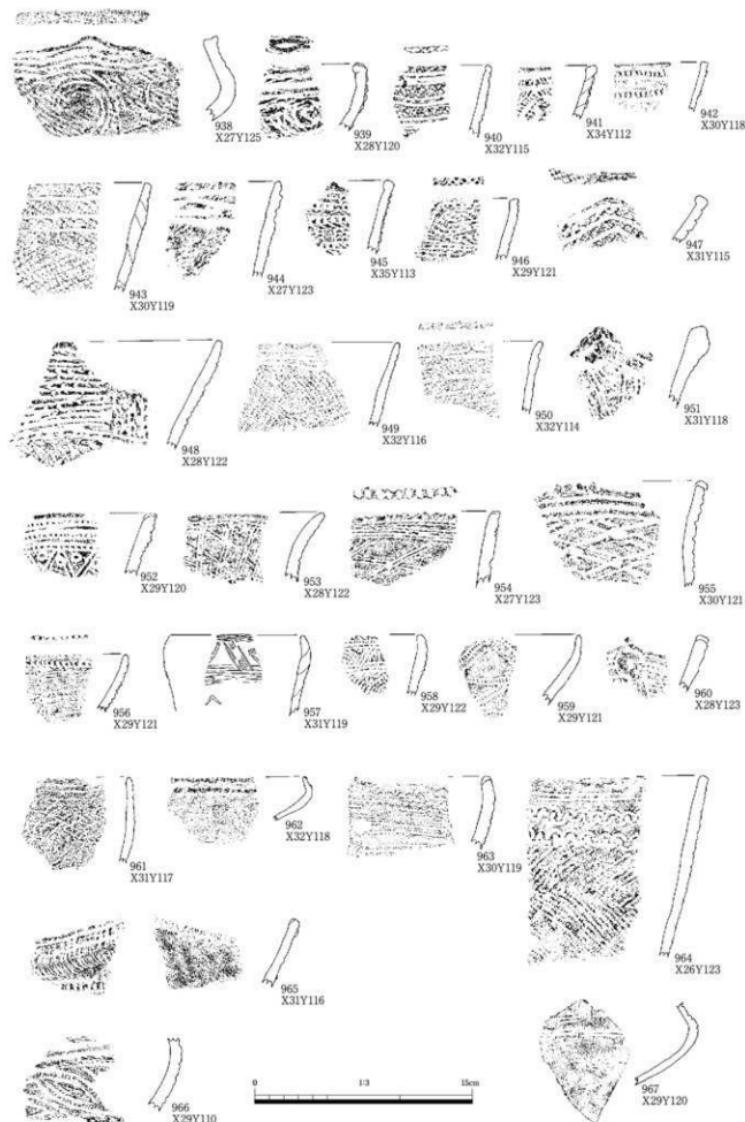


第80図 A地区 II層～IIIa層 縄文土器 4 (886~908 1/3, 885 1/4)

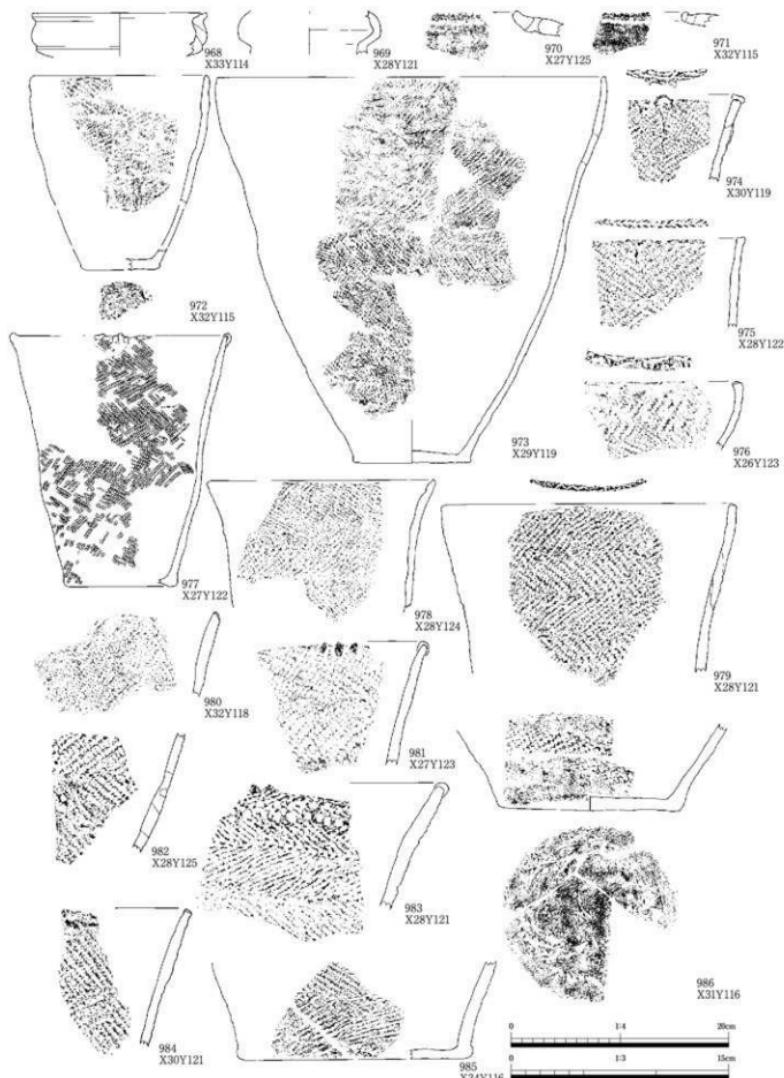


第81図 A地区 II層～IIIa層 繩文土器5 (912~915・917~937 1/3, 909~911・916 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

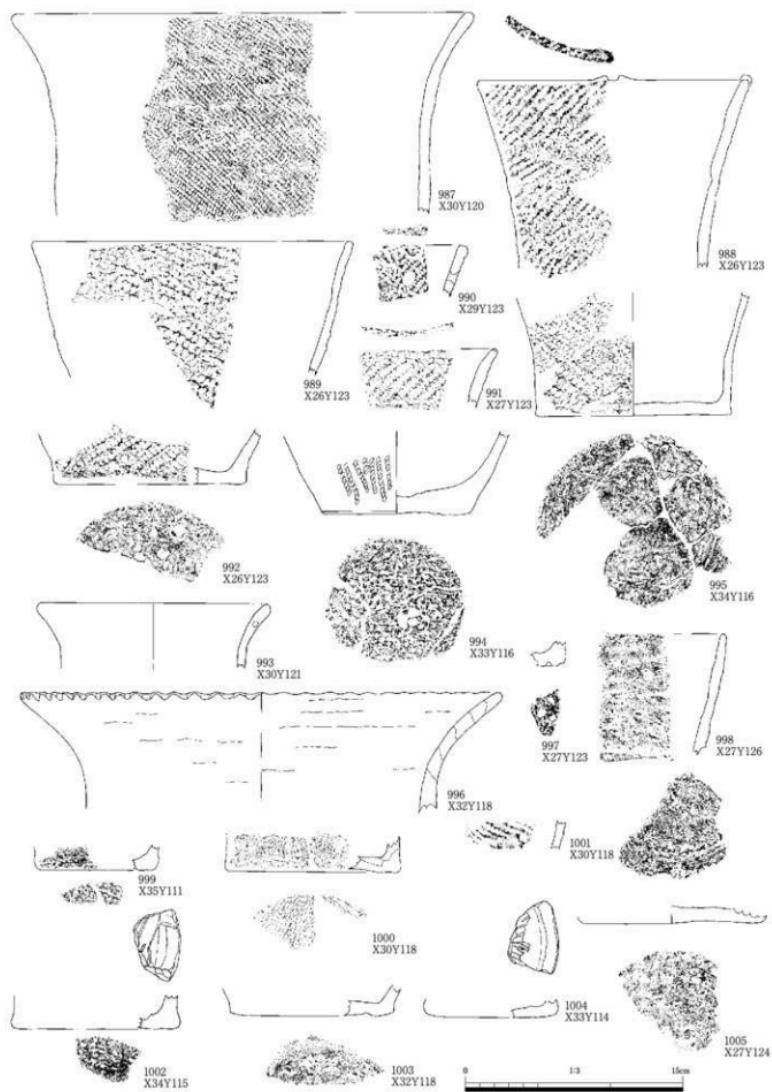


第82図 A地区 II層～IIIa層 繩文土器6 (1/3)

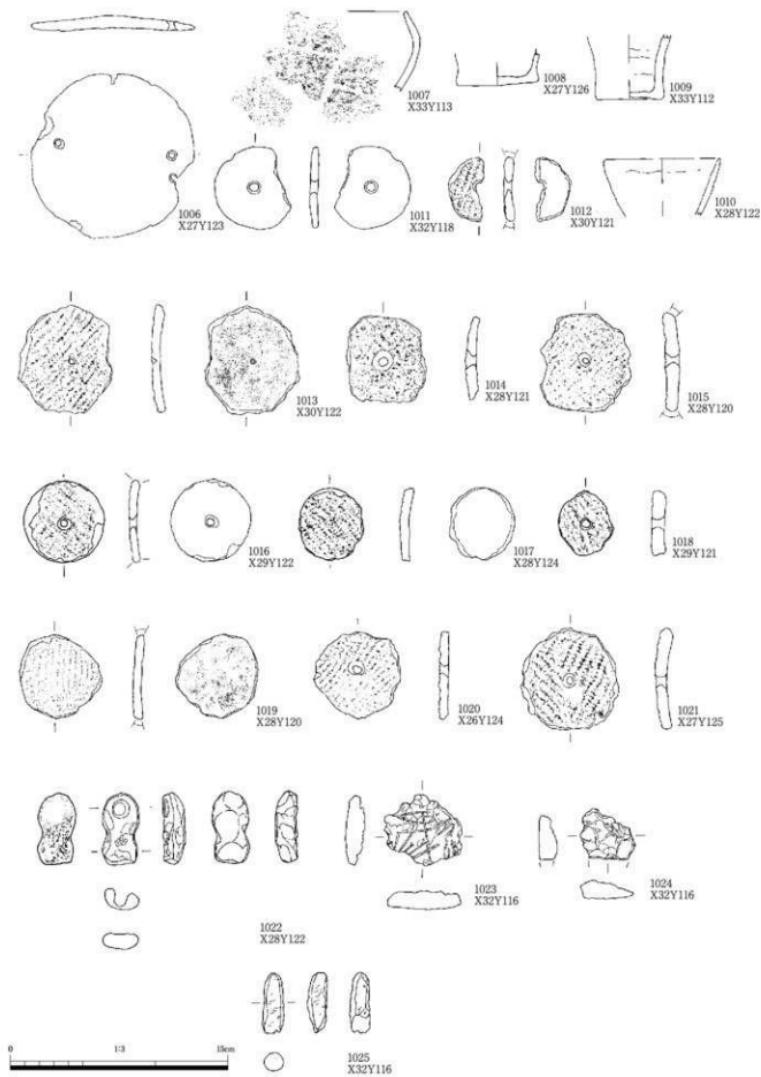


第83図 A地区 II層～IIIa層 繩文土器7 (968～971・974～976・980～986 1/3, 972・973・977～979 1/4)

3 A地区の遺構・遺物

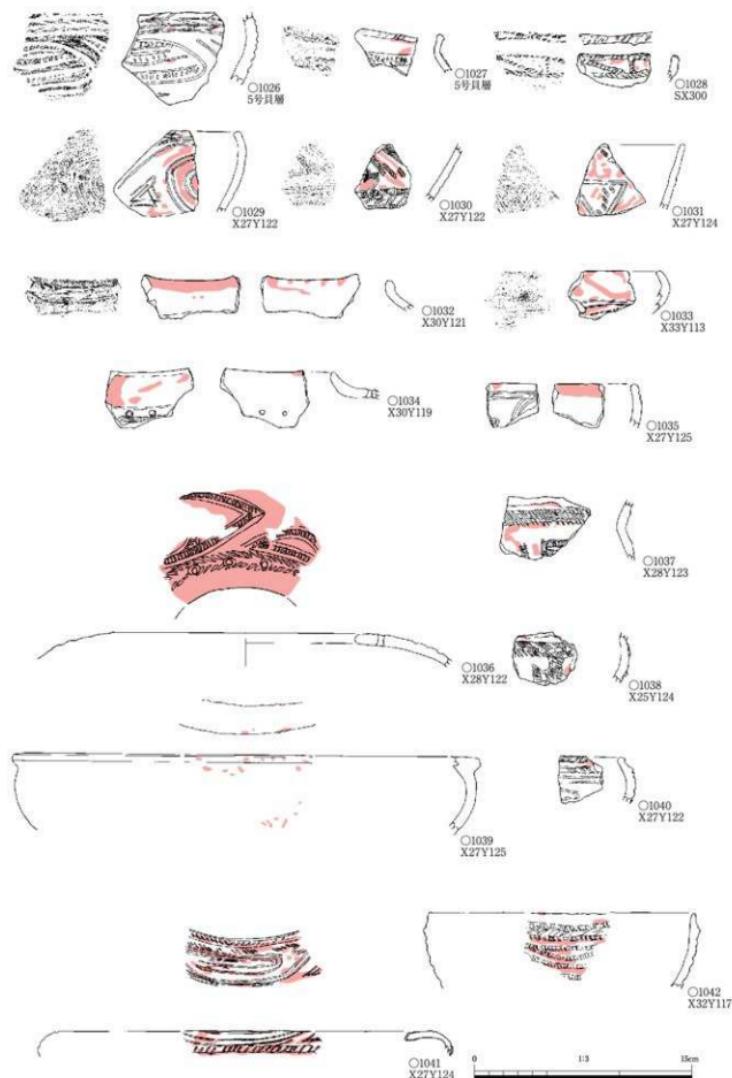


第84図 A地区 II層～IIIa層 縄文土器 8 (1/3)

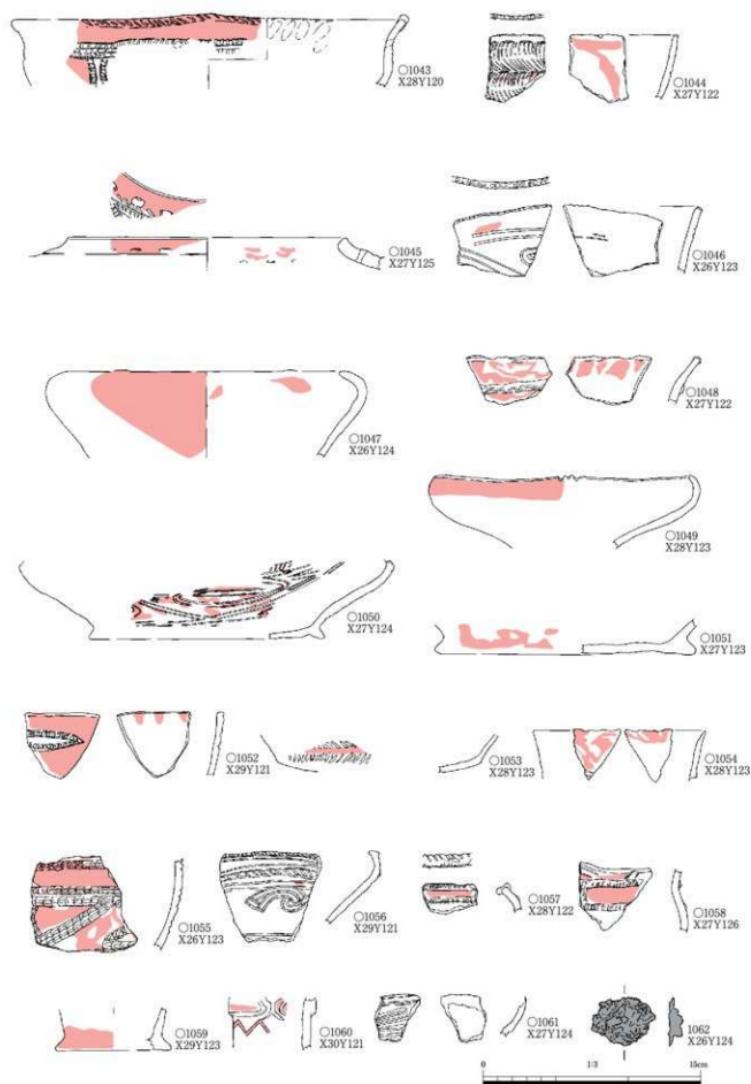


第85図 A地区 II層～IIIa層 土製品 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物



第 86 図 A 地区 上層～下層 赤彩縄文土器 1 (1/3)



第87図 A地区 上層～下層 赤彩縄文土器2・漆片 (1/3)

第11表 A地区 繩文土器一覧 (1)

第11表 A地区 繩文土器一覽 (2)

第11表 A地区 桧文土器一覽 (3)

番号	遺物	遺跡・出土場所	層位	総縦幅	土塙式(外水差)	横幅	内面	内面		地土	備考
								外側 内側	内側 外側		
43	111	X23Y121	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	112	X23Y119	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	113	X23Y121	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	114	X23Y124	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	115	X23Y121	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	116	X23Y121	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	117	X23Y121	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	118	X23Y120	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	119	X23Y116	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	120	X23Y118	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	121	X23Y125	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	122	X23Y116	正6c	鉢?	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	123	X23Y118	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	124	X23Y125	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	125	X23Y115	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	126	X23Y120	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	127	X23Y118	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	128	X23Y117	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	129	X23Y117	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	130	X23Y120	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
44	131	X23Y117	正6c	鉢?	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
45	132	X23Y115	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
45	133	X23Y123	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
45	134	X23Y124	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
45	135	X23Y124	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色
45	136	X23Y131	正6c	深鉢	前斜面 後斜面	前斜面 後斜面	内面斜面	内面斜面	内面斜面	褐色	褐色

第11表 A地区 漢文土器一覧(4)

第11表 A地区 繩文土器一覧(5)

第11表 A地区 繩文土器一覧 (6)

番号	地點	遺跡・出土品名	層位	総面積	土器区分(代表型)	灰度	測定範囲	測定値	内部		地土	備考
									外側	内側		
50	270 (S1 N6)	深層土	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	赤褐色	褐色	石英	
50	271 (S1 N6) 15	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	13.8	ナダ	褐色	褐色
50	272 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	40.0	ナダ	褐色	褐色
50	273 (S1 N6) 17	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	15.9	ナダ	褐色	褐色
51	274 (S1 N6) 20	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	275 (S1 N6) 6	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	276 (S1 N6) 27	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	277 (S1 N6) 18	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	278 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	279 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	280 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	281 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	282 (S1 N6) 4	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	283 (S1 N6) 10	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	284 (S1 N6) 20	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	285 (S1 N6) 15	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	286 (S1 N6) 15	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	287 (S1 N6) 20	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	288 (S1 N6) 25	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	289 (S1 N6) 7	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	290 (S1 N6) 8	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	291 (S1 N6) 11	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
51	292 (S1 N6) 20	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	293 (S1 N6) 7	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	294 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	295 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	296 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	297 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	298 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	299 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	300 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	301 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	302 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	303 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	304 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	305 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	306 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	307 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	308 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	309 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	310 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色
52	312 (S1 N6) 1	深層土上	深層土	0.05	深層土	褐色	剖面測定	ナダ	—	—	褐色	褐色

第11表 A地区 織文土器一覧 (B)

番号	遺跡名	遺構・出土品名	層位	地質	土器形式(外見記)	灰度	口部形	内面	地土	備考
S2	313 501 P1	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙-二行打継縫 内面斜縫	白色	白色絹
S2	314 501	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	315 501	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	316 501 五輪形	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	317 501	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	318 501 無形	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	319 501 No.4	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	320 501	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	321 501	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	322 501	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	323 503	壁土下層	壁土下層	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	324 503	壁土下層	壁土下層	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	325 503 五輪形	壁土下層	壁土下層	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙-一列打継縫	コナード	白色	白色絹
S2	326 504 P1	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	327 504 P1	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	328 504 P1	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	329 504 五輪形	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	330 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	341 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	342 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	343 504 五輪形	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	344 504 五輪形	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	345 504 五輪形	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	346 504 五輪形	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	347 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	348 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	349 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	350 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	351 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	352 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	353 504	壁土	壁土	深鉆	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S2	354 504 No.1	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	346 507 No.1	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	347 507 No.1	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	348 507 No.4	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	349 507 No.1	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	350 507 P1	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	351 507	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	352 507 P1	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	353 507	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹
S4	354 507	田園地土	田園地土	斜切縫隙	褐色	斜切縫隙	斜切縫隙	コナード	白色	白色絹

第11表 A地区 梁文土器一覧 (9)

第11表 A地区 繩文土器一覧 (10)

表 11 A 地区 繩文土器一覽 (11)

第11表 A地区 繩文土器一覧 (12)

第11表 A地区 槌文土器一覧 (13)

第 11 表 A 地区 梗文土器一覽 (14)

表 11 A 地区 楩文土器一覽 (15)

第11表 A地区 橋文土器一覧 (16)

3 A地区の遺構・遺物

第11表 A地区 繩文土器一覧 (17)

第11表 A地区 繩文土器一覧 (18)

測量番号	遺構名	層位	標高	土器形状(外観型式)	底面 (mm)	口部面 (mm)	文様		地土	備考
							内面	外面		
71	K20Y121	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	無文(引領縫)	無文(引領縫)	褐色土	褐色土
71	K20Y124	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y122	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y112	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y113	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y123	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y112	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y113	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y120	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y123	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y121	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y119	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y123	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y114	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y124	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
71	K20Y116	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
72	K20Y122	柱跡	深井	深井2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土
72	K20Y116	柱跡	小井穴A-2	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土
72	K20Y124	柱跡	深井	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土
72	K20Y118	柱跡	深井	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土
72	K20Y117	柱跡	深井	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土
72	K20Y110	柱跡	深井	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土
72	K20Y118	柱跡	深井	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土
72	K20Y119	柱跡	深井	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土
72	K20Y122	柱跡	深井	斜削底面	直口(5)	子目(引領縫)一横縫	子目(引領縫)一横縫	褐色土	褐色土	褐色土

第11表 A地区 織文土器一覧(19)

表第11 A地区 楩文土器一覽 (20)

地番	遺物	遺跡・出土地点	層位	種類	判明	土器模式(外見記)	直徑(cm)	口部形	文様	
									外見	内面
75	800 612 01 14			深鉢	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
75	801 612 01 14			鉢	新石器	新石器	径 6.6	—	新石器時代	白灰
75	802 612 01 14	新石器	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
75	803 612 01 14	新石器	新石器	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
75	804 612 01 14	新石器	新石器	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	805 第1号土器點付鉢	No.13	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	806 第1号土器點付鉢	No.21	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	807 第1号土器點付鉢	No.1	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	808 第1号土器點付鉢	No.5	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	809 第1号土器點付鉢	No.7	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	810 第1号土器點付鉢	No.8	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	811 第1号土器點付鉢	No.19	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	812 第1号土器點付鉢	No.19	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	813 第1号土器點付鉢	No.9	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	814 第1号土器點付鉢	No.19	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	815 第1号土器點付鉢	No.9	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	816 第1号土器點付鉢	No.15	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	817 第1号土器點付鉢	No.17	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	818 第1号土器點付鉢	No.19	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	819 第1号土器點付鉢	No.19	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	820 第1号土器點付鉢	No.22	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
76	821 第1号土器點付鉢	No.21	深鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	822 X30Y116	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	823 X30Y116	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	824 X30Y116	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	825 X30Y112	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	826 X30Y112	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	827 X30Y114	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	828 X30Y117	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	829 X30Y124	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	830 X30Y111	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	831 X30Y111	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	832 X30Y115	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰
77	833 X30Y125	II	鉢	新石器	新石器	新石器	—	直口	新石器時代	白灰

第11表 A地区 漢文土器一覽 (22)

第11表 A地区 繩文土器一覧 (23)

第11表 A地区 繩文土器一覽 (24)

第11表 A地区 繩文土器一覧 (25)

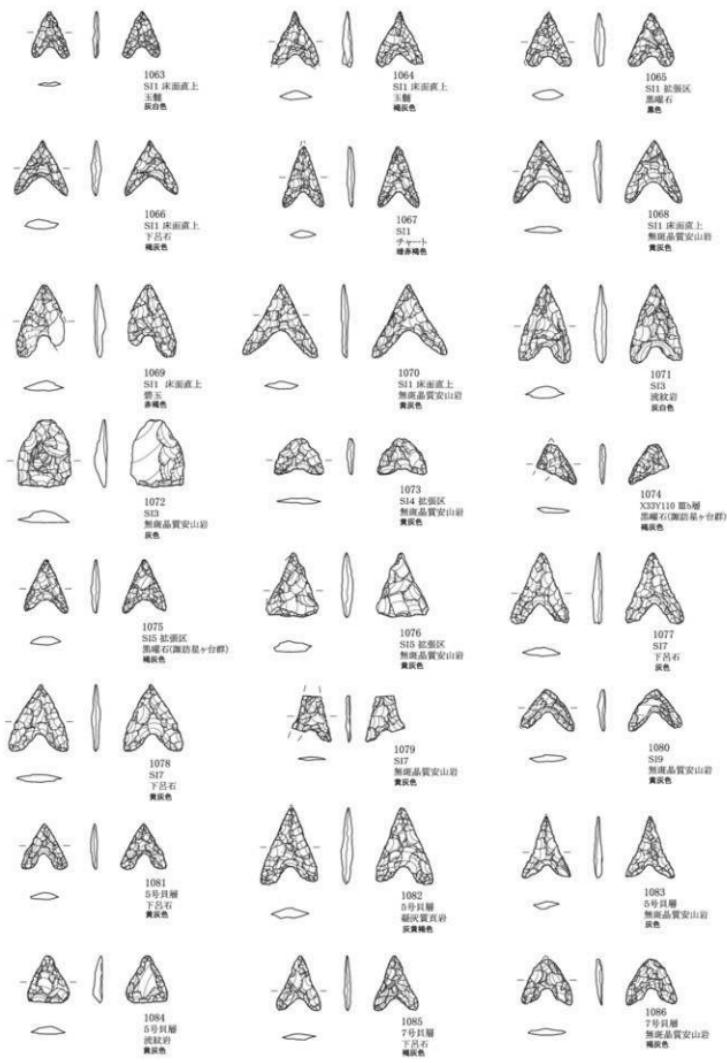
第11表 A地区 桶文土器一覽 (26)

遺跡名	遺物	層位	種類	判明	土器形式(外観形状)	法面(φ)	口部面	内面	地質	
									外側	内側
86	1034 K27Y125	Ⅲb	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	15.0	口	ヨコナードー傾斜面	白灰岩	白灰岩
86	1034 K27Y122	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	15.0	口	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
86	1037 K27Y123	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
86	1038 K27Y124	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
86	1039 K27Y125	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
86	1040 K27Y122	Ⅲb	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
86	1041 K27Y124	Ⅲb	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
86	1042 K27Y123	Ⅲb	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1043 K27Y120	Ⅲb	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1044 K27Y122	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1045 K27Y123	Ⅲb	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1046 K27Y123	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1047 K27Y124	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1048 K27Y122	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1049 K27Y123 No. 146	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1050 K27Y124	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1051 K27Y123	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1052 K27Y121	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1053 K27Y122	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1054 K27Y123	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1055 K27Y123	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1056 K27Y121	Ⅲ	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1057 K27Y122	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1058 K27Y124	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1059 K27Y123	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1060 K27Y121	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩
87	1061 K27Y124	Ⅲc	漆器	漆器	漆器底面 漆器内面	—	—	(ヨコナードー傾斜面) 漆器底面 漆器内面	白灰岩	白灰岩

第11表 A地区 鉢文土器一覧 (27)

第12表 A地区 土製品一覧 (1)

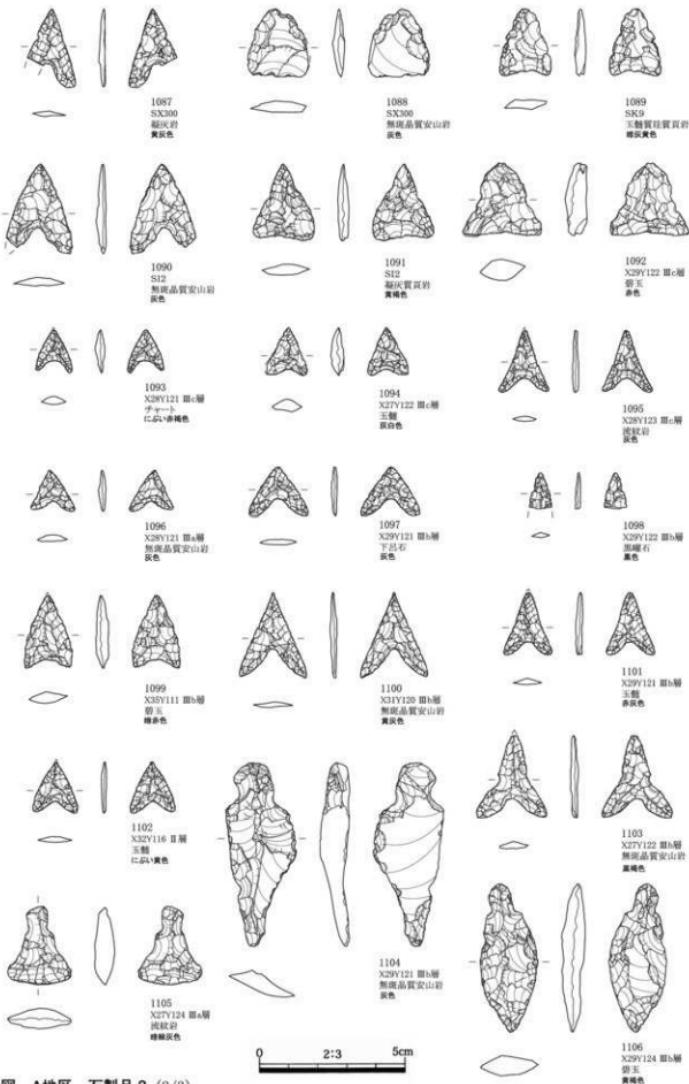
第12表 A地区 土製品一覧 (2)



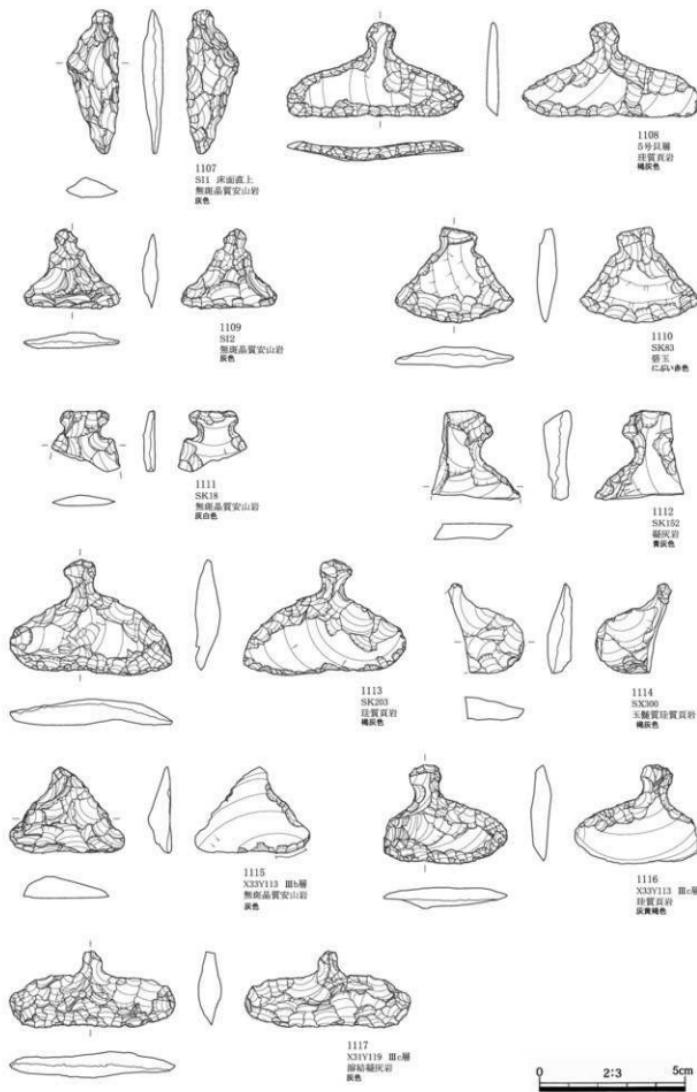
第88図 A地区 石製品1 (2/3)

0 2:3 5cm

3 A地区の遺構・遺物

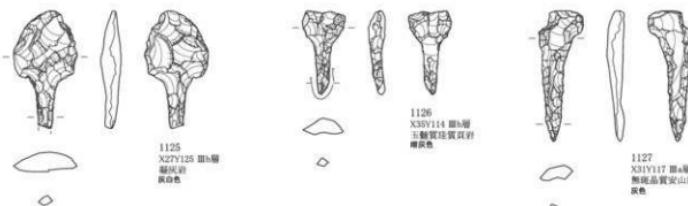
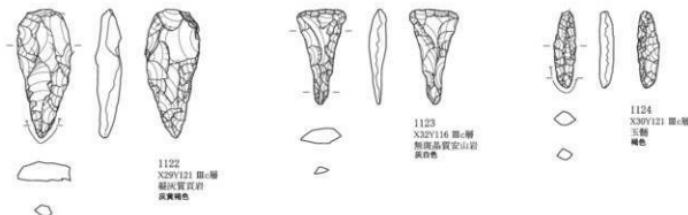
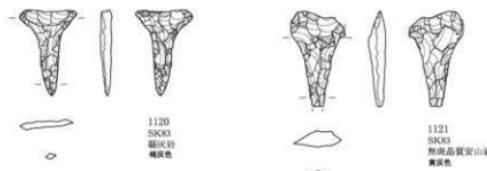


第89図 A地区 石製品2 (2/3)



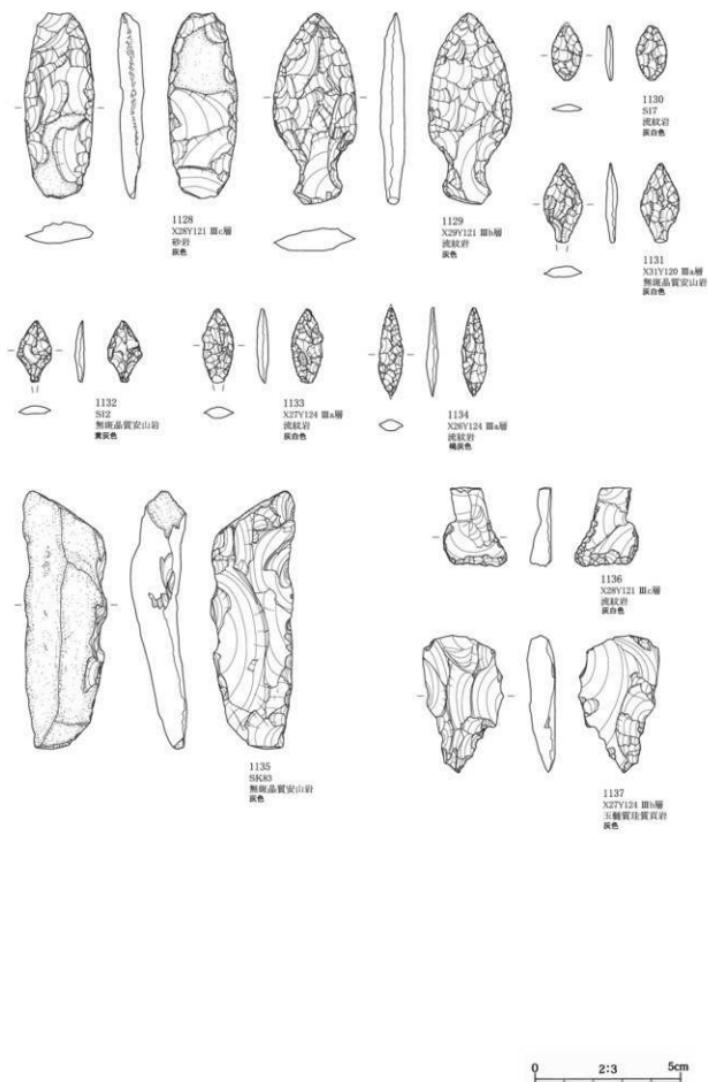
第90図 A地区 石製品3 (2/3)

3 A地区の遺構・遺物



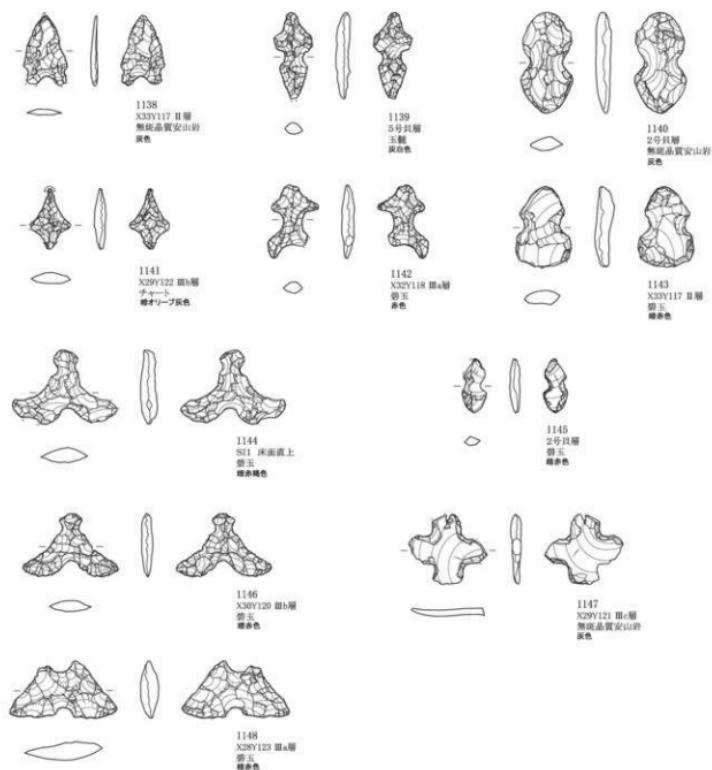
0 2:3 5cm

第91図 A地区 石製品4 (2/3)



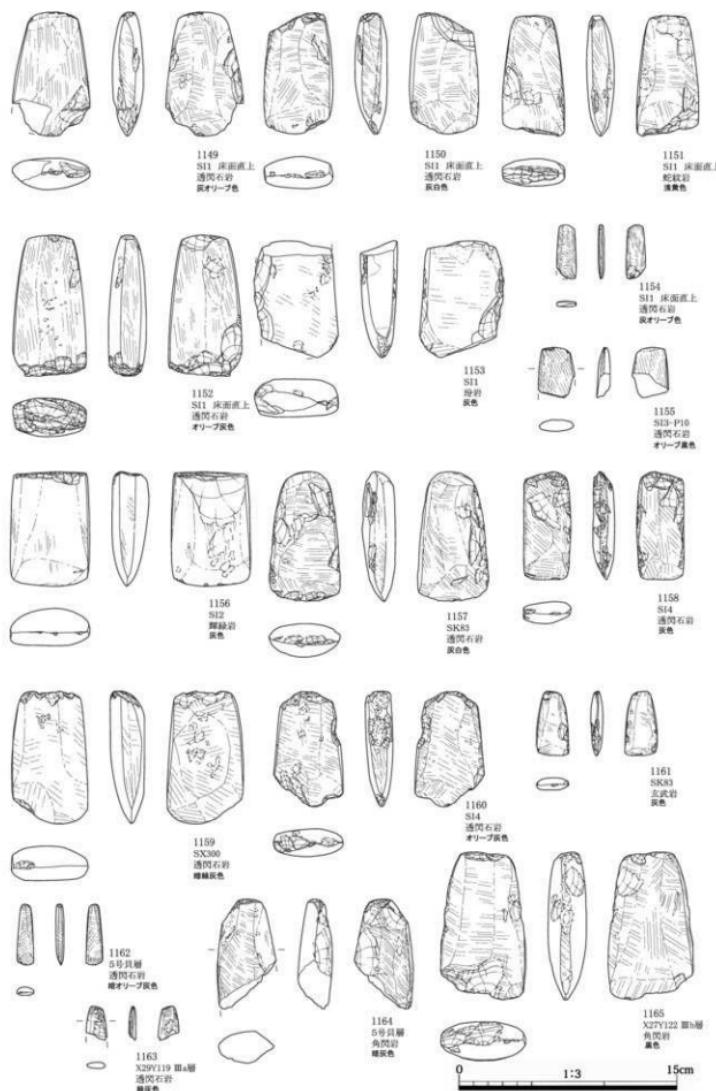
第92図 A地区 石製品5 (2/3)

3 A地区の遺構・遺物



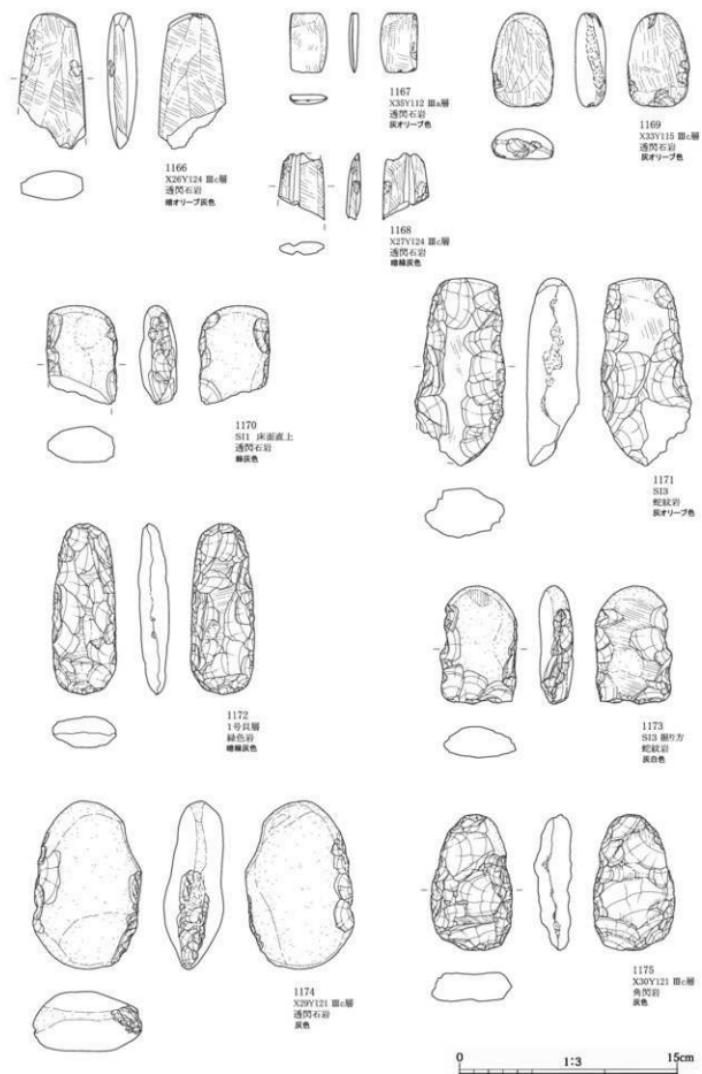
0 2:3 5cm

第93図 A地区 石製品6 (2/3)

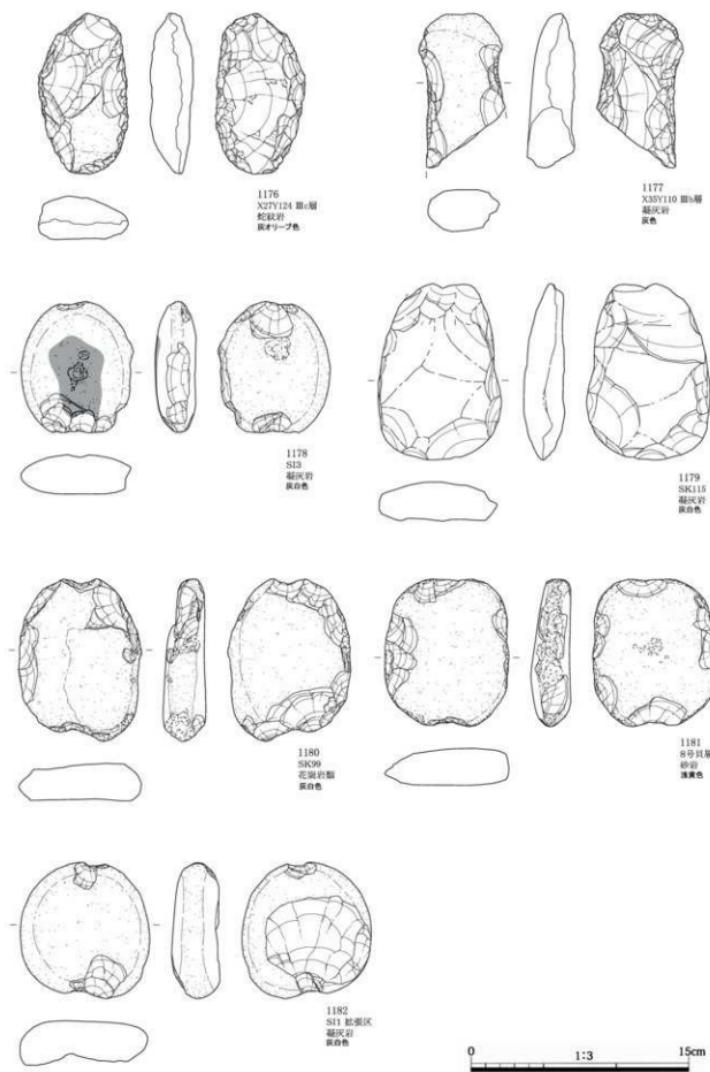


第94図 A地区 石製品7 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

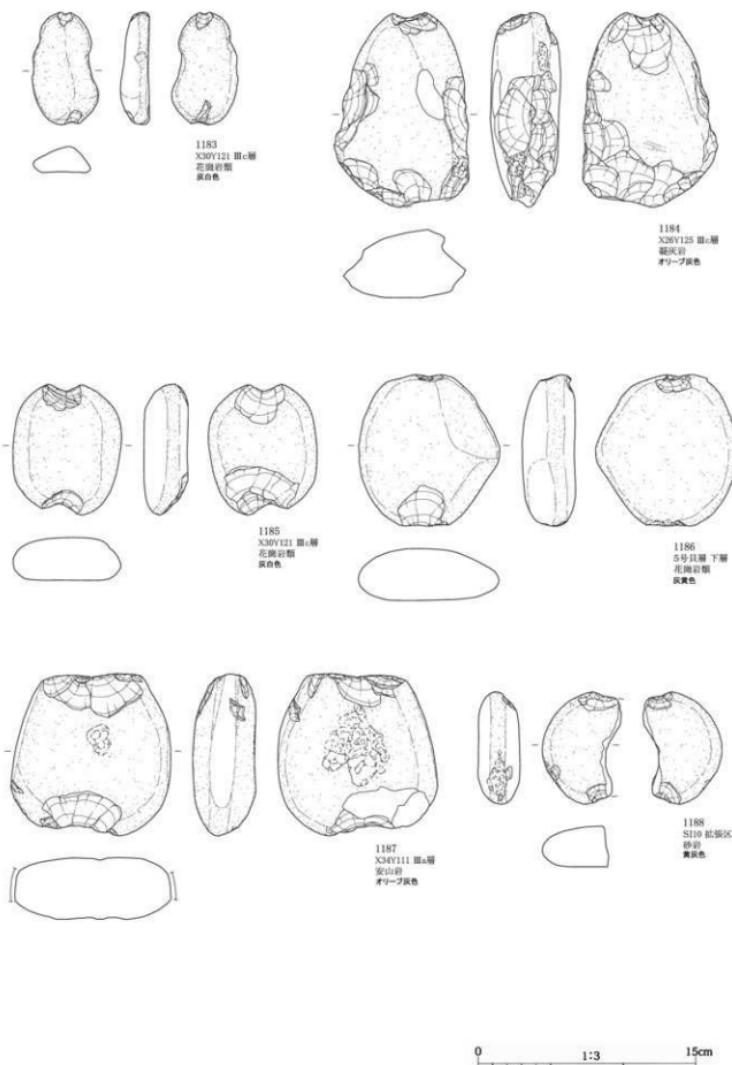


第95図 A地区 石製品8 (1/3)

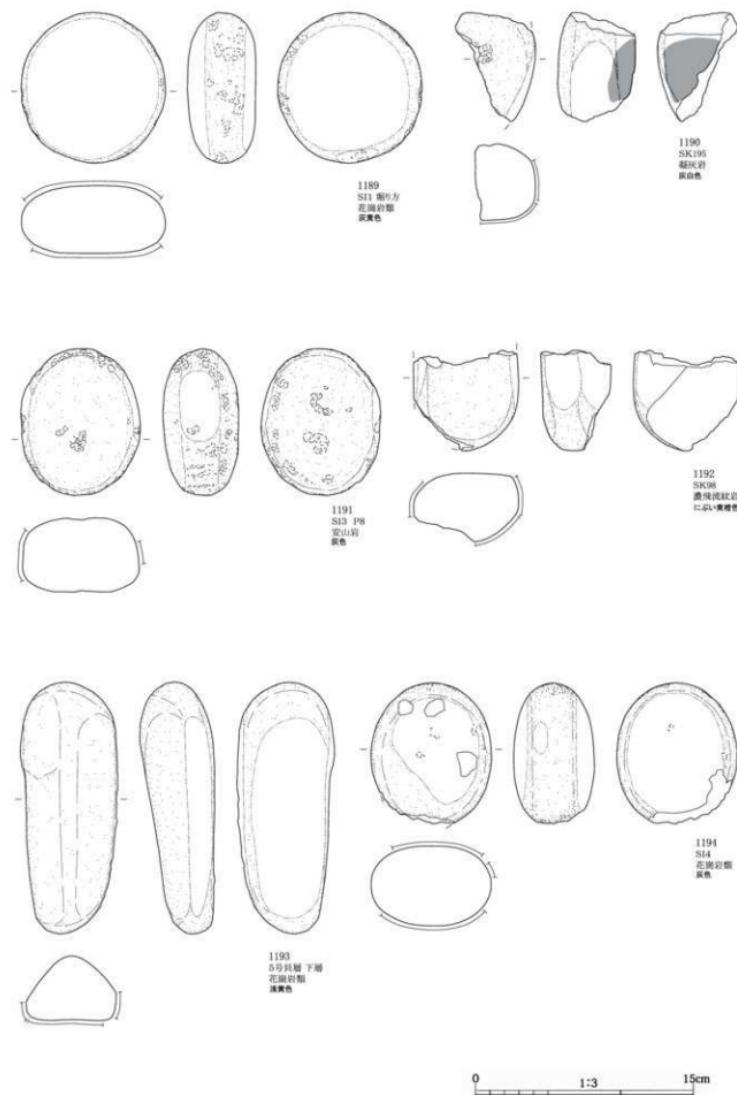


第96図 A地区 石製品9 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

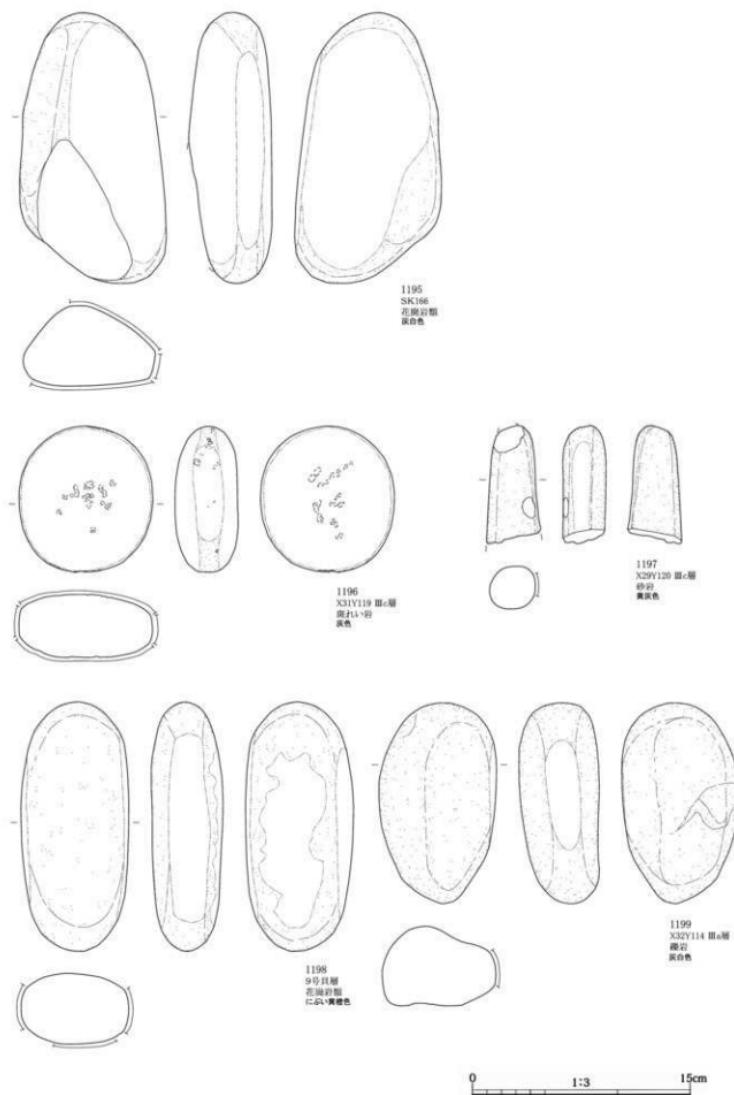


第97図 A地区 石製品10 (1/3)

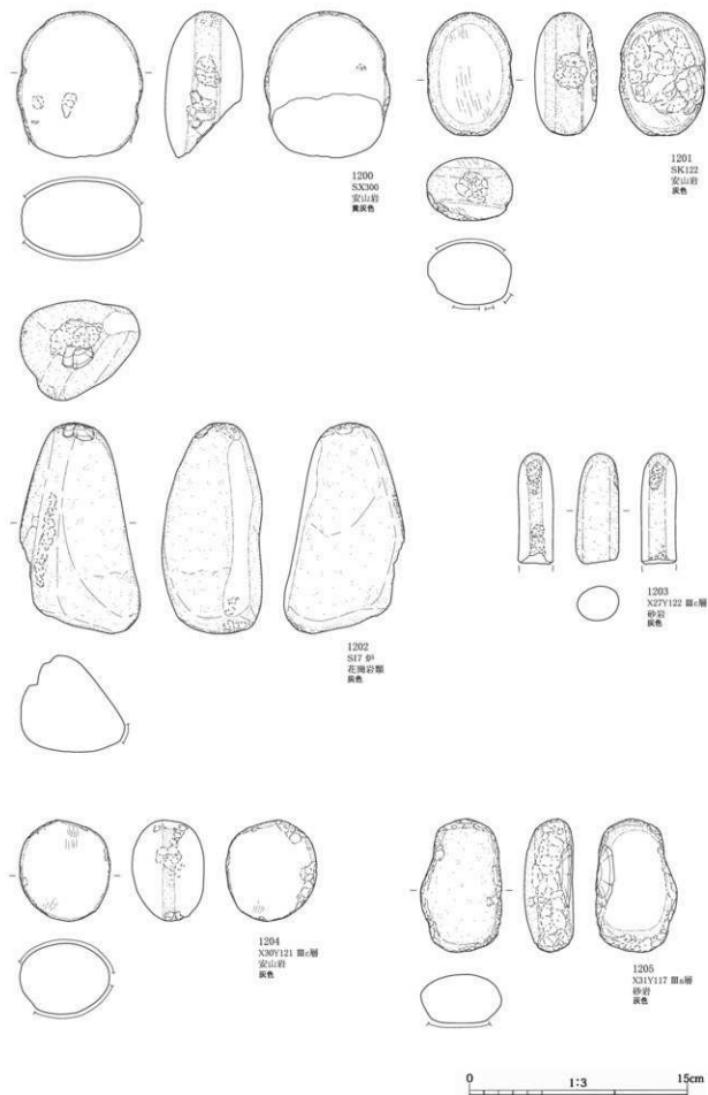


第98図 A地区 石製品 11 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物

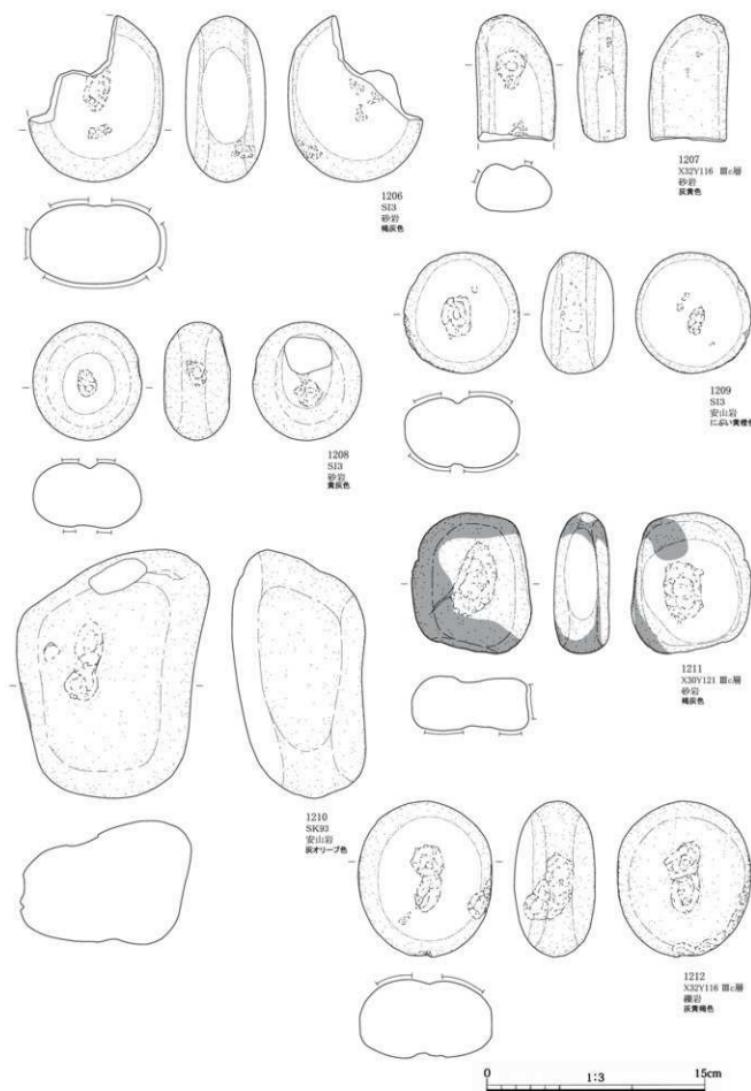


第99図 A地区 石製品12 (1/3)

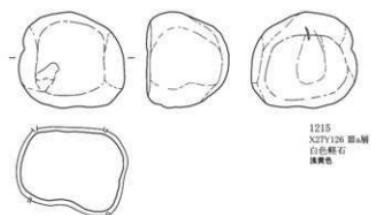
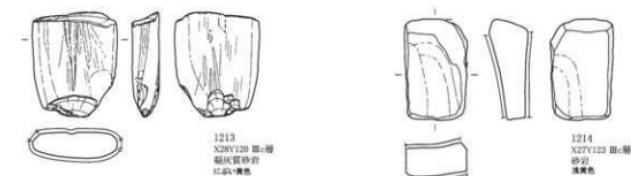


第100図 A地区 石製品 13 (1/3)

3 A地区の遺構・遺物



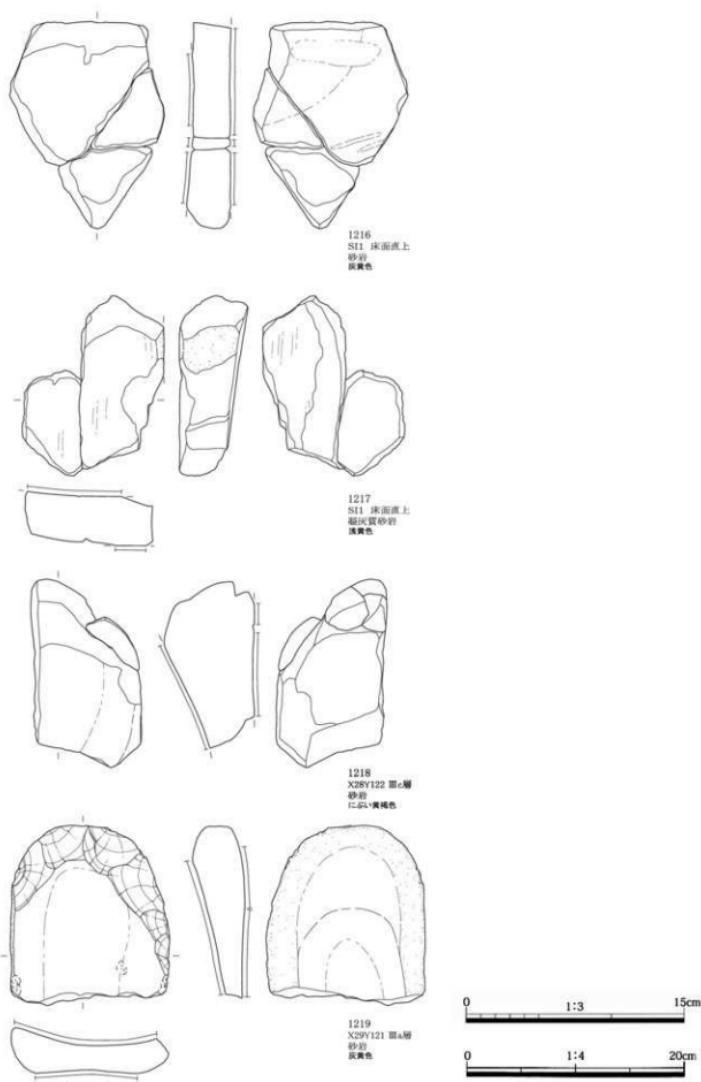
第101図 A地区 石製品 14 (1/3)



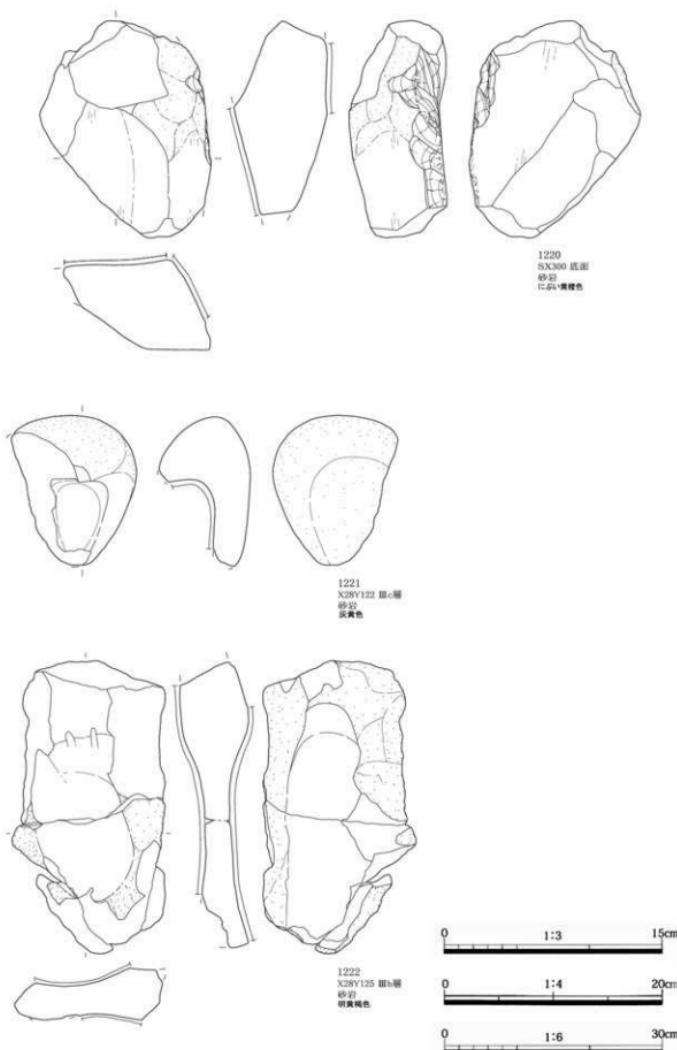
第102図 A地区 石製品15 (1/3)



3 A地区の遺構・遺物

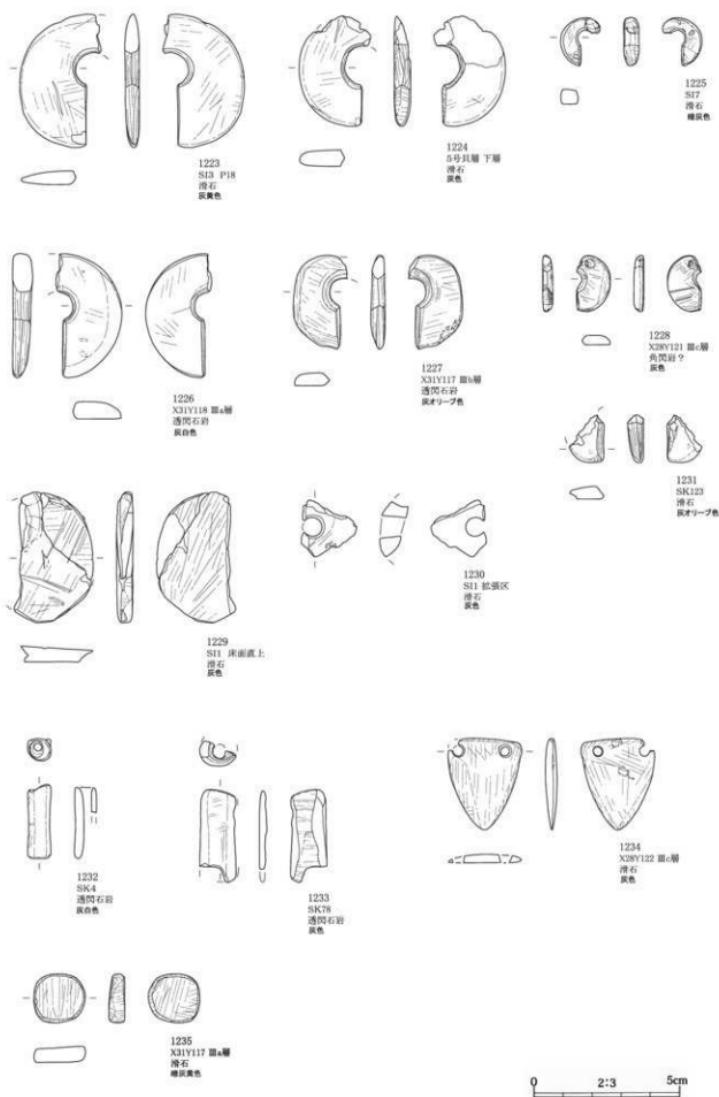


第103図 A地区 石製品 16 (1217~1219 1/3, 1216 1/4)



第104図 A地区 石製品 17 (1221 1/3, 1220 1/4, 1222 1/6)

3 A地区の遺構・遺物



第105図 A地区 石製品 18 (2/3)

辨別	遺物番号	遺構・出土地点	層位	種類	法面(m×g)			備考	石材
					高さ	幅	厚さ		
88	1063	SI1	床面直上	石板	1.61	1.30	0.22	0.26	瓦體
88	1064	SI1	床面直上	石板	1.93	1.64	0.37	0.60	瓦體
88	1065	SI1	底張床	石板	1.83	1.58	0.36	0.39	瓦體
88	1066	SI1	床面直上	石板	1.91	1.83	0.36	0.57	瓦體
88	1067	SI1	埋土	石板	2.10	1.42	0.28	0.54	瓦體
88	1068	SI1	床面直上	石板	2.18	1.96	0.28	0.71	瓦體
88	1069	SI1	床面直上	石板	2.46	1.69	0.38	0.95	瓦(先端丸頭) 瓦體無基
88	1070	SI1	床面直上	石板	2.54	2.58	0.27	0.88	瓦端丸頭 瓦體無基 開削形
88	1071	SI3	壁下土層	石板未完成?	2.71	1.80	0.44	1.46	瓦體
88	1072	SD1	埋土	石板未完成?	2.34	1.85	0.44	1.68	瓦端丸頭 平基無基 斜面刻割少ない
88	1073	SD4	底張床	石板	1.28	1.70	0.26	0.49	瓦體
88	1074	X39Y110	壁b S24上	石板	1.36	1.38	0.21	0.28	鋸削部・直角 瓦體無基
88	1075	SD5	底張床	埋土	1.86	1.50	0.30	0.48	瓦體
88	1076	SD5	底張床	石板未完成?	2.24	1.80	0.40	1.29	瓦體
88	1077	SD7	埋土	石板	2.46	2.01	0.34	0.91	瓦體
88	1078	SD7	埋土	石板	2.31	2.05	0.31	0.91	瓦體
88	1079	SD7	埋土	石板	1.61	1.37	0.17	0.33	瓦端丸頭欠損 瓦體無基
88	1080	SB1	石板	1.45	1.84	0.28	0.44	瓦體	
88	1081	5号貝塚	西尻層付近	石板	1.58	1.58	0.23	0.37	瓦體
88	1082	5号貝塚	東	石板	2.65	1.97	0.41	1.77	瓦端丸頭 瓦基無基
88	1083	5号貝塚	東	石板未完成?	2.12	1.68	0.29	0.46	瓦端丸頭 瓦基無基 タワー状
88	1084	5号貝塚	北西	石板未完成?	1.64	1.44	0.34	0.66	瓦體
88	1085	7号貝塚	東	石板	1.90	1.53	0.23	0.38	瓦體
88	1086	7号貝塚	南東	石板	1.60	1.75	0.24	0.53	瓦端丸頭 瓦體無基
88	1087	X3300	東	石板	2.71	1.65	0.25	0.83	鋸削部欠損? 瓦基無基
88	1088	X3300	西	石板未完成?	2.38	2.12	0.43	1.38	瓦體
88	1089	SK8	石板未完成?	石板	2.31	1.79	0.38	1.35	瓦端丸頭 瓦體無基 平添
88	1090	SD2	石板	3.10	2.29	0.36	1.89	鋸削端丸頭 瓦基無基	
88	1091	SD2	石板	2.65	2.12	0.38	1.82	瓦體	
88	1092	X39Y122	壁c	真理石等	2.51	2.72	0.77	0.50	瓦體
88	1093	X39Y121	壁c	石板	1.49	1.28	0.30	0.33	瓦端・鋸削端丸頭 瓦基無基 小型
88	1094	X37Y122	壁c	石板	1.66	1.42	0.46	0.42	瓦體
88	1095	X37Y123	壁c	石板	2.15	1.74	0.22	0.42	瓦端丸頭 瓦基無基
88	1096	X39Y121	壁c	石板	1.42	1.53	0.27	0.32	瓦體
88	1097	X39Y121	壁c	石板	1.69	2.04	0.20	0.47	瓦體
88	1098	X39Y122	壁c	石板	1.25	0.78	0.20	0.15	鋸削片側のみ 瓦基無基
88	1099	X39Y111	壁b	石板	2.53	1.87	0.45	1.89	瓦端丸頭 瓦基無基
88	1100	X31Y120	壁c	石板	2.97	2.33	0.25	0.88	瓦體
88	1101	X39Y121	壁c	石板	2.16	1.68	0.25	0.60	瓦端丸頭 瓦基無基 平添
88	1102	X39Y116	壁	石板	1.78	1.56	0.20	0.47	瓦體
88	1103	X37Y122	壁c	石板	2.84	2.44	0.29	1.11	瓦端丸頭 瓦基無基 斜面削り
88	1104	X39Y121	壁c	石板未完成?	6.34	2.45	1.04	9.24	瓦體
88	1105	X37Y124	壁c	石板	2.72	2.30	0.72	2.72	瓦體
88	1106	X39Y124	壁c	石板	5.12	2.00	0.63	8.86	瓦體
88	1107	SD1	床面直上	石板	4.87	1.81	0.75	5.45	瓦體
88	1108	5号貝塚	東	石板	3.29	6.10	0.70	7.93	瓦體
88	1109	SD2	石板	2.76	3.30	0.56	3.25	瓦體	
88	1110	SK83	石板	3.32	4.10	0.75	4.88	瓦體	
88	1111	SK18	石板	2.11	2.36	0.41	2.05	つまみの山	
88	1112	SK182	石板	3.10	3.08	0.98	4.52	つまみの山 槌型	
88	1113	SK83	石板	4.01	5.80	0.93	12.93	瓦體	
88	1114	X3300	西部	石板	3.11	2.64	0.85	5.00	1/2 槌型
88	1115	X39Y113	壁b	石板未完成?	2.98	3.87	0.83	8.63	瓦體
88	1116	X37Y113	壁c	石板	2.43	4.27	0.74	7.05	瓦體
88	1117	X39Y119	壁c	石板	2.66	5.72	0.92	8.47	つまみの山 槌型
88	1118	SK7	石板	1.60	1.62	0.42	3.04	基部丸頭 Y字状	
88	1119	SK31	石板	1.84	2.18	0.80	2.30	基部丸頭丸頭 T字状	
88	1120	SK83	No.2	石板	2.97	1.98	0.42	1.20	瓦體

第14表 A地区 石製品一覧 (1)

3 A地区の遺構・遺物

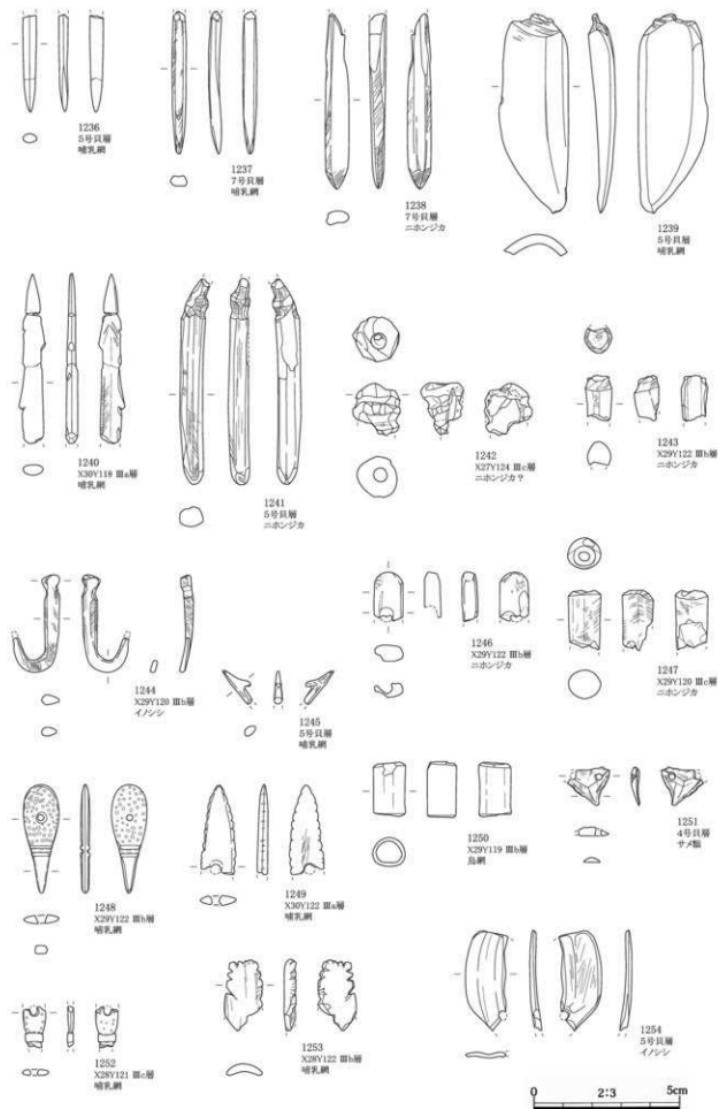
番号	遺物番号	遺構・出土地点	層位	種類	法面(m²)			備考	石材
					高さ	幅	厚さ		
91	1121	SK03	No.1	石版	3.00	1.88	0.60	2.42 無縫加工 T字状	無限品質安山岩
91	1122	X2P1Y121	Ⅲa	石版	4.45	1.89	0.91	6.58 有縫 裁断 使用歴分析No.10	無限品質安山岩
91	1123	X2P1Y118	Ⅲc	石版	3.29	1.69	0.60	2.39 有縫 三角形 瓦化	無限品質安山岩
91	1124	X2P1Y121	Ⅲc No.691	石版	2.68	0.78	0.30	1.16 有縫 四角形 暗色	玉髓
91	1125	X2T1Y125	Ⅲb	石版	4.08	2.21	0.71	4.20 有縫 大きなスライド 白色	無限品質安山岩(魔王山系)
91	1126	X2P1Y114	Ⅲb	石版	2.80	1.49	0.58	4.40 有縫 加工はほとんどなし T字状 使用歴分析No.7	無限品質安山岩(魔王山系)
91	1127	X2T1Y117	Ⅲa	石版	4.53	1.56	0.82	2.67 基部T側面切欠き T字状	無限品質安山岩(魔王山系)
92	1128	X2P1Y121	Ⅲa	尖端部未完成	2.41	2.42	0.92	16.07 有縫 外斜面 倒産打刃剥離	碧玉
92	1129	X2P1Y121	Ⅲb	尖端部	6.81	2.30	0.85	15.15 有縫 矩形 神像型ボウンド	流紋岩(魔王山系)
92	1130	377	北西斜面	小尖端部	1.80	1.06	0.25	0.55 有縫 木部斜面 瓦化	流紋岩(魔王山系)
92	1131	X2T1Y120	Ⅲa	小尖端部	2.78	1.34	0.40	1.26 有縫 有節 錐形	無限品質安山岩
92	1132	377	小尖端部	2.13	1.19	0.33	0.70 有縫 有節 錐形	無限品質安山岩	
92	1133	X2T1Y124	Ⅲa	小尖端部	2.57	1.09	0.39	0.80 有縫 木部斜面 一部剝離	流紋岩(魔王山系)
92	1134	X2P1Y124	Ⅲa	小尖端部	3.98	0.86	0.41	0.85 有縫 木部斜面	流紋岩(魔王山系)
92	1135	SK03	No.3	二重加工片	8.80	2.81	1.97	38.15 有縫 倒産打刃剥離	無限品質安山岩
92	1136	X2P1Y121	Ⅲc No.892	二重加工片	2.73	2.19	0.74	2.38 一部欠損 倒産打刃剥離 白色	流紋岩(魔王山系)
92	1137	X2T1Y124	Ⅲb	二重加工片	4.74	2.76	0.99	10.40 有縫 三斜面 倒産打刃剥離	無限品質安山岩(魔王山系)
93	1138	X2T1Y117	Ⅲ	圓柱石器	2.43	1.52	0.24	0.87 有縫 石部変形 基部二段 灰色	無限品質安山岩
93	1139	2号貝殻	圓柱石器	2.59	1.34	0.30	1.46 圆筒ヒビ付 破損	玉髓	
93	1140	2号貝殻	圓柱石器	3.48	1.79	0.54	3.85 有縫 ダラマ状 暗色	無限品質安山岩	
93	1141	X2P1Y122	Ⅲb	石版	2.08	1.38	0.41	0.76 有縫 十字状 線状 使用歴分析No.6	テキサート
93	1142	X2T1Y118	Ⅲa	圓柱石器	2.54	1.76	0.44	0.88 有縫 人類 彩色	碧玉(鈍石英)
93	1143	X2T1Y117	Ⅲ	圓柱石器	2.78	1.92	0.69	3.34 有縫 ダラマ状 暗色	碧玉(鈍石英)
93	1144	SI1	床面面上	圓柱石器	2.55	3.62	0.59	2.86 有縫 石部変形 八字形 条状 使用歴分析	碧玉(鈍石英)
93	1145	2号貝殻	圓柱石器	1.88	0.84	0.36	0.52 有縫 ダラマ状 小型 彩色	碧玉(鈍石英)	
93	1146	X2P1Y120	Ⅲc	圓柱石器	2.18	3.31	0.39	1.83 有縫 石部変形 八字形 彩色	碧玉(鈍石英)
93	1147	X2P1Y121	Ⅲc	圓柱石器	2.42	2.71	0.38	1.75 有縫 二列状 彩色	無限品質安山岩
93	1148	X2P1Y123	Ⅲa	圓柱石器	1.99	3.71	0.64	3.85 有縫 M字状 彩色 使用歴分析No.9	碧玉(鈍石英)
94	1149	SI1	床面面上	圓柱石器	8.58	5.39	2.18	149.60 万部欠損 基部倒産打刃 使用歴分析No.2	透閃石岩-絆駿岩
94	1150	SI1	床面面上	圓柱石器	8.37	4.79	2.25	142.00 基部欠損 階段化軸付石器	透閃石岩
94	1151	SI1	床面面上	圓柱石器	8.34	4.31	1.94	83.31 万部欠損 丸付軸 使用歴分析No.3	透閃石岩-透閃石岩
94	1152	SI1	床面面上	圓柱石器	9.75	5.08	2.66	231.40 万部欠損 基部-万部倒産打刃剥離	透閃石岩
94	1153	SI1	底面未完成品	圓柱石器	6.00	5.81	2.03	196.10 基部欠損 倒産剥離1 斜削?	透閃石岩
94	1154	SI1	床面面上	圓柱石器	3.74	1.36	0.41	4.67 万部欠損 傾斜 小型 基部剝離打痕	透閃石岩
94	1155	SI2-P10	圓柱石器	3.68	2.53	0.97	10.86 万部欠損 有縫	透閃石岩	
94	1156	SI2	No.1	圓柱石器	7.82	5.50	2.06	194.76 基部欠損 一部剝離 刃剥離	輝青石
94	1157	SK03	No.4	圓柱石器	8.88	4.91	2.32	139.35 万部欠損 万部剝離 使用歴分析No.1	透閃石岩
94	1158	SI2	圓柱石器	7.45	3.28	1.53	49.16 基部欠損 有縫物付 万部剝離	透閃石岩	
94	1159	SK000	No.S10	圓柱石器	9.17	5.30	2.42	206.77 万部欠損 有縫物付No.11	透閃石岩
94	1160	SI4	圓柱石器	7.88	4.81	1.93	118.51 万部-基部欠損 倒産剥離打痕	透閃石岩-共閃石	
94	1161	SK03	埋土	圓柱石器	4.47	2.24	0.86	12.12 有縫 二列状 刃剥離	玄武岩
94	1162	SI2	2号貝殻	圓柱石器	4.22	1.18	0.58	5.94 有縫 小型 万部剝離 使用歴分析No.12	透閃石岩
94	1163	X2P1Y118	Ⅲa	圓柱石器	2.35	1.46	0.50	2.38 小型 刃剥離 剥離物付剝離	透閃石岩
94	1164	2号貝殻	圓柱石器未完成品	7.59	4.09	2.38	89.02 万部欠損 一部剝離	角閃石	
94	1165	X2T1Y122	Ⅲc	圓柱石器	10.25	5.98	2.65	258.00 万部欠損 基部-倒産剝離打痕 使用歴分析No.5	角閃石-共閃石
95	1166	X2P1Y124	Ⅲc No.132	圓柱石器	9.26	4.64	2.02	12.09 万部欠損 有縫物付No.4	透閃石岩-共閃石
95	1167	X2P1Y121	Ⅲa	圓柱石器	4.11	2.58	0.87	12.13 有縫 万部剝離 倒産剝離	透閃石岩
95	1168	X2T1Y118	Ⅲc	圓柱石器	4.63	3.19	1.00	17.38 万部-基部欠損 黄褐色 剥離物付	透閃石岩
95	1169	X2T1Y115	Ⅲc	圓柱石器未完成品	6.48	4.26	2.11	95.49 万部 全表面剥離 倒産剝離打痕	透閃石岩
95	1170	SI1	床面面上	圓柱石器未完成品	6.62	4.93	2.58	132.00 万部欠損 倒産剝離打痕	透閃石岩
95	1171	SI3	壁土下層	圓柱石器未完成品	12.92	6.24	3.00	298.00 万部欠損 壁土全表面剝離 倒産剝離打痕	透閃石岩
95	1172	1号貝殻	圓柱石器未完成品	11.81	4.41	2.13	155.97 万部-全表面剝離 倒産剝離打痕	綠色岩	
95	1173	SI3	埋土	圓柱石器未完成品	8.19	5.34	2.34	126.15 万部欠損 倒産剝離打痕	透閃石岩
95	1174	X2P1Y121	Ⅲc	圓柱石器未完成品	11.80	7.50	4.14	499.82 万部 倒産剝離打痕	透閃石岩-角閃石
95	1175	X2P1Y121	Ⅲc No.687	圓柱石器未完成品	9.28	5.63	2.58	161.00 万部-全表面剝離 倒産剝離打痕	透閃石岩
96	1176	X2T1Y124	Ⅲc	圓柱石器未完成品	11.08	6.20	3.00	224.12 万部 全表面剝離打痕	透閃石岩
96	1177	X2P1Y110	Ⅲb	打壓石斧	10.65	5.97	3.28	226.64 万部欠損 倒産 黄褐色 合3裏151分 20石料	碧玉岩
96	1178	SI3	埋土	石版	9.08	7.75	2.02	212.21 万部 上下刃欠損 黄褐色 合3裏151分 20石料	碧玉岩

第14表 A地区 石製品一覧 (2)

採集 番号	産物番号	造営・出土地点	層位	種類	法面(m ²)				備考	石材
					高さ	幅	厚さ	重さt		
96	179	SK155	石壁?	石壁?	12.18	8.53	2.85	158.08	安形 上下打穴 露化 鹽化鉄分付	凝灰岩
96	180	SK308	石壁	石壁	11.21	6.48	2.87	20.08	安形 上下打穴	花崗岩
96	181	5号瓦層	石壁	石壁	10.17	8.58	2.78	305.82	安形 上下打穴 刮削打	砂岩(アライト)
96	182	SDI 桐原区	石壁	石壁	9.40	8.95	3.34	307.23	安形 上下打穴 表面凹み2 表面砥石 25	凝灰岩
97	183	X30Y121	壁?	石壁	7.77	4.58	2.03	91.29	安形 上下打穴 小型	花崗岩
97	184	X28Y125	壁? No.109	石壁	13.43	9.31	4.88	730.00	安形 上下打穴	凝灰岩
97	185	X30Y121	壁?	石壁	9.05	7.52	3.07	327.74	安形 上下打穴	花崗岩
97	186	5号瓦層	下層 No.83	石壁	10.46	8.77	3.73	344.00	安形 上下打穴	花崗岩
97	187	X34Y111	壁?	石壁	11.18	11.05	4.27	680.00	安形 上下打穴 表面凹み3、裏1 石孔用	安山岩(風呂屋)
97	188	SDI 桐原区	石壁	石壁	7.75	5.46	2.95	158.10	疊石の転落? 1/2 上部斜	砂岩(アライト)
98	189	SDI	壁?方	疊石	10.39	9.96	4.74	710.00	安形 表面中央露頭 刮削打痕	花崗岩
98	190	SK185	疊石	疊石	7.53	5.54	5.3	205.84	1/2 磨耗面 研磨 25	凝灰岩
98	191	SD-P8	埋土	疊石	10.15	8.29	5.28	346.00	安形 両側面に疊石 番2裏1 四切粗用	安山岩(風呂屋)
98	192	SK36	特殊疊石	疊石	6.95	7.28	4.88	278.53	1/2 側面斜面	霞飛流紋岩
98	193	5号瓦層	下層 No.28	特殊疊石	17.38	6.75	5.21	741.00	安形 側面斜面2	花崗岩
98	194	SDI	疊石	疊石	9.74	8.32	5.81	880.00	安形 番3中央露頭 上表面打模	花崗岩
99	195	SK188	特殊疊石	疊石	18.69	10.17	5.77	1491.00	安形 番3中央露頭1	花崗岩
99	196	X31Y119	壁? No.967	疊石	10.08	9.25	4.41	680.00	安形 表面側面研磨	凝灰岩
99	197	X28Y120	壁? No.777	和石	8.16	3.74	3.01	135.60	1/2 上部斜打痕 番面リン付	砂岩(アライト)
99	198	5号瓦層	和石	和石	17.19	7.49	4.98	940.00	安形 四周側面に疊石 番3中央露頭	花崗岩
99	199	X32Y114	壁?	和石	13.87	8.14	5.00	897.00	安形 表面浅いV字	礫岩
100	200	SK300	和石	和石	10.11	8.89	3.37	893.00	2/2 番3中央露頭 表面斜面打痕	安山岩(風呂屋)
100	201	SK122	和石	和石	8.50	5.93	4.33	313.31	安形 番3中央露頭1	安山岩(風呂屋)
100	202	SD?	和石	和石	14.57	8.29	6.92	1071.00	安形 上下斜面直	花崗岩
100	203	X37Y122	壁?	和石	7.84	3.02	2.47	80.40	1/2 斜面斜打痕 具縫製作用か?	砂岩(石質真アライト)
100	204	X30Y121	壁? No.879	和石	6.98	6.26	4.38	314.65	安形 上下側面斜面	安山岩(風呂屋)
100	205	X31Y117	壁?	和石	9.22	5.65	3.43	246.16	安形 上下側面斜面	砂岩(アライト)
101	206	SD	和石	和石	11.50	9.33	5.57	858.00	1/4 番面凹み1 研磨研磨	砂岩(アライト)
101	207	X32Y116	壁?	和石	8.77	5.53	3.40	238.54	1/2 番面凹み1 斜面斜打痕 研磨	砂岩(アライト)
101	208	SD?	和石	和石	8.19	2.54	4.82	405.87	安形 斜面斜打痕 番3凹み1	砂岩(アライト)
101	209	SD?	和石	和石	8.27	7.98	5.02	408.00	安形 研磨研磨後凹み1	安山岩(風呂屋)
101	210	SK303	和石	和石	17.18	13.35	9.25	299.00	安形 表面凹み2	安山岩(風呂屋)
101	211	X28Y121	壁? No.967	和石	7.94	8.29	3.85	491.00	安形 側面斜面 凹み1番1 収口付	砂岩(アライト)
101	212	X28Y116	壁?	和石	10.78	9.27	5.80	754.00	安形 斜面斜打痕 表面研磨後凹み2	礫岩
102	213	X28Y120	壁?	礫石	7.26	5.89	1.93	87.58	1/2 番3裏に4本以上斜状済	凝灰岩
102	214	X27Y112	壁? No.380	礫石	7.02	4.27	2.78	114.01	番3中央露頭	砂岩
102	215	X27Y128	壁?	特殊製品	6.64	7.33	5.70	39.80	安形 破れか?	白色砂岩
103	216	SD?	床面直上	礫石	19.09	14.25	4.28	115.00	一部 表面研磨	砂岩
103	217	SD?	床面直上	礫石	12.43	9.83	4.78	80.00	一部 表面研磨	基底実砂岩
103	218	X28Y122	壁? No.512	石墨	13.00	7.68	6.42	710.00	1/4 番面使用面 スス付 磨化	砂岩
103	219	X29Y121	壁?	石墨	12.44	11.00	9.00	316.00	1/2 番面使用面 磨化	砂岩
104	220	SK300	底面 No.511	石墨	19.99	15.77	8.09	270.00	1/2 番面使用面 スス付 磨化	砂岩
104	221	X28Y122	壁?	和石	10.35	8.68	6.55	486.57	1/2 番3裏に大きな凹み	砂岩
104	222	X28Y125	壁? No.2	石墨	40.42	21.19	10.14	770.00	充満? 番3裏に凹み	砂岩
105	223	SD-P18	埋土	特殊瓦脚	4.60	2.82	0.52	9.33	1/2 鹽化鉄分付 黒色	滑石
105	224	5号瓦層	下層 No.72	特殊瓦脚	3.82	2.47	0.58	6.75	1/2 鹽化鉄分付 黑色	滑石
106	225	SD?	埋土	特殊瓦脚	1.67	1.37	0.55	1.25	1/2 小型 黑色	滑石
106	226	X31Y118	壁? No.8	特殊瓦脚	4.29	2.29	0.70	9.83	1/2 白色	透閃石岩A2
106	227	X31Y117	壁?	特殊瓦脚	3.24	1.87	0.50	4.31	1/2 番3裏 黃色	透閃石岩A2
106	228	X28Y121	壁? No.1135	特殊瓦脚	1.95	1.18	0.38	1.37	1/2 上部斜面1 小型 黑色	角閃岩?
107	229	SD?	床面直上	特殊瓦脚無成	4.51	2.74	0.58	12.12	1/2 破れのみ 円筒状 黑色	滑石
108	230	SDI 桐原区	玉?	玉?	1.87	1.92	1.22	3.17	1/6 一部のみ 破れ1 黑色	滑石
109	231	SK123	特殊瓦脚	特殊瓦脚	1.65	1.21	0.58	1.27	1/4 スリット部のみ 緑色	滑石
109	232	SK4	玉?	玉?	2.57	0.82	0.78	1.81	1/4 一部のみ 破れから剥落1 白色	透閃石岩C0?
109	233	SK78	玉?	玉?	3.21	1.27	0.87	3.00	1/2 上部から半球、半円 黑色	透閃石岩A1?
109	234	X28Y122	壁? No.470	サノ歯状鑿	3.16	2.96	0.41	4.00	安形 基底露頂2 黑色	滑石
109	235	X31Y117	壁?	玉?成品	1.71	1.79	0.57	3.14	安形 破れのみ 円筒状 小型 鹽化鉄分付 黑色	滑石

第14表 A地区 石製品一覧 (3)

3 A地区の遺構・遺物



第106図 A地区 骨角製品 (2/3)

件名	遺物番号	遺跡・出土地点	部位	種類	質量(g)±g)				備考	材質種類	部位	部分	左右
					長さ	幅	厚さ	重さ					
106	1236	5号貝塚	下層	剝製工具?	3.35	0.45	0.30	0.63	基部欠損	埴乳繩	不明		-
106	1237	7号貝塚	北東	剝製工具?	4.95	0.30	0.35	1.07	基部欠損	埴乳繩	長管骨	骨針部	-
106	1238	7号貝塚		ヤス状剝製工具?	6.00	0.80	0.50	4.61	一部欠損	ニホンジカ	中手骨/中足骨	骨針部	-
106	1239	5号貝塚		剝製工具?	6.30	2.20	0.80	9.81	上端微切欠孔、ビビアナイト化付着、ニホンジカ 中手骨/中足骨以外	埴乳繩	長管骨	骨針部	-
106	1240	X39Y118	Ⅲa	剥製工具	5.85	0.65	0.25	1.46	下部欠損、近世3つ穴、断面状態剥離度減	埴乳繩	不明		-
106	1241	5号貝塚	中央帶	剥製不定形量鉗?	7.10	0.80	0.60	2.67	基部欠損、基部缺V2	ニホンジカ	角		-
106	1242	X37Y124	Ⅲc	剥製角製品	1.80	1.85	1.40	1.18	上部穿孔、缺V2条	ニホンジカ?	中手骨/中足骨?		-
106	1243	X39Y122	Ⅲb	骨角製品	1.60	0.60	0.60	1.02	上下欠損、上部穿孔1	ニホンジカ	角		-
106	1244	X39Y120	Ⅲb	束状釣針	3.35	0.60	0.35	0.91	鈎先部欠損	イノシシ	齒	下顎大齒	-
106	1245	5号貝塚		組み合せ式釣針	1.15	0.65	0.20	0.18	鈎先のみ、内側	埴乳繩	不明		-
106	1246	X39Y122	Ⅲb	剥針?	1.70	1.00	0.50	1.06	基部のみ、基部穿孔1	ニホンジカ	角		-
106	1247	X39Y120	Ⅲc	剥針?	2.05	1.10	1.00	1.03	下部欠損、上部穿孔、表面黒化	ニホンジカ	角		-
106	1248	X39Y122	Ⅲb	丸状加工量鉗	3.75	1.20	0.30	1.17	スピカ型、表面刻文文、表面微気泡	埴乳繩	不明		-
106	1249	X30Y122	Ⅲa	剥針?	3.10	1.25	0.25	0.82	表面穿孔1、表面穿孔1	埴乳繩	不明		-
106	1250	X39Y118	Ⅲb	骨玉	1.90	1.10	1.00	1.27	上下端切欠、大型凹部	鳥綱	尺骨	骨針部	-
106	1251	4号貝塚	裏	表面状態牙型品	1.21	1.45	0.30	0.36	基部2孔	ワメ綱	齒		-
106	1252	X39Y121	Ⅲc	剥針?	1.40	0.90	0.20	0.21	上下欠損、有孔、表面円滑剝離1、縫創2条	埴乳繩	不明		-
106	1253	X39Y122	Ⅲb	剥針?	2.45	1.30	0.45	0.82	基部2孔	埴乳繩	不明		-
106	1254	5号貝塚	裏裏	表面状態牙型品	3.45	1.40	0.20	1.15	下部欠損、穿孔1	イノシシ	齒	下顎大齒	-

第15表 A地区 骨角製品一覧

3 A地区の遺構・遺物

番号 種別・遺物	遺構・出土地点	層位	種類	器種	時期	法量(cm)	文様		胎土	備考
							外側	内面		
107 1255 X3ZY126 滝水溝	Ⅲa	住居土器	壺	住居後期	(口)15.8	有段無文口縁一スヌ	ヨコナデ	石英	法仏式?	
107 1256 不明	Ⅲ~IV	土師器	高杯	古墳前期?		ナデ(直)圓部刺離痕	ナデ	靑母、白色粒		
107 1257 X3ZY118 滝水溝	Ⅲa	土師器	壺	古墳?		ぐの字状口縁一ヨコナデ	ヨコナデ	靑母、白色粒		
107 1258 X3ZY119	I	土師器	壺	古代		ぐの字状口縁一ヨコナデースヌ ノマニ	ヨコナデ一摩滅	石英		
107 1259 X3ZY118	I	須恵器	环舟	9C	(口)11.8 (底)12.2	ノマニテー(底)回転ヘラ形リーフ 縦目立縄	ナデ	白色粒	坪A	
107 1260 X3ZY115	II	須恵器	环盡	9C		ナデ一宝珠	ナデ	白色粒、黑色粒		
107 1261 X3ZY116	II	須恵器	环盡	9C	(口)11.8	ナデ	ナデ 口縁端部丸	白色粒、黑色粒		
107 1262 X3ZY117	IIIa	中世土師器	灯明皿	中世	(口)6.9	ナデースヌ	ナデースヌ	赤色粒	赤口クロ	
107 1263 X3ZY118 滝水溝	IIIa	中世土師器	灯明皿	中世	(口)7.0	ナデースヌ	ナデースヌ	赤色粒	赤口クロ	
107 1264 X3ZY119	IIIc	埴輪	壺	(口)~14C		ロクロナデー自然鉢	ナデ	白色粒 骨粒	埴輪III~IV期	
107 1265 X3ZY126	I	肥前陶器	壺	17~18C		ナデ一透明鉢	ナデ一透明鉢			
107 1266 X3ZY118	IIIa	瀬戸	天目茶碗	15C		ロクロナデー鉢	ロクロナデー鉢	黒色粒	古瀬戸後期III~IV期	
107 1267 X3ZY114	II	瀬戸	碗	15C	(口)17.7	ロクロナデー鉢	ナデ一鉢		古瀬戸後期III~IV期	

第 16 表 A 地区 弥生時代以降 土器・陶磁器一覧

番号 種別・遺物	出土地点	層位	種類	器種	時期	法量(cm) 径(cm) 重量(g)	文様		備考	
							外側	内面		
107 1268 X3ZY117	I	銅鏡	北宋鏡	中世		2.3	1.49	祥符元寶	—	初鏡年1009

第 17 表 A 地区 金属製品一覧

(4) 弥生時代以降

A 概要

縄文時代以降の遺構はなく、I～II層中から弥生時代～近世の遺物がいくつか出土する程度。

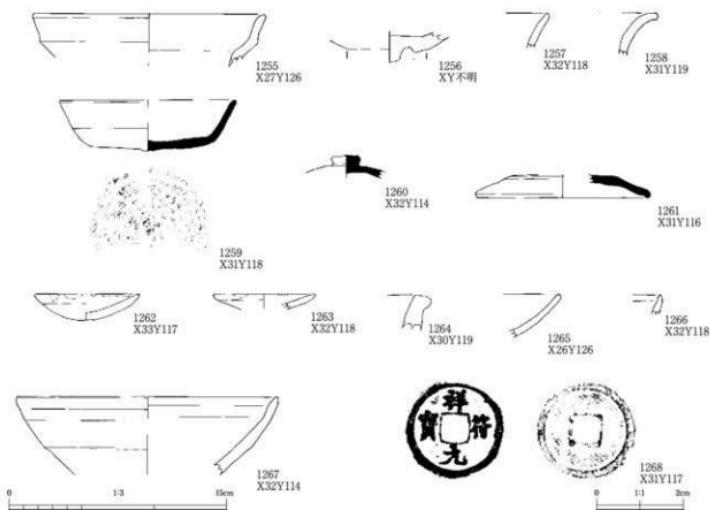
B 遺物包含層

a 土器・陶磁器（第 107 図）

1255 は弥生後期の甕。1256～1258 は土師器。1256 は高杯、1257 は甕の口縁部で古墳時代。1258 は古代。1259～1261 は須恵器。1259 は杯身、1260・1261 は杯蓋で 9 世紀か。1262・1263 は中世土師器の灯明皿。1264 は珠洲の壺で III～IV 期。1266・1267 は瀬戸で 1266 は天目、1267 は椀で 15 世紀。1265 は肥前陶器の椀。

b 金属製品（第 107 図）

1268 は北宋錢で祥符元寶。



第 107 図 A 地区 弥生時代以降 土器・陶磁器・金属製品 (1268 1/1, 1255～1267 1/3)

4 B・C地区の基本層序

(1) B・C地区の概要 (第108図)

B・C地区は遺跡の南側に位置し、北から南に、東から西に下る地形。遺跡中央部の台地部（A地区的北側）からみると谷地形を呈する。前期中葉以降、谷地形を埋積するようにヤマトシジミが大量に廃棄され、前期後葉には人骨が埋葬される墓域となる。調査では、貝層面の上層（縄文時代前期後～末葉）、貝層の下面の下層（縄文時代前期中～後葉）に分けて調査を行った。上層では貝層・埋葬人骨72・土器棺4・埋葬犬14・土器集中地点1・土坑7・集石1、下層では板敷遺構4・杭10・埋葬犬2・集石1・土坑1を検出。なお、貝層はB地区では西側のみ、C地区では中央付近で切り合があり時期が異なる。

(2) B・C地区の基本層序 (第109～115図、第18表)

基本層序はおむね以下のとおり。

I層：水田表土や宅地造成土からなる。標高1.8～3.2m。ほぼ水平に堆積。暗灰黄色粘土質シルト主体。近世以降の遺物を少量含む。本調査に先駆けて機械掘削で除去。

IIa層：粘土質土に腐植物を含み弥生時代～中世の湿地・洪水堆積層とみられる。標高-0.3～2.1m。東から西に向かって厚く堆積し、3～11mに分層できる。暗灰黄色粘土質シルトと腐植物を含む暗褐色シルトが交互に堆積。弥生時代～中世の土器・陶磁器・木製品を少量含む。本調査に先駆けて機械掘削で除去。

IIb層：有機物層で縄文時代前期末葉遺物を含む層。標高0.9～20m。ほぼ水平に堆積。オリーブ褐色シルト主体。薄い堆積で調査時はIIIa層として扱った。縄文土器・土製品・植物製造物・石製品・骨角貝歯牙製品。

IIc層：粘土層で縄文時代前期末葉の洪水層とみられる。標高0.9～1.8m。灰オリーブ色粘土質土を主体。B地区とC地区の中央部に分布。無遺物層。

IIIa層：縄文時代前期後～末葉遺物を含む層。標高0.7～1.7m。黒色粘土質土を主体。貝39層上面にあり、埋葬人骨第IV期の墓壙や貝層上面の土坑埋土。第2号土器集中地点も含まれる。遺物は縄文土器・土製品・植物製造物・石製品・骨角貝歯牙製品・動植物遺存体・糞石。

貝2～7・37・39層（人骨埋葬貝層）：縄文時代前期中～後葉で人骨を埋葬する時期の貝層。標高0.0～1.7m。ほぼヤマトシジミで他の貝は貝2層など一部にオオタニシがブロック状に入る程度。混土貝層を主体とし、層境に破碎貝や灰層を挟むことが多い。埋葬人骨第IV期は貝39層を、第III期は貝37層を、第II期は貝3下A層を、第I期は貝3下B・C層をそれぞれ掘り墓壙を形成しているものと考えられる。遺物は縄文土器・土製品・植物製造物・石製品・骨角貝歯牙製品・動植物遺存体。

貝9・26・28・29・38層（人骨埋葬前貝層）：縄文時代前期中葉の貝層で人骨は埋葬されない。標高-0.7～1.2m。ほぼヤマトシジミ。混土貝層を主体とし、層境に破碎貝や灰層を挟むことが多い。遺物は縄文土器・植物製造物・石製品・骨角製品・動植物遺存体・糞石が出土するが、埋葬人骨期に比べ数少ない。

貝1・11～14・16・17・19～22層（人骨埋葬後貝層）：縄文時代前期末葉の貝層で人骨は埋葬されない。標高-0.8～1.3m。ほぼヤマトシジミ。純貝層に近く、層境に破碎貝を挟む。遺物は縄文土器・土製品・植物製造物・石製品・骨角製品・動植物遺存体が出土するが、埋葬人骨期に比べ数少ない。

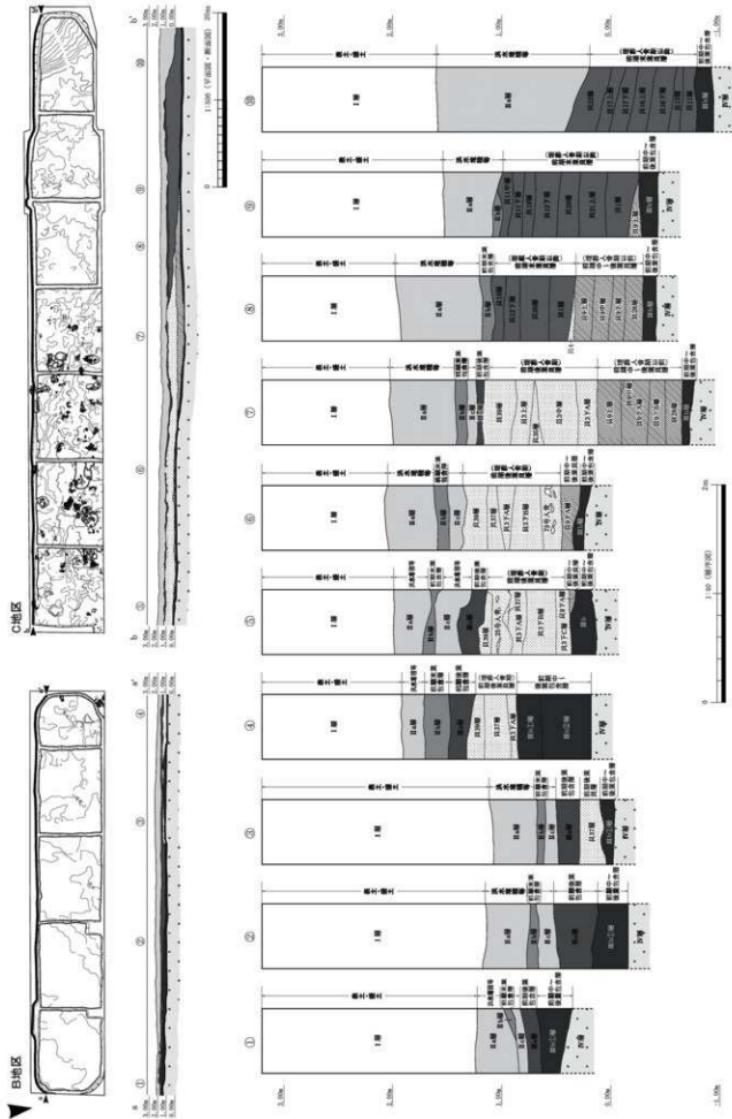
IIIb層：縄文時代前期中～後葉遺物を含む層。標高-1.0～1.6m。B地区で厚く堆積し、1～3mに分層できる。黒褐色シルトを主体とし、腐植物を多く含む。B地区西側とC地区東側で板敷遺構が形成され、木製未成品が多く出土。遺物は縄文土器・土製品・植物製造物・石製品・骨角貝製品・動植物遺存体・糞石。

IV層：上面が縄文時代前期中葉遺構（下層）の検出面。標高-1.0以下～1.2m。黒褐色粘土質土。無遺物層。

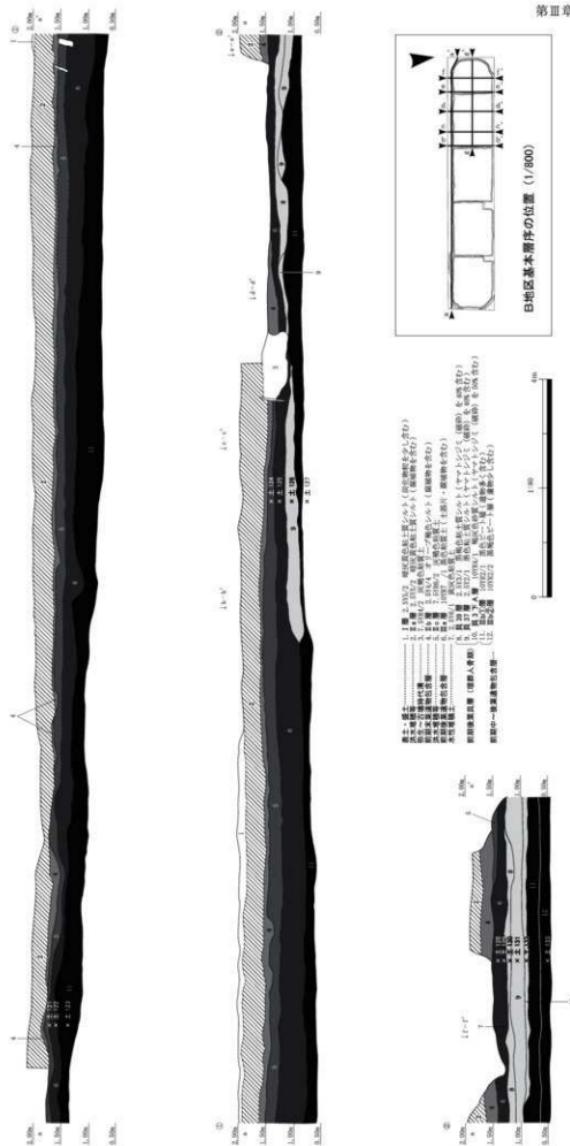
V層：灰色粘土質シルトに疊を含む。一部のみで検出。無遺物層。

第18表 B:C地区 基本層序一覧

4 B・C地区の基本層序

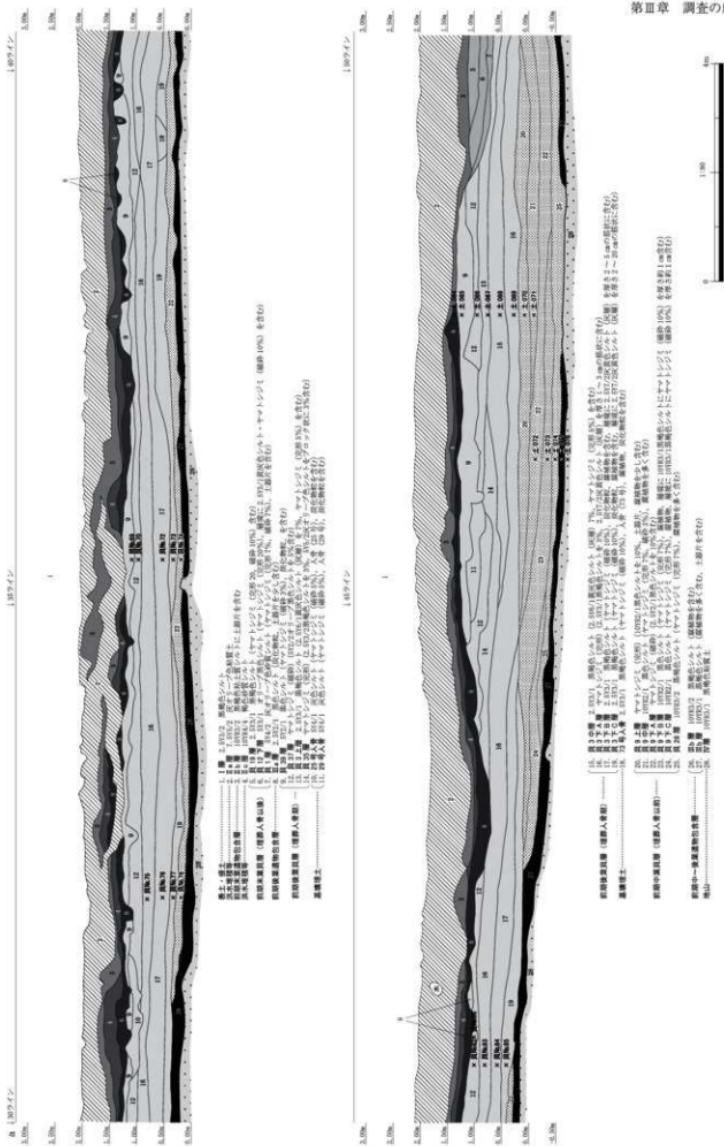


第108図 B・C地区 南壁層序 (1/500・1/40)



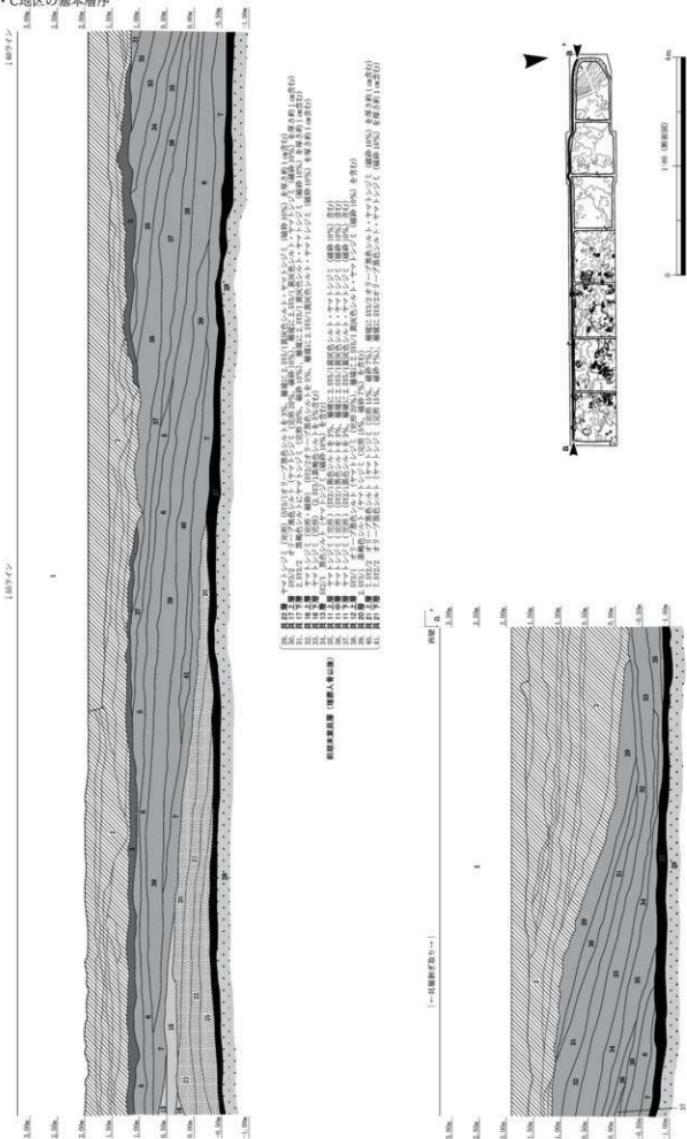
4 B・C地区の基本層序



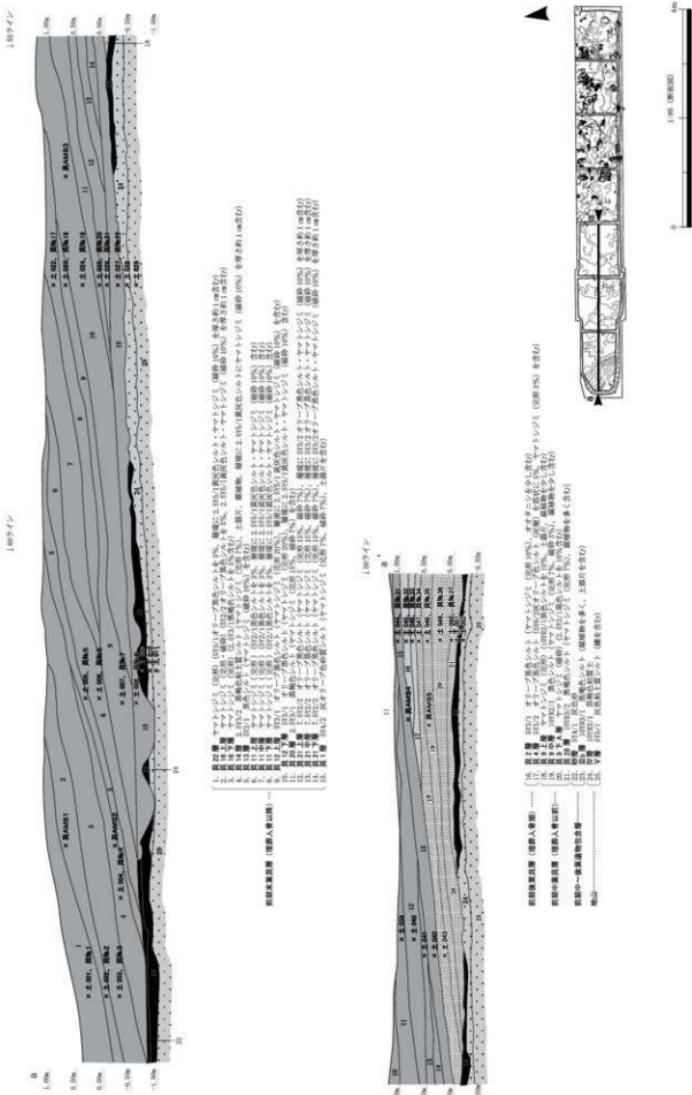


第111図 C地区 基本層序1 南壁1 (1/80)

4 B・C地区の基本層序

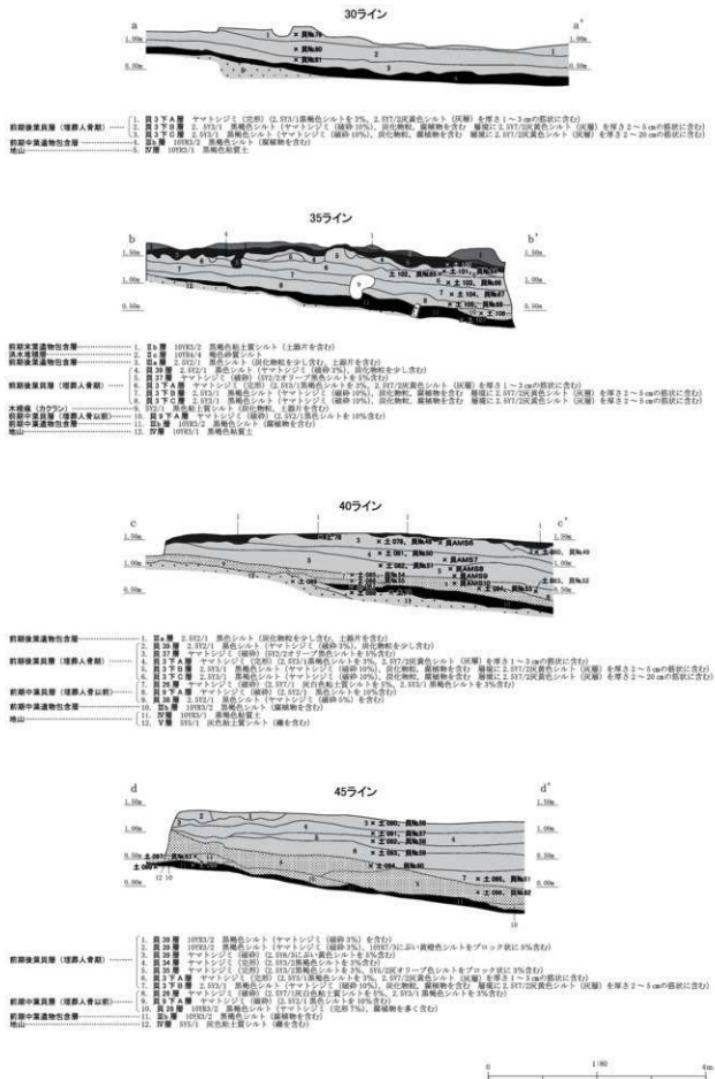


第 112 図 C 地区 基本層序 2 南壁 2 (1/80)

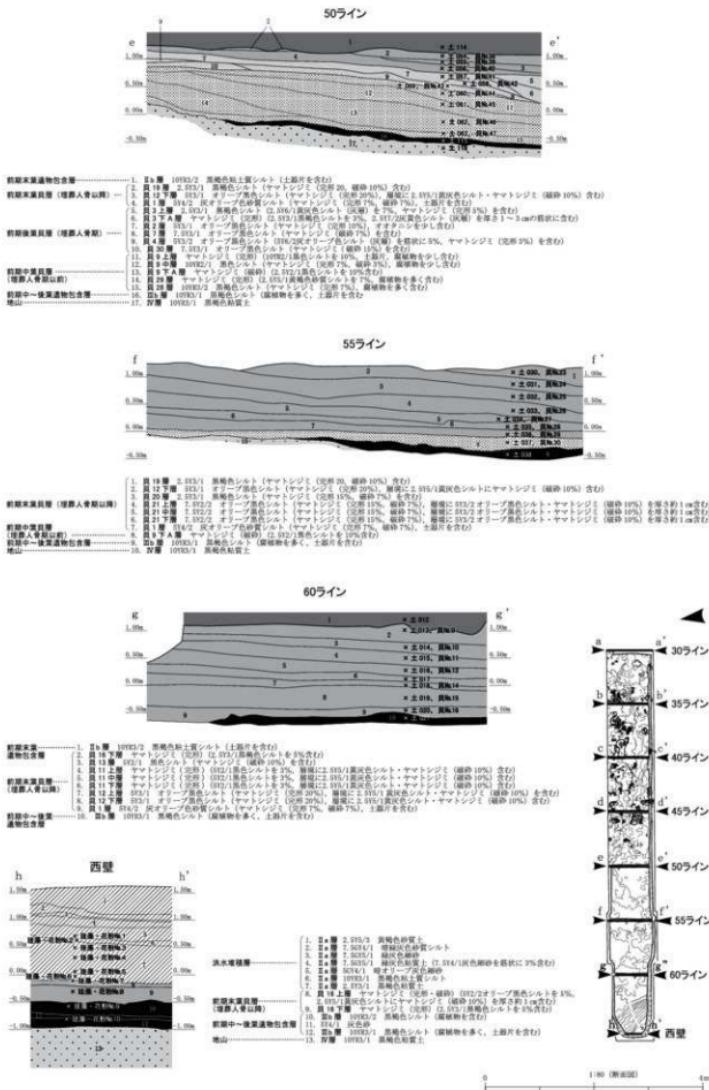


第 113 図 C 地区 基本層序 3 中央断面 (1/80)

4 B・C地区の基本層序



第114図 C地区 基本層序4 南北断面 (1/80)



第115図 C地区 基本層序2(1/80)

(3) C地区貝層サンプル出土貝類（第116～120図、第19表、第二分冊16町田報文）

C地区では、基本層序からサンプル貝層土壤（4ℓ分）を採取し、洗浄・選別を行った。結果、原位置が明らかな微細な資料を捉えることができた。貝層構成貝種は見た目ではほぼ100%ヤマトシジミであったが洗浄・選別によって微小貝が多く入っていることが分かった。これらについて時期別にみていく。

A 埋葬人骨期以前貝層（縄文時代前期中葉）

貝層に占める貝類の割合は容積比で35%、貝層構成貝類のうちヤマトシジミの占める割合は99%。殻長分布は6～40mmで26mm前後がピークで平均25mm。ヤマトシジミ以外の貝類は少ない。食用残滓としてはイシガイ科やオオタニシの淡水貝少量のみ。微小貝のヒラマキガイモドキ（淡水）とオカチヨウジガイ（陸）の他に汽水産のヌマコダキガイ類・カワグチツボ・カワザンショウウガイがわずかに出土。貝層形成時に水域からの流入や草木下となっていたことが想定される。海水産はフネガイ科が1点あるが、破片のため食用残滓か打上げ貝かは不明。

B 埋葬人骨期貝層（縄文時代前期後葉）

貝層に占める貝類の割合は容積比で37%、層構成貝類のうちヤマトシジミの占める割合は99%。ヤマトシジミの殻長分布は8～38mmで26mm前後がピークで平均26mm。いずれも前時期とあまり変化がない。ヤマトシジミ以外の貝類は少ないが多様。食用残滓としてイシガイ科やオオタニシの淡水産のほかにカキ類やサザエの海水産が出土し、前時期よりもヤマトシジミ以外の貝類利用増加がうかがえる。遺跡の最盛期で活発な活動状況を示すものか。微小貝は前時期とほとんど変わらない。埋葬人骨が含まれる層には陸産以外の微小貝が少ないとから水域の流入が少ない安定した土層であったことがうかがえる。

C 人骨埋葬後貝層（縄文時代前期末葉）

貝層に占める貝類の割合は容積比で69%、ヤマトシジミの殻長分布は6～42mmで26mm前後がピークで平均25mm。前時期とあまり変化がないが、28mm前後も多くやや大型を多く捕獲している。ヤマトシジミ以外は6%と3時期で最も多いが、内容は食用残滓としてイシガイ科やオオタニシの淡水産が少量あるほかはウミニナやカワアイなどの食用困難な海水産や微小貝。微小貝は3時期で突出して多く、ヌマコダキガイ類・カワグチツボ・カワザンショウウガイの汽水3種が大量に含まれている層がある。これはC地区西側の標高の低い部分に多く、汽水域に度々浸っていたものとみられる。なお、貝1層は埋葬人骨期前の貝層が洪水などで削られたすぐりに堆積した貝層とみられ、前時期の混入遺物も多く異質な様相を示す。

(4) B・C地区基本層序出土遺物

A B地区（第120図）

1269～1275は縄文土器。1269・1274は格子目文、1341は縄文地平行沈線で刈羽式相当。1272は無文地小型C字爪形文、1273は平行沈線間爪形文で北白川下層IIb式相当。1270・1271は斜行縄文。1275は無文平底。層位で新旧をみると1270→1271→1272・1273・1275（IIIb層）→1269（貝3下A層）となる。

B C地区（第120・121・267・279・282・284・302・316・368・375図）

1276～1356・1358～1407は縄文土器。1369・1381・1395（貝3下C層）、1373（貝3下B層）はコンバス文、1366（貝3下B層）、1354（貝3下A層）、1298（貝1層）は大型爪形文。1344（貝28層）、1339（貝9上層）、1397（貝3下C層）、1353（貝3下A層）は小型D字爪形文。1358（貝26層）は小型C字爪形文、1341（貝9上層）縄文地平行沈線文、1340（貝9上層）、1322・1349・1386（貝9下A層）、1370・1382・1394（貝3下C層）は無文地沈線文で朝日C～福浦下層式。

1383・1385（貝3下C層）、1392（貝3下B層）、1391（貝3下A層）、1398・1399（貝37層）は無文地爪形文。1289・1297・1310（貝1層）は無文地平行沈線間爪形文。1400（貝37層）は無文地隆帶上綴

位刻みで北白川下層Ⅱb式相当。1334(貝2層), 1345(貝37層)は刈羽式相当。1302(貝1層)は無文地縦帯上斜行刻みで北白川下層Ⅱc式相当。1336(貝7層), 1360・1364・1365(貝3下B層), 1402(貝3下A層)は無文地沈線文, 1389(貝3下C層), 1290・1291(貝39層)は無文地半截竹管押引状刺突, 1401(貝37層)は無文地縦帯平行沈線, 1363(貝37層)は無文地小型爪形文。1372(貝37層), 1285(貝1層)は格子目文, 1346(貝37層), 1371・1407(貝39層)は繩文地平行沈線で刈羽式相当。1311・1333(貝2層), 1348(貝3下A層), 1294(貝1層)は繩文地隆帶貼付, 1338(貝4層), 1313・1315・1337(貝7層), 1406(貝39層)は無文地隆帶貼付で親ヶ森I式。

1293(貝1層), 1307(貝21下層)は微隆起線文, 1287・1288(貝1層), 1308(貝21下層), 1306(貝20層), 1325(貝19層), 1327(貝12下層), 1281・1283・1284(貝13層), 1280・1282(貝14層), 1276(貝16上層)はヨコナダ無文で親ヶ森II式。1304(貝12下層), 1296(貝16下層)は結節沈線文, 1277(貝22層)は半隆起線文, 1279(貝16下層)は結節沈線文, 1312(貝2層), 1330・1331(貝1層)はソーメン状隆帶, 1278(貝16上層)は無文地平行沈線で福浦上層式。

1351・1359(貝26層), 1323・1350(貝9下A層), 1321(貝9中層), 1380(貝3下C層), 1404(貝3下B層), 1301(貝1層)は羽状繩文。1343(貝28層), 1356・1387・1390(貝9下A層), 1314・1332・1335(貝2層), 1318・1319(貝4層), 1379・1384・1393・1396(貝3下C層), 1403(貝3下A層), 1347(貝37層), 1352・1362(貝39層), 1292・1295・1309・1328(貝1層), 1286(貝11層)は斜行繩文。1324(貝28層), 1342・1388(貝9下A層), 1368(貝3下C層), 1355・1367・1405(貝3下B層), 1320(貝4層), 1316・1317(貝2層), 1299・1305・1329(貝1層), 1303(貝12下層)は無文。

1357(貝9下A層)は焼成粘土塊。4311～4313・4429は貝製品。4311(貝4層), 4312・4313(貝3下B層)はツノガイ類やマツムシ類素材の小玉垂飾。4429(貝1層)はフネガイ科の貝輪で腕飾B。

3352(貝1層)・3360(貝11下層)は石鎚で3352は凹基無茎。3514(貝1層)は台形状の刃部をもつ石匙。3539(貝3下C層)は石錐。3542(貝3下B層)は菱形状の石錐。3583(貝4層)・3584(貝1層)は二次加工剥片。3770(貝9上層)は石錘。3869(貝9下A層)は叩石。

5 B・C地区の遺構・遺物

(1) 貝層下遺物包含層(繩文時代前期中～後葉, III b層)

A 概要

III b～IV層上面で埋葬犬, 板敷遺構, 杖, 集石, 土坑を検出。III b層から土器・石製品・骨角貝歯牙製品・植物製造物のほかに動物遺存体や植物遺存体が多く出土している。

B 埋葬犬

III b層にイヌが埋葬された状態で2体見つかった。

第15・16号犬骨(第124図)

B地区III b層中で検出。頭骨は一部欠損しているもののほぼ全身が残る。四肢を曲げ身体をやや丸めている。掘り方は見つからなかった。2体いるが、現地では判別できなかった。

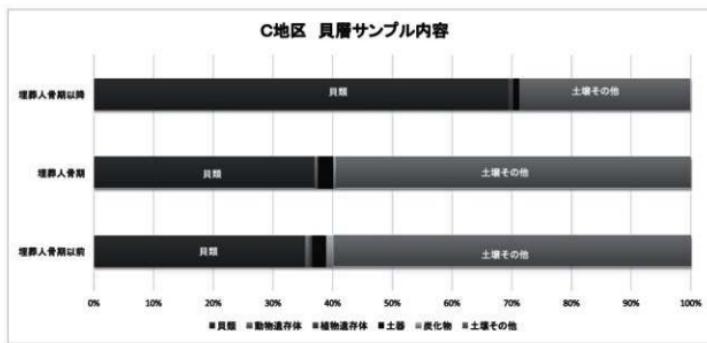
C 板敷遺構

B・C地区のIII b層に板を一定方向に敷き並べた地点が4か所あった。

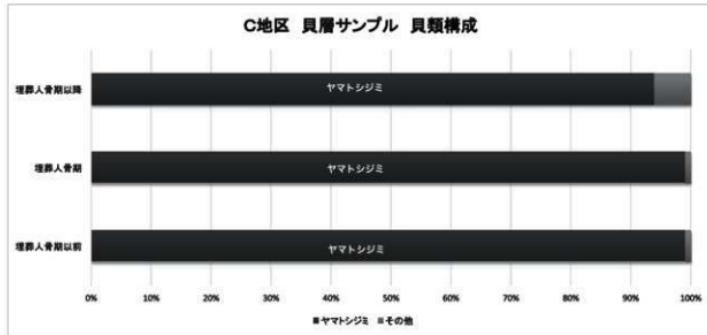
第1号板敷遺構(第124・248図)

4 B・C地区の基本序数

基層 群集	サンプル地(標名)	採取深度 (m)	基層土壤属性(4)						貝類相数
			質理	動物遺存体	植物遺存体	土壠	化物化	土壤その 他の シグマ	
中央	No.1(奥22下層)	0.27	2.818	0.001	0.002	0.000	0.001	1.179	418 カワツノシロガイ8、カワツノシロ
	No.2(奥16上層)	0.27	2.768	0.001	0.043	0.040	0.004	1.145	829 ミズコタガキ16、カワツノシロガイ6、ミズコタガキ4、カワツノシロ4、イシガイ4
	No.3(奥16下層)	-0.30	2.623	0.001	0.073	0.000	0.006	1.298	590 ミズコタガキ16、カワツノシロガイ4、ミズコタガキ4、ウミコニラ2、カワツノシロ
	No.4(奥14下層)	-0.34	2.817	0.001	0.023	0.011	0.006	1.104	490 ミズコタガキ16、カワツノシロガイ16、ミズコタガキ1、カワツノシロ
	No.5(奥14上層)	0.33	2.395	0.003	0.044	0.080	0.005	1.475	781 カワツノシロガイ26、カワツノシロ12、ミズコタガキ10、ミズコタガキ10、カワツノシロ10
	No.6(奥11上層)	0.07	3.095	0.001	0.001	0.021	0.002	0.881	581 カワツノシロ19、カワツノシロ4、ミズコタガキ14、ミズコタガキ1
	No.7(奥12上層)	-0.36	3.122	0.001	0.001	0.000	0.002	0.874	986 カワツノシロ13、カワツノシロ2、ミズコタガキ13、ミズコタガキ1
	No.8(奥11下層)	-0.67	1.258	0.007	0.036	0.401	0.016	2.284	190 カワツノシロ19、カワツノシロ4、ミズコタガキ10、イシガイ1、スギイ1
	No.9(奥16下層)	1.02	3.010	0.001	0.001	0.000	0.002	0.987	711 カワツノシロ10、カワツノシロ10
	No.10(奥16上層)	0.70	3.043	0.007	0.007	0.000	0.005	1.079	473 ミズコタガキ23、カワツノシロ16、ミズコタガキ10、カワツノシロ10
伊万里	No.1(奥11上層)	0.04	2.776	0.002	0.015	0.090	0.000	1.138	801 ミズコタガキ4、カワツノシロ4、ミズコタガキ10、ミズコタガキ10、カワツノシロ10、イシガイ4
	No.2(奥11下層)	0.77	3.104	0.000	0.001	0.000	0.001	0.885	541 ミズコタガキ16、カワツノシロ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ10、ミズコタガキ10
	No.3(奥14上層)	0.02	3.023	0.001	0.001	0.010	0.003	0.983	889 カワツノシロ14、カワツノシロ6、ミズコタガキ3、ミズコタガキ14、ミズコタガキ1
	No.4(奥15下層)	-0.23	3.025	0.009	0.001	0.000	0.003	0.981	729 カワツノシロ14、カワツノシロ2、ミズコタガキ3、カワツノシロ2、ミズコタガキ1
	No.5(奥16上層)	-0.80	1.185	0.003	0.019	0.020	0.014	2.764	134 カワツノシロ11、カワツノシロ4、ミズコタガキ16、ミズコタガキ16、イシガイ1、スギイ1
	No.6(奥16下層)	0.80	2.753	0.001	0.001	0.000	0.000	1.188	422 ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、カワツノシロ16
	No.7(奥15上層)	0.88	3.113	0.001	0.021	0.000	0.003	0.833	630 カワツノシロ15、カワツノシロ6、ミズコタガキ5
	No.8(奥15下層)	0.42	3.112	0.003	0.010	0.020	0.002	0.854	547 カワツノシロ14、カワツノシロ2、ミズコタガキ1
	No.9(奥20上層)	0.07	3.098	0.000	0.018	0.004	0.004	0.881	941 カワツノシロ18、カワツノシロ8、ミズコタガキ5
	No.10(奥20下層)	-0.06	2.865	0.007	0.026	0.010	0.009	1.284	440 カワツノシロ18、ミズコタガキ10、イシガイ1、カメゴイ1、
中央	No.11(奥21上層)	-0.28	1.553	0.012	0.011	0.005	0.008	2.386	172 ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16
	No.12(奥23上層)	0.00	2.755	0.001	0.052	0.020	0.000	1.168	720 タニシ1
	No.13(奥17下層)	0.87	3.095	0.001	0.001	0.003	0.007	0.877	681 カワツノシロ17、ミズコタガキ1
	No.14(奥25上層)	0.353	3.523	0.001	0.002	0.051	0.003	0.422	691 カワツノシロ12、カワツノシロ4
	No.15(奥21上層)	0.40	3.125	0.009	0.011	0.005	0.005	0.837	835 カワツノシロ14、カワツノシロ2、ミズコタガキ1
	No.16(奥21中層)	0.25	2.985	0.002	0.023	0.014	0.003	0.983	810 カワツノシロ17、カワツノシロ4、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、イシガイ1、スギイ1
	No.17(奥19上層)	0.10	2.989	0.000	0.011	0.011	0.011	0.881	940 カワツノシロ19、カワツノシロ4、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、イシガイ1、カメゴイ1
	No.18(奥19下層)	-0.24	2.943	0.001	0.011	0.016	0.016	1.878	383 カワツノシロ14、カワツノシロ4、ミズコタガキ10、カワツノシロ10、ウナニチ1
	No.19(奥97下層)	0.20	1.723	0.031	0.022	0.041	0.001	2.122	329 カワツノシロ19、ミズコタガキ10、ウナニチ1
	No.20(奥97上層)	1.02	2.685	0.014	0.179	0.011	0.005	1.114	394 カワツノシロ24、ミズコタガキ10、イシガイ1
伊万里	No.21(奥18上層)	0.08	2.755	0.007	0.004	0.015	0.006	1.209	720 オオタニシ1
	No.22(奥18下層)	-0.28	1.553	0.012	0.011	0.005	0.008	2.386	172 タニシ1
	No.23(奥21上層)	0.00	2.755	0.001	0.052	0.020	0.000	1.168	720 タニシ1
	No.24(奥17下層)	0.87	3.095	0.001	0.001	0.003	0.007	0.877	681 カワツノシロ17、ミズコタガキ1
	No.25(奥20上層)	0.353	3.523	0.001	0.002	0.051	0.003	0.422	691 カワツノシロ12、カワツノシロ4
	No.26(奥21上層)	0.40	3.125	0.009	0.011	0.005	0.005	0.837	835 カワツノシロ14、カワツノシロ2、ミズコタガキ1
	No.27(奥21中層)	0.25	2.985	0.002	0.023	0.014	0.003	0.983	810 カワツノシロ17、カワツノシロ4、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、イシガイ1、スギイ1
	No.28(奥19上層)	0.10	2.989	0.000	0.011	0.016	0.016	0.881	940 カワツノシロ19、カワツノシロ4、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、イシガイ1、カメゴイ1
	No.29(奥19下層)	-0.24	2.943	0.001	0.011	0.016	0.016	1.878	383 カワツノシロ14、カワツノシロ4、ミズコタガキ10、カワツノシロ10、ウナニチ1
	No.30(奥97上層)	0.20	1.723	0.031	0.022	0.041	0.001	2.122	329 カワツノシロ19、ミズコタガキ10、ウナニチ1
中央	No.31(奥18上層)	1.02	2.685	0.014	0.179	0.011	0.005	1.114	394 カワツノシロ24、ミズコタガキ10、イシガイ1
	No.32(奥23上層)	0.86	1.950	0.007	0.004	0.015	0.006	2.099	384 カワツノシロ14、カワツノシロ4、ミズコタガキ10、オオタニシ1
	No.33(奥4上層)	0.74	2.185	0.016	0.051	0.011	0.004	1.600	330 イシガイ1、オオタニシ1
	No.34(奥18下層)	0.86	1.950	0.007	0.004	0.015	0.006	2.099	384 カワツノシロ14、カワツノシロ4、ミズコタガキ10、オオタニシ1
	No.35(奥20上層)	0.48	2.550	0.004	0.041	0.003	0.002	1.355	355 カワツノシロ14、カワツノシロ2、カワツノシロ2、ミズコタガキ1
	No.36(奥97下層)	0.26	1.980	0.029	0.002	0.016	0.009	2.890	193 ヒラマキガモモドキ3、ミズコタガキ16、カワツノシロ2、ミズコタガキ1
	No.37(奥17上層)	0.02	0.525	0.014	0.091	0.021	0.016	3.234	103 ヒラマキガモモドキ3、ミズコタガキ16、カワツノシロ4、ミズコタガキ16、オオタニシ1
	No.38(奥19下層)	1.05	3.013	0.001	0.051	0.020	0.001	0.715	479 カワツノシロ19、ミズコタガキ1、カワツノシロ7
	No.39(奥17下層)	0.85	2.803	0.004	0.003	0.002	0.009	1.180	422 カワツノシロ10、カワツノシロ10、オオタニシ1
	No.40(奥18上層)	0.83	2.025	0.000	0.051	0.018	0.003	1.730	330 オオタニシ1
伊万里	No.41(奥11上層)	0.87	2.010	0.016	0.013	0.021	0.003	1.702	328 ミズコタガキ16、カワツノシロ16、イシガイ4、オオタニシ3、タニシ3
	No.42(奥17上層)	0.55	1.756	0.015	0.003	0.021	0.019	1.886	252 カワツノシロ14、カワツノシロ4、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、オオタニシ3
	No.43(奥4上層)	0.50	2.100	0.004	0.018	0.001	0.013	1.787	289 カワツノシロ13、カワツノシロ13、ミズコタガキ16、ヒラマキガモモドキ1、オオタニシ1
	No.44(奥16上層)	0.36	2.276	0.026	0.014	0.005	0.005	1.138	592 カワツノシロ16、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、オオタニシ1
	No.45(奥16下層)	1.37	3.118	0.016	0.002	0.041	0.002	0.821	588 ヒラマキ1
	No.46(奥97下層)	-0.14	2.218	0.014	0.017	0.015	0.014	1.723	531 カワツノシロ14、カワツノシロ4、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16
	No.47(奥17上層)	-0.38	0.213	0.023	0.121	0.050	0.014	3.453	90 カワツノシロ17、ミズコタガキ16、カワツノシロ17、ミズコタガキ16、オオタニシ1
	No.48(奥37下層)	1.46	1.545	0.009	0.301	0.020	0.001	2.138	257 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.49(奥39下層)	1.30	1.458	0.005	0.001	0.010	0.001	2.009	301 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.50(奥37下層)	1.28	1.460	0.005	0.001	0.010	0.001	2.009	301 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
中央	No.51(奥37下層)	1.08	2.309	0.014	0.001	0.004	0.004	1.867	387 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.52(奥37下層)	0.80	2.036	0.063	0.011	0.011	0.021	1.850	300 カワツノシロ14、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.53(奥97下層)	0.68	1.645	0.048	0.009	0.003	0.011	0.591	215 オカヒョウジガイ1
	No.54(奥26上層)	0.89	1.175	0.016	0.001	0.021	0.003	2.496	132 オカヒョウジガイ1、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16
	No.55(奥26下層)	0.79	0.534	0.019	0.001	0.030	0.009	3.108	57 カワツノシロ16、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16、カワツノシロ16、ミズコタガキ16
	No.56(奥23上層)	1.20	2.273	0.027	0.001	0.014	0.004	1.860	330 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.57(奥23下層)	0.89	1.905	0.006	0.001	0.006	0.006	2.080	339 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.58(奥33下層)	0.86	1.738	0.011	0.004	0.016	0.011	2.221	329 イシガイ1
	No.59(奥33下層)	0.45	1.770	0.022	0.001	0.070	0.014	2.126	229 イシガイ1
	No.60(奥26下層)	0.25	2.235	0.012	0.001	0.021	0.010	1.722	461 イシガイ1
伊万里	No.61(奥33下層)	-0.02	2.280	0.016	0.001	0.016	0.016	1.067	214 カワツノシロ14、ヒラマキガモモドキ1
	No.62(奥26上層)	0.03	0.076	0.036	0.004	0.016	0.004	2.080	200 オカヒョウジガイ1
	No.63(奥26下層)	1.23	1.138	0.079	0.014	0.011	0.014	3.655	17 オカヒョウジガイ1
	No.64(奥26上層)	1.18	1.618	0.003	0.001	0.071	0.003	2.305	341 オカヒョウジガイ1
	No.65(奥37下層)	0.82	2.610	0.003	0.001	0.033	0.009	1.347	428 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.66(奥37下層)	0.80	1.350	0.023	0.008	0.001	0.016	2.603	236 イシガイ1、サザエ1
	No.67(奥37下層)	0.42	1.420	0.016	0.001	0.014	0.004	2.426	182 ヒラマキ1、サザエ1
	No.68(奥37下層)	1.18	2.036	0.016	0.009	0.001	0.014	2.608	45 イシガイ1、サザエ1
	No.69(奥37下層)	1.04	1.508	0.008	0.002	0.011	0.006	2.267	330 イシガイ1
	No.70(奥37下層)	0.81	1.508	0.008	0.002	0.019	0.019	2.252	295 イシガイ1
中央	No.71(奥37下層)	0.61	1.828	0.005	0.006	0.041	0.004	2.086	327 オカヒョウジガイ1
	No.72(奥37下層)	0.41	1.895	0.003	0.003	0.001	0.009	2.098	258 オカヒョウジガイ1
	No.73(奥97下層)	0.27	0.919	0.031	0.006	0.001	0.031	2.948	183 オカヒョウジガイ1、イシガイ1、サザエ1
	No.74(奥26上層)	0.82	2.273	0.011	0.006	0.001	0.013	1.901	524 タニシ1
	No.75(奥26下層)	0.80	1.410	0.008	0.001	0.001	0.013	2.603	236 カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16、カワツノシロ14、ミズコタガキ16
	No.76(奥33下層)	0.23	0.038	0.043	0.009	0.152	0.013	3.585	7 カワツノシロ14
	No.77(奥33下層)	1.35	1.054	0.058	0.009	0.023	0.002	3.624	32 カワツノシロ14
	No.78(奥33下層)	1.13	2.405	0.003	0.023	0.250	0.005	1.310	475 オオタニシ1
	No.79(奥33下層)								



第 116 図 C 地区 貝層サンプル内容

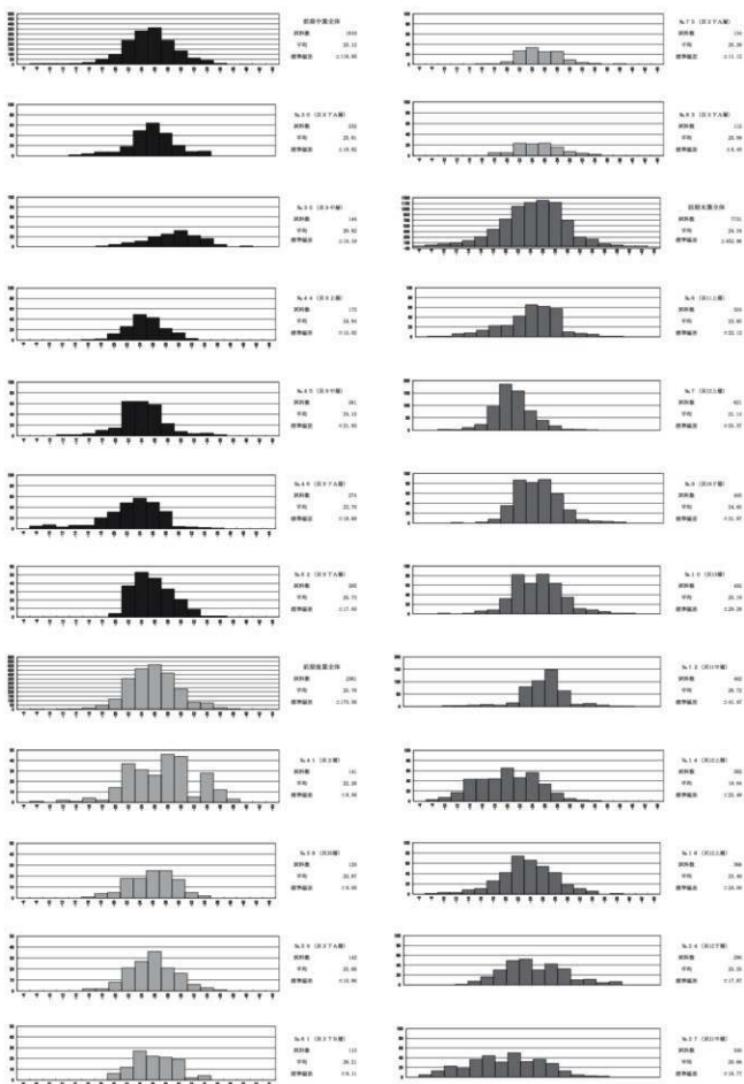


第 117 図 C 地区 貝層サンプル 貝類構成



第 118 図 C 地区 貝層サンプル ヤマトシジミ以外の貝類構成

4 B・C地区の基本順序



第119図 貝サンプルヤマツクシ殻長グラフ

Ⅲ b 層内で逆位の 2・3 号丸木舟を含む板材（長さ 40～370 cm、幅 8～70 cm）を敷く遺構。2 号丸木舟と 3 号丸木舟とは排水溝掘削時に一部欠損しているが交差しており、いずれも逆位で敷板として転用されている。丸木舟を逆位で木道に転用する例は後期中葉の兵庫県佃遺跡（山本 1998）でみられ、これよりも時期は古いか同様な転用例である。2 号丸木舟は船体のみの板状で取り上げ時に崩壊してしまったため図化していない。長さ 370 cm、幅 60 cm。樹種はトチノキ。3 号丸木舟（3155）は舳先のみで耳状の突起をつける。サイズは現存で長さ 73.2 cm、幅 33.9 cm、厚さ 4.0 cm。島浜貝塚 1 号丸木舟に類似。船体は欠損。逆位で敷板に転用されていたため押し潰されていた。樹種はケヤキ。

第 2 号板敷遺構（第 124・247～249・251・252・254・255 図）

Ⅲ b 層内で逆位の第 1 号丸木舟を含む板材（長さ 90～270 cm、幅 20～60 cm）を北西—南東方向に並べて敷く遺構。第 1 号板敷遺構同様に丸木舟を逆位で敷板に転用している。1 号丸木舟（3154）は舳先に耳状の突起をつける。逆位で敷板に転用されていたため押し潰されていた。サイズは現存で長さ 183.5 cm、幅 59.9 cm、厚さ 10.6 cm。樹種はトチノキ。周囲からは多くの木製品や未成品が出土し、これを加工もしくは管理するための足場か。

第 3 号板敷遺構（第 124・249・250・254・255 図）

Ⅲ b 層内で板材や丸太材（長さ 30～210 cm、幅 6～30 cm）を北西—南東方向に並べて敷く遺構。周囲から多くの木製品や未成品が出土し、これを加工もしくは管理するための足場か。特に容器の未成品（3172～3174 など）が近辺から多く出土している。

第 4 号板敷遺構（第 125・256 図）

C 地区のⅣ層上面に板材（長さ 44～90 cm、幅 8～20 cm）を北西—南東方向に並べて敷く遺構。隣接して 8・10 号杭があり、板敷遺構を固定していたものと考える。周囲には土器片、動物遺存体（魚類）、植物遺存体（ヒヨウタン、ニワトコなど）などがまとまって出土しており、軟弱地盤（Ⅲ b 層）でこれらを癪棄するための足場とも考えられる。

D 杭（第 125・126 図）

C 地区でⅢ b 層に打ち込まれた杭が 10 本あった。

第 1 号杭（第 125・126 図）

第 4 号板敷遺構の西側の杭で貝層からⅢ b 層に打ち込む。長さ 20 cm、幅 10 cm で直立。掘り方ではない。第 2 号杭と並ぶ。

第 2 号杭（第 125・126 図）

第 4 号板敷遺構の西側の杭で貝層からⅣ 層に打ち込む。長さ 30 cm、幅 10 cm でやや斜立。掘り方ではない。第 1 号杭と並ぶ。杭は芯持丸木を使い、樹種はコナラ属コナラ亜属クスギ節。

第 4 号杭（第 125・126 図）

C 地区東側の杭で貝層からⅢ b 層に打ち込む。長さ 35 cm、幅 26 cm で斜立。掘り方ではない。

第 5 号杭（第 125・126 図）

第 2 号集石の南西の杭で貝層からⅢ b 層に打ち込む。掘り方ではない。軟弱地盤なためか直立の主柱（長さ 30 cm、幅 10 cm）と斜立の支柱（長さ 36 cm、幅 8 cm）の 2 本からなる。単独で立地。

第 6 号杭（第 125・126 図）

C 地区東側の杭で貝層からⅢ b 層に打ち込む。長さ 28 cm、幅 5 cm で直立。掘り方がある。単独で立地。

第 7 号杭（第 125・126 図）

C 地区東側の杭で貝層からⅢ b 層に打ち込む。長さ 36 cm、幅 11 cm で斜立。掘り方があり軟弱地盤のた

めか底面に礎板状の横木がある。第3号杭と並ぶ。

第8号杭（第125・126図）

第4号板敷遺構の西隣にある杭で貝層からIV層に打ち込まれる。長さ23cm、幅11cmでやや斜立。掘り方はない。第10号杭と並び第4号板敷遺構の一部と考えられる。杭は芯持丸木を使い、樹種はクリ。

E 土坑

第1021号土坑（SK1021、第126図）

長軸137cm、短軸135cm、深さ30cmの不整形。遺物は含まれていなかったが、底面に芯持材（ヤナギ属）と分割材（ニシキギ属）を立位でフ字状に組み合わせて配置していた。このほかに縄文土器片が出土。

F 集石

第2号集石（第125・126・296・297図）

III b層内に石錘15個がまとまっていた地点。埋納もしくは祭祀遺構か。3720～3733は打欠石錘。重さは94～188g（平均144g）。長さは63～83cm、幅5.1～7.8cm。石材は多い順に凝灰岩、安山岩、漂流水紋岩、花崗岩、砂岩、片麻岩、溶結凝灰岩、珪長岩と様々だが凝灰岩が1/3を占める。

G 遺物包含層（III b層）

III b層から縄文土器、土製品、植物製造物、石製品、骨角製品、動物遺存体、植物遺存体が出土。

a 縄文土器（第151～177・179・180図）

前期前～末葉の土器が出土。中葉の朝日C式を中心とし、貝3下C～9下A層の堆積していない部分では後葉の福浦下層式が多く含まれる。B地区では貝層を形成しない東側でIII a層直下に位置するか所では末葉の土器も上面に含まれる。

1408～1435は大型爪形文で北白川下層II a式相当。1436・1438は多条の沈線間に爪形文。1437は縦位刺突。1439～1445・1448・1449・1452・1457・1458・1460・1461は無文地小型D字爪形文。1446・1447・1450・1451・1453～1456・1459は小型C字爪形文。これらは朝日C～福浦下層式。1462～1497はコンパス文で黒浜式相当。1498～1504は崩れたコンパス文。1505～1524は刺突列点文。1551～1554・1557～1560・1562・1593・1595は半截竹管押引状爪形文で諸磧a式または有尾式相当か。1525～1538は肋骨文。1563・1565・1574は綾杉文で諸磧a式相当。1555・1561は平行沈線間小型C字爪形文で北白川下層II b式相当。1566～1573・1575～1585は格子目文。1586・1587・1590は縱位平行沈線。1588・1591・1594・1596～1602は半截竹管押引状爪形文。1603は浮線文。1629・1631・1634・1638・1642・1643・1647は縄文地隆帶上刺突。1628・1664は隆帶上沈線。1658は縄文地平行沈線で刈羽式もしくは諸磧b式相当。1605～1610・1615・1617～1620・1622・1623は隆帶上斜行刻み。1627・1646は隆帶上縄文で北白川下層II c式相当。1630・1633・1636・1637・1639～1641・1644・1645・1648～1655は縄文地隆帶貼付。1625・1652・1656・1657・1659～1662・1665・1666は無文地隆帶貼付で蜆ヶ森I式。

1667～1685は鉢もしくは浅鉢。

b 土製品（第178・179図）

1832～1850、1854～1857は土製円盤。1851～1853、1858～1861はミニチュア土器。1862～1867・1869～1877は焼成粘土塊で1862は刺突文。1863・1875は葉脈痕が残る。1868は鼓型の耳栓。

c 植物製造物（第244・245・248～252・254～257・260・261図、第二分冊3松水報文）

3140～3142は斧柄。3143～3149は小型弓。3156・3159・3178・3180は掬い具とみられ、3159・3178・3180は内面を抉る前の未成品か。3157・3158は漆塗容器で浅鉢か。3160・3161・3174・3175は鉢形の容器で底部に高台状の突起をもつ。鳥浜貝塚の漆塗鉢に類似。3163・3164・3167は浅い容器。3165は簡

形三足器の体部。3171～3173は筒形三足器の未成品か。3166は台部。3181～3183槍状。3206は塗繩。3208・3215・3216はヒメグルミ加工品。3219～3221・3223・3225・3229はオニグルミ加工品。

d 石製品（第262～264・270・273～275・281・283・284・288・290・291・298～300・308・309・313・315・316・320・324・326・327・333～336・338・342・344・345図）

台帳記入で1852点。石鏸329、石皿259、磨製石斧257、石錐196、磨石134、石錐116、石匙115、輕石93、叩石68、砥石56、二次加工剥片52点の順に多い。

3249～3282・3290は凹基無茎鏸。3283～3289は平基無茎鏸。3291～3293・3421は石鏸で3291・3292は有茎、3421は木葉状。3418～3420は押出型ポイントに近い石匙もしくは尖頭器。3444～3446・3448～3470は石匙。3444・3448・3450・3451は大工原氏の言う鳥浜型。3460・3462・3464・3466・3467は縦型。3470はつまみ部がわざか。3526～3533は石錐で3526・3527は両尖、3531はY字、他は明瞭なつまみ部をもつ。3447・3557・3558・3568・3570は異形石器で3558は両尖、3568・3570はY字状。3588はスクレイパーか。3624～3629・3680～3682・3684～3686は磨製石斧で3627～3629は小型、3680～3682・3684～3686は未成品。3734～3759は石錐。3821は特殊磨石。3822～3828・3847は磨石で3847は敲打痕がある。3862～3868は叩石。3894・3895・3923は凹石。3921・3922・3924・3980は砥石。3939は擦切器。3941～3944・3946・3947は輕石製品で3941・3942は穿孔があり垂飾か。3943・3944は側面に抉りがあり貝輪用砥石か。3975・3976・3978・3979・3981・3983は石皿。3977・3989は多孔石。4007は块状耳飾。4026・4027・4029・4030・4033は管玉。4033は下方に穿孔途中1。4039は丸玉。4028・4048・4050は垂飾で4028は横方向から穿孔。4049は璜状頭飾り。4050は二股の垂飾で側面から穿孔。4065は羽子板状で石錐か。

e 骨角貝歯牙製品（第347・352・354～356・359～361・364・369・370・372・374・376・377図）

台帳記入で214点。刺突具82、針33、垂飾28、髪針20、未成品19、釣針16、ヘラ7点の順に多い。

4077～4083はヤス状刺突具で4078～4081・4083は側面に抉り。4150～4152・4175は縦型針。4176・4181は刺突具II。4201は刺突具I。4204は逆刺付刺突具。4226～4229は単式釣針。4239・4240・4242は組み合せ式釣針。4277～4279は髪針で基部に穿孔と抉りを入れる。4338・4339は管状垂飾。4368は垂飾状骨角製品。4369は基部に穿孔をもつ大型針。4370・4386～4388は垂飾状歯牙製品。4412はイワガキとみられる貝輪で腕飾B。

e 動物遺存体（第二分冊 18 山崎他報文）

現地ではイノシシ、ニホンジカ、イルカ類、魚類を確認している。

f 植物遺存体（第二分冊 13 高橋・14 金原報文）

種実はニワトコが最も多く、コナラ属、ブナ科、カナムグラ、カヤツリグサ科が次いで多い。食用となるのは、樹木種実ではコナラ属、ヤマグワ・オニグルミ・ブドウ科・マタタビ属・サルナシ・ムクノキ・カヤ・クリ・トチノキ・ヒメコウゾ、草本種実ではオニバス・シソ属・ササゲ属・ヒシがある。有用植物ではヒヨウタンがある。

埋没樹木がⅢ b～IV層にあり、樹種はコナラ属が多く、ケヤキ・ヤナギ属・エノキ属・バラ科・ムクノキ・マツ属・クリ近似種があり二次林や河畔林を形成することが多い種類となっている。

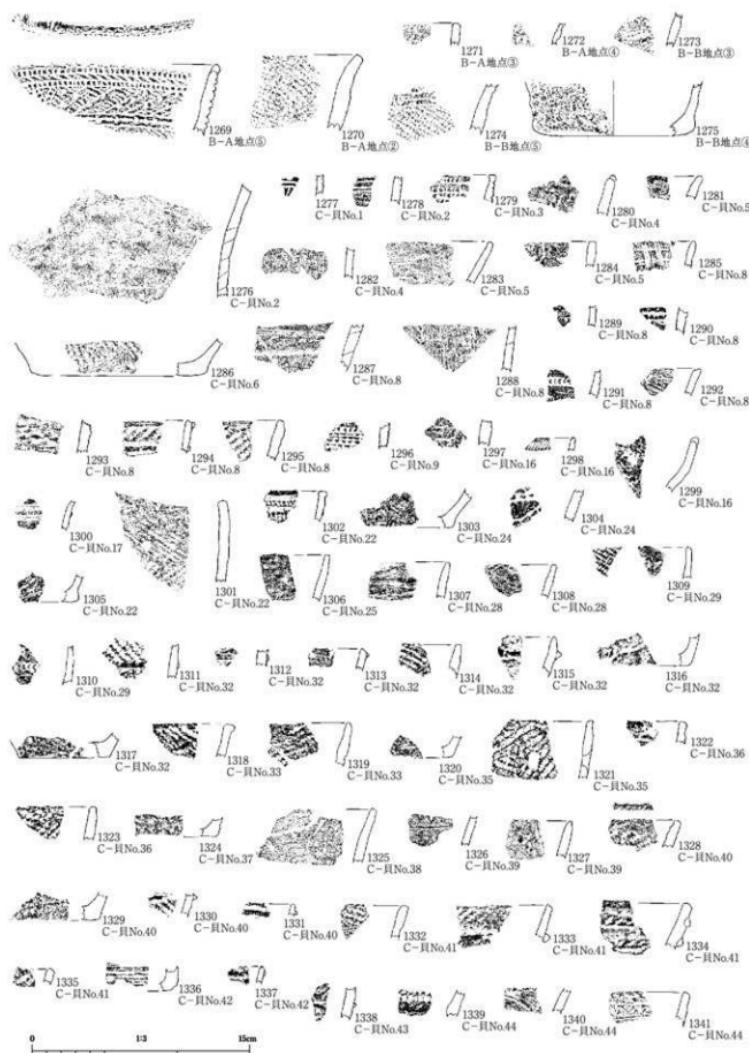
(2) 貝層（縄文時代前期中～末葉、貝層）

A 概要（第127・128図）

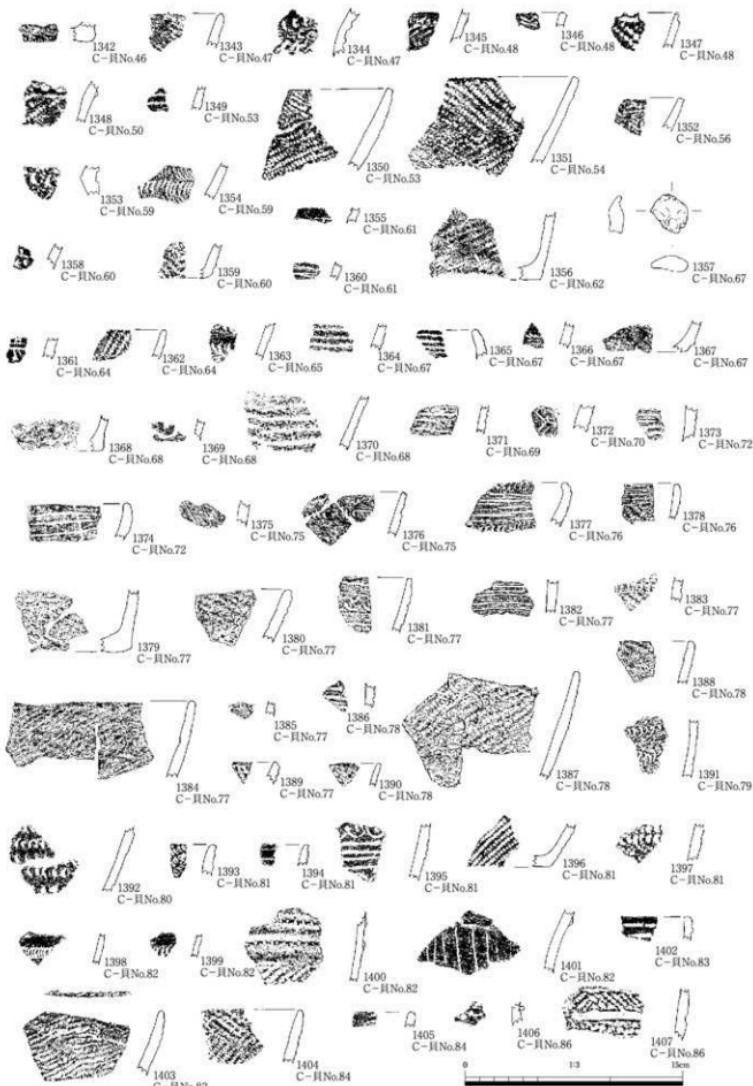
B地区西側とC地区全面で貝層を検出。貝層内から埋葬人骨、土器棺、埋葬犬、集石、貝層上面から土坑、土器集中地点が見つかった。遺物は、土器・石製品・植物製造物・骨角貝歯牙製品・動植物遺存体。

B 埋葬人骨・土器棺・埋葬犬

5 B・C地区の遺構・遺物



第120図 B・C地区 基本層序 繩文土器 1 (1/3)



第121図 C地区 基本層序 繩文土器2 (1/3)

B地区貝層西端～C地区東側で貝層内に埋葬人骨72体（別個体を含めて161体で最小個体数91体）を検出。埋葬人骨の番号は、調査検出順で後に動物骨と判明して欠番としたものや1体としていたが坂上氏らの分析（第三分冊坂上他報文）で複数個体となったものなどがあり、号数と個体数は必ずしも一致しない。埋葬人骨はすべて同時期ではなく、層位から4時期に分けることができ、この順に記す。

土器棺は乳児以下の土器埋葬で4基ある。埋葬犬は埋葬状態を残しているイヌを指し、14体ある。これらは埋葬人骨の近辺にあり密接な関係がうかがえることから、ここで扱う。

なお、これらの周辺から出土した遺物も供伴・副葬品に関わらず現地で取り上げたことからここで扱う。

埋葬人骨第I期（第129図）

貝3下B・C層を掘り込む。墓壙はほとんどつかめなかつたが、貝3下A・B層が埋土になるものとみられる。埋葬人骨13（別個体を含め最大19）体、埋葬犬1体。時期は朝日C～福浦下層式（黒浜～諸磯a式、北白川下層IIa～IIb式相当）。

第42号人骨（第131図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかつた。第20号人骨の下から約90°ずれて検出。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っているものとみられる。顔面を下右向きで下顎骨が開く。肋骨上にはW字状に折り曲げた上肢、更に抱石として自然礫を乗せる。下肢は強く折り曲げ右向きに揃える。老年（50歳以上）の男性で推定身長160.6cm。鎖骨を骨折。頸肩腕症候群、変形性脊椎・膝関節症か。抱石は砂岩で長さ26.5×幅17.0×厚さ5.6cm、重さ29kgの不整形台形。抱石以外に供伴・副葬品はない。

第44号人骨（第131・331図、第三分冊坂上他報文）

屈葬不明。頭位方向は西で墓壙は見つからなかつた。ほぼ解剖学的位置を保っているものとみられる。顔面は下右向きで下顎骨が開く。上肢は肋骨と混在。寛骨は脆弱なためか遺存していない。下肢は弱く折り曲げ右脚の上に左脚がずれて乗る。足先はない。10歳前後で性別不明。若い個体なため弱い寛骨が遺存しにくかったのだろう。クリプラ・オルビタリア。左側に凹石（3967）があるが供伴関係不明。

第45号人骨（第131・181・262・280・281・287・295・332・342・374図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかつた。（ほぼ全身が残り、およそ解剖学的位置を保っている。顔面は左向きで上顎より上は土圧などで潰されている。上肢は両腕で菱形状折り曲げて肋骨の上に乗せる。下肢は弱く折り曲げ右向きだが左脚が寛骨右上に移動している。青年（15～29歳）の男性で推定身長154.8cm。抜歯か。変形性関節症か。下顎に線条痕。周囲から繩文土器・石製品・貝製品など多く出土しているものの墓壙がわからず供伴するかは不明。

1916～1925・1928は周辺出土繩文土器。1916・1917は北白川下層IIa式相当、1918・1919は黒浜式相当、1920・1921は諸磯a式相当。1924は北白川下層IIb式相当。3243は石製品で凹基無茎鑑。3519は楕円形に近い刃部につまみをつける横型の石匙。3523は直角三角形状の石錐で先端を欠損。3619・3620は磨製石斧で3619は半欠。3712・3714・3715は打欠石錘で3715は砥石の転用か。3969は砥石。4005は半欠の叢石製块状耳飾。4408・4411はベンケイガイの貝輪（腕飾B）で中央を打ち欠いただけのもの。4414は表面研磨のオオツタノハ製貝輪（腕飾B）で半欠。

第58号人骨（第131・181・307・352図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかつた。解剖学的位置を保っていたものとみられるが排水溝掘削などで損壊し、右半身の一部のみ確認。顔面は右下向き。上肢は右のみでくの字状に折り曲げる。下肢は一部のみで原位置は不明。成人（年齢不明）で女性とみられる。下顎下に赤色顔料がわずかに残っていた。他に別個体が2体あり、うち周産期1個体は合葬か。周辺から土器片・石製品・骨角製品・動物遺存体（イ

ヌ・シカ・イノシシ) が出土しているが墓壙がわからず供伴するかは不明。1926は縄文土器で網目状燃系文の大木2a式相当。3815は磨り面4の磨石。4149は細型針で基部欠損。

第59号人骨(第131・307・319・347図、第三分冊坂上他報文)

側臥屈葬。頭位方向は北西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。顔面は下向き。上肢は右腕をくの字状に曲げるが左腕は肋骨と混在。下肢は強く折り曲げ左向きに揃える。老年(50歳以上)の女性。虫歯2。右腕隕に半欠の磨石が出土しているが供伴するかは不明。他に別個体が2体。3816は磨り面2の磨石。3890は石皿片を転用した凹石。4074はヤス状刺突具で側面を一部欠損。

第60号人骨(第132・181・295図、第三分冊坂上他報文)

埋葬形態は不明。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていたものとみられるが排水溝削削で損壊し、上半身のみ確認。顔面は正面を向くが上顎以下が土圧等で潰れている。上肢は肋骨脇に強く折り曲げている。年齢不明女性か。43号人骨より下位から検出。1929は無文地C字型爪形文で北白川下層IIb式相当。3716は上下左右の4方向を打ち欠く石錐か。

第68号人骨(第132・181・272・332・370図、第三分冊坂上他報文)

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が残り、およそ解剖学的位置を保っている。顔面は正面に向かうが上顎より上は土圧等で潰れている。上肢は右腕をくの字状に折り曲げ肋骨上に乗せ、左腕を脇に強く折り曲げている。下肢は左脚のみ左向きに強く折り曲げる。右脚は原位置をとどめいない。老年(50歳以上)男性で推定身長158.9cm。クリブラ・オルビタリア。歯槽膿漏。エナメル質減形成。下顎骨軸状摩耗。頭骨に人為的な穿孔か。30・45号人骨より下位。下顎下に黄色の石題(3439)が出土し、頭飾りとしていたのだろう。下方に骨角製垂飾があるが墓壙がわからず供伴するかは不明。1930・1931はコンバス文を入れる黒浜式相当。3439は橢円形の刃部につまみをつける横型の石匙。色調は黄色。3971は砥石の一部。4367は刺突文と穿孔のある札状加工垂飾。

第72号人骨(第132・181・324図、第三分冊坂上他報文)

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が残り、およそ解剖学的位置を保っている。顔面はやや右向きで下顎が少し開く。上顎より上は土圧等で潰れている。上肢は強く折り曲げハの字状に開く。下肢は菱形状に開脚している。上下肢が開いており、木棺など間隙があったのだろうか。5歳前後で性別不明。鞭虫卵を検出。49号人骨より下位から検出。周辺から土器片・石製品が出土しているが墓壙がわからず供伴するかは不明。1936は周辺出土縄文土器で斜行縄文平底。3918は砥石で表面に縦方向の溝があり、木製品や骨角製品などの磨きに使われたものか。

第73号人骨(第132・181・289・332・370図、第三分冊坂上他報文)

側臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていたものとみられるが排水溝削削などで損壊し、上肢を欠損。顔面は右下向きで埋葬人骨中保存状態が最もよい。上顎と下顎が揃っており口を閉じている。椎骨はやや湾曲しながら頭部と対骨とつながっている。下肢は強く折り曲げ右向きに揃える。中年(30~40歳)の女性で推定身長149.1cm。妊娠痕。虫歯3。外耳道骨腫。歯槽膿漏。胸椎癒合症。鞭虫卵を検出。78号人骨を損壊して埋葬されている。周辺から土器片・石製品・骨角製品が出土しているが墓壙がわからず供伴するかは不明。1934・1937は周辺出土縄文土器で1934は斜行縄文の朝日C式。1937はコンバス文で黒浜式相当。3651は小型磨石斧で完形。3972は凹石の一部で砥石にも転用。4363・4366は表面研磨後穿孔する札状加工垂飾か。

第74号人骨(第132図、第三分冊坂上他報文)

埋葬形態は不明。頭位方向は不明で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない散乱骨。四

肢骨の一部が残る。1歳前後で性別不明。クリブラ・オルビタリア。橈骨骨髄炎か。供伴・副葬品はない。

第76号人骨（第133・181・284・295・324・327・347図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。顔面は左向きで口を閉じる。頭部は土圧等で潰れている。上肢は左向きでL字形に折り曲げて肋骨上に乗せる。下肢は強く折り曲げ左向きに揃える。中年（30～49歳）の男性で推定身長167.9cmと高身長。虫歯1。他に別個体が1体。埋葬人骨集中区（51・56・70号人骨）より下位。77号人骨と同時期で並んで出土。全身骨格が最も良好に残る。寛骨下に砥石（3919）、スクレイバー？（3587）があり副葬品とみられる。3587は剥片の縁辺を押圧剝離する器でスクレイバーか。3717は打欠石錐で半欠。3919は筋砥石。3940は軽石で二つの底面をもつ砥石。4076はヤス状刺突具。

第77号人骨（第133・181・272・347図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。顔面は左下向きで口を閉じる。頭部は土圧等で潰れている。上肢は右腕をL字形に曲げ肋骨上に乗せ、左腕を下方に伸ばす。腹部椎骨上に抱石として自然縛を乗せる。下肢は強く折り曲げ左向きに揃える。中年（30～49歳）の男性で推定身長161.1cm。抜歯か。エナメル質減形成。変形性頸椎・肩関節症か。糞虫卵を検出。50号人骨より下位。76号人骨と並ぶ、全身骨格が良好に残る。抱石は濃飛流紋岩で180×110×80cm、重さ23kgの不整品。抱石以外に供伴・副葬品はない。1935・1938～1942は周辺出土繩文土器で1935は無文地楕円形沈線と押引状刺突文、1938はコンバス文、1940・1941は連続刺突文で朝日C式。1942は横走繩文。1939是非結束羽状繩文。3442は楕円形の刃部につまみをつける横型の石匙。

第78号人骨（第132・272図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。頭位方向は北西で墓壙は見つからなかった。73号人骨と切り合い、それに損壊されている。顔面は右下向き。肋骨より下の上肢を欠損。椎骨はほぼまっすぐ並ぶが肋骨は少し移動している。下肢は右脚を右向きにくの字形に折り曲げる。青年（15～29歳）の女性で推定身長146.5cm。上顎洞炎か頭骨に線条痕。下顎下に灰色の石匙（3443）が出土しているがつまみ部を下に向け、原位置かは不明。他に別個体1体。3443は三角形の刃部につまみをつける横型の石匙。

第10号犬骨（第133・181図、第二分冊18山崎他報文）

頭部以外はほぼ全身が残る。ほぼまっすぐに伸びた椎骨に折り曲げた四肢骨がつく形で埋葬。墓壙は見つからなかった。周辺から土器片・石製品が出土しているが供伴・副葬品ではない。1932・1933は周辺出土繩文土器で1932は無文地大型爪形文で北白川下層IIa式相当。1933は網目状撲糸文で大木2a式相当。

埋葬人骨第II期（第129図）

貝3下A層を掘り込む。墓壙はほとんどつかめなかつたが、貝37層が埋土になるものとみられる。埋葬人骨11（別個体を含め最大25）体。土器棺1基、埋葬犬3体。時期は福浦下層式（諸磯a～b式、北白川下層IIb～c式相当）。

第16号人骨（第134・324・356図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は北で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない。上半身は矢板打設時に損壊。調査区外。下肢を並べている。成人（年齢不明）の女性か。推定身長149.9cm。変形性膝関節症か。他に別個体が1体。周囲から繩文土器や石製品が出土しているが供伴関係は不明。3915は筋砥石で表面に斜方向の溝があり、木製品や骨角製品などの磨きに使用したのだろうか。4205はヘラで基部欠損。

第20号人骨（第134・182・324図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬。頭位方向は南で墓壙は見つからなかった。一部解剖学的位置を保っている。顔面は右向きだ

が頭部は土圧等で潰れ、上顎は移動している。上肢は強く折り曲げ右向きに揃えていたようだが肋骨と混在している。下肢は左向きにくの字状に折り曲げており、上肢と下肢が異方向。成人（年齢不明）の女性か。47号人骨を片付けで埋葬し、42号人骨より上位で検出。他に別個体が2体。周辺から縄文土器や石製品が出土しているが供伴・副葬品ではない。1943は周辺出土縄文土器で縄文地際帶貼付の蜆ヶ森I式。3917は砥面2の砥石片。

第28号人骨（第134・182・291図、第三分冊坂上報文）

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が良好に残り、解剖学的位置を保っているものとみられる。顔面は正面で下顎が少し開く。頭部は土圧等で潰れている。上肢は折り曲げハの字状に開く。手首から先は散在。下肢は菱形状に開脚している。上下肢が開いており、42号人骨同様に木棺など間隙があったのだろうか。青年（15～29歳）の男性で推定身長157.3cm。抜歯とみられる。エナメル質減形成。変形性腰椎症か。他に別個体が1体。頭部上方に供伴の可能性がある磨製石斧（3679）が出土。1944は周辺出土縄文土器で小型D字爪形文の朝日C式。3679は角閃岩の螺旋面を打削した磨製石斧の未成品。

第40号人骨（第134・352図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は不明で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない散乱骨。四肢骨が散在。成人（年齢不明）の性別不明。虫歯1。イヌの下顎骨も混在。他に別個体が3体。周辺から細型針（4148）が出土しているが供伴・副葬品ではない。4148は基部穿孔あり。

第46号人骨（第134・319・342図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は不明で墓壙は見つからなかった。頭部のみで体部を切り離して埋葬を行ったものか。成人（年齢不明）の男性。他に別個体が1体。周辺から凹石（3889）と块状耳飾（4006）が出土しているが供伴・副葬品ではない。3889は小型凹石。4006は円盤状の鐵石製块状耳飾片。

第47号人骨（第134図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は不明で墓壙は見つからなかった。第20号人骨埋葬時に片付けられ、解剖学的位置を保っていない。下肢が20号人骨脚部と平行に並べられていた。成人（年齢不明）の男性か。イヌの四肢骨が混在し並べられていた。供伴・副葬品はない。

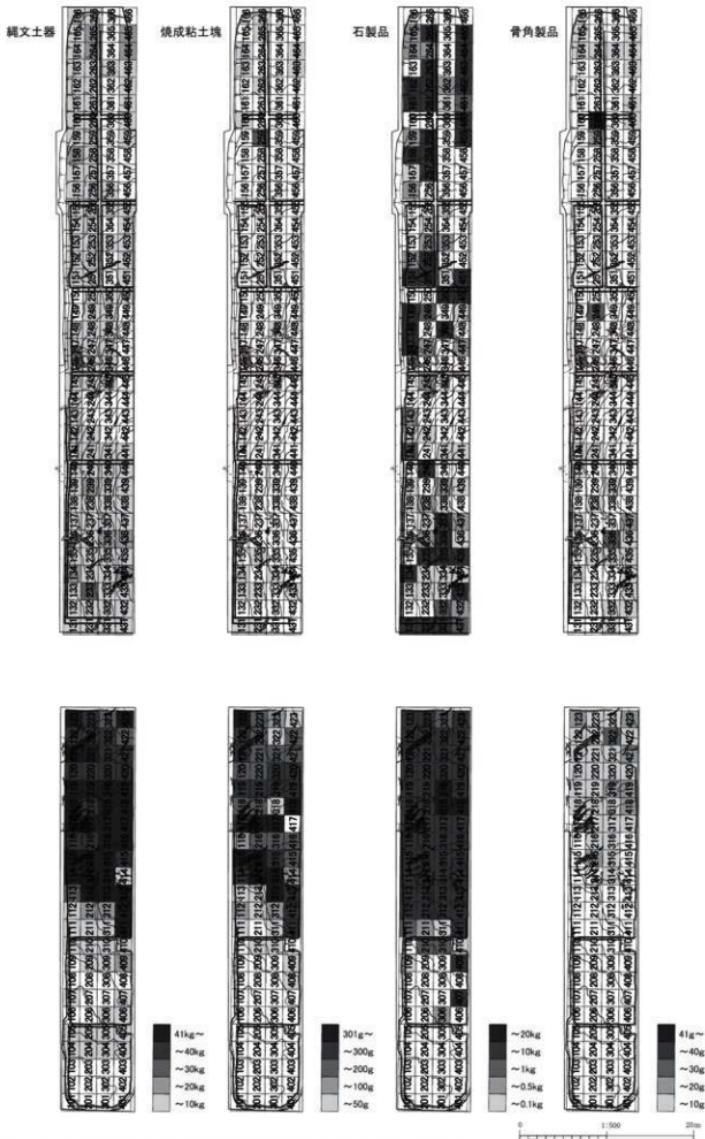
第48号人骨（第134・182・284図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は南西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が良好な状態で残り、解剖学的位置を保っている。顔面は左下向きで口を閉じる。頭部は土圧等で潰れている。上肢は左腕を肋骨脇に強く曲げ、右腕を下方に伸ばす。手首から下は散在。肋骨上に抱石として自然縫を乗せる。下肢は強く折り曲げ右向きに揃える。中年（30～49歳）の男性で推定身長159.0cm。クリブラ・オルビタリア。エナメル質減形成。第61号人骨より上位から検出。抱石は閃綠岩で14.0×11.0×6.0cm。重さ1.0kgの不整三角形。線維性骨皮質欠損。左腕左側に赤色顔料が残っていた。他に別個体が2体。周辺から縄文土器や石製品が出土しているが供伴するかは不明。1945は周辺出土縄文土器で平行弦線とコンバス文の黒浜～諸磯a式相当。3579は側面を押圧剥離する破片でスクレイパーか。

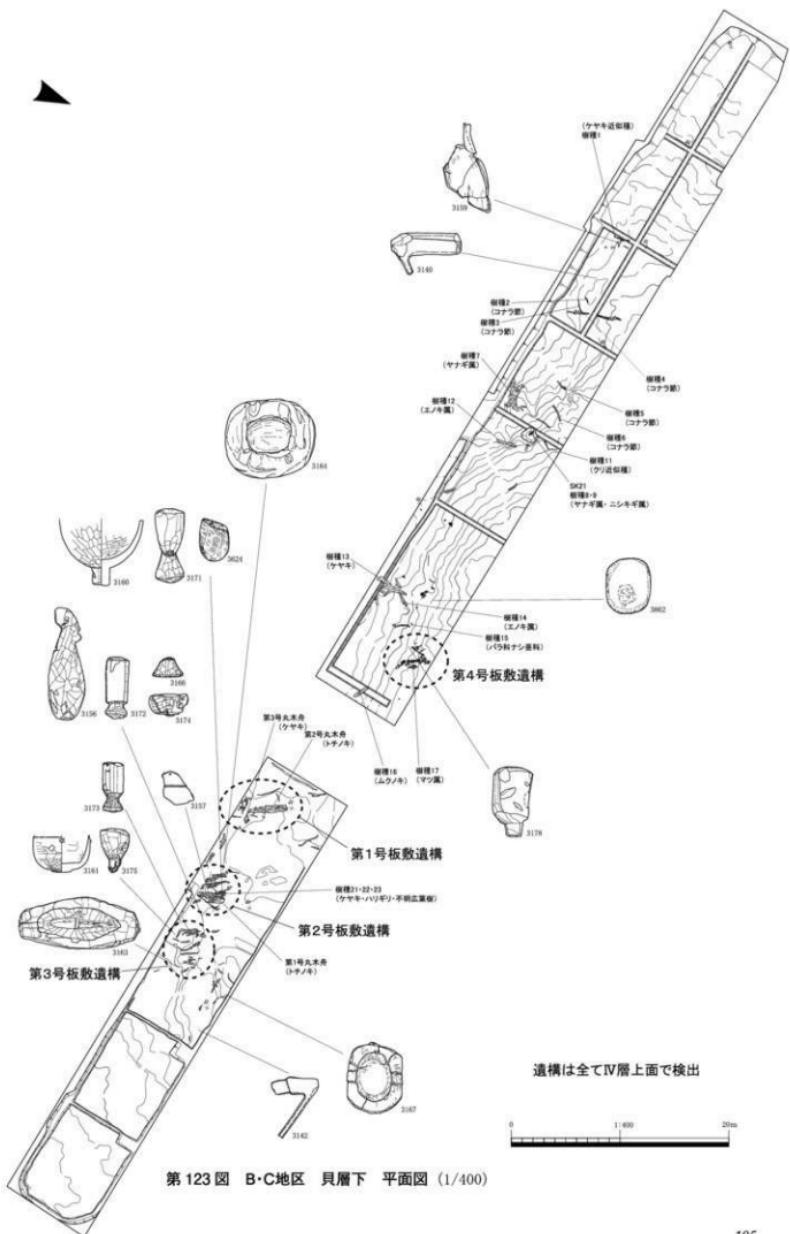
第61号人骨（第135・347図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が良好な状態で残り、解剖学的位置を保っているものとみられる。顔面は右向きで口を閉じる。頭部は土圧等で潰れている。上肢は強く折り曲げ右向きに揃え肋骨の上に乗せる。手首から下は散在。下肢は強く折り曲げ右向きに揃える。成人（年齢不明）女性で推定身長155.1cm。妊娠痕。虫歯1。下顎軸状摩耗。右桡骨・左手中手骨を骨折。第27・48号人骨より下位から検出。周辺から縄文土器片や骨角製品が出土しているが供伴するかは不明。4075はヤス状

5 B・C地区の遺構・遺物

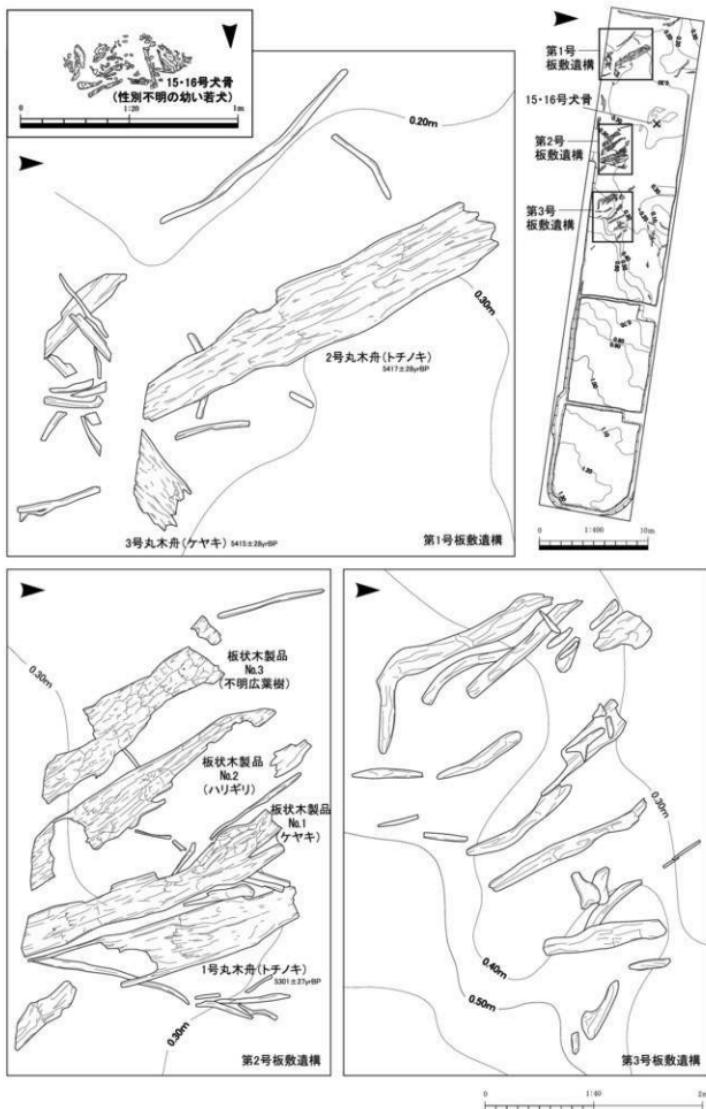


第122図 B・C地区 遺物重量分布図（貝層下遺物包含層）(1/500)

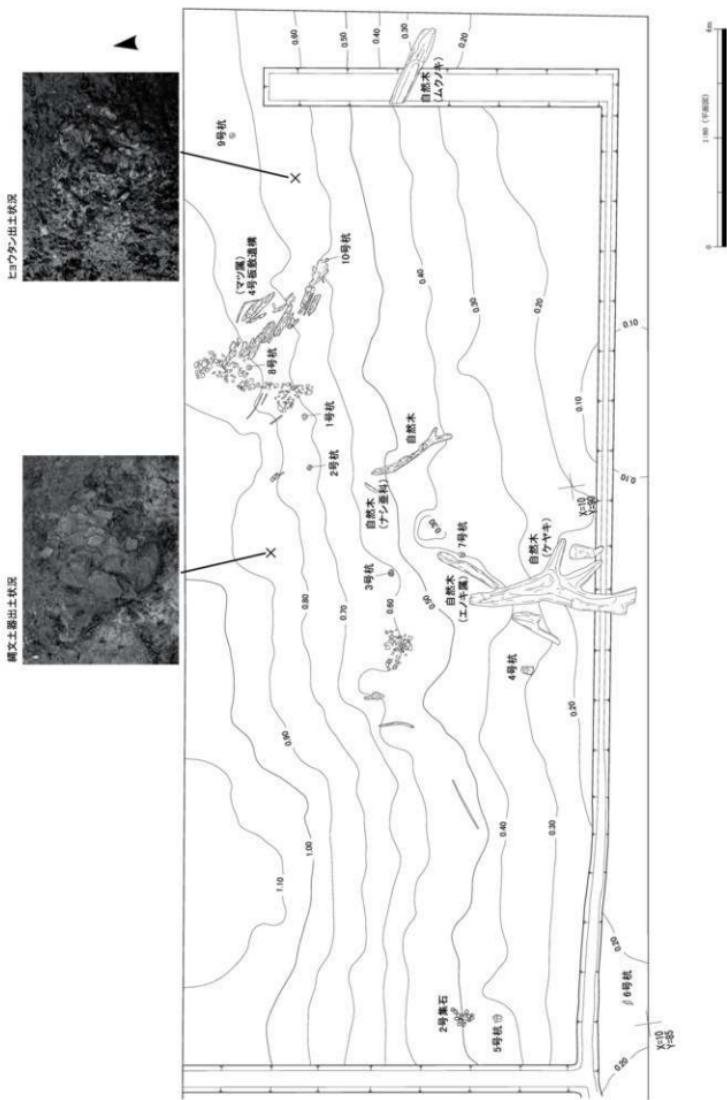


第123図 B-C地区 貝層下 平面図 (1/400)

5 B・C地区の遺構・遺物

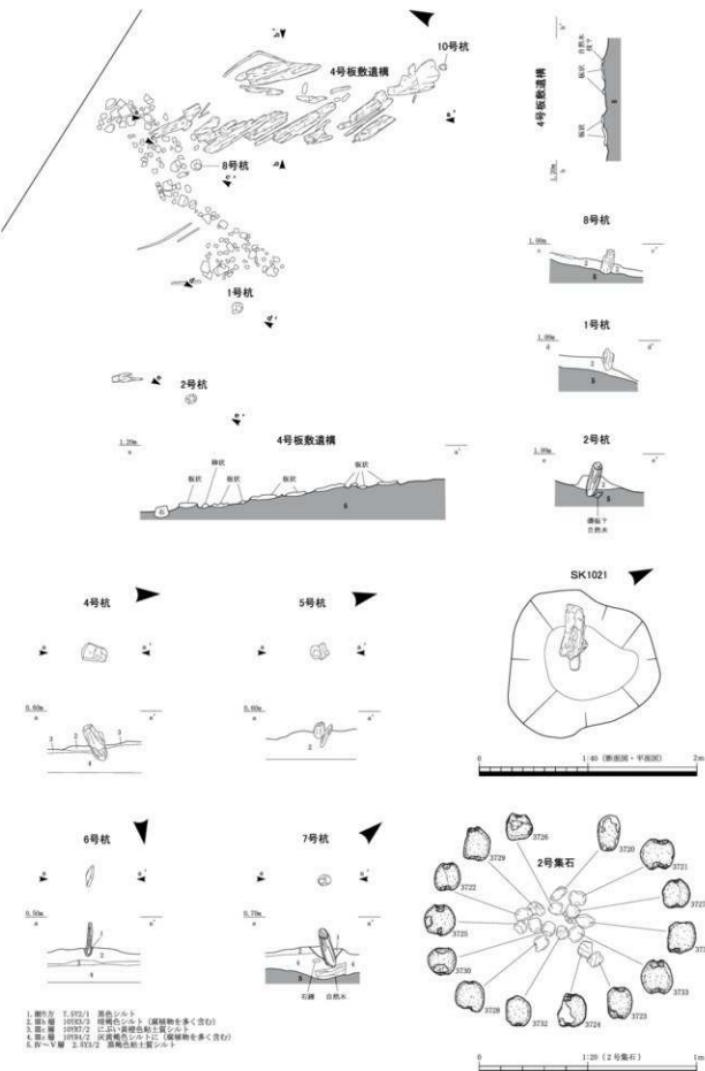


第124図 B地区 貝層下 板敷遺構 平面図 (1/20・1/40・1/400)



第125図 C地区 貝層下 遺構配置図 (1/80)

5 B・C地区の遺構・遺物



第126図 C地区 貝層下 遺構平面図・断面図 (1/40・1/20)

刺突具で一部欠損。

第64号人骨 (第135・182・287図、第三分冊坂上他報文)

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は南東で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が良好な状態で残り、解剖学的位置を保っているものとみられる。顔面は正面で下顎が開く。頭部は土圧等で潰されている。上肢は両腕を菱形状に折り曲げ肋骨の上に乗せ、さらに抱石として自然縛を乗せる。下肢は右向きに少しずらして強く折り曲げる。青年(15~29歳)男性で推定身長170.0cmと高身長。虫歯1。中手骨を骨折。抱石は凝灰質砂岩で31.0×12.5×7.2cm、重さ3.0kgの不整角円形。他に別個体が2体。周辺から縄文土器や石製品が出土しているが抱石以外は供伴しない。1946は周辺出土縄文土器で無文地平行沈線間小型C字爪形文の北白川下層II b式相当。3614は磨製石斧で基部欠損。

第67号人骨 (第135・182図、第三分冊坂上他報文)

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。頭部を欠損するものの他の解剖学的位置を保っているものとみられる。上肢は両腕を強く折り曲げ両脇に置く。肋骨は左向きに湾曲する。下肢は左脚を左向きに強く折り曲げる。右脚は欠損。青年(15~29歳)の男性で推定身長157.2cm。他に別個体が1体。周辺に縄文土器や石製品片が出土しているが副葬品・供伴遺物ではない。1947・1948は周辺出土縄文土器で非結束羽状縄文。

第71号人骨 (第135・182・368・377図、第三分冊坂上他報文)

埋葬形態は不明。頭位方向は北東で墓壙は見つからなかった。各部位がまとまっているものの解剖学的位置を保っていない。頭部は土圧等で潰されている。肋骨は頭部右下で縦位に並ぶ。上下肢は強く折り曲げていたようだが全容は不明。寛骨と大腿骨は離れている。老年(50歳以上)の女性。妊娠痕。虫歯2。齒槽膿漏。肩・肘・手首関節症。他に別個体が1体。頭部下に鳥類製管状垂飾(4319~4337)が多数見つかり、頭飾りとして着装していたものとみられる。それ以外の周辺出土遺物は供伴・副葬品ではない。1949は周辺出土縄文土器で斜行縄文。4319~4337はトリ製管状垂飾。4319~4327は細型で抉りを入れる。4328~4337はやや大型で装飾はなく上下端を擦り切ったのみ。

第3号土器棺 (第135・182図、第三分冊坂上他報文)

深鉢内に埋葬された人骨。深鉢(1953)の埋土はヤマトシジミの破碎貝で底部に張り付くように人骨片が残っていた。頭部が土器胴部下半から底部にかけて、四肢骨が底面から出土し、屈葬状態で土器内に埋葬されたのだろう。人骨は1歳前後の性別不明。クリップラ・クラニイカ。土器棺で最も古い。覆土の花粉分析では樹木・草本花粉を少し検出。1953は外面横行条痕のみの深鉢で内外面スス付着。煮炊き後土器棺として転用したものだろう。ただ、小竹貝塚では条痕のみの深鉢はごくわずかで完形はこの1点だけ特別な意味合いをもっているのかもしれない。

第5号犬骨 (第135図、第二分冊18山崎他報文)

椎骨がつながって湾曲しており背中を丸めた状態で埋葬したのとみられる。墓壙は見つからなかった。四肢骨は折り曲げていたのだろうが解剖学的位置を保っていない。ほぼ全身が残る。オスの成犬で小~中級、ヒトの尺骨が混じっており、人骨埋葬か所に埋葬を行ったものとみられる。

第7号犬骨 (第135・182・296・324・356・361図、第二分冊18山崎他報文)

頭部を欠く以外はほぼ全身が残るもの解剖学的位置を保っていない。不整角円形の掘り方を確認し、墓壙内で埋葬状態が崩れたものとみられる。オスの成犬で中小級。周囲から縄文土器や石製品が出土しているが墓壙内になく供伴関係は難しい。1950~1952は周辺出土縄文土器で1950は大型爪形文の北白川下層II a式相当、1951は無文地半截竹管押引爪形文の有尾式相当、1952は小型C字爪形文押引刺突の北白

川下層Ⅱb式相当。3718・3719は打欠石錘で3719は横方向に節理が入っていたのか3分割で出土。3920は底面2の砥石片。4253は単式釣針未成品か。

第8号犬骨（第135図、第二分冊18山崎報他文）

椎骨がつながって湾曲しており背中を丸めた状態で埋葬したものとみられる。墓壙は見つからなかった。四肢骨は折り曲げていたのだろうが解剖学的位置を保っていない。性別不明の若犬。

埋葬人骨第Ⅲ期（第130図）

貝37層を掘り込む。墓壙はほとんどつかめなかつたが、貝39層が埋土になるものとみられる。埋葬人骨26（別個体を含め最大53）体、土器棺3基、埋葬犬6体。時期は福浦下層～蜆ヶ森I式（諸磯b式、北白川下層Ⅱc式相当）。

第1号人骨（第136・182・286図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかつた。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。顔面は正面。頭部は土圧等で潰れている。上肢は両脇に強く折り曲げる。手首から先は散在。肋骨上に抱石として人頭大の自然縫を乗せる。椎骨は頭部から寛骨までまっすぐつながる。下肢は寛骨に接せず右向き斜めにもちあがった状態で折り曲げている。足首より先は散在。青年（15～29歳）の男性で推定身長は1697cmと高身長。抱石は凝灰岩で20.0×19.0×11.0cm、重さ595kgの隅丸方形。本調査で最初に見つかった埋葬人骨。当初、貝層上面でⅢa層の埋土からなる土坑があり、その底面から頭部が見つかったことから墓壙としていたがそのプランから外れて体部が出土した。このため、墓壙のプランは不明。抱石葬人骨としては最も良好な例。他に別個体が1体、東隣に2号犬骨。周辺から繩文土器片や石製品が出土しているが抱石以外に供伴・副葬品はない。1956は無文地平行弦線の刈羽式中～新段階相当。1957は無文地隆帯貼付。1958は非結構東羽状縄文地隆帯貼付で蜆ヶ森I式。3597は破損した磨製石斧中央を縦方向に擦り切り小型品を製作する未成品。

第6号人骨（第136図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭部のみで体部を切り離して埋葬を行つたものか。表土機械掘削に伴う下層確認調査時に一部損壊。成人（年齢不明）の男性。供伴・副葬品はない。

第11号人骨（第136・182・262・356・362・370図、第三分冊坂上報文）

不明屈葬。長軸67cm以上、短軸40cm、深さ9cmの墓壙あり。頭位方向は北東。解剖学的位置をほぼ保っている。顔面は右向き。頭部は土圧等で潰れている。上肢から寛骨までは不明。下肢はつながり強く折り曲げている。足首より先は散在。老年（50歳以上）の女性か。虫歯1。エナメル質減形成。変形性頸椎症。指骨癒合症。排水溝掘削時一部損壊。骨角製垂飾。他に別個体が4体あり、周産期1個体は合葬か。同じ位置に何度も埋葬行為が行われていたことがわかる。周辺から繩文土器片や骨角製品。ヒシ属・オニグルミが出土しているが供伴関係は不明。1959は繩文土器。無節の斜行縄文のみで口唇部を刻む。3236は平基無茎櫻。4202は髪針の基部装飾か。4257はヘラ。4365は表面研磨後穿孔のある垂飾状骨角製品か。

第12号人骨（第137・182・262・280・286・307・329・360図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は北西で墓壙は見つからなかつた。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。顔面は左向きだが上顎がひっくり返っており移動がみられる。頭部は土圧等で潰れている。上肢は右腕を強く、左腕を弱く折り曲げ脇に置く。手首から先は散在。胸部から腹部にかけて大型の砥石（3969）を抱石として肋骨の上に乗せる。椎骨が左向きで湾曲して抱石に乗つており不自然な状態。別個体か。下肢は強く折り曲げ左向きに揃える。13号人骨の上半身を片付けてその頭部を寛骨左側に置く。中年（30～49歳）の男性で推定身長153.5cm。虫歯1。エナメル質減形成。変形性頸椎症か。左腕の脇に磨製石斧大

小7本（3600～3606）をもち、副葬品とみられる。抱石をしている砥石は磨製石斧を研ぐものだろうか。そうすると磨製石斧と砥石をあわせて所有する人物であったのかもしれない。北側に4号土器棺が隣接する。他の遺物の供伴関係は不明。

1960は縄文土器。無文地半截竹管押引状爪形文と縦目円形刺突列で諸穢a式相当。口唇部に三角突起を二つづける。3237は石鏃か。3245は凹基無茎縦で脚部の一つを欠損。3600～3606は磨製石斧で3604の蛇紋岩以外は透閃石岩製。3601・3602・3604は長さ10cm内外の大型。3600・3603は長さ6cm内外の中型。3605・3606は長さ4cm内外の小型品。3813は磨り面2の磨石で側面を叩石とする。3959は砥面二つの大型の砥石。4238は組み合わせ式釣針。

第13号人骨（第137・182・262・286・307・360図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は南で墓壙は見つからなかった。上半身は12号人骨埋葬の際に損壊されており、解剖学的位置を保っていない。第12号人骨埋葬時に頭部を移動させて寛骨左側に置いている。上顎はひっくり返っている。上肢から寛骨は12号人骨下にまとまっていた。下肢は12号人骨左側に強く折り曲げた状態でまとめられている。中年（30～49歳）の男性。歯槽膿漏。エナメル質減形成。他に別個体が2体。

第14号人骨（第136・182・262・286・319・329・370・373・374図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬で抱石葬。長軸1.62m、短軸0.73mの不整精円形を呈する墓壙確認。頭位方向は南。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。頭部は土圧等で潰れ顔面の向きは不明。上肢は両腕を折り曲げ菱形状とし、肋骨上に乗せ、さらに台石（3957）を抱石として乗せる。椎骨から寛骨は不明。下肢は大腿骨以下を右向きに揃える。成人（年齢不明）の男性で推定身長168.8cmと高身長。抱石として砥石（3957）を利用。頭上と足下に磨製石斧（3608・3609）を1点ずつ配し、副葬品とみられる。胸部から垂飾状歯牙製品（4405・4406）2点とゴカイ類の管玉（4413）、彫刻不定形垂飾（4361）が出土し、頸飾りとして着装したのだろう。他に別個体が2体。

1961～1963は縄文土器。1961は非結束羽状縄文。1962は非結束羽状縄文地三角隆帯貼付で蜆ヶ森I式。1963は無文地平行沈線とコンパス文で黒浜式相当の朝日C式。3238・3239は凹基無茎縦で先端を欠損。3608・3609は磨製石斧で3608は刃部を欠損。3886は磨り面四つの磨石を転用した凹石。3957は半欠の台石で中央部を叩き凹石ともしている。4361は彫刻不定形垂飾でし字状の基部に穿孔する。4405・4406はオオカミの大歯を穿孔した垂飾状歯牙製品。4413はゴカイ類の棲管を切断して作成した管状垂飾。

第18号人骨（第138図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない散乱骨で上半身は矢板打設時に損壊、調査区外。寛骨と下肢骨が散在。老年（50歳以上）の男性で推定身長161.6cm。脛骨に線条痕。排水溝掘削時に検出した。第71号人骨より上位から検出。他に別個体が1体。供伴・副葬品はない。

第19号人骨（第138・183・262・294・324図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。頭位方向は北西で墓壙は見つからなかった。頭部を欠くがそれ以外はほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。下顎だけ顔面の向きは不明。上肢は左上部を欠損しているが両腕を強く折り曲げて脇に置いている。椎骨は胸部から寛骨までつながる。寛骨は破損しており位置が少しずれている。下肢は一部欠損するが概ね右向きに揃える。青年（15～29歳）の男性で推定身長165.9cmと高身長。エナメル質減形成。左腕脕に石錐（3708）、胸部に石鏃（3240）があり、副葬品とみられる。それ以外は供伴・副葬品ではない。1964～1966・1968は縄文土器。1965は無文地渦巻状三角隆帯で蜆ヶ森I式。1966は非結束羽状縄文地平行沈線文の刈羽式中～新段階相当。1964は非結束羽状縄文の波状口縁。1968は無節の斜行縄文で口唇部を刻む。3240は凹基無茎縦。3708は打欠石錐。

第32号人骨（第138・183・272・331図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は北西で墓壙は見つからなかった。頭部と四肢骨の一部のみで解剖学的位置を保っていない散乱骨。顔面は正面向きだが土圧等で潰されている。四肢骨はバラバラ。成人（年齢不明）の男性か。矢板打設時一部損壊とみられる。周辺から縄文土器片や石製品が出土しているが供伴・副葬品ではない。1967は縄文土器。無文地平行沈線文の刈羽式中～新段階相当。3436は不整形な横型の石匙で刃部を擦っており擦り切り具としての利用がうかがえる。3965は2面利用の石皿縁部。

第34号人骨（第138・183・354図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。長軸77cm以上・短軸51cmの墓壙あり。頭位方向不明。解剖学的位置を保っておらず墓壙内に散乱。四肢骨を中心に墓壙内にまとまっているがつながっていない。成人（年齢不明）の男性。下頸歯状摩耗。変形性頸椎症か。尺骨を骨折。7号イヌより上位。排水溝掘削時一部損壊。排水溝掘削土中から脚部出土。砥石。骨角製刺突具。他に別個体が2体。墓壙覆土から縄文土器片や骨角製品などが出土する。1969は無文地三角墜落貼付で蜆ヶ森I式。4172は有頭刺突具。

第35号人骨（第138・183・331図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は南で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない。顔面は右向きで下頸が開く。頭部は土圧等で潰れているが左側頭部こめかみ上にミニチュア土器（1971）が1点のっていた。四肢骨は左上がり方向に揃えて並べてあり、埋葬後片付け時に並べたものか。抱石としていたのか胸部右側に台石（3964）がある。成人（年齢不明）の女性か。虫歯4。頸関節症か。頭骨・大腿骨に人為的損傷。1970・1973は無文地隆帯貼付で蜆ヶ森I式。1972は無文地大型爪形の薄手硬質な土器片で北白川下層IIa式相当。1975は斜行縄文のみ。1971はビンボン玉大の楕円形ミニチュア土器。外面に連弧状の沈線文がある。3964は台石の縁部で凹石としても利用。

第36号人骨（第139・183・287・295・330図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。長軸1.42m・短軸0.74mの不整規円形墓壙あり。頭位方向は東。排水溝掘削時一部損壊しているが、解剖学的位置を保っているものとみられる。頭部が土圧等で潰れ顔の向きは不明。頭部は台石（3961）・石皿（3962）・石錘（3711）の上に乗っている。枕石か。上肢は少ないが胸部で弱く折り曲げる。下肢も少ないが右向きに折り曲げているものとみられる。成人（年齢不明）の男性。変形性肘・膝関節症か。他に別個体が2体。墓壙内にはイヌの散乱骨や石錘（3710）があり、供伴の可能性がある。1976は無文地隆帯上押引状爪形刺突で北白川下層IIb式相当。3611は磨製石斧で刃部を欠損。3710・3711は打欠石錘で3710は大型。3960～3962は砂岩製で3960は砥石、3961は台石、3962は石皿。

第37号人骨（第139・307・331図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬。長軸106cm・短軸96cm・深さ24cmの墓壙を確認。頭位方向は西。上半身の一部を欠くが解剖学的位置を保っている。頭部が土圧等で潰れている。顔面は左向きであろうが下頸骨は移動し右向きとなっている。上肢は少ないが強く曲げて脇に置いていたものとみられる。下肢は強く曲げ左向きに揃える。老年（50歳以上）の女性。妊娠痕。墓壙の上に台石（3966）が置かれており墓標石か。3号土器棺より上位から検出。3812は磨り面が1の磨石で一部欠損。3966は台石の縁部。

第38号人骨（第139・183・352図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っているが左半身を欠損。顔面は右向きで下頸が開く。頭部が土圧等で潰れている。上肢は左腕を強く折り曲げ脇に置く。椎骨は頭部から寛骨までまっすぐにつながる。下肢は右脚を右向きに強く曲げる。中年（30～49歳）の男性で推定身長162.1cm。虫歯2。肩甲骨を骨折か。他に別個体が2体。足下に第11・12・14号犬の少なくとも3体のイ

ヌが埋葬される。第63号人骨より上から検出。周辺から繩文土器片や骨角製品が出土するが供伴・副葬品ではない。1974は無文地小型D字爪形文で北白川下層IIb式相当。1977は非結束羽状繩文地三角縁帯貼付で親ヶ森I式。4153は長い骨針で先端と基部を欠損。

第39号人骨（第140・183・287・295・374図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬。頭位方向は南で墓壙は見つからなかった。成人（年齢不明）の女性。一部欠損部位があるがおよそ解剖学的位置を保っている。顔面は右向き。頭部が土圧等で潰れている。上肢は左腕を強く折り曲げ脇に置く。椎骨は頭部から寛骨までほぼまっすぐにつながる。下肢は左脚を右向きに強く曲げる。変形性頸椎関節症、脛骨骨腫瘍か。74号人骨より上位から検出。上部に自然縫が1点置かれており墓標石か。他に別個体が3体。1978は非結束羽状繩文地三角縁帯貼付で親ヶ森I式。1979・1980は非結束羽状繩文の平底。3612は磨製石斧で刃部を欠損。3713は半削した円盤を用いた打欠石錐。4409はタマキガイ科の貝輪（腕飾B）片。

第41号人骨（第140・331・354・362図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は北で墓壙は見つからなかった。一部欠損部位があるものの、解剖学的位置を保っている。頭部が土圧等で潰れており、不明な点が多いが顔面は正面向きか。上肢は右腕をL字状に折り曲げる。胸部から腹部にかけて大きな自然縫を乗せ、抱石とする。これに胸部が押し潰されたようにも見える。下肢は右向きに強く折り曲げる。成人（年齢不明）の男性。外耳道骨腫瘍か。頭部にはイヌや歯があるが供伴関係は不明。3968は砥石縁部。4174は先端と基部を欠損した髪針か。4258はヘラ。

第43号人骨（第140・183・347図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向不明で墓壙は見つからなかった。成人（年齢不明）の男性。解剖学的位置を保っていない散乱骨。四肢骨を中心にバラバラで散在。下顎中切歯を抜歯か。他に別個体が1体ある。1981は無文地平行沈線間小型C字爪形文で北白川下層IIb式相当。4073はヤス状刺突具の先端でもう一方を欠損。

第49号人骨（第141・183・374図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向不明で墓壙は見つからなかった。少量の散乱骨で解剖学的位置を保っていない。四肢骨を中心にバラバラで散在。年齢性別不明。第72号人骨より上から検出。人骨集中地点内出土。人骨近辺に深鉢底部があり、中に貝輪（4416）が入っていた。1982は斜行繩文の平底。4416はベンケイガイの貝輪（腕飾B）で中央を打ち欠いただけのもの。

第50号人骨（第141・272・363図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬。墓壙は見つからなかった。顔面は右向きで頭部は土圧等で潰れる。上肢は右腕をV字状に折り曲げて肋骨上に乗せる。寛骨と下肢は離れている。青年（15～29歳）の男性で推定身長1607cm。クリブラー・オルビタリア。他に別個体が1体。第55号人骨を片付けて埋葬。第77号人骨より上から検出。人骨集中地点内出土。頭部から石匙（3437）、胸部から磨製石斧（3613）が出土し、副葬品の可能性が高い。他に石皿、石鎌が出土。3437は菱形の刃部につまみをつける横型の石匙。3613は磨製石斧で刃部を欠損。4266・4268・4269は不明鹿角製品。

第52・53号人骨（第140・183図、第三分冊坂上他報文）

第53号人骨にこどもの第52号人骨が内包される形で2体が重なっていた。墓壙は見つからなかった。第53号人骨は、頭位方向が西で成人（年齢不明）の男性か。解剖学的位置を保っていない。顔面は左向きとみられるが上下顎が移動し原位置にない。上肢は肋骨と混在しているようで形態は不明。下肢は一部欠損しているがおおむねの字状に折り曲げ左向きに揃えている。他に別個体が1体。第52号人骨は10歳前後の性別不明。散乱骨で解剖学的位置を保っていない。エナメル質減形成。

他に別個体が3体。人骨集中地点内出土。1984は縄文地墻帶貼付で規ヶ森I式。

第55号人骨（第141・272・354図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明で墓壙は見つからなかった。第50・62号人骨埋葬時に片付けられたとみられ解剖学的位置を保っていない。頭部と上肢のみ。青年（15～29歳）の女性か。上腕に3か所の穿孔。人骨集中地点内出土。3438は縦型の石匙とみられるつまみ部。4171は有頭刺突具で先端を欠損。

第63号人骨（第139・183図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明で墓壙は見つからなかった。下肢2と寛骨の3つの部位が独立して貝層に突き刺さり直立している異様な状態。上位にある38号人骨の埋葬時に片付けたものか。中年（30～49歳）の男性で推定身長1643cm。1985は無文地肋骨文で諸磯a式相当。

第65号人骨（第141・307・308・319図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っておらず少量の散乱骨からなる。5歳前後の性別不明。人骨集中地点内出土。周辺に石製品が出土しているが掘り方もなく散乱骨であるため供伴関係は難しい。3817は磨り面1、3818は磨り面4の磨石で3818は叩石としても使われていた。3891は磨り面4の磨石を転用した凹石。

第70号人骨（第142・262・272・287・356・376図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。頭部を欠くが解剖学的位置を保っており、保存状態もよい。顔面は右向きで下顎がやや開く。頭部は土圧等で潰れている。上肢は右腕を強く曲げ脇に置き、左腕をV字状に曲げ脇骨上に置く。椎骨は頭部から寛骨までまっすぐつながる。下肢は強く折り曲げ右向きに揃える。老年（50歳以上）の男性。推定身長1613cm。エナメル質減形成。大腿骨を骨折。大腿骨膜炎か。脛骨に人為的な溝がある。第76号人骨より上で第51号人骨より下に埋葬。人骨集中地点内出土。供伴・副葬品の一括出土が最も多い人骨。右腕脇に大小あわせて四つの磨製石斧（3615～3618）、石匙（3440）、骨角刺突具（4199）を置いており、被葬者の持ち物をなにか有機質の入れ物に入っていたものとみられる。3244は平基無茎鍬。3440・3441はいわゆる鳥浜型の石匙。3615～3618は磨製石斧で角閃岩製。3615が長さ4cm強の小型、3618が長さ8cm弱の中型、3616・1617が長さ9cm弱の大型。いずれも欠損部があり使用後副葬品としたものとみられる。4199は刺突具I。4203は側面を抉る鍬IIか。4431はサメ類の垂飾状歯牙製品で基部に2孔、一部欠損。

第75号人骨（第140図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明で墓壙は見つからなかった。頭部のみで体部を切り離して埋葬を行ったものか。成人（年齢不明）の男性。虫歯1。他に別個体が2体。

第1号土器棺（第142・183・363図、第三分冊坂上他報文）

深鉢内に埋葬された人骨。深鉢（1986）の埋土はヤマトシジミの破碎貝で底部に人骨片が残っていた。四肢骨が底面に貼り付く形で出土。四肢骨はバラバラで埋葬形態は不明。人骨は1歳前後で性別不明。長軸55cm・短軸52cm・深さ10cmの掘り方がある。深鉢の側面を支えるように平石が直立していた。覆土の花粉分析では草本花粉を少し検出。1986は無節の斜行縄文の深鉢底部。内面がこげており煮焼き後の転用か。4267は鹿角の先端を研磨したもので覆土中から見つかった。副葬品か。

第2号土器棺（第142・184図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態は不明。墓壙あり。深鉢（1987）の埋土はヤマトシジミの破碎貝で底部に人骨片が残っていた。四肢骨の上に潰れた頭骨が乗る形で底面に貼り付いていた。人骨は1歳前後で性別不明。長軸42cm・短軸30cm・深さ25cmの掘り方あり。覆土の花粉分析では樹木・草本花粉を少し検出。1987は無節の斜行縄文

深鉢。外面口縁～胴部上半スス付着。内面胴部下半コケ付着。口縁部に2孔1対の補修孔を1か所と底部から底面に規則的（4孔1単位）な穿孔がある。底部の穿孔は上下2段で上が3孔（全て貫孔）、下が4孔（貫孔1で他は盲孔）。上段には欠損部があり本来は4孔とみられる。底面の穿孔は4孔（全て貫孔）。これらの穿孔は補修孔にしては数が多く、ほぼ等間隔で並んでおり、大阪府国府遺跡出土甕被人骨の底部穿孔深鉢（山口2012）のように埋葬儀礼に伴う祭祀の意味合いをもっているものとみられる。

第4号土器棺（第137図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態は不明。墓壙あり。深鉢の埋土は有機質土で底部に人骨片が残っていた。深鉢は矢板の脇にあることからそれに損壊され、底部のみ。潰れた頭骨が底面に貼り付いていた。人骨は周産期で性別不明。12・13号人骨と同時期で接近する土器棺。

第4号犬骨（第142・332図、第二分冊18山崎他報文）

背中を丸め四肢骨を曲げた状態で埋葬。墓壙不明。ほぼ全身が残り、解剖学的位置に近いものとみられる。メス？の成犬。周辺から遺物が出土しているが供伴しない。3974は砥石の一部で2面利用。

第6号犬骨（第142図、第二分冊18山崎他報文）

肋骨が揃って弧状に並び、背中を丸めた状態で埋葬していたものとみられる。性別不明の成犬。

第11・12・14号犬骨（第139図、第二分冊18山崎他報文）

第38号人骨の下肢上面に埋葬されていたイヌ。少なくとも3体分あり、番号をつけた。第11号犬骨は背中を丸めて埋葬していたものとみられ、ほぼ全身が揃う。メス？の成犬。第12号犬骨は椎骨が並ぶ性別不明の成犬。第14号犬骨は頭骨を欠くがそれ以外はほとんど残るオス？の成犬。第38号人骨との合葬か。縄文時代のイヌの埋葬は男性との関係が深いと言われる（山田2008）のに合致する。

第13号犬骨（第142図、第二分冊18山崎他報文）

B地区西端で検出。背中を丸め四肢を折り曲げた状態で埋葬。メス？の若犬。

埋葬人骨第IV期（第130図）

貝39層を掘り込む。墓壙はほとんどつかめなかつたが、Ⅲa層が埋土になるものとみられる。埋葬人骨22（別個体を含め最大60）体、埋葬犬4体。時期は鶴ヶ森I～II式（諸磯b～c式、北白川下層IIc～Ⅲ式相当）。

第2号人骨（第143・262・307・356図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。長軸158m、短軸0.74mの不整梢円形を呈する墓壙あり。頭位方向は北東。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。顔面は左下向きで口を閉じる。頭部は土圧等で潰れている。上肢は両腕を折り曲げ菱形状とする。下肢は右向きで左脚を上にしてくの字状に折り曲げる。成人（年齢不明）の男性。虫歯1。変形性頸椎症か。他に別個体が1体。周辺から石製品・骨角製品が出土しているが供伴・副葬品は不明。3247は凹基無茎錐で先端部を石錐として利用か。3811は磨石。4198は太型針で先端一部欠損。

第3号人骨（第143・184・329図、第三分冊坂上他報文）

仰臥屈葬。長軸1.46m、短軸1.07mの墓壙あり。頭位方向は南西。頭部の一部を欠損する以外はほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。顔面は下顎のみだが右向き。上肢は菱形状に折り曲げ、肋骨上に乗せる。下肢は強く折り曲げ右向きに揃える。青年（15～29歳）の女性で推定身長1462cm。妊娠痕。エナメル質減形成。大腿骨に線条痕。45号人骨より上位。他に別個体が4体ある。周辺から縄文土器や石製品が出土しているが供伴・副葬品とは言えない。1996は無文地平行沈線間小型C字爪形文で北白川下層IIb式相当。1997は梯子状隆帯斜行刻みで北白川下層IIc式相当。3955は石皿片。

第4号人骨（第143・286図、第三分冊坂上他報文）

山口卓也2012「国府遺跡大串第18号人骨と縄文鉢形土器の穿孔」『肝臓No.65』関西大学博物館
山田康弘2008「縄文時代のイヌ」「生と死の考古学 縄文時代の死生観」東洋書店

埋葬形態不明。長軸 1.85m・短軸 1.30m の不整形を呈する墓壙あり。頭位方向は西。頭部、四肢骨とまとまっているが解剖学的位置を保っていない散乱骨。頭部は土圧等で潰れており顔面の向きは不明。四肢骨はバラバラ。中年（30～49歳）の男性。虫歯 1。頭部に人為的穿孔か。南西部に深鉢形土器を埋設した土坑（S K1009）があり埋葬祭祀の供伴施設か。他に別個体が 1 体。周辺から縄文土器片・石製品が出土しているが供伴・副葬品ではない。3598 は磨製石斧の基部。

第5号人骨（第144・184・262・284・319図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。長軸 2 m 以上・短軸 1.75m の不整椭円形を呈する墓壙？あり。頭位方向は西。解剖学的位置を保っていない。頭部は土圧等で潰れており、顔面の向きは不明。上肢は両腕を菱形状に折り曲げて胸部に乗せるようにみえる。下肢は欠損しているが右向きに強く折り曲げる。成人（年齢不明）の女性か。上部に 20.0×12.5×12.2 cm、重さ 3.45 kg の凝灰質砂岩があり、抱石だったのか。67 号人骨より上位。他に別個体が 4 体。墓壙？内から縄文土器片や石製品が出土しているが凹石（3885）以外は供伴・副葬品とは言いがたい。1992 は無文地横円形隆帯上斜行刻みで北白川下層 II c 式相当。1993 は無文地平行沈線間小型 C 字爪形文で北白川下層 II b 式相当。1999 は斜行縄文のみの深鉢口縁部。3234 は凹基無茎縫で先端を欠損。3577 は押出跡にある三角スクレイバー。3885 は円鑿を用いた凹石で磨石としても使われる。

第7号人骨（第144・262・288・294・329・342・347図、第三分冊坂上他報文）

不明屈葬。断面のみだが墓壙確認。包蔵地確認調査（T 4）により上半身を損壊し、下半身のみ解剖学的位置を保っている。下肢は強く折り曲げ左脚の上に右脚を乗せ右向きに揃える。青年（15～29歳）の男性で推定身長 165.6 cm と高身長。肩関節症か、大腿骨・上腕骨に食損。T 4 出土の頭部が同一個体とみられる。59 号人骨より上位から検出。他に別個体が 3 体。周辺から縄文土器片・石製品・骨角製品が出土しているが供伴・副葬品とは言えない。3235 は凹基無茎縫で基部欠損。3599 は大型磨製石斧の刃部。3705・3706 は打欠石錘で 3706 は砥石の転用。3956 は石皿の縁部。4000 は滑石製玦状耳飾でスリット以外に側面刻み。スリットの失敗品か。4072 はヤス状刺突具で側面に 1 か所抉りがある。

第8号人骨（第144・184図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向不明で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない散乱骨。排水溝掘削時に一部損壊。肋骨は揃って並ぶ。脚部はバラバラで斜立気味で原位置を保っていない。中年（30～49歳）の男性。エナメル質減形成。上腕・大腿骨に線条痕。他に別個体が 1 体。周辺から縄文土器片が出土しているが供伴・副葬品ではない。1995 は無文地継ぎ平行沈線と小型 C 字爪形文で諸磧 b 式古段階相当。

第9号人骨（第145・184・286・319・352・372図、第三分冊坂上他報文）

仰臥伸展葬。断面のみだが墓壙確認。頭位方向は北東。ほぼ全身が解剖学的位置を保っているが頭部が移動し肋骨上有る。頭部が移動していることから空隙があったのか。上肢は両腕を強く折り曲げ脇に置く。下肢は大腿骨のみが V 字形に置かれる。中年（30～49歳）の女性で推定身長 152.7 cm と高身長。妊娠痕。虫歯 2。下肢大腿骨から先を欠損しているが伸展葬とすれば全国的にも古い例となる。寛骨右側に人骨と同一レベルで凹石（3887）が出土し、副葬品。この他に周辺から遺物が出土しているが供伴・副葬品ではない。他に別個体が 2 体。1994 は斜行縄文地綾杉文状沈線と円形刺突で諸磧 a 式相当。2000 は無文地格子目文と押引状刺突文で刈羽式古段階相当。3607 は小型の磨製石斧で基部を欠損。3887 は磨り面四つの磨石を転用した凹石。4147 は太型針で基部扁平。4385 はイノシシ製垂飾状歯牙製品。

第10号人骨（第145図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。墓壙不明。頭位方向は南。四肢骨にまとまりがあるが解剖学的位置を保っていない散乱

骨。上肢はくの字状に折り曲げてあり元々は屈葬だったのか。成人（年齢不明）の男性か。肋骨を骨折。他に別個体が1体。

第15号人骨（第145・329図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない。排水溝掘削時に上半身を損壊。脛骨が並んでいただけ。脚部上に石皿（3958）が乗り、これに脛骨が割られているようみえる。成人（年齢不明）の男性。虫歯2。歯槽膿漏。変形性頸椎症。他に別個体が4体あり、胎児1個体は合葬か。第2号犬骨と隣接し同時期。3958は石皿の縁部。

第21号人骨（第145・184・368図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。頭部のみで他の部位は第2号土器集中地点に散在。頭部は土圧等で押し潰された状態にある。青年（15～29歳）で性別不明。他に別個体が2体。周辺から縄文土器や骨角製品が出土しているが供伴・副葬品ではなく第2号土器集中地点の一部とみられる。1998は斜行繩文の後ヨコナデの深鉢口縁部。2001は無文地三角隆帯貼付で蝶ヶ森I式。2002は無文の鉢口縁部。4318はトリ製管状垂飾。

第22号人骨（第145・270・315図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。頭部のみで他の部位は矢板打設時に損壊、調査区外か。頭部は頸頂部を上にして顔面は北向き。後頭部は破損している。年齢不明の女性。クリブラ・オルビツアリ。隣接して縄群や石製品があるが矢板打設時の移動もあり供伴関係にあるかは不明。3416は石製品で尖頭器。3858は円鏗の上下を使った叩石で打欠石錐の可能性もある。

第24号人骨（第145・185・286・294・315・319・330・342図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。解剖学的位置を保っていない散乱骨。矢板打設時に一部損壊、調査区外。下顎や四肢骨がバラバラ。青年（15～29歳）の男性か。他に別個体が1体。周辺から縄文土器片や石製品が出土しているが供伴・副葬品ではない。2005は無文地継ぎ目平行弦線と斜行刺突文で諸磯b式古段階相当。3610は磨製石斧で刃部と基部に剥離があり、破損後石錐に転用された可能性がある。3707は打欠石錐で半欠。3859は楕円形の鏗を用いた叩石。3888は円鏗を用いた凹石で半欠け。3963は台石の縁部片。4001は滑石製块状耳飾片で表面に補修孔とみられる穿孔があるが盲孔。

第25号人骨（第146・184・342・370・374図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬。長軸1.16m・短軸0.6m以上の楕円形墓壙あり。頭位方向は西。顔面は上肢の一部を欠くがほぼ解剖学的位置を保っている。顔面は下顎の位置からやや左向き。頭部から块状耳飾（4003・4004）の2つが見つかり、耳に着装していたものとみられる。上肢は右腕をくの字状に折り曲げ肋骨上に乗せる。左腕は排水溝掘削時損壊。下肢は強く折り曲げ左向きに揃える。青年（15～29歳）の女性で推定身長1475cm。虫歯6。妊娠痕。他に別個体が3体あり、周産期1個体は合葬か。墓壙とその周辺から縄文土器・石製品・骨角製品が出土しているが供伴・副葬品か不明。2003は木葉状沈線文を入れる浅鉢で諸磯b式古段階相当。4003は滑石製块状耳飾。4004は霰石製块状耳飾で風化し一部欠損。4362は垂飾状歯牙製品。4410はタマキガイ科の貝輪（腕飾B）で内面研磨。

第26・79号人骨（第146・185・272・373図、第三分冊坂上他報文）

側臥屈葬人骨である第26号人骨にこどもの第79号人骨が内包される形で2体が重なっていた。長軸0.95m・短軸0.73mの楕円形の墓壙あり。第26号人骨の頭位方向は南東。顔面は正面下向き。頭部は土圧等で潰れいる。上肢は右腕を強く折り曲げ脇に置き、左腕をくの字状に折り曲げる。下肢は強く折り曲げ右向きに揃える。青年（15～29歳）の男性で推定身長1598cm。他に別個体が1体。胸部から垂飾状歯牙製品2点（4402・

4403)と、石匙1点(3435)がみつかり、着装していたものとみられる。79号人骨は10歳前後の性別不明。2号土器鉢より上位。2010は斜行縄文地三角隆縁2本貼付で規ヶ森I式。2006は無文地レンズ状沈線文の深鉢底部で諸磧c式相当。3435は楕円形の刃部につまみをつける横型の石匙。緑色。4402・4403はソキノワグマ製垂飾状歯牙製品。犬歯の先端を削り同じサイズに仕上げ、中央に穿孔している。

第27号人骨(第146・185・315図、第三分冊坂上他報文)

埋葬形態不明。墓壙は長軸148cm・短軸97cm・深さ15cmの不整形。頭位方向不明。四肢骨のみで解剖学的位置を保っていない。四肢骨もバラバラで揃っていない。青年(15~29歳)の女性。妊娠痕。虫歯2。48・61号人骨より上位から検出。人骨の含まれる墓壙内から深鉢形土器がまとまって出土。他に別個体が1体。散乱骨なため遺物の供伴・副葬品は不明。2007は斜行縄文地平行沈線の深鉢口縁部で刈羽式中~新段階相当。2012は無文地三角隆縁4本貼付の波状口縁で規ヶ森I式。3860は叩石。貝輪などの製作用か。

第29号人骨(第146・185・262・370図、第三分冊坂上他報文)

埋葬形態不明。頭位方向は西で墓壙は見つからなかった。排水溝掘削時損壊し、解剖学的位置を保っていない。顔面は正面向き。上肢を伸ばし、下肢を左向きの字状に屈曲する。成人(年齢不明)の女性。虫歯1。歯槽膿漏。肩甲骨を骨折か。南壁断面にかかって検出。他に別個体が4体。下顎骨下から骨角製垂飾(4364)がみつかり、着装していたものとみられる。それ以外の遺物は供伴・副葬品ではない。2008は縄文土器。無文地格子目文の交点竹管刺突で刈羽式古段階相当。3242は石製品で凹基無茎鍬。4364は札状加工垂飾で基部に刺突文と穿孔。

第30号人骨(第146・342図、第三分冊坂上他報文)

仰臥屈葬で抱石葬。頭位方向は南西で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が残り、解剖学的位置を保っている。頭部が土圧等で潰れているが顔面は正面下向きとみられる。上肢は右腕をくの字状に曲げ、左腕を強く折り曲げる。腹部椎骨上に抱石として自然礫が乗る。下肢は強く折り曲げ左向きに揃える。青年(15~29歳)の男性。エナメル質減形成、歯槽膿漏。68号人骨の上に埋葬。抱石は花崗閃綠岩で150×110×50cm、重さ105kgの隅丸三角形。他に別個体が1体。周辺から縄文土器片や石製品が出土しているが供伴・副葬品ではない。4002はやや綾長の滑石製珠状耳飾で半丸。上部に穿孔貫通1。

第31号人骨(第146・185図、第三分冊坂上他報文)

埋葬形態不明。頭位方向不明で墓壙は見つからなかった。成人(年齢不明)で性別不明。四肢骨のみで解剖学的位置を保っていない散乱骨。他に別個体が2体。周辺から縄文土器片が出土しているが供伴・副葬品ではない。2014は列孔文浅鉢で諸磧b式新段階相当。

第33号人骨(第147・185図、第三分冊坂上他報文)

埋葬形態不明。頭位方向不明で墓壙は見つからなかった。頭部と四肢骨が分かれて出土し、解剖学的位置を保っていない。頭骨は土圧等で潰れている。四肢骨はつながっておらずバラバラ。成人(年齢不明)の男性。虫歯1。人骨下にイヌ出土。周辺から縄文土器片が出土しているが供伴・副葬品ではない。2009は斜行縄文地平行沈線間小型C字爪形文で北白川下層IIb式相当。

第51号人骨(第147・183・185・284・307・315・332図、第三分冊坂上他報文)

仰臥屈葬。頭位方向は東で墓壙は見つからなかった。ほぼ全身が残り解剖学的位置を保っている。顔面は右向きで下頬が開く。頭骨は土圧等で潰れている。上肢は右腕を強く折り曲げ、左腕をくの字状に曲げる。椎骨は頭部から寛骨までつながる。下肢は両脚を強く折り曲げて脇に置く。中年(30~49歳)の男性で推定身長161.5cm。虫歯1。エナメル質減形成。第70号人骨の上に埋葬。人骨集中地点内出土。他に別個体が2体。頭部付近にイヌが混じっており、イヌの埋葬後に人骨を埋葬していた可能性がある。それ以

外は供伴・副葬品ではない。人骨脛に叩石（3861）の入った深鉢形土器（1983）が出土し、副葬品の可能性がある。1983は非結束羽状縄文の小型深鉢。2016は非結束羽状縄文の深鉢胴部。3585は剥片の縁辺を押圧剝離する。スクレイパーか。3814は磨り面2の磨石。3861は円礫の側面を利用した叩石で磨石としての利用もうかがえる。3970は石皿の縁部。

第56号人骨（第147図、第三分冊坂上他報文）

埋葬形態不明。頭位方向は南西で墓壙は見つからなかった。欠損部分が多く解剖学的位置を保っていない。頭部は散在し、顔面の向きは不明。上肢は両腕をハの字に開くが一部のみ。下肢は強く折り曲げ左向きに揃えているものか。中年（30～49歳）の男性。抜歯か。変形性膝関節症か。供伴・副葬品はない。

第1号犬骨（第147図、第二分冊18山崎他報文）

背中を丸め、四肢骨を曲げた状態で埋葬。骨が少なく、搅乱を受けている。性別不明の成犬。

第2号犬骨（第147図、第二分冊18山崎他報文）

長軸44cm・短軸30cm・深さ13cmの楕円形墓壙内に埋葬。寛骨と肋骨を除いて全身が揃うが解剖学的位置を保っていない散乱骨。第15号人骨と隣接し、同時期。オス？の成犬。

第3号犬骨（第147・308図、第二分冊18山崎他報文）

四肢骨を強く折り曲げて埋葬。墓壙不明。頭部はない。周辺から遺物が出土しているが供伴関係は不明。オスの成犬。3819・3820は磨り面1の磨石で前者は凹石、後者は叩石にも使われた。

第9号犬骨（第147図、第二分冊18山崎他報文）

頭骨から四肢骨まで各部位がまとまっているが数少ない。性別不明の成犬。

C 土坑（第148図）

貝層上面で土坑を7基検出した。特徴的もしくは遺物が出土しているもののみ図化した。

第1003号土坑（SK1003、第149・262・287図）

不整形。遺物は縄文土器、石製品（3248・3623）が出土。3248は平基無茎錐で縁刃剥離が甘く未成品か。3623は磨製石斧で刃部一部欠損。

第1009号土坑（SK1009、第149・184・361図）

不整形。縄文土器深鉢（1988）がほぼ1個体埋まっていた。遺物は縄文土器、骨角製品（4251）が出土。1988は非結束羽状縄文の深鉢。口縁部と底部を欠損で外面スス付着。キャリバー形の器形で福浦下層～鶴ヶ森I式。4251は骨角未成品で単式釣針素材か。

第1010・1011号土坑（SK1010・1011、第149・184・284・319・354・373図）

不整形。2段掘り。遺物は縄文土器・石製品（3580・3892）・骨角製品（4173・4404）が出土。1989・1990は非結束羽状縄文地隆帯貼付。1991は無文地三角隆帯貼付で鶴ヶ森I式。3580は円形のスクレイパー。3892は凹石の一部。4173は細型針。4404はツキノワグマ犬歯を利用して垂飾状歯牙製品。

第1015号土坑（SK1015、第149・185図）

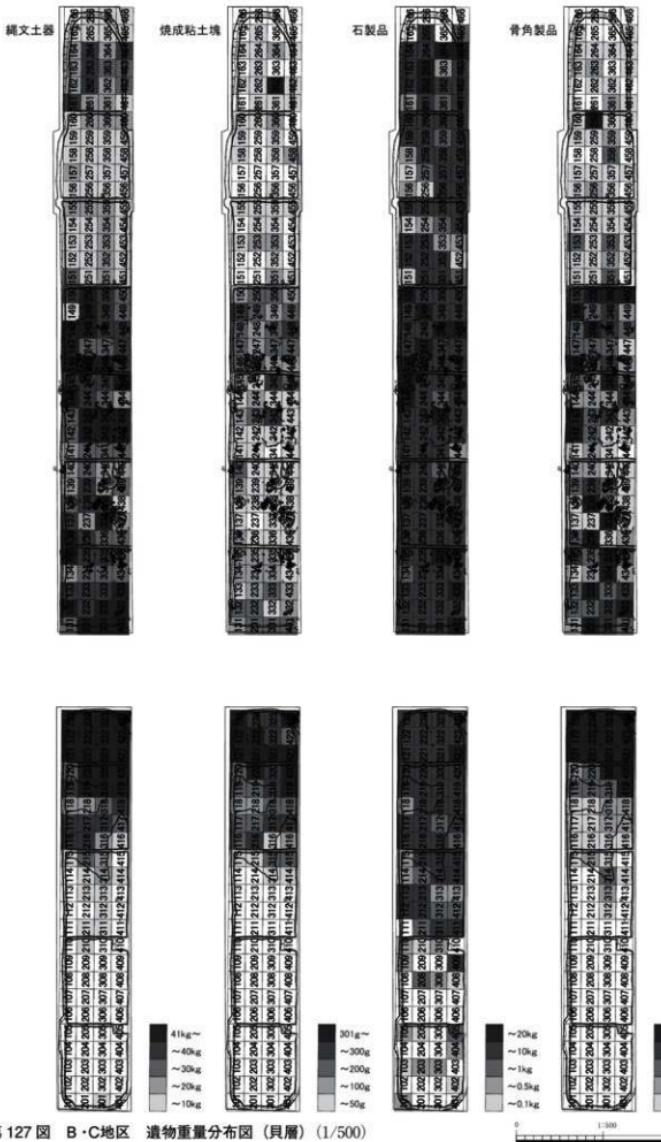
瓢箪形。皿状の掘り方。内部に動物遺存体が入った縄文土器（2004）が出土。2004は非結束羽状縄文の深鉢胴部。

第1017号土坑（SK1017、第149・287図）

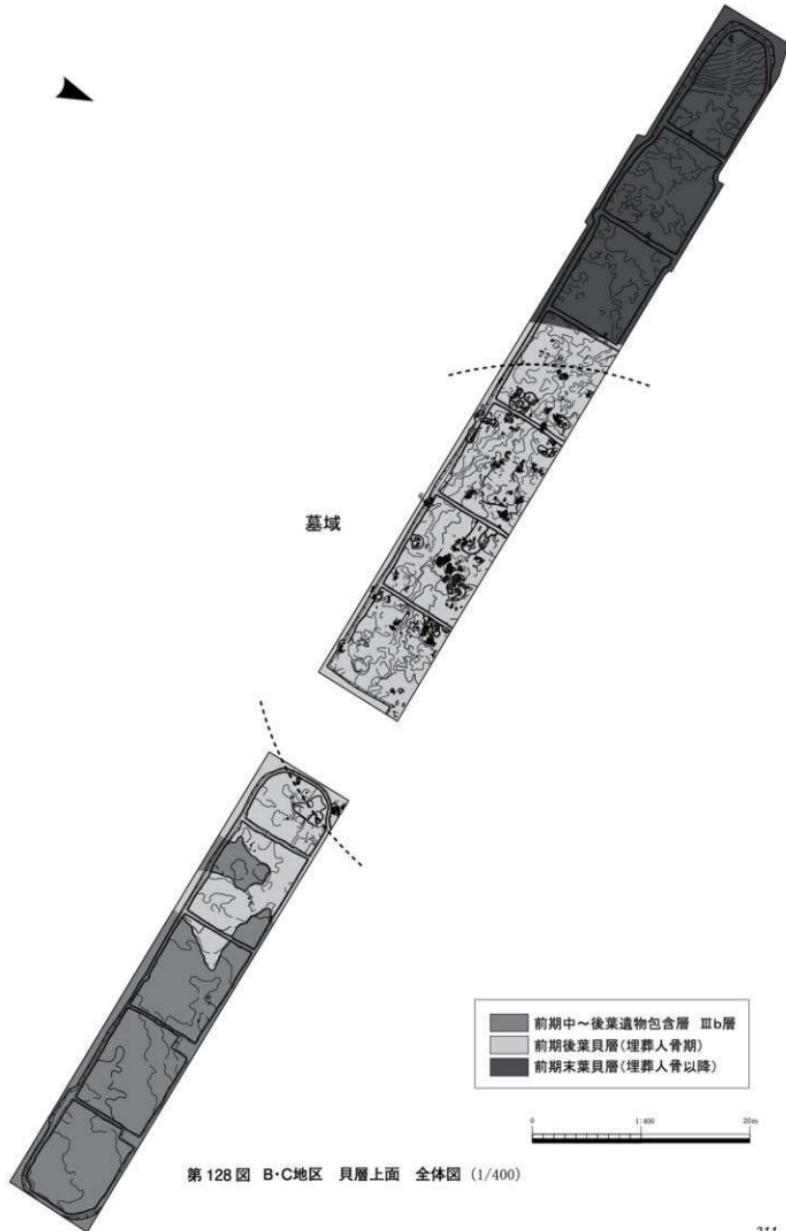
不整円形。小型で浅い。遺物は縄文土器・石製品（3621）・動物遺存体が出土。3621は磨製石斧で小型品の基部。

D 集石

5 B・C地区の遺構・遺物

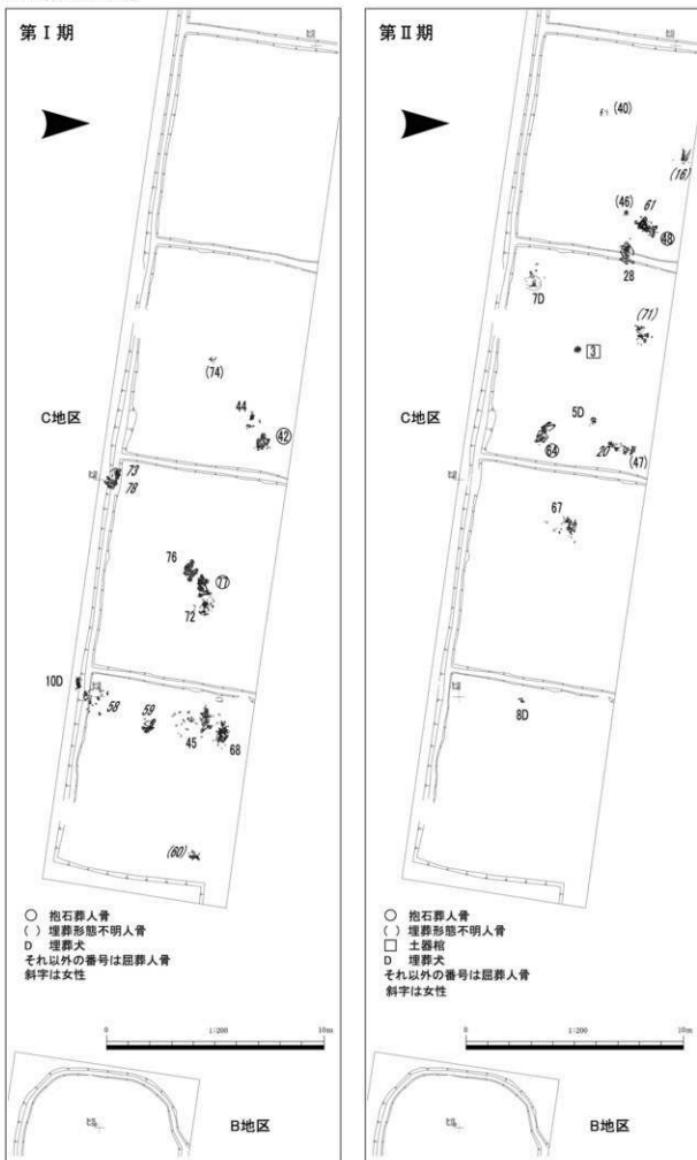


第127図 B・C地区 遺物重量分布図（貝層）（1/500）

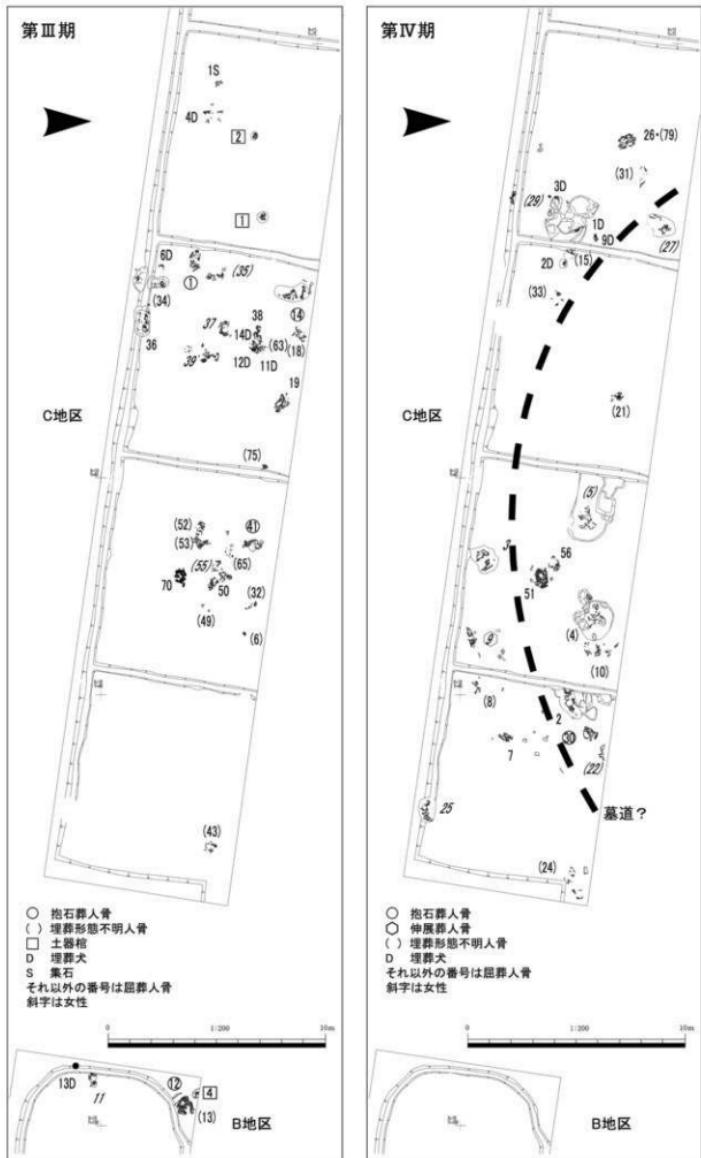


第128図 B・C地区 貝層上面 全体図 (1/400)

5 B・C地区の遺構・遺物



第129図 B・C地区 埋葬人骨 第I・II期 (1:200)



第130図 B-C地区 埋葬人骨 第III・IV期 (1:200)

4 B・C地区の基本層序

第20表 B:C地区埋葬人骨一覽

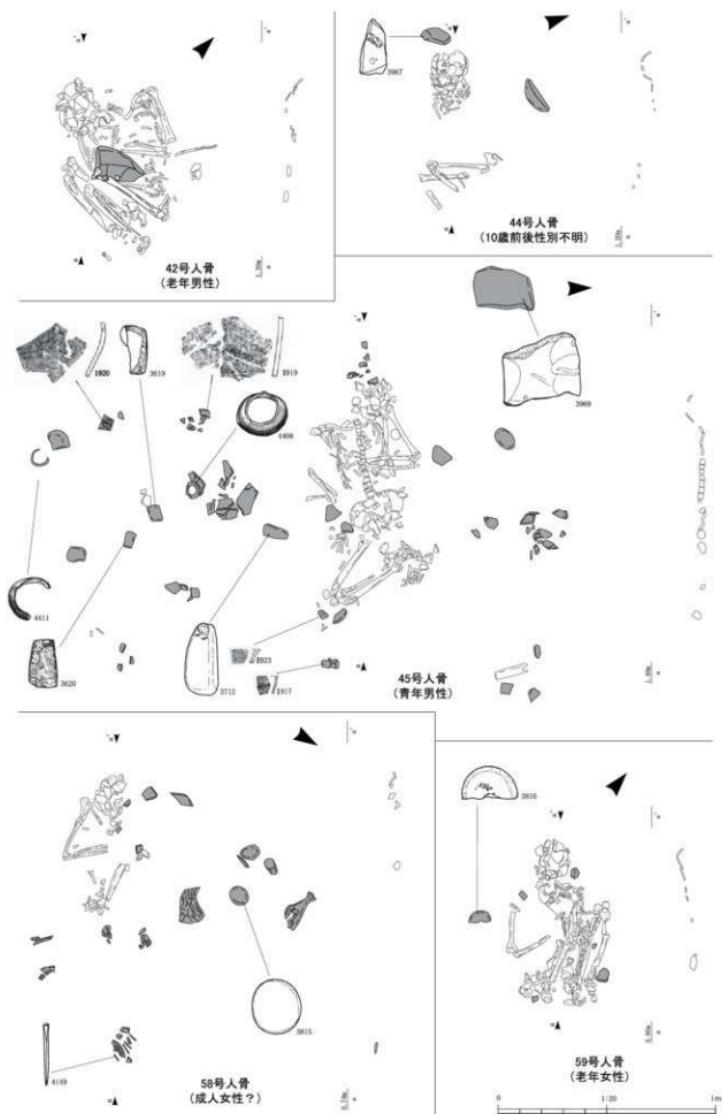
種別 番号	番号	グリッド	調査時の取上 名	層位	時期	埋葬人骨期	性別	推定年齢	サイズと推定体高(cm)	出土部位			墓場	調査時の状況
										頭	体幹	四肢		
147	1号大骨	246	1号大骨	貝39	前期後葉	IV期	不明	成犬(2歳以上)	小體(約35cm)	○	○	○	×	骨少ない、小型、黄土色
147	2号大骨	245	2号大骨	貝39	前期後葉	IV期	オス?	成犬(2歳以上)	中小體(約36cm)	○	○	○	○	骨少ない、小型、黄土色
147	3号大骨	246	3号大骨	貝39	前期後葉	IV期	オス	成犬(2歳以上)	中小體(約36cm)	○	○	○	×	骨少ない、小型、黄土色
142	4号大骨	248	4号大骨	貝37	前期後葉	III期	メス?	成犬(2歳前後)	中小體(約40cm)	○	○	○	×	ほとんどの部位有り、大型、黄土色
135	5号大骨	342	5号大骨	貝3下A	前期後葉	II期	オス	成犬(2歳以上)	中小體(約39~40cm)	○	○	○	×	ほとんどの部位あるが较少、大型、黄土色
142	6号大骨	145	6号大骨	貝37	前期後葉	III期	不明	成犬(2歳以上)	中小體(約40cm)	×	○	○	×	頭部以外わずか、黄土色
135	7号大骨	144	7号大骨	貝3下A	前期後葉	II期	オス	成犬(2歳以上)	中小體(約42~43cm)	○	○	○	○	頭部-下顎以外はほとんどあり、黄土色
135	8号大骨	325	8号大骨	貝3下A	前期後葉	II期	不明	若犬(1歳前後)	不明	○	○	○	×	
147	9号大骨	346	9号大骨	貝39	前期後葉	IV期	不明	成犬(2歳以上)	小體(約37~40cm)	○	○	○	×	骨少ない、黒色
133	10号大骨	345	10号大骨	貝3下B-C	前期後葉	I期	不明	成犬(2歳以上)	中大~中體(約41~43cm)	×	○	○	×	頭部-下顎なし、黄土色
139	11号大骨	443	11号大骨	貝37	前期後葉	III期	メス?	成犬(2歳以上)	小體(約33~38cm)	○	○	○	×	ほとんどの部位が残る、2頭か、黒土色
139	12号大骨	343	12号大骨	貝37	前期後葉	III期	不明	成犬(2歳以上)	小體(約35~39cm)	○	○	○	×	頭部-下顎など大きな骨が少ない、黒色
142	13号大骨	223	骨	貝37	前期後葉	III期	メス?	若犬(1歳前後)	小~中體(約38~40cm)	○	○	○	×	
139	14号大骨	343	14号大骨	貝37	前期後葉	III期	オス?	成犬(2歳以上)	中小體(約38~43cm)	○	○	○	×	下顎なし、黒色。
124	15号大骨	319	319番b 骨覆土	貝b	前期中~後葉	不明	貝覆形或以 前	幼犬(1~6ヶ月)	不明	○	○	○	×	小型、骨壠められる、黄土色。
124	16号大骨	319	319番b 骨覆土2	貝b	前期中~後葉	不明	貝覆形或以 前	若犬(1歳前後)	不明	○	○	○	×	小型、骨壠められる、茶色。

第21表 B・C地区 埋葬犬一覧

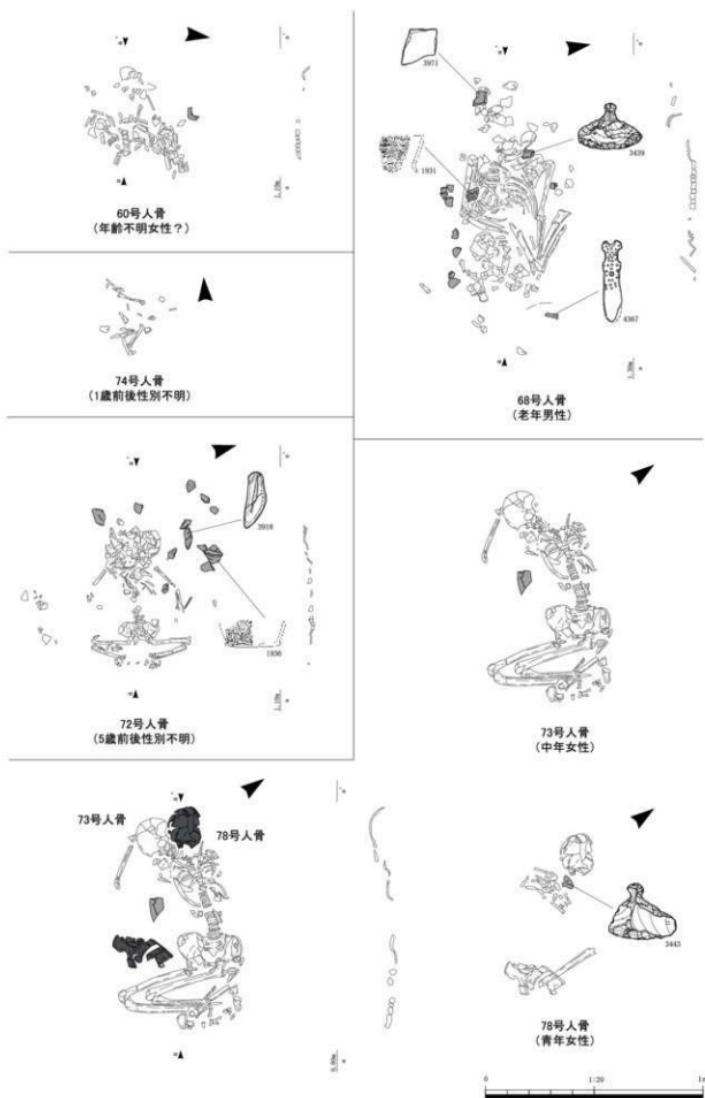
種別 番号	遺構	層位	平面形	規模(m)			出土遺物	切り合い	特記事項
				長さ	幅	深さ			
6	SK1003	貝39層	不整	0.67	(0.40)	0.49	縄文土器、石器 磨製石斧		
6	SK1009	貝39層	横円	0.66	0.63	0.12	縄文土器、骨角未 成品		
6	SK1010	貝39層	不整	1.94	(1.09)	0.13	縄文土器、スクレ イバー	<SK1011	
6	SK1011	貝39層	不整	1.23	0.94	0.30	凹石、細型針、巣 鷹巣表面製品	>SK1010	
6	SK1015	貝39層	不整	(0.50)	(0.48)	0.13	縄文土器		
6	SK1017	貝39層	横円	1.18	(0.44)	0.29	縄文土器、磨製石 斧、動物遺存体		
6	SK1021	貝3b層	不整	1.37	1.35	0.30	木製品		

第22表 C地区 土坑一覧

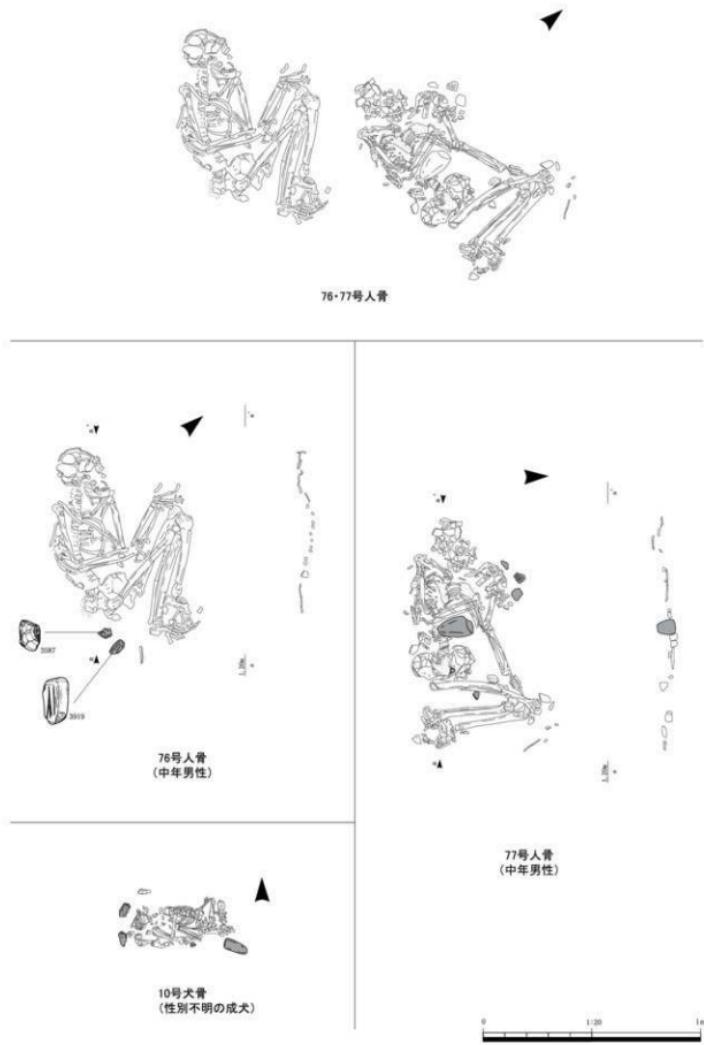
5 B・C地区の遺構・遺物



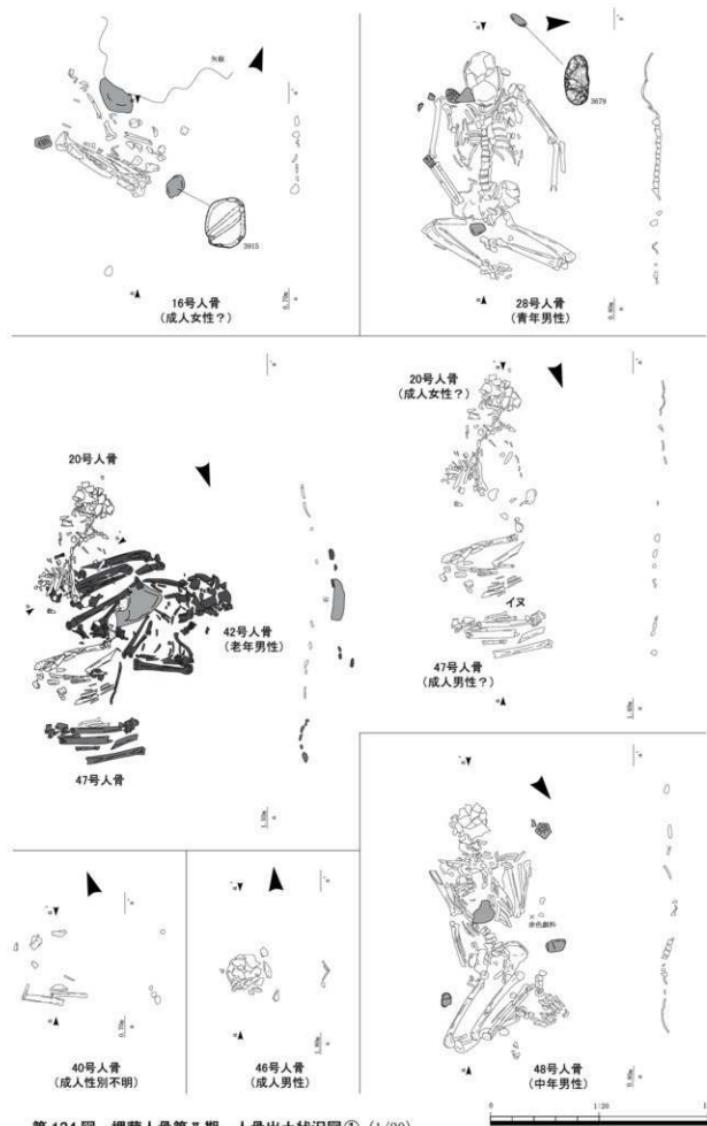
第 131 図 埋葬人骨第I期 人骨出土状況図① (1/20)
42・44・45・58・59号人骨



第132図 埋葬人骨第I期 人骨出土状況図②(1/20)
60・68・72～74・78号人骨



第133図 埋葬人骨第I期 人骨出土状況図③ 犬骨出土状況図(1/20)
76・77号人骨, 10号犬骨

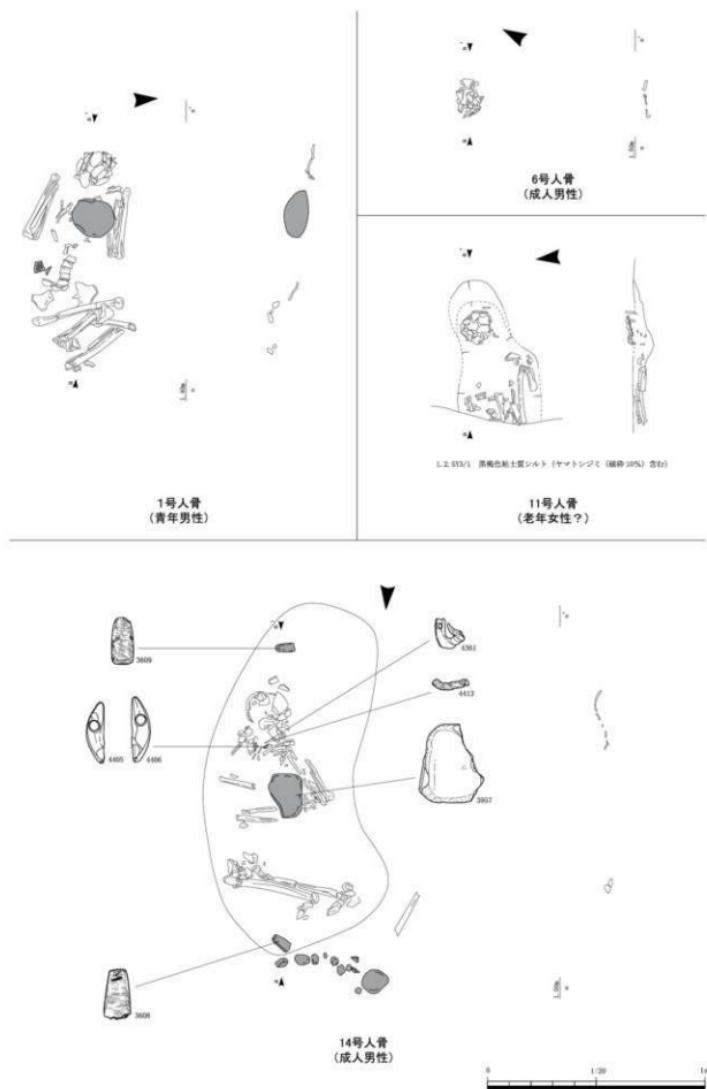


第134図 埋葬人骨第Ⅱ期 人骨出土状況図① (1/20)
16・20・26・40・46～48号人骨

5 B・C地区の遺構・遺物

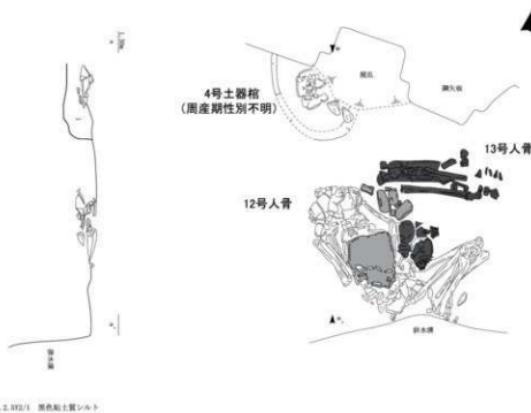


第135図 埋葬人骨第Ⅱ期 人骨出土状況図③ 土器棺・犬骨出土状況図 (1/20)
61・64・67号人骨, 3号土器棺, 5・7・8号犬骨

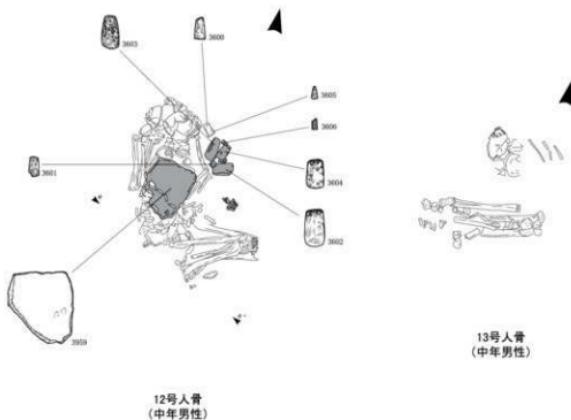


第136図 埋葬人骨第Ⅲ期 人骨出土状況図① (1/20)
1・6・11・14号人骨

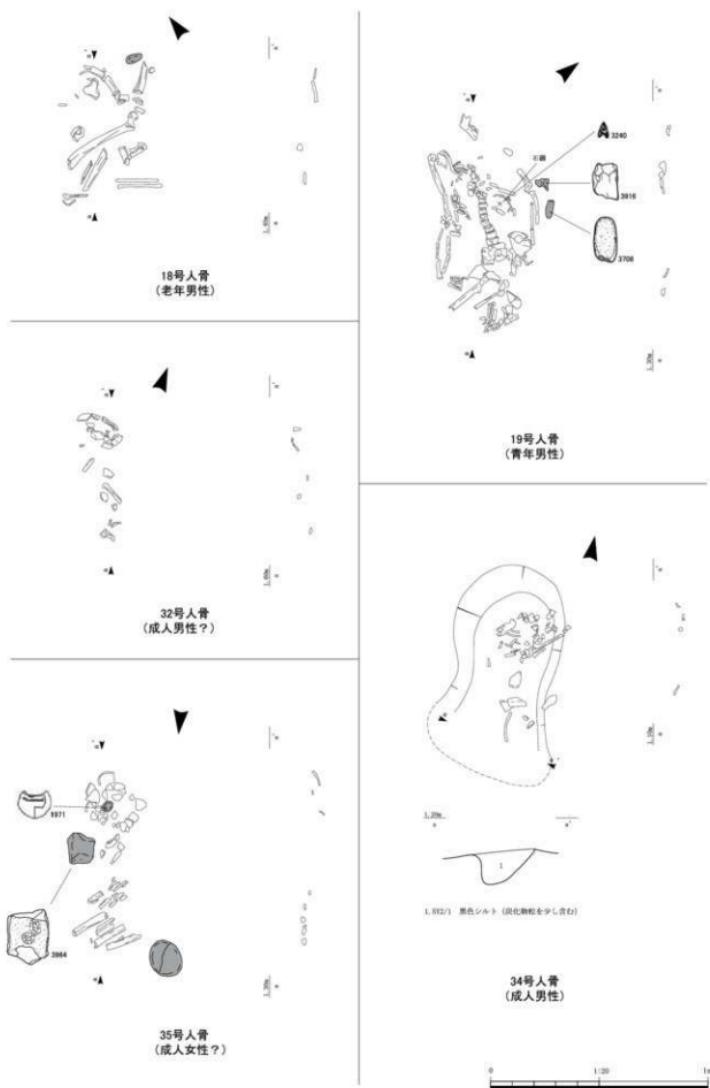
5 B・C地区の遺構・遺物



1.2.3T2/1 黒色粘土質シルト

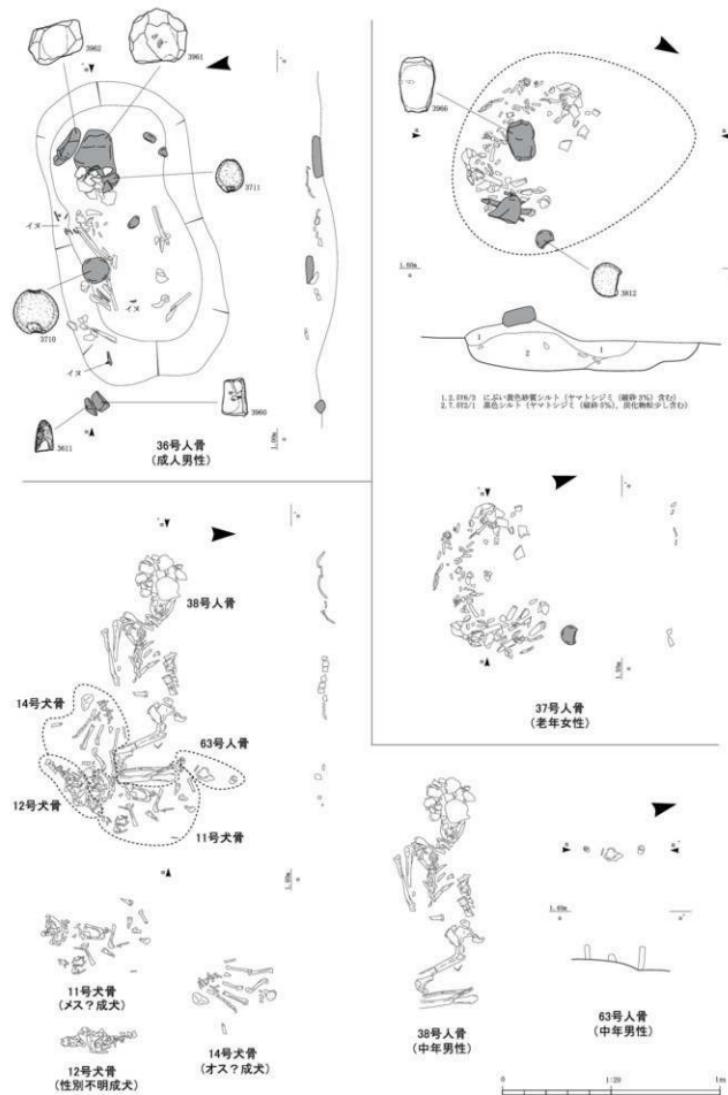


第137図 埋葬人骨第Ⅲ期 人骨出土状況図① (1/20)
12・13号人骨, 4号土器棺

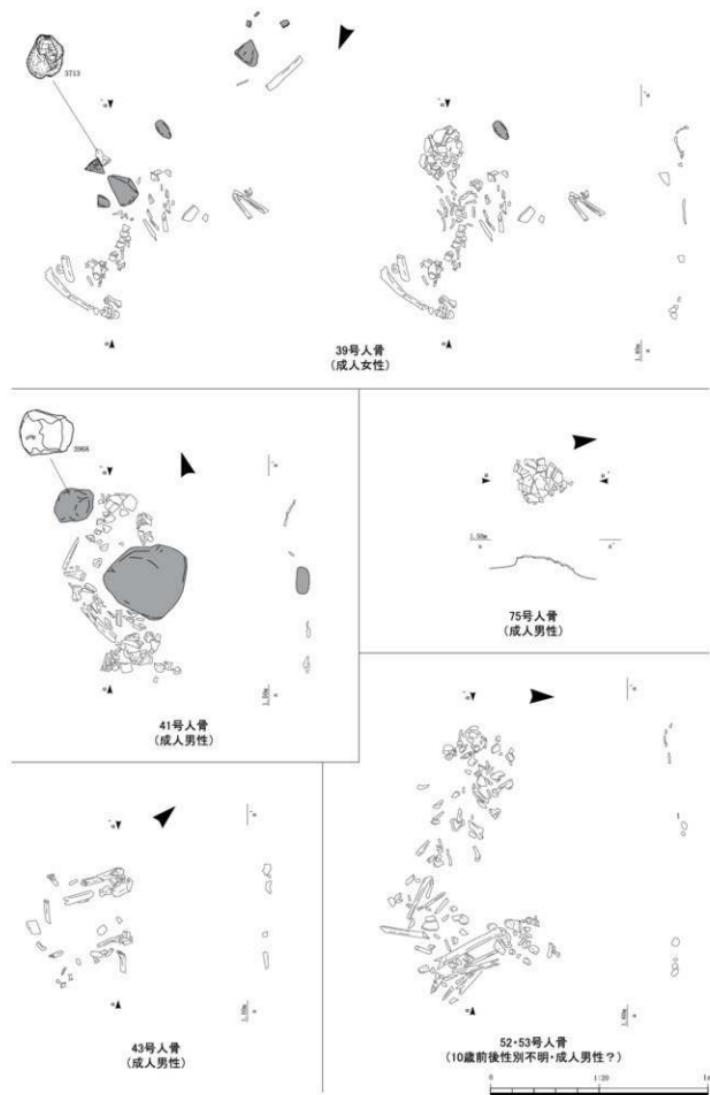


第138図 埋葬人骨第III期 人骨出土状況図③ (1/20)
18・19・32・34・35号人骨

5 B・C地区の遺構・遺物

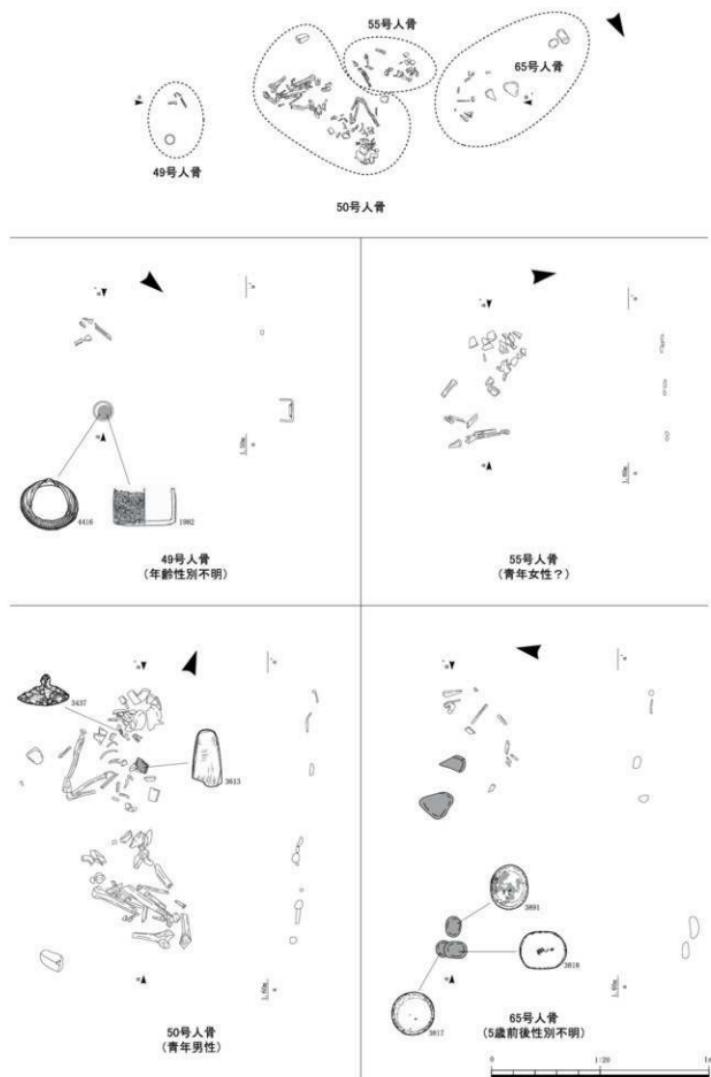


第139図 埋葬人骨第Ⅲ期 人骨出土状況図③ 犬骨出土状況図① (1/20)
36～38, 63号人骨, 11・12・14号犬骨

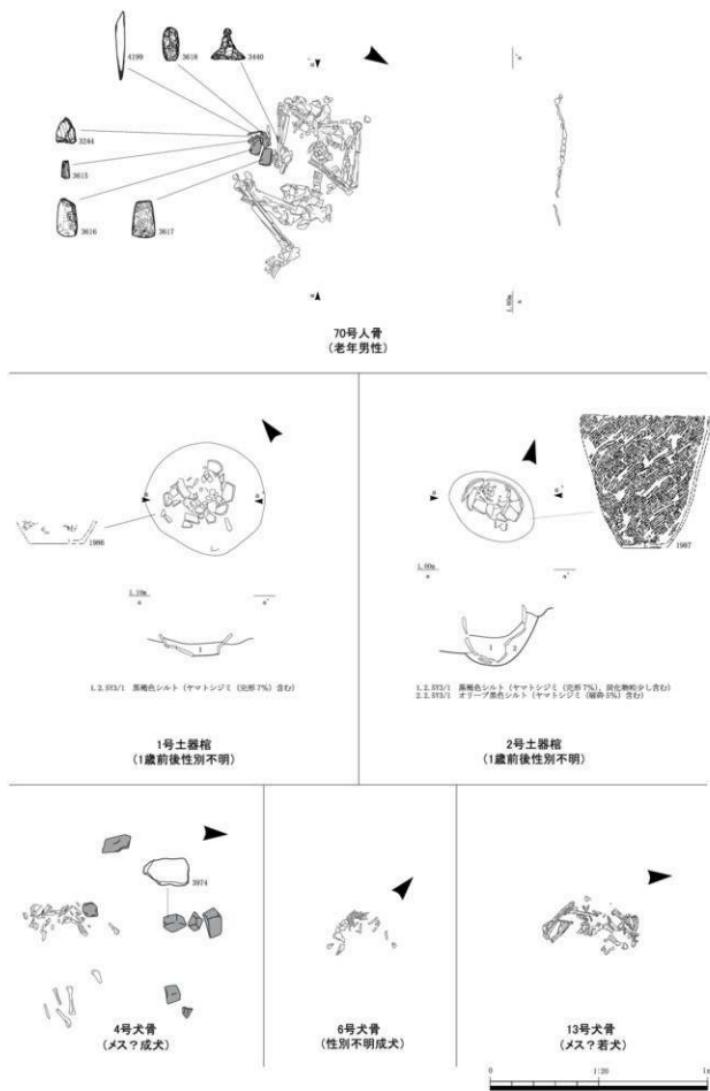


第140図 埋葬人骨第III期 人骨出土状況図④(1/20)
39・41・43・52・53・75号人骨

5 B・C地区の遺構・遺物

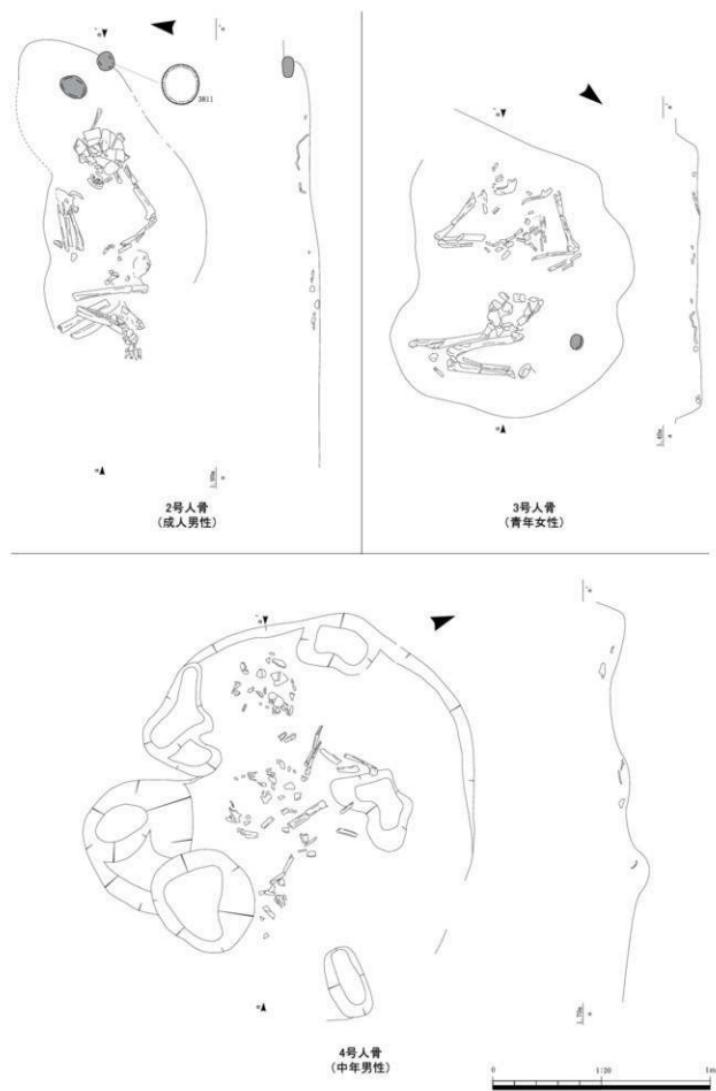


第141図 埋葬人骨第III期 人骨出土状況図⑤ (1/20)
49・50・55・65号人骨

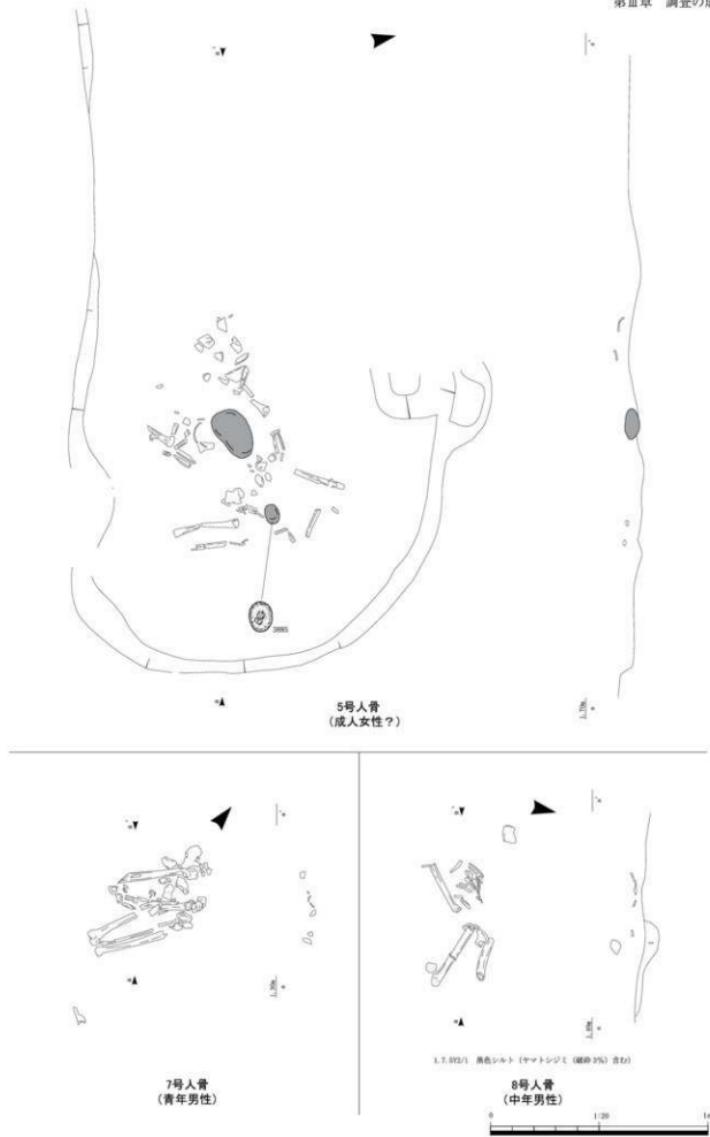


第142図 埋葬人骨第III期 人骨出土状況図⑥ 犬骨出土状況図② (1/20)
70号人骨, 1・2号土器棺, 4・6・13号犬骨

5 B・C地区の遺構・遺物

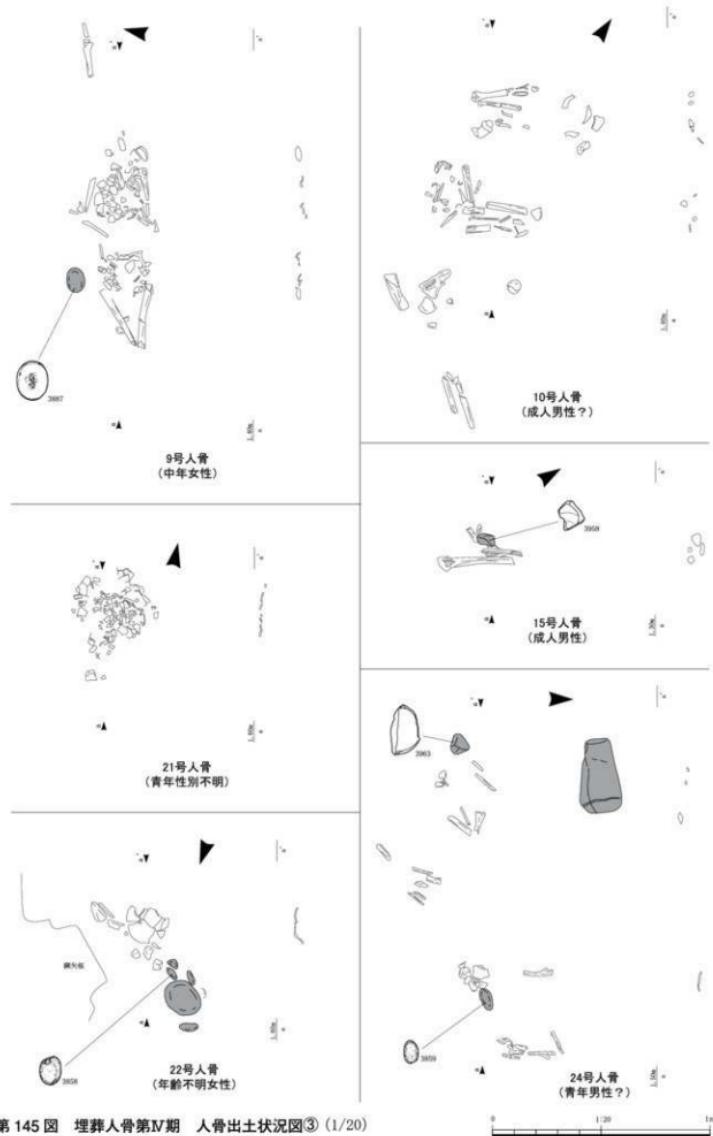


第143図 埋葬人骨第IV期 人骨出土状況図① (1/20)
2~4号人骨

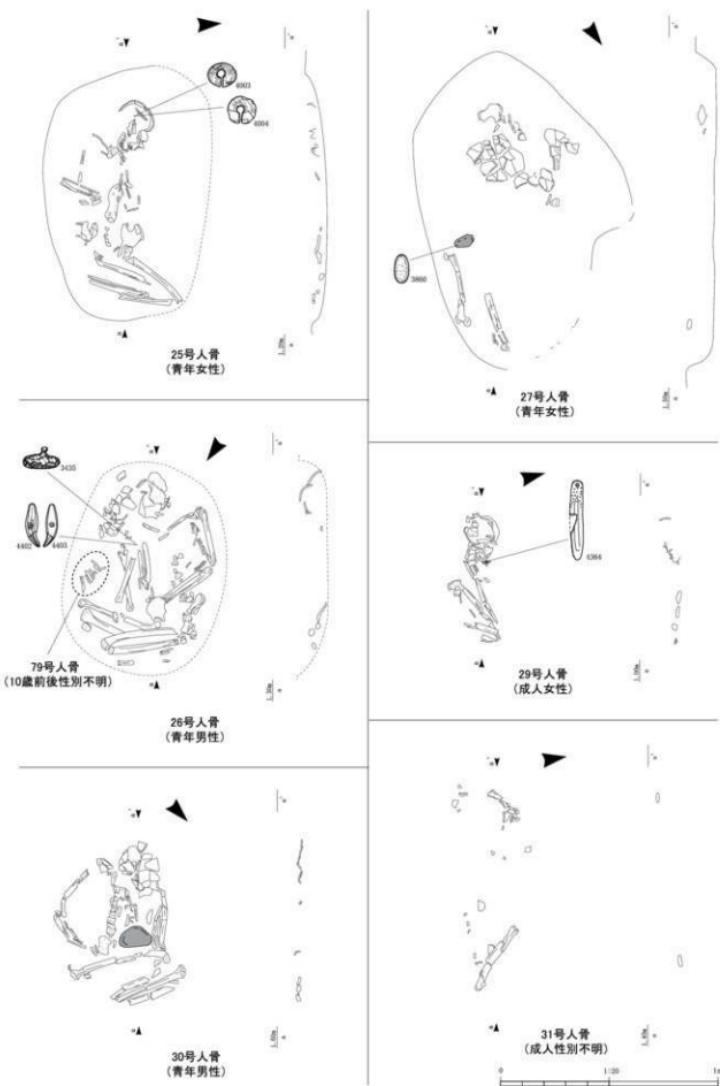


第144図 埋葬人骨第IV期 人骨出土状況図② (1/20)
5・7・8号人骨

5 B・C地区の遺構・遺物

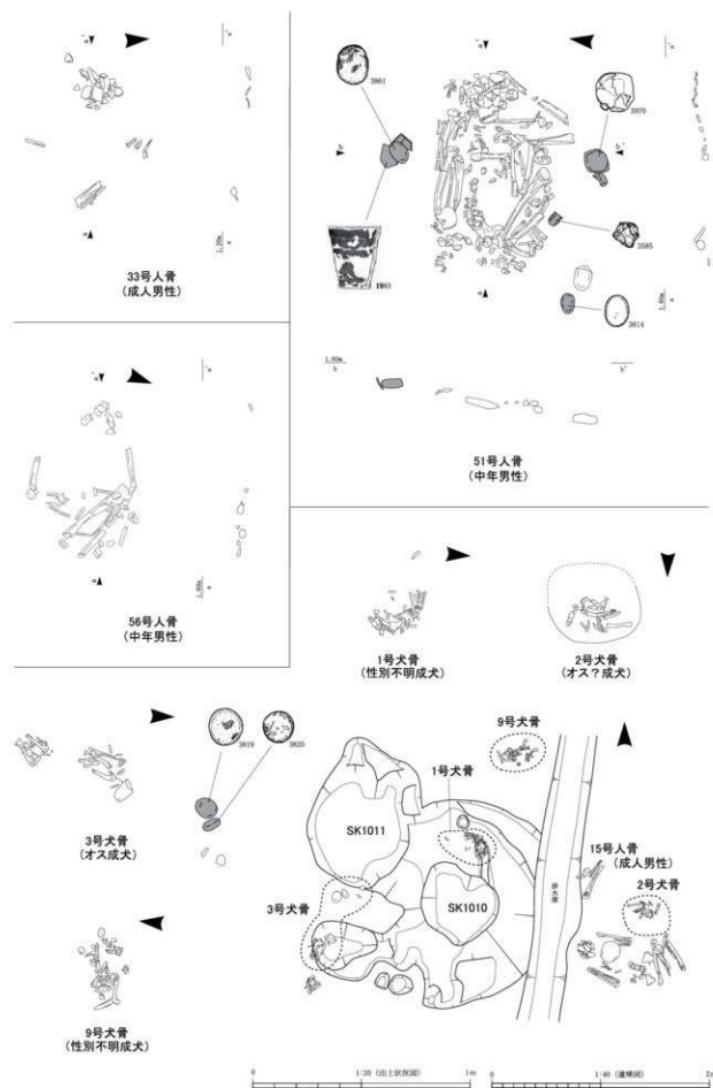


第145図 埋葬人骨第IV期 人骨出土状況図③ (1/20)
9・10・15・21・22・24号人骨

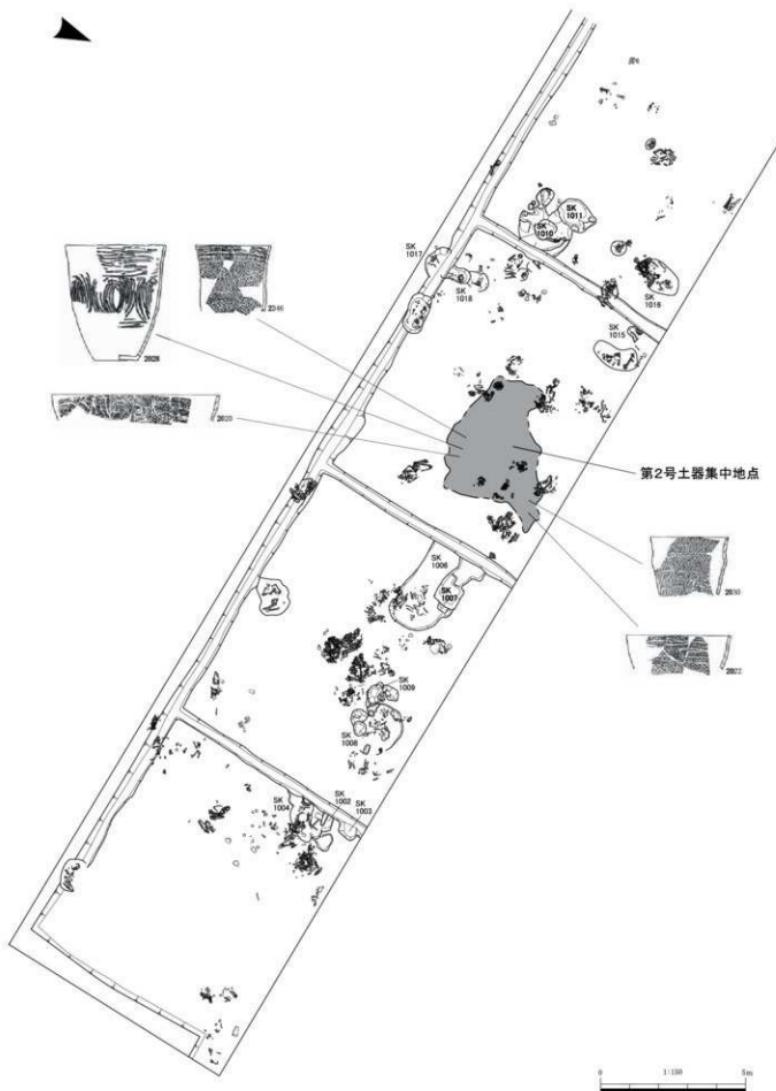


第146図 埋葬人骨第IV期 人骨出土状況図④ (1/20)
25~27, 29・30・79号人骨

5 B・C地区の遺構・遺物

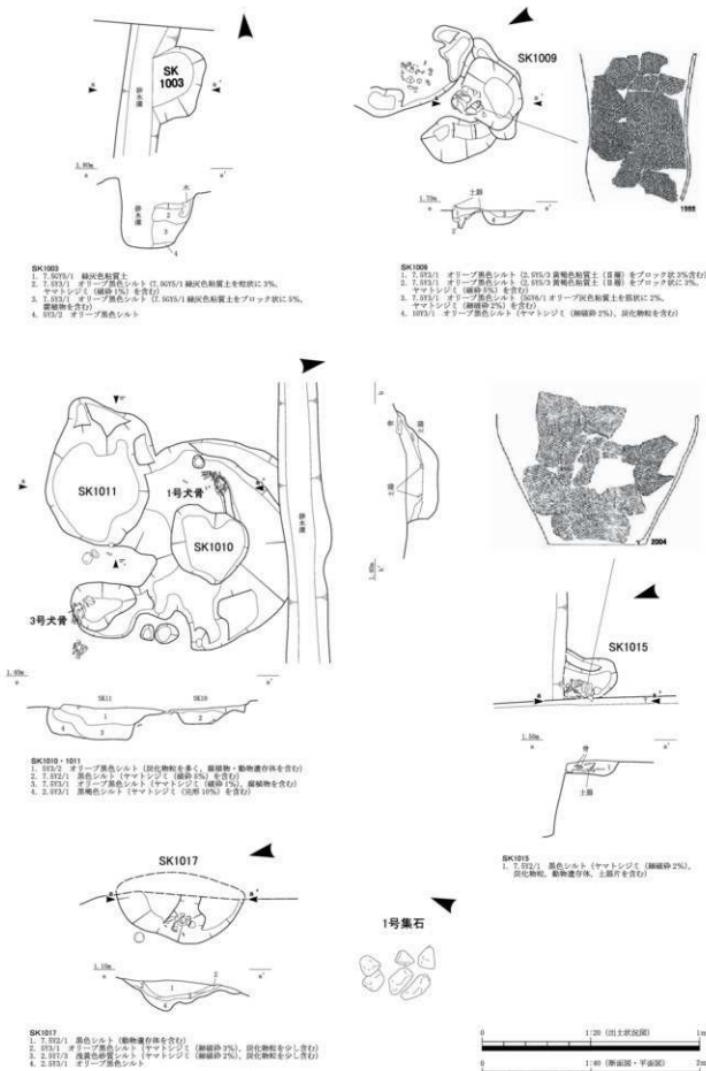


第147図 埋葬人骨第IV期 人骨出土状況図⑤ (1/20)
33・51・56号人骨, 1~3, 9号犬骨



第 148 図 C 地区 貝層上面 遺構全体図 (1/150)

5 B・C地区の遺構・遺物



第149図 C地区 前期後葉(埋葬人骨期) 土坑・集石 平面図・断面図 (1/40・1/20)

第1号集石（第149図）

C地区貝3下A層内に自然縛6点がまとまっていた。縛は長軸8~16cm、短軸6~8cmの小型で表面が焦げていた。焚き火跡か。

E 土器集中地点

第2号土器集中地点（第185・186・262・265・281・287・320・332・344・361・364・368図）

C地区IIIa~貝39層上面に縄文土器がまとまっていた。石製品や動物遺存体も含まれており、縄文土器だけでなく様々な遺物の廃棄場と言える。2011~2013・2015~2017・2018は無文地三角隆帯貼付で規ヶ森I式。2019~2022・2024は縄文地平行沈線で刈羽式中~新段階相当。2023は斜行縄文の後ヨコナデ。2025は口縁部でヨコ・タテナデのみ。2026は微隆起線文で規ヶ森II式。2027は無文で底面に種実圧痕。2028は無文地口縁部平行沈線、胴部レンズ状沈線の深鉢で諸磯c式相当の規ヶ森II式。2029は外面に張り出す底部で内外面ユビオサエの後ナデ。底面に種実圧痕。2030は斜行縄文の深鉢で外面スヌ付着。

3241・3246・3315は凹基無茎縛。3525はT字状の石錐で先端を欠損。3622は小型磨製石斧で基部欠損。3893は円縛を用いた2面利用の凹石。3973は砥石の一部。4025は管玉。上部から二つの穿孔があるがいずれも貫通せずに割れて廃棄されたものか。4250は單式釣針未成品か。4276は髪針の基部で線刻や穿孔などの装飾をもつ。4314はエイ・サメ類の椎骨を利用した垂飾状骨角製品。

F 貝層出土遺物

a 縄文土器（第187~219・222~223・243図）

2031~2073はコンパス文で朝日C式。肋骨文に内包する2056・2058は新しい様相。完形は少ないと多くは2033・2037のような根小屋式器形になるようだ。2074~2094は大型爪形文で朝日C式。2085~2149は小型爪形文や刺突文。2150~2158・2160・2161は口縁部に平行沈線。これらは朝日C~福浦下層式。2162~2175は肋骨文で諸磯a式相当。2176~2182・2184~2191・2211~2224・2227・2228は竹管や半截竹管による刺突文・爪形文で諸磯a~b式相当。2192~2209は格子目文で刈羽式相当。2210・2443~2454は網目状撚糸文で大木2a式相当。2231は晴ヶ峯式のトロフィー型土器突起部。2232~2240・2243は粗い沈線文で朝日C~福浦下層式。2241・2242は浮線文で諸磯c式中段階相当。2244~2271・2273・2274は隆帯を刻み北白川下層IIb~cや刈羽式に相当する福浦下層~規ヶ森I式。2275は縄文地に波状隆帯をつける大木4式。2276~2287・2289~2297は鉢もしくは浅鉢で朝日C~規ヶ森I式。2288は格子目状沈線文の筒形深鉢。2298~2337は口縁部に隆帯貼付で規ヶ森I式。2339~2362は口縁部微隆起線やヨコナデ無文の規ヶ森II式で2359・2362は結節浮線文をもつ小牧式。2363~2367・2376は縄文地に平行沈線で刈羽式相当。2369~2375・2377~2380は弧状や矢羽状沈線で規ヶ森II~福浦上層式。2381~2394は結節沈線文。2395~2407は結節浮線文。2408~2411・2415・2417~2427は鋸歯状文。2428~2435は波状隆帯。2437~2440・2442はソーメン状隆帯で福浦上層式。2442~2444・2446~2448は特殊凸帯で北白川III式相当。2455・2456・2458~2464は無文。2457は内外面条痕。2465~2504は羽状縄文。2505~2535・2537・2541~2543は斜行縄文で2531は胴部下半~底部の亀裂に補修孔と漆。2536~2538・2540・2550は附加条縄文か。2544~2549・2589~2598・2602・2616は胎土に貝殻を含む。2551~2571・2573・2574は内面に厚く炭化物付着。2572~2575~2584は種実圧痕が残る。2585~2597・2599~2623は底部。2610・2612・2614~2616・2618は底面縄文施文で朝日C式。

2714~2720・2729・3121~3127は漆塗土器で2718・3121~3127は漆で描画。2721~2728・2730は漆付着土器で漆液容器か漆塗りパレットか。2732~2752は赤彩土器で諸磯b・北白川下層IIc式に相当。

b 土製品（第 121・220・221 図）

2624～2649・2652 は土製円盤。2650 は線刻土製品。2651 は垂飾状土製品。2653・2659・2661・2664 は有孔土製品 B。2654 は土製块状耳飾？2655 は三叉状土製品。2656・2658 は丸玉。2657 は種実状土製品。2660 は耳栓。2662 は国内最古とみられるイノシシ形土製品。2663 は有孔土製品 A。2665～2677 はミニチュア土器。2678・2679 は錐状土製品。2680～2713 は焼成粘土塊。

c 漆製品（第 222 図）

2731 は筒状の容器に入れられていた漆が固まつたもの。

d 植物製遺物（第 246・253・257・259～261 図、第二分冊 3 松永報文）

3150～3152 は小型弓。3168 は筒形三足器の体部を剥り抜く前の未成品。3169 は椀状の容器。3185 は一端を尖らせた板状木製品で表面に粟状の列点を施す。3186 は基部を穿孔する小型棒状木製品で一部炭化。3187 は樹皮を円形に加工し、中央を穿孔したもの。3194～3204 は繩で 3194・3196 は縦方向に垂らす構造をもつ。3205 は樹皮を巻いて瓢箪形とした樹皮製品で垂飾か。3209・3211～3214 はヒメグルミ加工品。3222・3224・3226～3228・3230～3233 はオニグルミ加工品。

e 石製品（第 264～267・270・275～279・281～285・288～294・301～306・310～313・316～318・320～322・325～328・335～346 図）

台帳記入で 4549 点。磨製石斧 722、石鎌 598、石錘 426、軽石 341、磨石 312、砥石 267、二次加工剥片 233、石錐 222、叩石 163 点の順に多い。

3295～3302・3305～3314・3316～3336・3344・3353・3356・3359 は凹基無茎鎌で 3337 は先端を錐状とする。3338～3343・3345・3346・3348・3358 は平基無茎鎌。3348～3351 は有茎鎌。3303・3304・3357 は石鎌の先端部。3422～3425・3427・3429 は尖頭器で 3422 と 3427 は有茎石鎌の可能性あり。3424 は押出型ポイント。3428・3578 は押出遺跡で言う三角スクレイパー。3471～3475・3477～3513 は石匙で 3472・3474・3504・3506・3509・3512 は縦型で他は横型。3482・3500・3511 は鳥浜型。3477・3483・3485・3487・3490・3500・3501・3508 は小型。3534～3549 は石錐で 3536・3545・3547 は Y 字状。3543・3548 は T 字状。3556・3561・3563～3565・3567・3569・3571～3573・3575・3576 は異形石器。3593 はスクレイパー。3583・3584・3586・3589・3591 は二次加工剥片。3630～3638・3641～3650・3652～3668・3670・3687～3695・3697・3701 は磨製石斧で 3630・3632・3633・3637・3648・3652～3659・3661～3665・3668 は小型。3657・3687～3695・3697～3701 は未成品。3709・3760～3806 は石錘。3829～3846・3848～3852 は磨石で 3842～3846・3848・3850・3851 は特殊磨石。3869～3879・3882 は叩石。3896～3907 は凹石。3925～3927・3929～3936・3938・3982・3991・3993 は砥石。3945・3948～3952 は軽石製品。3985～3988・3990 は石皿。3994 は多孔石。3984・3996 は台石。4008～4011・4014・4015・4018 は块状耳飾。4031・4032・4034・4037・4038 は管玉で 4034 は上下の穿孔がずれており未成品か。4040・4041・4046・4047 は丸玉。4012・4013・4016・4017・4019・4020・4028・4045・4051～4053・4055・4056 は垂飾。4058 は垂飾未成品で 4058 は翡翠。

f 骨角貝歯牙製品（第 347～377 図）

台帳記入で 1633 点。刺突具 680、針 196、垂飾 180、未成品 161、髪針 154、釣針 77、ヘラ 66、貝製品 65、鹿角製品 43 点の順に多い。

4084～4137・4252 はヤス状刺突具。4154～4161・4163～4167・4177～4180・4182・4184～4187・4190 は細型針。4181・4188 は基部を抉る有頭状の刺突具 II。4206～4208・4212・4213・4217・4218 は刺突具 I。4230～4233・4237 は単式釣針で 4237 は T 字状。4254 は未成品か。4241・4243～4249 は

組み合せ式釣針。4260・4261・4374・4381はヘラ。4263は羽形角製品。4264・4265・4270・4272は不明鹿角製品。4270・4272は縦方向に分割工具痕が残る。4273～4275は横で4273のみ完形。4183・4189・4191・4192・4280～4297・4300・4302・4308・4374・4379・4382は髪針。4315～4317はマガキガイ製の小玉垂飾。4340～4357は管状垂飾。4371～4373・4376は札状加工垂飾。4375・4378は彫刻不定形垂飾。4162・4298・4299・4389～4393・4395・4397・4407・4432・4433・4435・4436は垂飾状歯牙製品で4395のみフグ科で他はイノシシ、ツキノワグマ、サメ類。4415・4417～4429は貝輪(腕飾B)でベンケイガイやフネガイ科を主体。4438～4443は垂飾状骨角製品。4442は板状の未成品。

g 動物遺存体（第二分冊 18 山崎他報文）

現地ではイノシシ、ニホンジカ、イルカ類、魚類を確認。

h 植物遺存体（第二分冊 14 金原報文）

ニワトコ、コナラ属、オニグルミ、オニバスが多い。これにカラスザンショウ、カヤ、ブドウ属、サンショウウ属が続く。食用となるのは樹木種実ではオニグルミ・コナラ属・カヤ・ブドウ属・ヤマグワ・サルナシ・クリ、草本種実ではオニバス・ヒシ・エゴマ・シソ属・ササゲ属がある。

(2) 貝層上遺物包含層（縄文時代前期後～末葉、II b～III a層）

A 概要

調査区の北側（台地部）で竪穴建物1棟、焼土2、土器集中地点を検出。南側の低地部には遺構はない。遺物はII層下でIII a層直上から多く出土。

B 遺物包含層

II～III a層と縄文時代の層位不明遺物もここで扱う。

a 縄文土器（第224～241・243図）

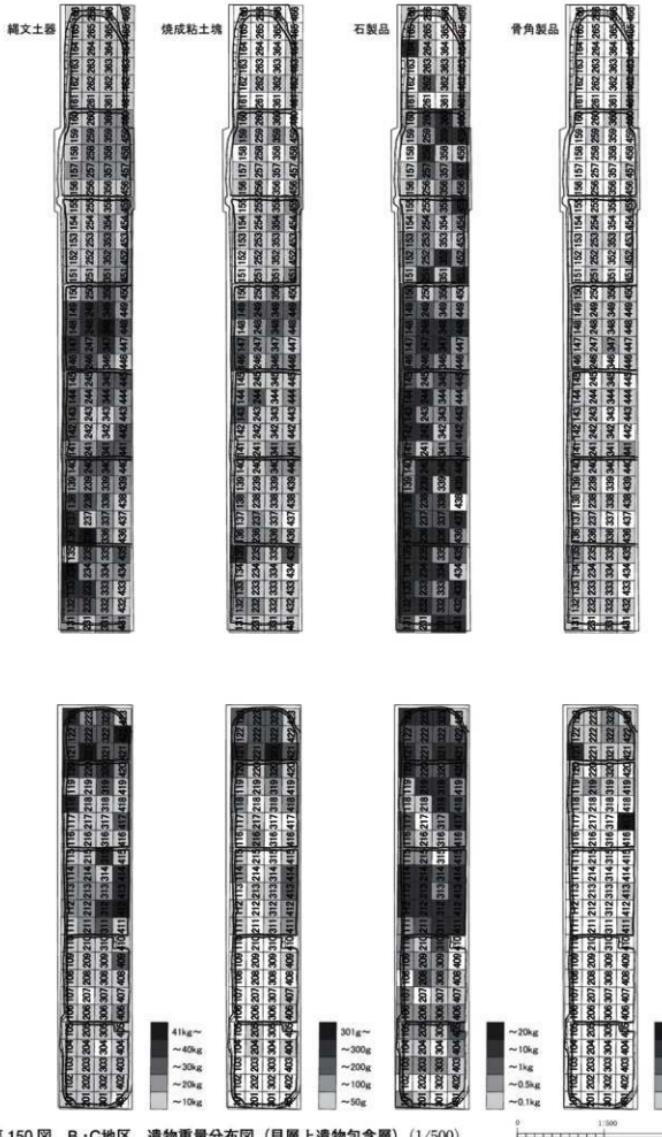
2753・2754・2756・2757・2759・2760は格子文。2761・2762・2765・2766・2768～2775・2786・2787は沈線文、2777～2779・2784・2792・2794・2795・2797・2798は隆帶上刺突。2796は列点文で刈羽式相当。2755是有節平行沈線で浮島式相当。2758は肋骨文で諸磧a式相当。2780・2789・2799～2850は口線部隆帶貼付。2788隆帶置換の弧状沈線で観ヶ森I式。2851～2871は鉢もしくは浅鉢。2872～2910は口線部微隆起線もしくはヨコナデ無文の観ヶ森II式。2912・2915・2916は無文地結節浮線文の小牧式。2911・2914は矢羽状沈線文にボタン状突起。2913耳朶状突起をつける諸磧c式相当。2917～2921・2923～2926・2928～2931は結節沈線文。2932～2946は結節浮線文。2948～2952は波状隆帶。2953～2977・3017は鋸齒状文。2978～2985・2989は隆帶上縄文。2993～2998はソーメン状隆帶。2999・3000・3003は半隆起線文。3020は口唇部こぶ状突起で福浦上層式。3004・3005・3007～3016・3018・3019は沈線文で諸磧c式相当。2947・2986～2988・2992は特殊凸帯で北白川III式相当。2922・2927は菱形構成の爪形文で有尾式。3021～3040・3042・3043は羽状縄文。3044～3047は斜行縄文。3048は無文。3049は内面に炭化物厚く付着。3050～3061は種実圧痕。3062～3076は底部で3066は葉脈痕。3068は製作痕。3128は漆付着土器で漆液容器か漆塗りパレットか。3129～3139は赤彩土器で3132・3134は描画。

b 土製品（第242図）

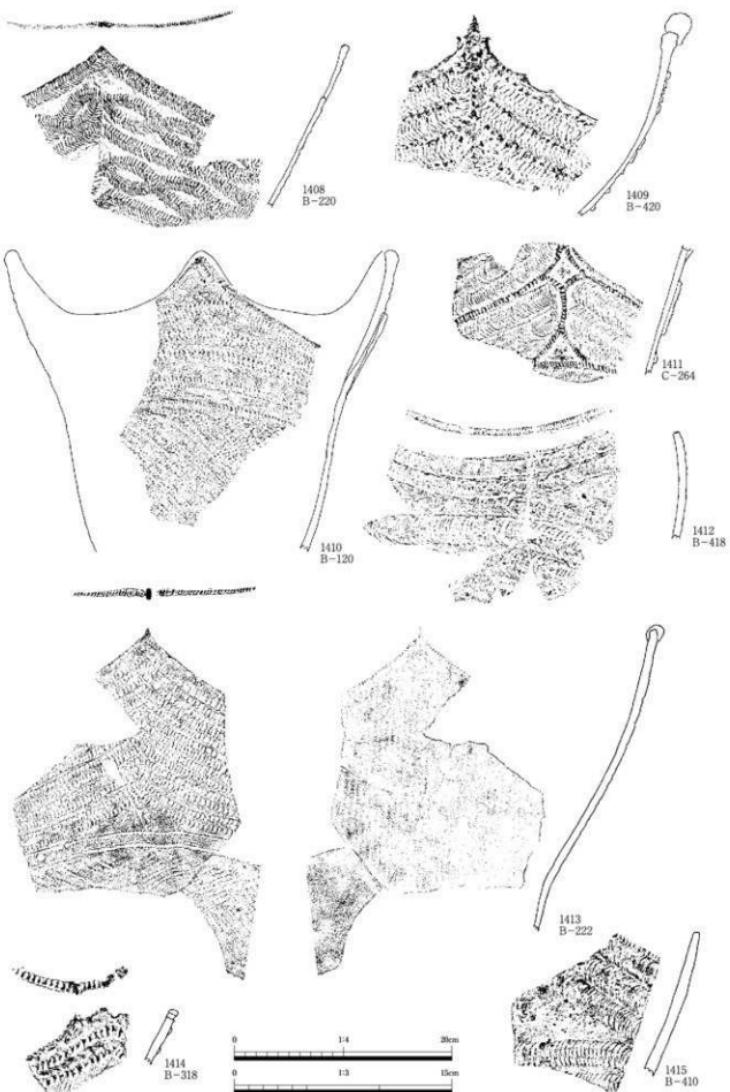
3077～3081は土製円盤。3082は円盤状土製品。3083は棒状土製品で中央を抉る。3084・3087は錐状土製品。3085は土製球状耳飾。3086は骨状土製品。3088・3092は耳栓。3089～3091・3093～3096はミニチュア土器。3097～3120は焼成粘土塊で3103は種実圧痕。3104は指紋。3107は葉脈痕が残る。

c 植物遺造物（第250・254・256～258・261図、第二分冊3松永報文）

3162は皿状容器。3170は筒形三足器。3179は蓋もしくは高台付き鉢。3184は棒状で掘り棒か。3153

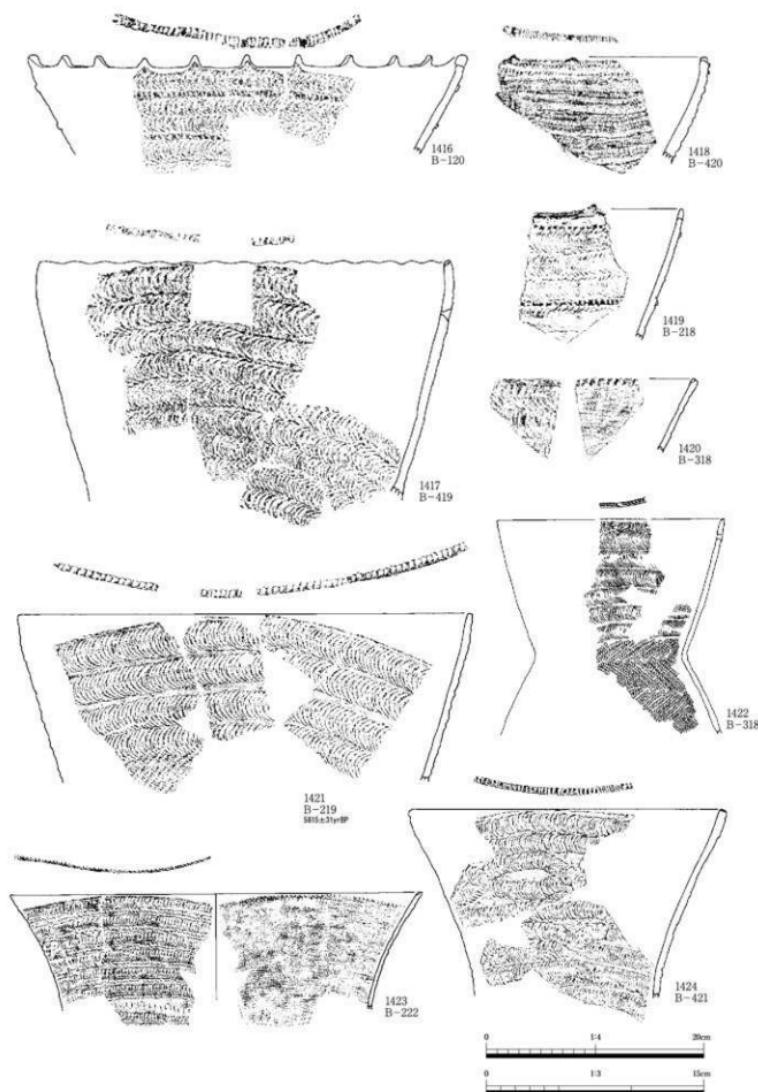


第150図 B・C地区 遺物重量分布図（貝層上遺物包含層）(1/500)

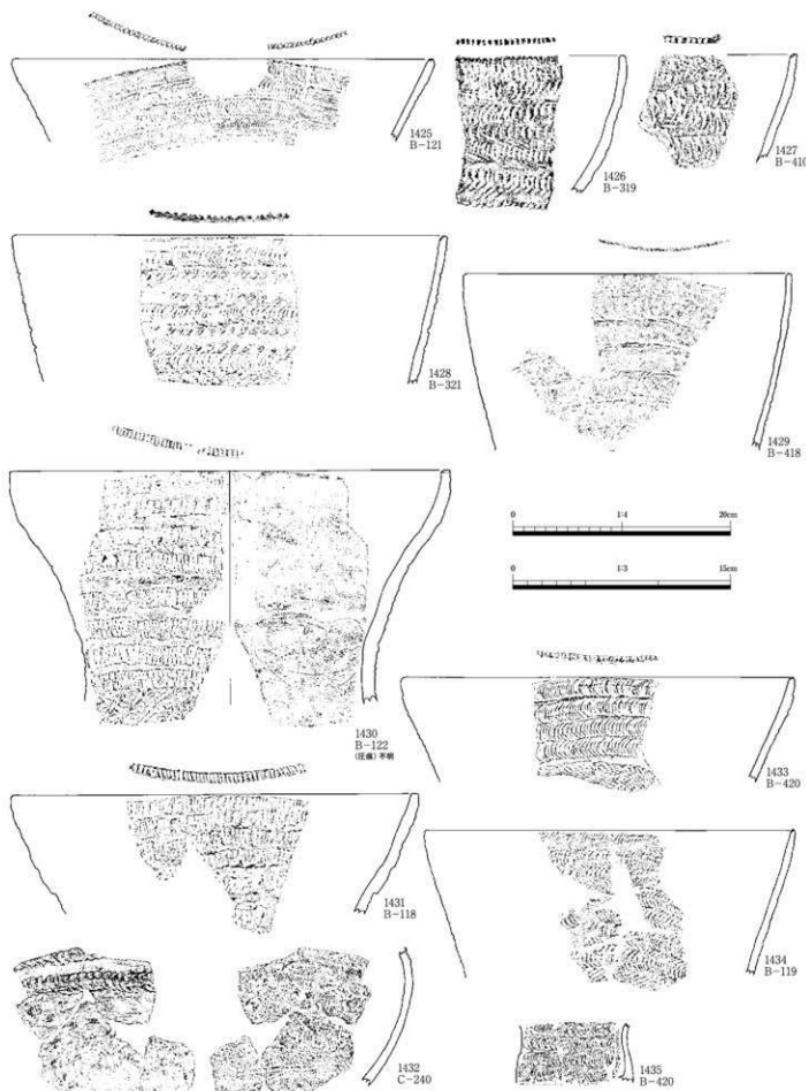


第151図 B・C地区 III b層 繩文土器 1 (1409~1411・1414・1415 1/3, 1408・1412・1413 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

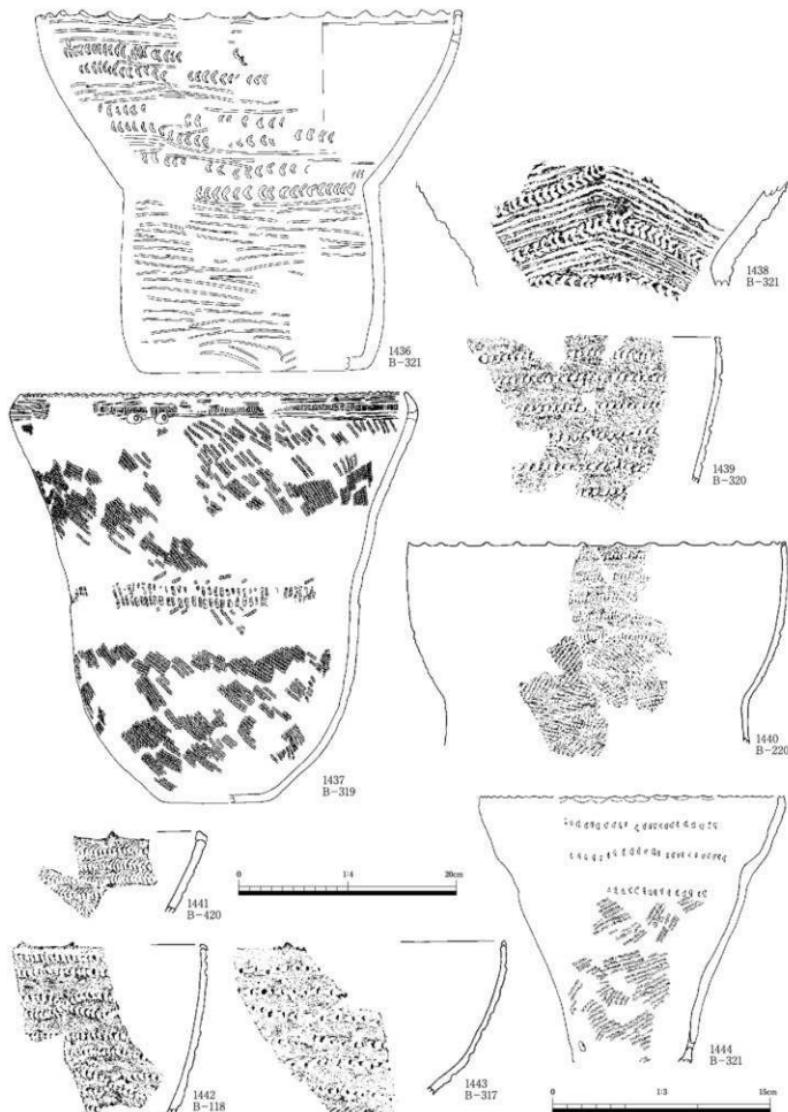


第152図 B・C地区 III b層 繩文土器2 (1416~1421 1/3, 1422~1424 1/4)

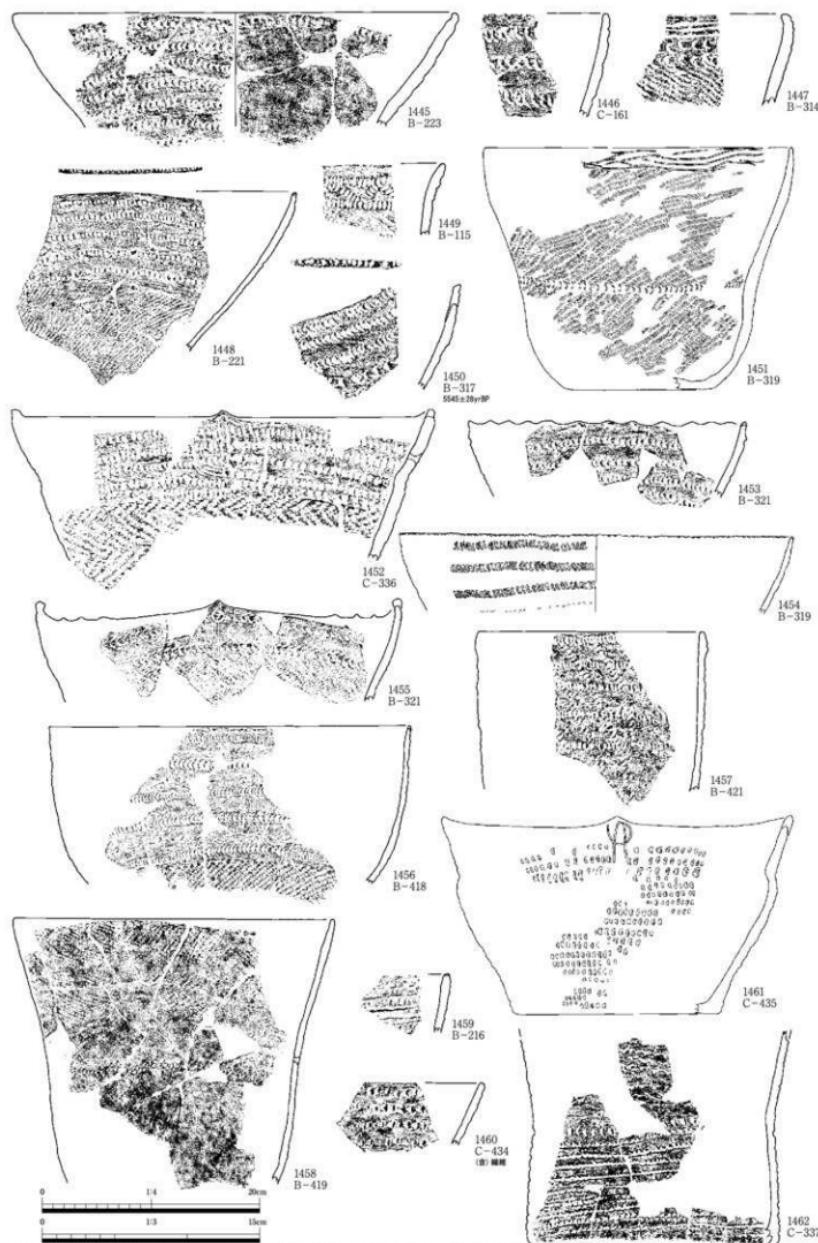


第153図 B・C地区 III b層 繩文土器3 (1426~1432・1435 1/3, 1425・1433・1434 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

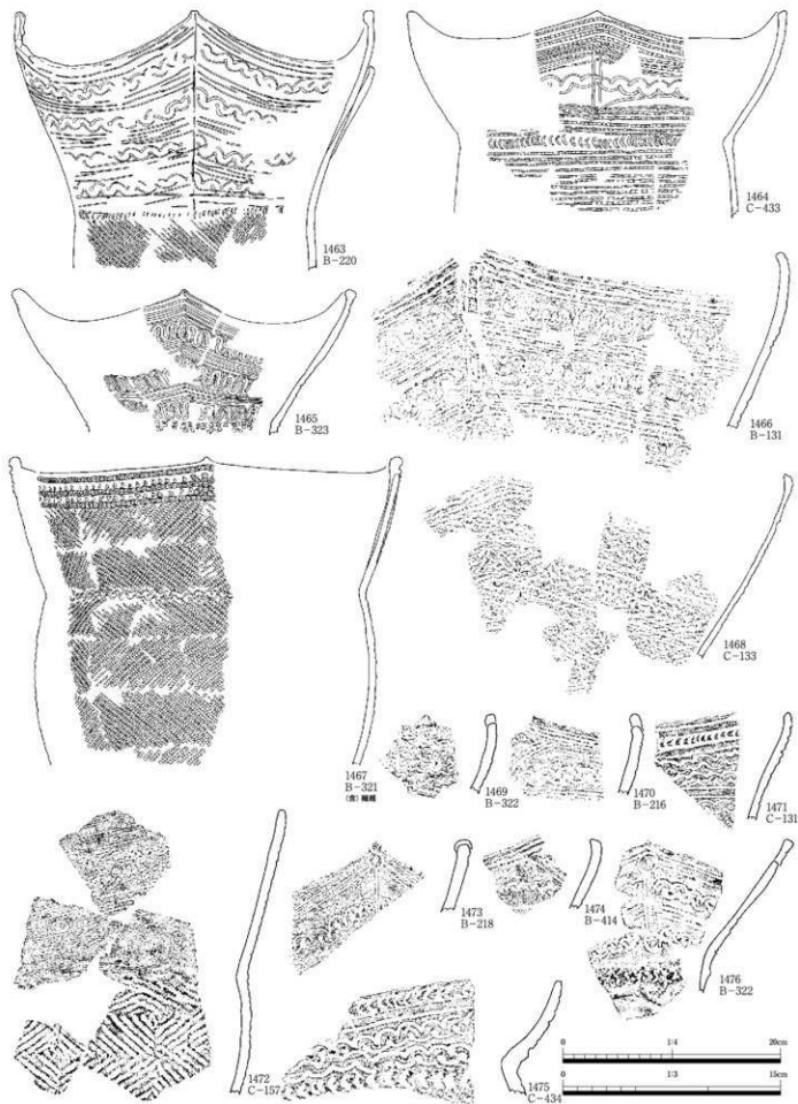


第154図 B・C地区 IIIb層 繩文土器4 (1436・1438・1439・1441~1444 1/3, 1437・1440 1/4)



第 155 図 B・C 地区 III b 層 繩文土器 5 (1445~1447・1449~1453・1457・1459~1462 1/3,
1448・1454~1456・1458 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

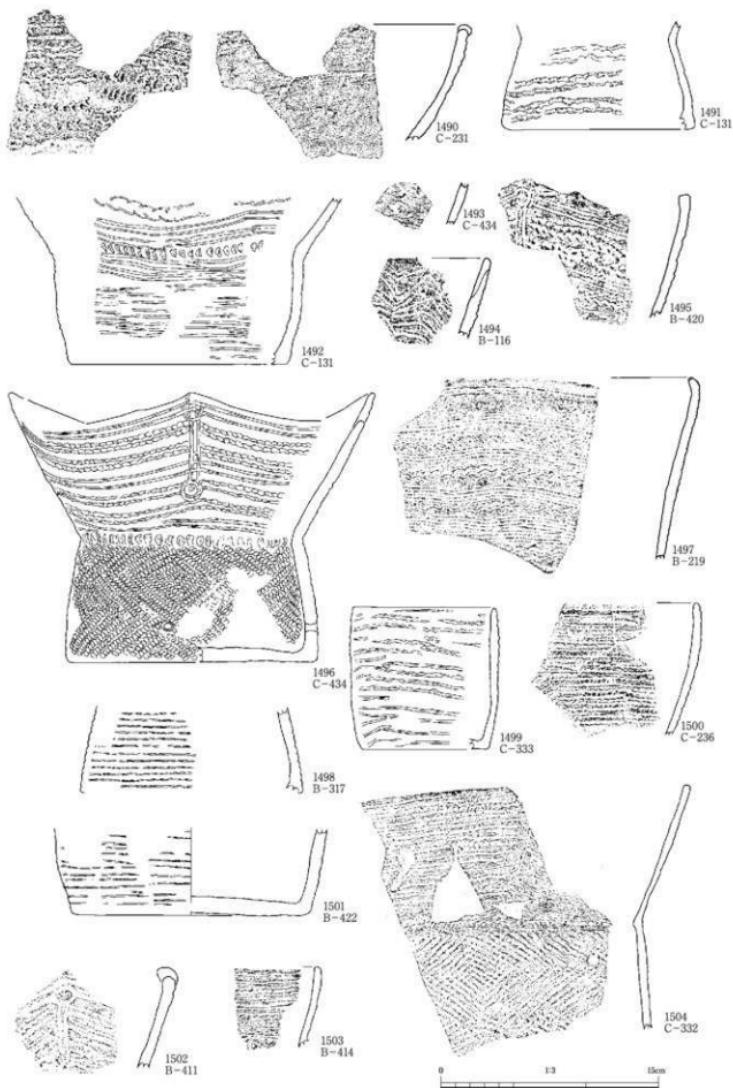


第156図 B・C地区 III b層 繩文土器 6 (1466・1469~1476 1/3. 1463~1465・1467・1468 1/4)

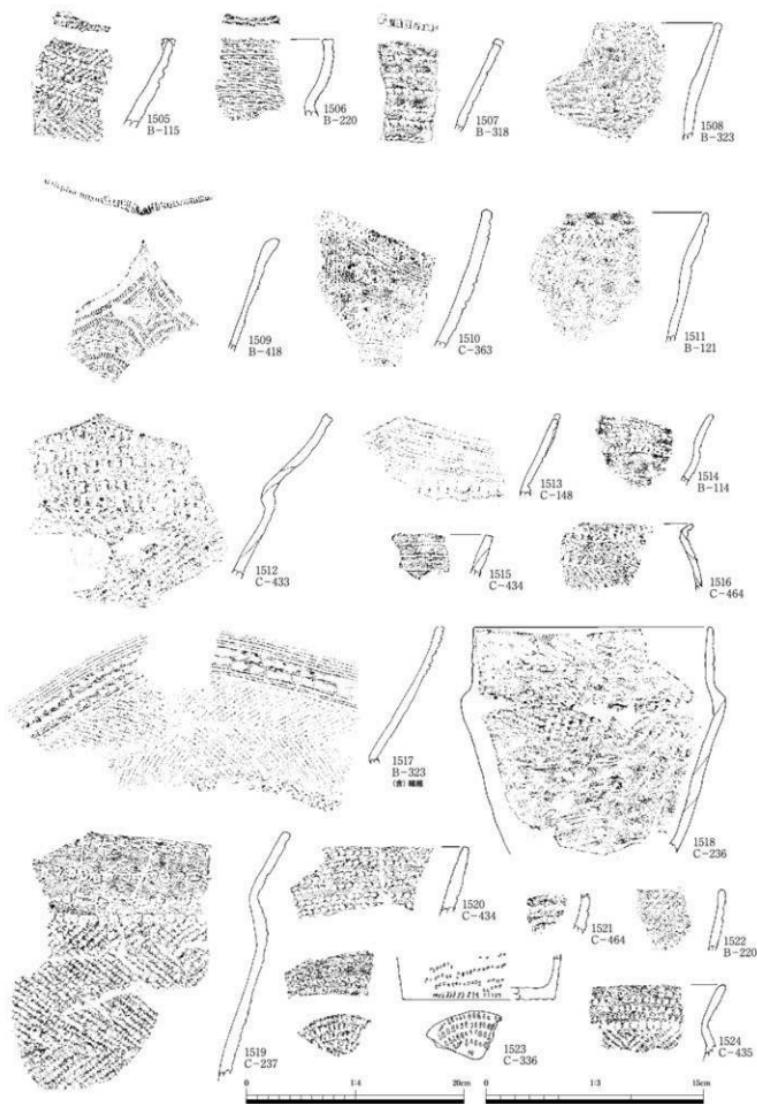


第157図 B・C地区 III b層 繩文土器7 (1477~1479・1481~1489 1/3, 1480 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

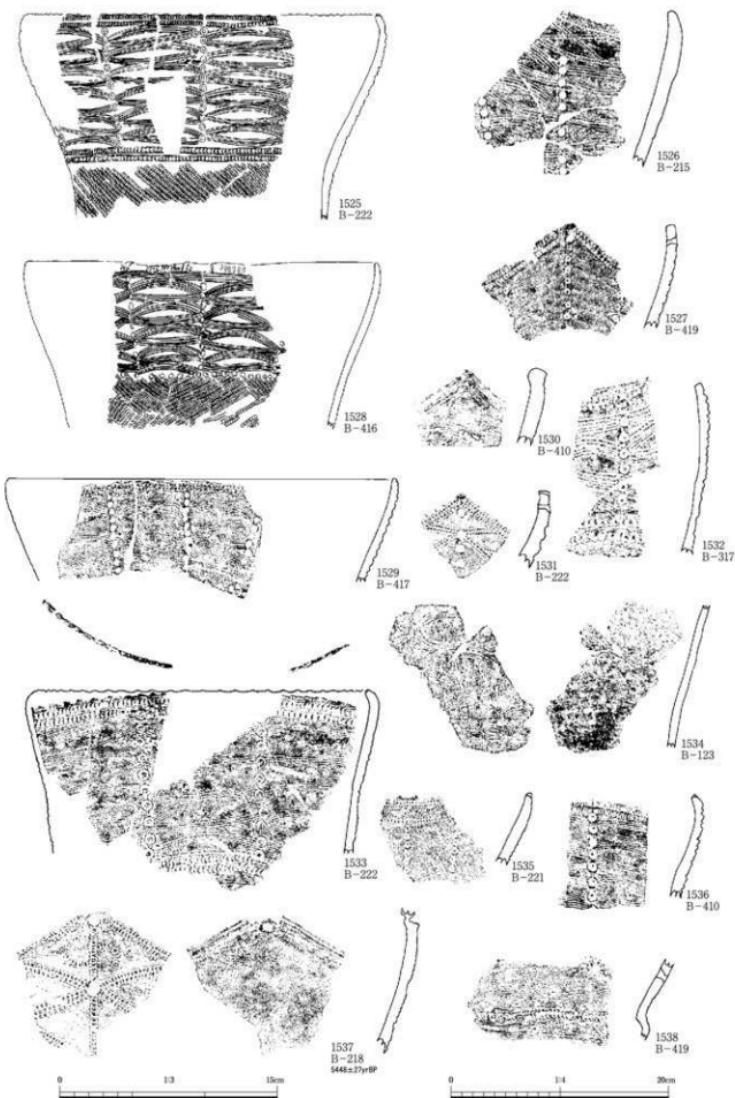


第158図 B・C地区 III b層 橋文土器 8 (1/3)

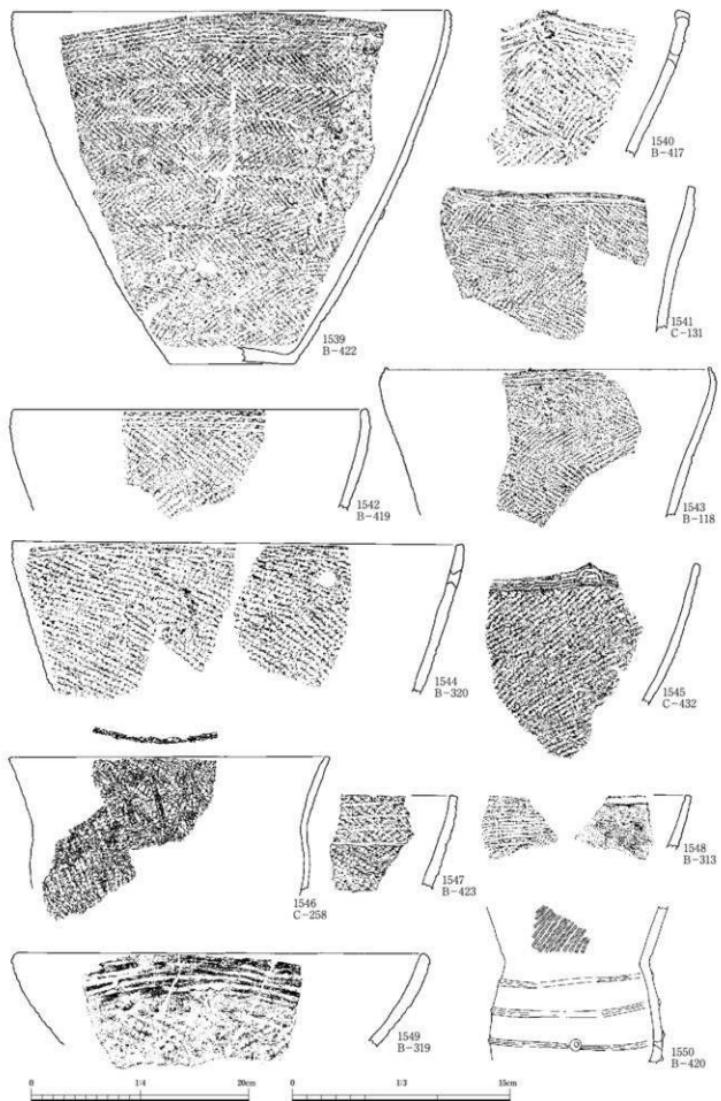


第159図 B+C地区 III b層 縄文土器9 (1505~1516・1518~1524 1/3. 1517 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

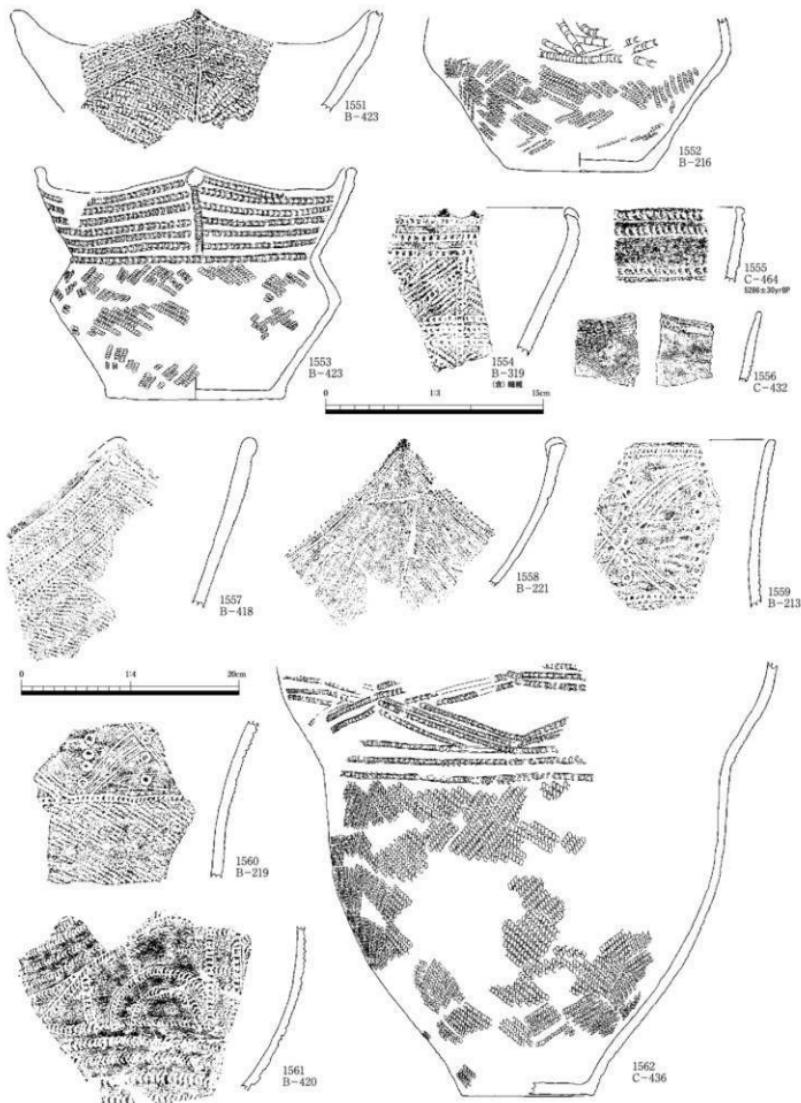


第160図 B・C地区 III b層 繩文土器 10 (1526・1527・1530~1538 1/3, 1525・1528・1529 1/4)

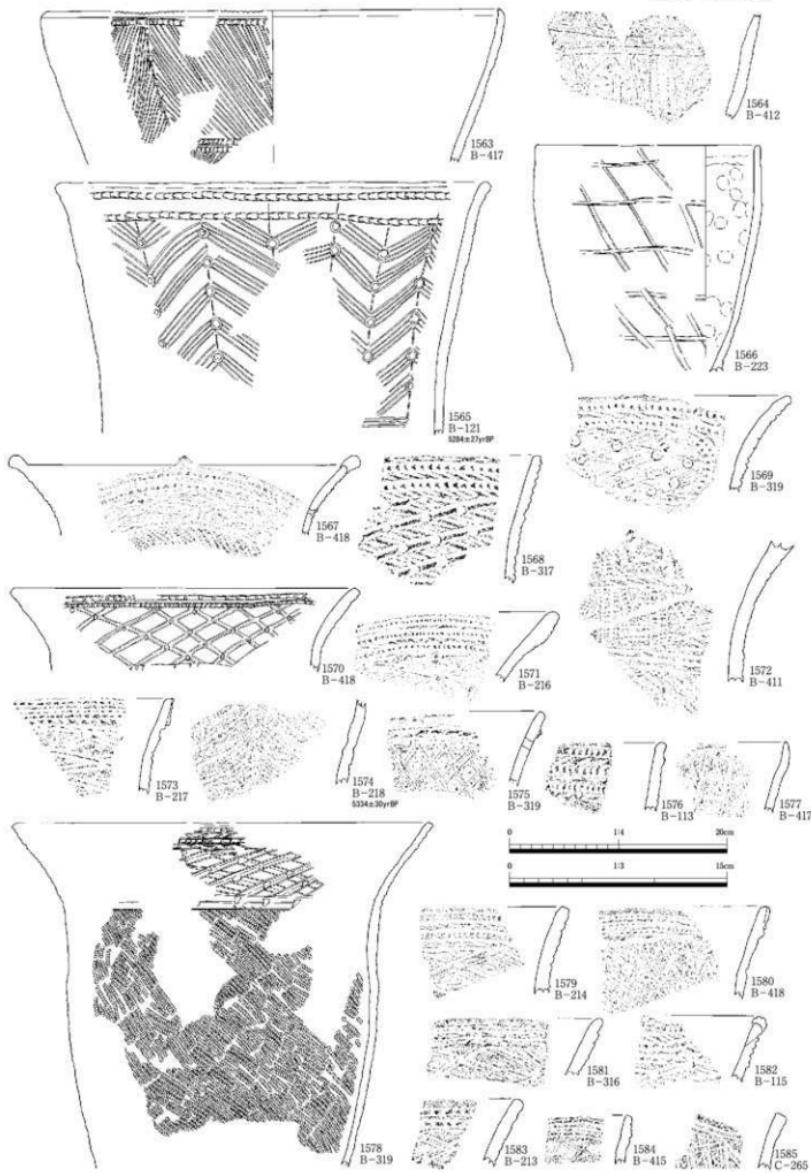


第161図 B+C地区 III b層 繩文土器 11 (1540~1542・1544~1550 1/3, 1539・1543 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

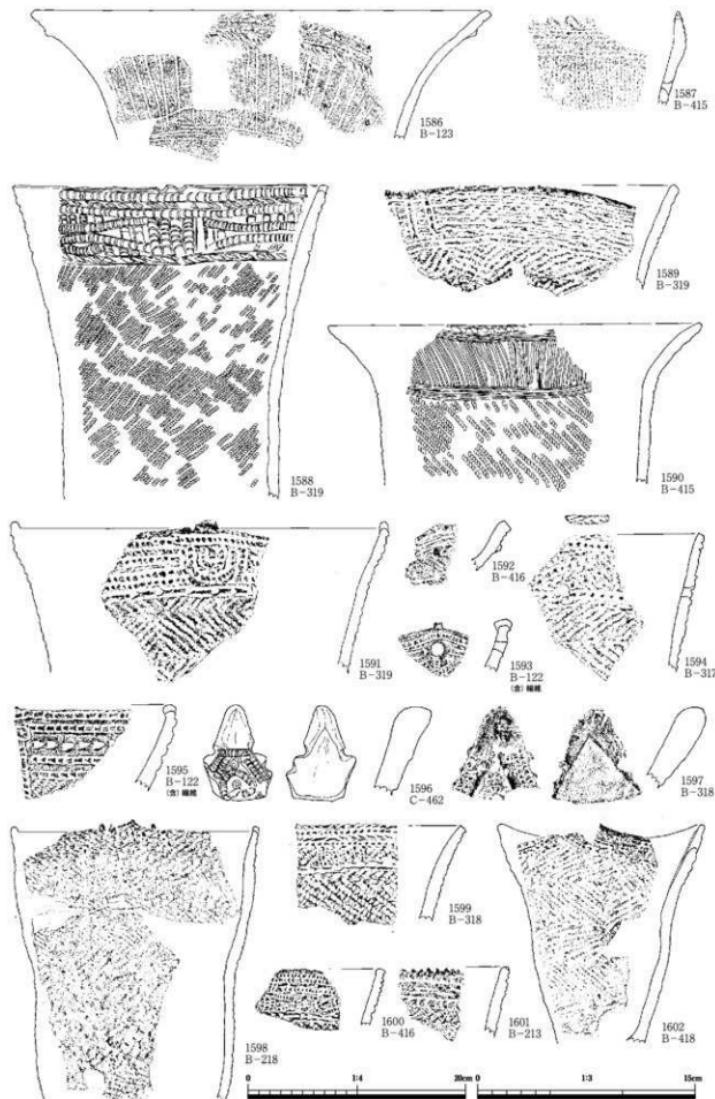


第162図 B・C地区 III b層 繩文土器 12 (1551~1561 1/3, 1562 1/4)



第163図 B・C地区 III b層 條文土器 13 (1563~1566・1568~1577・1579~1585 1/3, 1567・1578 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

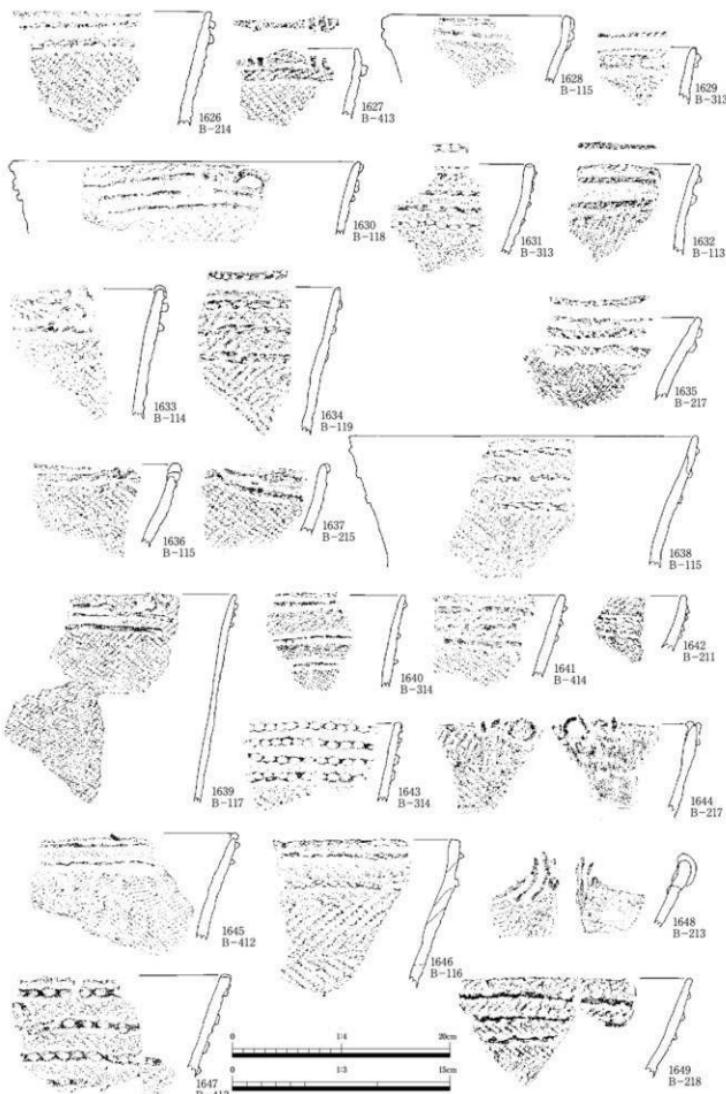


第164図 B・C地区 IIIb層 縄文土器14 (1587~1589・1591~1597・1599~1602 1/3,
1586・1590・1598 1/4)

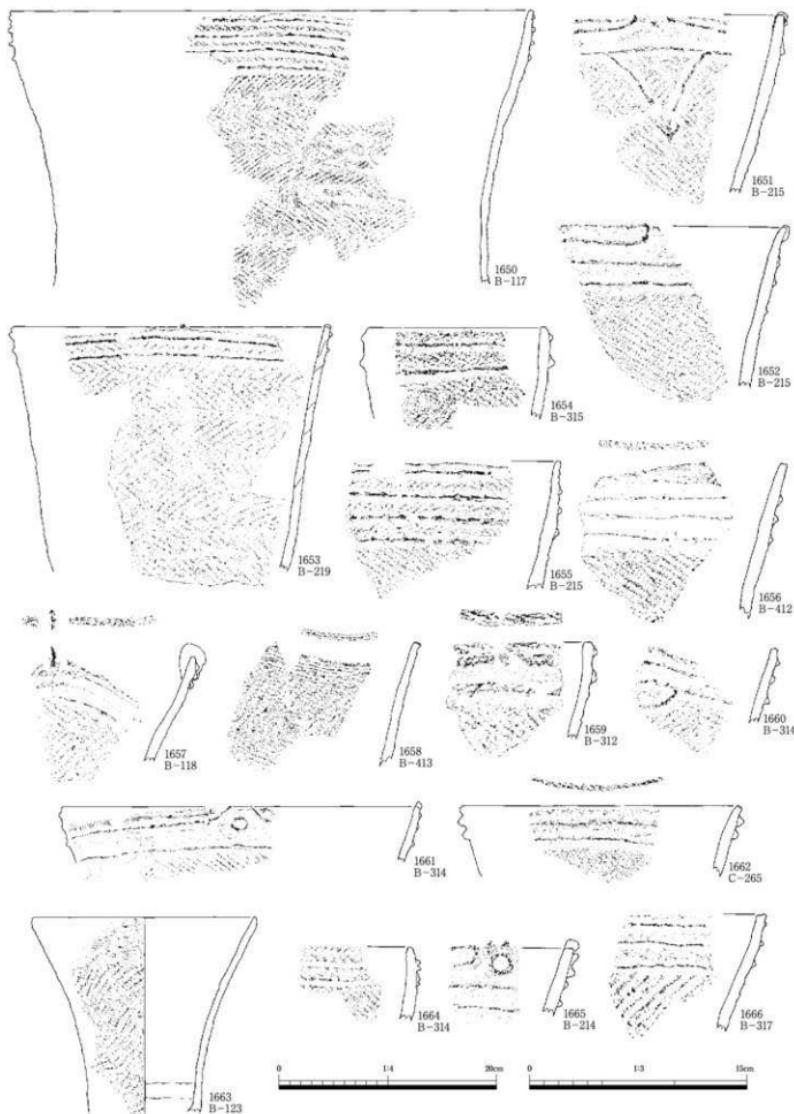


第165図 B・C地区 III b層 橋文土器 15 (1604~1625 1/3, 1603 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

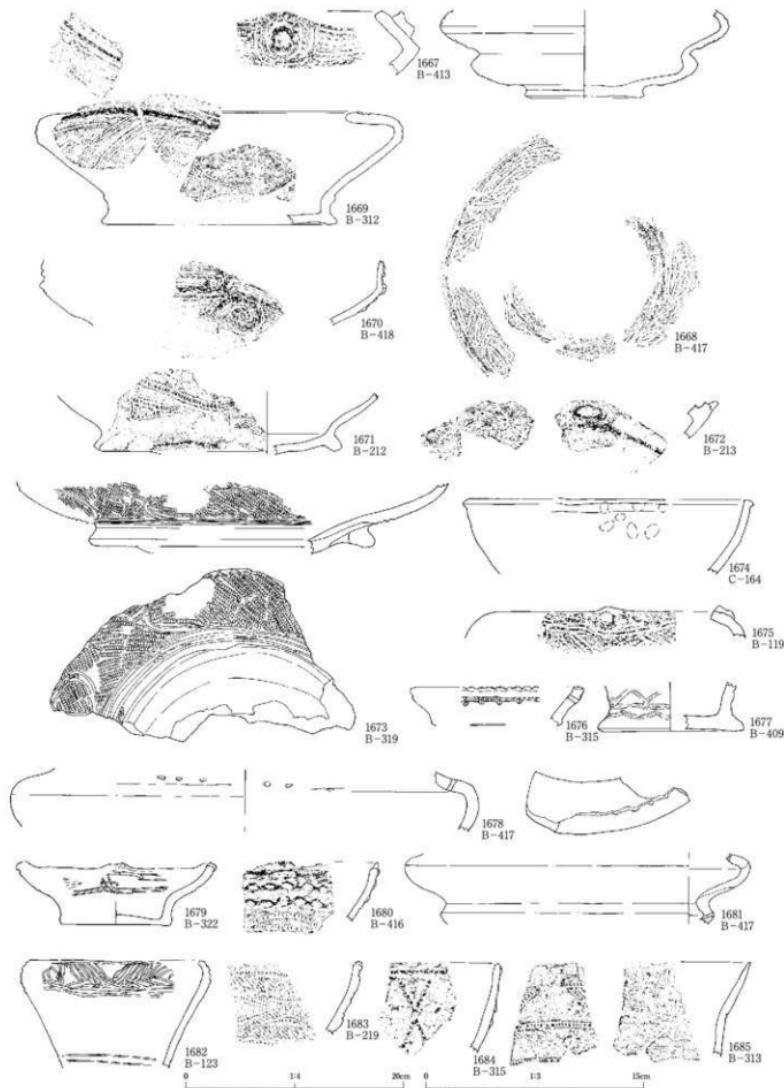


第166図 B・C地区 IIIb層 繩文土器 16 (1626~1638・1640~1649 1/3, 1639 1/4)

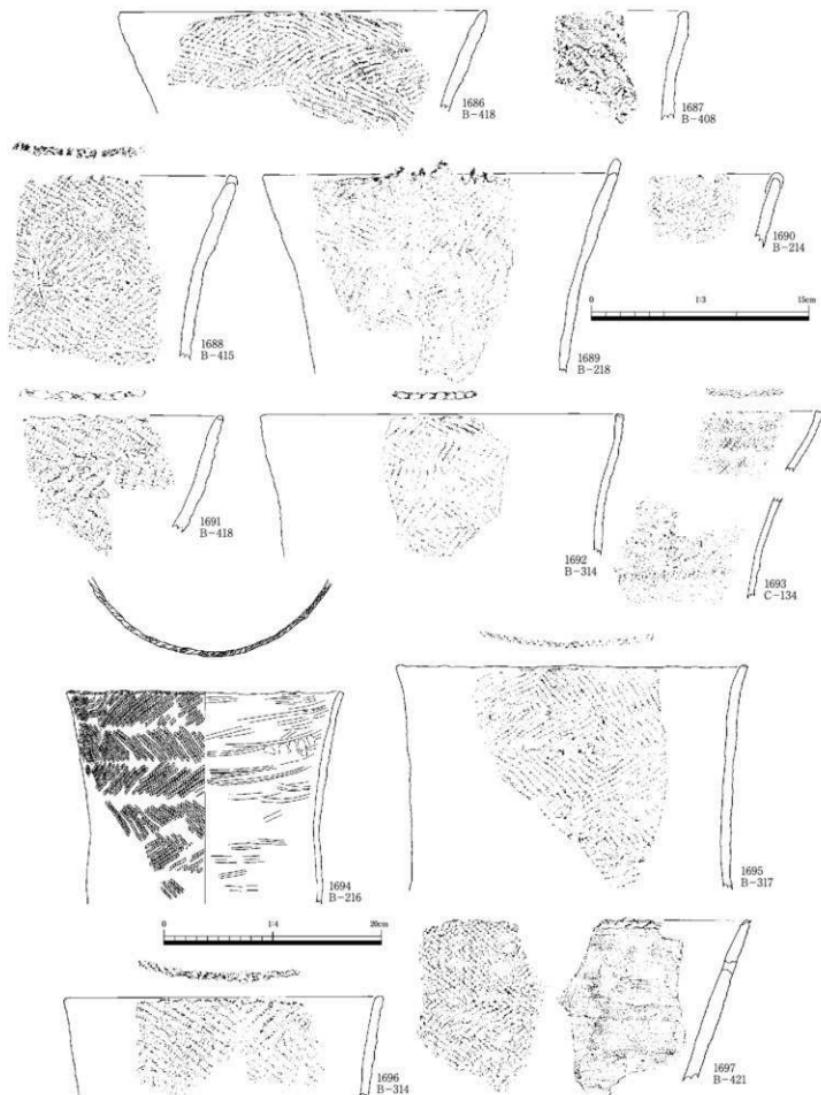


第167図 B・C地区 III b層 繩文土器 17 (1651・1652・1654～1660・1662～1666 1/3, 1650・1653・1661 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

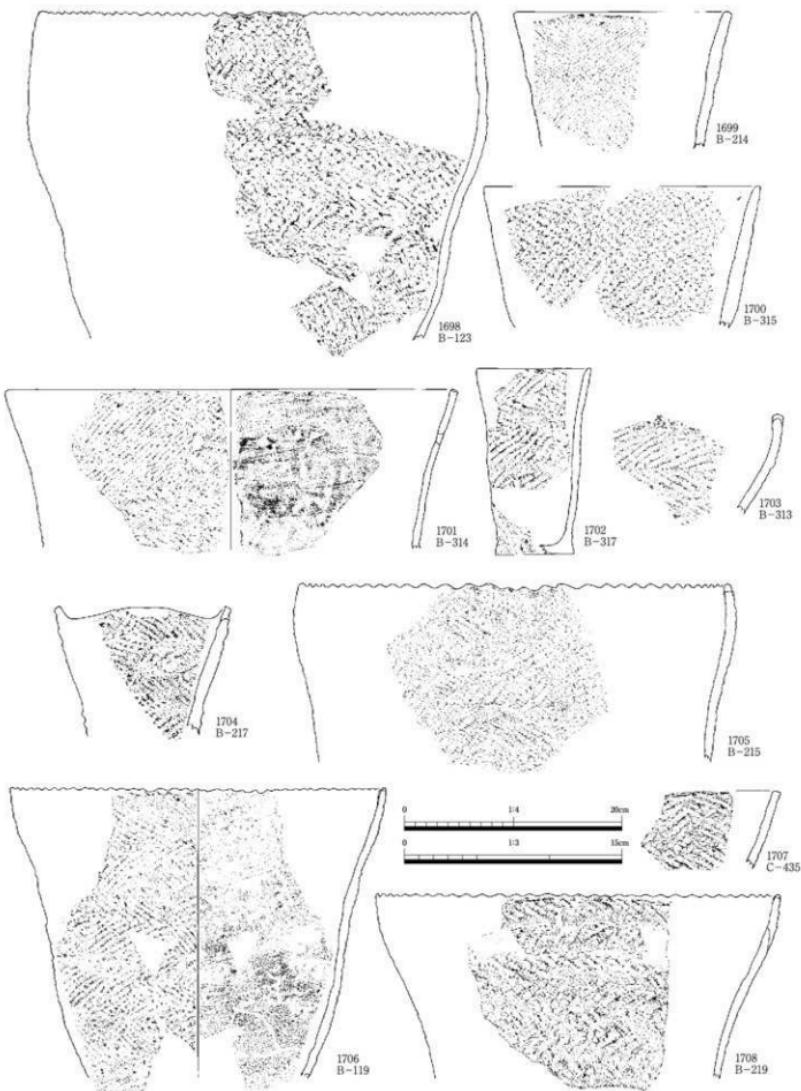


第168図 B・C地区 III b層 繩文土器 18 (1667・1669~1680・1682~1685 1/3, 1668・1681 1/4)

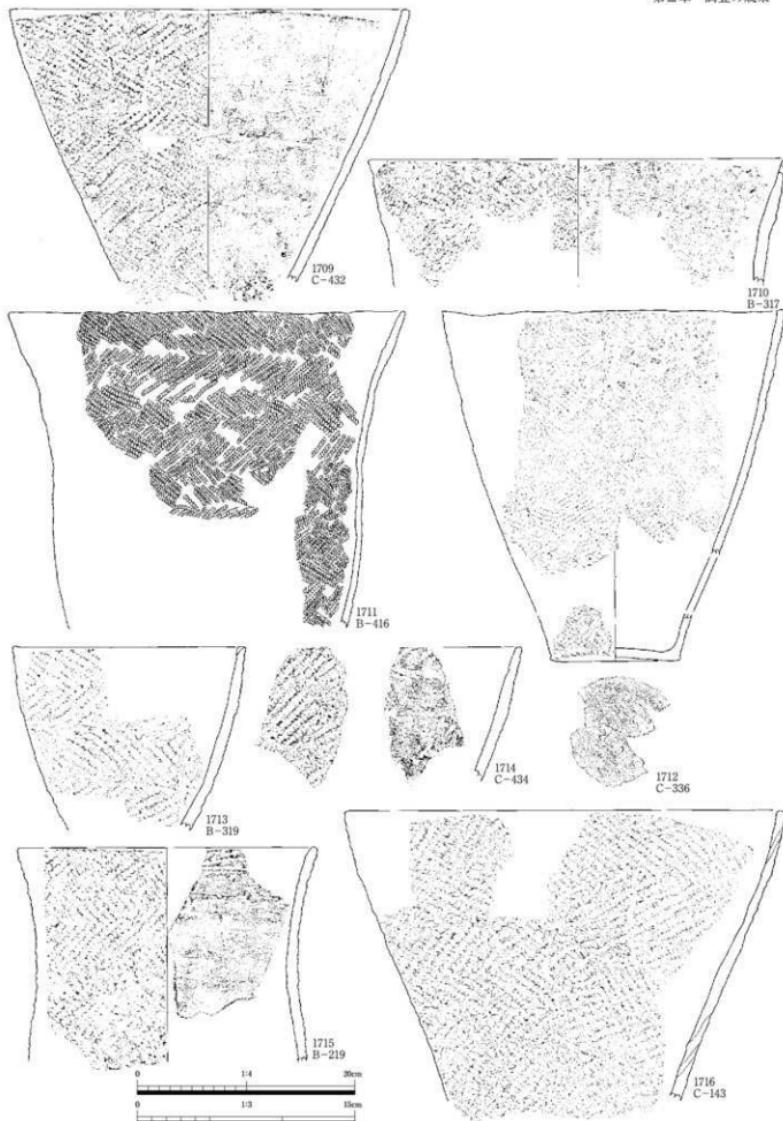


第169図 B・C地区 III b層 繩文土器 19 (1686~1691・1693・1695~1697 1/3, 1692・1694 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

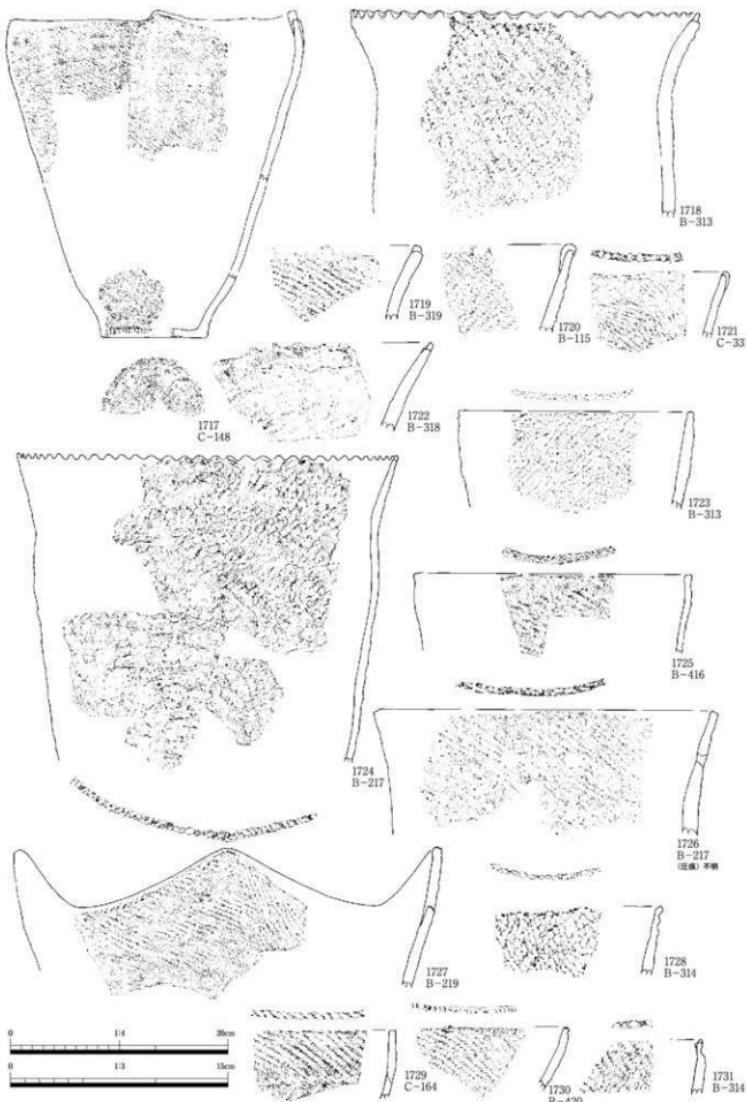


第170図 B・C地区 III b層 縄文土器 20 (1699・1700・1702~1705・1707 1/3, 1698・1701・1706・1708 1/4)

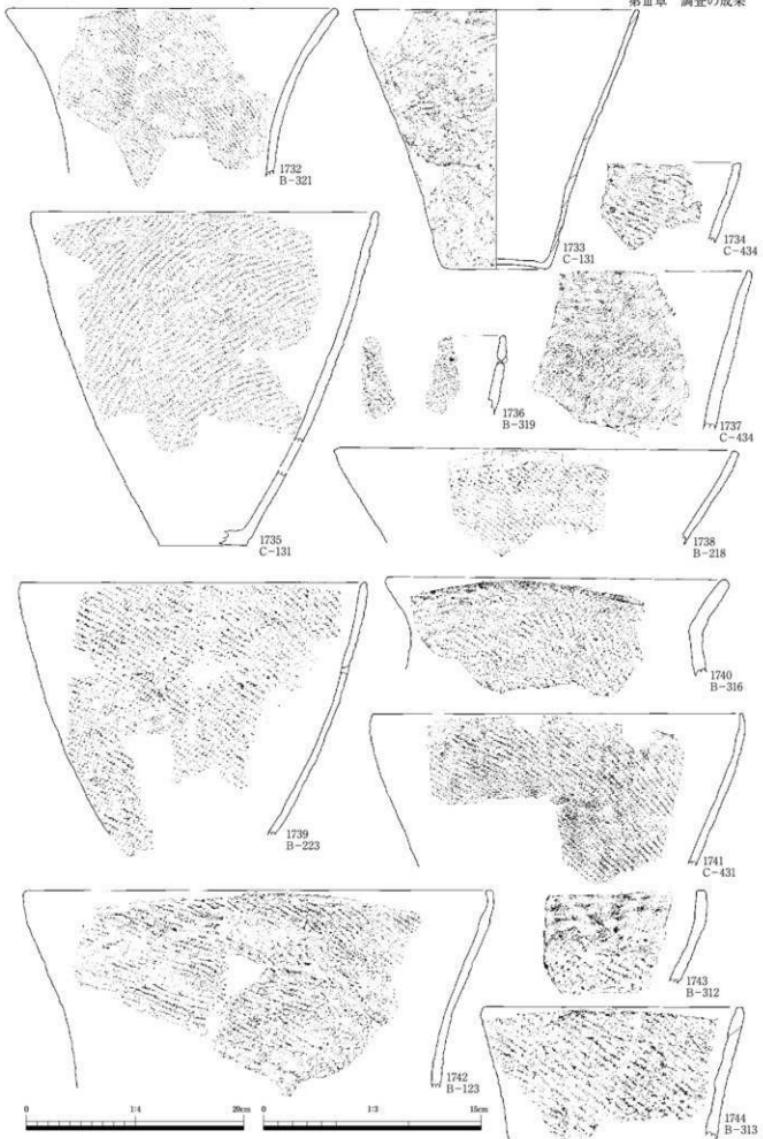


第171図 B・C地区 IIIb層 繩文土器21 (1709・1710・1711～1716 1/3, 1711・1712 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

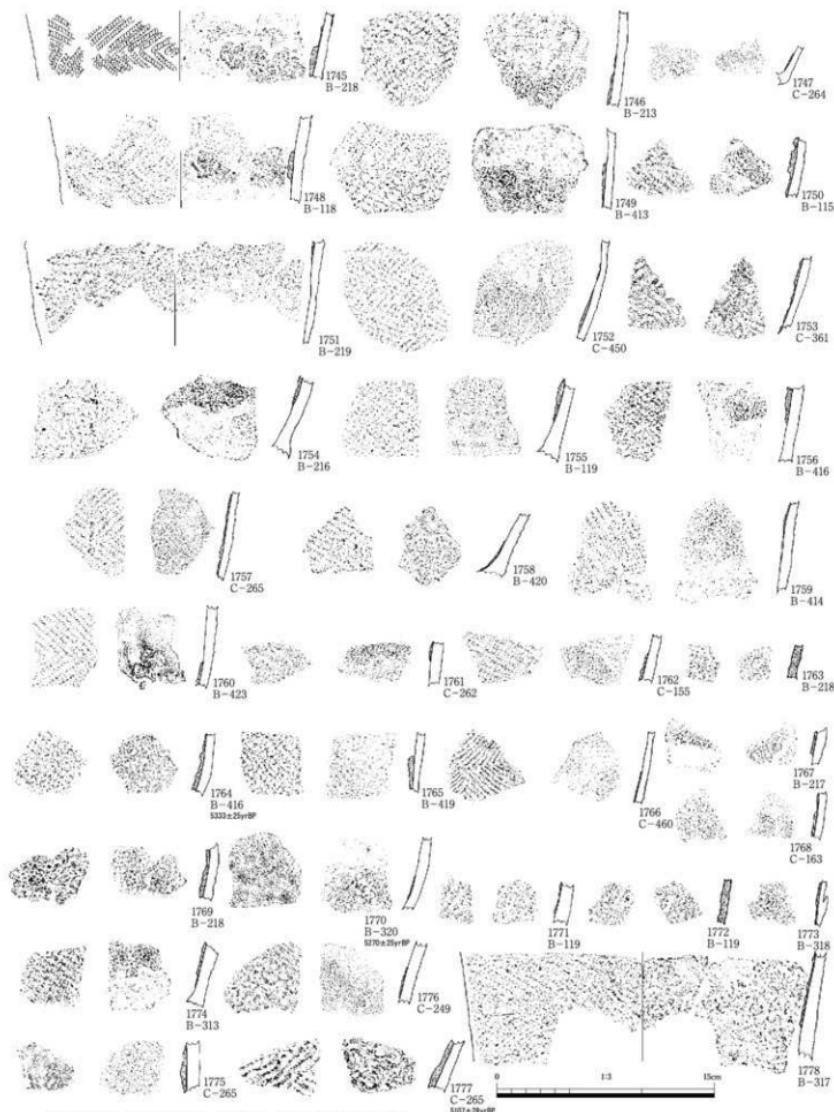


第172図 B・C地区 III b層 橢文土器 22 (1718~1723・1725~1731 1/3, 1717・1724 1/4)

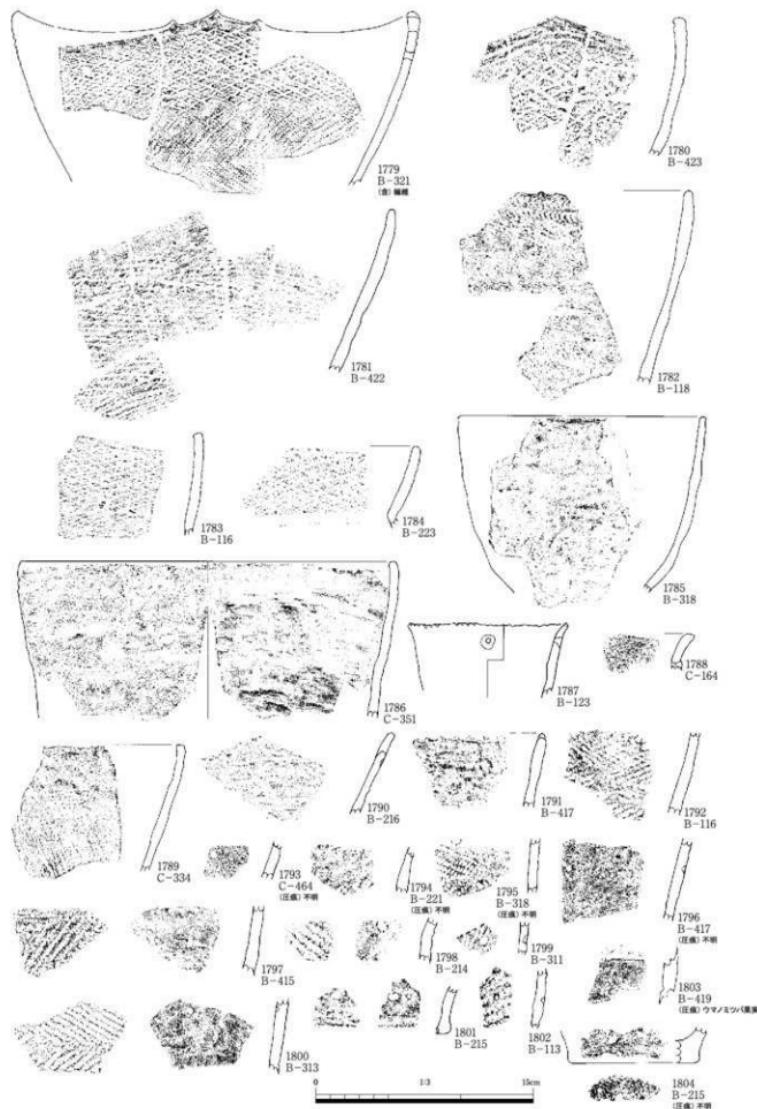


第173図 B・C地区 III b層 繩文土器 23 (1734・1736・1737・1740・1742～1744 1/3,
1732・1733・1735・1738・1739・1741 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

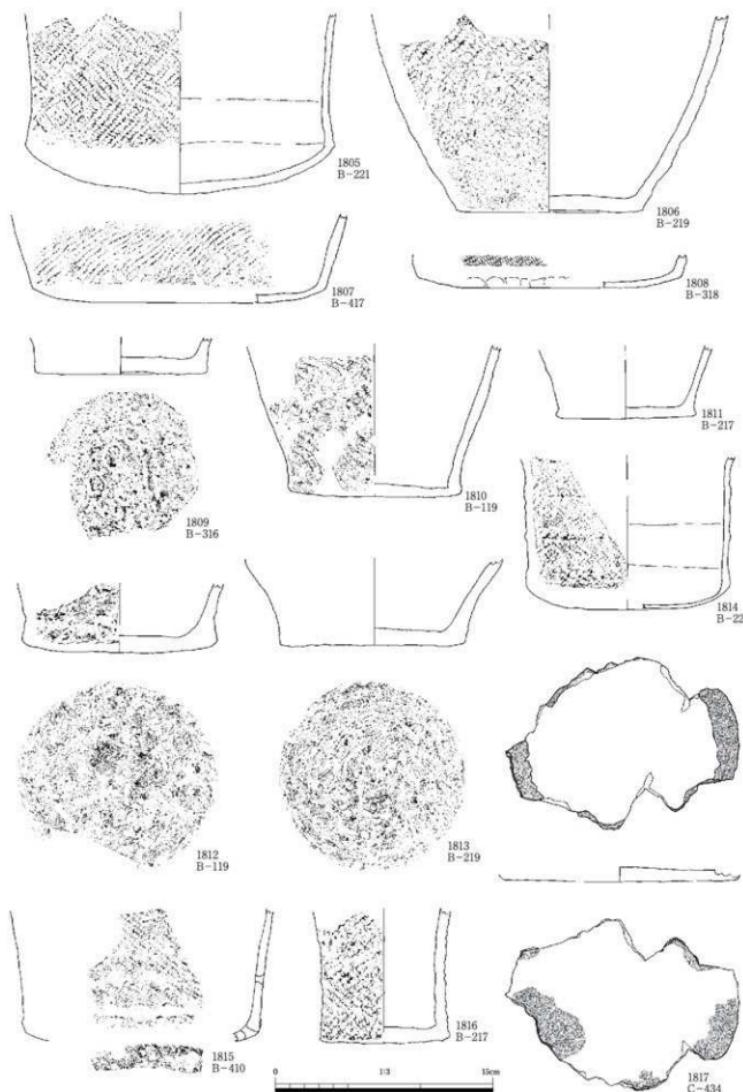


第174図 B・C地区 III b層 繩文土器 24 (1/3)

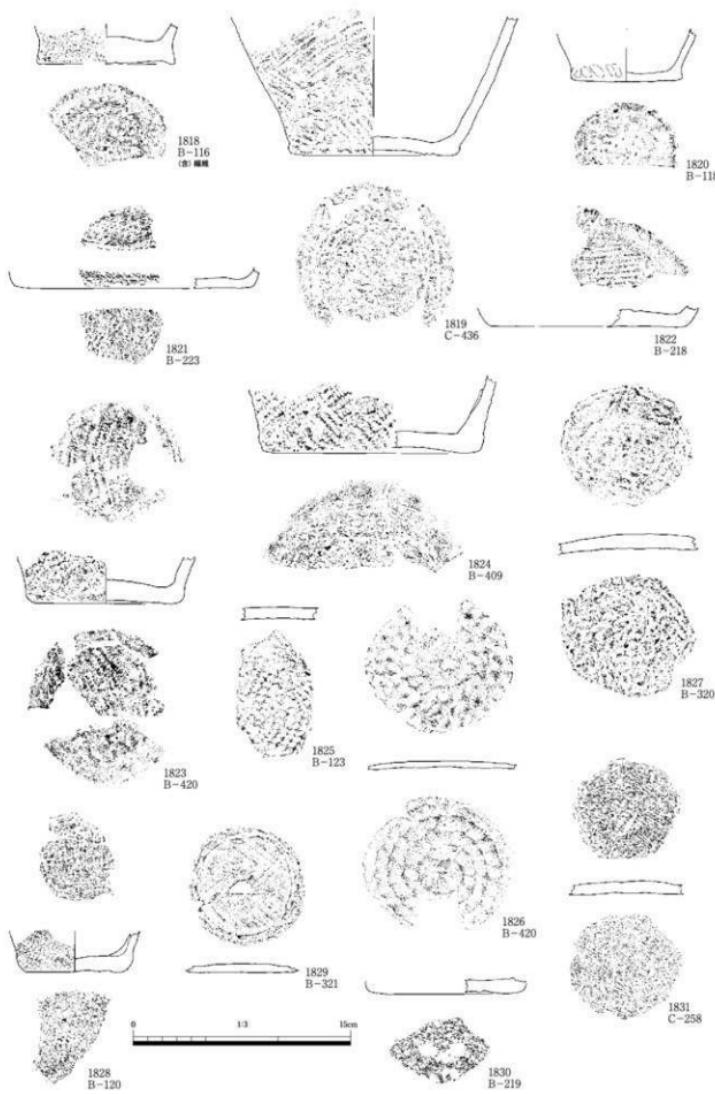


第175図 B+C地区 III b層 繩文土器 25 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

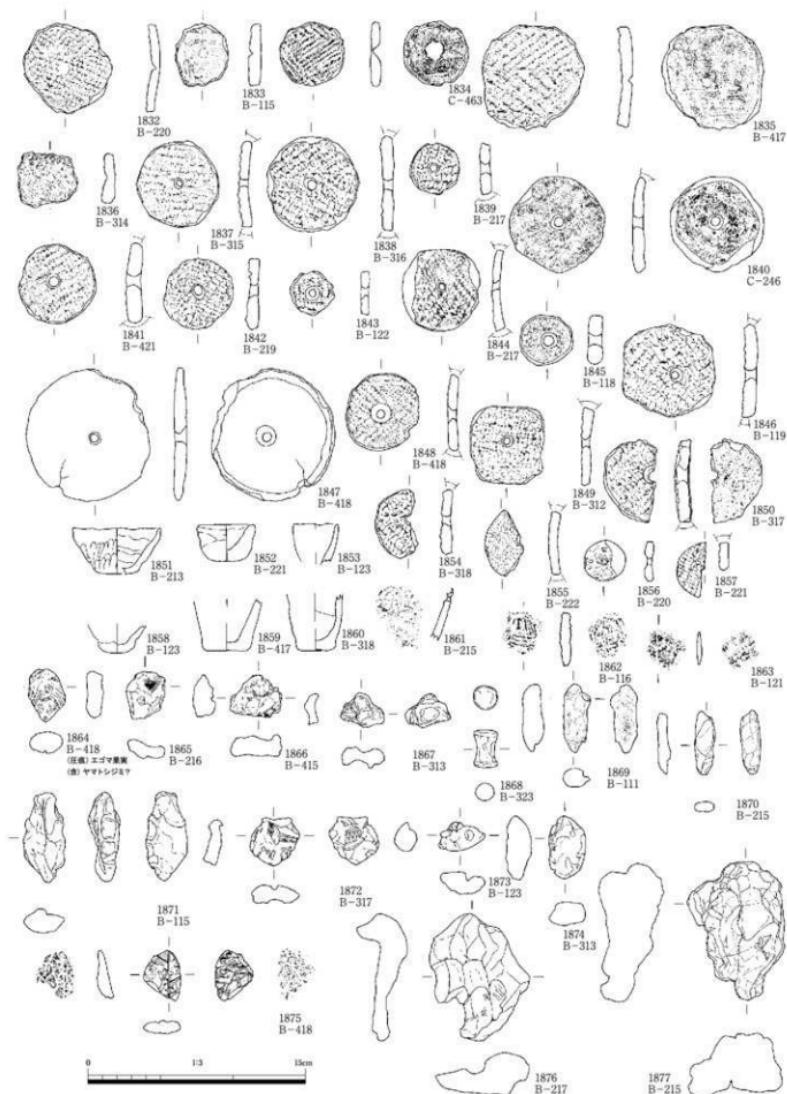


第176図 B・C地区 IIIb層 繩文土器 26 (1/3)

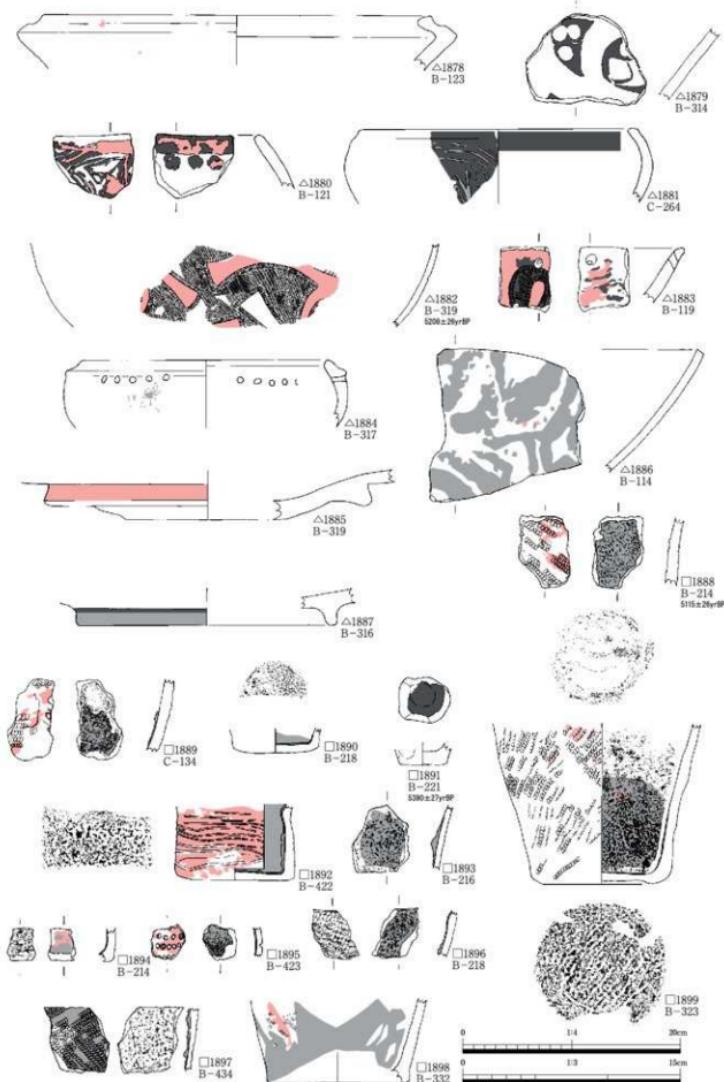


第177図 B+C地区 III b層 繩文土器 27 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

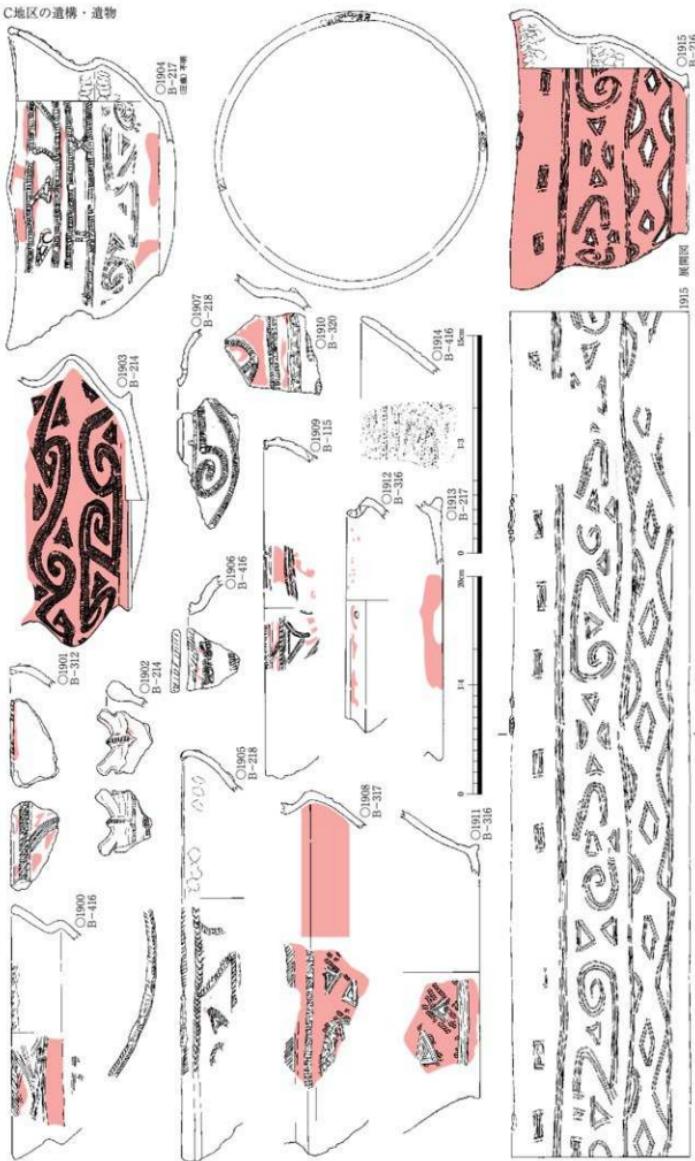


第178図 B・C地区 III b層 土製品 (1/3)

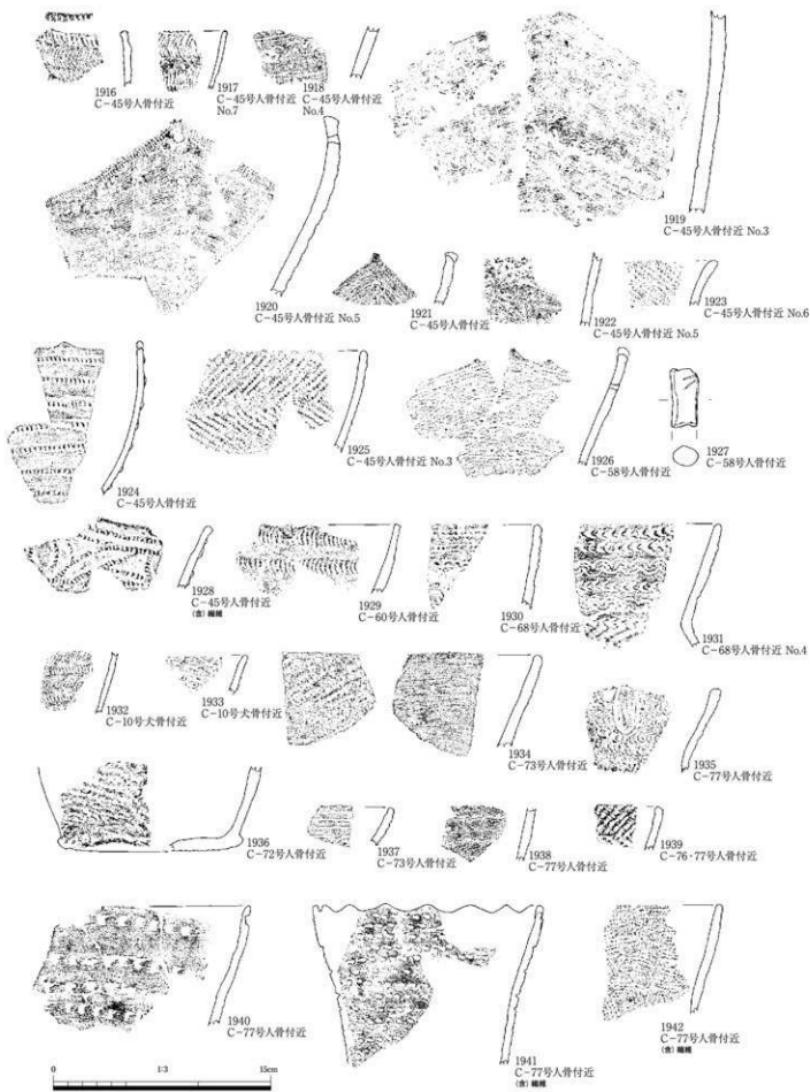


第179図 B・C地区 III b層 漆塗土器・漆液容器 (1878~1881・1883~1899 1/3, 1882 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

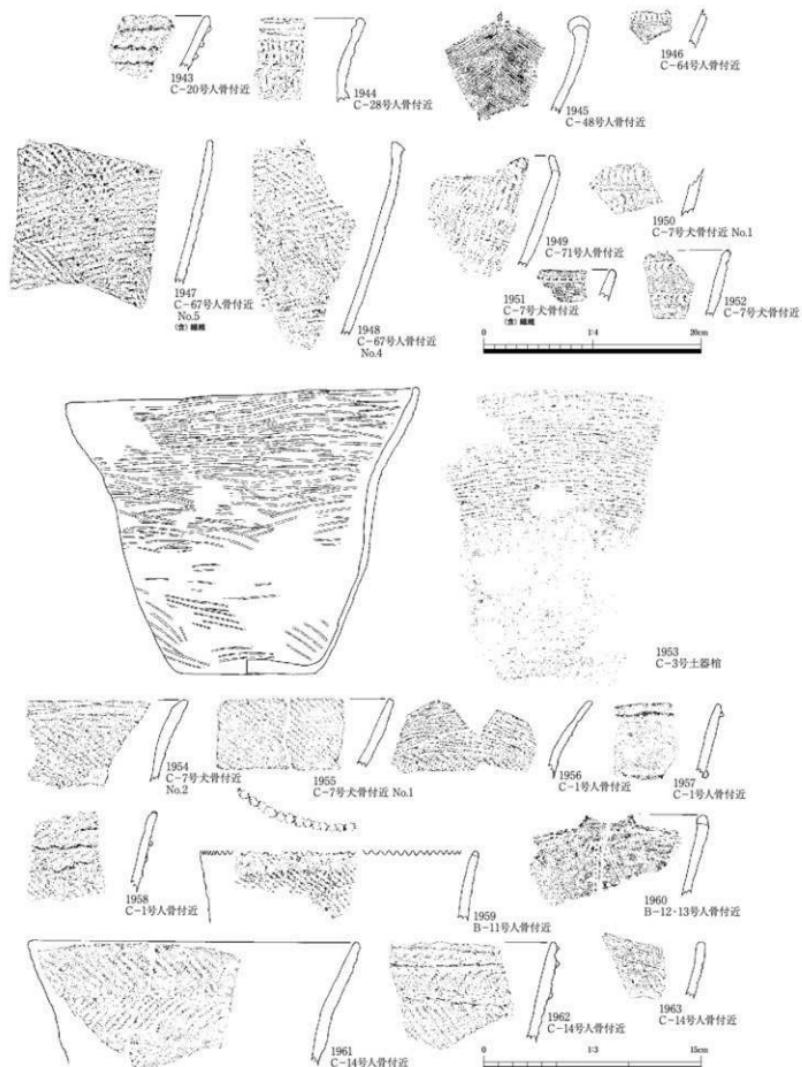


第180図 B・C地区 III b層 赤彩土器 (1900~1903・1905~1914 1/3, 1904・1915 1/4). (展開図 1/4)

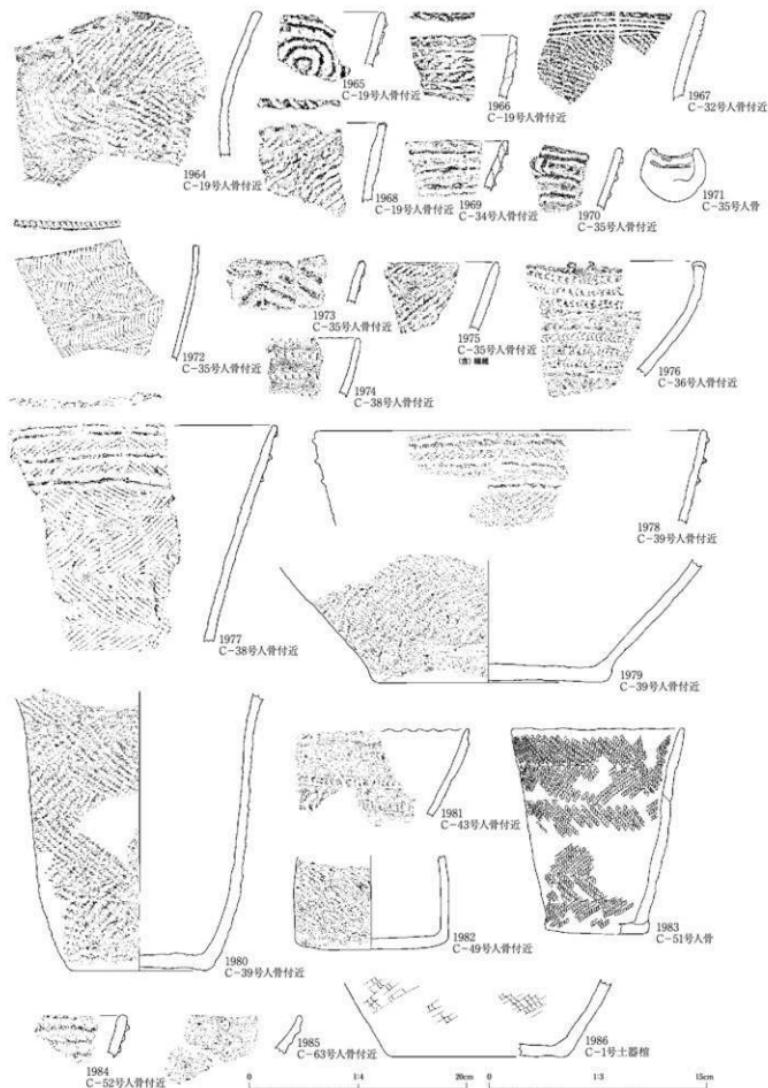


第181図 B・C地区 埋葬人骨周辺 第Ⅰ期 繩文土器1 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

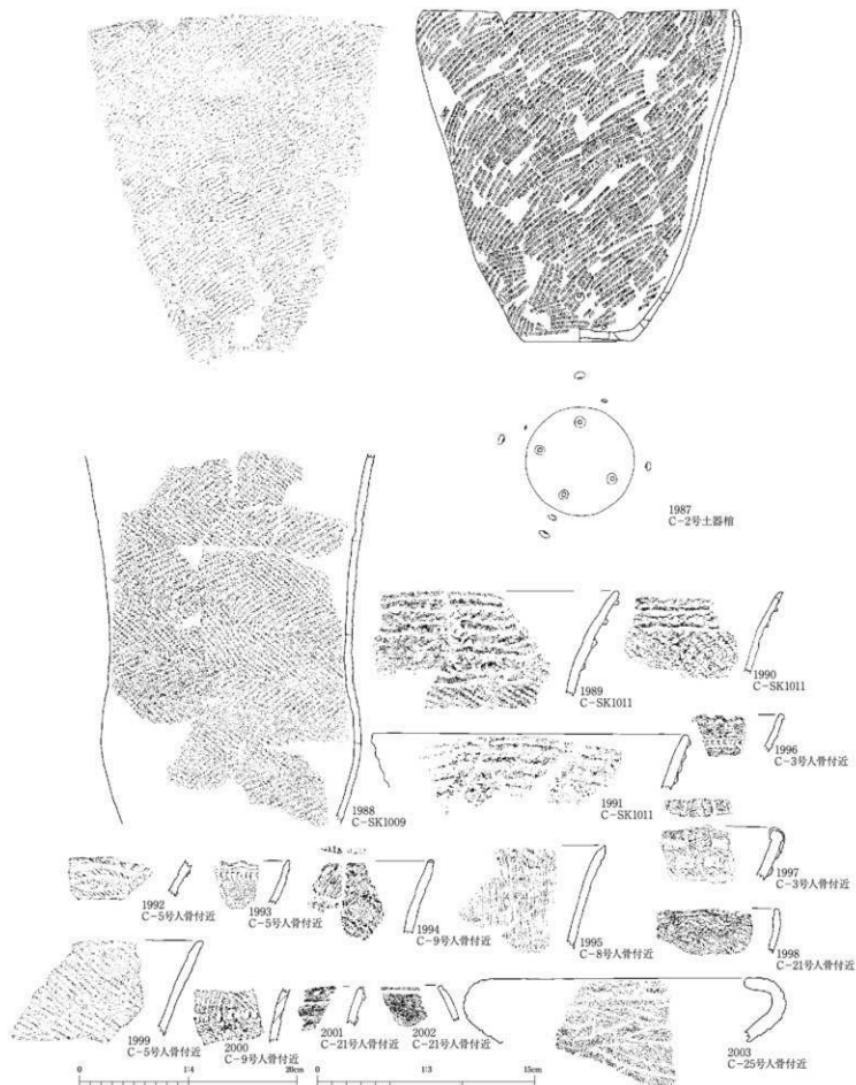


第182図 B・C地区 埋葬人骨周辺 第Ⅱ期・第Ⅲ期 繩文土器2 (1943~1952・1954~1963 1/3, 1953 1/4)



第183図 B・C地区 埋葬人骨周辺 第III期・第IV期 繩文土器3 (1964~1977・1979~1986 1/3, 1978 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

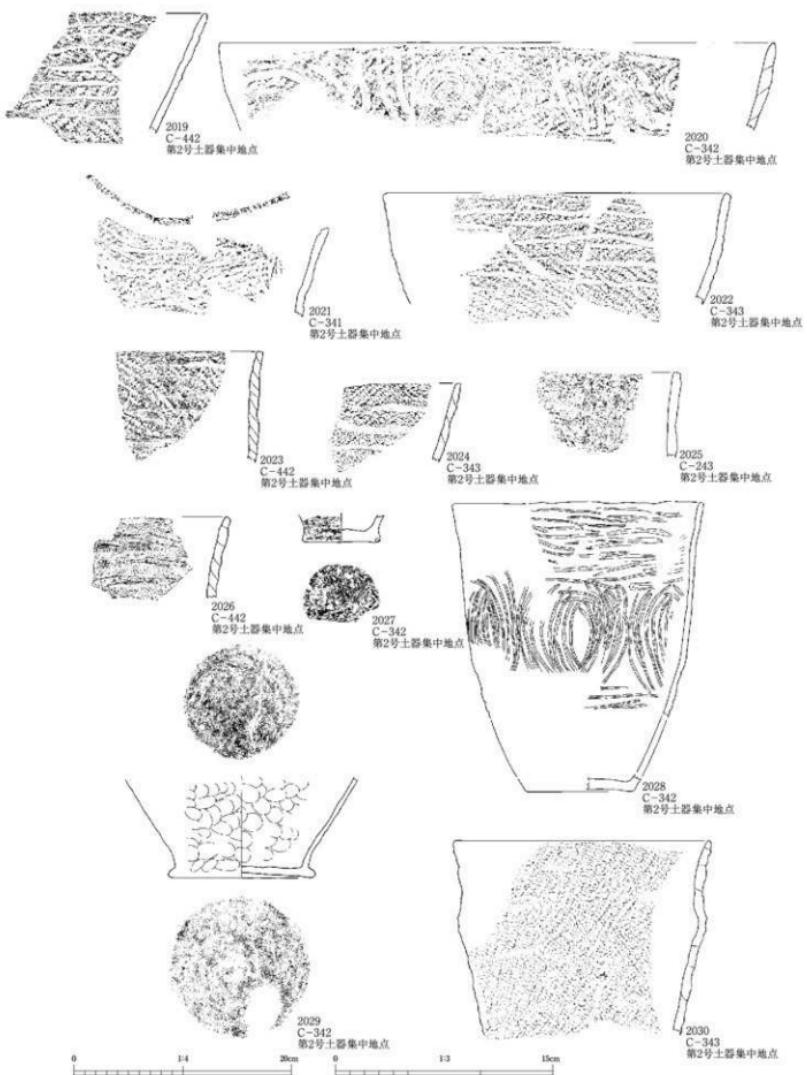


第184図 B・C地区 土坑・埋葬人骨周辺 第Ⅲ期・第Ⅳ期 繩文土器4 (1989~2003 1/3, 1987・1988 1/4)

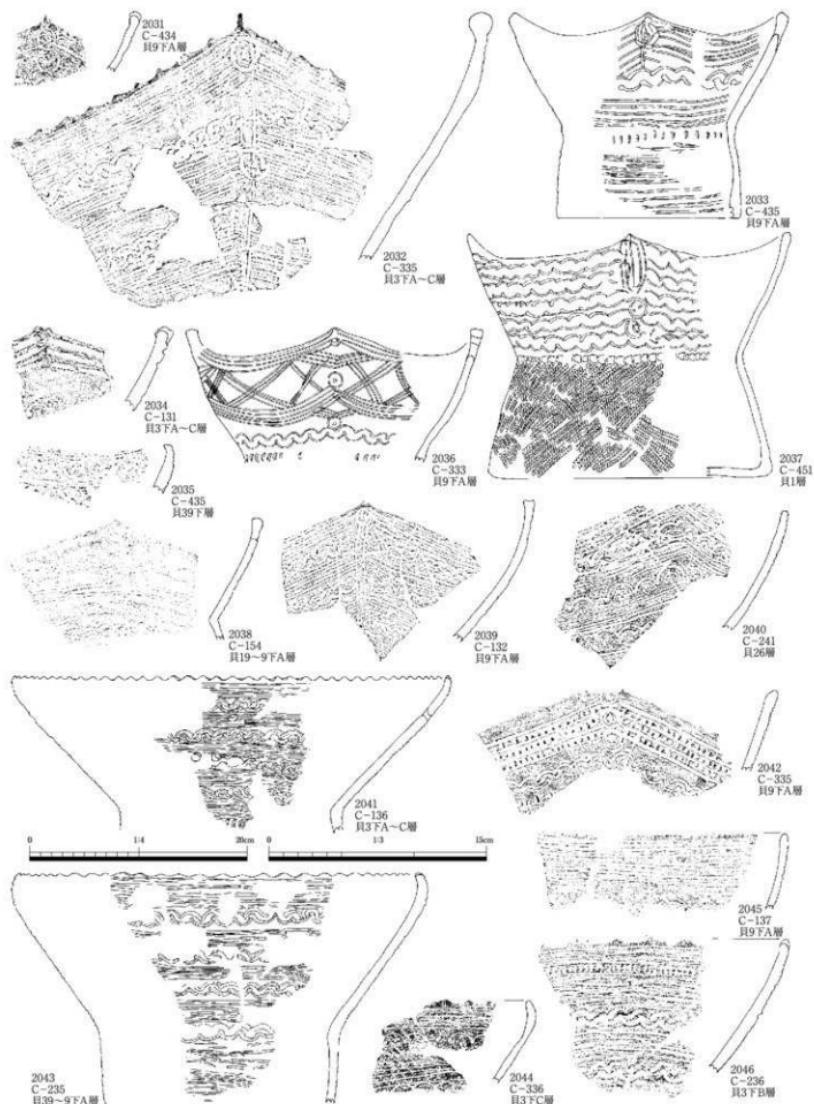


第185図 B+C地区 土坑・埋葬人骨周辺 第IV期 繩文土器5 (2005~2018 1/3, 2004 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

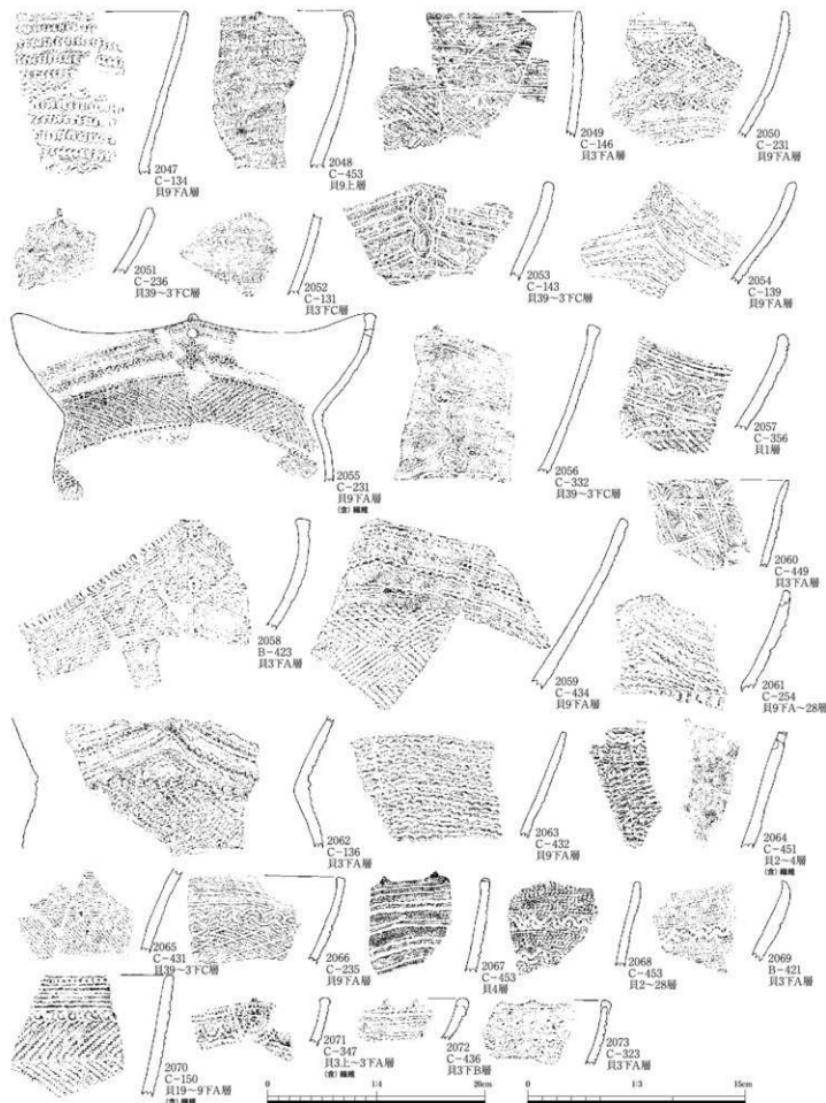


第186図 B・C地区 第2号土器集中地点 第IV期 繩文土器6 (2019~2027・2030 1/3, 2028・2029 1/4)

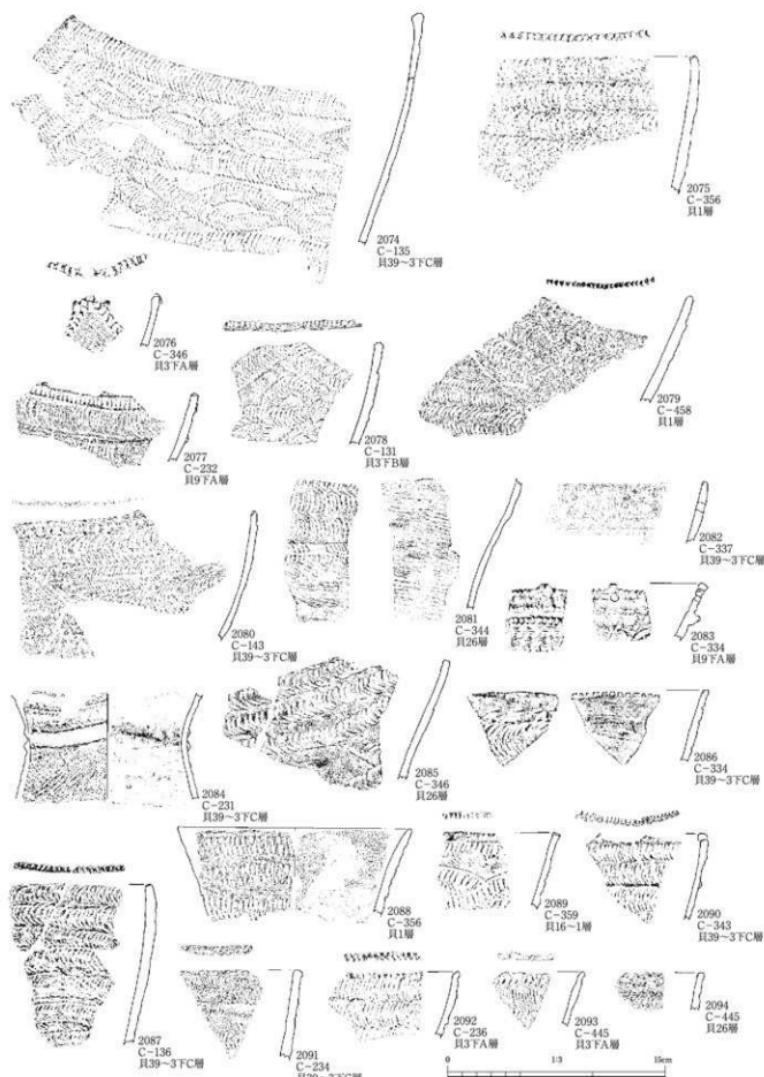


第187図 B+C地区 貝層 繩文土器1 (2031~2040・2042~2046 1/3, 2041 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

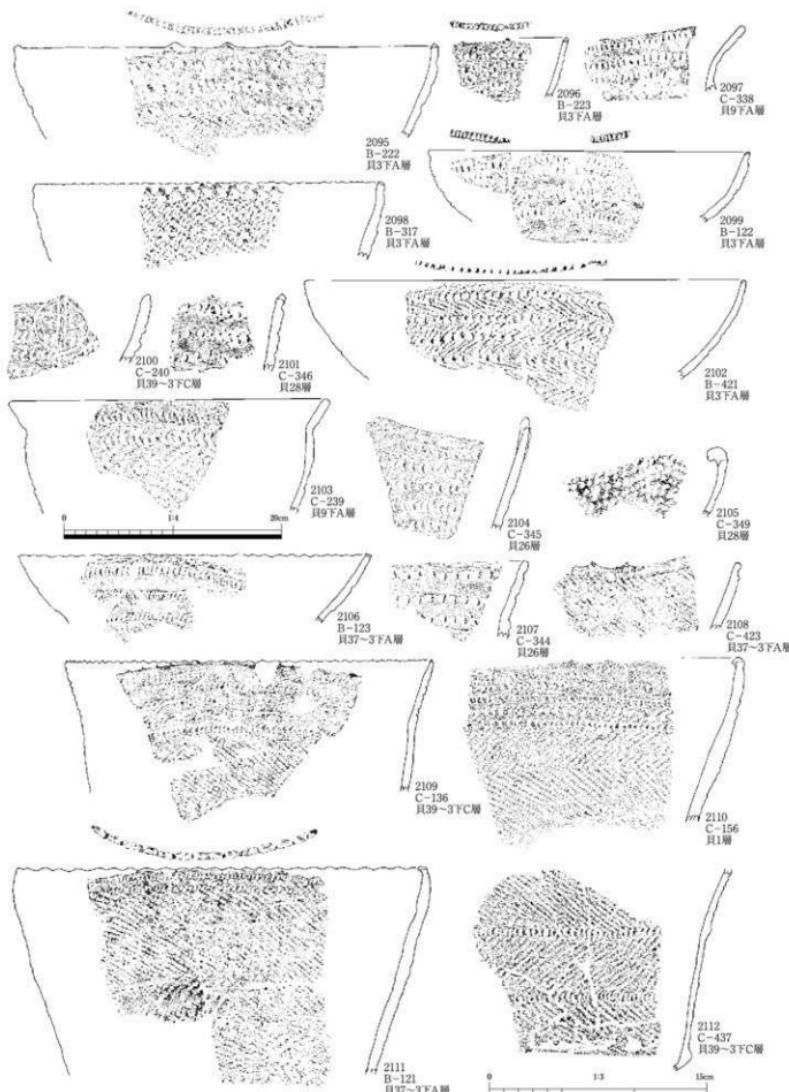


第188図 B・C地区 貝層 繩文土器2 (2047~2054・2056~2073 1/3, 2055 1/4)

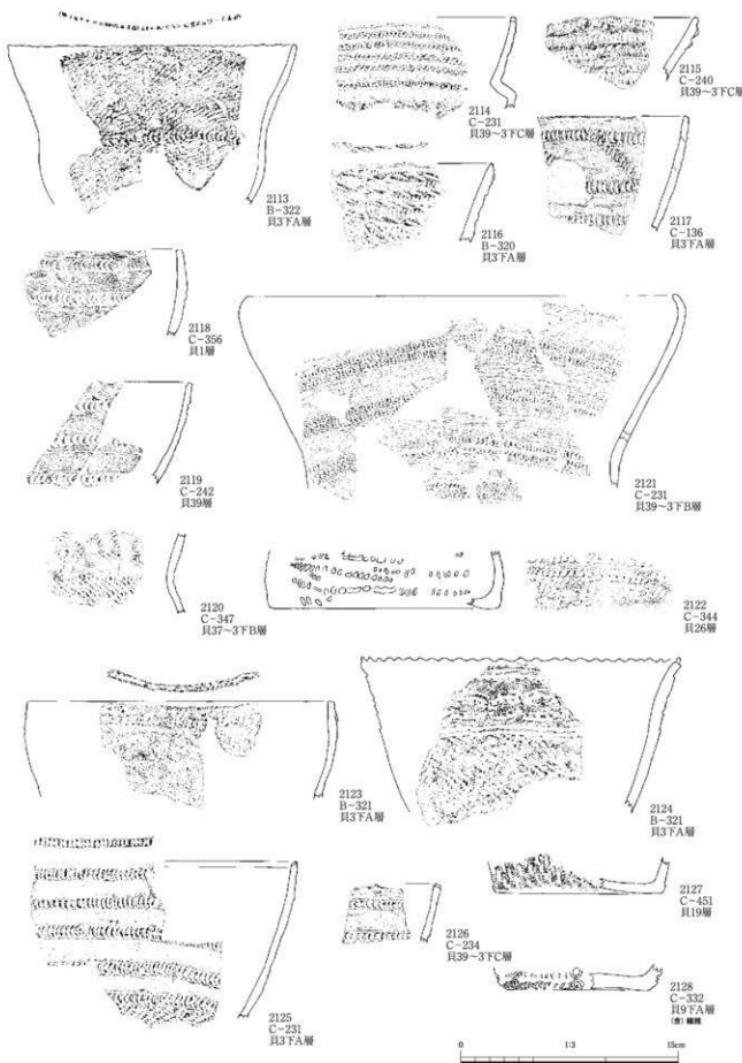


第189図 B+C地区 貝層 縄文土器3 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

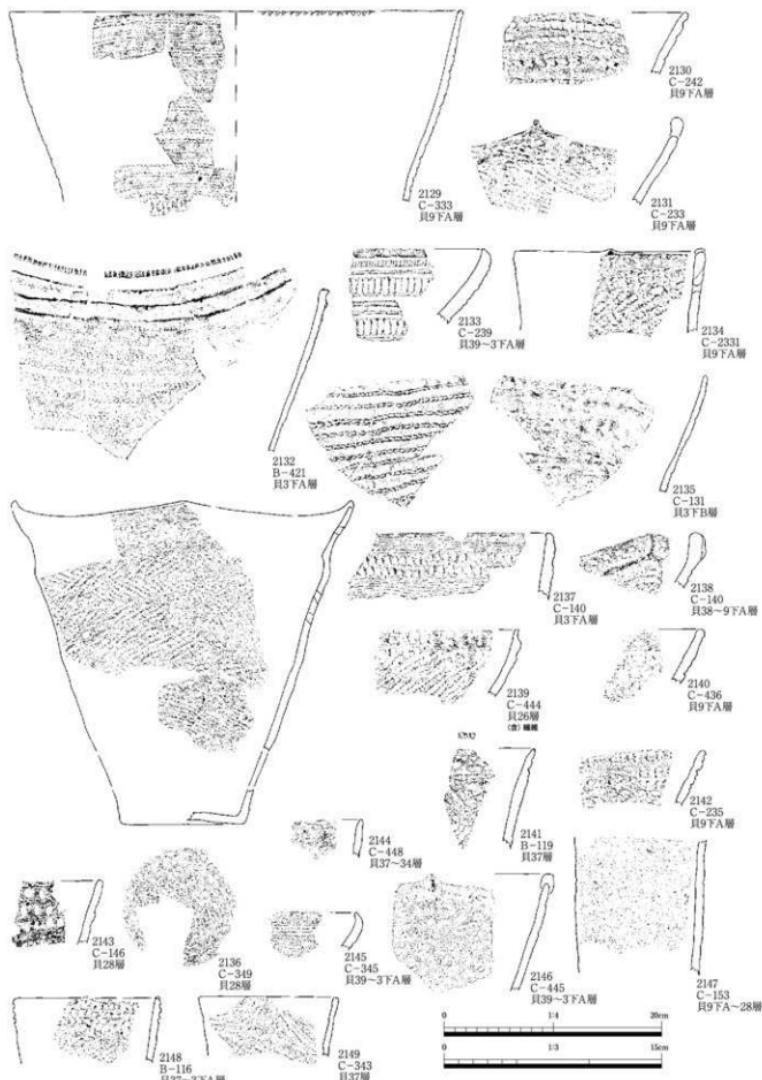


第190図 B・C地区 貝層 繩文土器4 (2095~2105・2107・2108・2110~2112 1/3, 2106・2109 1/4)

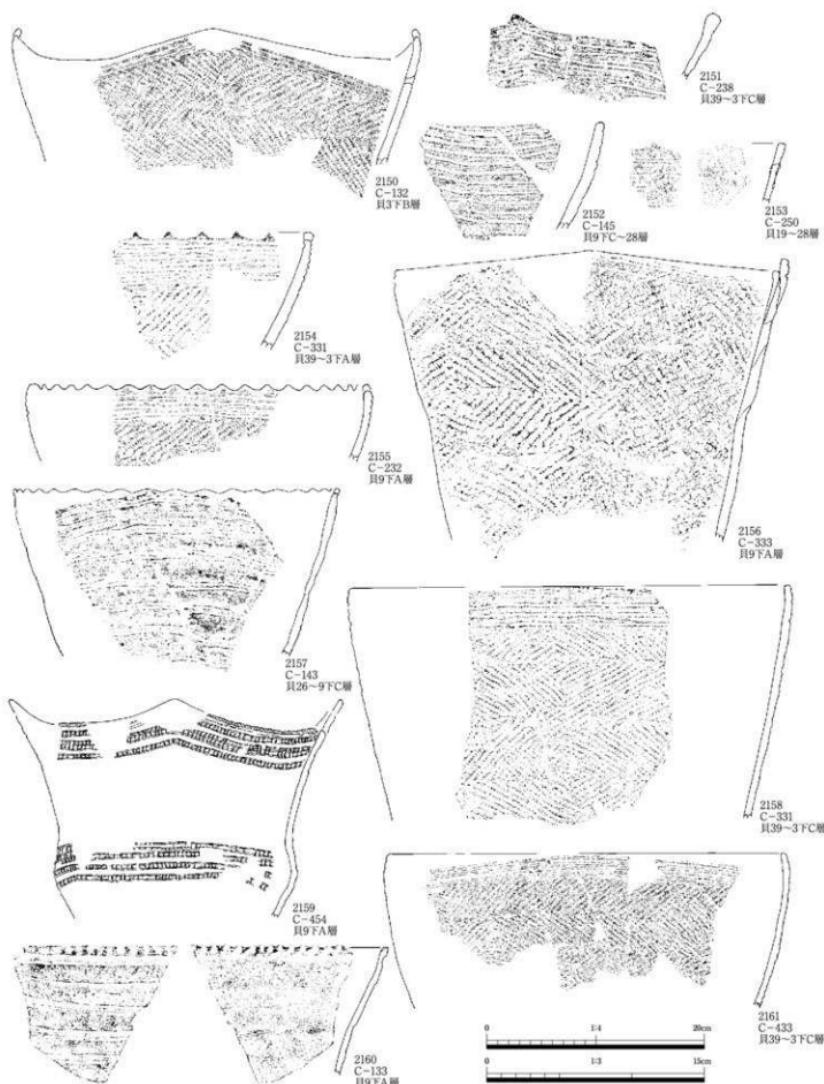


第191図 B+C地区 貝層 繩文土器5 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

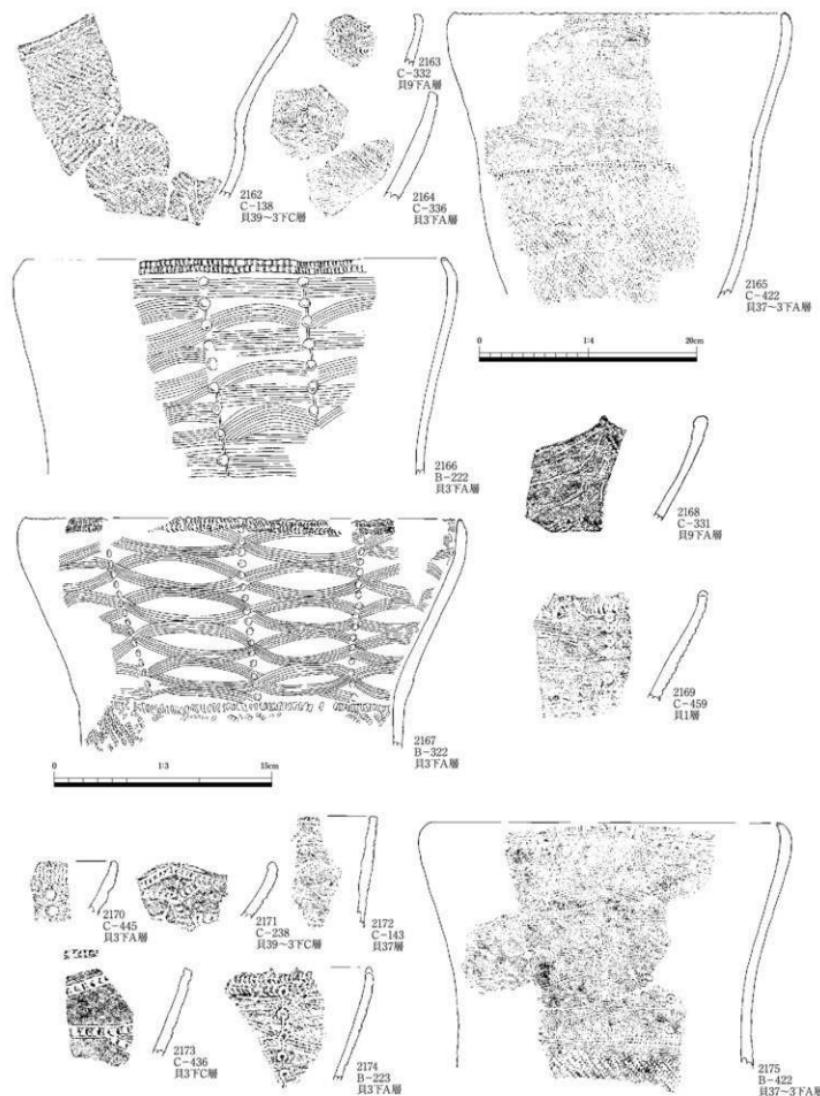


第192図 B・C地区 貝層 繩文土器6 (2129~2135・2137・2149 1/3, 2136 1/4)

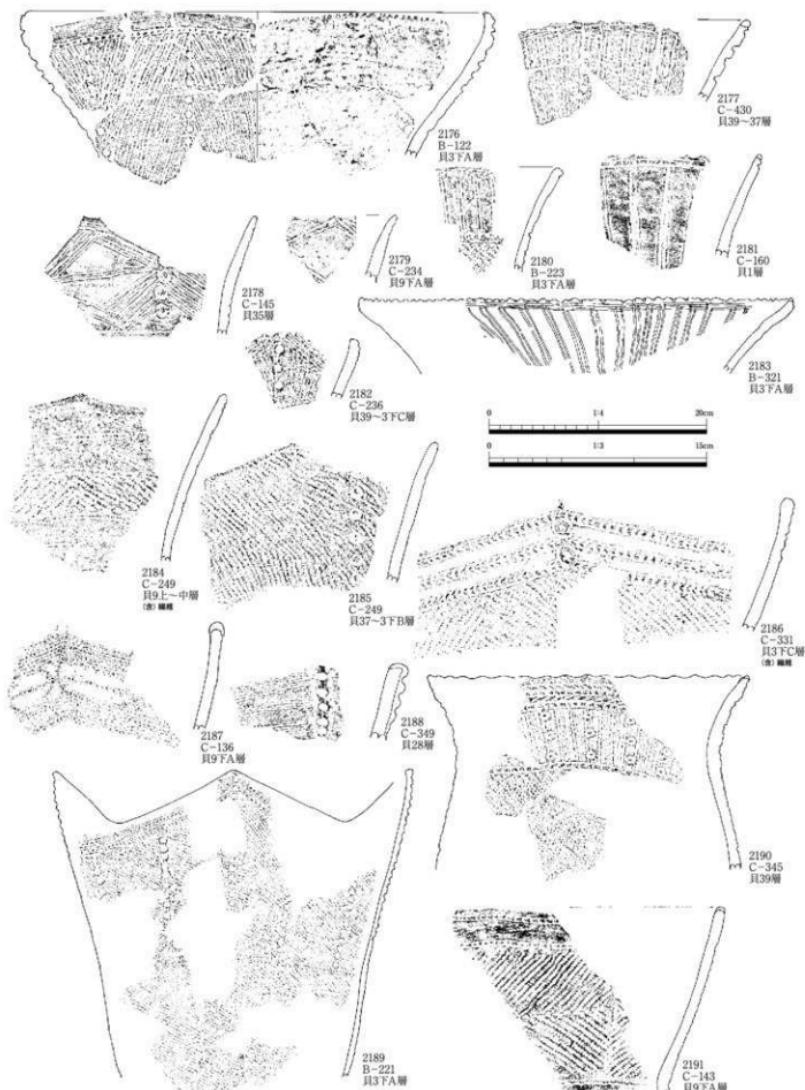


第193図 B・C地区 貝層 繩文土器7 (2151~2160 1/3, 2150・2161 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物



第194図 B・C地区 貝層 繩文土器8 (2162-2164・2166-2175 1/3, 2165 1/4)

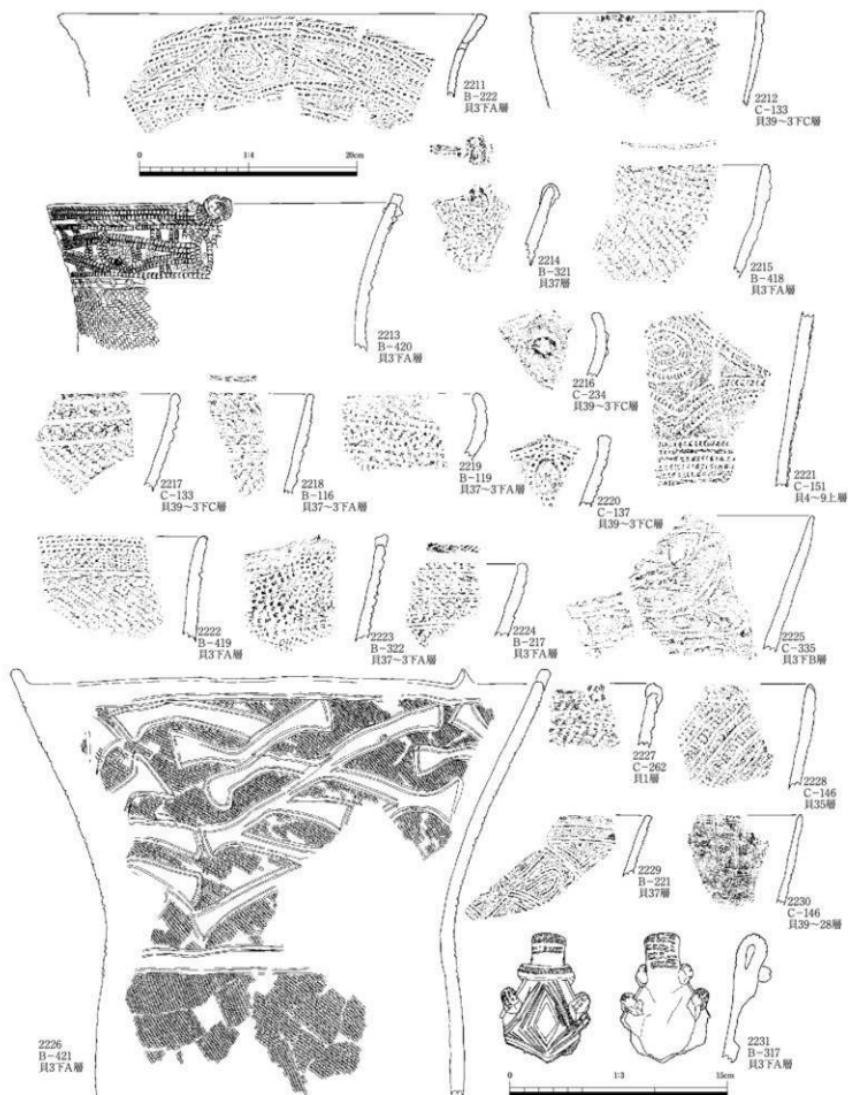


第195図 B・C地区 貝層 縄文土器9 (2176~2182・2184~2188・2190・2191 1/3, 2183・2189 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

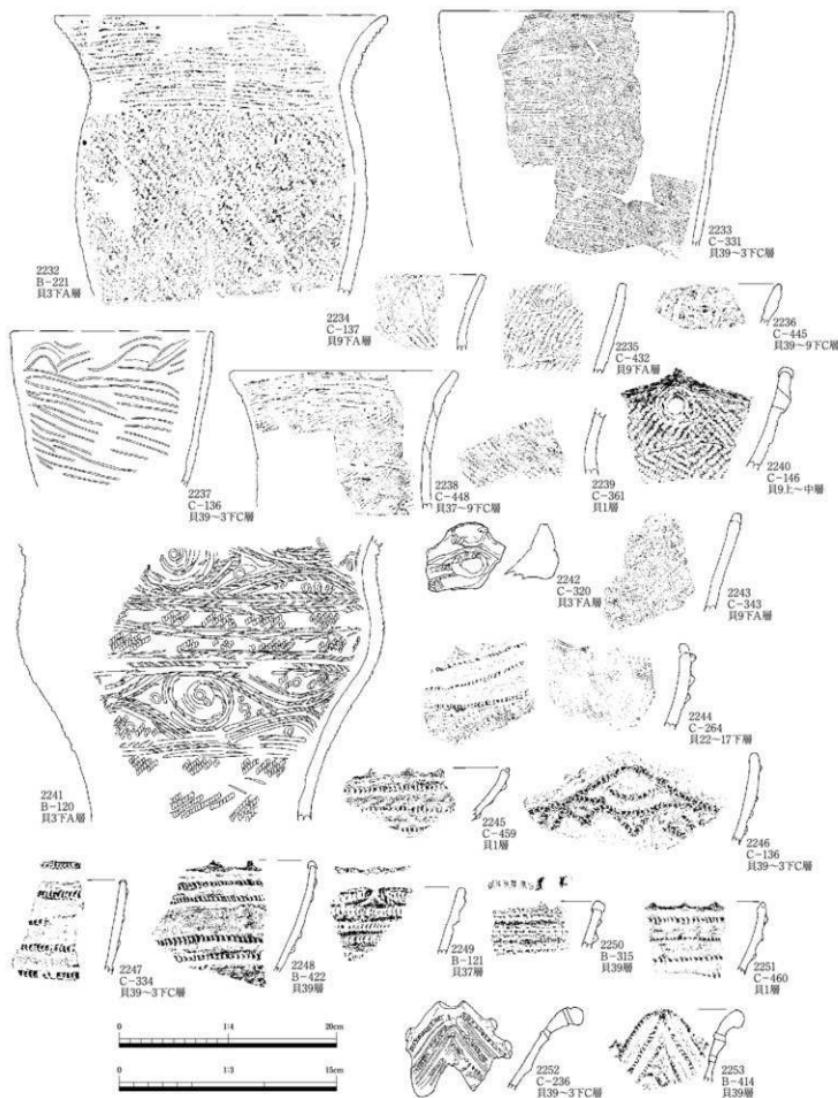


第196図 B・C地区 貝層 繩文土器 10 (1/3)

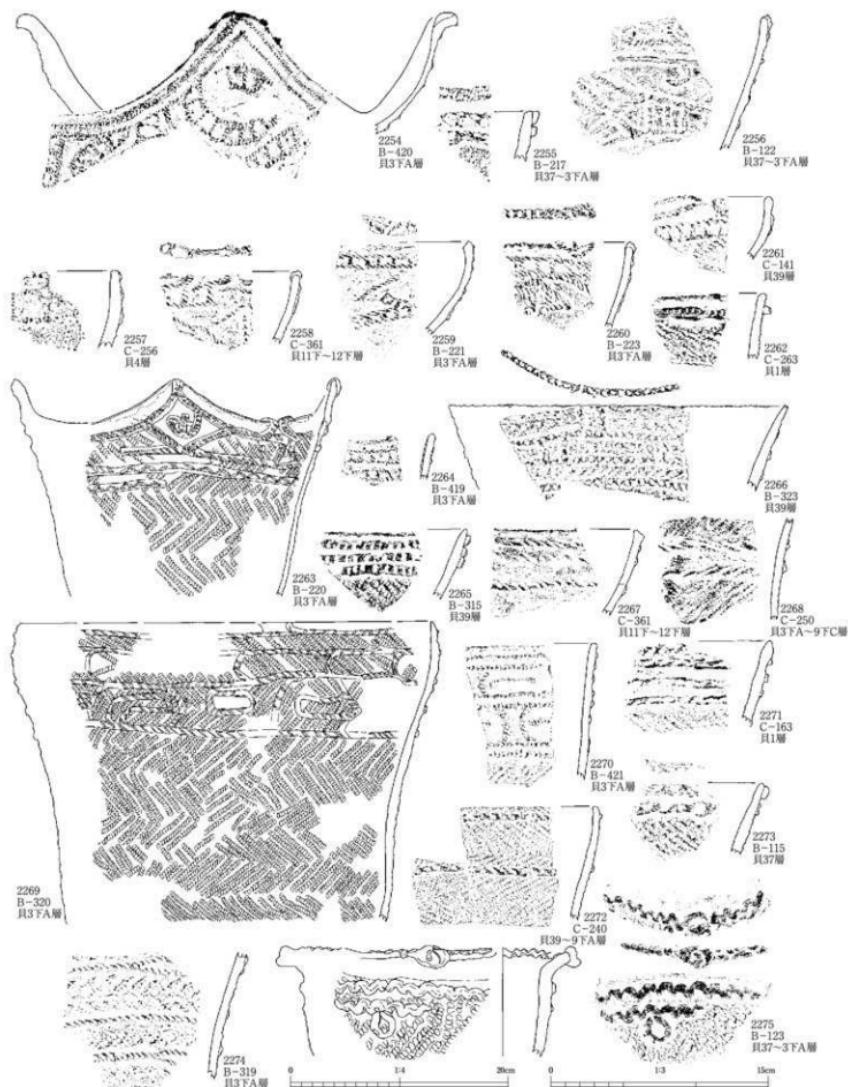


第197図 B・C地区 貝層 繩文土器 11 (2211~2231 1/3, 2211 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

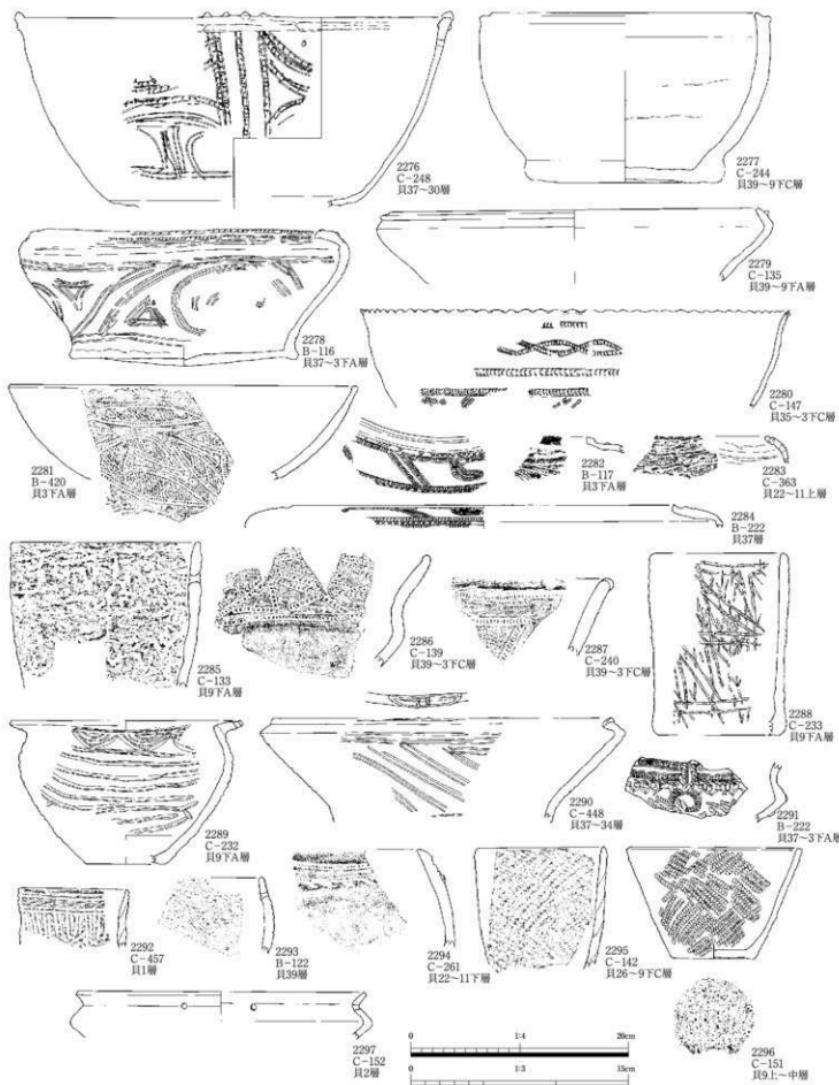


第198図 B・C地区 貝層 繩文土器 12 (2232・2234~2253 1/3, 2233 1/4)

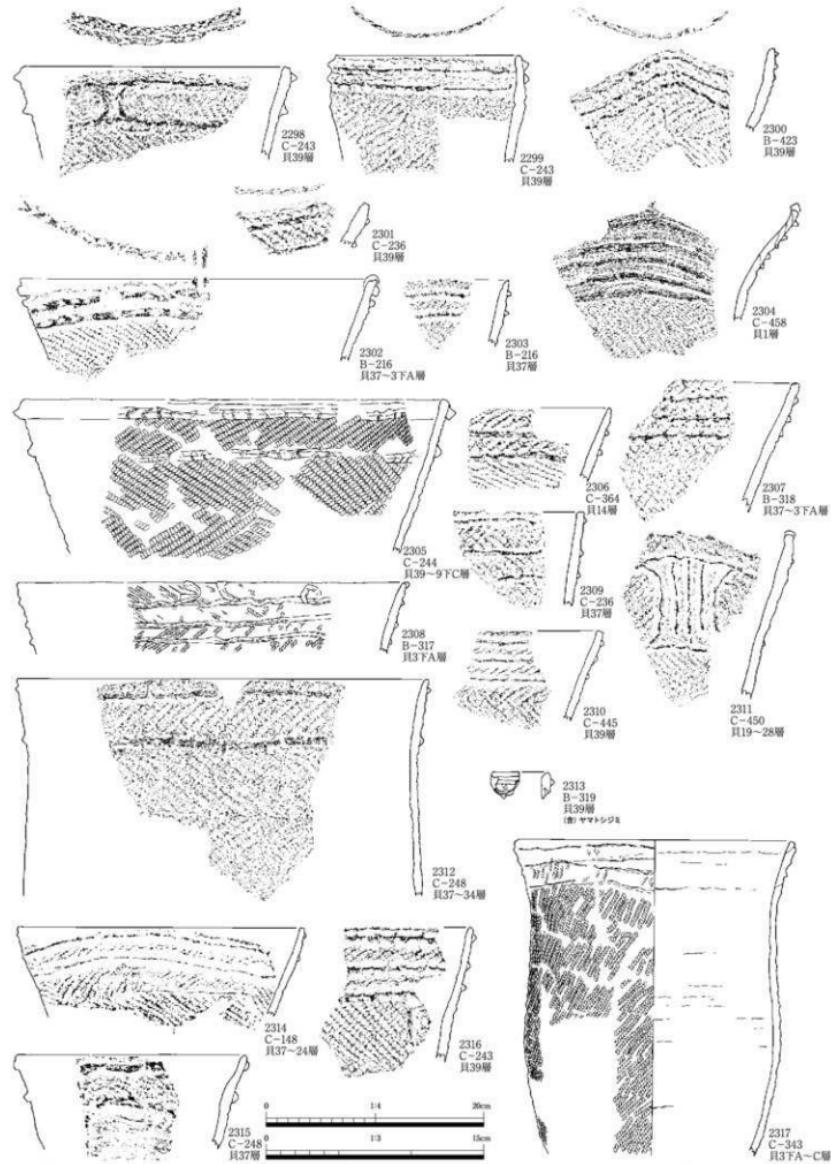


第199図 B・C地区 貝層 繩文土器 13 (2254~2268・2270~2275 1/3, 2269 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

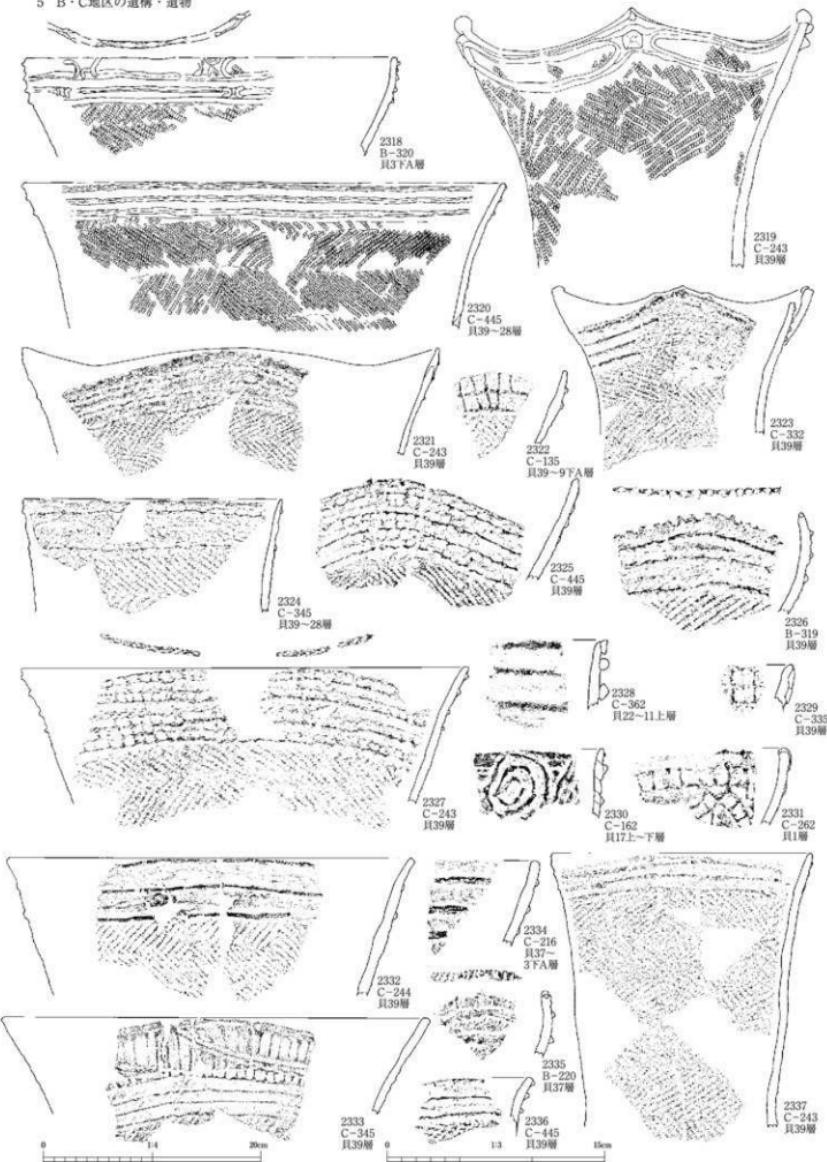


第200図 B・C地区 貝層 繩文土器 14 (2276~2279・2281~2297 1/3, 2280 1/4)

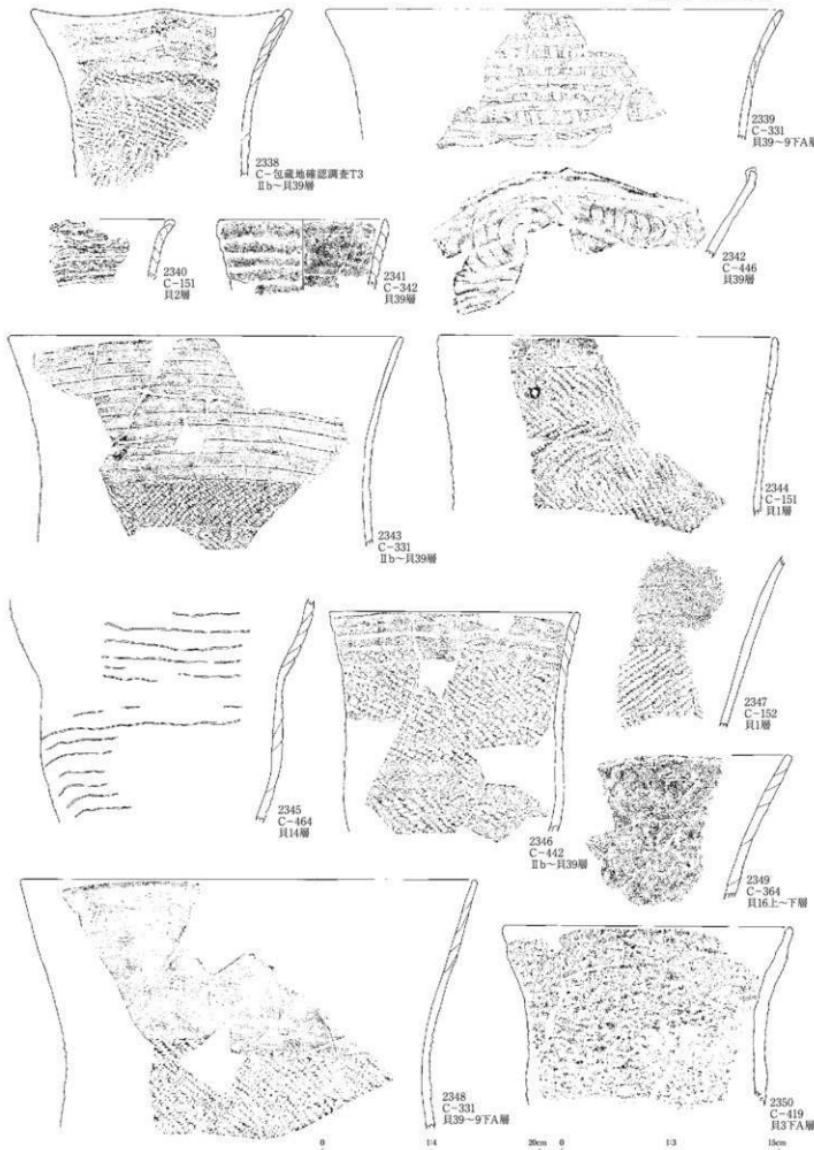


第201図 B・C地区 貝層 繩文土器 15 (2298~2307・2309~2316 1/3, 2308・2317 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

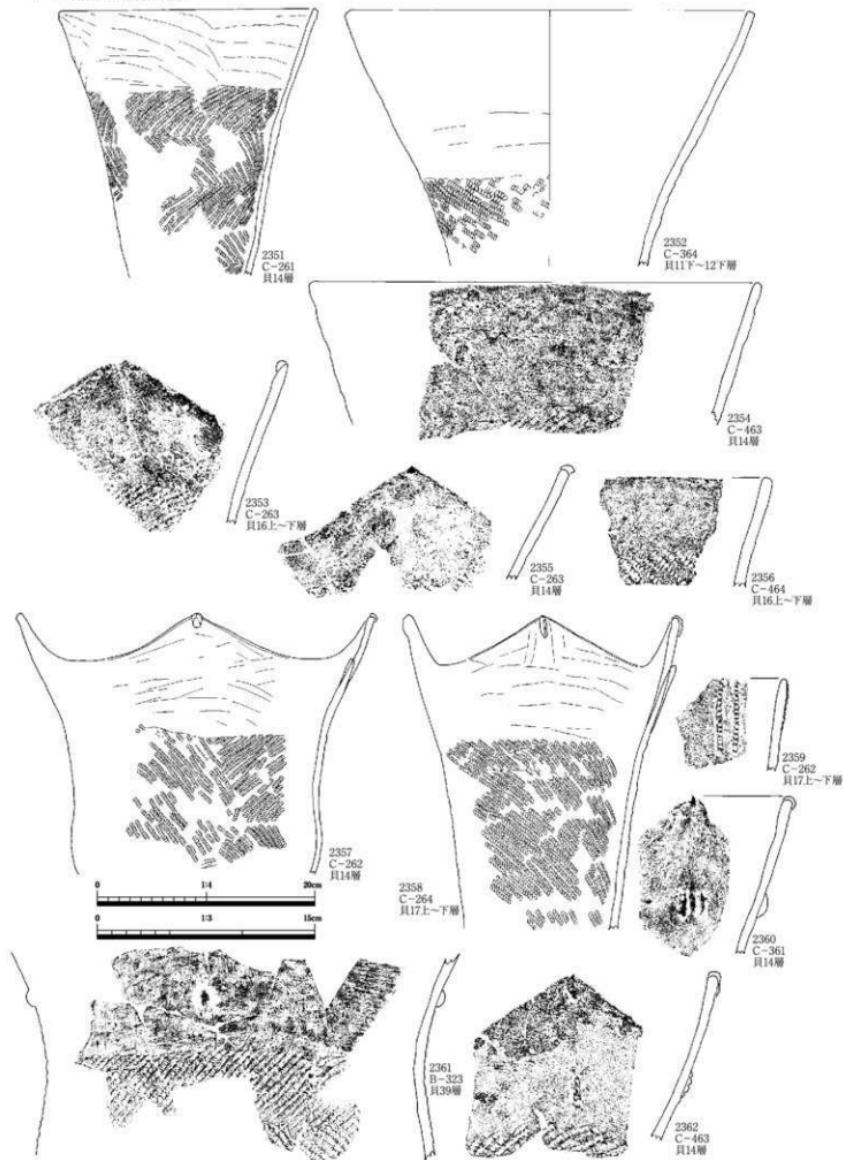


第202図 B・C地区 貝層 縄文土器 16 (2319・2322-2332・2334-2336 1/3, 2318・2320・2321・2333・2337 1/4)

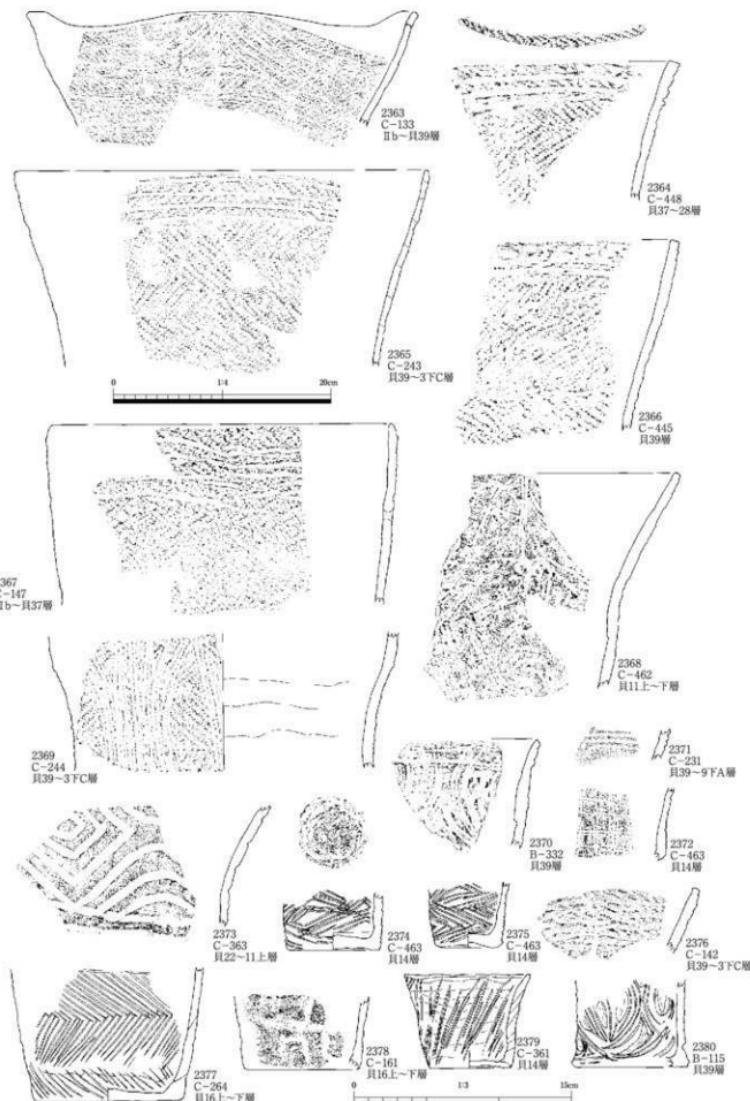


第203図 B・C地区 貝層 桶文土器 17 (2338・2340~2342・2344~2347・2349・2350 1/3, 2339・2343・2348 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

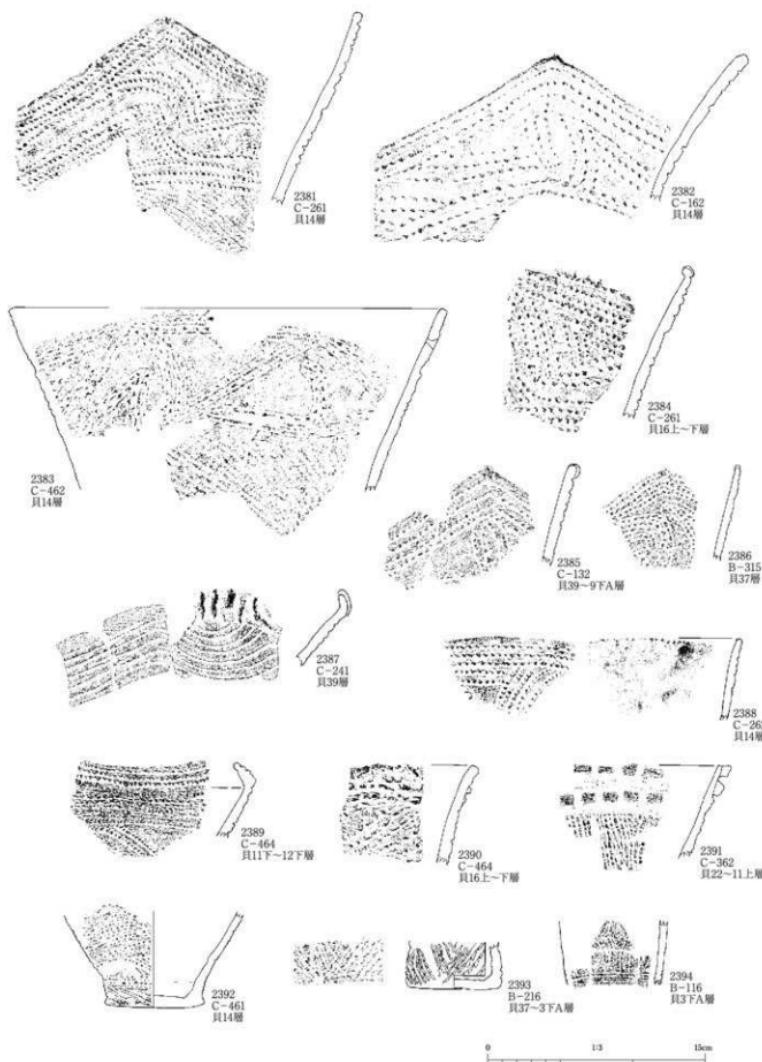


第204図 B・C地区 貝層 繩文土器 18 (2352~2356・2359~2362 1/3, 2351・2357・2358 1/4)

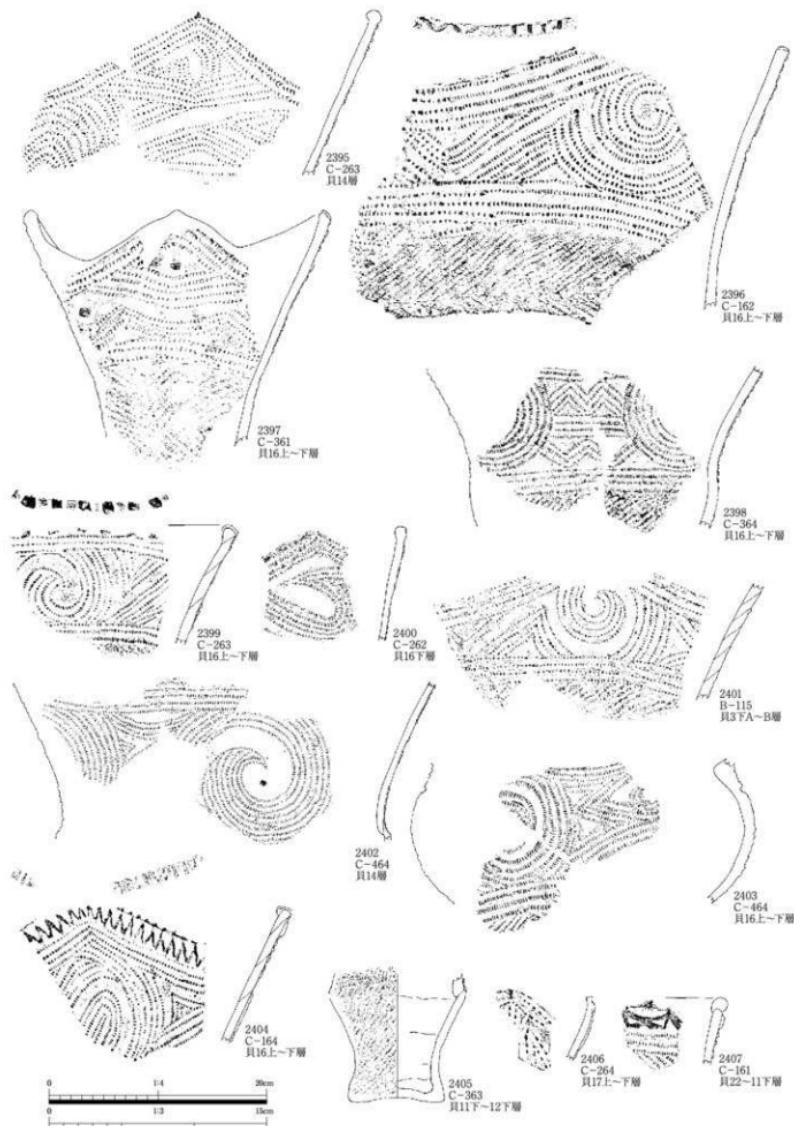


第205図 B+C地区 貝層 縄文土器 19 (2364・2366~2380 1/3, 2363・2365 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物



第206図 B・C地区 貝層 繩文土器 20 (1/3)

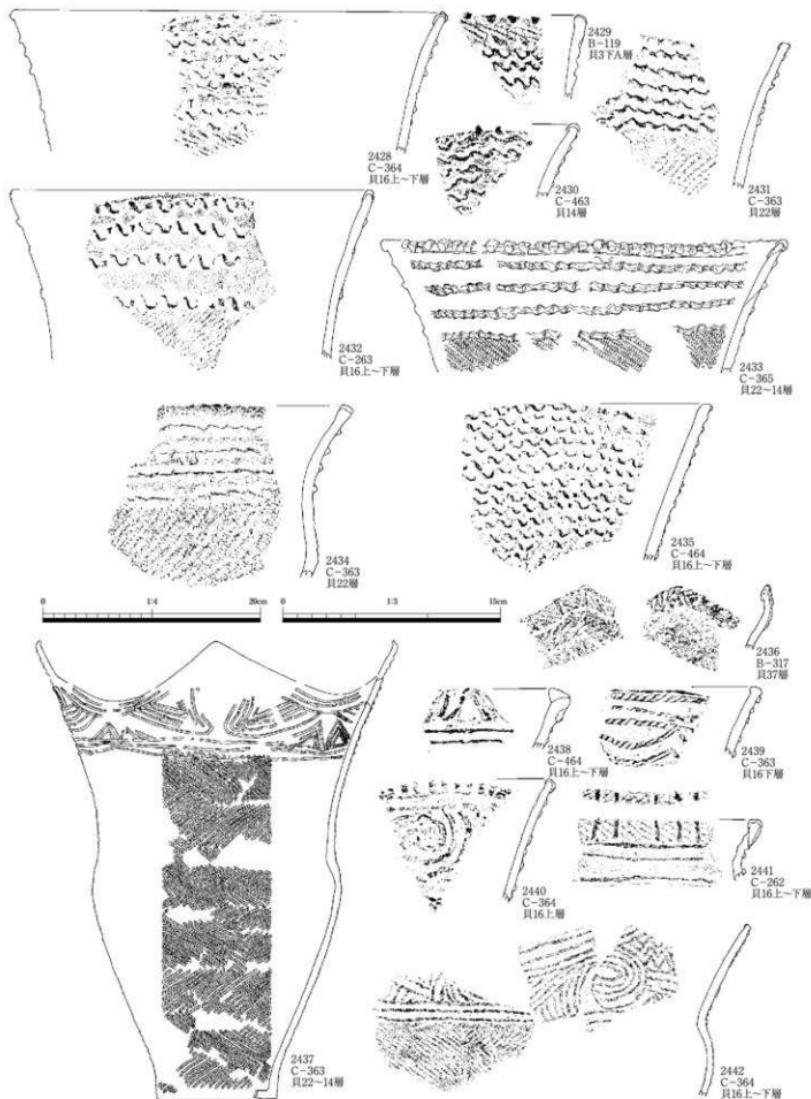


第207図 B・C地区 貝層 繩文土器 21 (2395~2401・2403~2407 1/3, 2402 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物



第208図 B・C地区 貝層 繩文土器 22 (2408~2412・2414~2427 1/3, 2413 1/4)



第209図 B・C地区 貝層 縄文土器 23 (2428~2436・2438~2441 1/3, 2437・2442 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

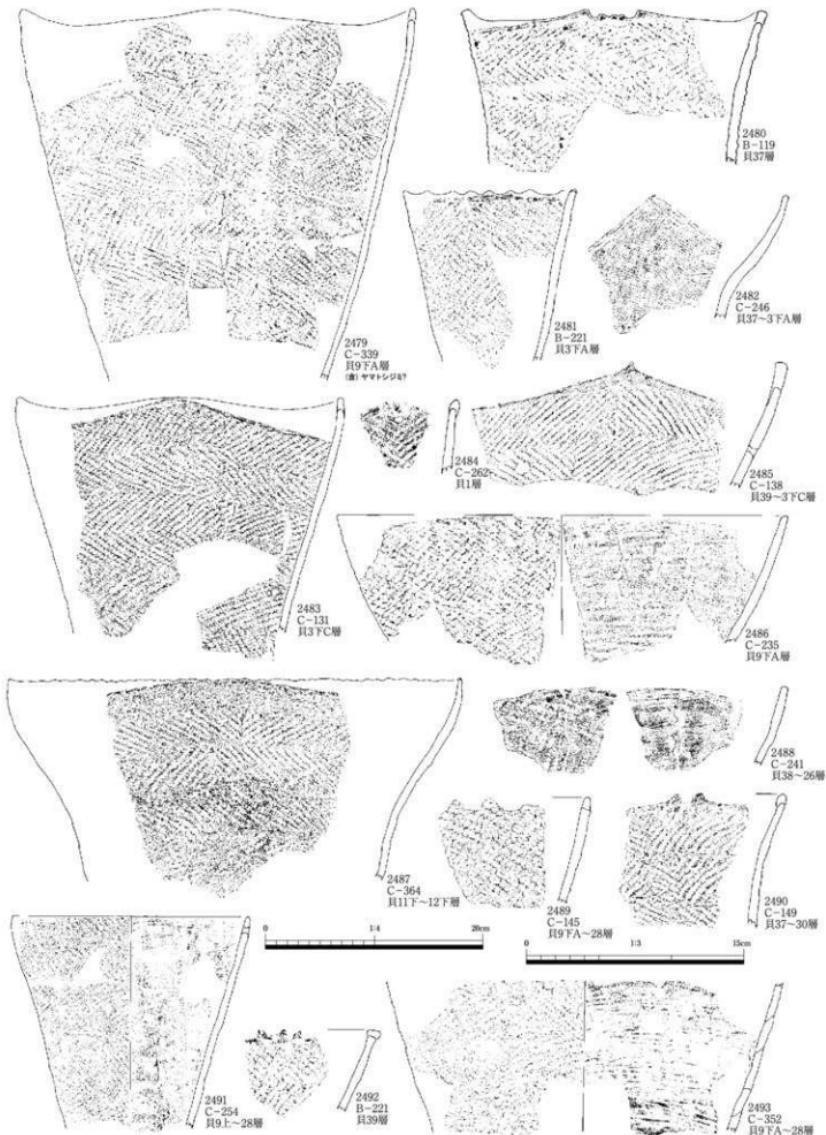


第210図 B・C地区 貝層 繩文土器 24 (2444~2462・2464 1/3, 2443・2463 1/4)

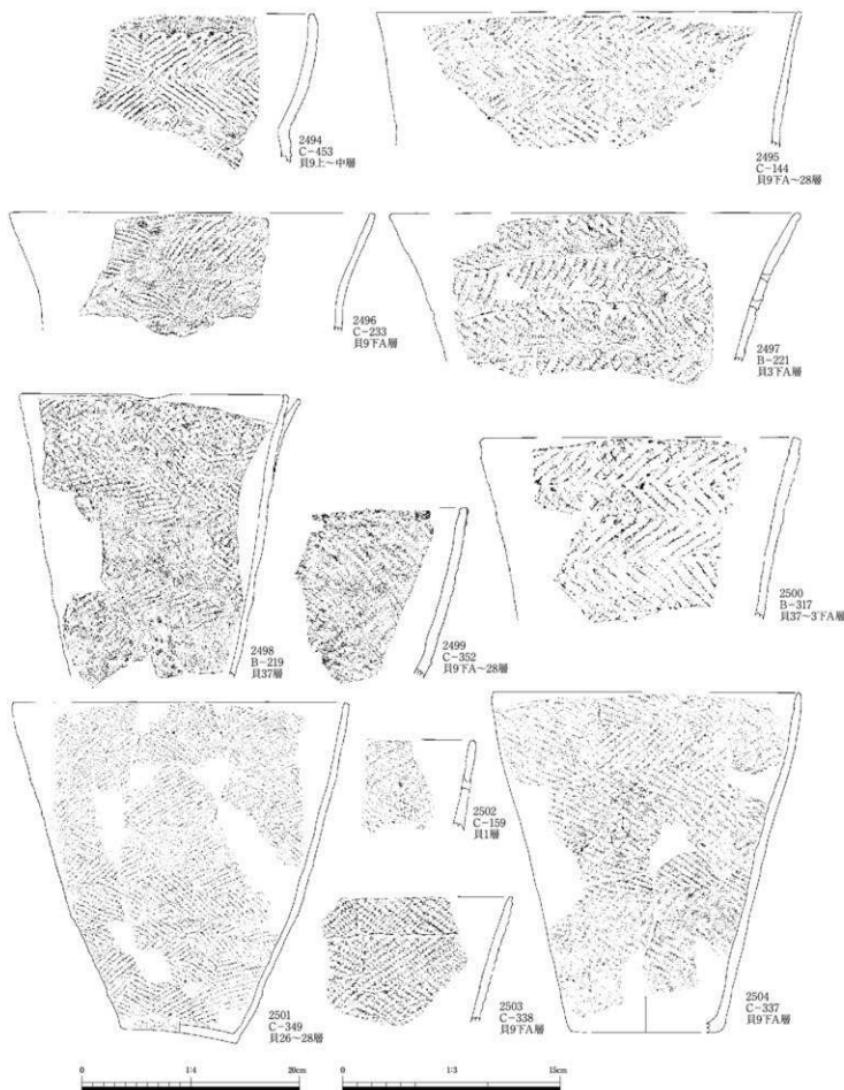


第211図 B・C地区 貝層 桜文土器 25 (2465~2473・2475~2478 1/3, 2474 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

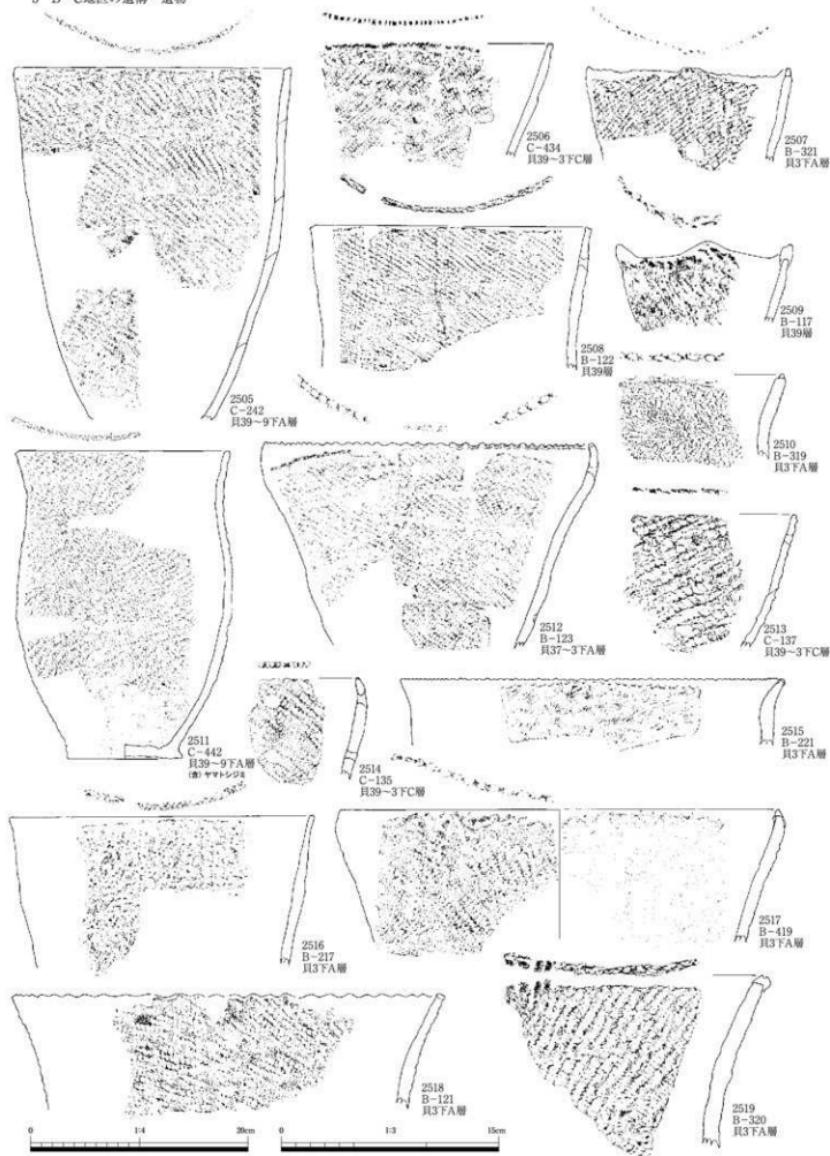


第212図 B・C地区 貝層 繩文土器 26 (2480~2482・2484~2486・2488~2490・2492・2493 1/3.
2479・2483・2487・2491 1/4)

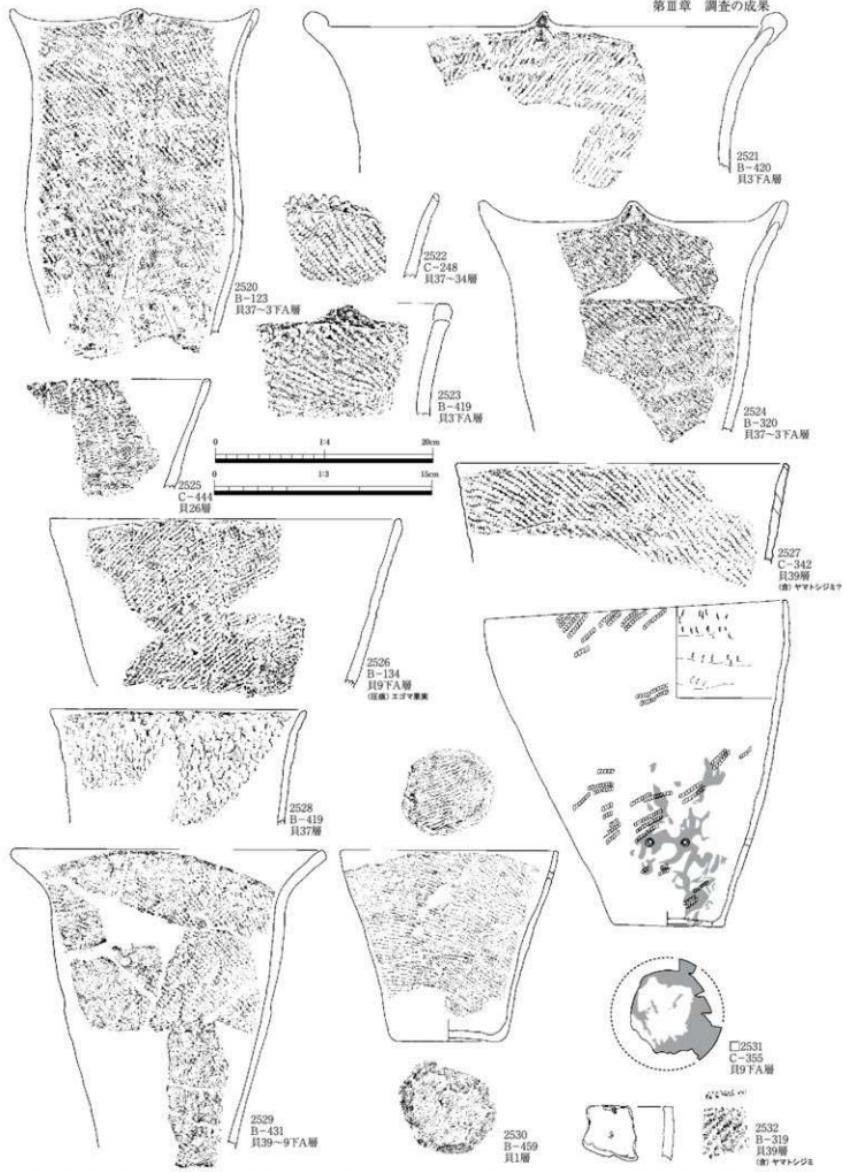


第213図 B・C地区 貝層 繩文土器 27 (2494~2496・2499・2500・2502~2504 1/3, 2497・2498・2501 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

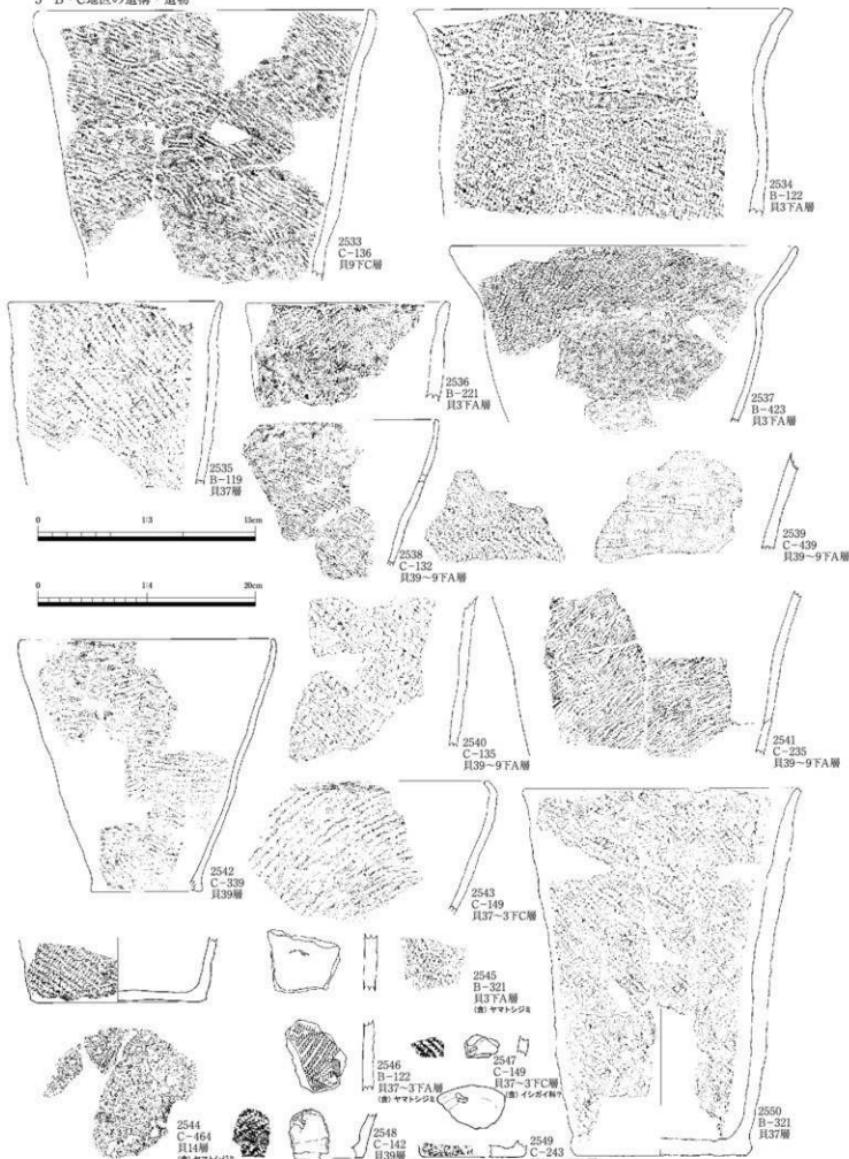


第214図 B・C地区 貝層 繩文土器 28 (2505~2507・2509・2510・2513~2519 1/3, 2508・2511・2512 1/4)

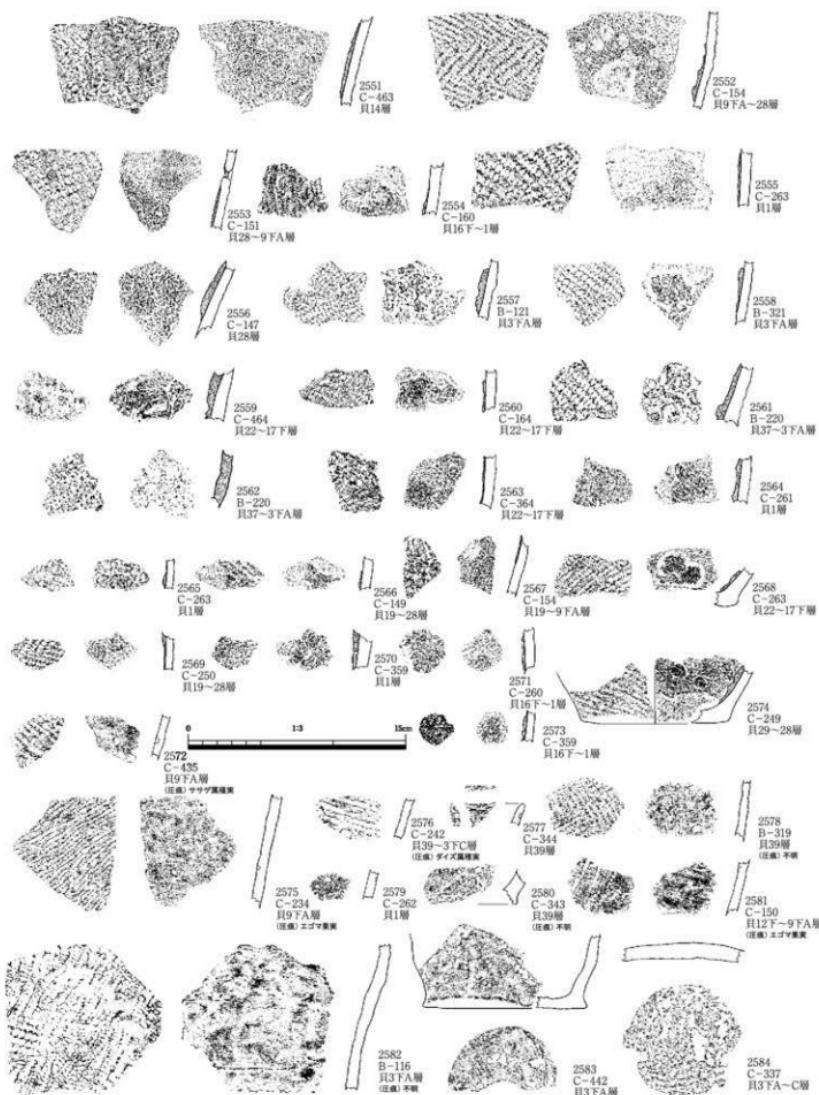


第215図 B・C地区 貝層 繩文土器 29 (2521~2523・2525~2529・2531 1/3, 2520・2524・2530・2531 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

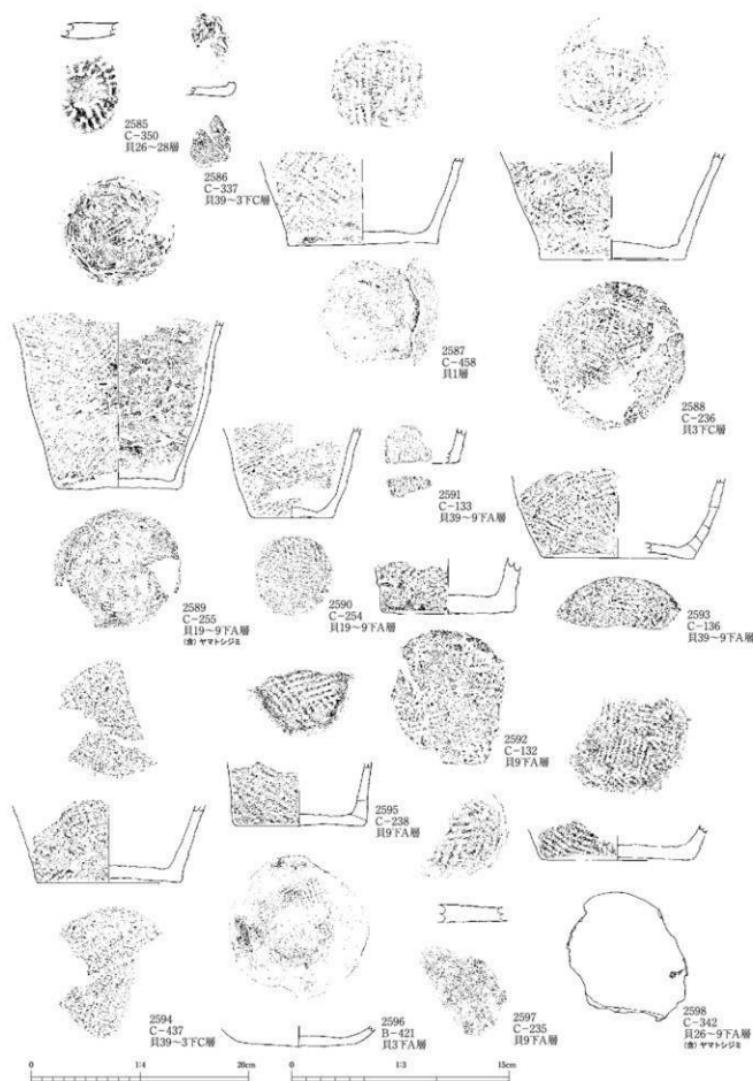


第216図 B・C地区 貝層 繩文土器 30 (2533～2536・2538～2541・2543・2545・2550 1/3, 2537・2542 1/4)
304

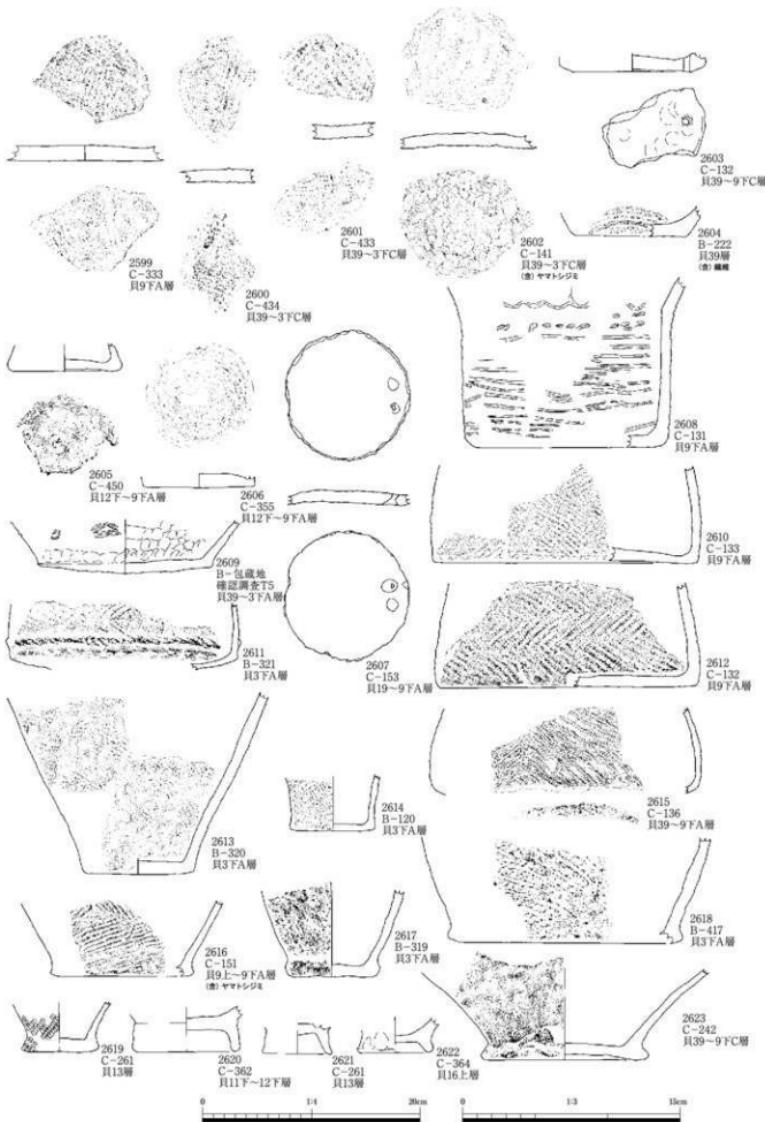


第217図 B・C地区 貝層 繩文土器 31 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

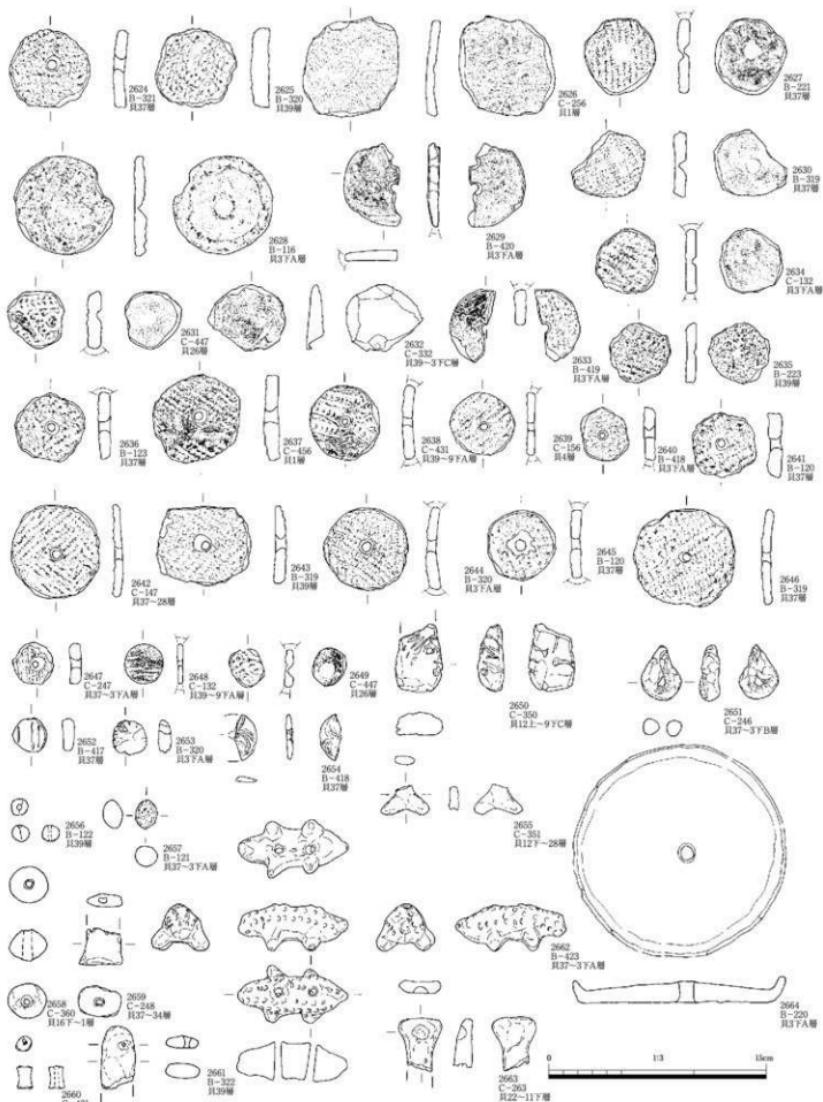


第218図 B・C地区 貝層 繩文土器 32 (2585~2588・2591~2598 1/3, 2589・2590 1/4)

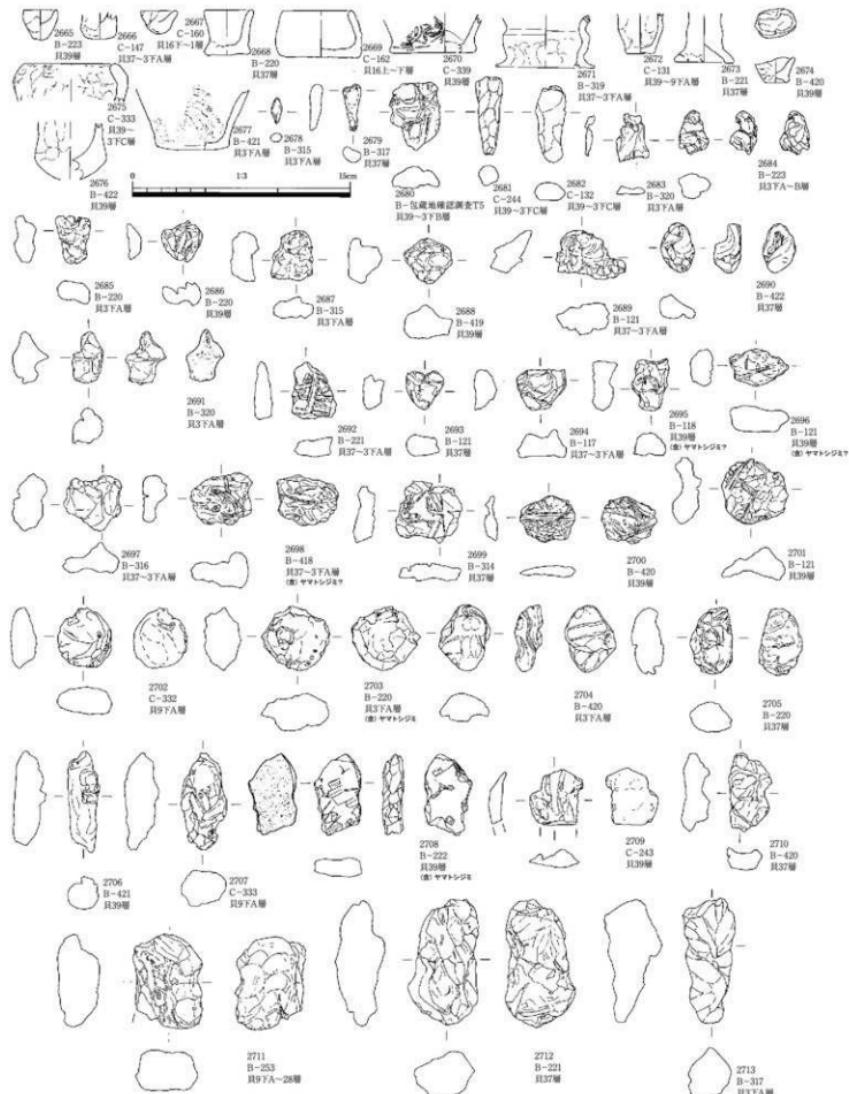


第219図 B・C地区 貝層 繩文土器 33 (2599~2612・2614~2623 1/3, 2613 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

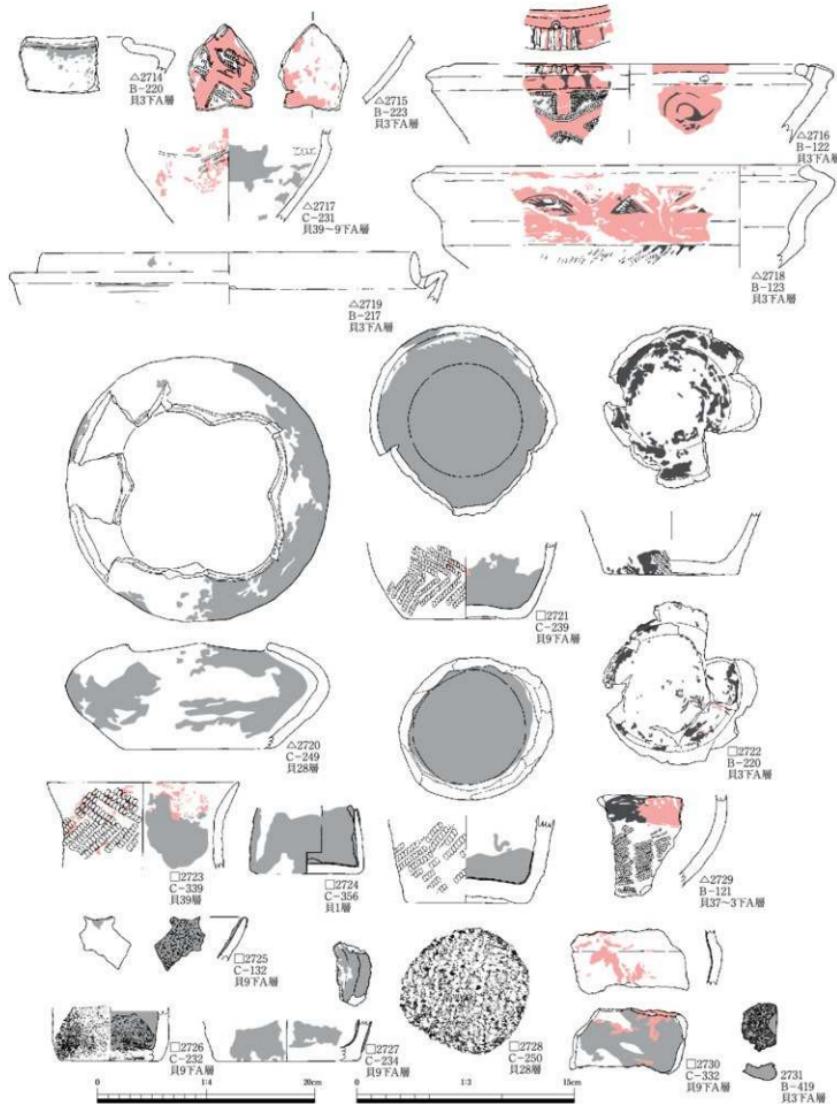


第 220 図 B・C 地区 目層 土製品 1 (1/3)

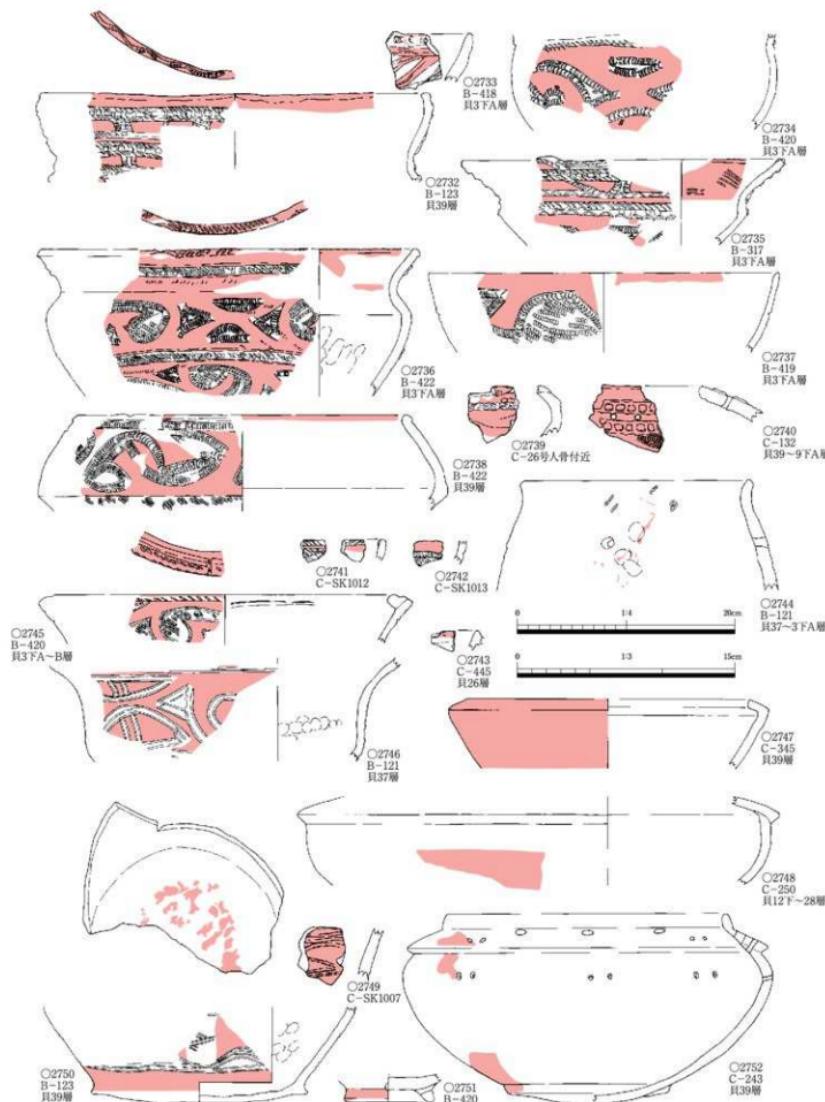


第221図 B・C地区 貝層 土製品2 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

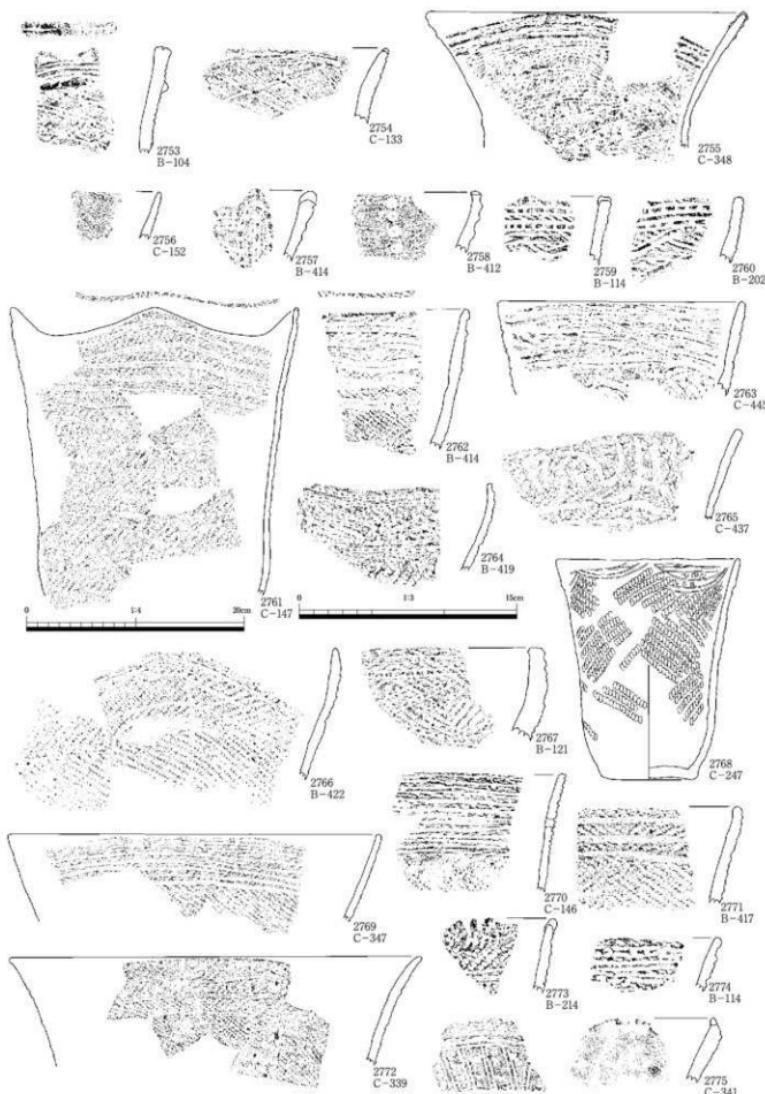


第222図 B・C地区 貝層 漆塗土器・漆液土器 (2714~2721・2723~2731 1/3, 2722 1/4)



第223図 B・C地区 貝層 赤彩土器 (2732~2744・2746・2747・2749~2752 1/3, 2745・2748 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

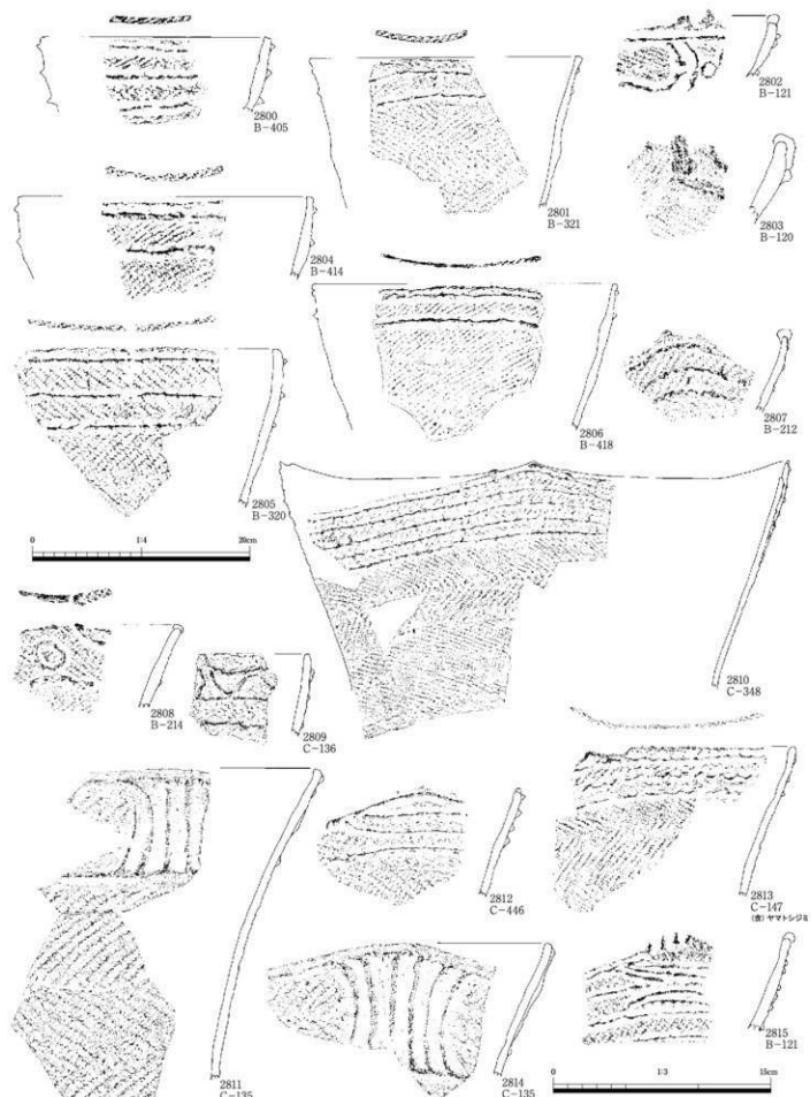


第224図 B・C地区 IIb層～IIIa層 縄文土器 1 (2753～2760・2762～2768・2770・2771・2773～2775 1/3.
2761・2769・2772 1/4)

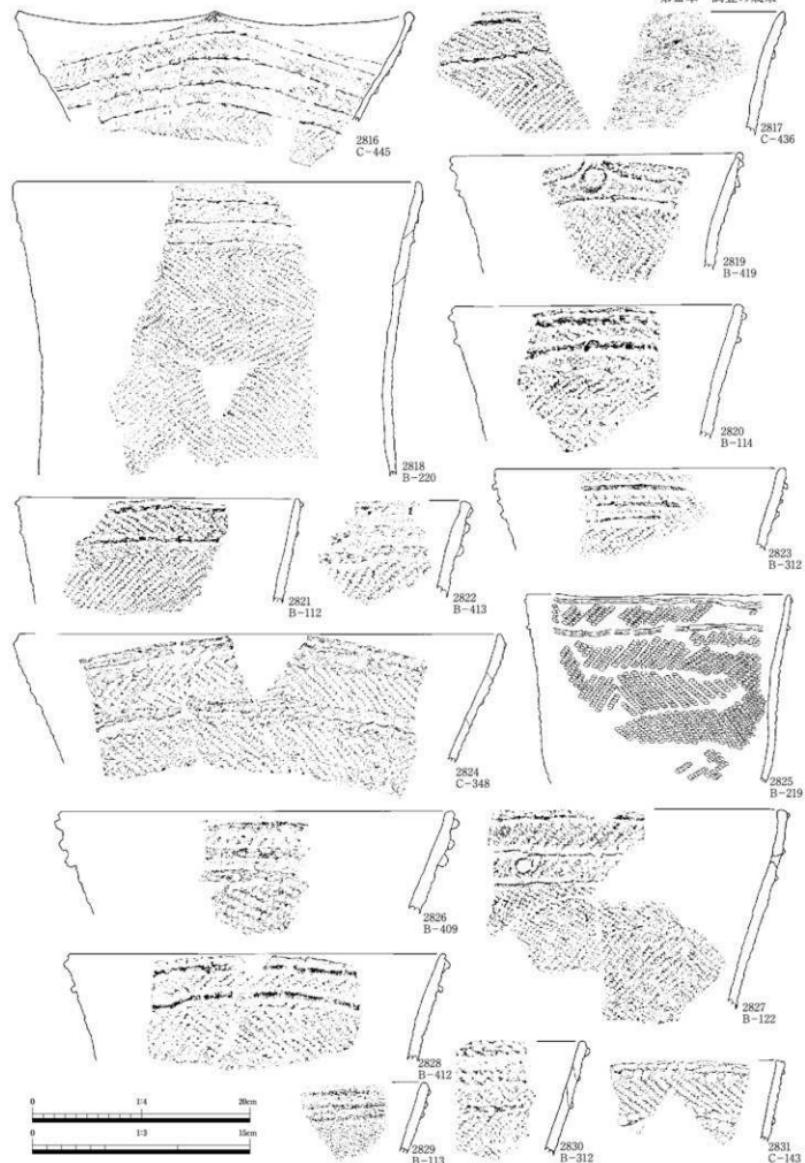


第225図 B・C地区 IIb層～IIIa層 縄文土器2 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



第226図 B・C地区 IIb層～IIIa層 繩文土器3 (2800・2802～2805・2807～2809・2811～2815 1/3,
2801・2806・2810 1/4)

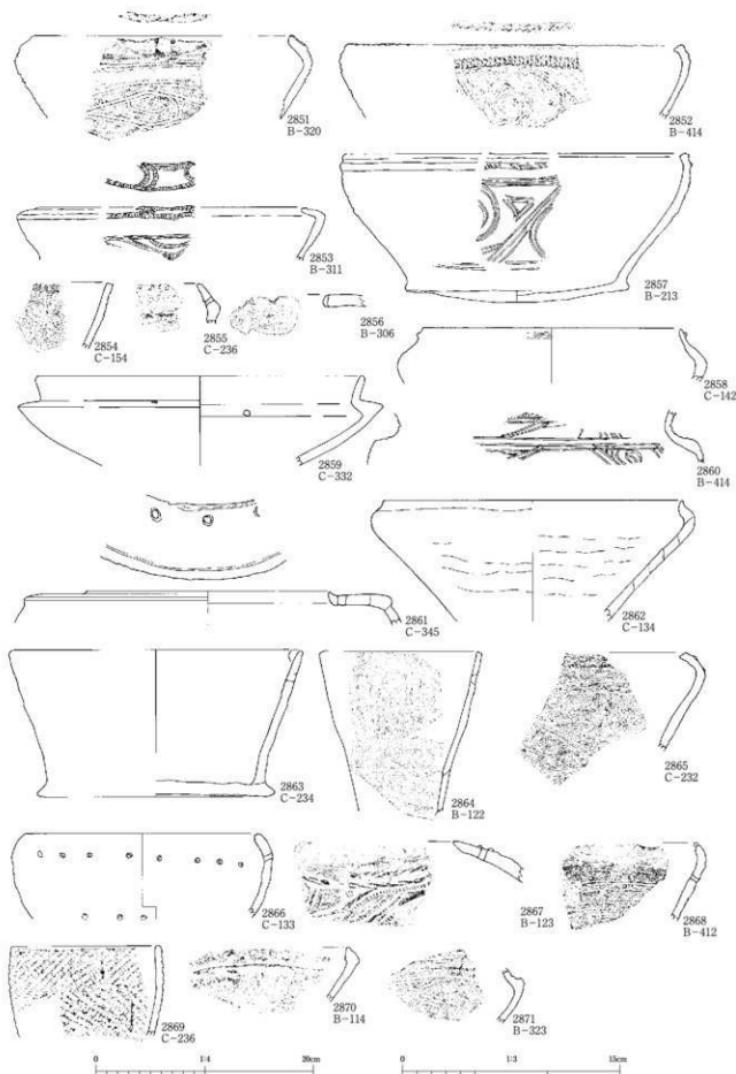


第227図 B・C地区 IIb層～IIIa層 縄文土器 4 (2817~2831 1/3, 2816~2825 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

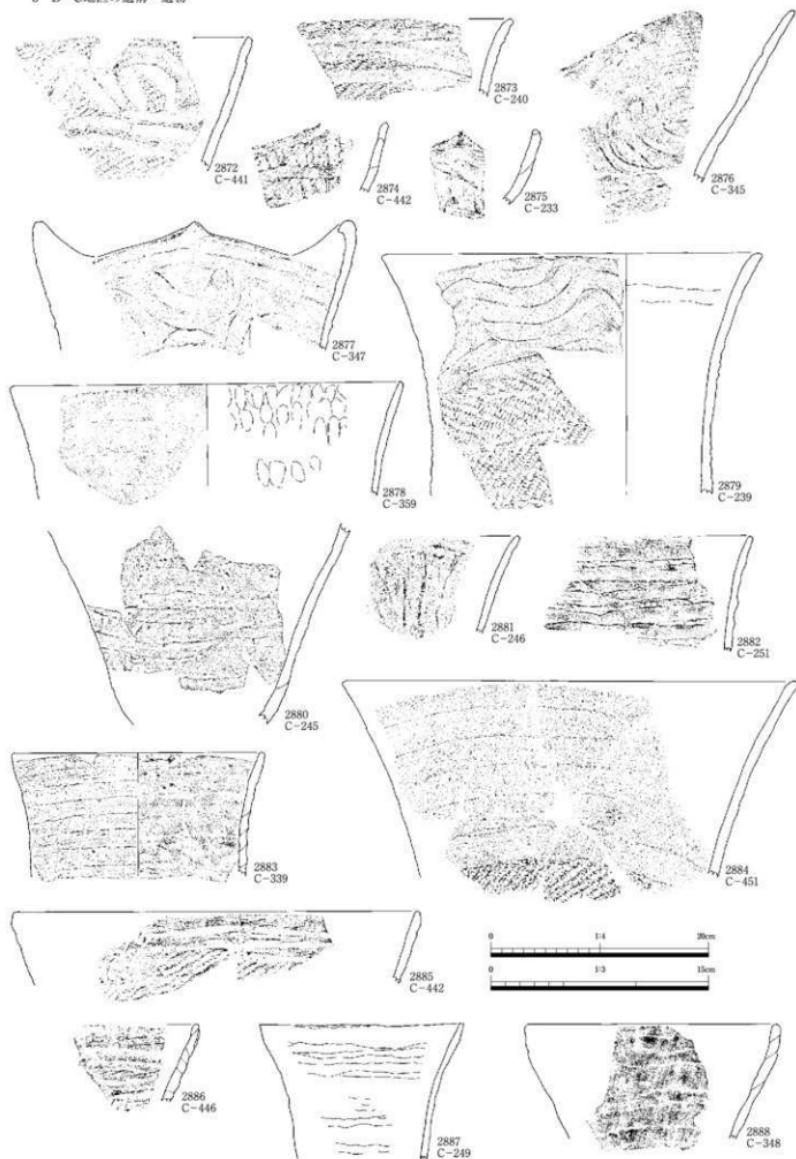


第228図 B・C地区 IIb層～IIIa層 純文土器5 (2832～2847・2850 1/3, 2848・2849 1/4)



第229図 B+C地区 IIb層～IIIa層 繩文土器6 (2851～2860・2862～2871 1/3, 2861 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

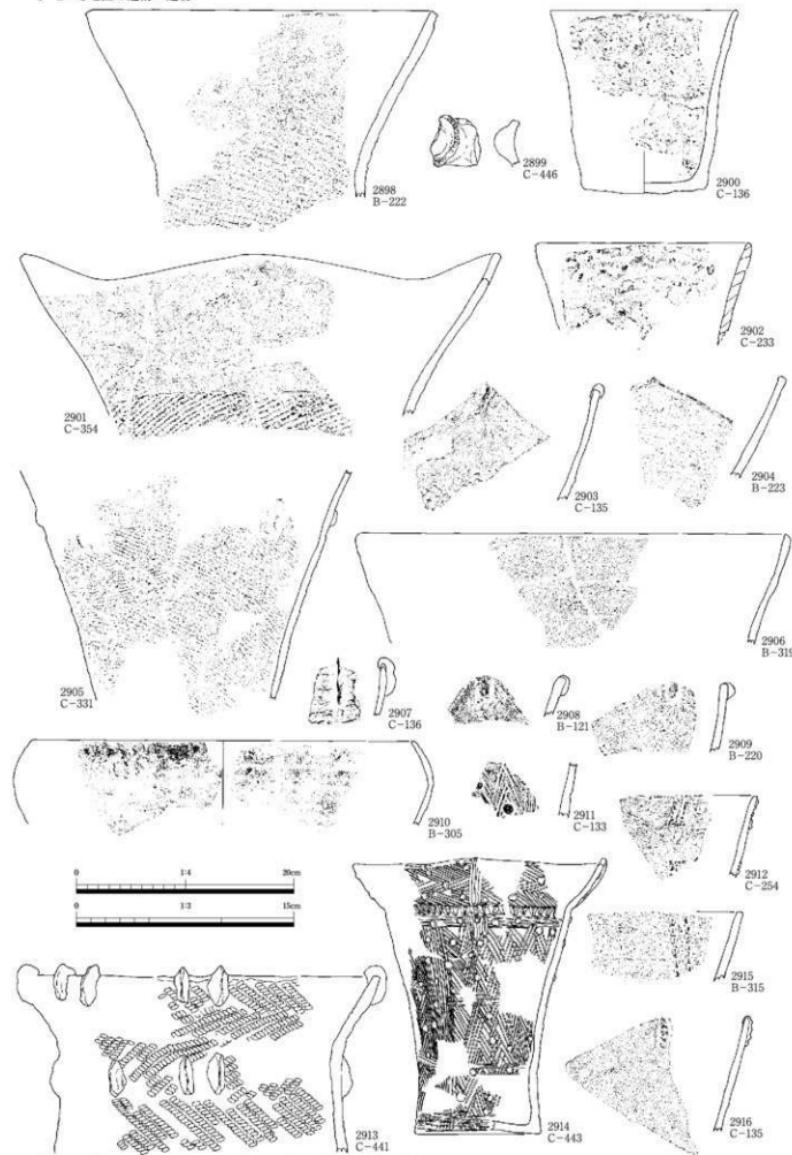


第230図 B・C地区 IIb層～IIIa層 繩文土器7 (2872～2877・2879～2888 1/3, 2878 1/4)

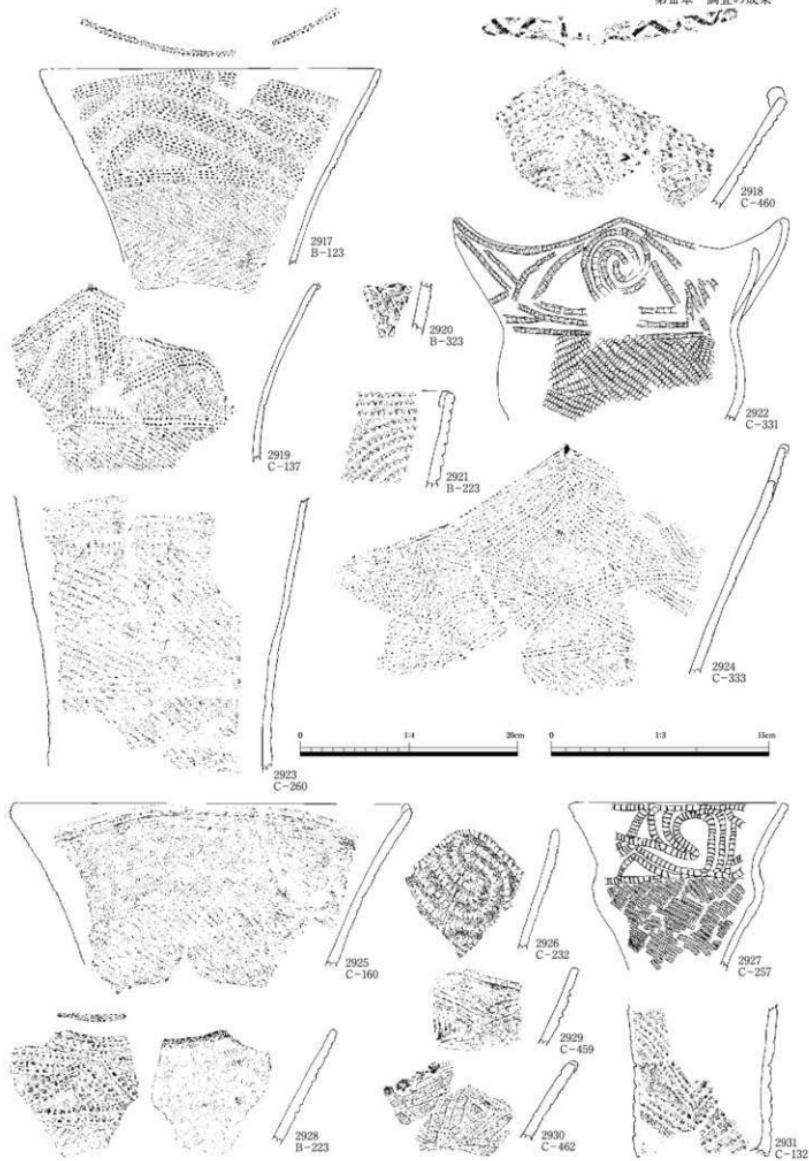


第231図 B・C地区 IIb層～IIIa層 繩文土器 8 (2889・2890・2893・2895・2896 1/3, 2891・2892・2894・2897 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

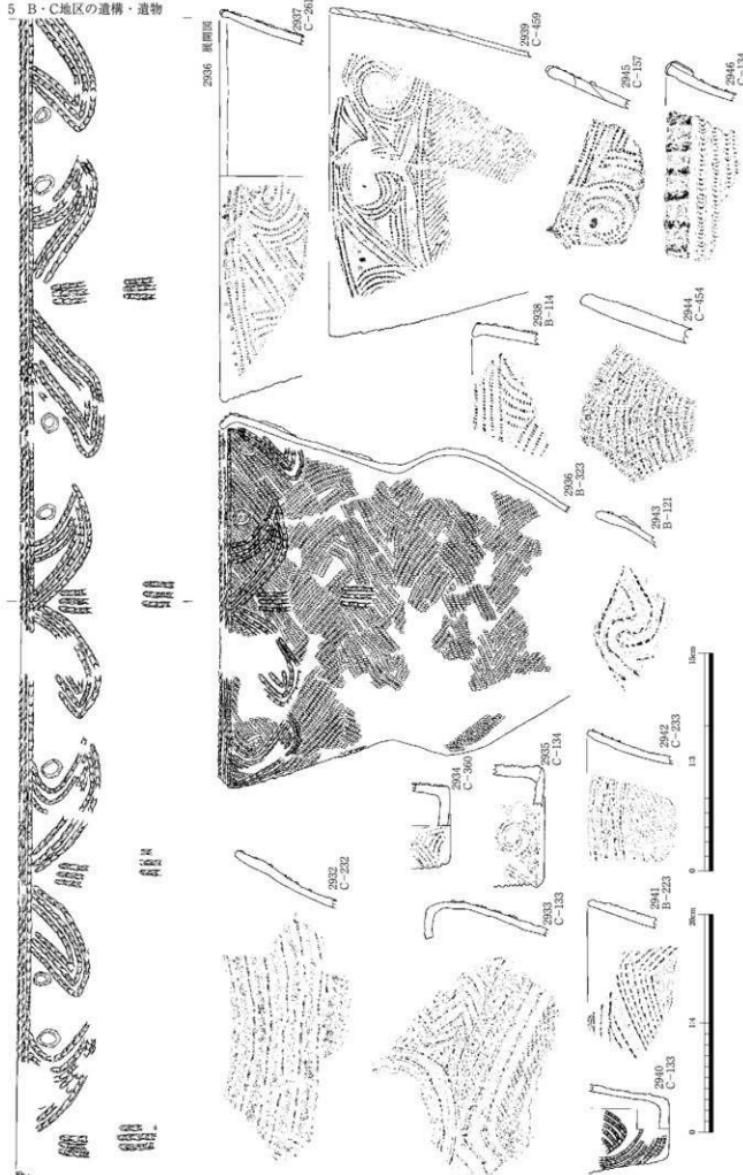


第232図 B・C地区 IIb層～IIIa層 繩文土器9 (2898~2904・2907~2909・2911~2913・2915・2916 1/3,
2905・2906・2910・2914 1/4)

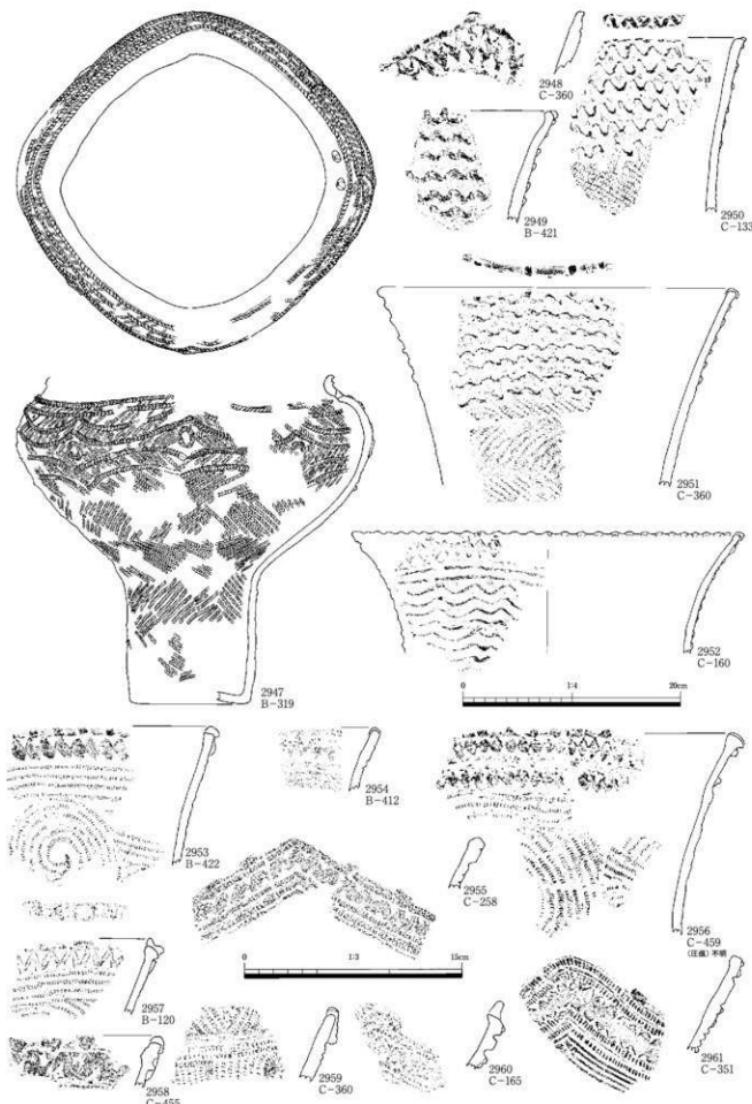


第233図 B・C地区 IIb層～IIIa層 縄文土器 10 (2918・2920～2931 1/3, 2917・2919 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

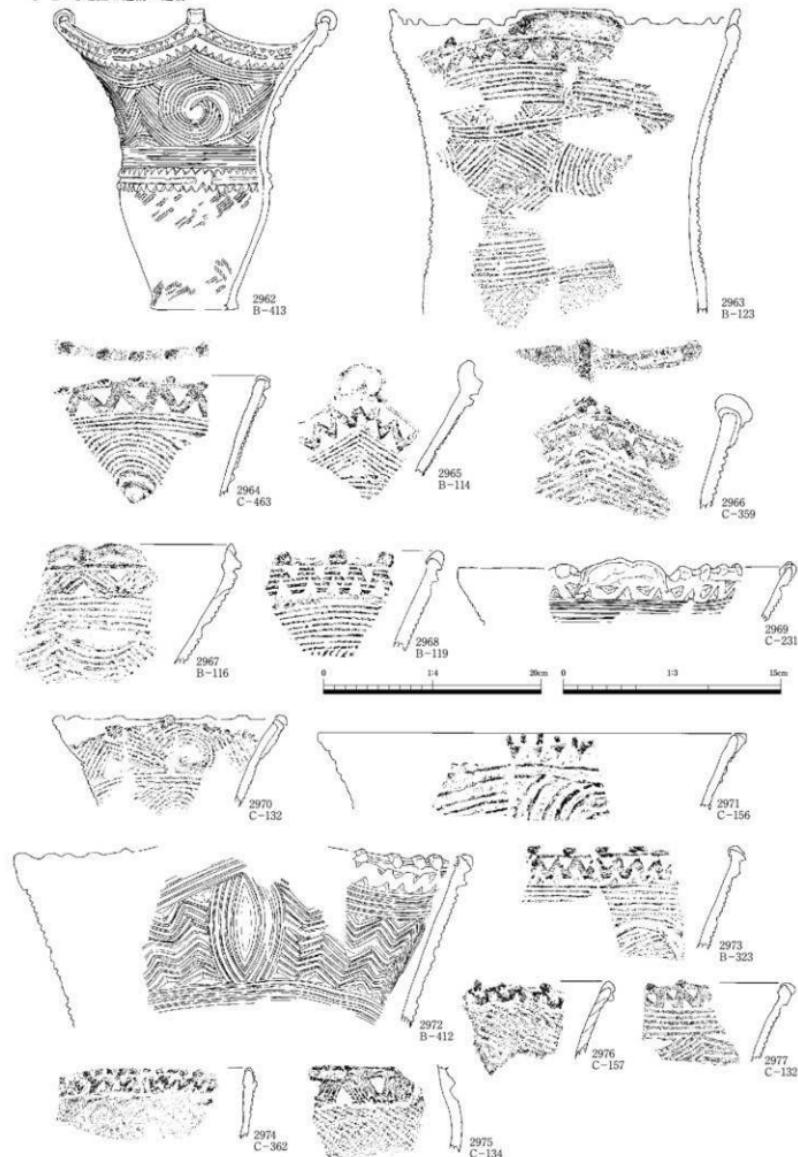


第234図 B・C地区 IIb層～IIIa層 縄文土器 11 (2932～2935・2938・2940～2946 1/3, 2936・2937・2939 1/4)
322

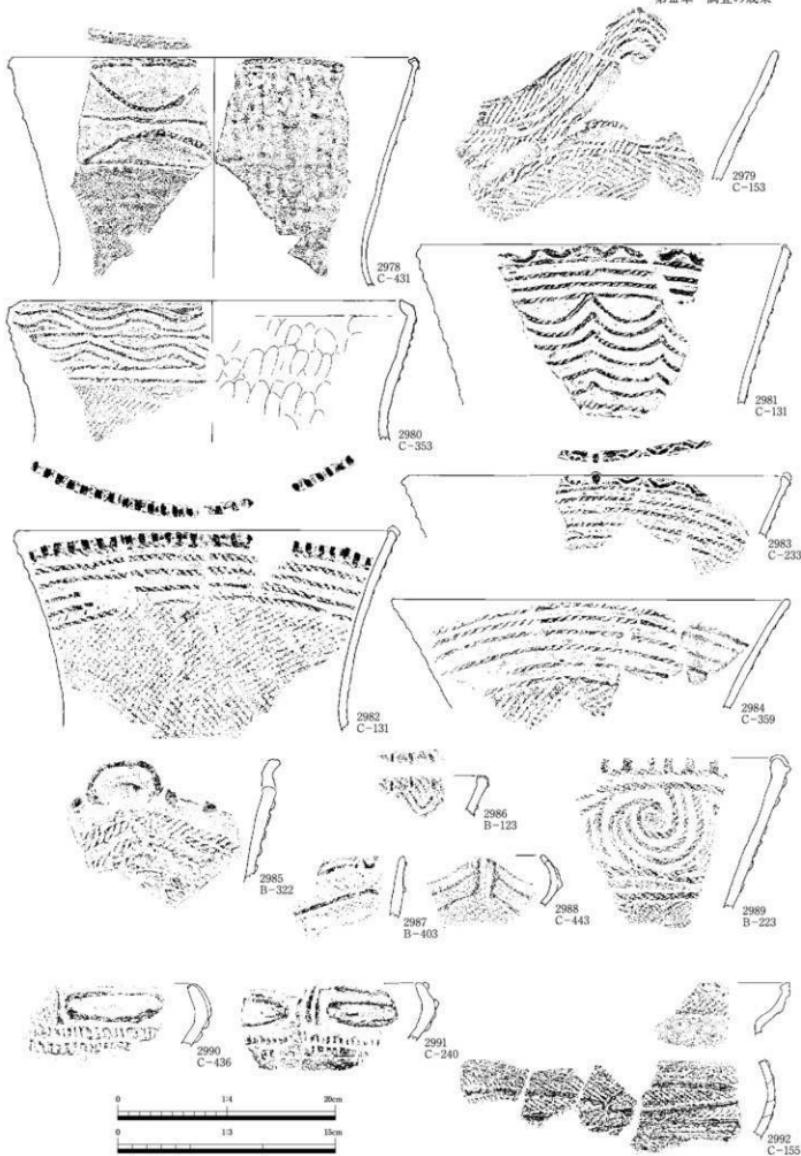


第235図 B・C地区 IIb層～IIIa層 繩文土器 12 (2948～2951・2953～2961 1/3, 2947・2952 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

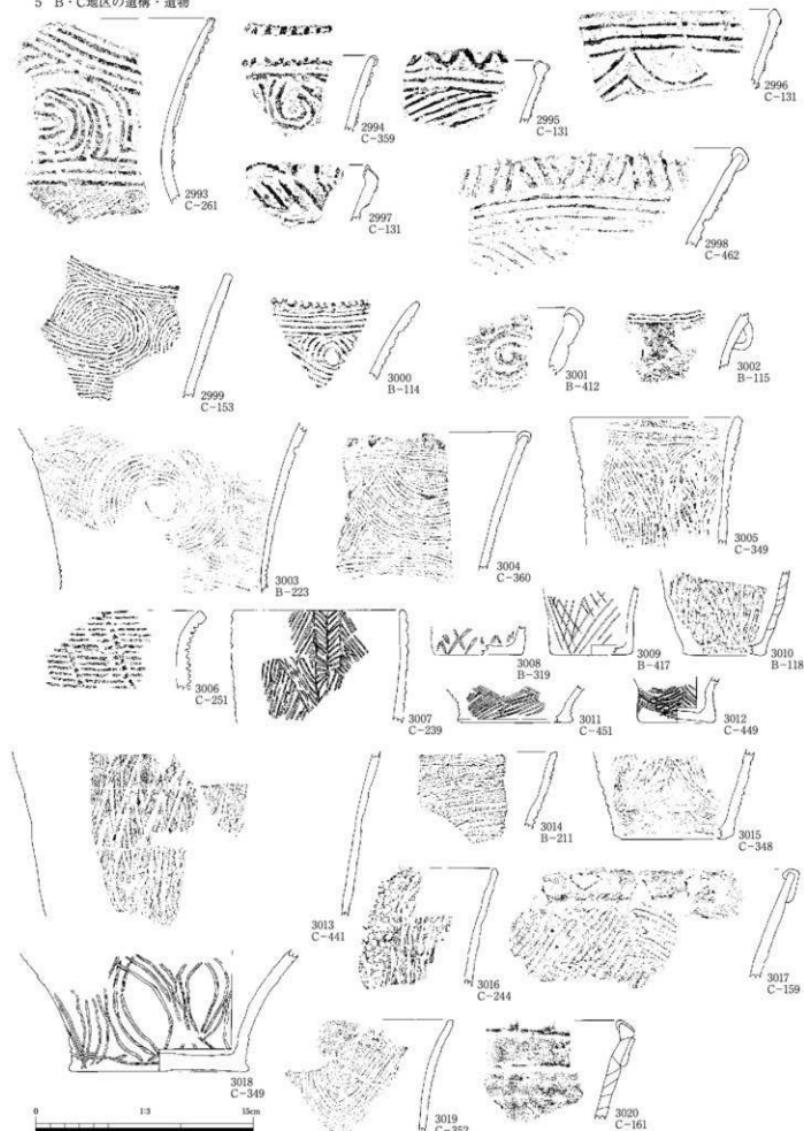


第236図 B・C地区 IIb層～IIIa層 純文土器 13 (2964～2977 1/3, 2962・2963 1/4)

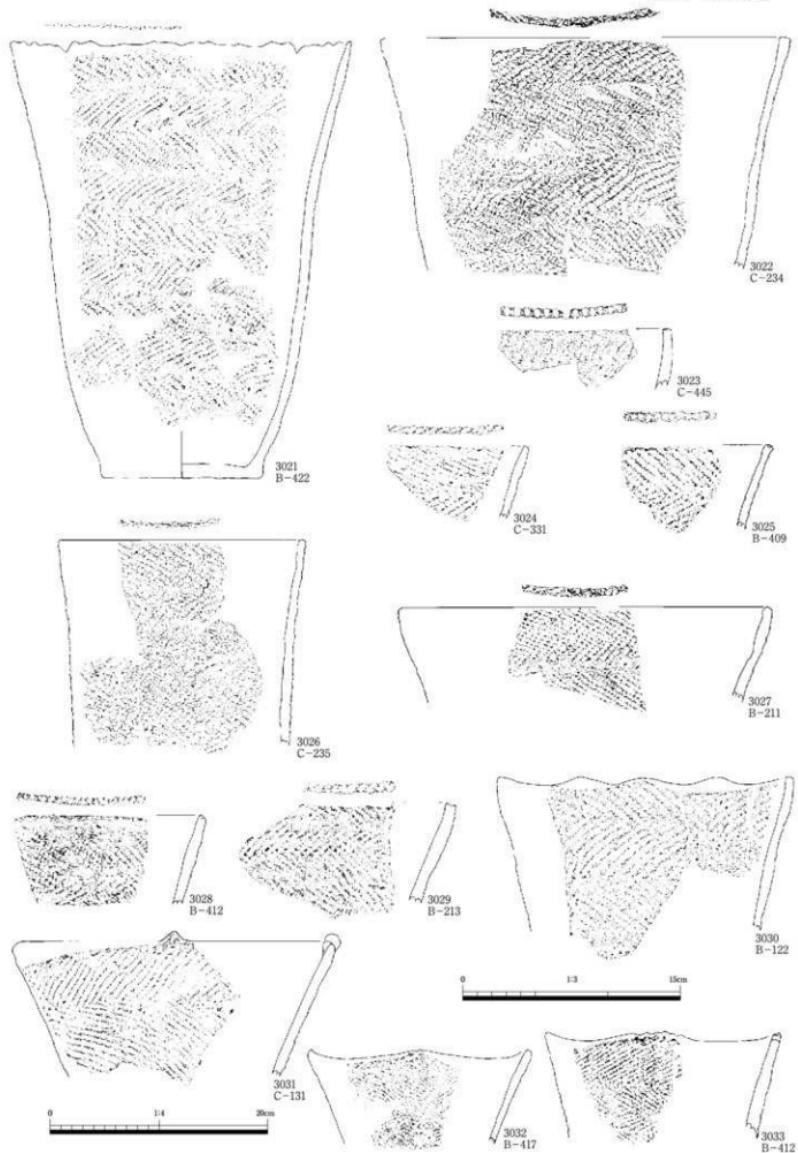


第237図 B・C地区 IIb層～IIIa層 縄文土器 14 (2979～2982・2984～2992 1/3, 2978・2983 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

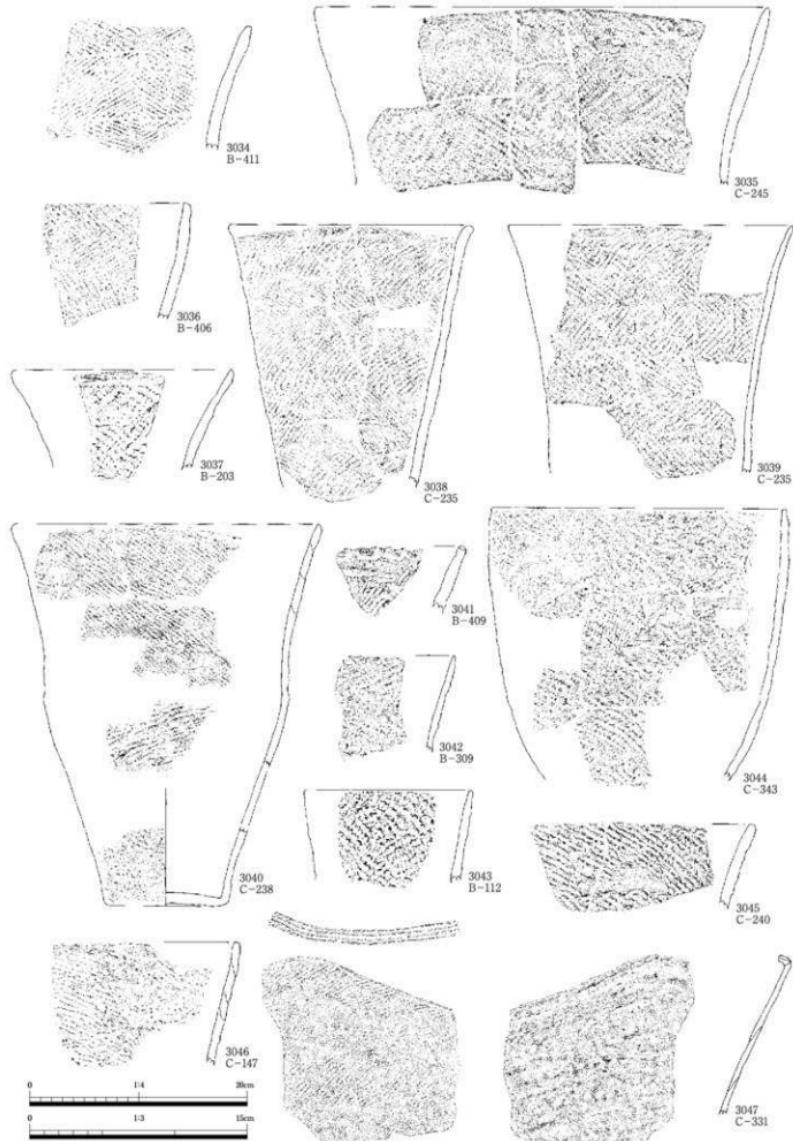


第238図 B・C地区 IIb層～IIIa層 純文土器 15 (1/3)

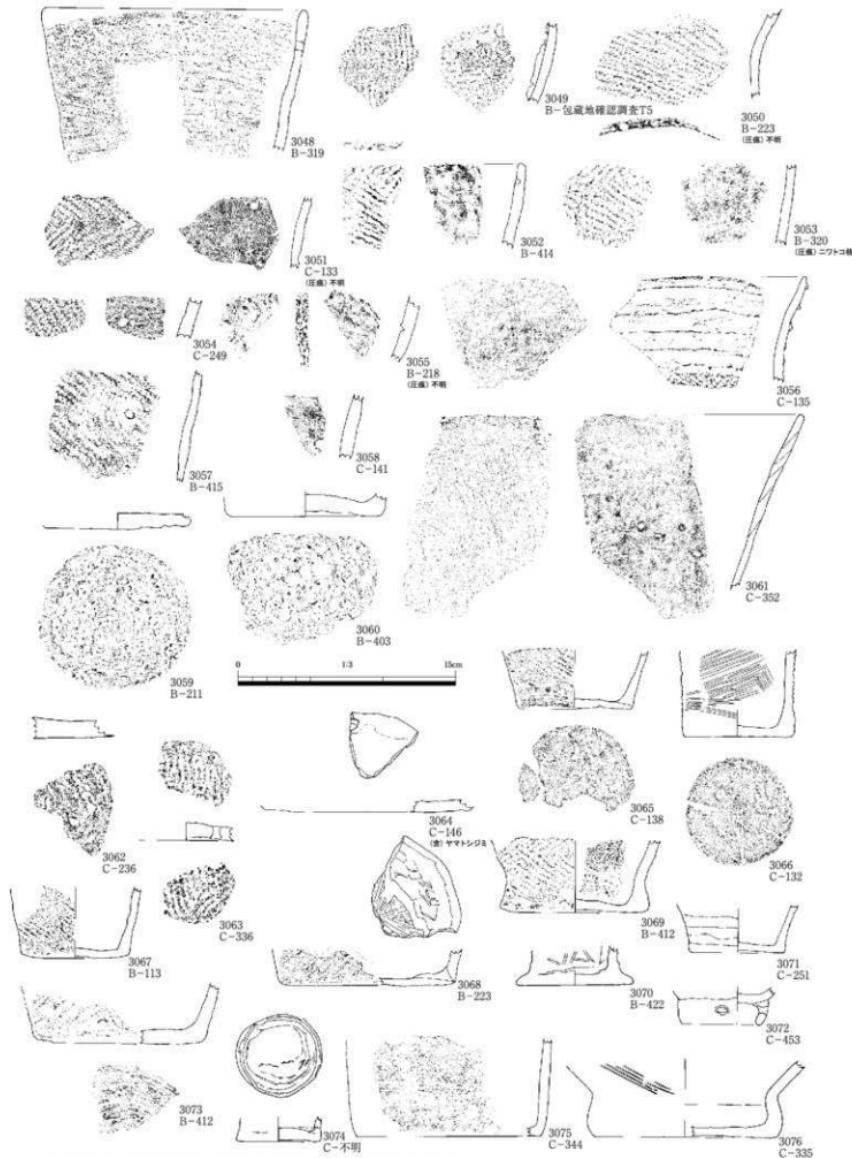


第239図 B・C地区 IIb層～IIIa層 縄文土器 16 (3022～3033 1/3, 3021 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

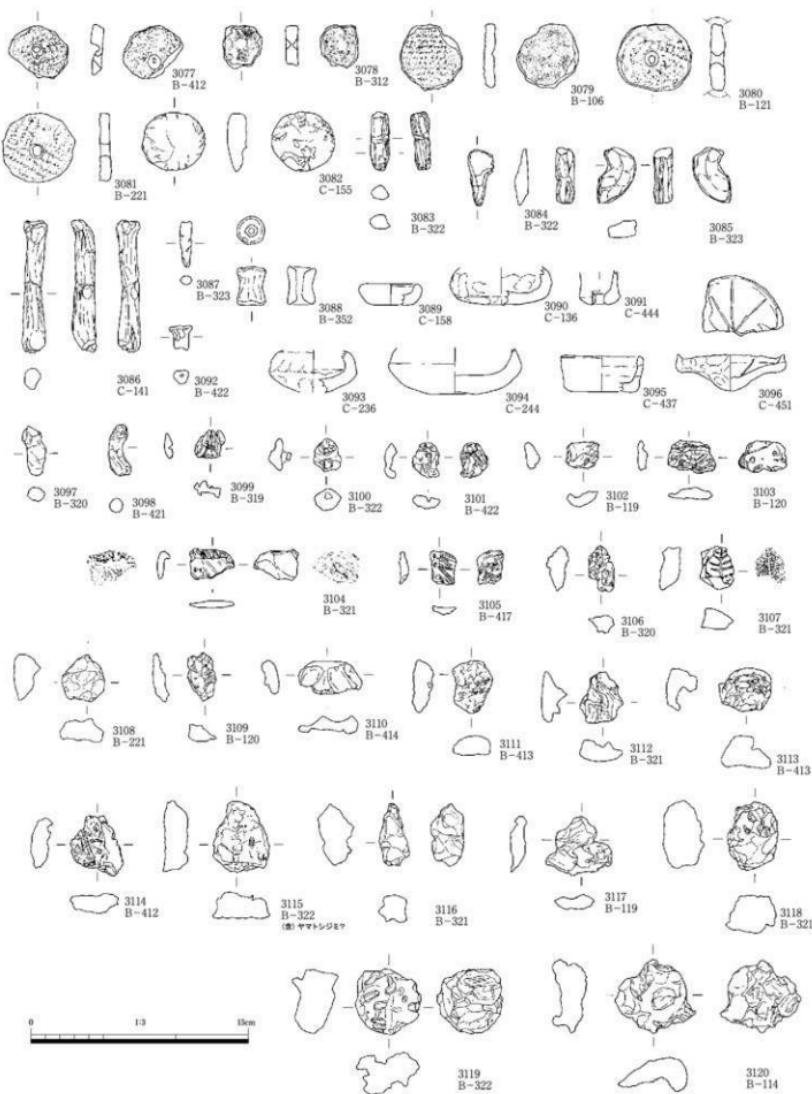


第240図 B・C地区 IIb層～IIIa層 純文土器 17 (3034～3037・3041～3046 1/3, 3038～3040・3047 1/4)

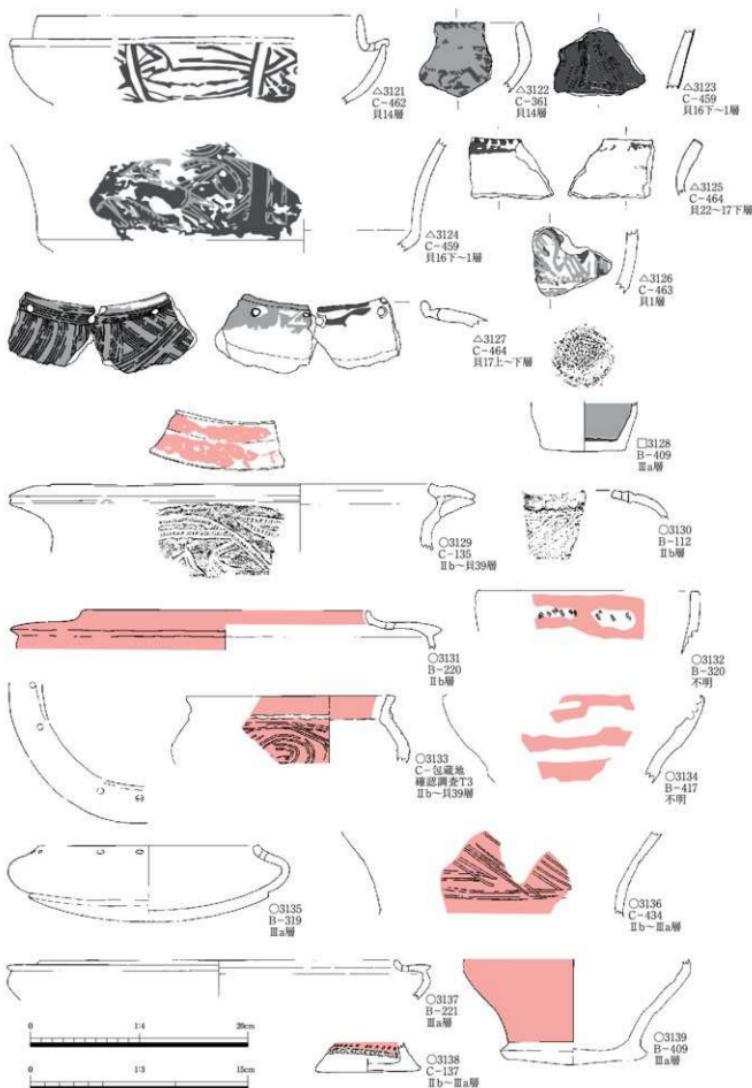


第241図 B・C地区 IIb層～IIIa層 繩文土器 18 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



第242図 B・C地区 IIb層～IIIa層 土製品 (1/3)



第243図 B・C地区 層～IIIa層 漆塗土器・漆液容器、赤彩土器 (3121～3130・3132～3134・3136～3139 1/3, 3131・3135 1/4)

第23表 B・C地区縄文土器一覧1

第23表 B・C地区縄文土器一覧2

表23 B・C地区縄文土器一覧 3

B·C 地区绳文土器一覽 4

B·C地区绳文土器一覽5

B·C地区刻文土器一覽 6

第23表 B・C地区綱文土器一覧7

表第23 B・C地区網文土器一覽 8

第 23 表 B・C 地区網文土器一覽 9

第23表 B·C地区製文主器一覧 10

卷之三十一

表23 B·C地区刻文土器一覽 12

5,23 表 B・C 地区縄文土器一覽 13

B·C 地区绳文土器一覽 14

第23表 B・C地区縄文土器一覧 15

第23表 B・C地区繩文土器一覽 16

第23表 B・C地区繩文土器一覽 17

表23 B・C地区縄文土器一覧 18

表 23 B·C 地区绳文土器一覽 19

B+C 地区綱文土器一覽 20
第 23 表

B・C地区郷文土器一章 21

表 B・C 地区縄文土器一覧 22

B·C 地区製文主器一覧 23

B·C地区綱文土器一覽 24

表 23 B・C 地区繩文土器一覧 25

B·C地区綱文土器一覽 26

第23表 B・C地区縄文土器一覧 27

第23表 B・C地区縄文土器一覧 28

B・C 地区土製品一覧 1

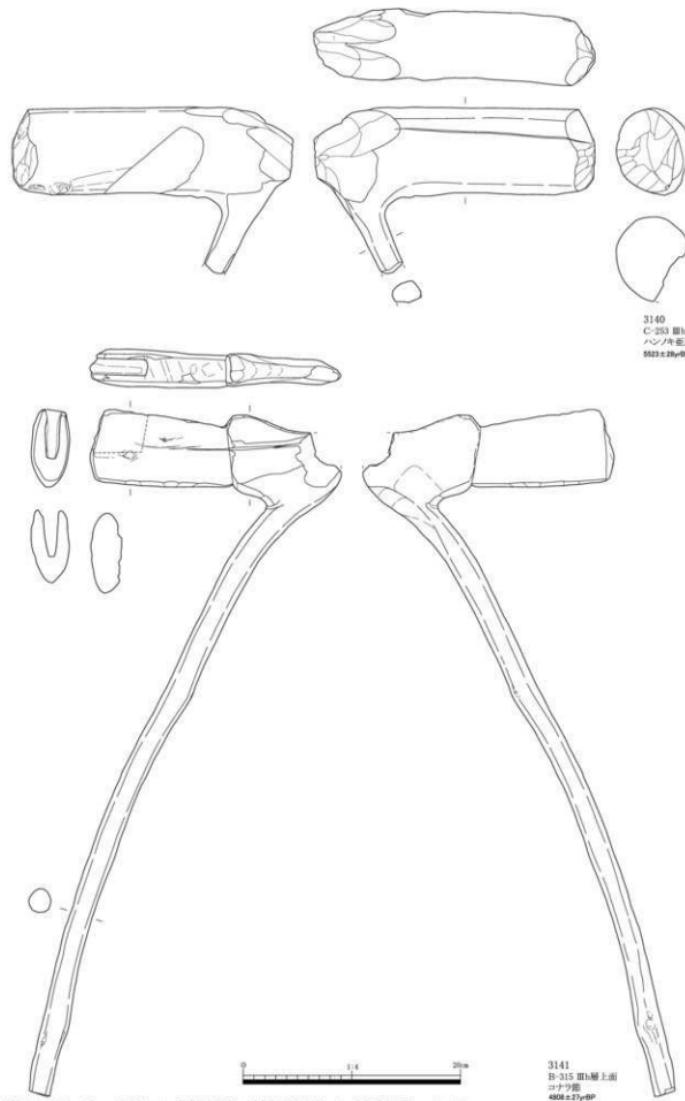
第24表 B・C地区土製品一覧2

第24表 B・C 地区土製品一覧 3

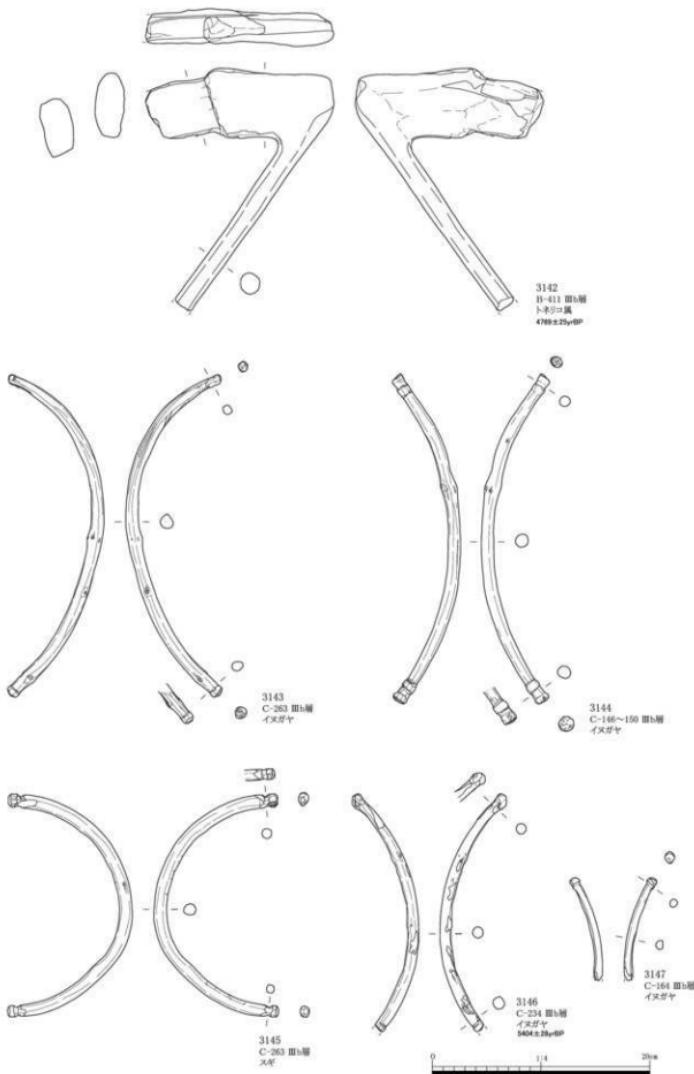
B・C 地区土製品一覧 4

表25 B・C地区漆製品一覧

5 B・C地区の遺構・遺物

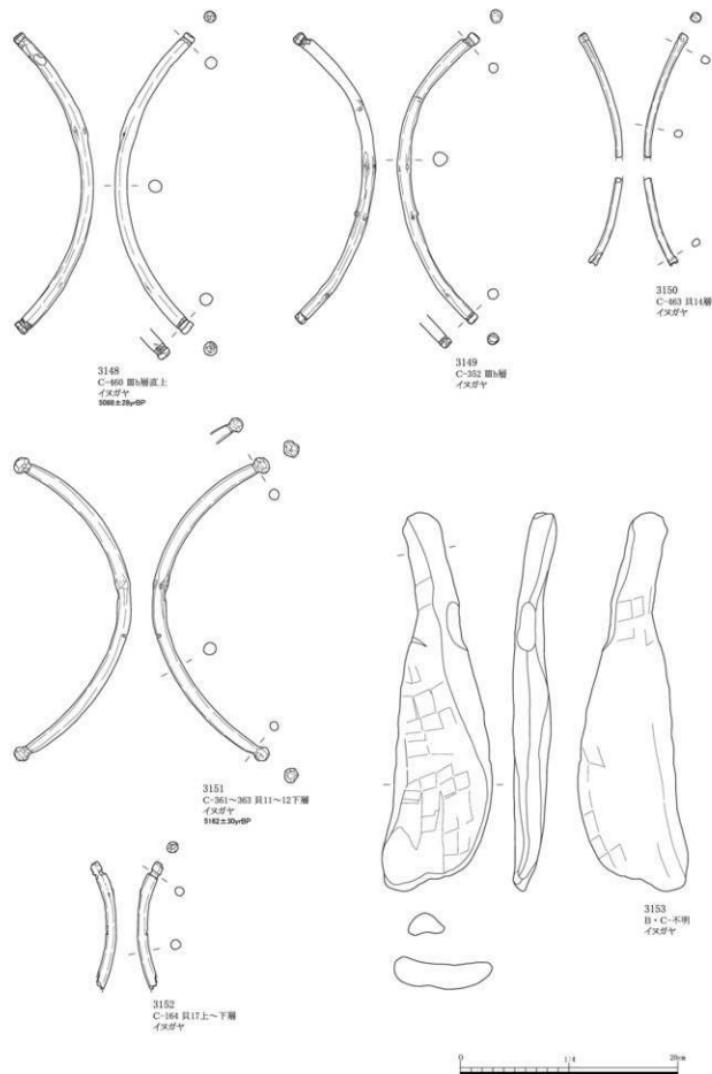


第244図 B・C地区 繩文時代 植物製造物1 (木製品) (1/4)



第245図 B・C地区 繩文時代 植物製造物2（木製品）（1/4）

5 B・C地区の遺構・遺物



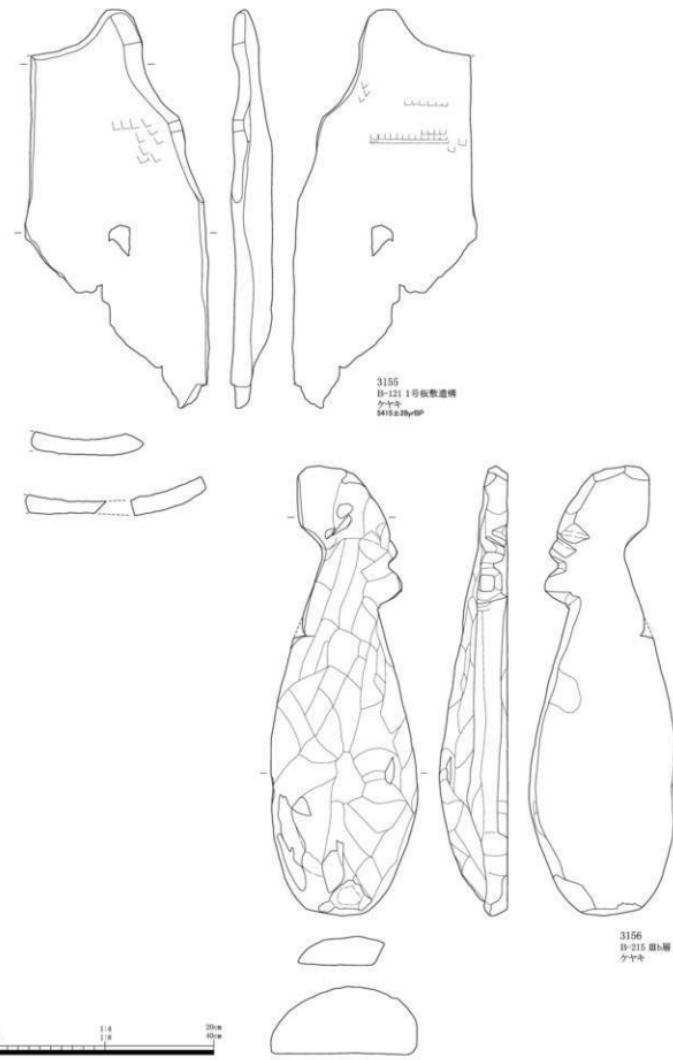
第246図 B・C地区 繩文時代 植物製造物3 (木製品) (1/4)



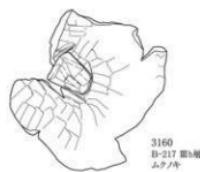
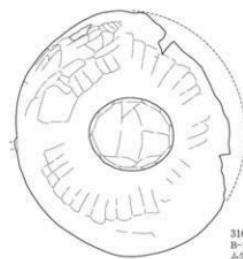
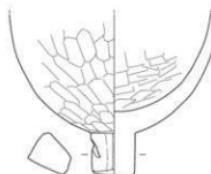
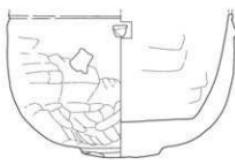
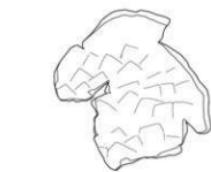
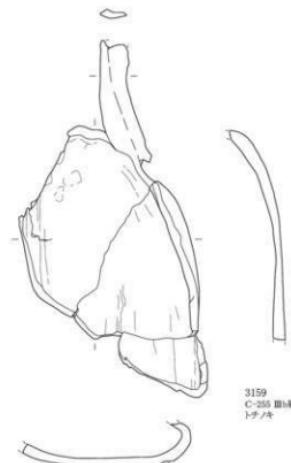
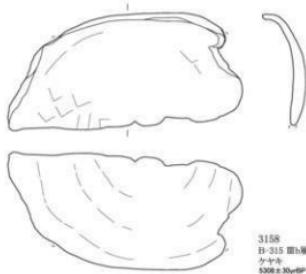
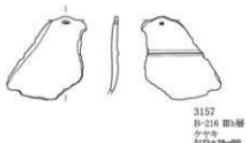
第247図 B・C地区 繩文時代 植物製造物4（木製品）（1/8）

3154
B-117~217 2号板状遺構
1-チノキ
 $3301 \pm 27\text{cm}^3$

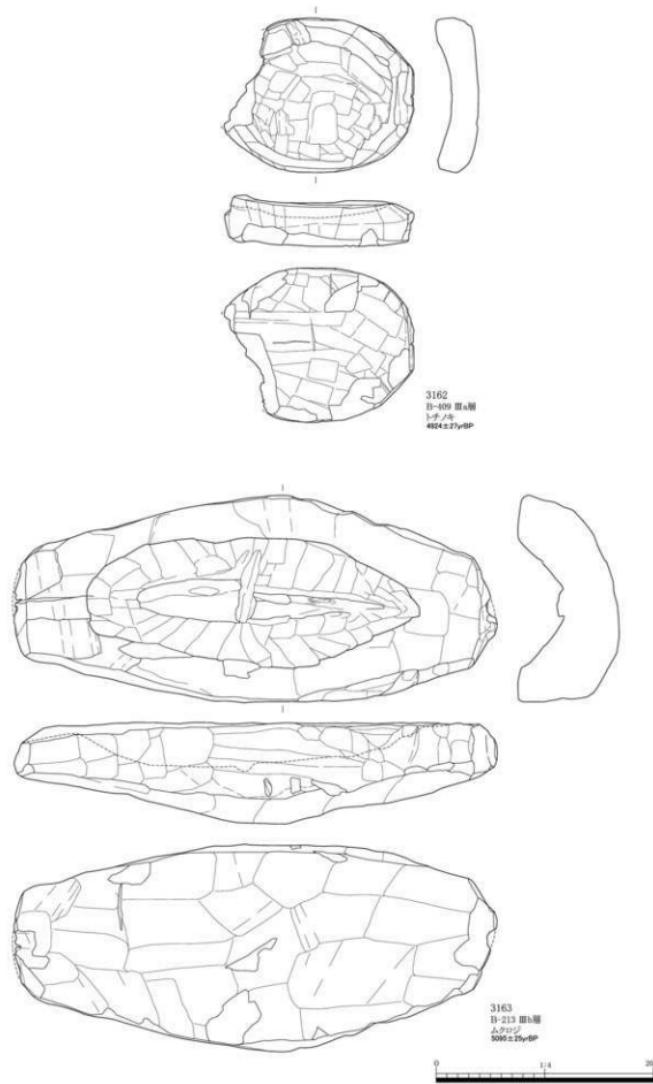
5 B・C地区の遺構・遺物



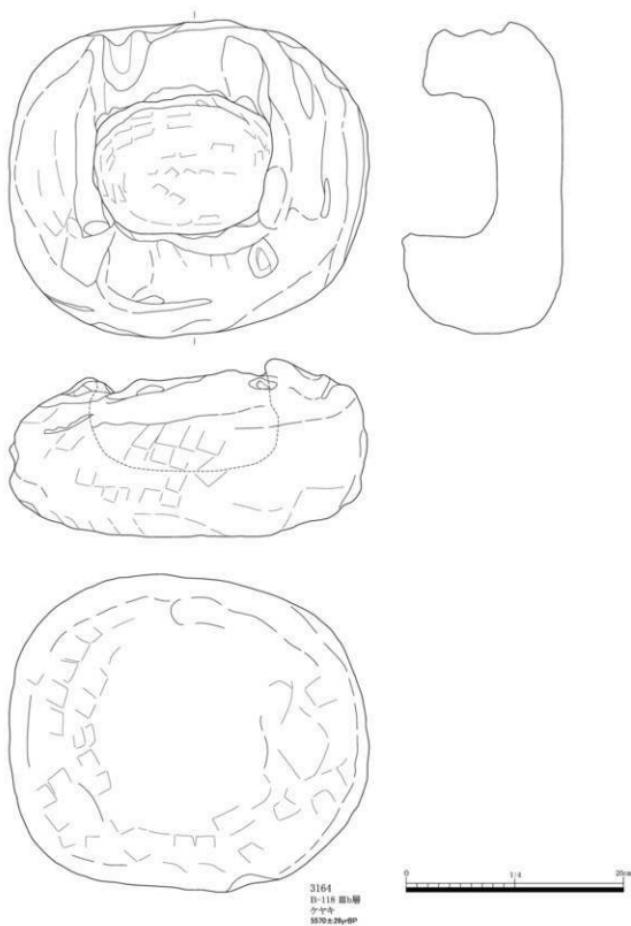
第248図 B・C地区 繩文時代 植物製造物5（木製品）（3156 1/4, 3155 1/8）



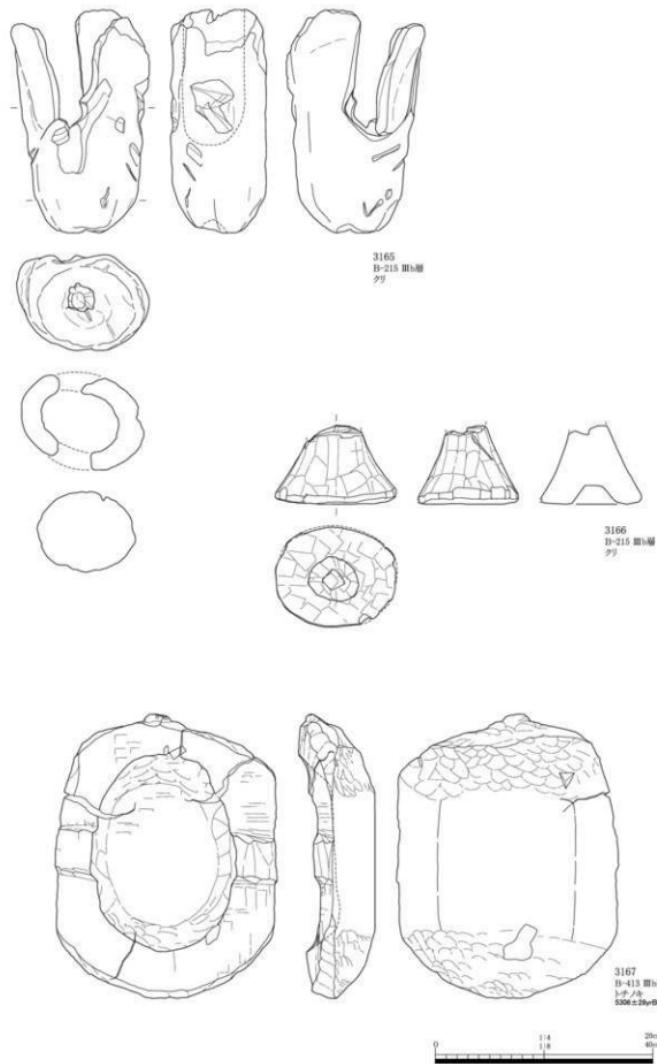
第249図 B・C地区 繩文時代 植物製造物6（木製品）（1/4）



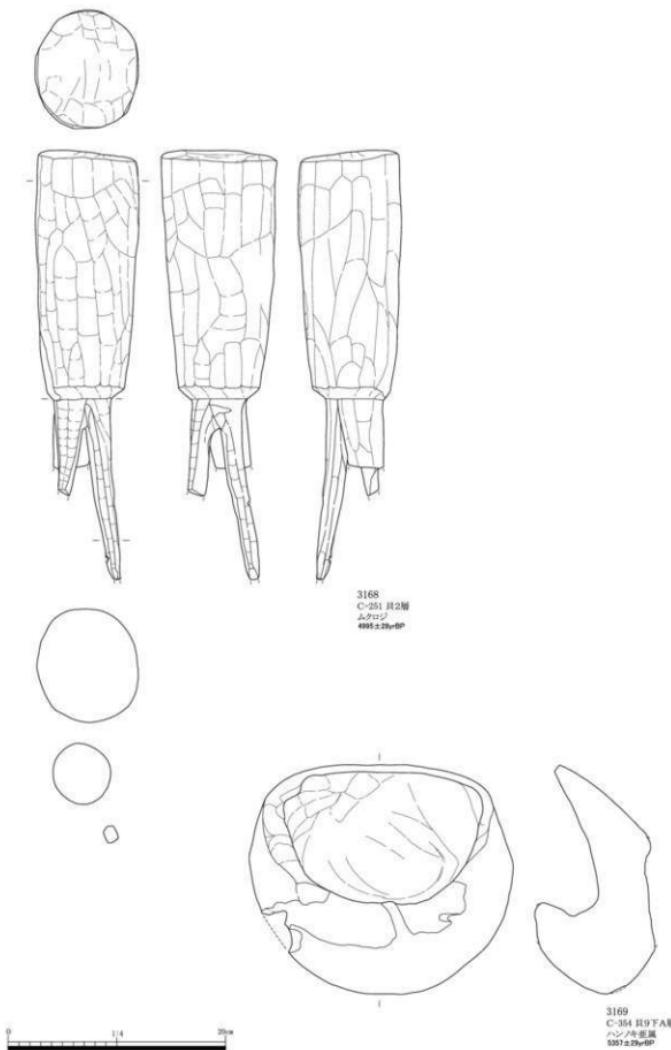
第250図 B・C地区 繩文時代 植物製造物7（木製品）（1/4）



第251図 B・C地区 繩文時代 植物製造物8（木製品）（1/4）

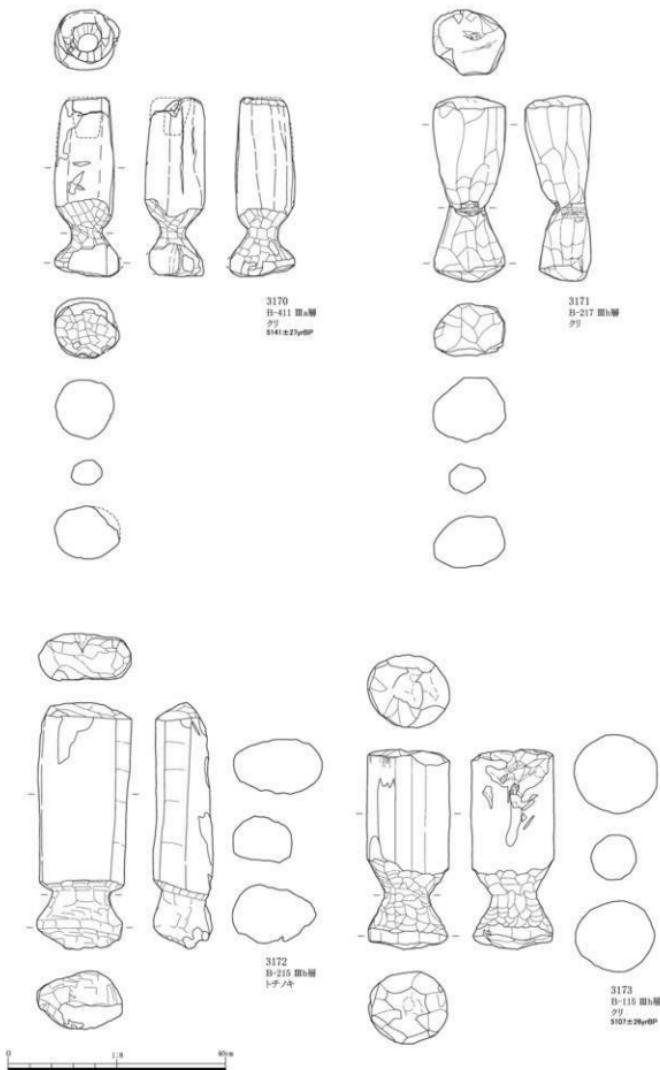


第252図 B・C地区 繩文時代 植物製造物9（木製品）（3165・3166 1/4, 3167 1/8）

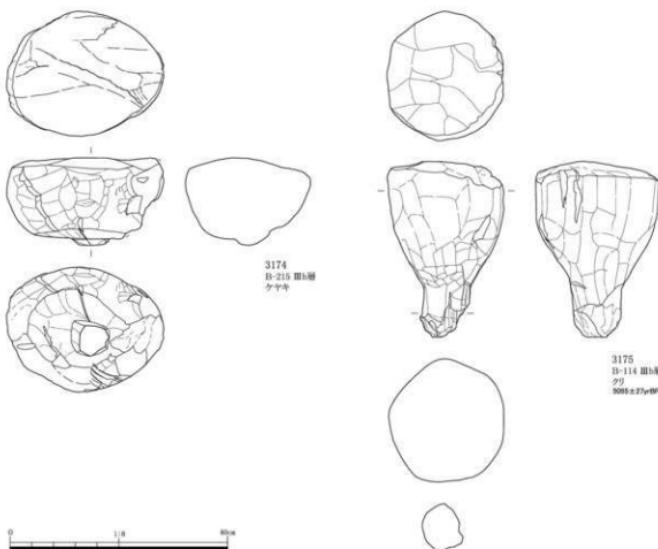


第253図 B・C地区 繩文時代 植物製造物10（木製品）（1/4）

5 B・C地区の遺構・遺物

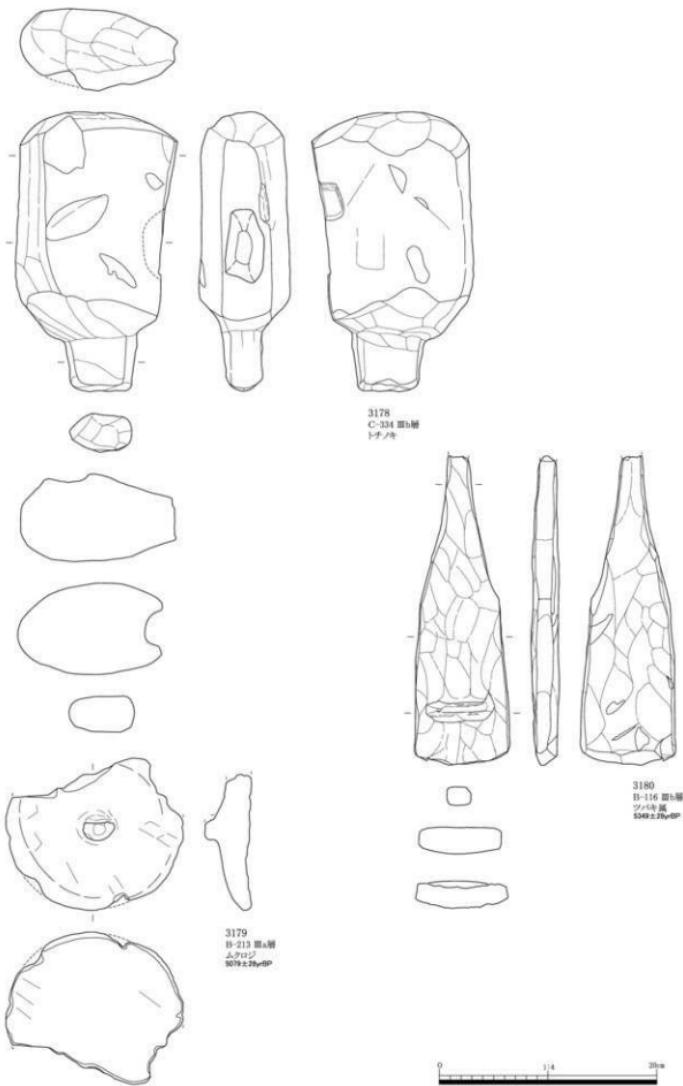


第254図 B・C地区 繩文時代 植物製造物11 (木製品) (1/8)

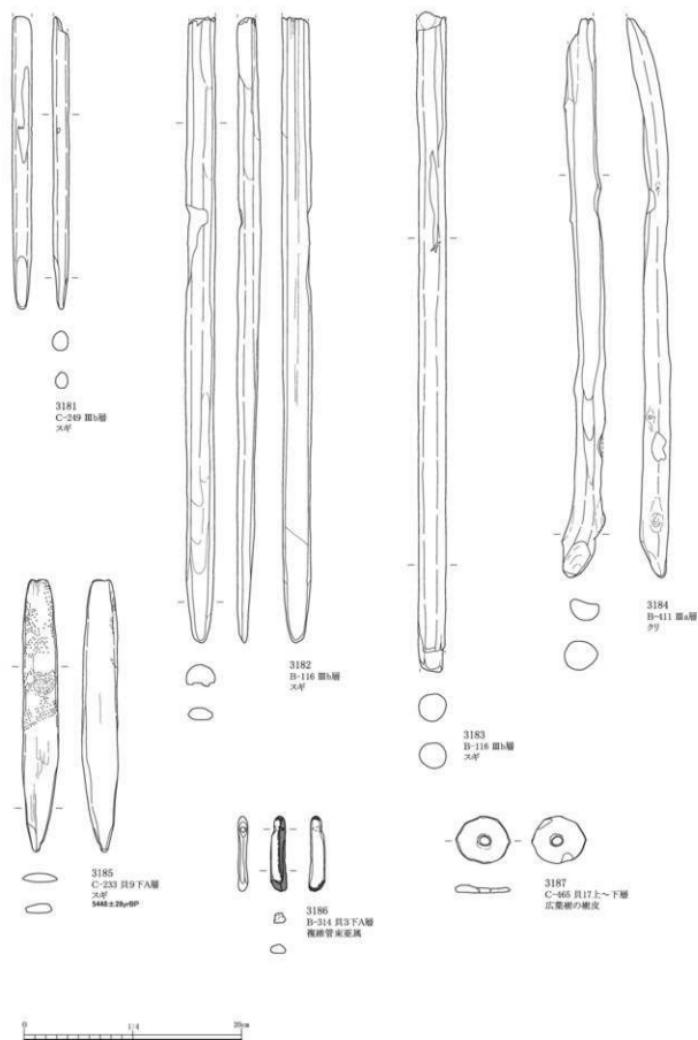


第255図 B・C地区 繩文時代 植物製造物12（木製品）（1/8）

5 B・C地区の遺構・遺物



第256図 B・C地区 繩文時代 植物製造物13 (木製品) (1/4)



第257図 B・C地区 繩文時代 植物製造物14（木製品）（1/4）

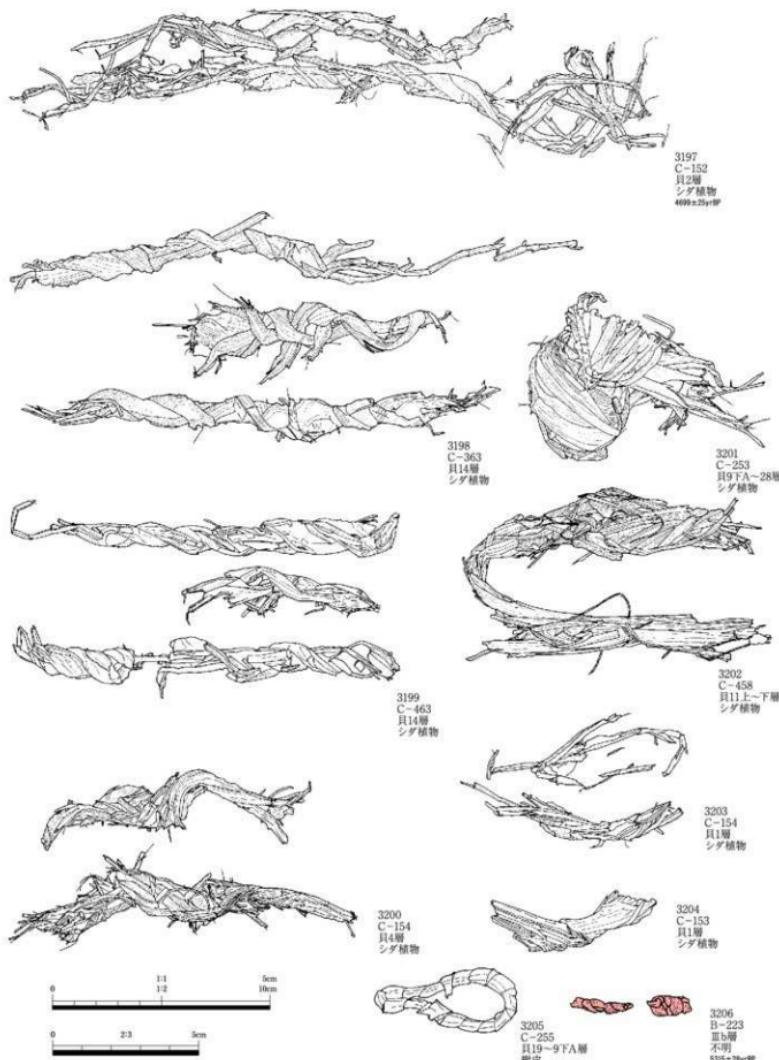
5 B・C地区の遺構・遺物



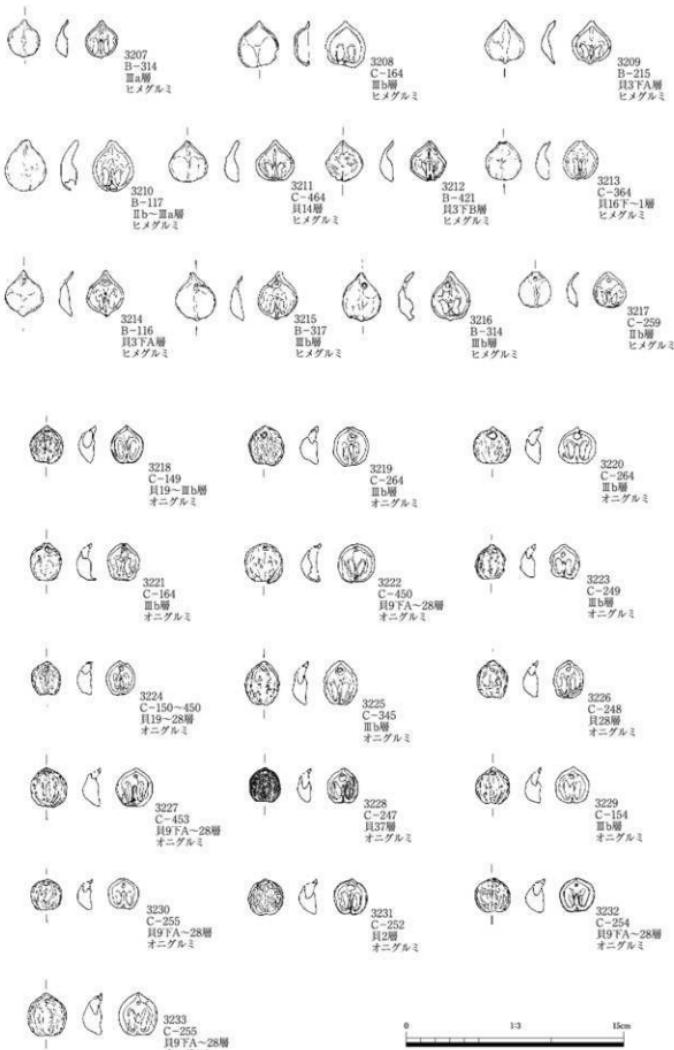
第258図 B・C地区 縄文時代 植物製造物 15 (編物製品) (1/1)



第259図 B・C地区 縄文時代 植物製造物 16（縄製品）(1/2)



第260図 B・C地区 繩文時代 植物製造物 17(縄製品) (3205・3206 1/1, 3201~3204 2/3, 3197~3200 1/2)



第261図 B・C地区 繩文時代 植物製遺物 18 (種実製品) (1/3)

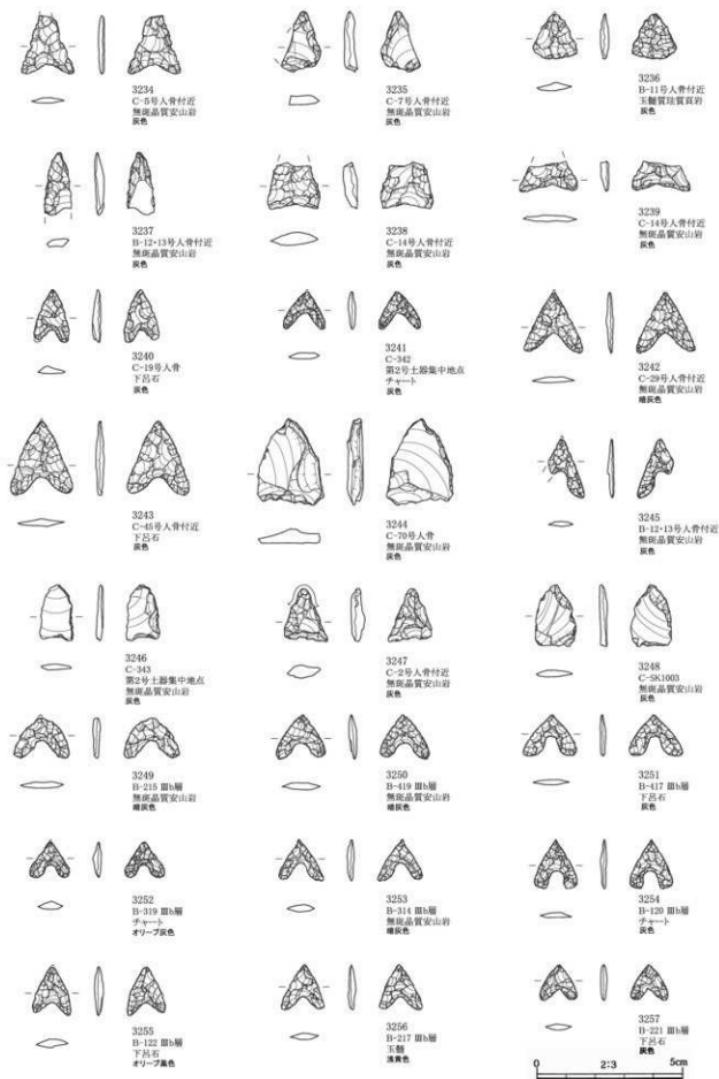
5 B・C地区の遺構・遺物

登録番号	遺物名	地区・出土地点	層位	出土遺物	測量(cm)			形状	大きさ	特徴	備考
					高さ	幅	厚さ				
248 3140	G 253	Ⅲb	木1	漆器未品	(15.5)	25.8	0.8	丸底板	芯持丸木	ハシノキ圓・ハシノキ直茎	漆器類丸底板 素面化・修理判定No.13
249 3141	B 315	Ⅲb上	漆器(底内型1型)	6.1	28.7	0.8	丸底板	芯持丸木	コナラ圓・コナラ直茎・コナラ直	漆器類丸底板 素面化・修理判定No.21	
250 3142	B 411	Ⅲb	No.1	漆器	(22.2)	(17.3)	1.0	丸底板	芯持丸木	トネコノ葉	漆器類丸底板 素面化・修理判定No.4
250 3143	G 263	Ⅲb	小型舟	29.8	8.9	1.3	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	丸底・修理判定No.4	
250 3144	G 146~450	Ⅲb	小舟型	30.4	8.3	1.2	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	丸底・修理判定No.3	
250 3145	G 283	Ⅲb	小舟型	20.5	11.0	1.0	丸底板	芯持丸木	スギ	丸底・修理判定No.1	
250 3146	G 234	Ⅲb	小舟型	21.9	8.1	0.8	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	漆ばち丸・修理判定No.2	
250 3147	G 164	Ⅲb	小舟型	(18.5)	(8.7)	0.8	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	修理判定No.49	
250 3148	G 480	Ⅲb上	小舟型	27.7	7.3	1.1	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	丸底・素面化・修理判定No.5	
250 3149	G 352	Ⅲb	小舟型	26.7	7.8	1.2	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	丸底・修理判定No.5	
250 3150	G 483	Ⅲb	小舟型	(18.5)	(3.6)	0.7	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	修理判定No.10	
250 3151	C 381~383	Ⅲb下~下2	小舟型	27.85	10.8	1.1	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	漆器底・修理判定No.47	
250 3152	C 164	Ⅲb	小舟型	(11.7)	0.9	0.8	丸底板	芯持丸木	イヌガサ	修理判定No.48	
250 3153	B-C	平根	漆器大底盤	24.8	16.1	3.0	楕円	ナシ	イヌガサ	修理判定No.55	
250 3154	B 117~217	2号新築遺構	7号木舟	(163.5)	(39.3)	10.4	楕円(底)	トネコノ	1/2底?・素面化・修理判定No.40		
250 3155	B 121	1号新築遺構	2号木舟舟	(73.0)	(33.8)	4.0	楕円(底)	ナシ	楕円の底・素面化・修理判定No.61		
250 3156	B 215	木3	漆器(底内型1)	41.3	12.3	0.7	板状	ナシ	丸底	丸底・素面化	
250 3157	B 216	土器3	漆器底	(7.65)	(3.3)	(0.65)	楕円	ナシ	素面化・修理底 内外の色分離有り 漆器判定No.2		
250 3158	B 315	木3	漆器底	(10.7)	(2.4)	0.4	楕円	ナシ	内側に色分離有り 素面化・修理判定No.2		
250 3159	G 255	木1	漆器(底内型1)	(20.8)	(17.4)	7.0	半楕円	ナシ	1/2底 平手付か 素面化・修理判定No.8		
250 3160	B 217	木1	漆器底	(14.7)	(14.6)	15.0	楕円	ナシ	複数底・修理判定No.13		
250 3161	B 409	木2	漆器未品	22.6	18.8	13.3	分割材	ムジロジ	底多く 逆張り・修理有り がく(なつて)いと 口縁欠け 素面化・修理判定No.17		
250 3162	B 412	木2	漆器(底)	14.2	(17.4)	2.0~4.0	楕円地	ナシ	4~17底・修理判定No.25		
250 3163	B 213	木1	漆器未品底	44.4	16.8	9.3	圓	ムジロジ	底多く 逆張り・修理判定No.31		
250 3164	B 118	木2	漆器	29.2	32.1	16.4	楕円地	ナシ	丸底・素面化・修理判定No.30		
250 3165	B 215	木2	漆器底	(20.5)	12.7	8.8	円	ナシ	31842.20~一段底か 素面化・修理判定No.57		
250 3166	B 215	木2	漆器底	(9.2)	(11.1)	7.2	円	ナシ	上段丸底・修理判定No.28		
250 3167	B 413	木1	漆器	40.8	32.0	14.1	楕円地	ナシ	底多く 口縁欠け(17.2)付・側面に縫合 素面化・修理判定No.27		
250 3168	C 251	木2	漆器未品底	38.3	8.5	10.4	ムジロジ	ナシ	三足立(17.1)付・素面化・修理判定No.39		
250 3169	G 354	木2	漆器	21.0	24.3	10.7	楕円地	ナシ	丸底・素面化・修理判定No.10		
250 3170	G 411	木1	漆器底	32.8	11.0	10.8	漆器底木	ナシ	上段丸底・修理判定No.28		
250 3171	B 217	木1	漆器(底内型1)	34.0	13.3	11.8	漆器底木	ナシ	丸底・口縁欠け(17.2)付・側面に縫合 素面化・修理判定No.34		
250 3172	B 215	木1	漆器(底内型1)	45.3	17.4	10.0	漆器底木	ナシ	漆器底木・修理判定No.35		
250 3173	B 115	木1	漆器底	28.3	15.3	13.0	漆器底木	ナシ	注水丸底・素面化・修理判定No.29		
250 3174	B 215	木2	漆器底	28.8	23.0	16.0	楕円地	ナシ	丸底・逆張り・修理判定No.33		
250 3175	B 114	木2	漆器底	(20.2)	21.5	22.6	楕円地	ナシ	いいじく・素面化・修理判定No.34		
250 3176	C 335	机	机	31.7	7.0	7.5	丸底板	ナシ	下段加工・素面化・修理判定No.11		
250 3177	C 432	机	机	23.2	11.8	10.2	丸底板	ナシ	下段加工・修理判定No.12		
250 3178	C 334	机	漆器底	29.7	15.0	8.4	分割材	ナシ	素面化		
250 3179	B 213	木2	漆器(底内型1)	(14.0)	(16.3)	4.5	楕円地	ムジロジ	素面化・修理判定No.54		
250 3180	B 116	木2	漆器底	28.4	8.8	2.5	板状	ナシ	1/2底・修理判定No.54		
250 3181	C 240	木2	漆器底	28.8	1.9	1.8	半楕円	ムジロジ	底無し・修理判定No.51		
250 3182	B 116	木2	漆器?	(31.4)	2.7	2.0	丸底板	ナシ	修理判定・下段に切妻板・素面化・修理判定No.51		
250 3183	B 116	木2	漆器?	(30.7)	2.7	2.5	丸底板	ナシ	12.2cm×1.2cm×3.7cm合板平付・内側欠損 素面化・修理判定No.17		
250 3184	B 411	木2	漆器?	(31.4)	4.0	1.3	丸底板	ナシ	丸底加工・片側欠損・修理判定No.15		
250 3185	C 233	木2	漆器底(少子)	25.0	3.3	3.6	板状	ナシ	丸底・一枚板裏側剥離点 素面化・修理判定No.7		
250 3186	B 314	木2	漆器?	8.9	1.5	0.8	板状	ナシ	マツ(深緑)葉茎葉尖葉風		
250 3187	C 485	Ⅲb上~下	小舟形脚板	4.36	5.0	0.8	板状	板状	底無しの脚板		
250 3188	B 114	Ⅲb~Ⅲa	漆器(底)	(9.0)	(4.8)		ヒノキ	3188~3192.同一・修理判定No.70~71			
250 3189	B 114	Ⅲb~Ⅲa	漆器(底)	(2.8)	(2.7)		ヒノキ	3188~3190~3192.同一			
250 3190	B 114	Ⅲb~Ⅲa	漆器(底)	(2.1)	(4.6)		ヒノキ	3188~3190~3191~3193.同一			
250 3191	B 114	Ⅲb~Ⅲa	漆器(底)	(8.6)	(7.2)		ヒノキ	3188~3191~3192~3193.同一			
250 3192	B 114	Ⅲb~Ⅲa	漆器(底)	(8.0)	(19.1)		ヒノキ	3188~3191~3192~3193.同一			
250 3193	B 114	Ⅲb~Ⅲa	漆器(底)	(10.6)	(4.7)		ヒノキ	3188~3193.同一			
250 3194	C 383	木2	脚	(64.0)	(8.0)	(1.5)	シダ植物	シダ植物	修理判定No.59		
250 3195	C 352	木2上	脚	(34.0)	(1.7)		シダ植物	シダ植物	修理判定No.65		
250 3196	C 483	木2	脚	(44.1)	(18.0)	(1.3)	シダ植物	シダ植物	修理判定No.60		
250 3197	C 192	木2	脚	(25.0)	(7.2)		シダ植物	シダ植物	修理判定No.82		

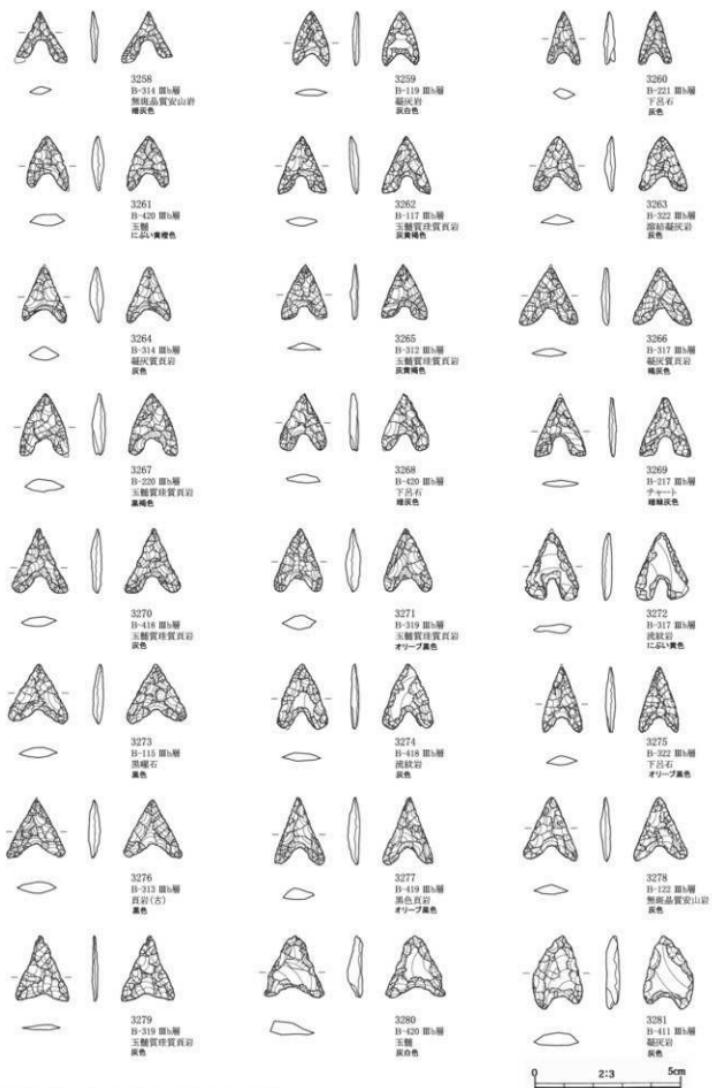
第26表 B・C地区木製品一覧1

番号	遺物番号	地区・出土地点	層位	出土遺物	測量(cm)			形状	木取り	解説	備考
					高さ	幅	厚さ				
280	3184	C	363	層14	筒	(48.6)	(1.5)			シダ織物	複種同定No.44
280	3186	C	403	層14	筒	(41.8)	(1.7)			シダ織物	複種同定No.41
280	3204	C	154	層4	筒	(25.8)	(1.6)			シダ織物	複種同定No.43
280	3205	C	253	層9下A~21	筒	(8.5)	(5.0)			シダ織物	複種同定No.46
280	3206	C	404	層1上~下	筒	(18.8)	(1.5)			シダ織物	複種同定No.46
280	3207	C	155	層1	筒	(8.5)	(0.8)			シダ織物	複種同定No.48
280	3208	C	153	層1	筒	(5.7)	(1.2)	0.4		シダ織物	複種同定No.49
280	3209	C	210	層19~9下A	筒飾物	3.0	1.8			筒灰	
280	3204	B	221	層6	筒	(2.5)	(0.5)			不明	2本の束おり、赤色漆塗毛筆分析No.1
280	3207	B	314	層6	ウルミ加工品	2.5	2.2	0.8		ヒゲルム	
280	3208	C	184	層6	ウルミ加工品	3.0	2.8	1.0		ヒゲルム	内面剥離
280	3209	B	215	層27	ウルミ加工品	3.0	2.7	0.9		ヒゲルム	
281	3210	B	117	層1~図4	ウルミ加工品	3.4	2.8	1.2		ヒゲルム	薄削切削
281	3211	C	405	層14	ウルミ加工品	2.8	2.6	1.0		ヒゲルム	薄削切削
281	3212	B	421	層17下A~	ウルミ加工品	2.7	2.5	0.9		ヒゲルム	薄削切削
281	3213	C	384	層16~1	ウルミ加工品	2.6	2.4	1.0		ヒゲルム	朱漆丸鉢
281	3214	B	118	層27	ウルミ加工品	3.1	2.8	0.9		ヒゲルム	朱丸、薄削切削
281	3215	B	317	層6	ウルミ加工品	3.3	2.7	0.9		ヒゲルム	朱丸、薄削切削
281	3216	B	314	層6	ウルミ加工品	3.3	2.8	1.0		ヒゲルム	朱丸
281	3217	C	258	層6	ウルミ加工品	2.4	2.2	0.8		ヒゲルム	朱丸、薄削切削
281	3218	C	146	層19~21下	ウルミ加工品	2.5	2.2	1.1		オニグロム	朱丸
281	3219	C	261	層6	ウルミ加工品	2.6	2.6	1.1		オニグロム	朱丸
281	3220	C	284	層6	ウルミ加工品	2.5	2.5	1.1		オニグロム	朱丸
281	3221	C	164	層6	ウルミ加工品	2.5	2.2	1.0		オニグロム	朱丸
281	3222	C	406	層9下A~20	ウルミ加工品	2.6	2.8	1.4		オニグロム	朱丸、内面剥離
281	3223	C	246	層6	ウルミ加工品	2.5	1.8	0.9		オニグロム	朱丸
281	3224	C	160~400	層19~25	ウルミ加工品	2.5	2.0	1.0		オニグロム	朱丸
281	3225	C	345	層6	ウルミ加工品	3.0	2.3	1.0		オニグロム	朱丸
281	3226	C	245	層28	ウルミ加工品	2.5	2.1	1.0		オニグロム	朱丸
281	3227	C	453	層9下A~20	ウルミ加工品	3.6	2.8	1.3		オニグロム	朱丸
281	3228	C	247	層27	ウルミ加工品	2.5	2.1	0.8		オニグロム	朱丸
281	3229	C	154	層6	ウルミ加工品	2.4	2.3	1.1		オニグロム	朱丸
281	3230	C	251	層9下A~20	ウルミ加工品	2.1	2.1	1.0		オニグロム	朱丸
281	3231	C	252	層2	ウルミ加工品	2.2	2.4	1.3		オニグロム	朱丸
281	3232	C	254	層9下A~20	ウルミ加工品	2.5	2.4	1.2		オニグロム	朱丸
281	3233	C	255	層9下A~20	ウルミ加工品	2.6	2.7	1.3		オニグロム	朱丸

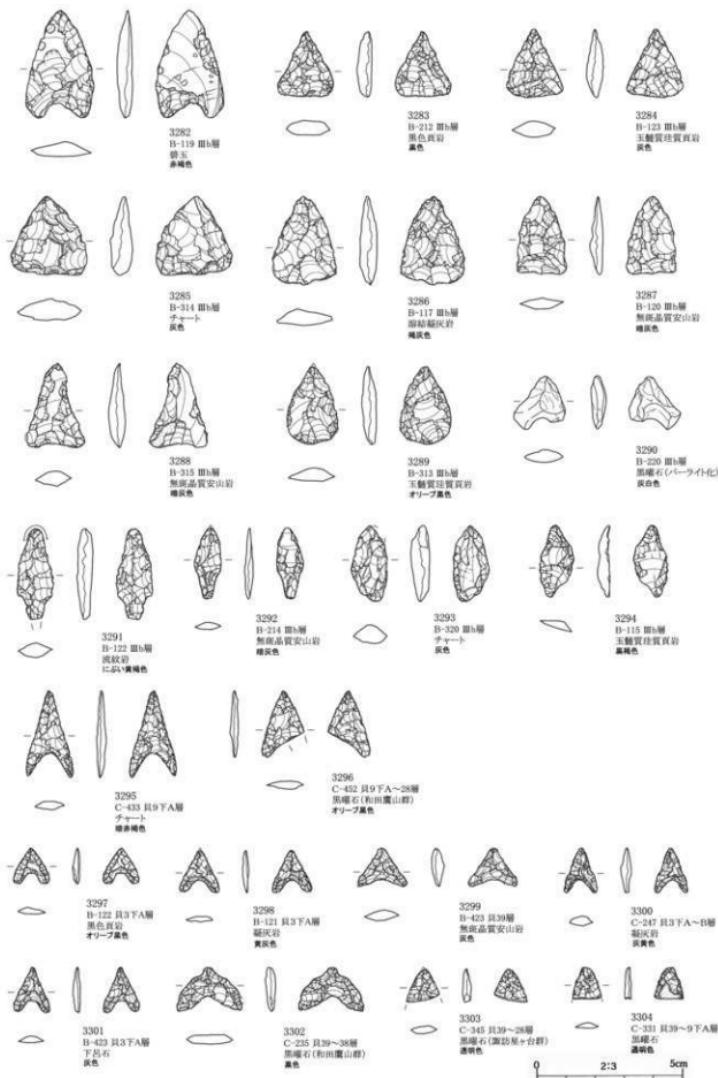
第26表 B・C地区木製品一覧2



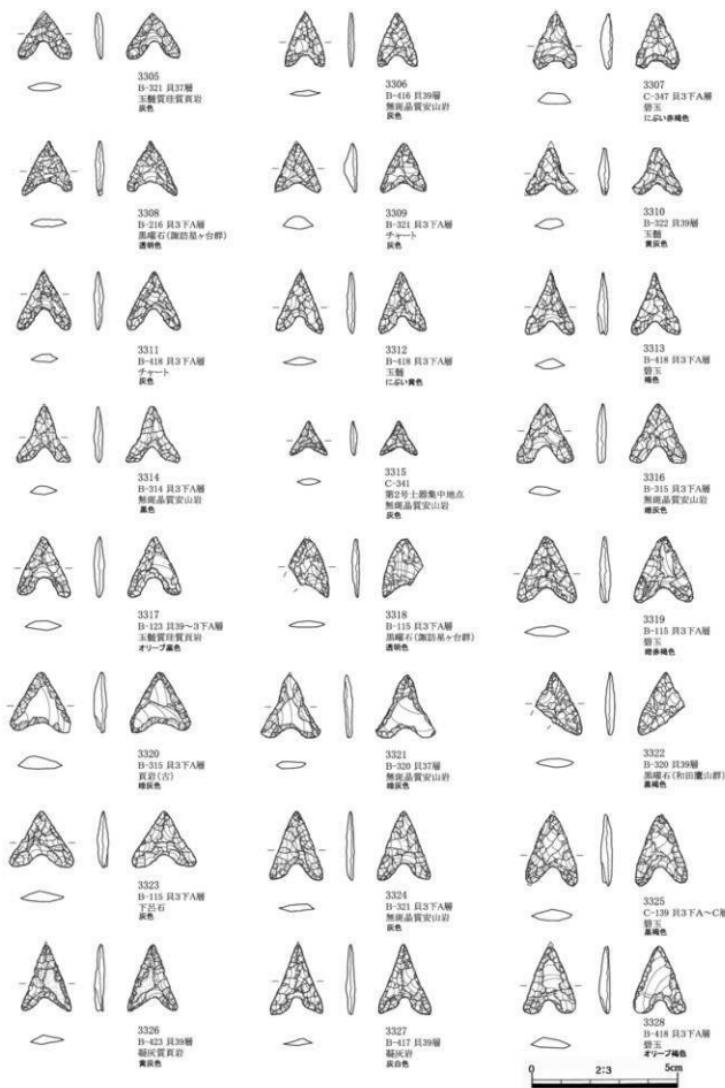
第262図 B・C地区 石製品1 (2/3)



第263図 B・C地区 石製品2 (2/3)

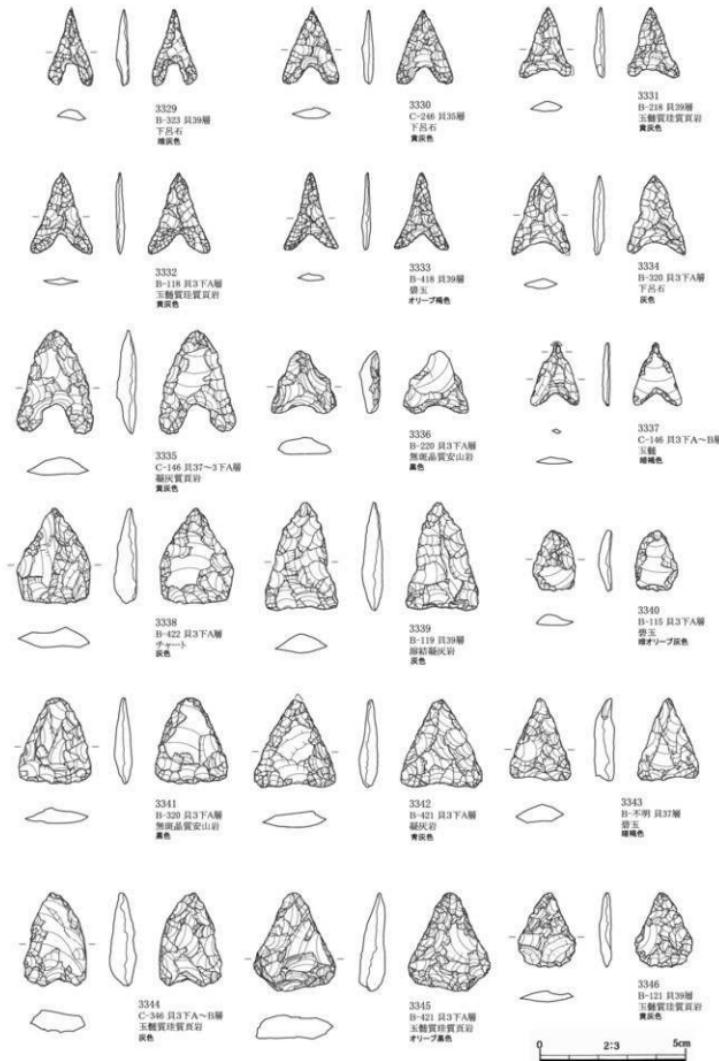


第264図 B・C地区 石製品3 (2/3)

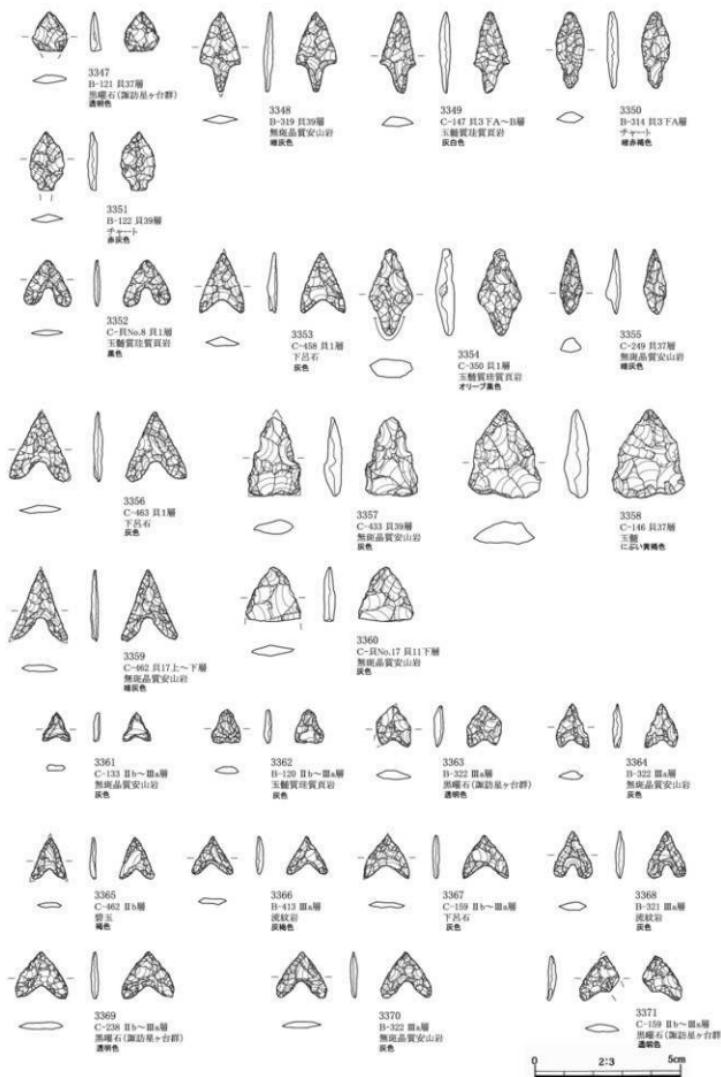


第265図 B・C地区 石製品4 (2/3)

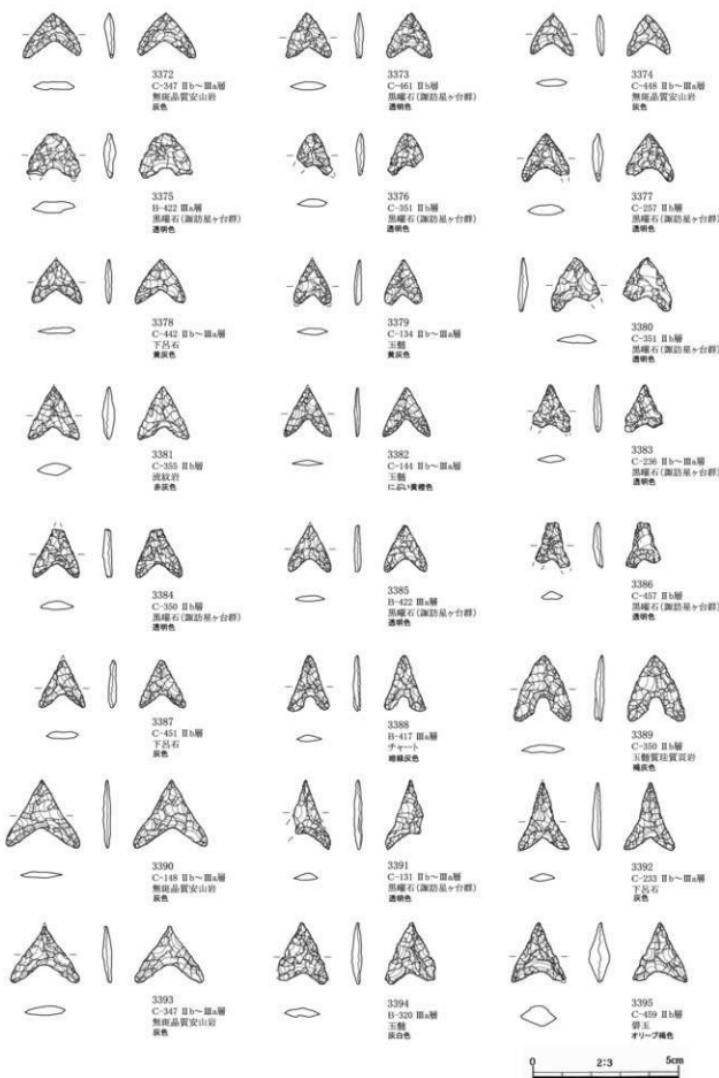
5 B・C地区の遺構・遺物



第266図 B・C地区 石製品5 (2/3)

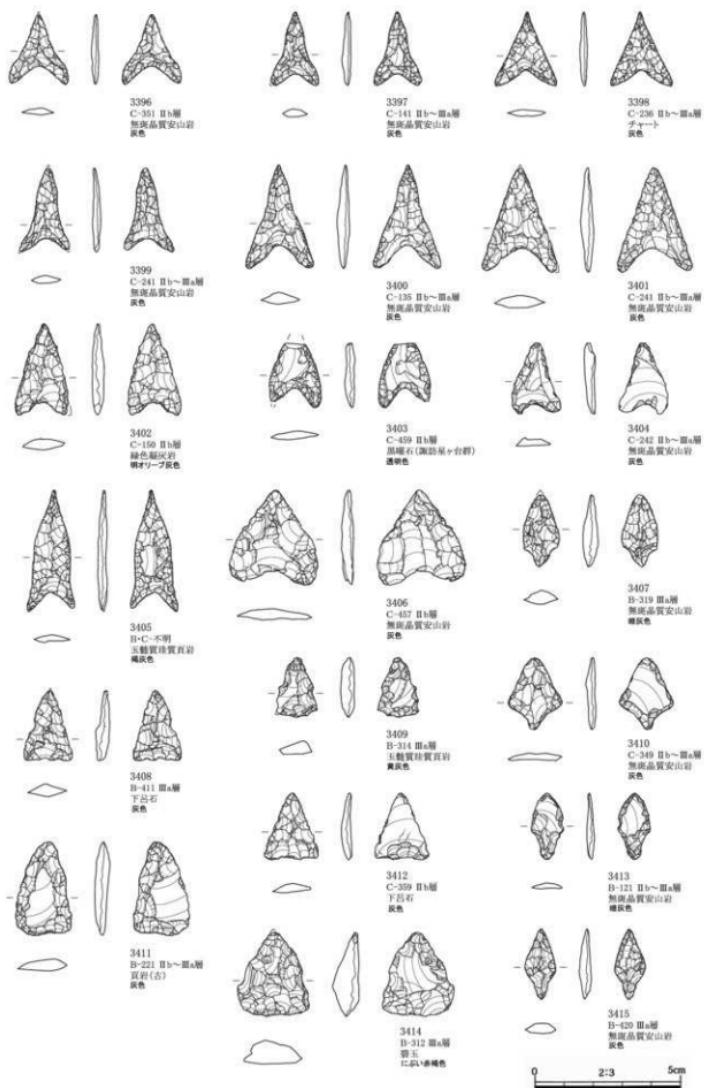


第267図 B・C地区 石製品6 (2/3)



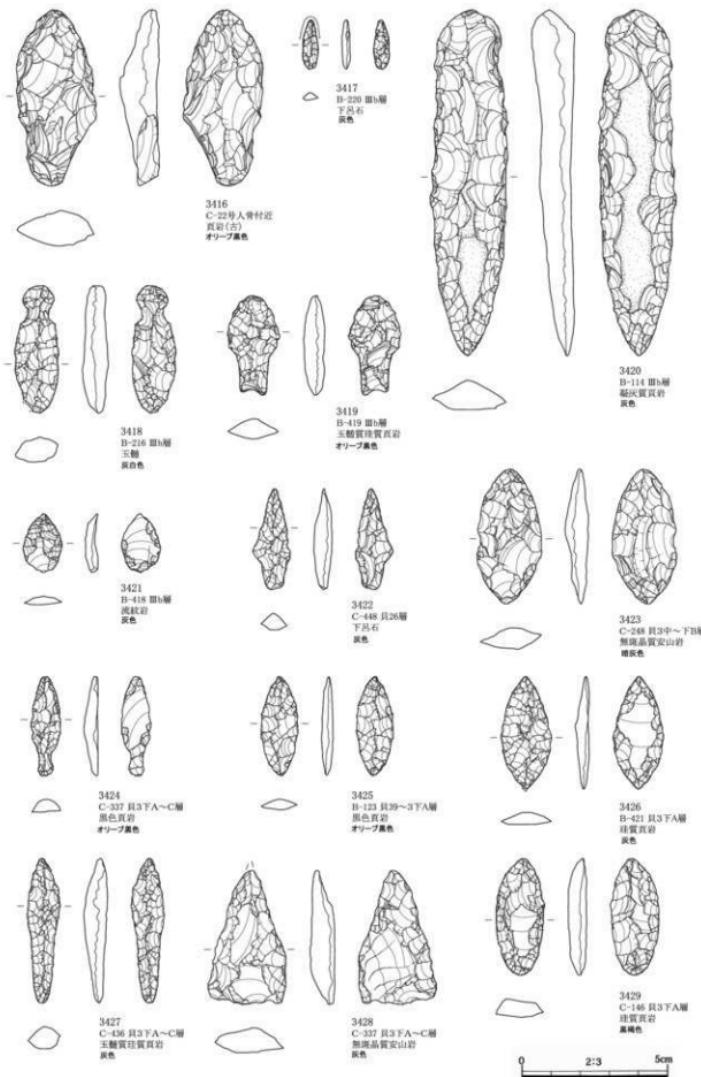
0 2:3 5cm

第268図 B・C地区 石製品7 (2/3)

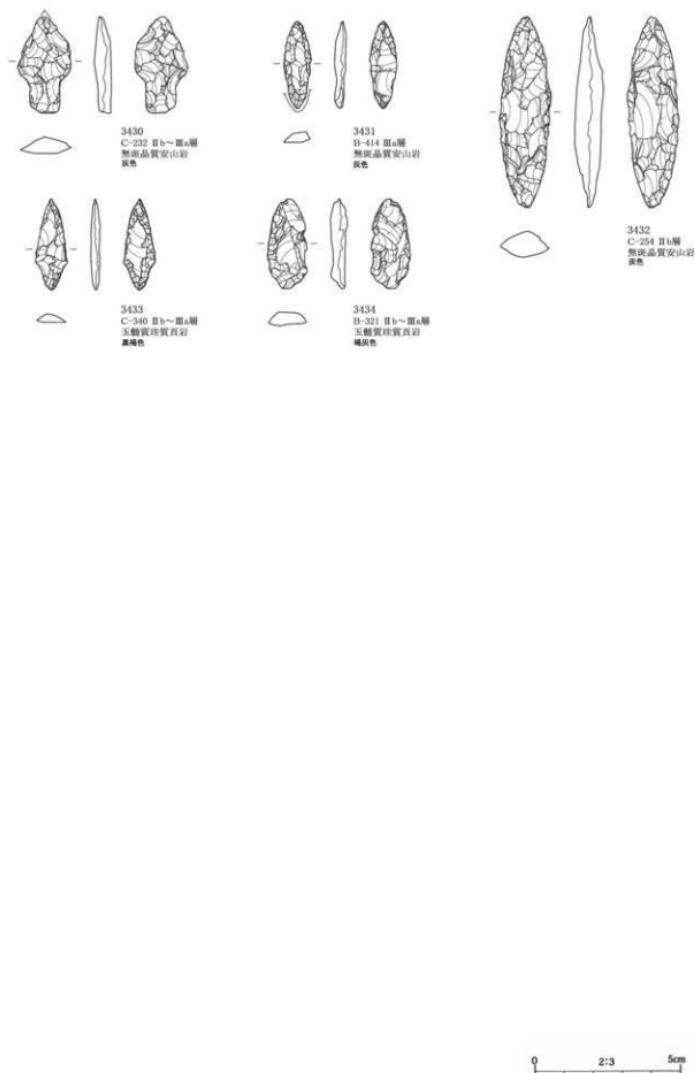


第269図 B・C地区 石製品8 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



第270図 B・C地区 石製品9 (2/3)

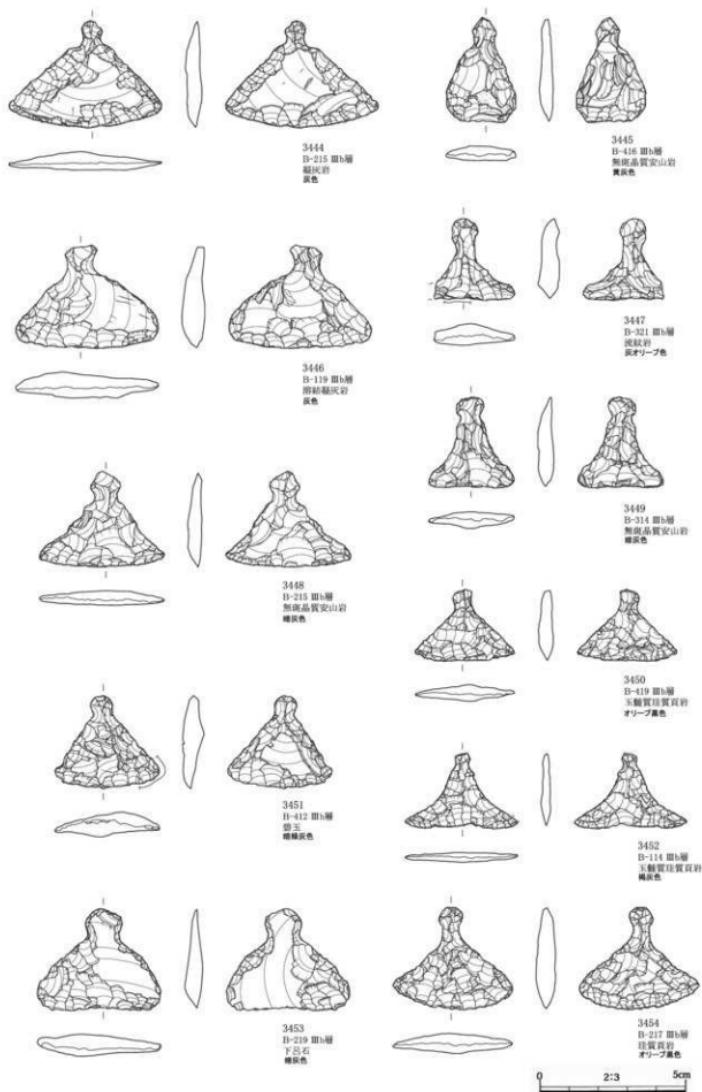


第271図 B・C地区 石製品 10 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

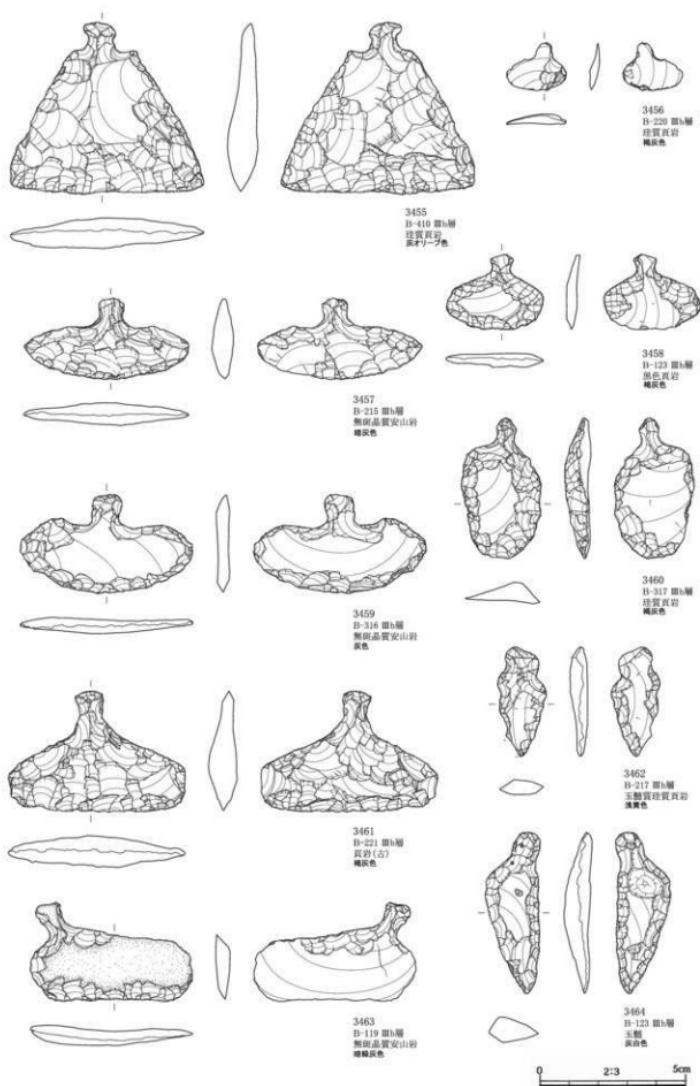


第272図 B・C地区 石製品11 (2/3)

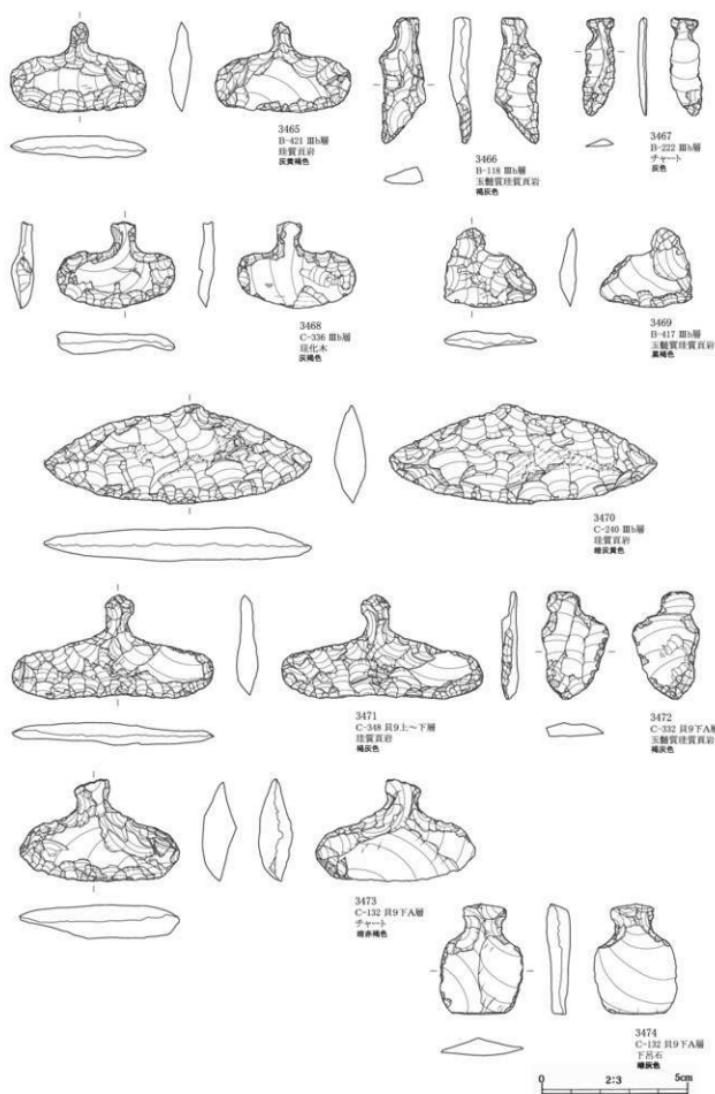


第273図 B・C地区 石製品 12 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

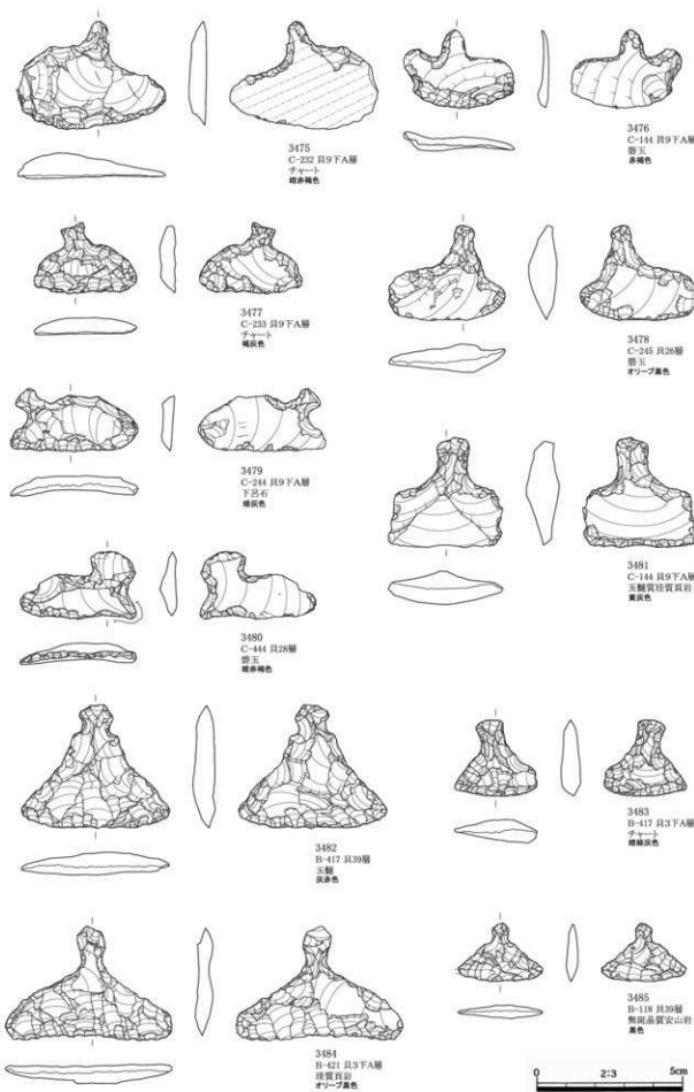


第274図 B・C地区 石製品13 (2/3)



第275図 B・C地区 石製品14 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

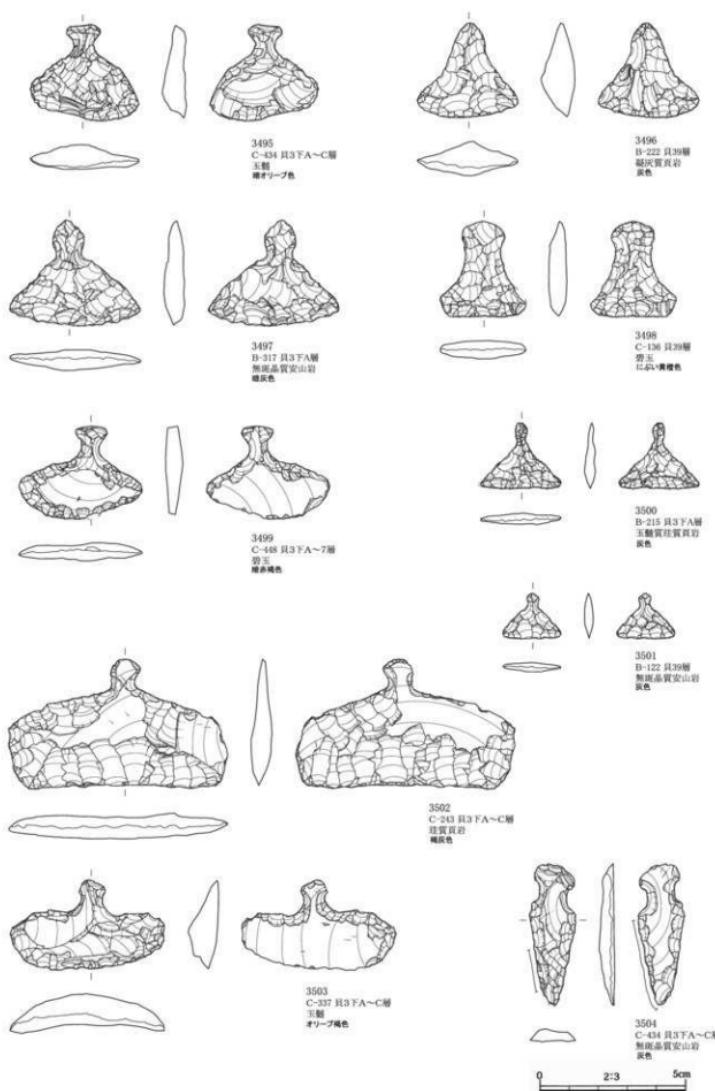


第276図 B・C地区 石製品15 (2/3)

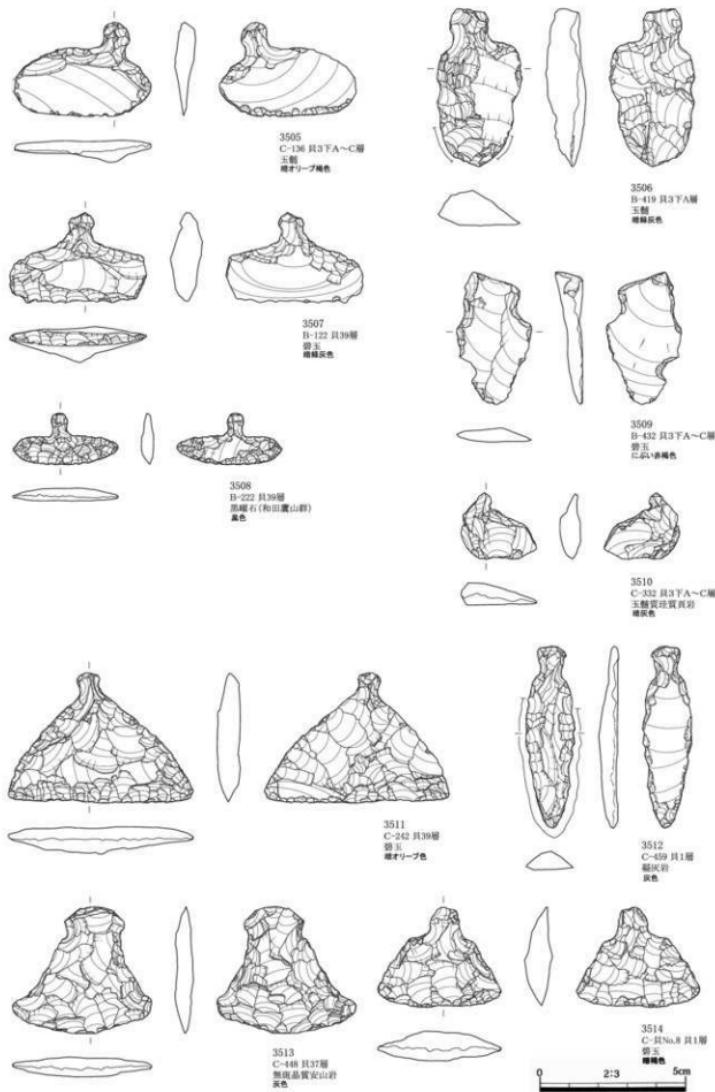


第277図 B・C地区 石製品 16 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

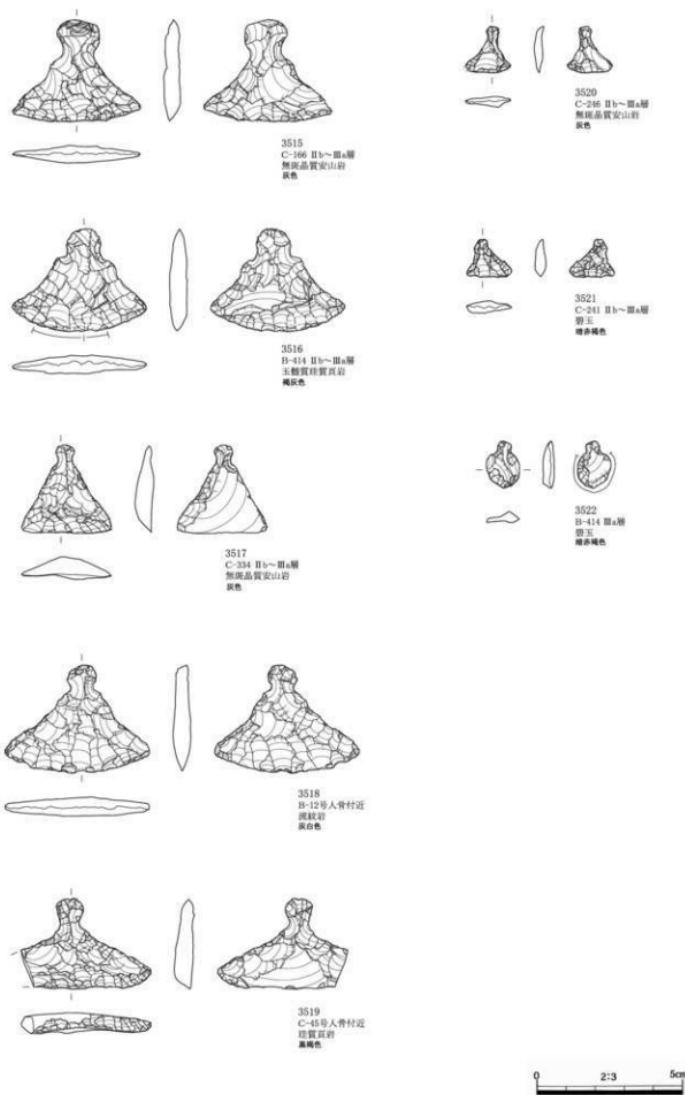


第278図 B・C地区 石製品 17 (2/3)

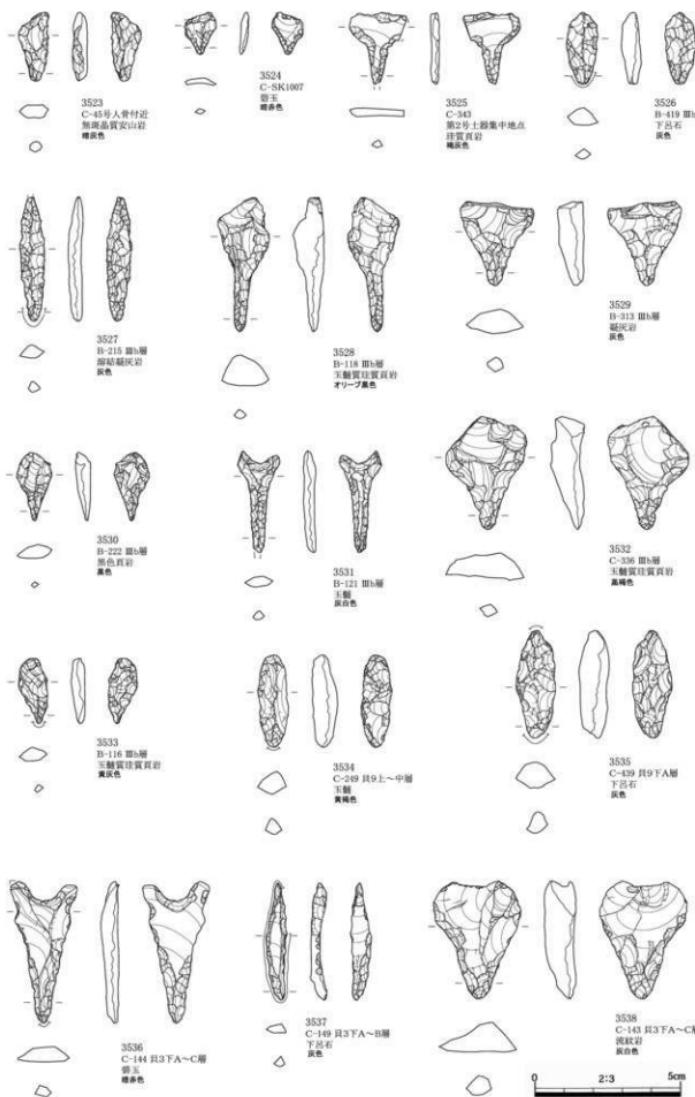


第279図 B・C地区 石製品18 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

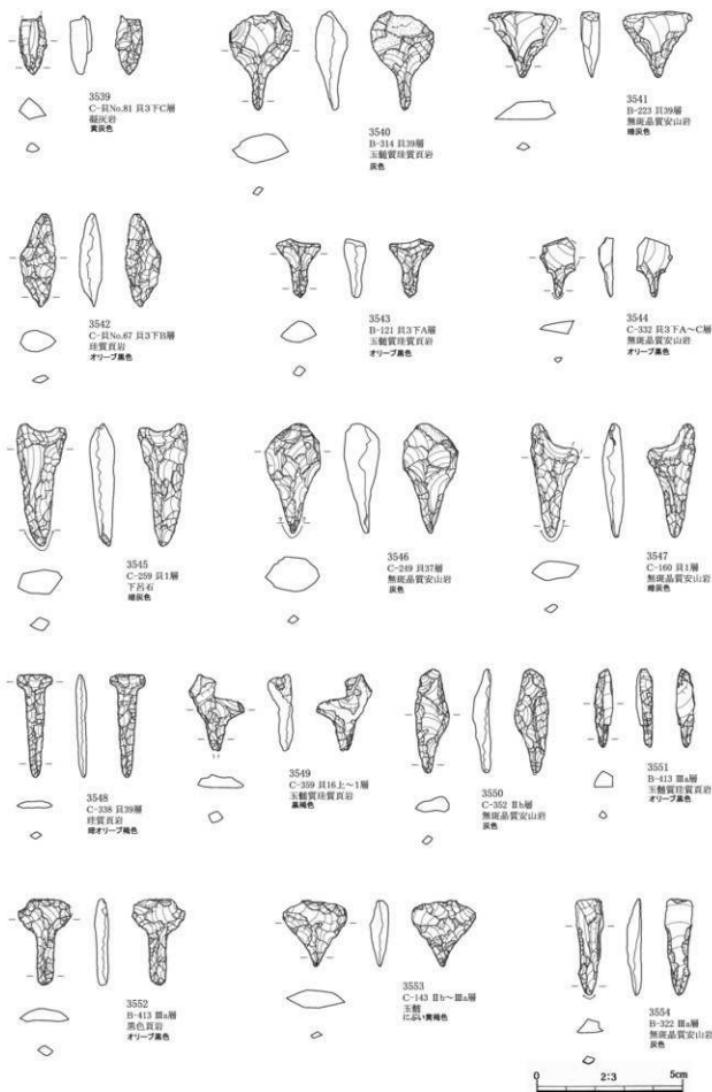


第280図 B・C地区 石製品19 (2/3)

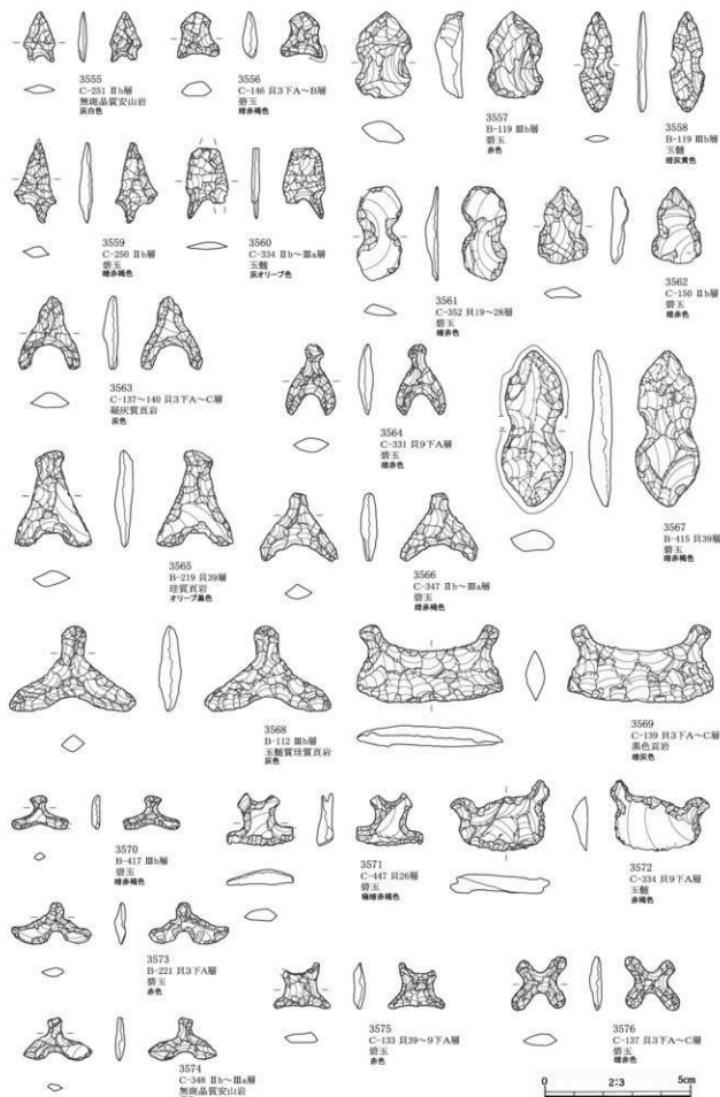


第281図 B・C地区 石製品 20 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

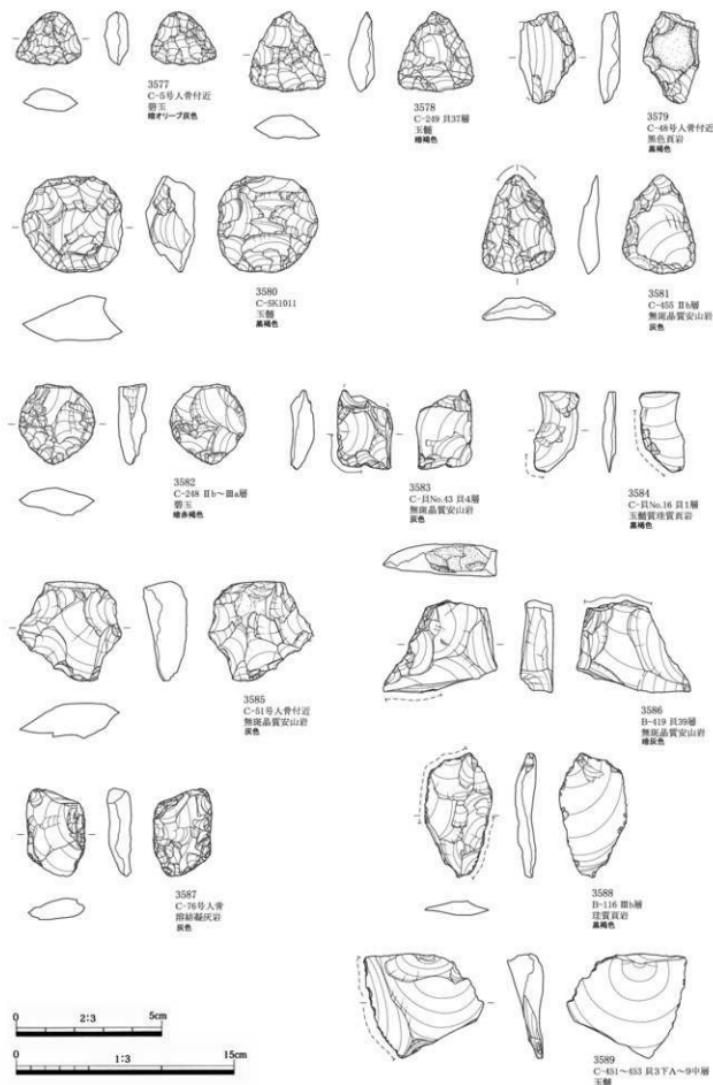


第282図 B・C地区 石製品21 (2/3)

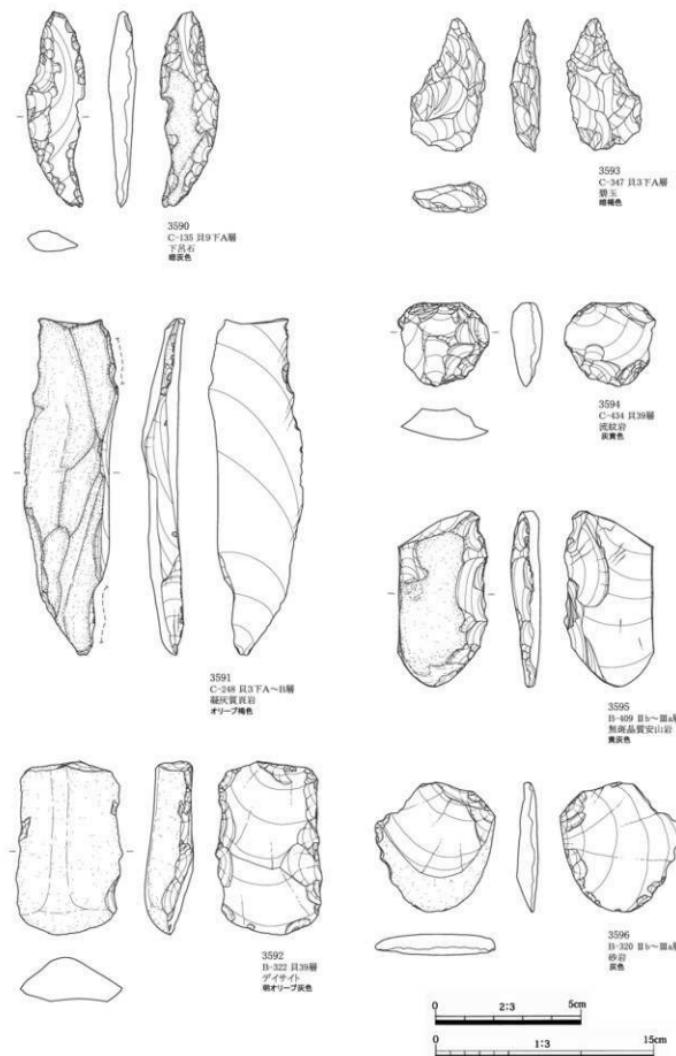


第283図 B・C地区 石製品22 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

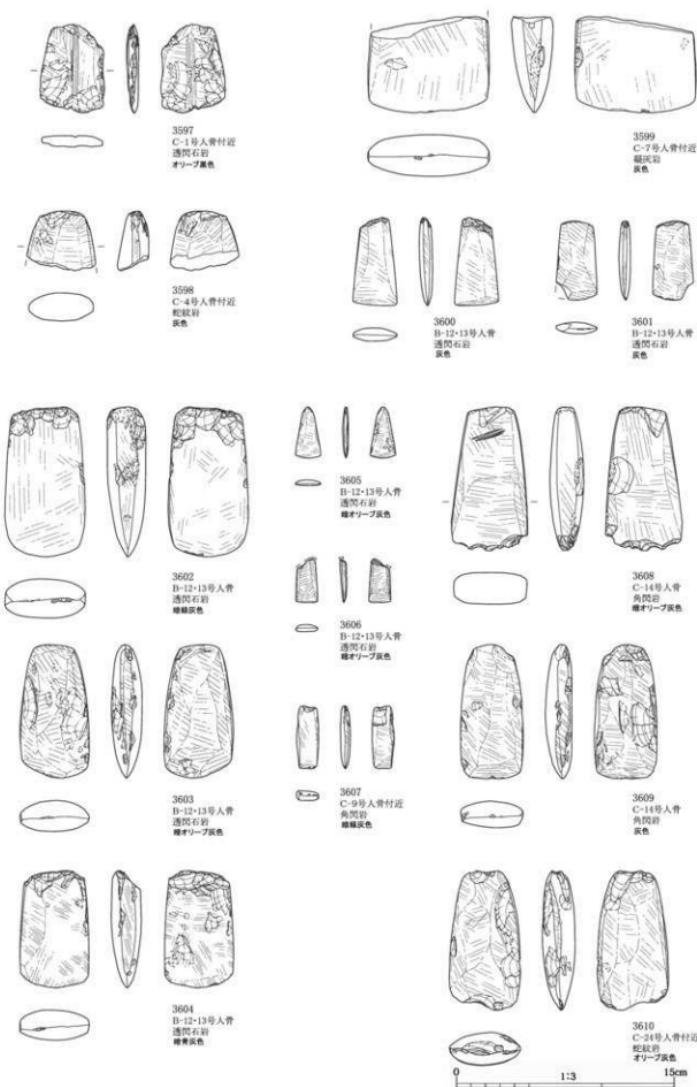


第284図 B・C地区 石製品 23 (3577～3584・3586・3588・3589 2/3, 3585・3587 1/3)

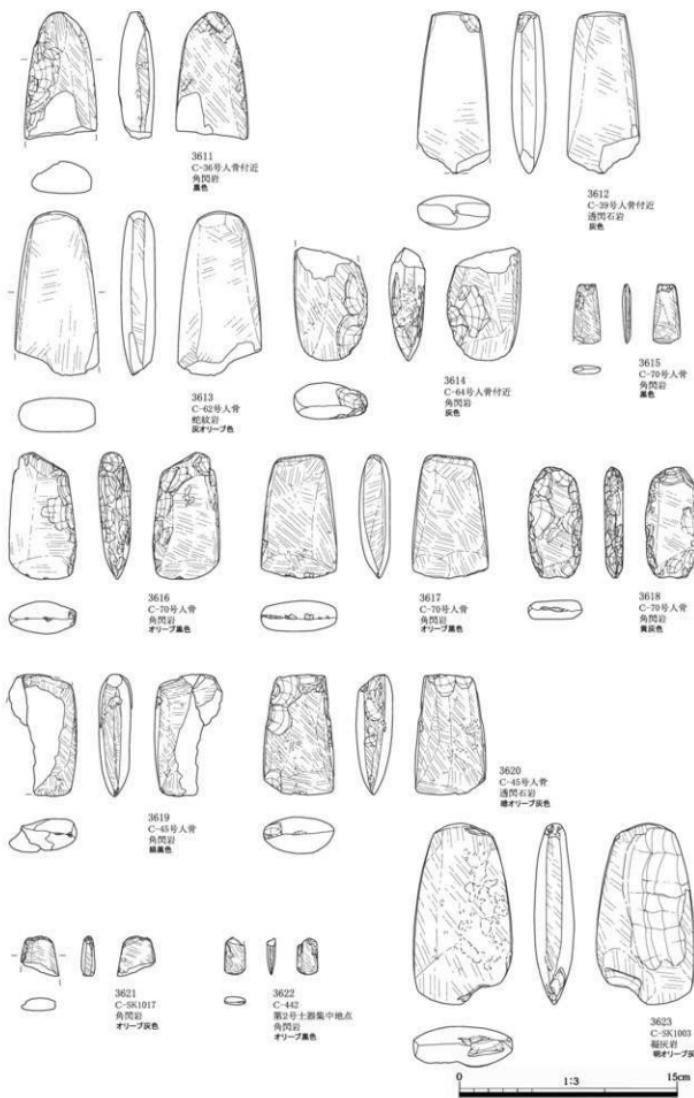


第285図 B・C地区 石製品 24 (3590・3591・3593・3595 2/3, 3592・3594・3596 1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

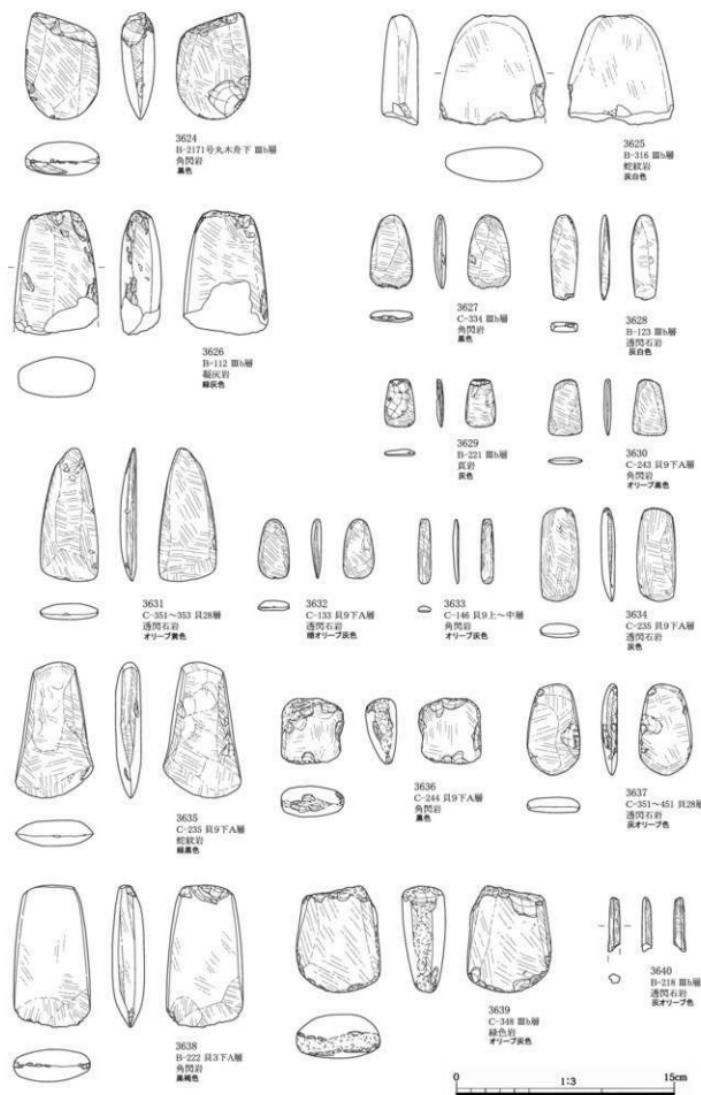


第286図 B・C地区 石製品 25 (1/3)



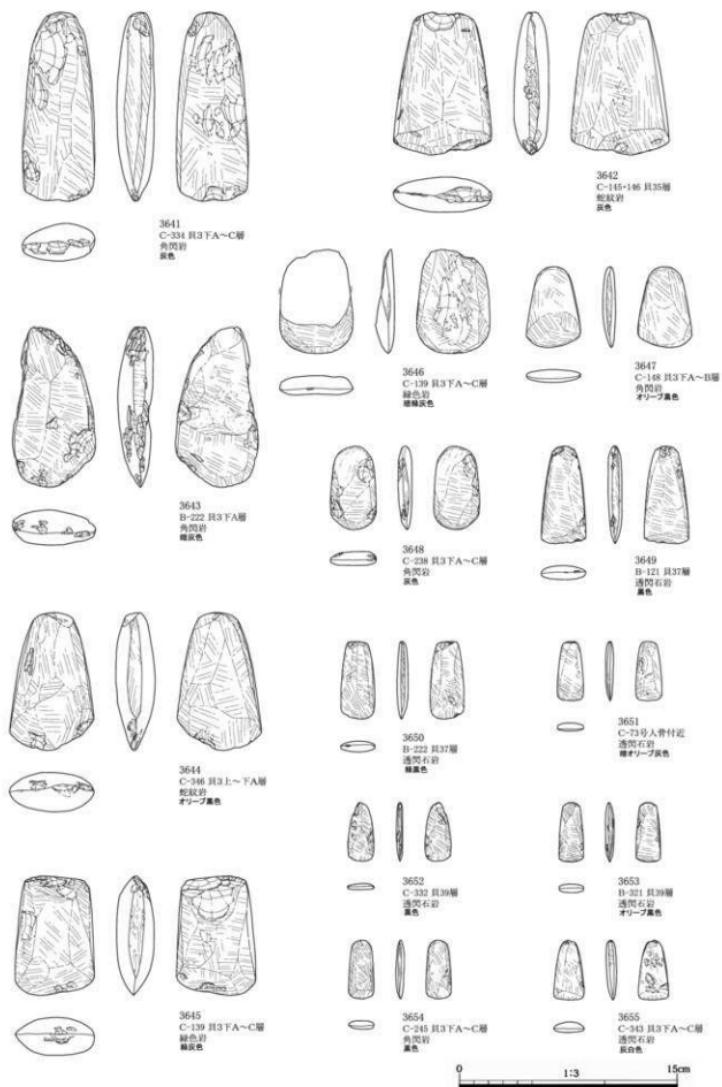
第287図 B・C地区 石製品 26 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



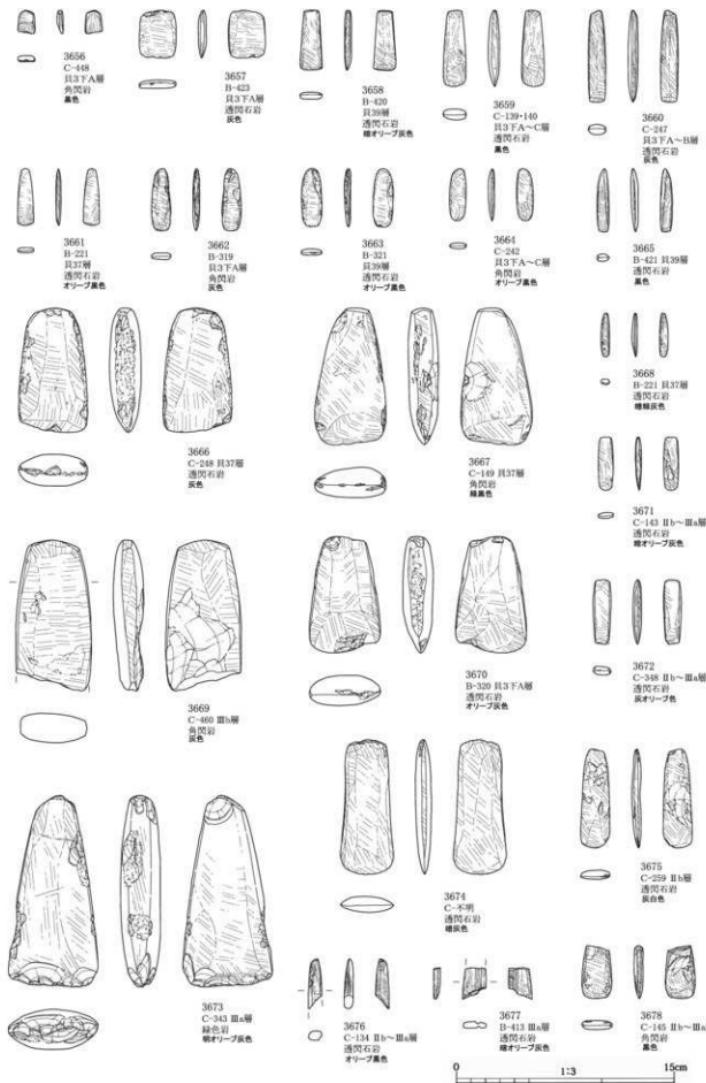
0 1:3 15cm

第288図 B・C地区 石製品27 (1/3)

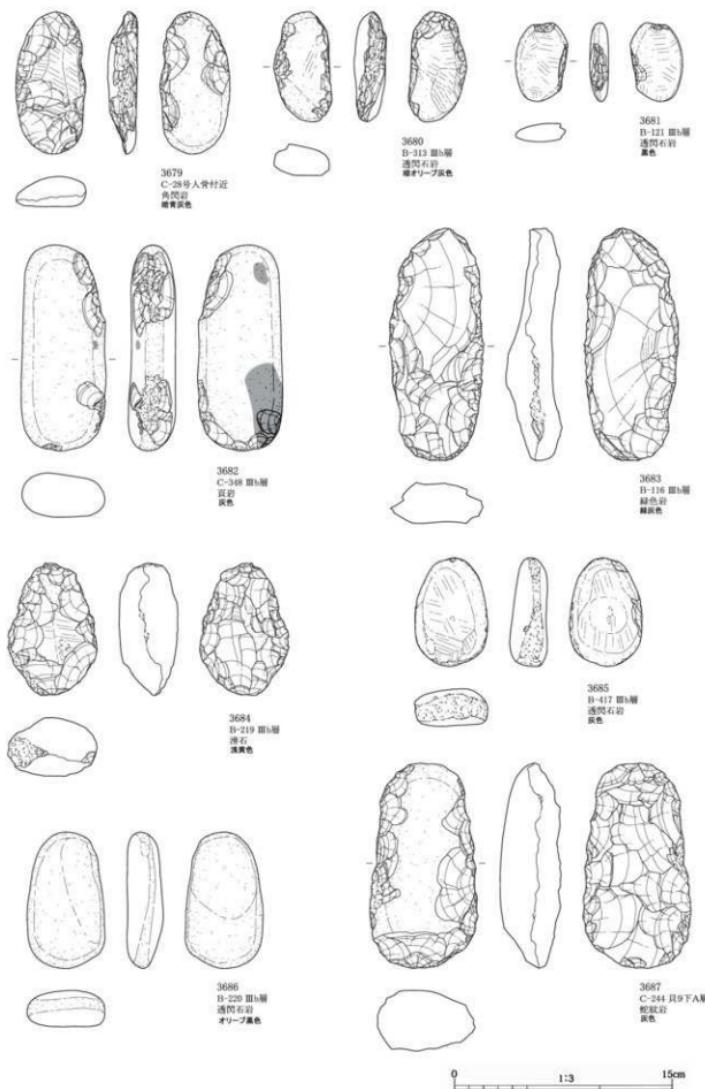


第289図 B・C地区 石製品28 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

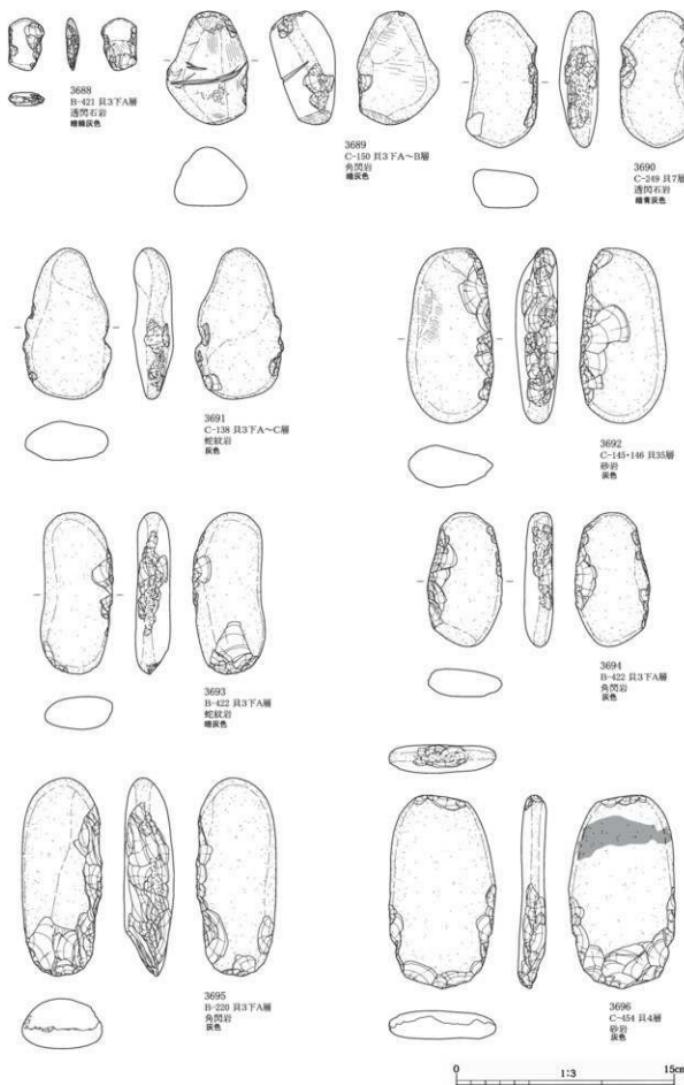


第290図 B・C地区 石製品29 (1/3)

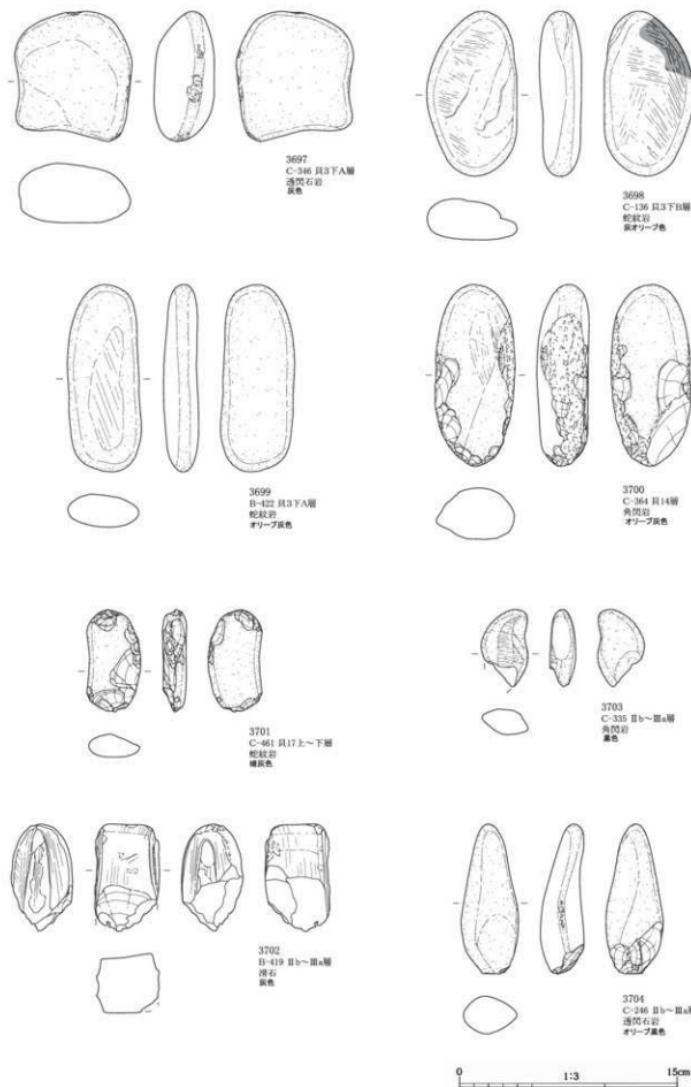


第291図 B・C地区 石製品30 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

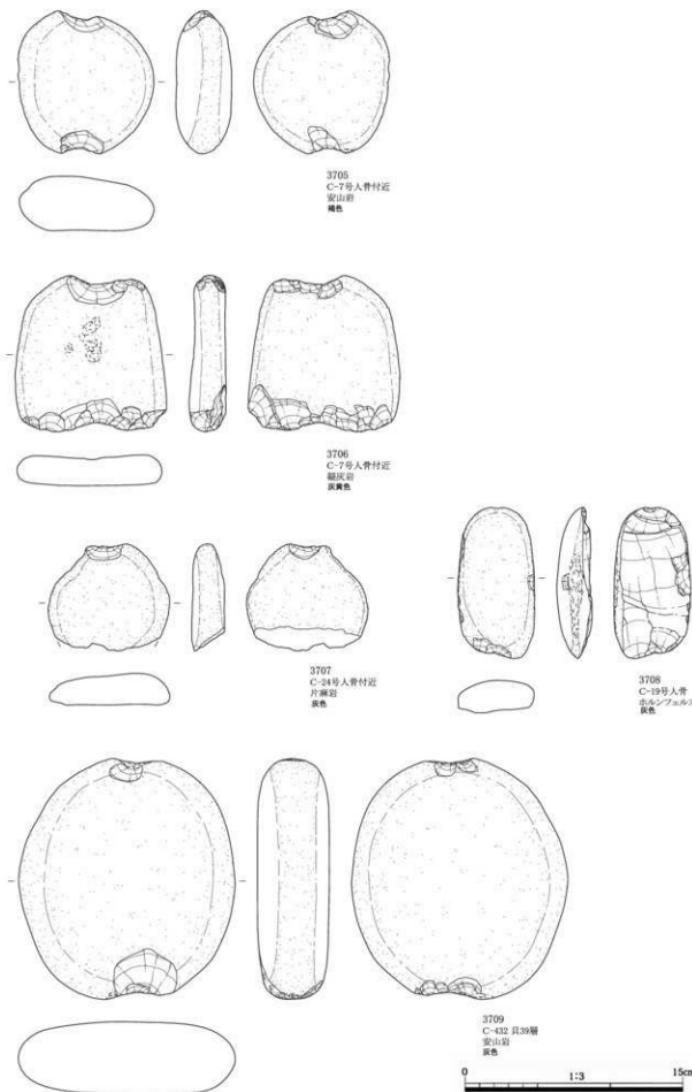


第292図 B・C地区 石製品31 (1/3)

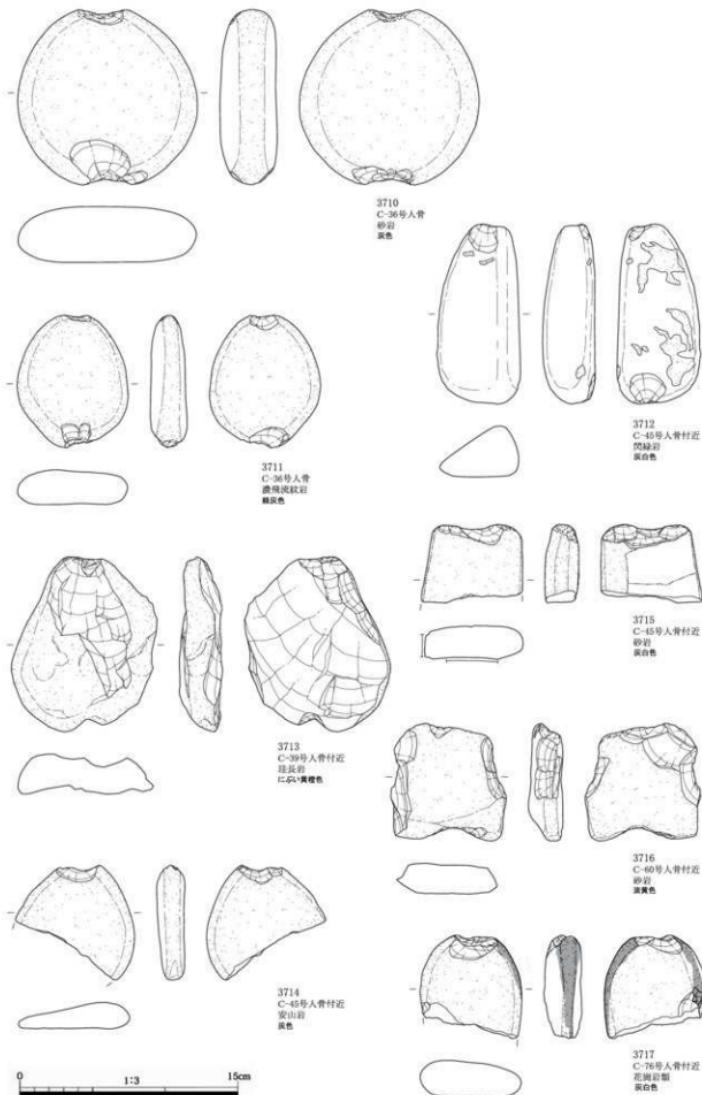


第293図 B・C地区 石製品32 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

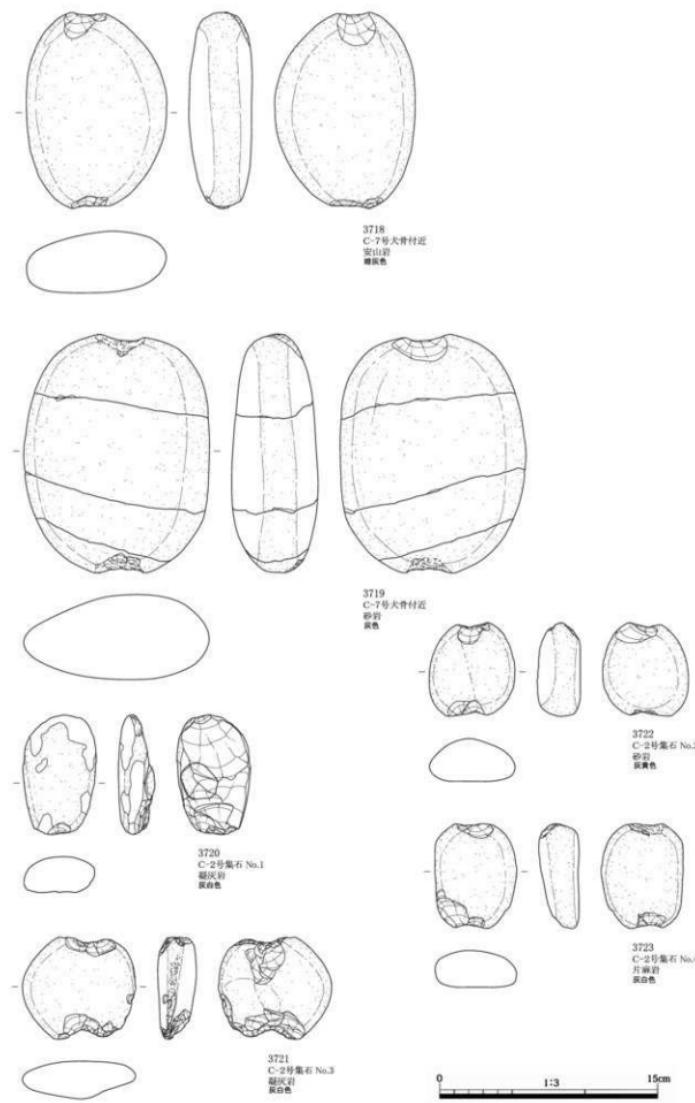


第294図 B・C地区 石製品33 (1/3)

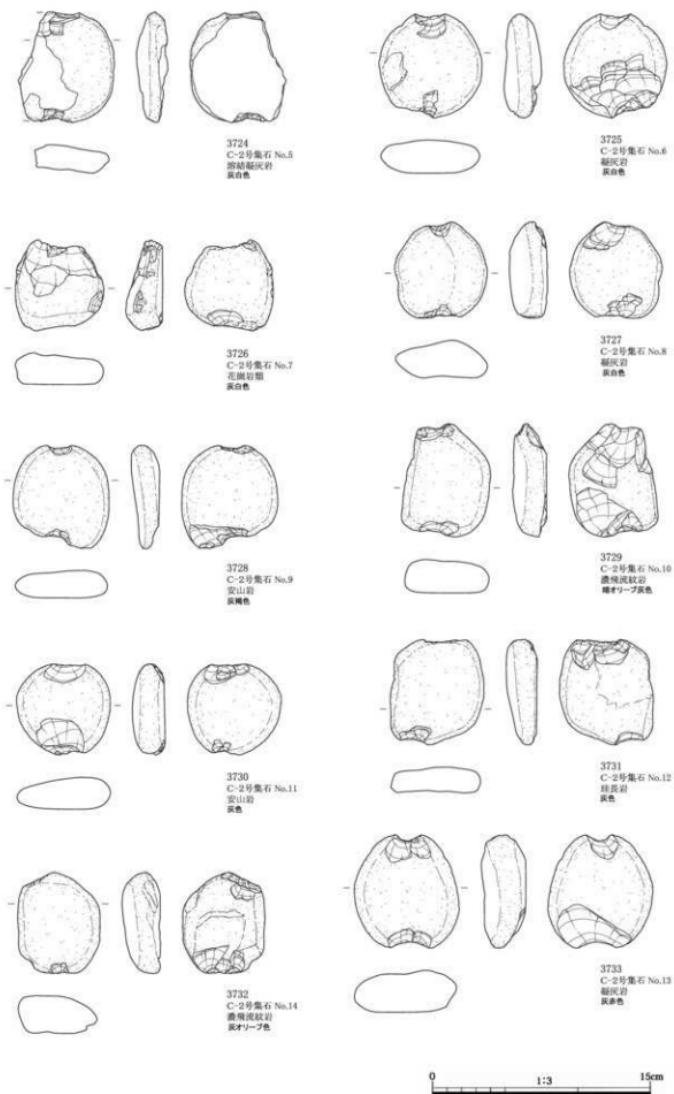


第295図 B・C地区 石製品 34 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



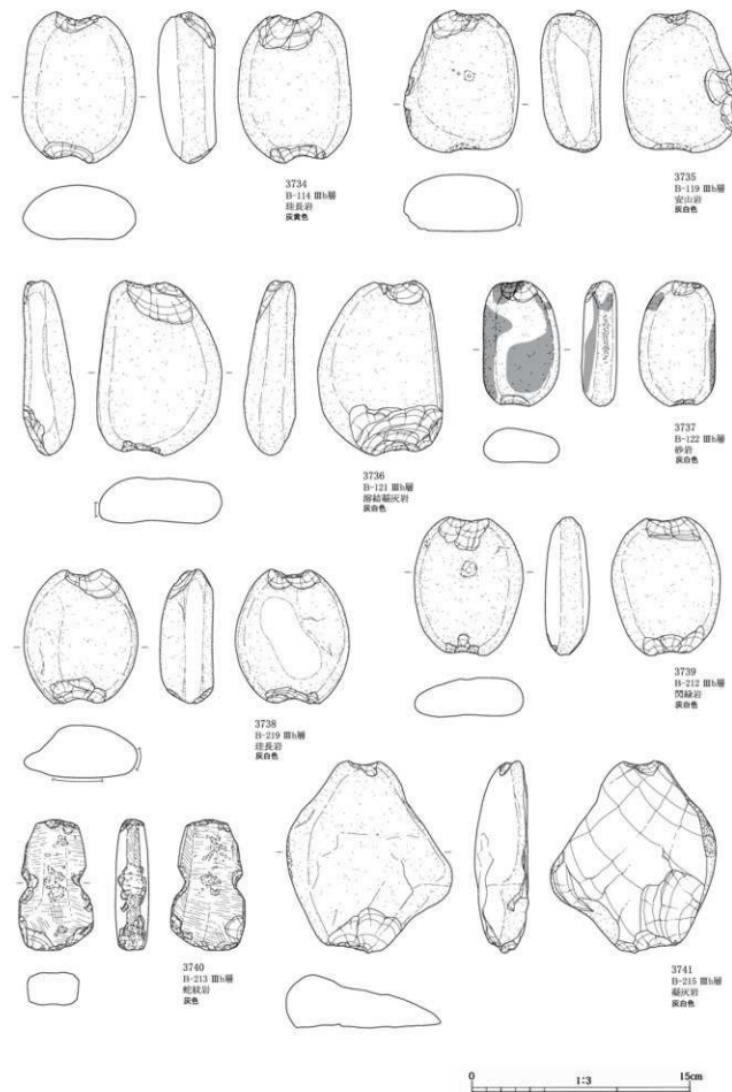
第296図 B・C地区 石製品35 (1/3)



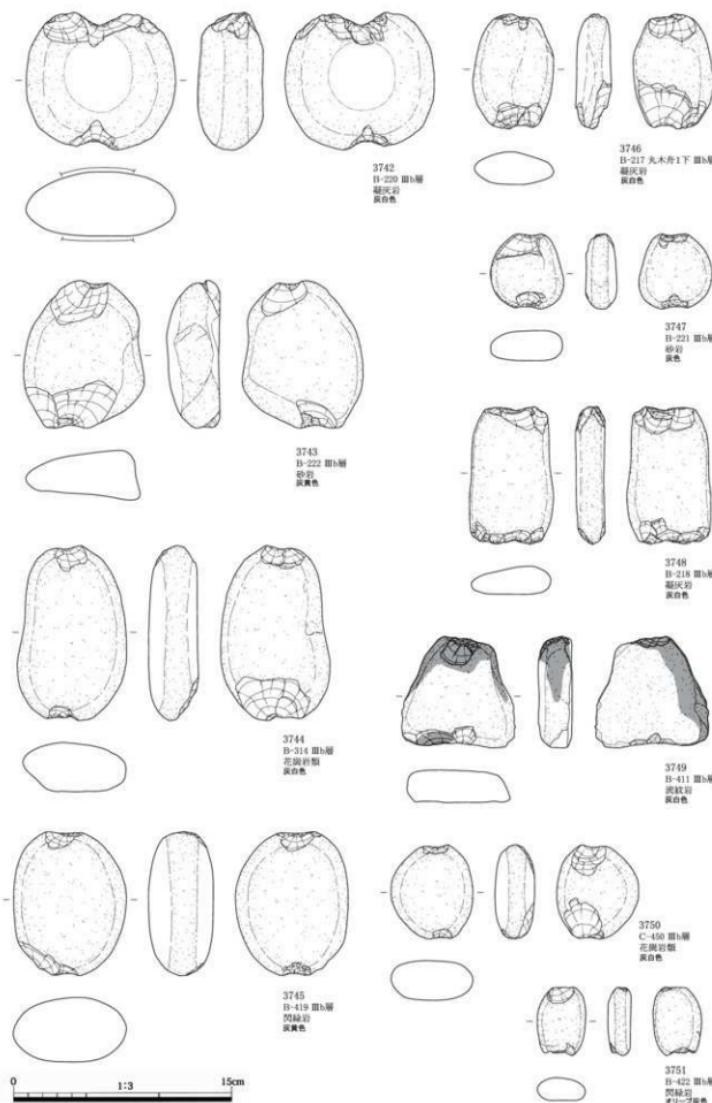
0 1:3 15cm

第297図 B・C地区 石製品36 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

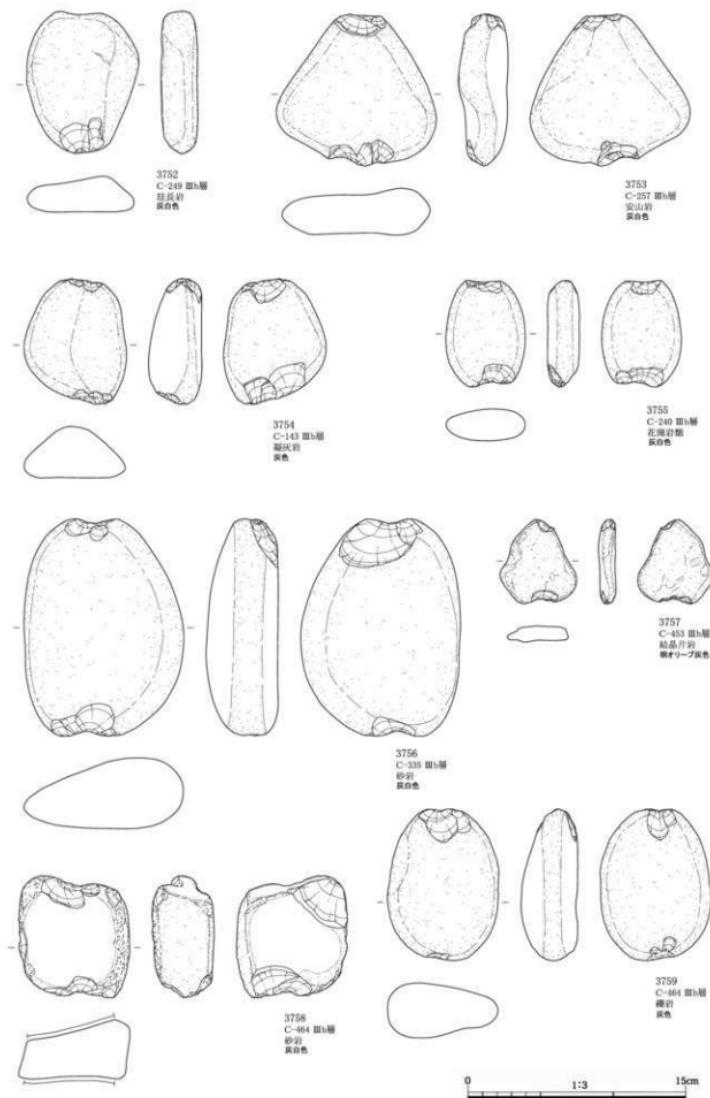


第298図 B・C地区 石製品37 (1/3)

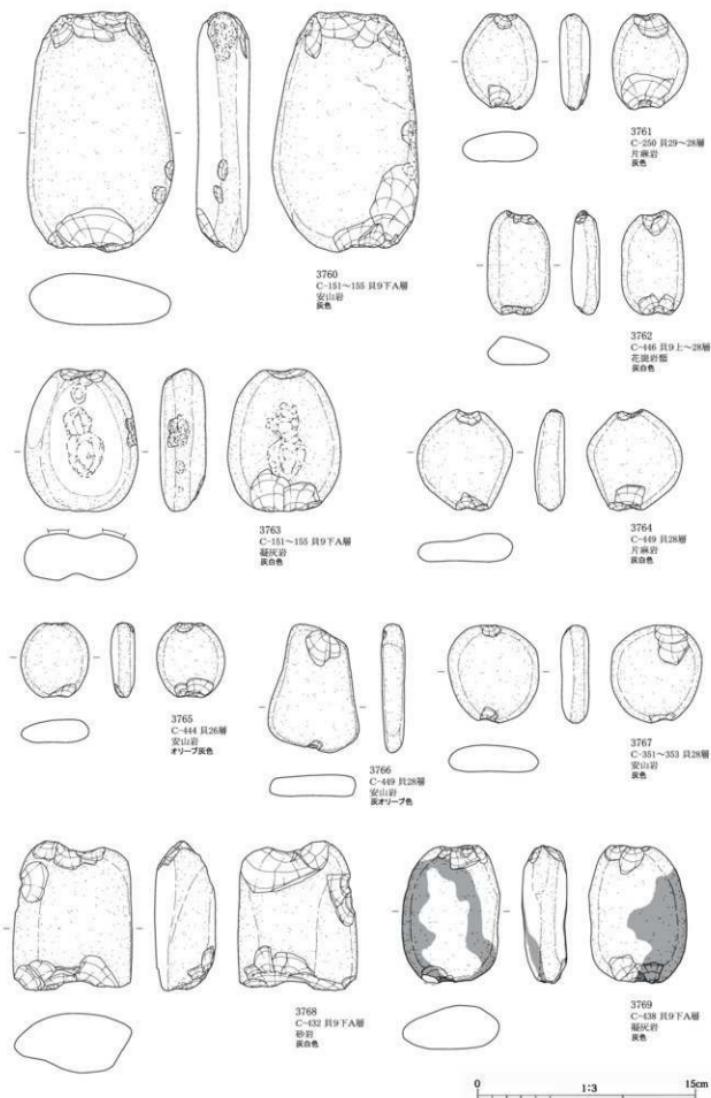


第299図 B・C地区 石製品 38 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

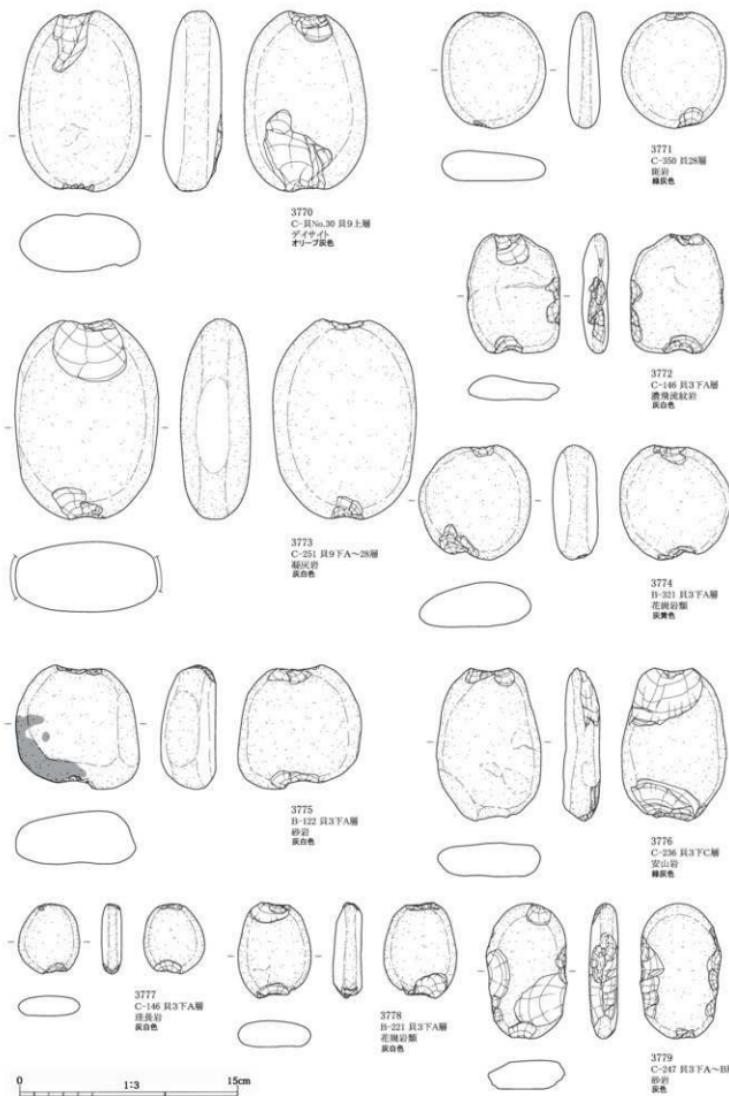


第300図 B・C地区 石製品39 (1/3)

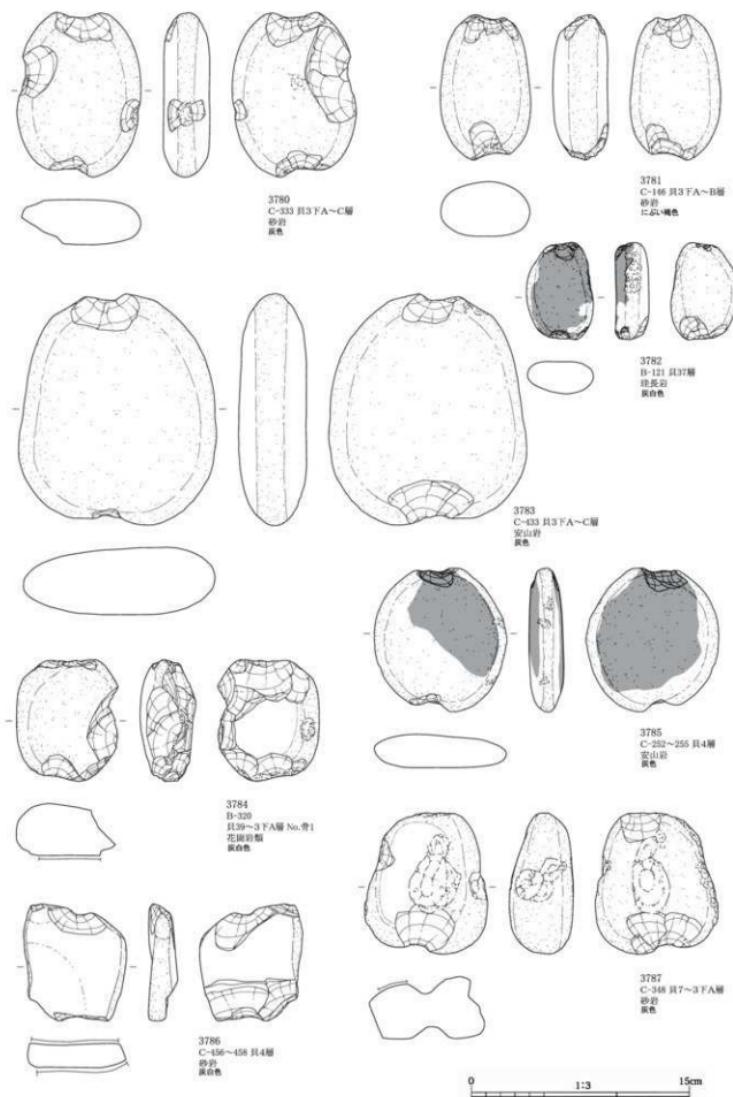


第301図 B・C地区 石製品40 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

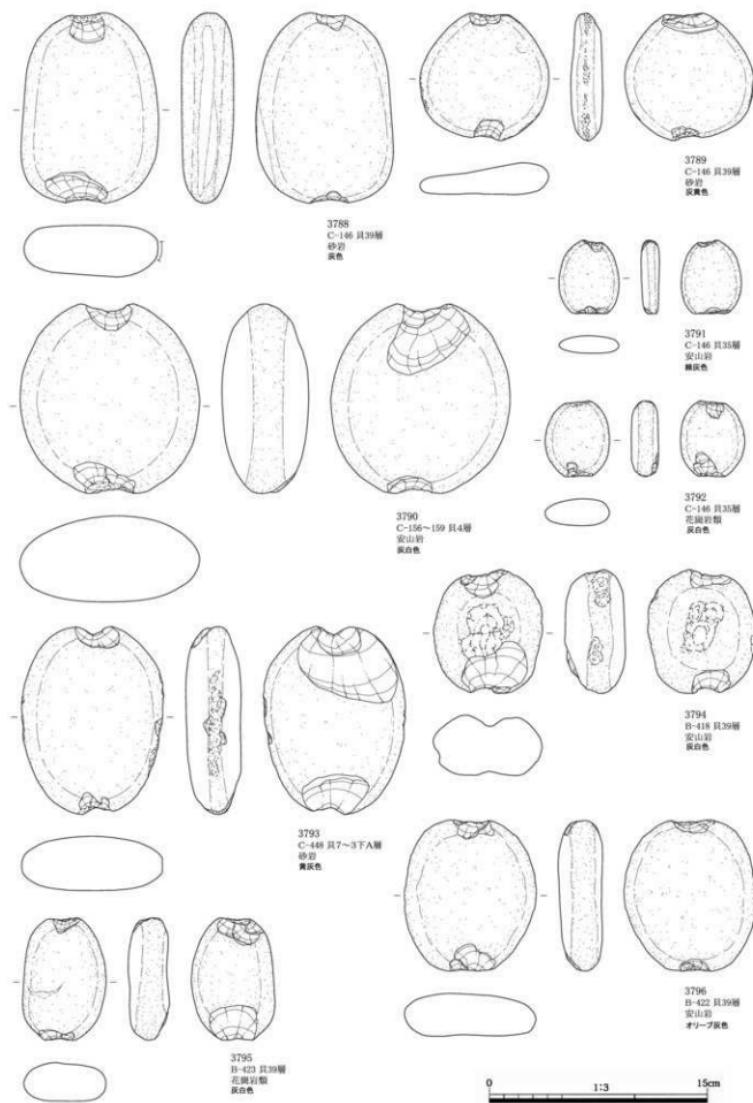


第302図 B・C地区 石製品41 (1/3)

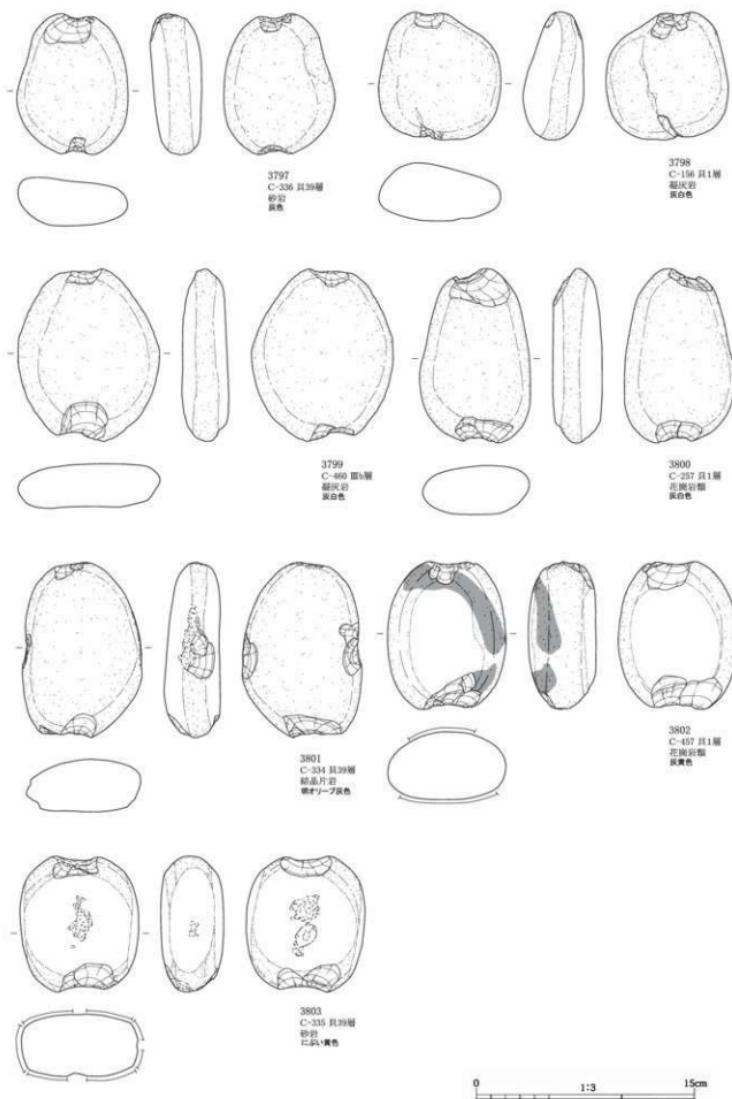


第303図 B・C地区 石製品42 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

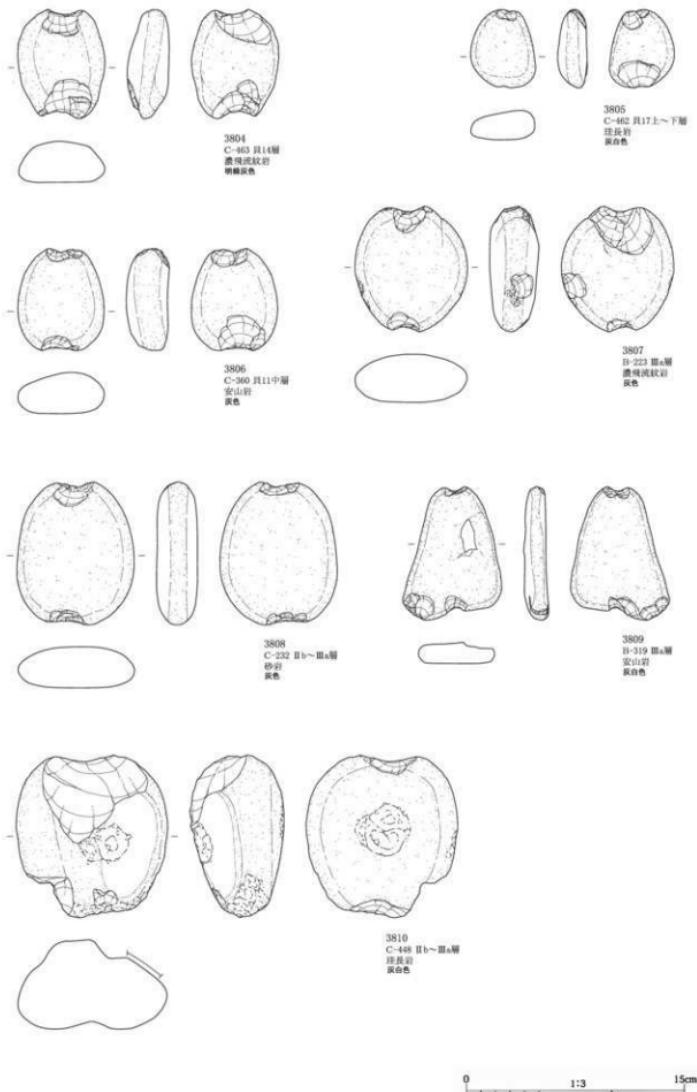


第304図 B・C地区 石製品43 (1/3)

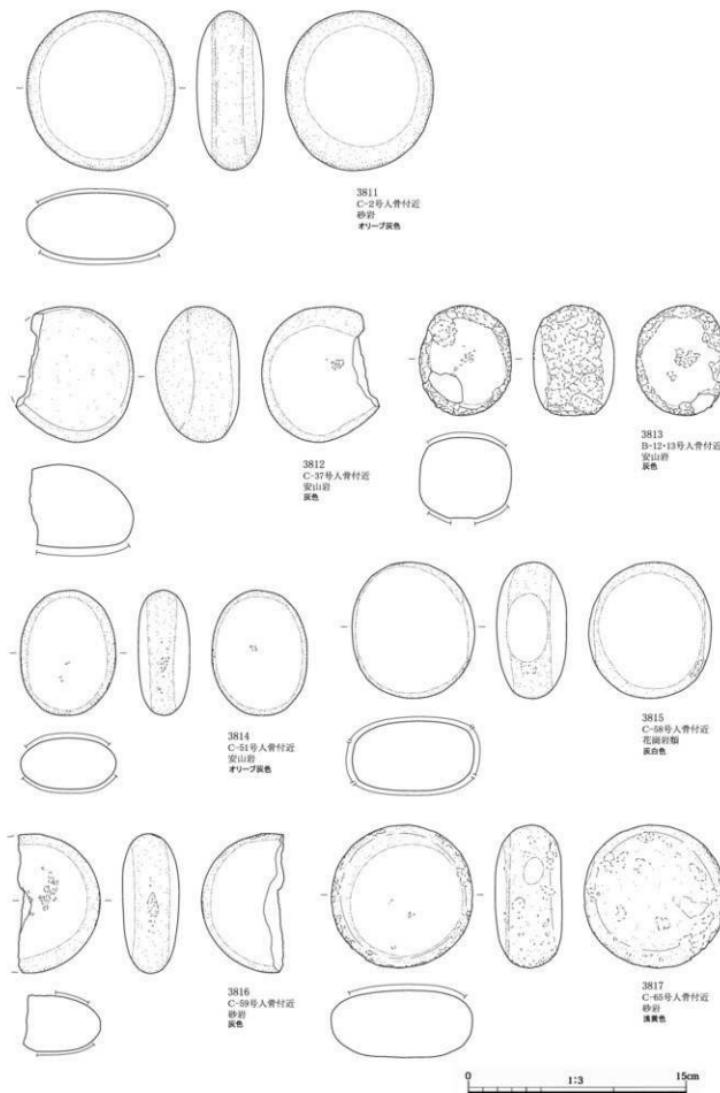


第305図 B・C地区 石製品44 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

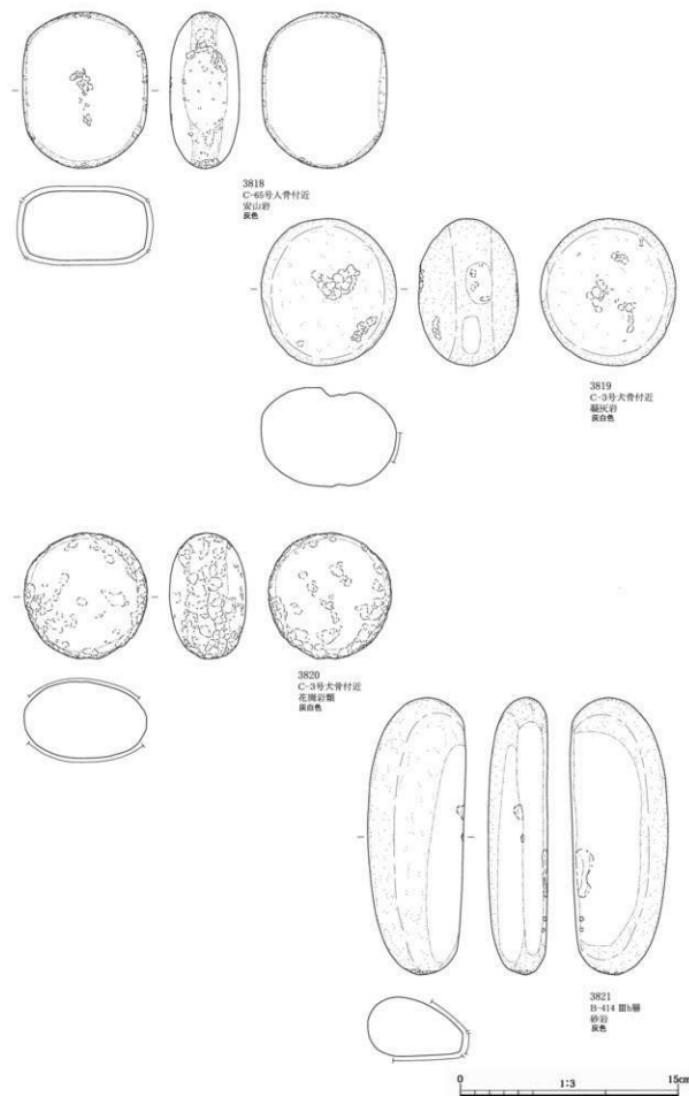


第306図 B・C地区 石製品45 (1/3)

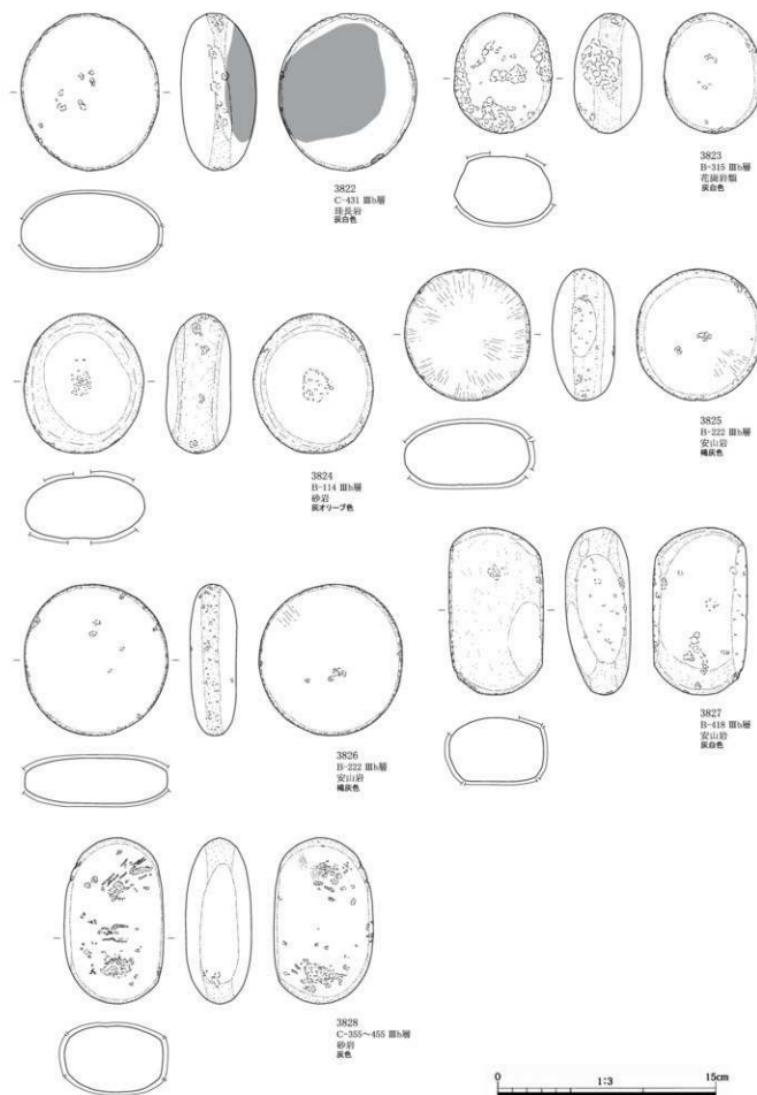


第307図 B・C地区 石製品46 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

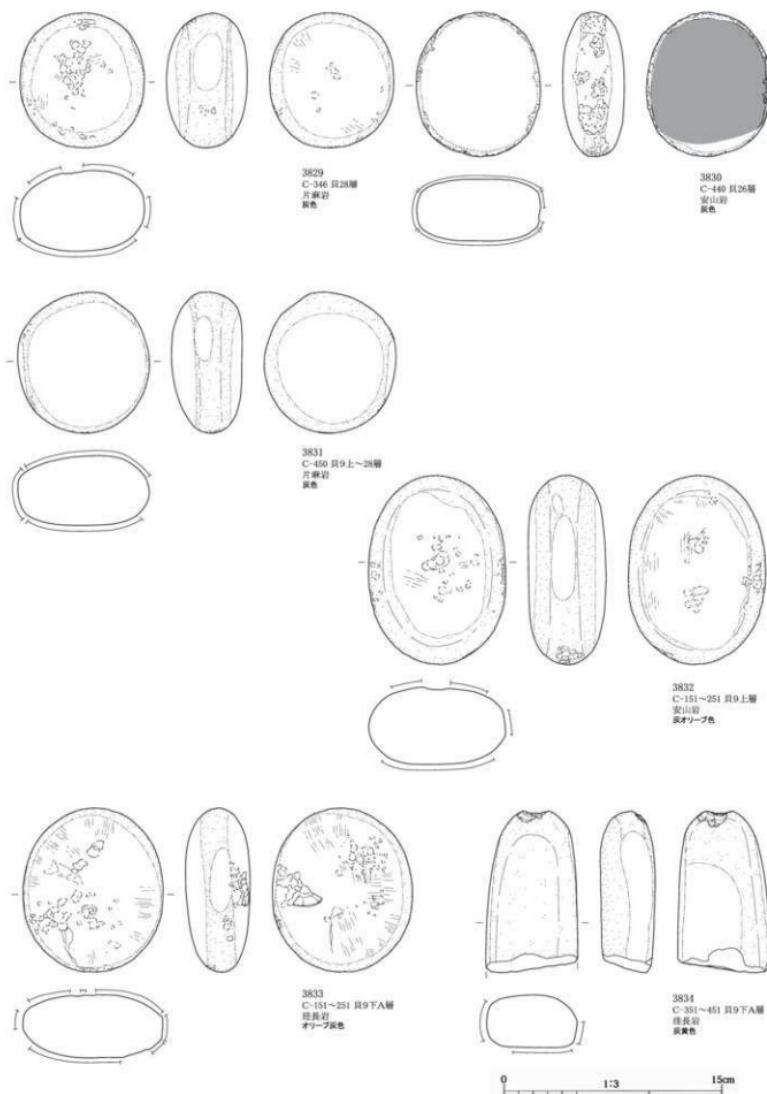


第308図 B・C地区 石製品47 (1/3)

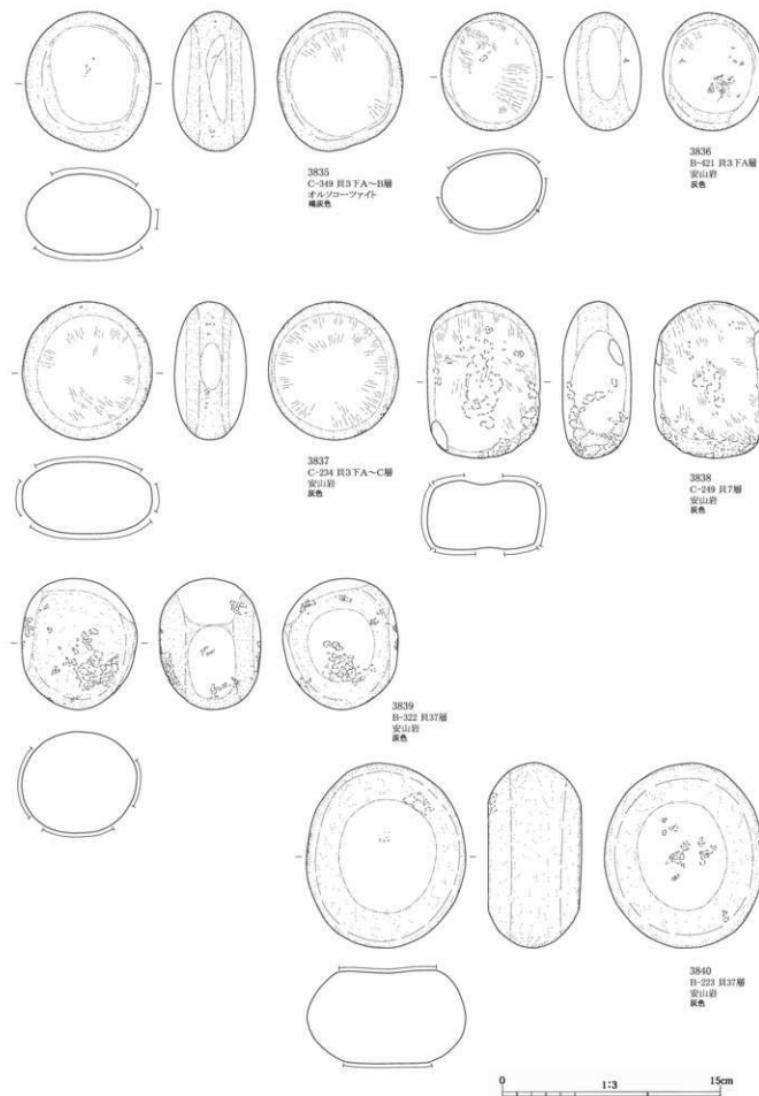


第309図 B・C地区 石製品48 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

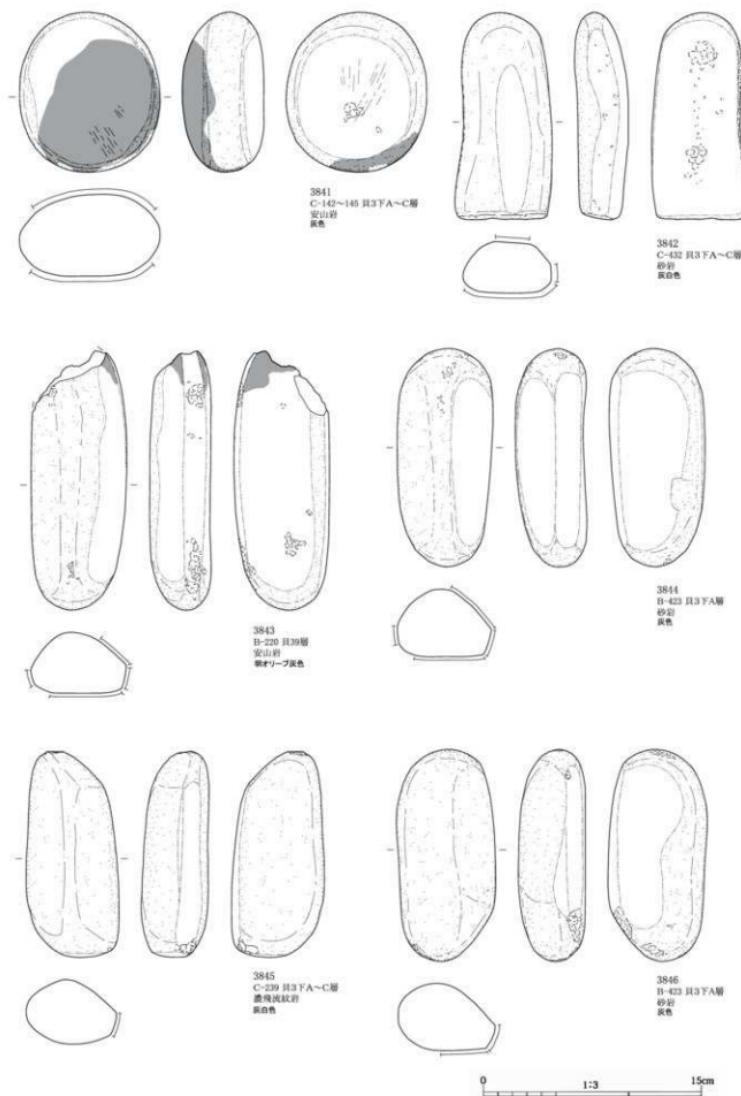


第310図 B・C地区 石製品49 (1/3)

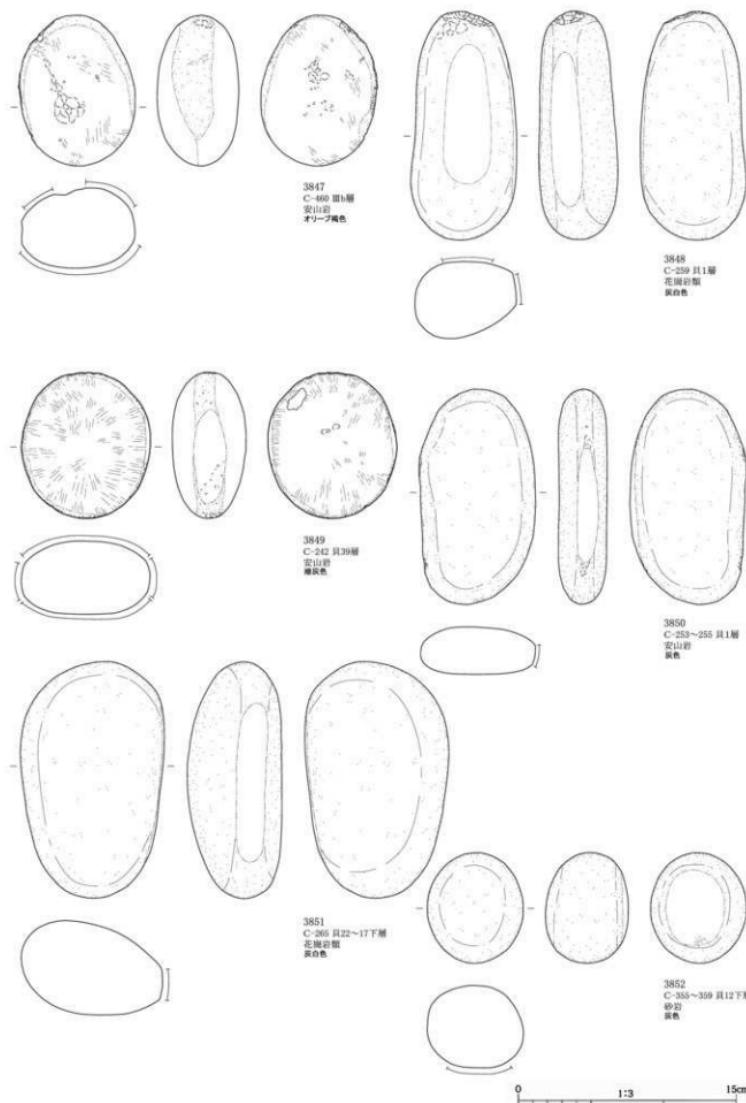


第311図 B・C地区 石製品50 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

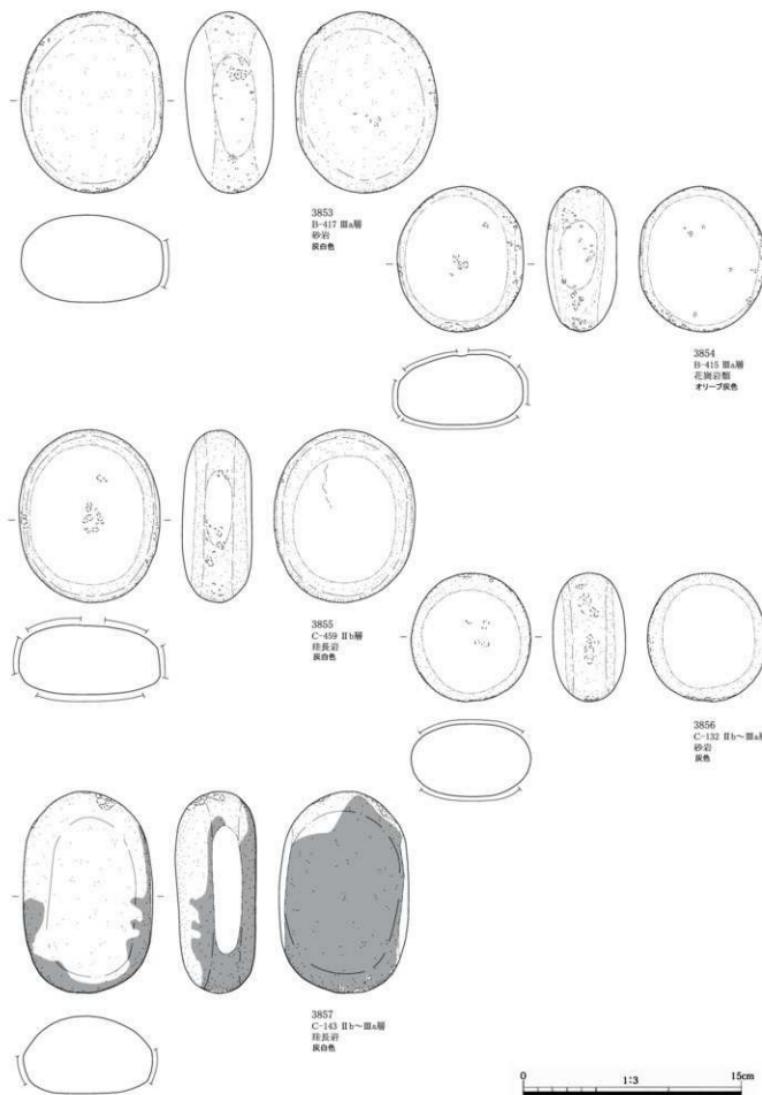


第312図 B・C地区 石製品51 (1/3)

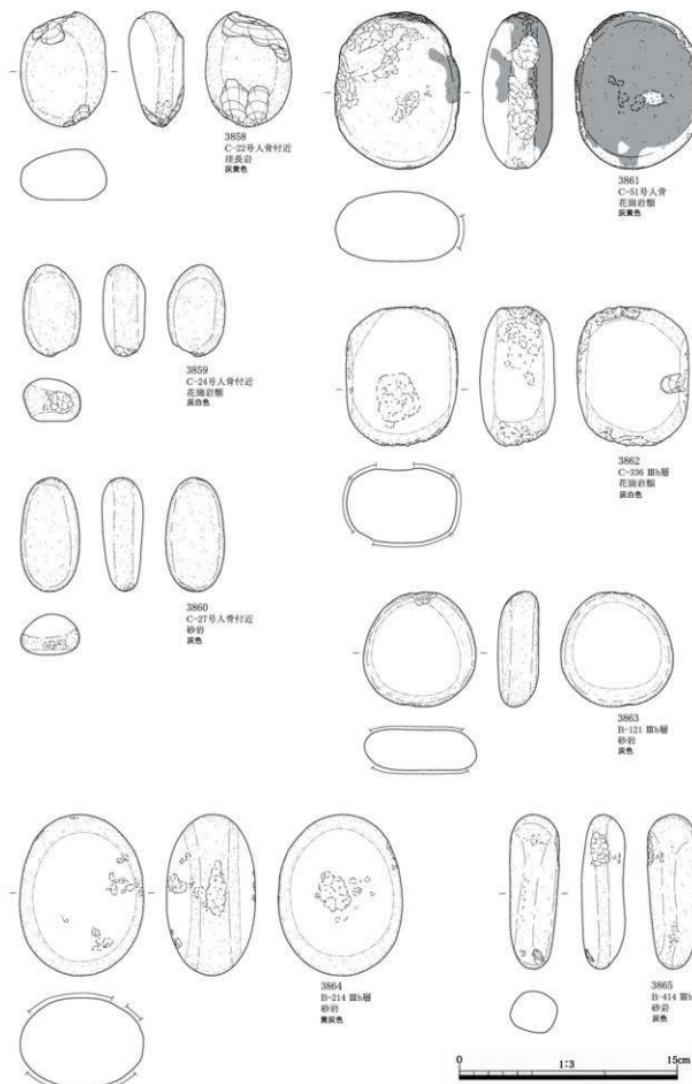


第313図 B・C地区 石製品 52 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

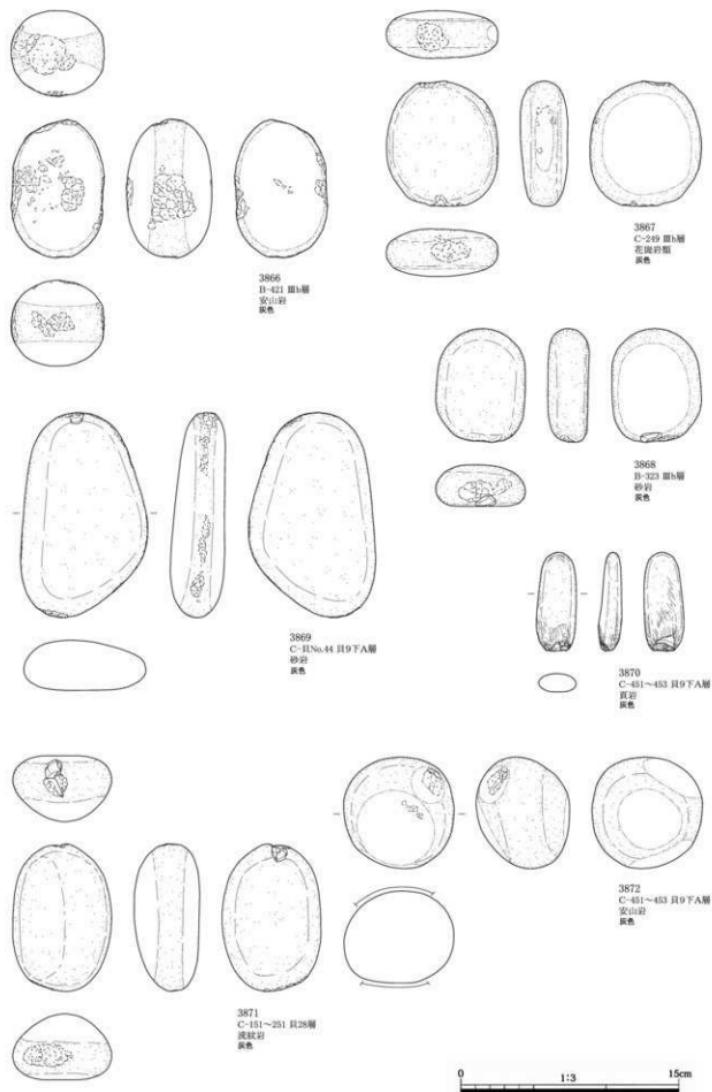


第314図 B・C地区 石製品53 (1/3)

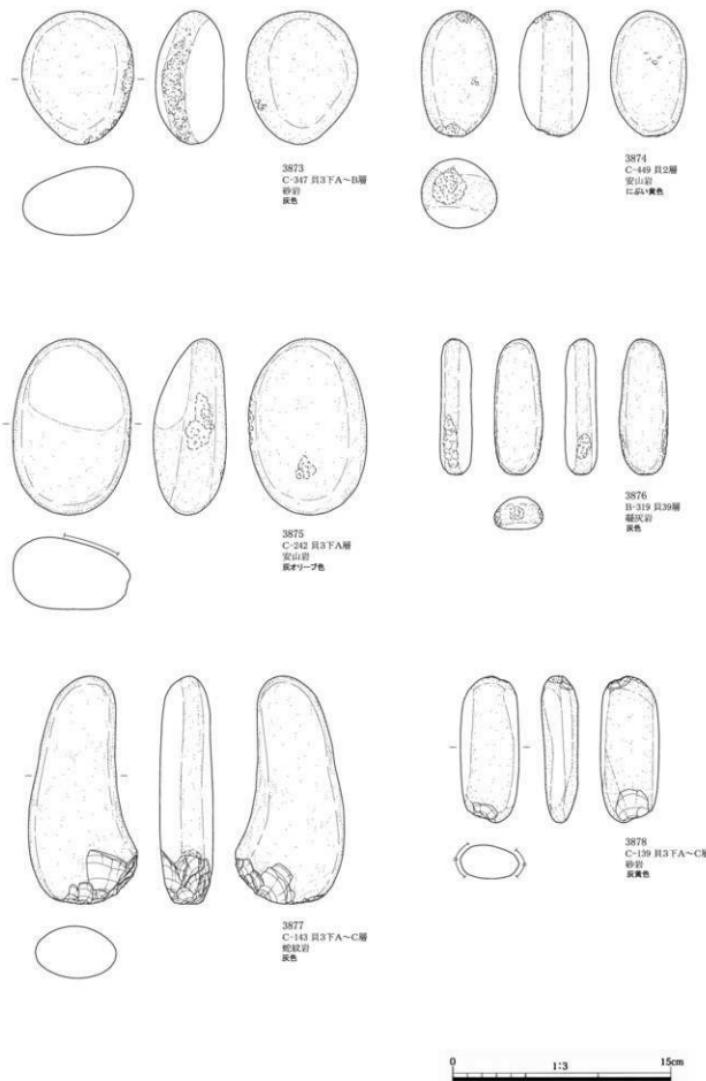


第315図 B・C地区 石製品 54 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

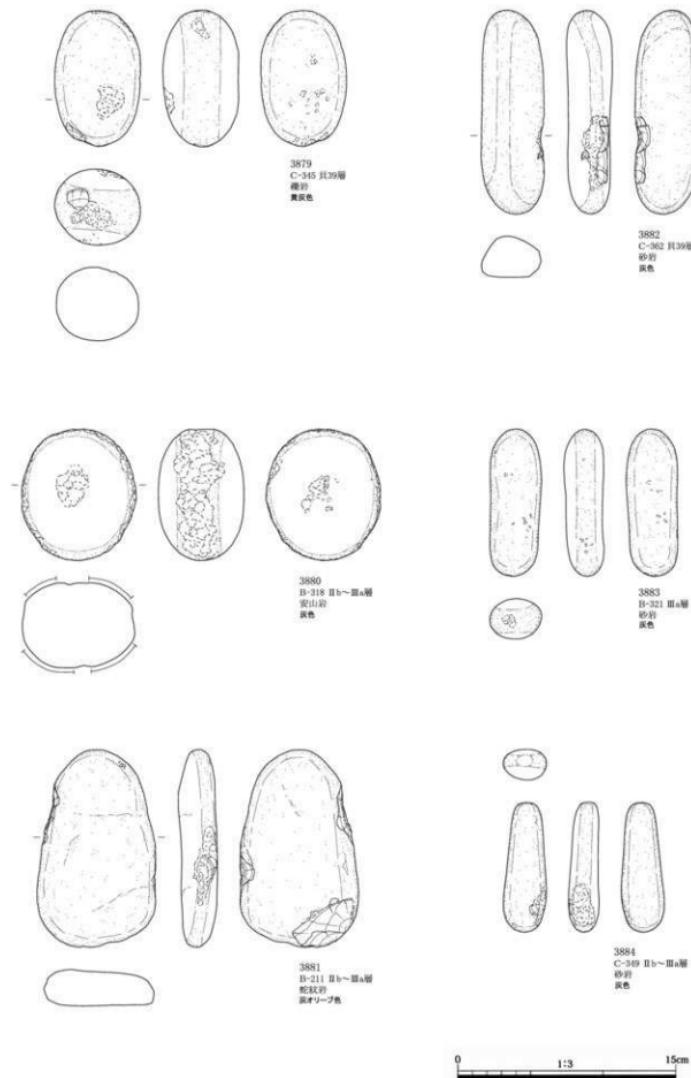


第316図 B・C地区 石製品 55 (1/3)

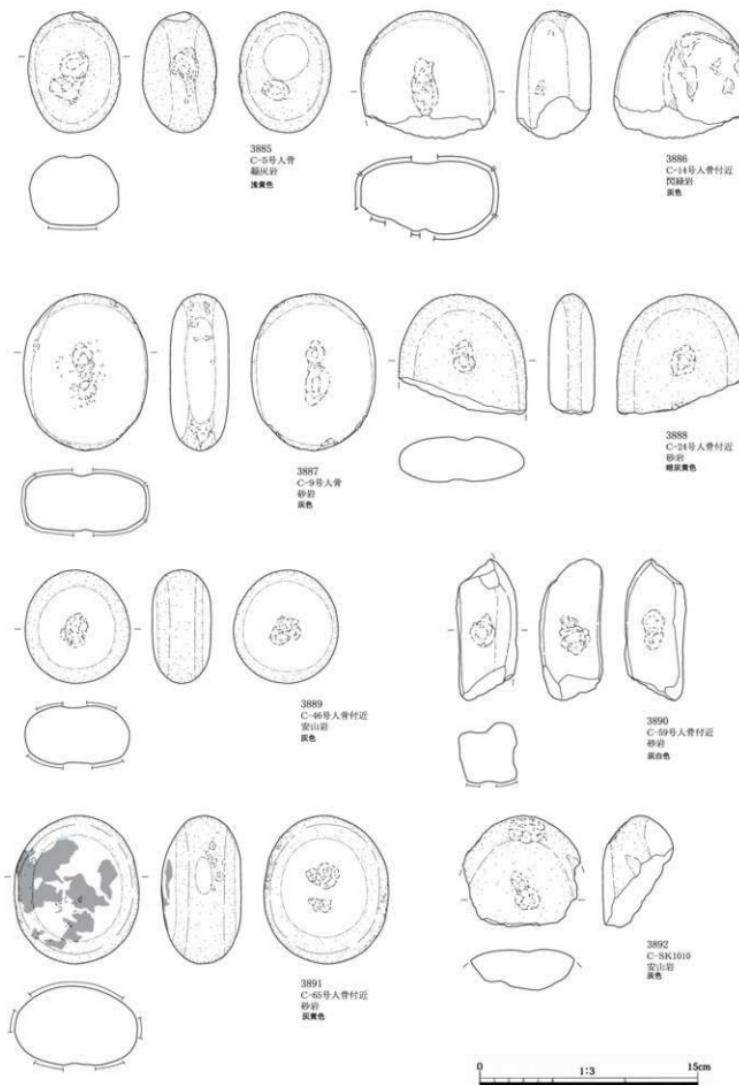


第317図 B・C地区 石製品 56 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

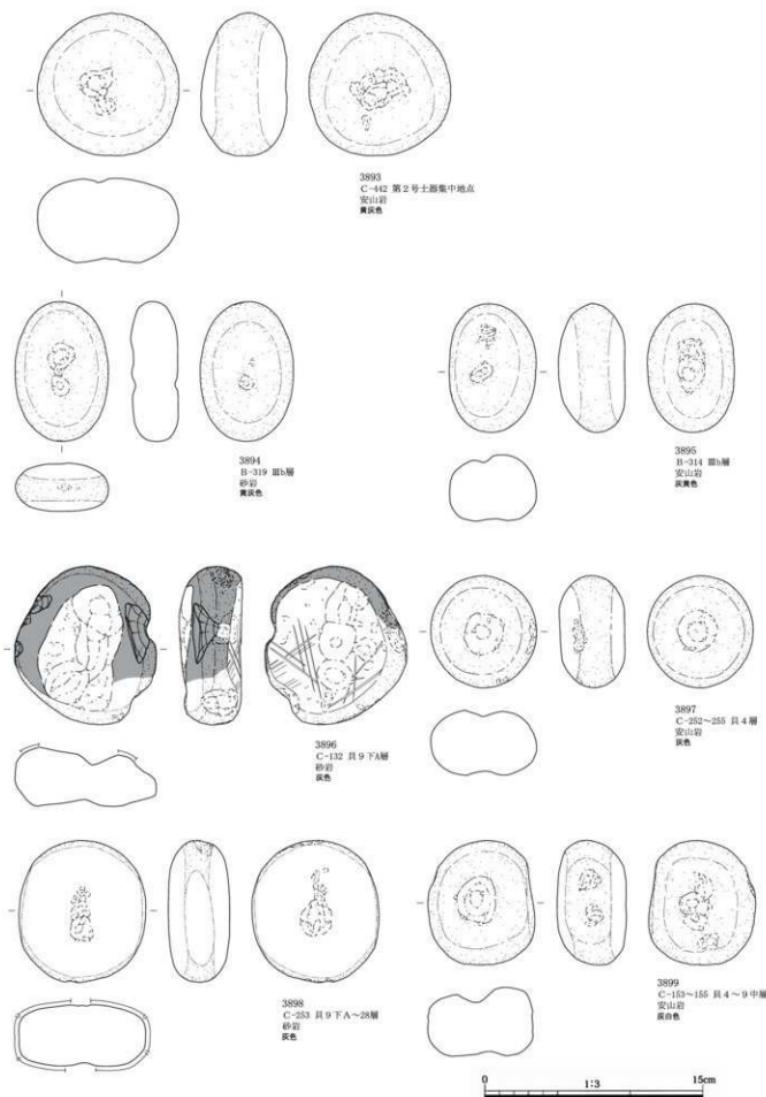


第318図 B・C地区 石製品 57 (1/3)

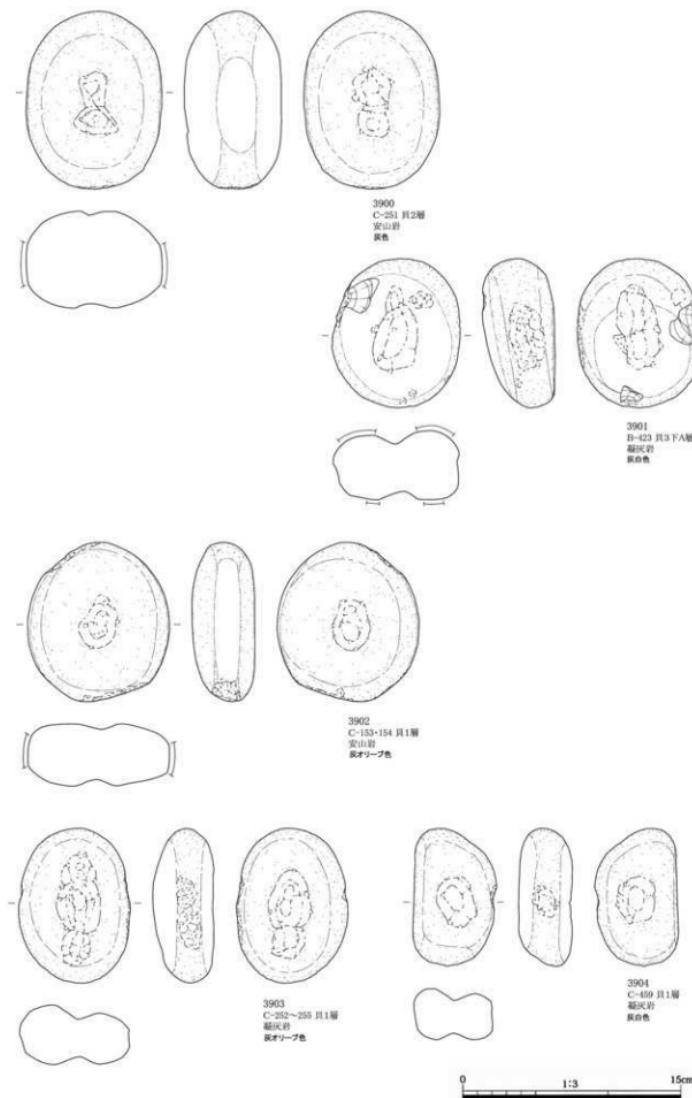


第319図 B・C地区 石製品 58 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

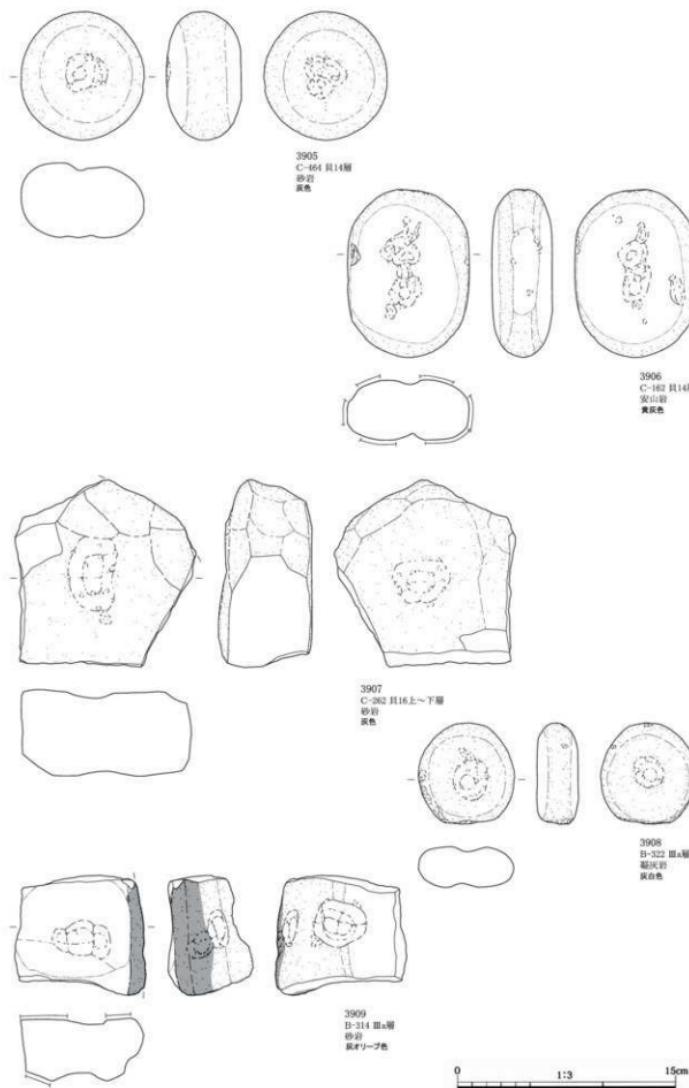


第320図 B・C地区 石製品 59 (1/3)

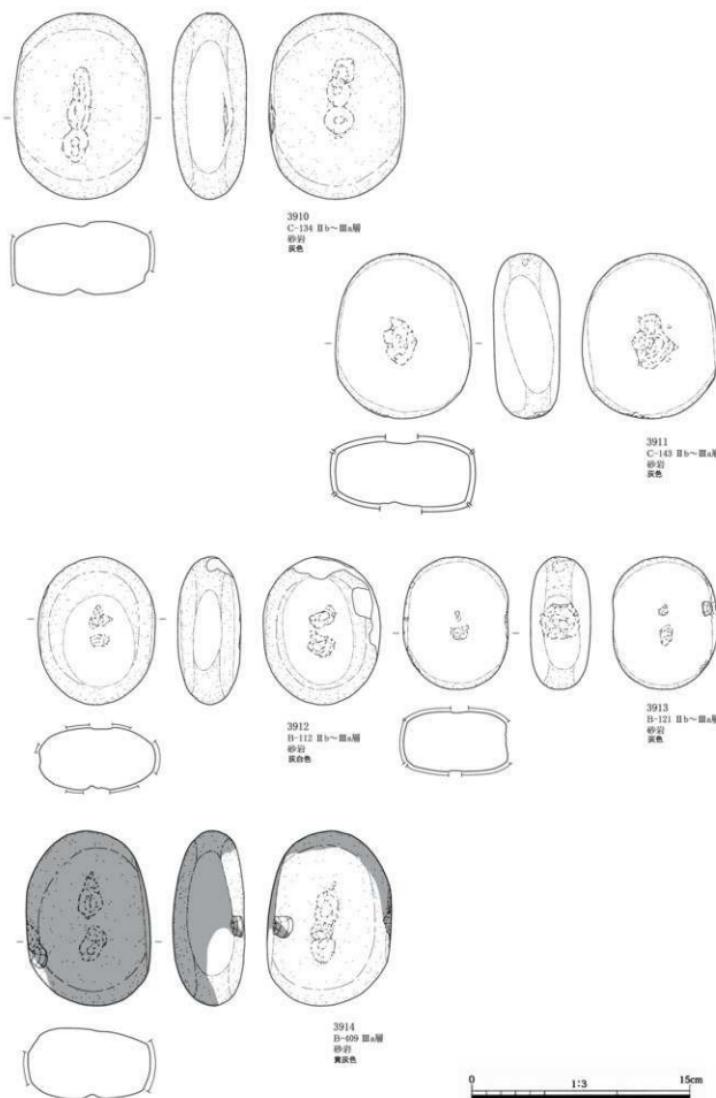


第321図 B・C地区 石製品60 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

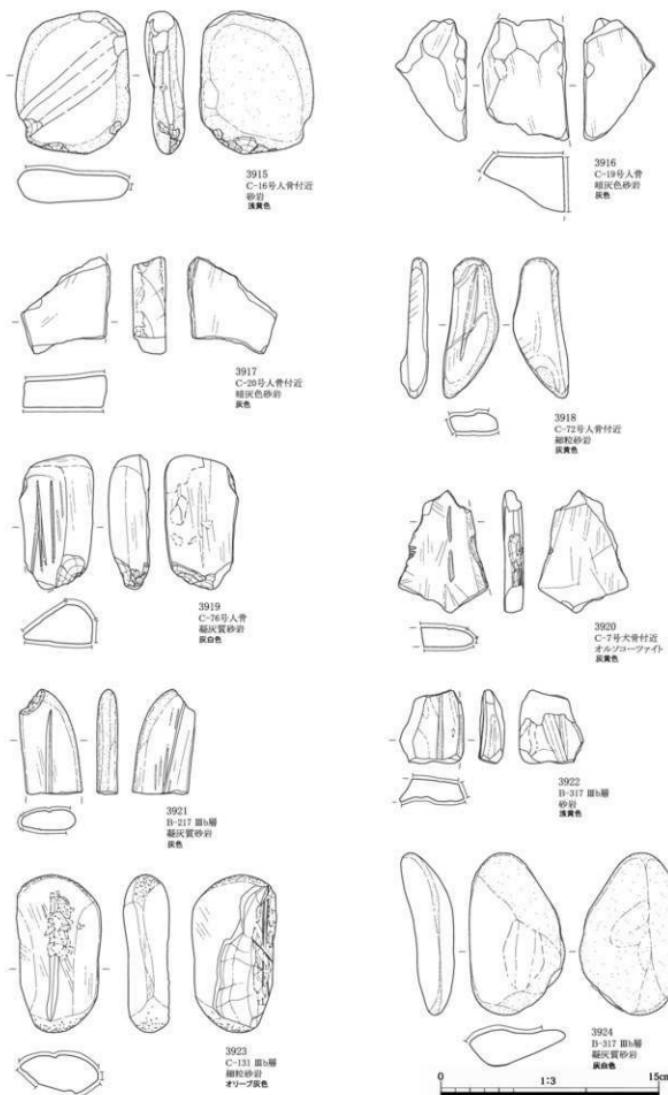


第322図 B・C地区 石製品61 (1/3)

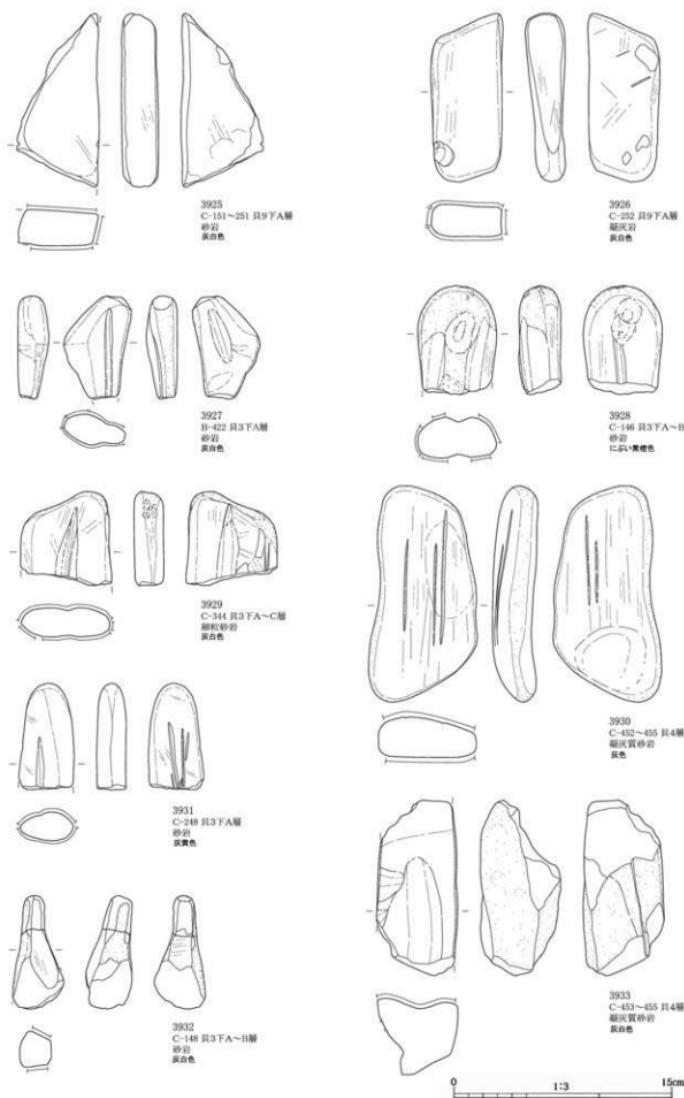


第323図 B・C地区 石製品62 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

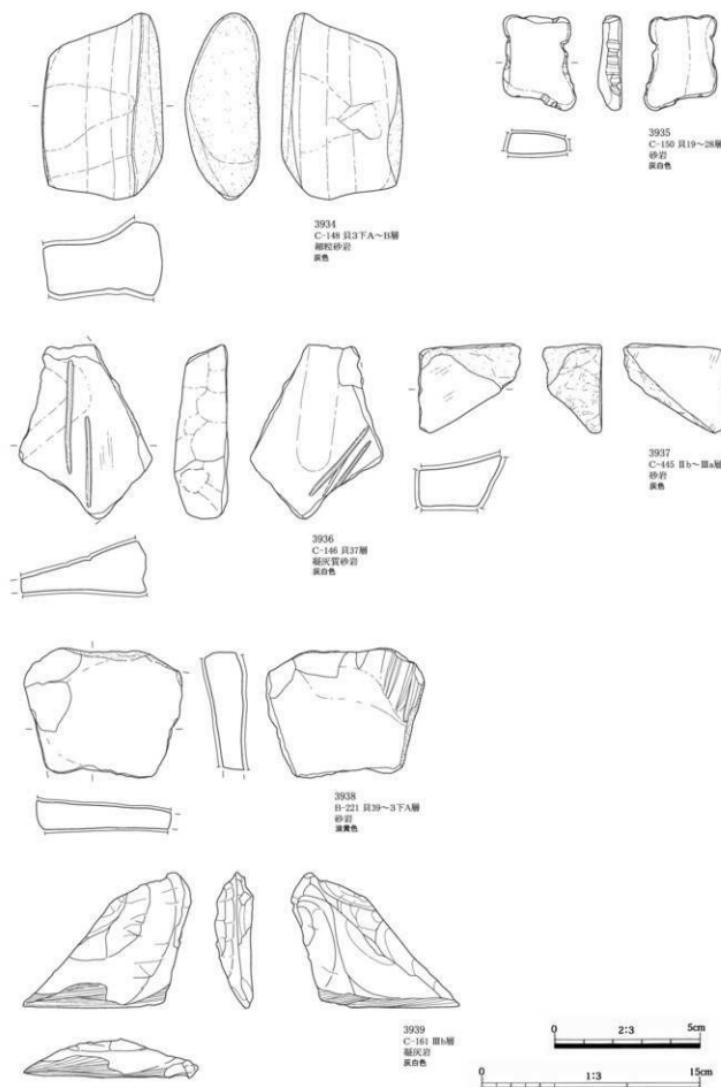


第324図 B・C地区 石製品63 (1/3)

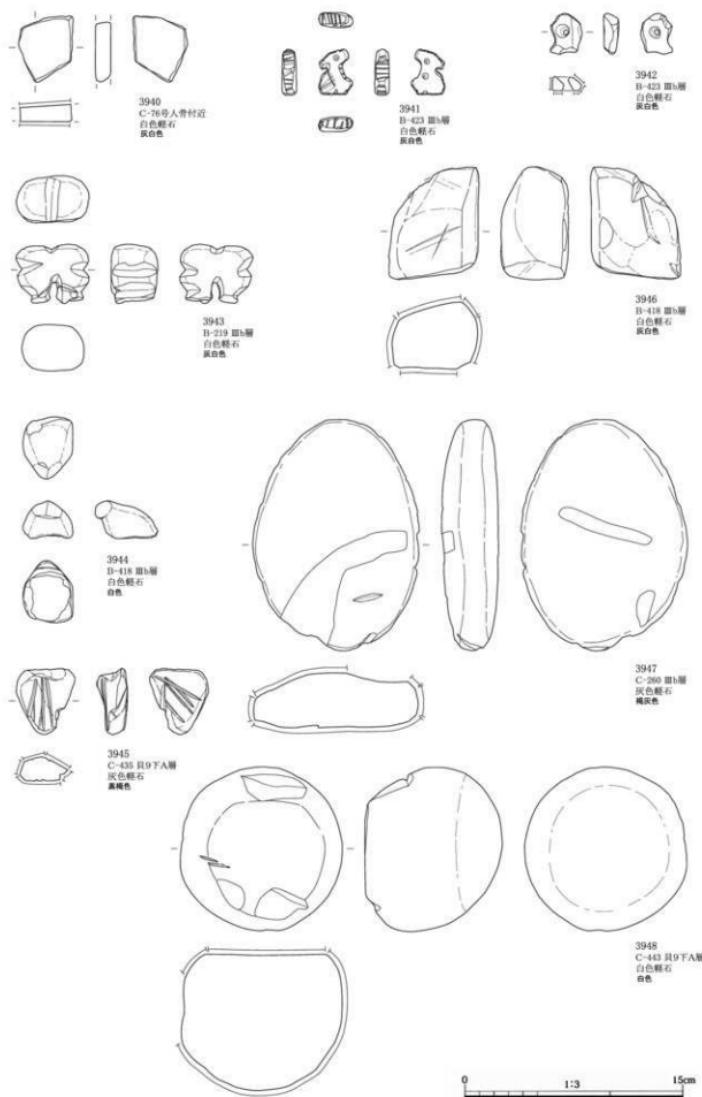


第325図 B・C地区 石製品 64 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

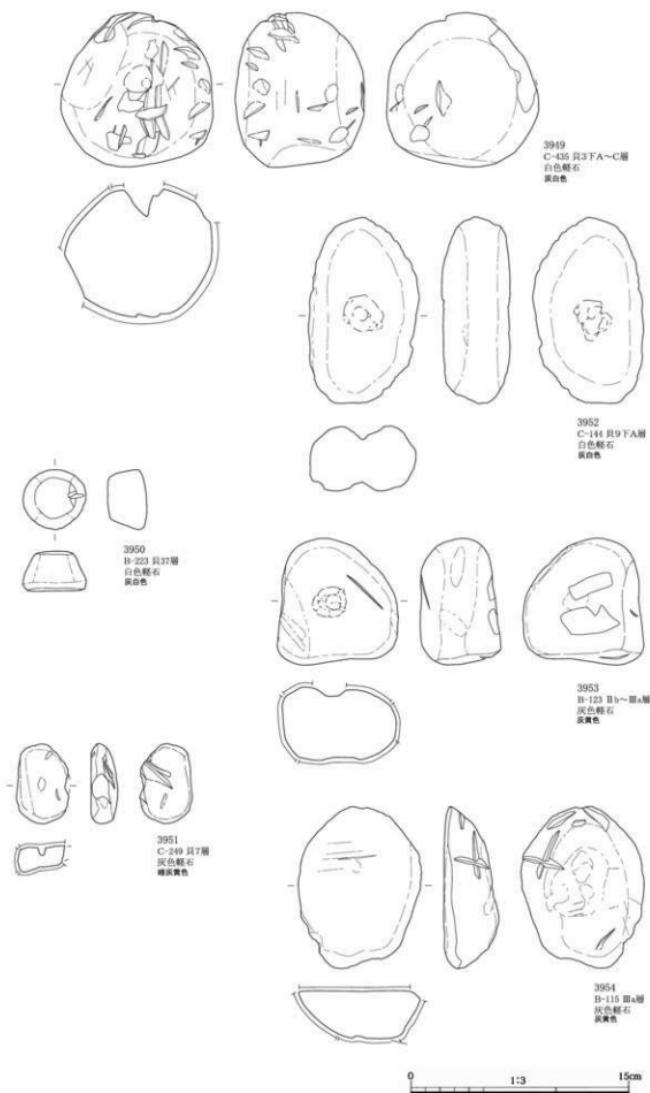


第326図 B・C地区 石製品65 (3939 2/3, 3934～3938 1/3)

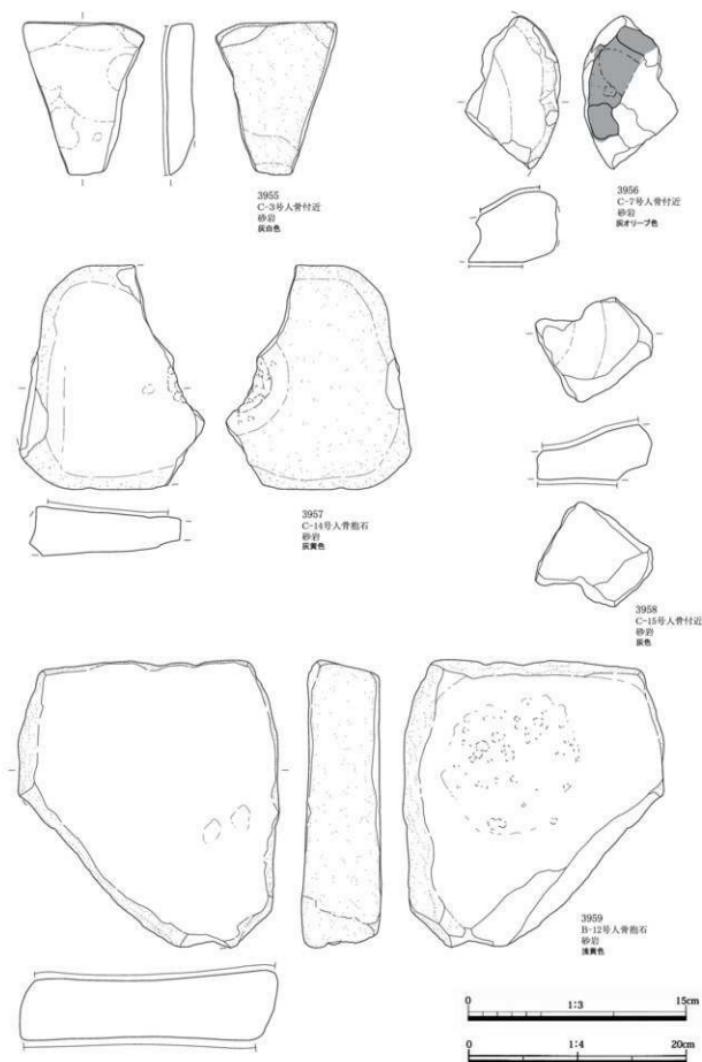


第327図 B・C地区 石製品66 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

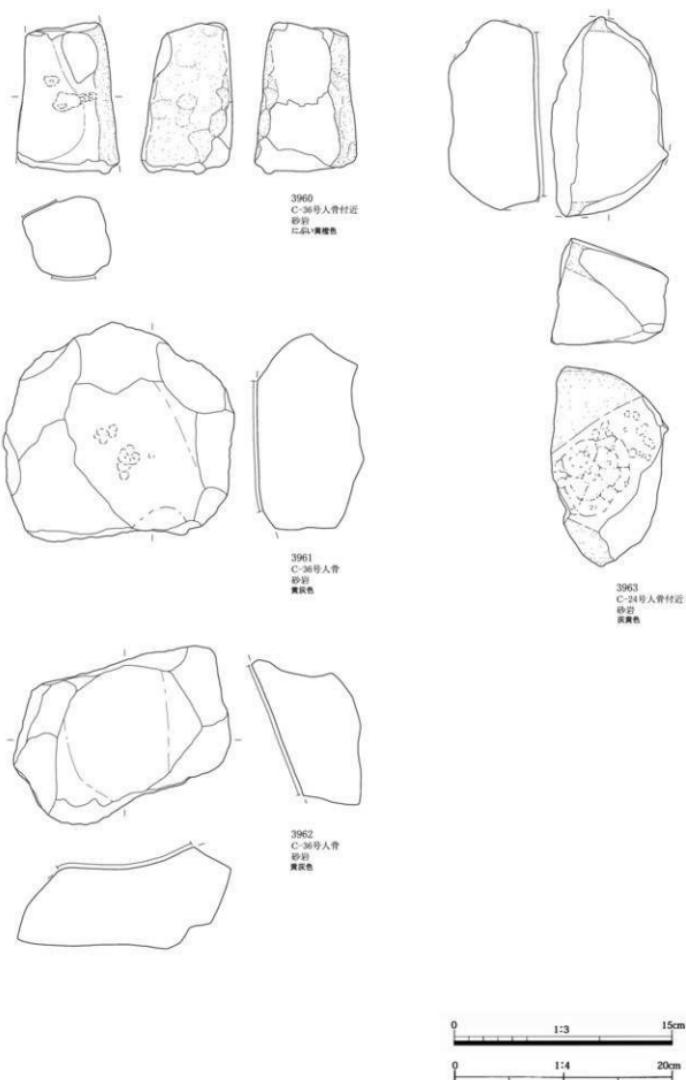


第328図 B・C地区 石製品 67 (1/3)

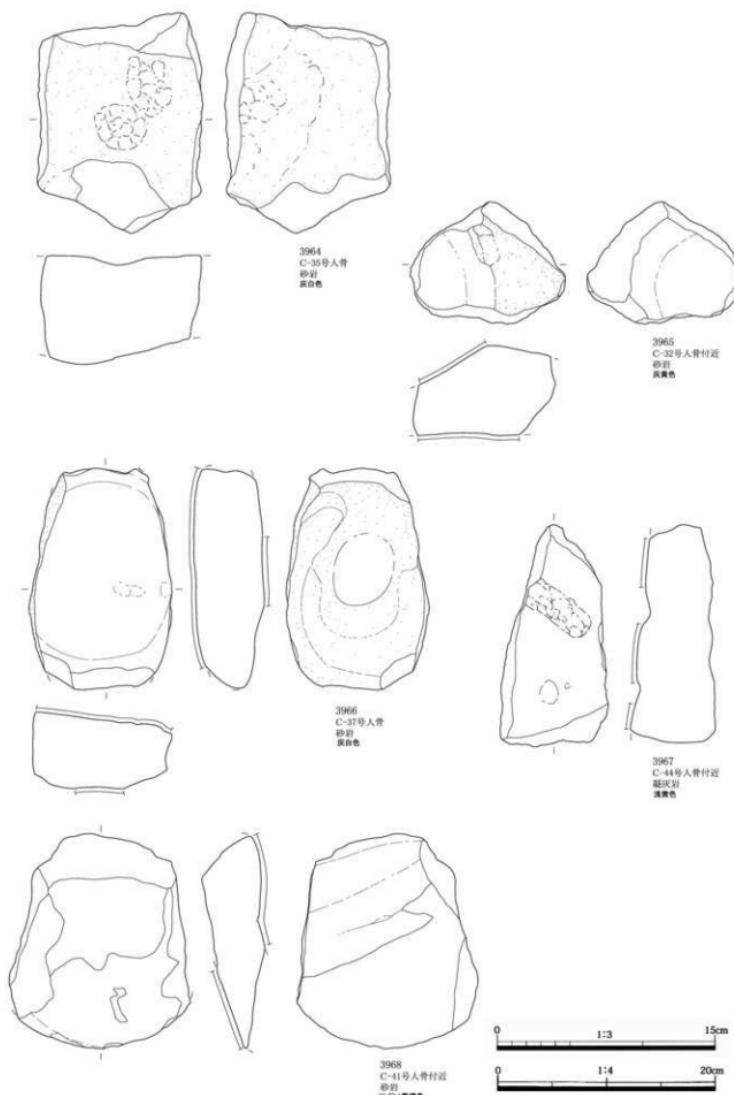


第329図 B・C地区 石製品68 (3955・3956・3958 1/3, 3957・3959 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

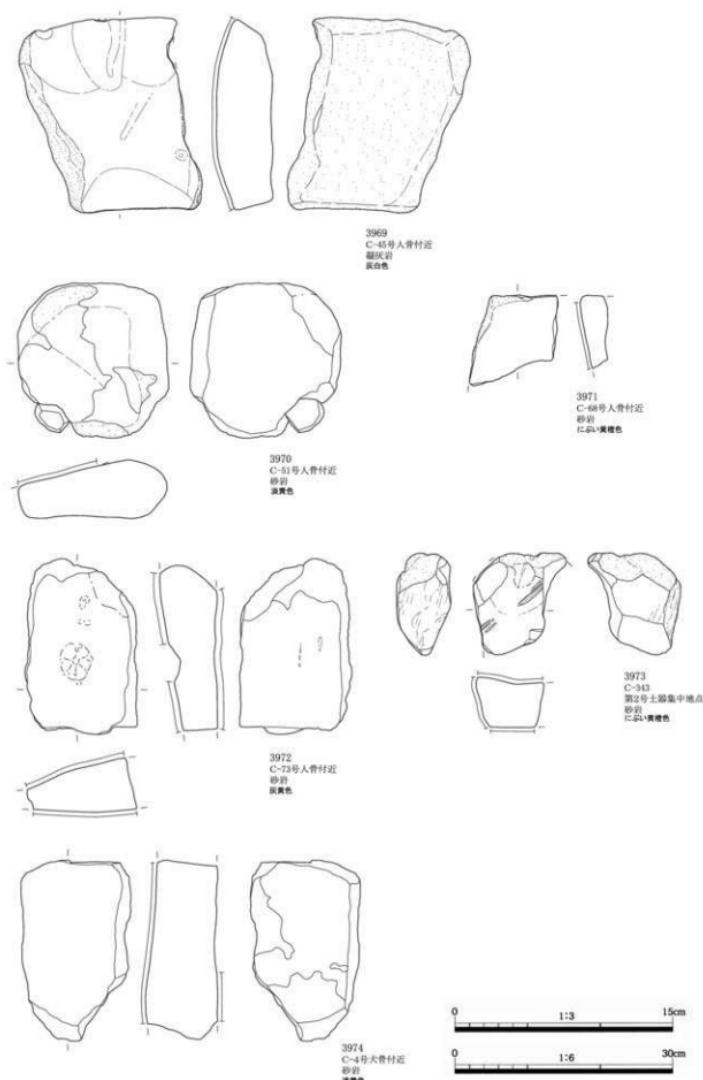


第330図 B・C地区 石製品 69 (3960・3962 1/3, 3961・3963 1/4)

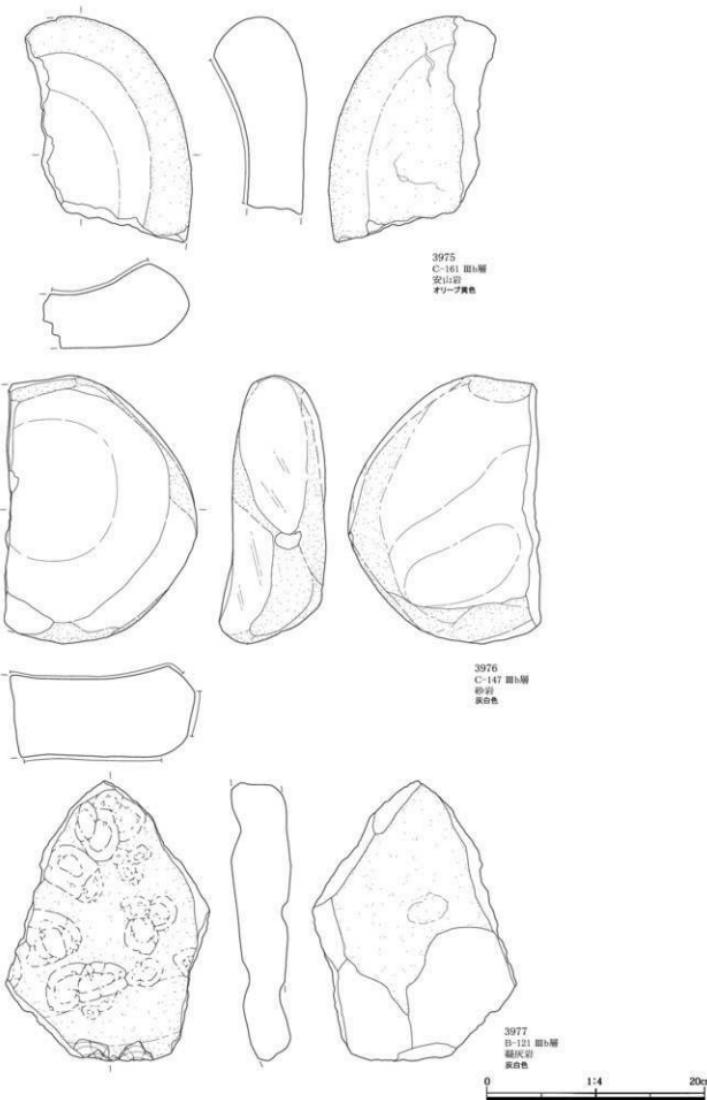


第331図 B・C地区 石製品70 (3964・3967 1/3, 3965・3966・3968 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

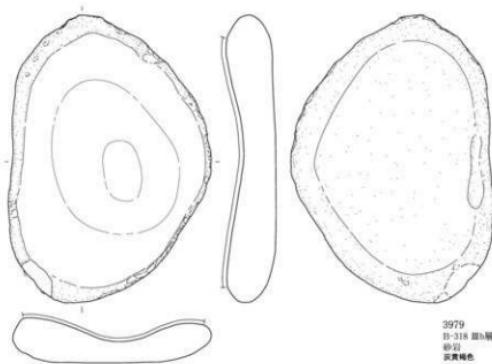
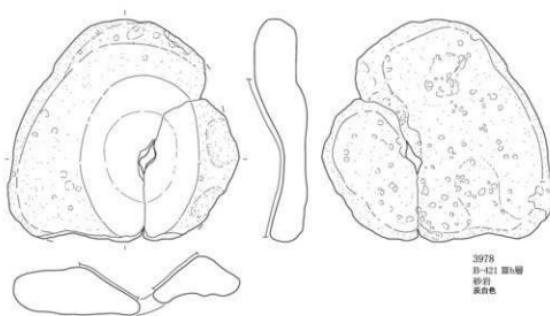


第332図 B・C地区 石製品 71 (3970 ~ 3974 1/3, 3969 1/6)



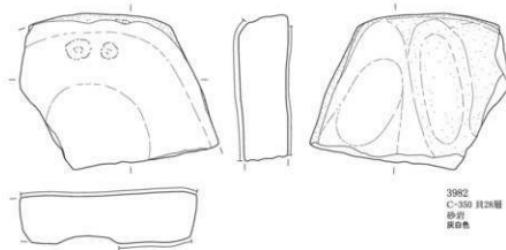
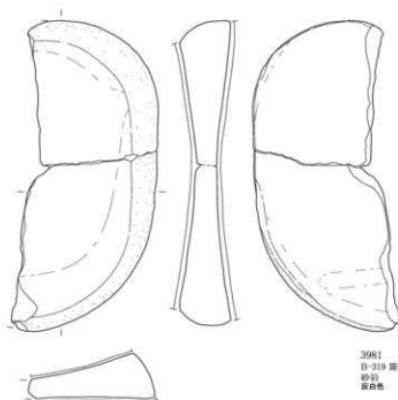
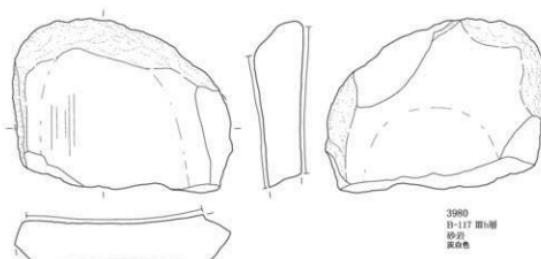
第333図 B・C地区 石製品 72 (1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物



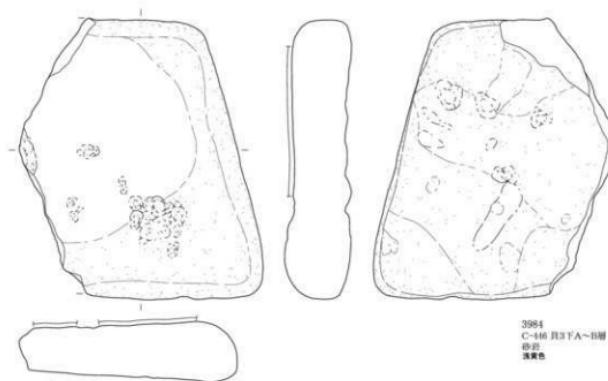
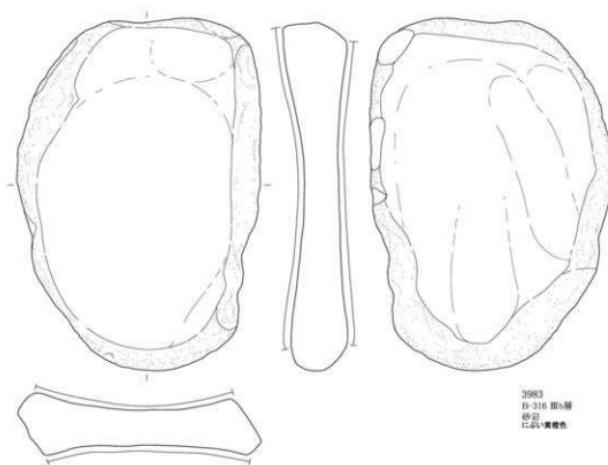
0 1:6 30cm

第334図 B・C地区 石製品 73 (1/6)

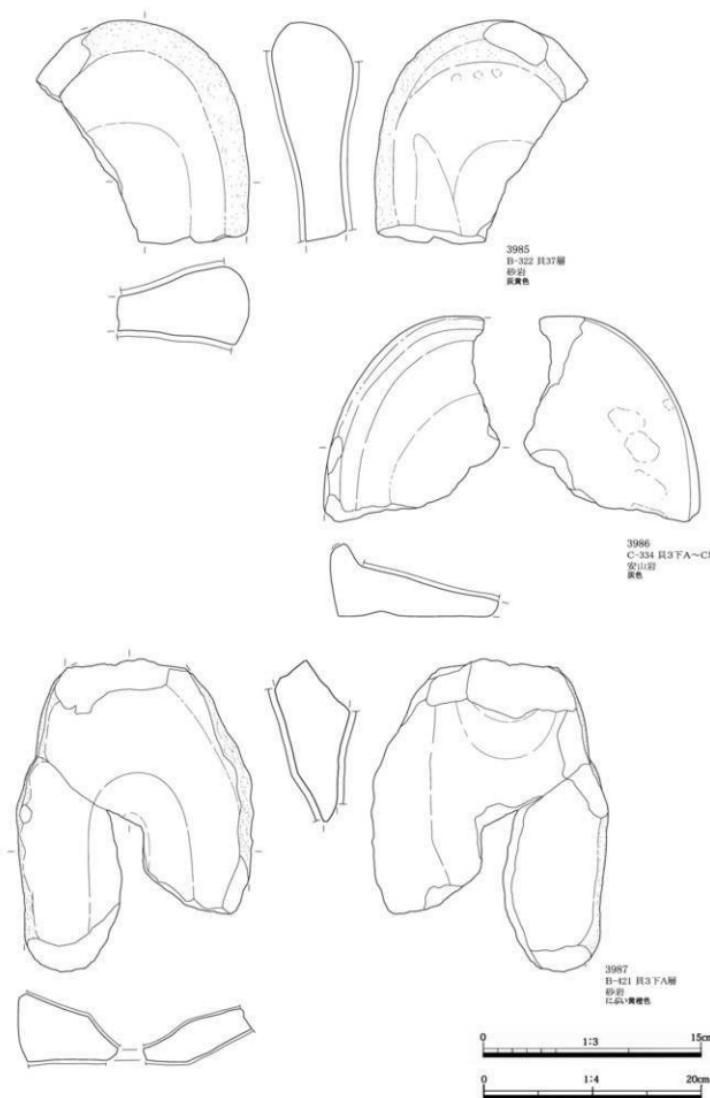


0 1:4 20cm

第335図 B・C地区 石製品 74 (1/4)

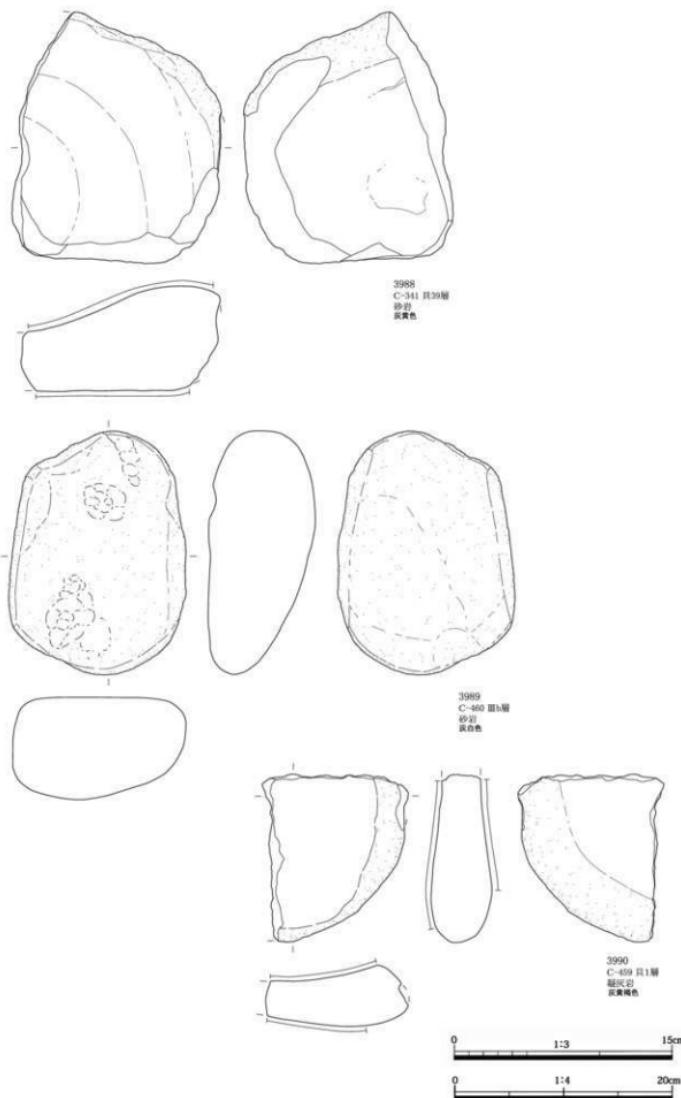


第336図 B・C地区 石製品 75 (1/4)

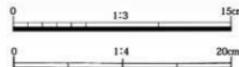
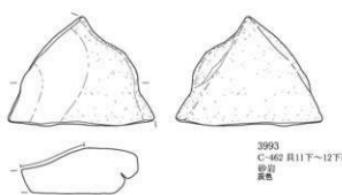
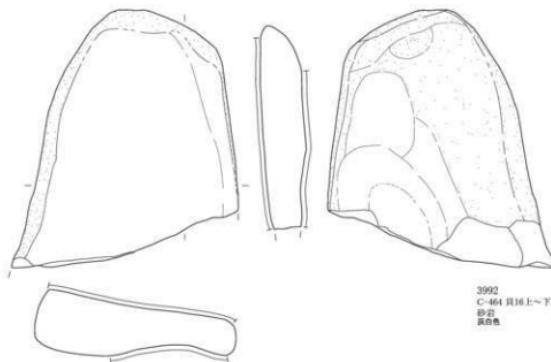
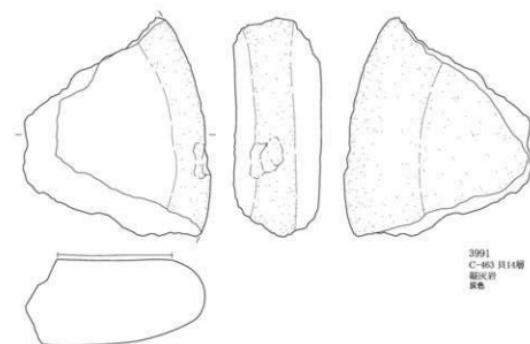


第337図 B・C地区 石製品 76 (3986 1/3, 3985・3987 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

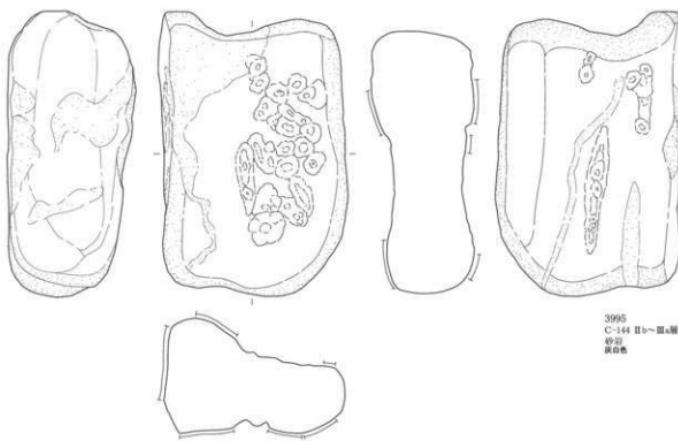
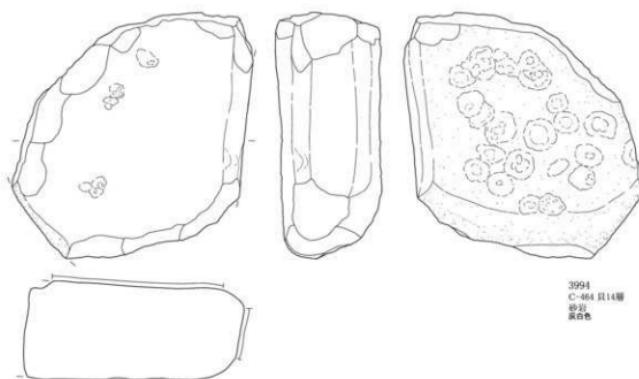


第338図 B・C地区 石製品77 (3988 1/3, 3989・3990 1/4)



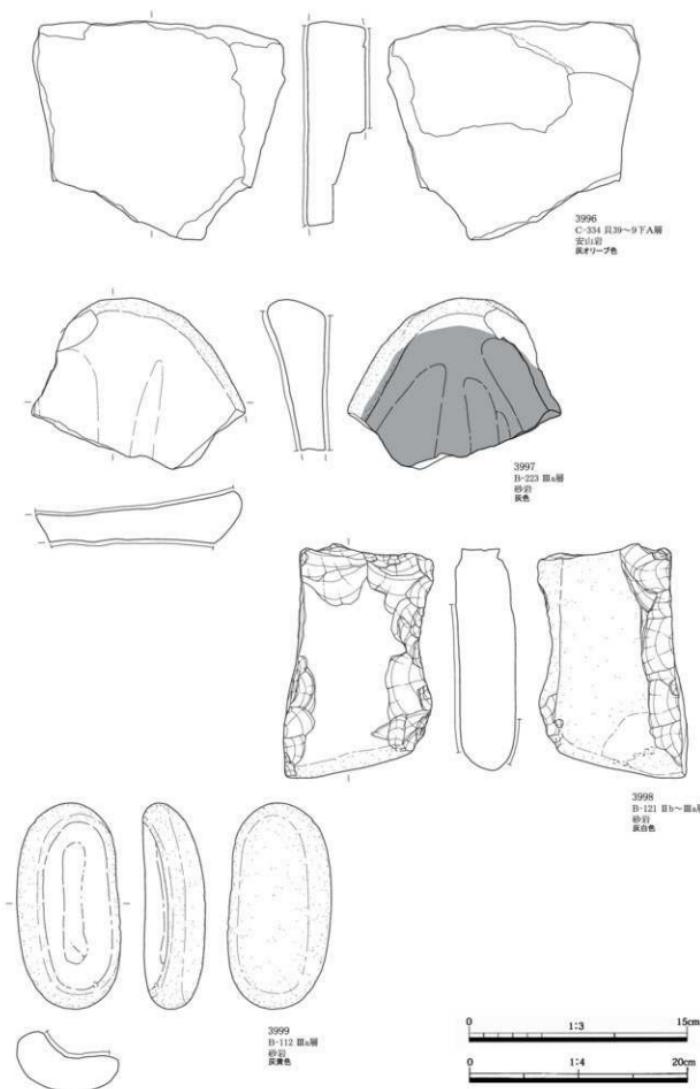
第339図 B・C地区 石製品 78 (3991 1/3, 3992・3993 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物



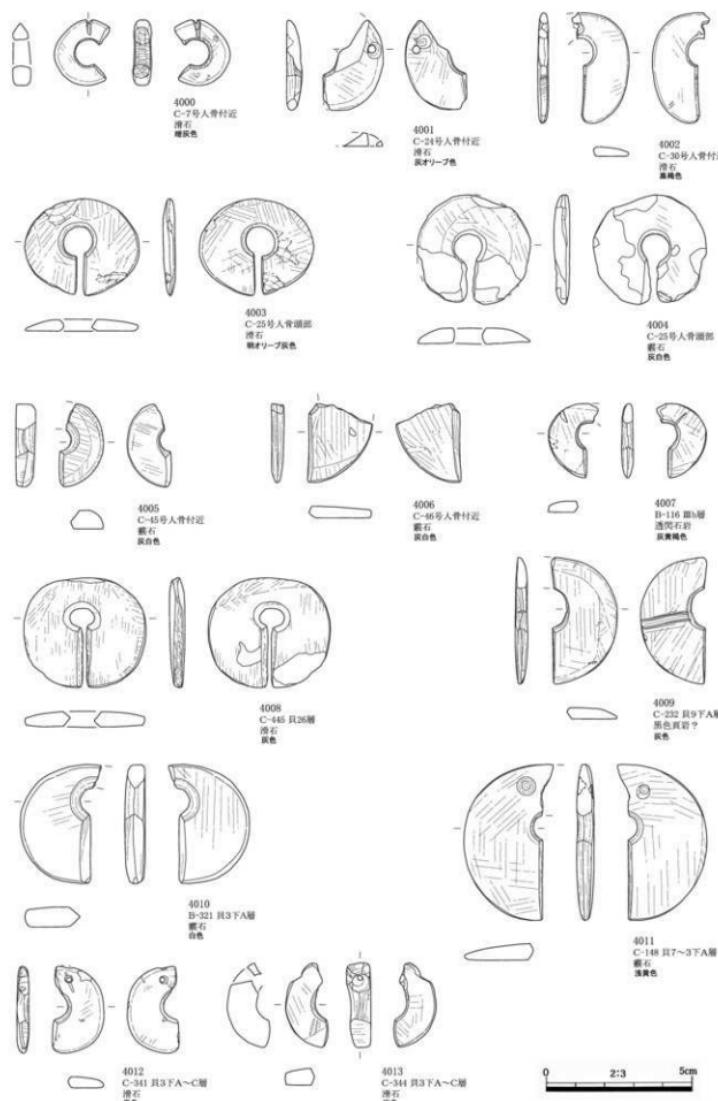
0 1:4 20cm

第340図 B・C地区 石製品 79 (1/4)

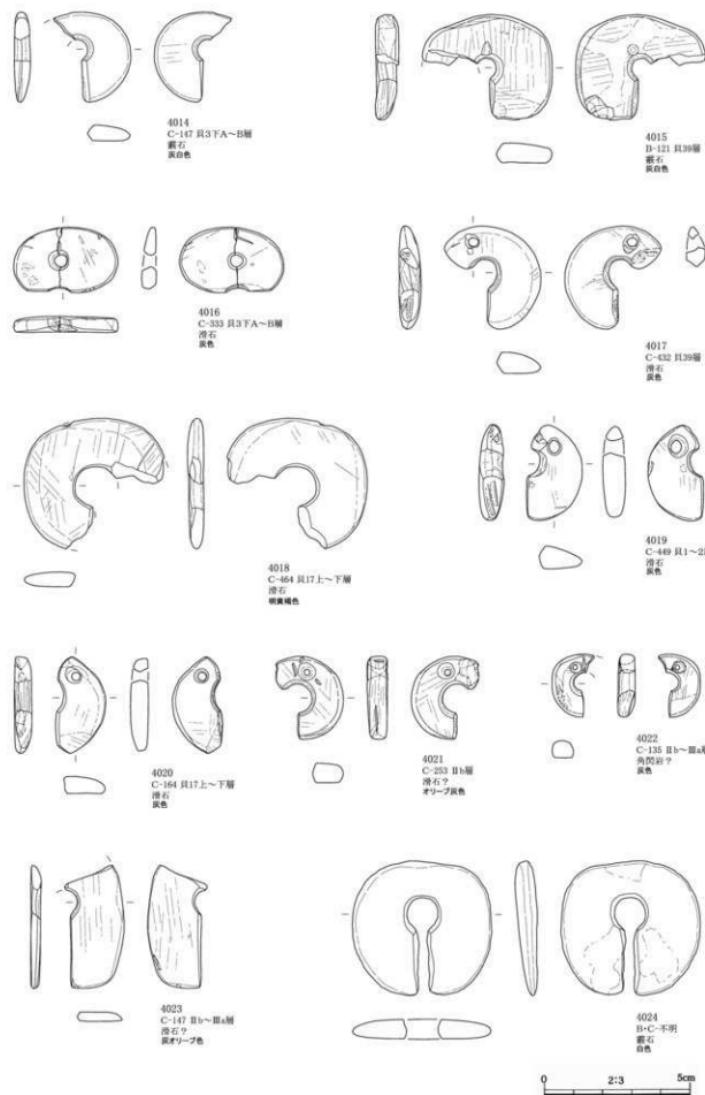


第341図 B・C地区 石製品 80 (3999 1/3, 3996 ~ 3998 1/4)

5 B・C地区の遺構・遺物

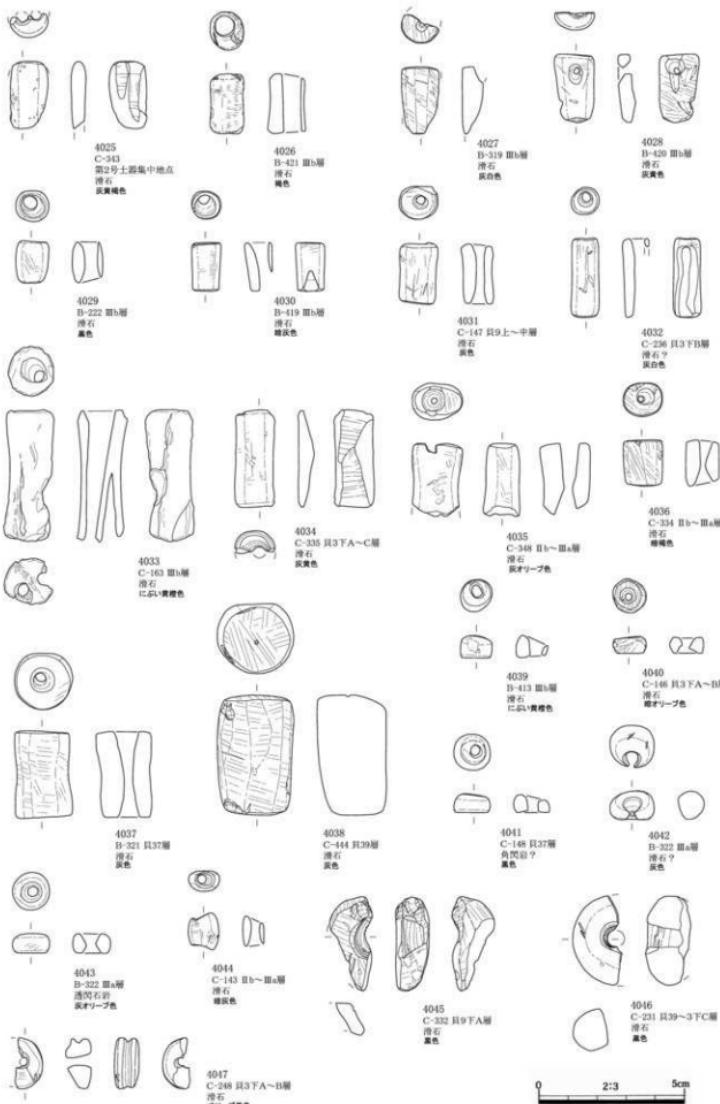


第342図 B・C地区 石製品 81 (2/3)

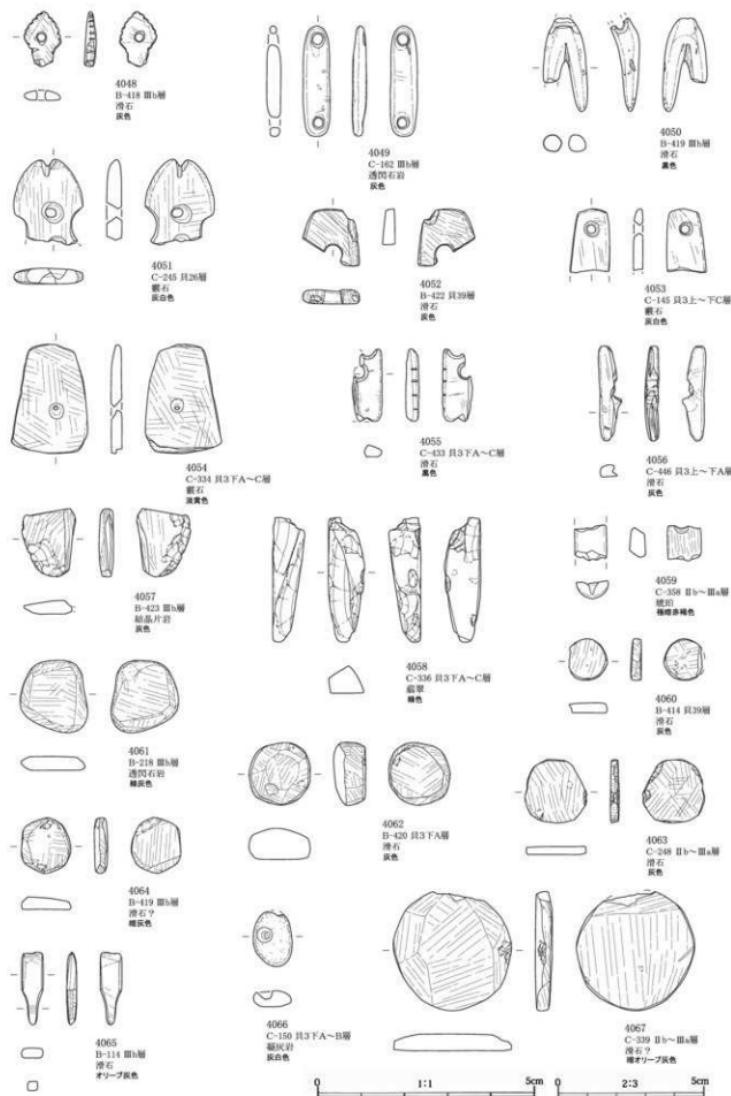


第343図 B・C地区 石製品 82 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

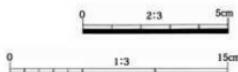
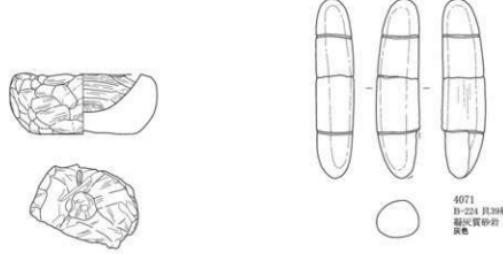
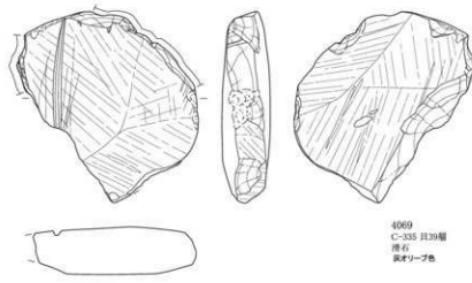
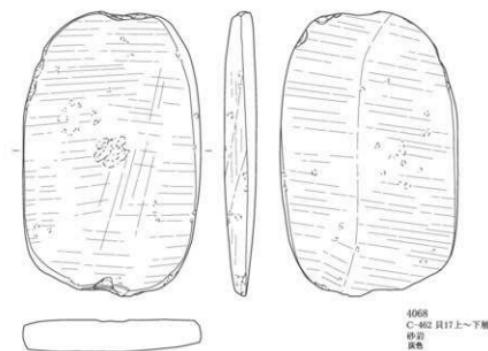


第344図 B・C地区 石製品 83 (2/3)



第345図 B・C地区 石製品 84 (4059 1/1, 4048 ~ 4058・4060 ~ 4067 2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



第346図 B・C地区 石製品85 (4068～4070 2/3, 4071 1/3)

番号	測量番号	測量(山止地名)	標高	地質	面積 (ha ²)			地名	区域
					長さ(m)	幅(m)	面積(ha)		
242	224	○-7人妻村延	石綿		2.01	1.82	0.01	0.00	無限大綿 岩峰無縫 剥離ひび割れ層
242	225	○-7人妻村延	石綿未品成		2.08	1.37	0.01	0.25	無限大綿 岩峰無縫 岩峰無縫
242	226	○-11人妻村延	石綿		1.37	1.53	0.01	0.14	無限-前沢延 平山無縫
242	227	○-11-12人妻村延	石綿?		2.18	0.99	0.01	0.14	無限大綿 中間型
242	228	○-14号人妻村延	石綿		1.81	1.81	0.01	0.12	無限大綿 岩峰無縫
242	229	○-14号人妻村延	石綿		1.09	1.09	0.01	0.01	無限大綿 岩峰無縫
242	230	○-14号人妻村延	石綿		1.93	1.22	0.01	0.14	無限大綿 小型
242	231	○-14號人妻村延中点	石綿		1.30	1.44	0.01	0.16	無限大綿
242	232	○-14号人妻村延	石綿		2.10	0.99	0.01	0.11	無限大綿
242	233	○-14号人妻村延	石綿		2.08	2.14	0.01	0.22	無限大綿
242	234	○-14號人妻村延	石綿未品成		0.99	0.99	0.01	0.00	無限大綿 平山無縫 剥離ひび割れ層
242	235	○-12-13人妻村延	石綿		0.82	1.24	0.01	0.17	無限大綿 岩峰無縫
242	236	○-14號人妻村延中点	石綿未品成		1.93	1.18	0.01	0.17	無限大綿
242	237	○-14號人妻村延	石綿未品成		1.84	1.30	0.01	0.11	無限大綿 岩峰無縫 岩峰なづいV 岩峰区分番号No.07
242	238	○-14號人妻村延	石綿未品成		2.13	1.41	0.01	0.16	無限大綿
242	239	○-215	石	石綿	1.40	1.92	0.01	0.11	無限大綿 平山無縫 未品成? 岩峰ナガリ 岩峰型
242	240	○-419	石	石綿	1.54	1.75	0.01	0.17	無限大綿 ブーリー型
242	241	○-417	石	石綿	1.49	1.80	0.01	0.11	無限大綿 ブーリー型
242	242	○-219	石	石綿	1.23	1.38	0.01	0.16	無限大綿 小型
242	243	○-214	石	石綿	1.44	1.34	0.01	0.16	無限大綿 小型 平山無縫V付近
242	244	○-120	石	石綿	1.71	1.49	0.01	0.12	無限大綿 小型
242	245	○-122	石	石綿	1.75	1.33	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	246	○-217	石	石綿	1.58	1.50	0.01	0.17	無限大綿 小型
242	247	○-201	石	石綿	1.29	1.35	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	248	○-214	石	石綿	1.77	1.70	0.01	0.11	無限大綿 岩峰延 岩峰無縫
242	249	○-118	石	石綿	1.87	1.26	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	250	○-201	石	石綿	1.83	1.13	0.01	0.11	無限大綿 平山無縫
242	251	○-402	石	石綿	1.88	1.40	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	252	○-117	石	石綿	2.00	1.87	0.01	0.18	無限大綿
242	253	○-207	石	石綿	1.89	1.47	0.01	0.11	無限大綿
242	254	○-214	石	石綿	1.82	1.25	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	255	○-212	石	石綿	1.80	1.37	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	256	○-217	石	石綿	1.88	2.03	0.01	0.18	無限大綿
242	257	○-217	石	石綿	1.88	1.89	0.01	0.17	無限大綿
242	258	○-218	石	石綿	1.71	1.70	0.01	0.11	無限大綿
242	259	○-218	石	石綿	1.87	1.26	0.01	0.11	無限大綿 岩峰延
242	260	○-201	石	石綿	1.83	1.13	0.01	0.11	無限大綿 平山無縫
242	261	○-402	石	石綿	1.88	1.40	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	262	○-117	石	石綿	2.00	1.87	0.01	0.18	無限大綿
242	263	○-207	石	石綿	1.89	1.47	0.01	0.11	無限大綿
242	264	○-214	石	石綿	1.82	1.25	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	265	○-212	石	石綿	1.80	1.37	0.01	0.11	無限大綿
242	266	○-217	石	石綿	1.88	1.89	0.01	0.17	無限大綿
242	267	○-217	石	石綿	1.88	1.88	0.01	0.17	無限大綿
242	268	○-218	石	石綿	1.74	1.49	0.01	0.11	無限大綿 小型
242	269	○-217	石	石綿	1.80	1.37	0.01	0.11	無限大綿
242	270	○-217	石	石綿	1.88	2.03	0.01	0.18	無限大綿
242	271	○-220	石	石綿	1.88	1.88	0.01	0.17	無限大綿
242	272	○-218	石	石綿	1.74	1.49	0.01	0.11	無限大綿
242	273	○-217	石	石綿	1.84	1.88	0.01	0.17	無限大綿
242	274	○-115	石	石綿	2.08	1.98	0.01	0.18	無限大綿
242	275	○-220	石	石綿	2.14	1.89	0.01	0.17	無限大綿
242	276	○-402	石	石綿	1.98	1.61	0.01	0.11	無限大綿
242	277	○-217	石	石綿	2.04	1.77	0.01	0.15	無限大綿
242	278	○-418	石	石綿	1.77	1.23	0.01	0.11	無限大綿
242	279	○-218	石	石綿	2.03	1.93	0.01	0.17	無限大綿
242	280	○-218	石	石綿	1.71	1.44	0.01	0.11	無限大綿
242	281	○-212	石	石綿	2.05	1.85	0.01	0.17	無限大綿
242	282	○-218	石	石綿	2.07	1.84	0.01	0.17	無限大綿
242	283	○-402	石	石綿	2.14	1.88	0.01	0.17	無限大綿
242	284	○-218	石	石綿	2.09	1.87	0.01	0.17	無限大綿
242	285	○-218	石	石綿	2.07	1.84	0.01	0.16	無限大綿
242	286	○-218	石	石綿	2.13	1.86	0.01	0.17	無限大綿
242	287	○-218	石	石綿	2.09	1.71	0.01	0.17	無限大綿
242	288	○-218	石	石綿	2.09	1.71	0.01	0.17	無限大綿
242	289	○-411	石	石綿	2.03	1.73	0.01	0.16	無限大綿
242	290	○-218	石	石綿	1.92	1.38	0.01	0.11	無限大綿
242	291	○-212	石	石綿	2.08	1.96	0.01	0.17	無限大綿 大型
242	292	○-212	石	石綿	1.92	1.38	0.01	0.11	無限大綿
242	293	○-212	石	石綿	2.08	1.96	0.01	0.17	無限大綿
242	294	○-212	石	石綿	2.07	1.86	0.01	0.17	無限大綿
242	295	○-214	石	石綿?	2.73	2.02	0.16	0.46	無限大綿 岩峰延
242	296	○-217	石	石綿	2.04	1.88	0.01	0.16	無限大綿
242	297	○-215	石	石綿	2.06	1.98	0.01	0.16	無限大綿
242	298	○-218	石	石綿	2.08	1.98	0.01	0.17	無限大綿
242	299	○-218	石	石綿	2.09	1.71	0.01	0.16	無限大綿
242	300	○-105	石	石綿成?	2.09	1.71	0.01	0.16	無限大綿 岩峰延
242	301	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	302	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	303	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	304	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	305	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	306	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	307	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	308	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	309	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	310	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	311	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	312	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	313	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	314	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	315	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	316	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	317	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	318	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	319	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	320	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	321	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	322	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	323	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	324	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	325	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	326	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	327	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	328	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	329	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	330	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	331	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	332	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	333	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	334	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	335	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	336	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	337	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	338	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	339	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	340	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	341	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	342	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	343	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	344	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	345	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	346	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	347	○-218	石	石綿	2.01	2.01	0.02	0.21	無限大綿 岩峰延
242	348	○-218	石	石綿	2.01	2.01			

5. B・C地区の遺構・遺物

第27表 B·C地区石製品一覽 2

番号	測量番号	測定(±1.0)品目	測定	種類	測定(±0.5)品目			測定	区域
					高さ(±0.5)	幅(±0.5)	厚さ(±0.5)		
281	3364	II-332	II-a	石綿	1.51	1.14	0.51	0.56	田畠無縫 小型
287	3365	II-482	II-b	石綿	1.44	1.21	0.22	0.26	田 無縫無縫 小型
287	3366	II-413	II-a	石綿	1.21	1.41	0.25	0.25	田 無縫無縫 小型
287	3367	II-158	II-a	石綿	1.49	1.38	0.24	0.27	田 無縫無縫 小型
287	3368	II-231	II-a	石綿	1.82	1.20	0.29	0.41	田 無縫無縫 小型
287	3369	II-238	II-a	石綿	1.82	1.00	0.27	0.51	田 無縫無縫 小型
287	3370	II-322	II-a	石綿	1.80	1.75	0.25	0.46	田 無縫無縫 小型
287	3371	II-158	II-a	石綿	1.55	1.38	0.25	0.41	田 無縫無縫 大型無縫帶
288	3372	II-347	II-a	石綿	1.58	1.31	0.26	0.45	田 無縫無縫 ブリッジ型
288	3373	II-481	II-a	石綿	1.57	1.57	0.26	0.45	田 無縫無縫 小型
288	3374	II-448	II-a	石綿	1.67	1.46	0.26	0.38	田 無縫無縫 小型
288	3375	II-423	II-a	石綿	1.54	1.36	0.41	0.41	田 無縫無縫 大型
288	3376	II-381	II-a	石綿	1.88	1.23	0.20	0.39	田 無縫無縫 大型無縫帶
288	3377	II-297	II-a	石綿	1.58	1.64	0.26	0.38	田 無縫無縫 大型無縫帶 小型
288	3378	II-442	II-a	石綿	1.53	1.73	0.23	0.36	田 無縫無縫 小型
288	3379	II-154	II-a	石綿	1.58	1.29	0.25	0.32	田 無縫無縫 小型
288	3380	II-381	II-a	石綿	1.87	1.88	0.24	0.33	田 無縫無縫 大型無縫帶
288	3381	II-385	II-a	石綿	1.82	1.76	0.42	0.71	田 無縫無縫 小型
288	3382	II-144	II-a	石綿	1.88	1.83	0.19	0.35	田 無縫無縫 小型
288	3383	II-238	II-a	石綿	1.63	1.31	0.20	0.35	田 無縫無縫 大型無縫帶
288	3384	II-350	II-a	石綿	1.88	1.61	0.22	0.35	田 無縫無縫
288	3385	II-422	II-a	石綿	1.62	1.47	0.23	0.36	田 無縫無縫
288	3386	II-487	II-b	石綿	1.57	1.26	0.23	0.35	田 無縫無縫 大型無縫帶 タワー型
288	3387	II-481	II-b	石綿	1.85	1.88	0.25	0.41	田 無縫無縫 小型
288	3388	II-411	II-b	石綿	1.84	1.45	0.26	0.41	田 無縫無縫 タワー型
288	3389	II-398	II-b	石綿	2.27	1.96	0.34	0.65	田 無縫無縫
288	3390	II-148	II-b	石綿	2.03	2.04	0.25	0.44	田 無縫無縫 錐形
288	3391	II-121	II-b	石綿	2.40	1.31	0.29	0.51	田 無縫無縫 大型無縫帶 タワー型
288	3392	II-231	II-b	石綿	2.04	1.78	0.30	0.65	田 無縫無縫 タワー型
288	3393	II-387	II-b	石綿	1.89	2.07	0.31	0.71	田 無縫無縫 四輪駆動
288	3394	II-295	II-a	石綿	2.12	1.79	0.31	0.68	田 無縫無縫
288	3395	II-489	II-a	石綿	2.09	1.87	0.72	0.61	田 無縫無縫 游手
288	3396	II-381	II-a	石綿	2.02	2.04	0.25	0.64	田 無縫無縫 タワー型
288	3397	II-141	II-a	石綿	2.53	1.89	0.32	0.71	田 無縫無縫 タワー型
288	3398	II-328	II-a	石綿	2.09	2.13	0.26	0.61	田 無縫無縫
288	3399	II-341	II-a	石綿	2.00	1.73	0.28	0.76	田 無縫無縫 大型
288	3400	II-138	II-a	石綿	2.00	2.00	0.33	0.65	田 無縫無縫 タワー型
288	3401	II-241	II-a	石綿	2.00	2.00	0.40	0.70	田 無縫無縫 大型
288	3402	II-156	II-a	石綿	2.18	1.85	0.41	0.71	田 無縫無縫
288	3403	II-488	II-a	石綿	2.04	1.81	0.28	0.64	1.15m大箱 田 無縫無縫
288	3404	II-342	II-a	石綿	2.03	1.70	0.28	0.61	田 無縫無縫 錐形
288	3405	II-187	II-b	石綿	4.18	1.84	0.33	1.87	田 無縫無縫 タワー型
288	3406	II-487	II-b	石綿	2.07	2.07	0.44	0.74	田 無縫無縫 大型 錐形
288	3407	II-214	II-a	石綿	2.09	1.26	0.32	0.65	田 無縫無縫 木箱
288	3408	II-411	II-a	石綿	2.03	2.00	0.31	0.71	田 無縫無縫 游手
288	3409	II-214	II-a	石綿	2.08	1.42	0.40	0.71	田 無縫無縫 游手 三角スリーブ
288	3410	II-405	II-a	石綿	2.43	1.07	0.43	0.66	田 無縫無縫 小型
288	3411	II-156	II-a	石綿	2.08	1.42	0.40	0.71	田 無縫無縫 木箱
288	3412	II-349	II-a	石綿	2.49	1.10	0.40	0.71	田 無縫無縫 木箱
288	3413	II-221	II-a	石綿	2.04	1.94	0.33	0.68	田 無縫無縫 木箱
288	3414	II-388	II-a	石綿	2.07	1.85	0.36	0.68	田 無縫無縫 木箱
288	3415	II-121	II-a	石綿	2.02	1.88	0.37	0.65	田 無縫無縫 游手 二角スリーブ
288	3416	II-405	II-a	石綿	2.03	1.86	0.31	0.71	田 無縫無縫 游手
288	3417	II-156	II-a	石綿	2.08	1.42	0.40	0.71	田 無縫無縫 木箱
288	3418	II-218	II-a	石綿	2.04	1.34	0.31	0.67	田 無縫無縫
288	3419	II-418	II-a	石綿	2.04	1.88	0.75	0.71	田 無縫無縫 タワー型
288	3420	II-214	II-a	石綿	2.02	1.71	0.49	0.64	田 無縫無縫 木箱
288	3421	II-418	II-a	石綿	2.03	1.35	0.44	0.66	田 無縫無縫 木箱
288	3422	II-448	II-a	石綿	2.03	1.31	0.44	0.66	田 無縫無縫 小型
288	3423	II-248	II-a	石綿	4.05	2.24	0.61	7.14	田 無縫無縫 木箱
288	3424	II-387	II-a	石綿	0.49	1.08	0.49	1.58	田 無縫無縫 タワー型
288	3425	II-123	II-a	石綿	0.49	1.28	0.40	1.82	田 無縫無縫
288	3426	II-401	II-a	石綿	0.50	1.76	0.30	2.61	田 無縫無縫
288	3427	II-406	II-a	石綿	0.49	1.18	0.37	3.87	田 無縫無縫 木箱?
288	3428	II-381	II-a	石綿	4.03	2.12	0.60	10.00	田 無縫無縫 木箱?

第27表 B・C地区石製品一覽3

5 B・C地区の遺構・遺物

番号	品目名	通称-本土出	原産地	数量(万t)			備考		
				生豆	豆	粉			
230	3609	O-186	鹿児島	生豆	4.03	1.09	0.01	鹿児島	
231	3610	O-250	鹿児島	生豆	2.34	1.80	0.16	鹿児島	
232	3401	O-214	鹿児島	生豆	1.01	0.81	0.04	鹿児島	
233	3402	O-254	鹿児島	生豆	4.58	1.81	0.01	鹿児島	
234	3403	O-246	鹿児島	生豆	2.18	1.70	0.32	0.01	有
235	3404	O-251	鹿児島	生豆	2.10	1.09	0.09	鹿児島	
236	3405	O-251	鹿児島	生豆	3.10	1.09	0.09	鹿児島	
237	3406	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	1.00	0.87	0.07	鹿児島	
238	3408	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	1.10	1.00	0.01	鹿児島	
239	3407	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	1.08	0.87	0.07	鹿児島	
240	3408	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	1.34	2.24	0.04	鹿児島	
241	3409	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	4.00	3.58	0.51	鹿児島	
242	3410	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	2.38	2.04	0.47	鹿児島	
243	3411	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	2.33	4.78	0.01	鹿児島	
244	3412	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	2.71	4.03	0.16	鹿児島	
245	3413	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	4.85	5.83	0.01	鹿児島	
246	3414	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	3.72	0.93	0.06	鹿児島	
247	3415	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	3.84	2.42	0.50	鹿児島	
248	3416	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	5.58	4.94	0.01	鹿児島	
249	3417	O-251人妻付豆	鹿児島	生豆	2.82	2.00	0.07	鹿児島	
250	3446	O-215	鹿児島	生豆	2.02	4.03	0.02	鹿児島	
251	3447	O-215	鹿児島	生豆	2.82	2.00	0.07	鹿児島	
252	3448	O-215	鹿児島	生豆	2.50	2.45	0.06	鹿児島	
253	3451	O-212	鹿児島	生豆	2.21	5.63	0.87	鹿児島	
254	3452	O-214	鹿児島	生豆	2.82	3.80	0.06	鹿児島	
255	3453	O-216	鹿児島	生豆	5.53	4.27	0.77	鹿児島	
256	3454	O-217	鹿児島	生豆	3.54	4.14	0.11	鹿児島	
257	3455	O-210	鹿児島	生豆	2.84	6.89	0.01	鹿児島	
258	3456	O-220	鹿児島	生豆	1.88	2.07	0.17	鹿児島	
259	3457	O-215	鹿児島	生豆	2.82	5.70	0.01	鹿児島	
260	3458	O-123	鹿児島	生豆	2.81	9.37	0.06	鹿児島	
261	3459	O-216	鹿児島	生豆	3.44	9.87	0.01	鹿児島	
262	3460	O-217	鹿児島	生豆	4.87	7.98	0.01	鹿児島	
263	3461	O-221	鹿児島	生豆	4.19	6.11	0.10	鹿児島	
264	3462	O-217	鹿児島	生豆	3.78	1.89	0.03	鹿児島	
265	3463	O-218	鹿児島	生豆	1.43	6.01	0.12	鹿児島	
266	3464	O-123	鹿児島	生豆	5.57	1.92	0.06	鹿児島	
267	3465	O-401	鹿児島	生豆	3.13	4.69	0.08	鹿児島	
268	3466	O-118	鹿児島	生豆	4.26	1.82	0.17	鹿児島	
269	3467	O-222	鹿児島	生豆	2.09	1.12	0.01	鹿児島	
270	3468	O-286	鹿児島	生豆	2.98	4.08	0.01	鹿児島	
271	3469	O-417	鹿児島	生豆	2.74	3.19	0.05	鹿児島	
272	3470	O-245	鹿児島	生豆	3.43	9.33	0.16	鹿児島	
273	3471	O-246	鹿児島	生豆	2.81	8.88	0.01	鹿児島	
274	3472	O-232	鹿児島	生豆	3.72	2.02	0.08	鹿児島	
275	3473	O-232	鹿児島	生豆	3.54	5.51	0.10	鹿児島	
276	3474	O-152	鹿児島	生豆	3.82	2.89	0.03	鹿児島	
277	3475	O-232	鹿児島	生豆	3.74	6.11	0.10	鹿児島	
278	3476	O-247	鹿児島	生豆	2.84	2.07	0.03	鹿児島	
279	3477	O-232	鹿児島	生豆	2.47	5.55	0.06	鹿児島	
280	3478	O-245	鹿児島	生豆	2.29	4.02	0.08	鹿児島	
281	3479	O-244	鹿児島	生豆	2.00	4.81	0.12	鹿児島	
282	3480	O-244	鹿児島	生豆	2.35	4.01	0.16	鹿児島	
283	3481	O-164	鹿児島	生豆	3.81	3.86	0.11	鹿児島	
284	3482	O-217	鹿児島	生豆	4.27	5.12	0.17	鹿児島	
285	3483	O-217	鹿児島	生豆	2.84	2.07	0.03	鹿児島	
286	3484	O-401	鹿児島	生豆	0.98	5.77	0.08	鹿児島	
287	3485	O-118	鹿児島	生豆	2.02	2.80	0.16	鹿児島	
288	3486	O-232	鹿児島	生豆	2.43	5.01	0.03	鹿児島	
289	3487	O-218	鹿児島	生豆	2.80	3.87	0.14	鹿児島	
290	3488	O-158-C	鹿児島	生豆	2.85	5.42	0.12	鹿児島	
291	3489	O-158	鹿児島	生豆	2.44	5.89	0.07	鹿児島	
292	3490	O-217	鹿児島	生豆	2.03	3.87	0.08	鹿児島	
293	3491	O-237	鹿児島-C	生豆	1.00	3.87	0.08	鹿児島	
294	3492	O-438	鹿児島	生豆	4.11	3.19	0.06	鹿児島	
295	3493	O-251	鹿児島	生豆	2.82	4.14	0.01	鹿児島	
296	3494	O-252	鹿児島	生豆	3.40	4.14	0.05	鹿児島	

第27表 B・C地区石製品一覧4

番号	測量番号	測量(北上地区)	標高	地質	地質 (km ⁻²)			場所	区域
					高さ	幅	厚さ		
277	2448	○-144	高さY	石炭	0.09	0.19	1.10	44.02	高 大型 三角牛円盤 墓石 磨削面部分No.30
278	2449	○-434	高さY+○	石炭	0.35	3.75	0.86	11.7	高 大型 三角牛 黒色
279	2450	○-222	高さY	石炭系成層	0.39	3.48	1.20	7.83	高 大型 三角牛 黑色
280	2451	○-317	高さY	石炭	0.87	4.50	0.75	7.88	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.34
279	2448	○-138	高さY	石炭	0.32	0.87	0.84	5.84	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.34
278	2449	○-448	高さY+○	石炭	0.37	4.08	0.89	8.61	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.34
279	2450	○-215	高さY	石炭	0.31	3.75	0.82	4.47	高 大型 三角牛 小型 黑色
278	2451	○-122	高さY	石炭	1.09	2.01	0.33	0.84	高 大型 三角牛 小型 黑色
279	2452	○-243	高さY+○	石炭	4.50	7.08	0.91	25.04	高 大型 三角牛 黑色
278	2453	○-337	高さY+○	石炭	3.14	5.33	1.38	14.03	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.38
279	2454	○-434	高さY+○	石炭	4.00	1.62	0.94	4.15	高 大型 三角牛 黑色
278	2455	○-138	高さY+○	石炭	0.37	4.72	0.77	7.26	高 大型 三角牛 黑色
279	2456	○-416	高さY	石炭系成層	0.89	3.98	1.40	18.87	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.31
278	2457	○-122	高さY	石炭	0.14	4.75	1.24	10.71	高 大型 三角牛 黑色
279	2458	○-222	高さY	石炭	1.76	3.63	0.44	1.81	高 大型 三角牛 小型 黑色
278	2459	○-432	高さY+○	石炭	0.58	2.61	0.86	0.86	一ノ吹屋 亂層付 丸型 黑色
279	2460	○-336	高さY+○	石炭系成層	2.00	2.81	0.78	2.41	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.31
279	2461	○-342	高さY	石炭	4.00	0.88	0.98	21.00	高 大型 三角牛 黑色
278	2462	○-432	高さY+○	石炭	0.37	1.73	0.70	8.17	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
279	2463	○-448	高さY	石炭	0.47	4.77	1.05	11.07	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
278	2464	○-144	高さY	石炭	0.48	4.61	1.05	12.47	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
279	2465	○-342	高さY	石炭	0.47	4.77	1.05	11.07	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
278	2466	○-138	高さY	石炭	1.32	1.50	0.44	0.84	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
279	2467	○-416	高さY	石炭	3.04	4.42	0.61	8.03	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
278	2468	○-318	高さY	石炭	0.58	4.84	0.89	7.81	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
279	2469	○-336	高さY	石炭	0.08	3.11	0.76	4.28	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
278	2470	○-122	高さY	石炭	0.74	3.00	0.80	7.81	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
279	2471	○-243	高さY	石炭	0.18	4.95	0.73	8.85	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
278	2472	○-344	高さY	石炭	1.63	1.57	0.38	0.54	高 大型 三角牛 小型 黑色
279	2473	○-341	高さY	石炭	1.32	1.50	0.44	0.84	高 大型 三角牛 小型 黑色
278	2474	○-416	高さY	石炭	0.82	1.13	0.41	0.82	高 大型 三角牛 小型 黑色
279	2475	○-341	高さY	石炭	0.37	1.08	0.33	1.08	高 大型 三角牛 小型 黑色
278	2476	○-40007	高さY	石炭	1.48	1.28	0.30	0.45	高 大型 三角牛 小型 黑色
279	2477	○-318	高さY	石炭	0.86	1.98	0.32	1.22	高 大型 三角牛 小型 黑色
278	2478	○-416	高さY	石炭	2.48	1.10	0.30	1.15	高 大型 三角牛 小型 乱層付 丸型 黑色
279	2479	○-213	高さY	石炭	0.49	0.98	0.32	1.12	高 大型 三角牛 小型 乱層付 丸型 黑色
278	2480	○-118	高さY	石炭	4.94	1.79	1.04	9.43	高 大型 三角牛 亂層付 丸型 黑色
279	2481	○-318	高さY	石炭	2.00	2.38	0.33	0.57	高 大型 三角牛 小型 黑色
278	2482	○-416	高さY	石炭	0.37	1.02	0.34	1.20	高 大型 三角牛 小型 黑色
279	2483	○-341	高さY	石炭	0.31	1.47	0.34	1.25	高 大型 三角牛 小型 乱層付 丸型 黑色
278	2484	○-398	高さY	石炭	0.90	2.00	0.38	0.97	高 大型 三角牛 小型 乱層付 丸型 黑色
279	2485	○-118	高さY	石炭	0.28	1.31	0.49	1.11	高 大型 三角牛 小型 乱層付 丸型 黑色
278	2486	○-249	高さY+○	石炭	3.18	1.08	0.88	0.23	高 大型 三角牛 黑色
279	2487	○-438	高さY	石炭	0.73	1.37	0.36	0.83	高 大型 三角牛 黑色
278	2488	○-144	高さY+○	石炭	4.00	2.33	0.64	4.27	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.31
279	2489	○-144	高さY+○	石炭	4.00	0.74	0.88	1.11	高 大型 三角牛 黑色 磨削面部分No.31
278	2490	○-438	高さY+○	石炭	4.00	3.08	1.00	9.46	高 大型 三角牛 黑色
279	2491	○-3681	高さY	石炭	2.04	0.98	0.75	1.21	高 大型 三角牛 中型
278	2492	○-314	高さY	石炭	0.40	1.15	0.15	0.86	高 大型 三角牛 白色
279	2493	○-223	高さY	石炭	2.09	2.38	0.65	2.88	高 大型 三角牛 白色
278	2494	○-3687	高さY	石炭	0.37	1.05	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2495	○-121	高さY	石炭	0.37	1.02	0.34	1.20	高 大型 三角牛 白色
278	2496	○-416	高さY	石炭	0.31	1.47	0.34	1.25	高 大型 三角牛 白色
279	2497	○-398	高さY	石炭	0.30	2.00	0.35	0.97	高 大型 三角牛 白色
278	2498	○-118	高さY	石炭	0.28	1.31	0.49	1.11	高 大型 三角牛 白色
279	2499	○-341	高さY	石炭	0.37	1.05	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2500	○-118	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2501	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2502	○-416	高さY	石炭	0.37	1.02	0.34	1.20	高 大型 三角牛 白色
279	2503	○-341	高さY	石炭	0.37	1.02	0.34	1.20	高 大型 三角牛 白色
278	2504	○-416	高さY	石炭	0.37	1.02	0.34	1.20	高 大型 三角牛 白色
279	2505	○-341	高さY	石炭	0.37	1.02	0.34	1.20	高 大型 三角牛 白色
278	2506	○-341	高さY	石炭	0.37	1.02	0.34	1.20	高 大型 三角牛 白色
279	2507	○-118	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2508	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2509	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2510	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2511	○-341	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2512	○-341	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2513	○-118	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2514	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2515	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2516	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2517	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2518	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2519	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2520	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2521	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2522	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2523	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2524	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2525	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2526	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2527	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2528	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2529	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2530	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2531	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2532	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2533	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2534	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2535	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2536	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2537	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2538	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2539	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2540	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2541	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2542	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2543	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2544	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2545	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2546	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2547	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2548	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2549	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2550	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2551	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2552	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2553	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2554	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2555	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2556	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2557	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2558	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
279	2559	○-416	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.74	高 大型 三角牛 白色
278	2560	○-318	高さY	石炭	0.30	1.28	0.26	0.	

5 B・C地区の遺構・遺物

登録番号	遺跡名(出土品)	部位	種類	測量(単位:m)			備考	石室
				南北(北)	東西(東)	高さ(高)		
201 3306 C-286	石室	石室	石室	2.79	1.45	0.41	1.12 遺物数: 60件	壁塗(漆付)
202 3306 C-286	石室	石室	石室	2.44	1.47	0.35	0.93	空室
203 3301 C-352	墓室-28	墓室	石室	2.28	0.58	0.40	1.76 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
204 3301 C-108	墓室	墓室	石室	1.84	1.71	0.41	1.00 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
205 3301 C-127-1~140	墓室A-C	墓室	石室	2.53	2.12	0.32	1.00 遺物数: 可能遺物: 5件	測量実施
206 3301 C-301	墓室A-C	墓室	石室	2.44	1.71	0.32	1.00 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
207 3306 B-215	石室	石室	石室	2.05	0.85	0.32	0.77 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
208 3306 C-347	石室	石室	石室	2.34	1.88	0.57	1.82 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
209 3307 B-415	石室	石室	石室	2.38	2.27	0.80	0.90 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
210 3308 B-112	石室	石室	石室	1.38	4.30	0.76	4.37 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
211 3308 C-108	墓室A-C	墓室	石室	2.08	0.56	0.79	0.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
212 3303 C-417	石室	石室	石室	1.18	1.80	0.35	0.92 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
213 3317 C-447	石室	石室	石室	1.61	2.30	0.37	1.74 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
214 3317 C-204	墓室A	墓室	石室	2.43	0.34	0.46	0.48 遺物数: 5件	空室
215 3317 C-221	墓室	墓室	石室	1.44	2.76	0.30	0.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
216 3317 C-048	石室	墓室	石室	1.43	2.37	0.33	0.67 遺物数: 5件	無限高安山群
217 3317 C-122	墓室-97A	墓室	石室	1.78	1.80	0.40	0.84 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
218 3317 C-127	墓室A-C	墓室	石室	1.67	1.80	0.42	1.12 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
219 3317 C-104人骨付	スクリーパー	スクリーパー	スクリーパー	1.64	2.24	0.83	2.05 穴: 2.05cm×1.80cm	壁塗(漆付)
220 3318 C-046	石室	スクリーパー	スクリーパー	2.76	0.82	0.60	0.55 穴: 2.05cm×1.80cm	空室
221 3318 C-048人骨付	スクリーパー	スクリーパー	スクリーパー	2.17	1.34	0.73	1.52 穴: 2.05cm×1.80cm	壁塗(漆付)
222 3308 C-051-051	スクリーパー	スクリーパー	スクリーパー	3.33	2.45	1.80	16.10 遺物数: 5件	空室
223 3301 C-405	石室	スクリーパー	スクリーパー	3.42	2.33	0.79	0.88 遺物数: 5件	無限高安山群
224 3302 C-286	石室	スクリーパー	スクリーパー	2.78	2.62	0.77	1.02 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
225 3302 C-286	石室	スクリーパー	スクリーパー	2.44	1.92	0.81	0.85 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
226 3302 C-286	石室	スクリーパー	スクリーパー	2.74	1.82	0.81	0.85 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
227 3304 C-104	石室	二重加工石室	石室	2.76	0.87	0.46	0.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
228 3304 C-104	石室	二重加工石室	石室	2.78	0.83	1.14	16.17 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
229 3304 C-104人骨付	石室	二重加工石室	石室	6.66	1.70	0.80	12.00 遺物数: 5件	無限高安山群
230 3305 D-415	石室	石室	石室	2.18	2.03	1.14	1.17 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
231 3305 D-108	石室	石室	石室	9.07	4.06	1.87	10.34 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
232 3305 D-110	石室	石室	石室	4.50	2.34	0.73	0.65 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
233 3305 D-110-222	墓室A-C	二重加工石室	石室	2.41	1.42	1.22	0.91 遺物数: 5件	空室
234 3305 D-110-222	墓室A-C	二重加工石室	石室	2.41	1.42	1.22	0.91 遺物数: 5件	空室
235 3305 D-110-222	墓室A-C	二重加工石室	石室	6.16	2.05	0.87	0.91 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
236 3305 D-110-222	墓室A-C	二重加工石室	石室	11.81	3.87	1.30	0.742 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
237 3306 C-122	石室	石室	石室	11.88	2.37	2.38	24.03 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
238 3306 C-147	石室	スクリーパー	スクリーパー	4.00	2.50	1.00	10.43 遺物数: 5件	壁塗
239 3306 C-424	石室	石室	石室	3.79	0.21	2.18	0.40 遺物数: 5件	無限高安山群
240 3306 D-95	石室	二重加工石室	石室	6.07	0.31	1.00	0.37 遺物数: 5件	無限高安山群
241 3306 D-95	石室	二重加工石室	石室	6.06	0.26	1.00	0.37 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
242 3306 D-95	石室	二重加工石室	石室	6.06	0.26	1.00	0.37 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
243 3307 C-104人骨付	石室	石室	石室	6.15	4.67	0.80	0.88 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
244 3308 C-4人骨付	墓室	墓室	石室	4.11	2.10	0.77	1.21 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
245 3308 C-7人骨付	墓室	墓室	石室	6.34	2.42	2.00	23.03 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
246 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.18	2.08	0.94	22.17 遺物数: 5件	無限高安山群
247 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.23	2.10	0.98	21.80 遺物数: 5件	無限高安山群
248 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	10.18	2.07	1.00	20.00 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
249 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.47	2.02	0.91	1.92 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
250 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.47	2.02	0.91	1.92 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
251 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.08	4.60	0.33	14.11 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
252 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	2.32	1.76	0.40	0.57 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
253 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	11.14	4.93	2.34	21.93 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
254 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	12.04	5.81	2.00	20.81 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
255 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	4.23	1.14	0.67	0.10 遺物数: 5件	無限高安山群
256 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.81	3.02	1.00	20.77 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
257 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.29	4.20	1.07	13.30 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
258 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.29	4.20	1.07	13.30 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
259 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.02	4.81	2.25	15.62 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
260 3308 D-12-1人骨	石室	石室	石室	9.02	4.81	2.25	15.62 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
261 3311 C-104人骨付	石室	石室	石室	2.32	1.73	0.40	0.57 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
262 3311 C-104人骨付	石室	石室	石室	11.14	4.93	2.34	21.93 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
263 3311 C-104人骨付	石室	石室	石室	12.04	5.81	2.00	20.81 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
264 3311 C-104人骨付	石室	石室	石室	7.83	2.07	1.00	14.11 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
265 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	4.11	1.80	0.60	0.37 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
266 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
267 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
268 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
269 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
270 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
271 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
272 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
273 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
274 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
275 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
276 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
277 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
278 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
279 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
280 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
281 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
282 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
283 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
284 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
285 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
286 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
287 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
288 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
289 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
290 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
291 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
292 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
293 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
294 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
295 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
296 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
297 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
298 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
299 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
300 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
301 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
302 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
303 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
304 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
305 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
306 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
307 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
308 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
309 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
310 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
311 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
312 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
313 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
314 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
315 3311 C-704人骨	石室	石室	石室	3.77	0.84	2.25	12.80 遺物数: 5件	壁塗(漆付)
316								

番号	測量番号	測量(土工品)	層位	種類	密度(kg/m^3)			場所	記号
					高さ(1)	幅(2)	厚さ(3)		
280	3824	II-211(海丸木下)	II	堅松石	1.08	5.11	2.32	120.4	河内産 基盤灰岩 大理石 鋼鉄錆付板 磨削面部分No.34
280	3825	II-212	II	堅松石	1.02	7.21	2.34	191.4	河内産 坚松石 坚松石板 研磨面部分No.35
280	3826	II-212	II	堅松石	0.58	5.94	2.01	209.1	河内産 坚松石
280	3827	II-214	II	堅松石	0.58	3.94	0.81	19.2	河内産 坚松石 小型 坚松石部分No.37
280	3828	II-212	II	堅松石	0.58	1.94	0.70	14.0	河内産 坚松石 小型
280	3829	II-211	II	堅松石	0.51	2.10	0.67	4.01	河内産 坚松石 一般斜面 小型 坚松石部分No.41
280	3830	II-213	II	堅松石	0.58	3.34	0.47	7.71	河内産 坚松石 小型 坚松石
280	3831	II-211-103	II	堅松石	0.21	4.00	1.12	61.4	河内産 坚松石 基盤灰岩 大理石 磨削面部分No.34
280	3832	II-133	II	堅松石	4.14	2.18	0.50	10.0	河内産 坚松石 大理石 磨削面部分No.35
280	3833	II-146	II	堅松石	4.00	5.00	0.43	2.38	河内産 坚松石 坚松石部分No.36
280	3834	II-230	II	堅松石	0.49	3.00	0.80	30.1	河内産 坚松石 大理石 磨削面部分No.34
280	3835	II-231	II	堅松石	0.58	2.00	0.80	127.7	河内産 坚松石 大理石 磨削面部分No.35
280	3836	II-244	II	堅松石	0.54	4.32	2.14	87.1	河内産 坚松石 坚松石部分No.36
280	3837	II-211-401	II	堅松石	0.21	1.94	0.46	10.0	河内産 坚松石 大理石 一般斜面
280	3838	II-222	II	堅松石	0.51	3.30	2.25	190.0	河内産 坚松石 小型
280	3839	II-244	II	堅松石	7.07	5.78	3.01	255.0	河内産 坚松石
280	3840	II-216	II	堅松石	2.77	0.84	0.80	2.21	河内産 坚松石 大理石 坚松石部分No.12
280	3841	II-234	II	堅松石	12.09	4.00	2.61	281.8	河内産 坚松石 坚松石 坚松石部分No.31
280	3842	II-140-140	II	堅松石	0.67	6.00	2.40	229.0	河内産 坚松石 坚松石 坚松石部分No.32
280	3843	II-222	II	堅松石	11.09	5.15	2.47	219.8	河内産 坚松石
280	3844	II-212-7	II	堅松石	0.51	5.92	2.73	215.0	河内産 坚松石 大理石 磨削面部分No.33
280	3845	II-129	II	堅松石	0.28	5.51	2.62	198.1	河内産 坚松石
280	3846	II-128	II	堅松石	7.07	5.07	1.36	45.2	河内産 坚松石 大理石 坚松石部分No.34
280	3847	II-146	II	堅松石	0.39	2.77	0.81	28.0	河内産 坚松石 坚松石部分No.31
280	3848	II-211-102	II	堅松石	0.19	3.17	0.87	30.0	河内産 坚松石
280	3849	II-121	II	堅松石	0.73	3.00	0.88	34.0	河内産 坚松石 坚松石部分No.37
280	3850	II-222	II	堅松石	0.38	3.37	0.76	17.0	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.41
280	3851	II-101-101	II	堅松石	4.12	1.83	0.37	1.34	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.19
280	3852	II-322	II	堅松石	0.39	1.80	0.80	24.0	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.27
280	3853	II-211	II	堅松石	0.28	3.37	0.76	17.0	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.41
280	3854	II-101-101	II	堅松石	4.12	1.83	0.37	1.34	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.19
280	3855	II-211-102	II	堅松石	0.19	3.17	0.87	30.0	河内産 坚松石 坚松石 坚松石部分No.31
280	3856	II-244	II	堅松石	1.02	1.20	0.44	1.30	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.41
280	3857	II-423	II	堅松石	0.31	3.38	0.50	32.0	河内産 坚松石 表面研磨 全表面 磨削面部分No.47
280	3858	II-425	II	堅松石	4.18	1.90	0.80	9.80	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.48
280	3859	II-140-140	II	堅松石	0.32	1.81	0.76	11.4	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.77
280	3860	II-247	II	堅松石	0.38	1.05	0.70	19.0	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.30
280	3861	II-211	II	堅松石	0.32	1.14	0.88	2.87	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.42
280	3862	II-218	II	堅松石	0.30	1.38	0.80	4.00	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.43
280	3863	II-121	II	堅松石	0.34	1.00	0.44	1.30	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.44
280	3864	II-242	II	堅松石	0.30	1.18	0.44	3.25	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.45
280	3865	II-421	II	堅松石	0.38	0.88	0.82	3.13	河内産 坚松石 小型 坚松石 坚松石部分No.22
280	3866	II-246	II	堅松石	0.38	4.18	2.16	172.0	河内産 坚松石 小型 坚松石 坚松石部分No.66
280	3867	II-144	II	堅松石	0.47	4.86	2.12	180.0	河内産 坚松石 小型 坚松石 坚松石部分No.62
280	3868	II-221	II	堅松石	0.34	0.82	0.41	1.25	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.35
280	3869	II-218	II	堅松石	10.41	6.22	3.12	181.0	河内産 坚松石
280	3870	II-320	II	堅松石	0.36	2.13	0.80	1.30	河内産 坚松石
280	3871	II-142	II	堅松石	0.43	1.64	0.47	3.28	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.44
280	3872	II-243	II	堅松石	0.30	1.18	0.44	3.25	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.45
280	3873	II-141	II	堅松石	0.47	1.28	0.61	3.00	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.46
280	3874	II-242	II	堅松石	17.28	9.22	2.00	394.0	河内産 坚松石 坚松石 坚松石部分No.20
280	3875	II-141	II	堅松石	0.30	3.08	1.11	30.0	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.122
280	3876	II-251	II	堅松石	0.34	0.82	0.41	1.25	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.35
280	3877	II-446	II	堅松石	10.41	6.22	3.12	181.0	河内産 坚松石
280	3878	II-211	II	堅松石	0.34	0.82	0.41	1.25	河内産 坚松石
280	3879	II-142	II	堅松石	0.47	1.67	0.61	3.00	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.79
280	3880	II-248	II	堅松石	4.47	1.28	0.61	3.00	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.88
280	3881	II-242	II	堅松石	17.28	9.22	2.00	394.0	河内産 坚松石 坚松石 坚松石部分No.20
280	3882	II-141	II	堅松石	0.30	3.08	1.11	30.0	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.122
280	3883	II-251	II	堅松石	0.34	0.82	0.41	1.25	河内産 坚松石
280	3884	II-446	II	堅松石	10.41	6.22	3.12	181.0	河内産 坚松石
280	3885	II-211	II	堅松石	0.34	0.82	0.41	1.25	河内産 坚松石
280	3886	II-142	II	堅松石	0.47	1.67	0.61	3.00	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.79
280	3887	II-248	II	堅松石	4.47	1.28	0.61	3.00	河内産 坚松石 全表面 磨削面部分No.88
280	3888	II-145	II	堅松石	0.38	2.08	0.64	7.01	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3889	II-141	II	堅松石	0.30	4.00	0.63	11.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3890	II-211	II	堅松石	14.23	6.00	3.20	344.0	河内産 坚松石 坚松石 坚松石部分No.30
280	3891	II-142	II	堅松石	0.30	4.00	0.63	11.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.30
280	3892	II-248	II	堅松石	4.47	1.67	0.61	3.00	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.79
280	3893	II-146	II	堅松石	0.38	2.08	0.64	7.01	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3894	II-218	II	堅松石	0.14	8.17	0.90	295.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3895	II-417	II	堅松石	7.01	3.08	2.02	198.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3896	II-205	II	堅松石	0.41	3.08	0.63	11.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3897	II-244	II	堅松石	14.18	7.40	3.22	327.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3898	II-201	II	堅松石	0.43	3.08	0.63	11.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120
280	3899	II-241	II	堅松石	0.43	3.08	0.63	11.0	河内産 坚松石 全表面 一般斜面 坚松石部分No.120

第27表 B・C地区石製品一覧7

5 B・C地区の遺構・遺物

第27表 B・C地区石製品一覽 8

番号	測量番号	測量(北上地区)	標高	地質	地盤(10m ⁻²)			地名	区域
					高さ	幅	厚さ		
300	2745	C-143	石壁	石壁	0.75	1.00	2.25	170.00	上北村 不動林 墓地北側付近
300	2746	C-144	石壁	石壁	2.34	3.52	2.24	131.16	上北村 古川 河岸
300	2748	C-145	石壁	石壁	12.01	11.08	0.92	110.00	上北村 不動林
300	2747	C-145	石壁	石壁	0.94	0.30	1.21	30.00	上北村 小谷 千葉丘陵
300	2748	C-146	石壁	石壁	0.42	1.00	0.22	200.20	上北村 不動林 墓地北側
300	2749	C-146	石壁	石壁	10.44	1.72	5.99	400.00	上北村 古川 河岸
301	2750	C-147-1-155	圓柱アム	石壁	10.38	10.13	3.71	300.00	上北村 大木 不動林付近
301	2751	C-148	圓柱アム	石壁	0.82	0.20	3.12	100.00	上北村 小谷 不動林
301	2752	C-148	圓柱アム	石壁	7.18	0.30	1.94	91.20	上北村 小谷 不動林付近
301	2753	C-148-1-155	圓柱アム	石壁	0.94	1.00	2.16	200.00	上北村 道路北側 墓地北側付近
301	2754	C-149	圓柱アム	石壁	7.00	0.67	0.16	100.00	上北村 小谷 墓地
301	2755	C-149	圓柱アム	石壁	0.17	4.71	1.86	82.11	上北村 小谷 内側
301	2756	C-149	圓柱アム	石壁	0.98	0.20	1.66	100.00	上北村 小谷 不動林付近
301	2757	C-150-1-251	圓柱アム	石壁	0.77	0.30	1.94	125.00	上北村 古川 河岸
301	2758	C-152	圓柱アム	石壁	10.02	0.27	4.24	400.00	上北村 小谷 河岸
301	2759	C-152	圓柱アム	石壁	0.53	0.77	2.11	200.00	上北村 古川 河岸 天文付近
302	2770	C-153-100	圓柱アム	石壁	12.49	0.45	4.06	400.00	上北村 古川 河岸
302	2771	C-155	圓柱アム	石壁	0.60	1.00	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2772	C-156	圓柱アム	石壁	0.23	0.41	1.81	44.00	上北村 古川 墓地北側
302	2773	C-156	圓柱アム	石壁	12.64	0.61	4.86	400.00	上北村 古川 河岸
302	2774	C-157-1-25	圓柱アム	石壁	1.03	1.71	3.14	240.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2775	C-157	圓柱アム	石壁	0.59	0.50	0.80	200.00	上北村 古川 河岸
302	2776	C-158	圓柱アム	石壁	10.07	7.23	2.87	270.00	上北村 古川 河岸
302	2777	C-158	圓柱アム	石壁	4.00	4.05	1.36	100.00	上北村 小谷 不動林
302	2778	C-159	圓柱アム	石壁	0.62	0.06	2.01	100.00	上北村 小谷 墓地
302	2779	C-159	圓柱アム	石壁	0.33	0.61	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2780	C-159	圓柱アム	石壁	11.38	0.38	3.27	400.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2781	C-160	圓柱アム	石壁	1.03	1.71	3.14	240.00	上北村 古川 河岸
302	2782	C-162	圓柱アム	石壁	0.59	0.50	0.80	200.00	上北村 古川 墓地北側 不動林
302	2783	C-168	圓柱アム	石壁	10.07	7.23	2.87	270.00	上北村 古川 河岸
302	2784	C-168	圓柱アム	石壁	4.00	4.05	1.36	100.00	上北村 小谷 不動林
302	2785	C-169-1-25	圓柱アム	石壁	0.42	1.00	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2786	C-169-2-255	圓柱アム	石壁	0.53	0.68	2.01	100.00	上北村 古川 河岸
302	2787	C-169-2-255	圓柱アム	石壁	0.33	0.61	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2788	C-169-2-255	圓柱アム	石壁	11.38	0.38	3.27	400.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2789	C-169	圓柱アム	石壁	10.03	0.28	3.04	200.00	上北村 古川 河岸
302	2790	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.71	4.64	2.36	240.00	上北村 古川 墓地 天文付近
302	2791	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	10.09	10.07	4.91	100.00	上北村 古川 墓地 天文付近
302	2792	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	10.00	12.46	0.91	100.00	上北村 古川 墓地 天文付近
302	2793	C-170	圓柱アム	石壁	0.42	1.00	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2794	C-170	圓柱アム	石壁	0.53	0.68	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2795	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.53	0.68	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2796	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.10	1.11	0.24	200.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2797	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.53	0.68	2.01	100.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2798	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.77	0.44	4.46	270.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2799	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	15.14	9.52	3.65	270.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2800	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	4.00	0.58	2.87	180.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2801	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.62	0.81	2.23	200.00	上北村 古川 墓地北側
302	2802	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	10.40	0.11	3.06	400.00	上北村 古川 内側
302	2803	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.54	1.71	3.06	200.00	上北村 古川 不動林
302	2804	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.65	0.40	2.37	200.00	上北村 古川 不動林
302	2805	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	11.81	0.63	3.27	400.00	上北村 古川 不動林
302	2806	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	12.08	0.68	3.83	270.00	上北村 古川 不動林 不動林付近
302	2807	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.77	0.44	4.46	270.00	上北村 古川 墓地北側付近
302	2808	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	12.11	0.28	3.65	200.00	上北村 古川 不動林 不動林付近
302	2809	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	10.07	0.21	4.70	200.00	上北村 古川 不動林 不動林付近
302	2810	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.24	4.27	200.00	上北村 古川 不動林 不動林付近
302	2811	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	11.22	0.20	4.50	200.00	上北村 古川 不動林 不動林付近
302	2812	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.64	0.31	2.05	80.00	上北村 古川 不動林
302	2813	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.54	0.58	2.06	100.00	上北村 古川 不動林
302	2814	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	1.02	0.27	5.58	470.00	上北村 古川 不動林
302	2815	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.67	0.60	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2816	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.67	0.13	2.87	200.00	上北村 古川 不動林
302	2817	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.62	0.05	1.73	180.00	上北村 古川 不動林
302	2818	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	11.08	0.21	4.82	200.00	上北村 古川 不動林
302	2819	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2820	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2821	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2822	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2823	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2824	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2825	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2826	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2827	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2828	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2829	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2830	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2831	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2832	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2833	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2834	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2835	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2836	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2837	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2838	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2839	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2840	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2841	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2842	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2843	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2844	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2845	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2846	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2847	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2848	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2849	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2850	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2851	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2852	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2853	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2854	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2855	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2856	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2857	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2858	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2859	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2860	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2861	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2862	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2863	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2864	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2865	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00	上北村 古川 不動林
302	2866	C-170-1-121	圓柱アム	石壁	0.68	0.18	2.05	100.00</td	

5 B・C地区の造構・造物

番号	地名(工事名)	層位	種類	測量(1m ²)			備考	石質
				高さ-0.00	幅	厚さ-0.00		
205 3810 C-10大東村田	田中	地表	16.17 3.16 0.80	160.00	元 美濃國 飯石 美濃國山内 及び私有地	謹長石		
206 3820 C-10大東村田	田中	地表	8.71 3.92 5.30	53.00	元 美濃國 内石	花崗岩質		
207 3821 C-414	田中	地表	16.12 3.60 4.15	58.00	元 美濃國 上野田打 県内	謹長石(ブレーカー)		
208 3822 C-401	田中	地表	16.08 3.52 3.05	514.00	元 美濃國 藤原村上野田打 県内 入村付帯	謹長石		
209 3823 C-015	田中	地表	8.27 6.05 4.72	312.24	元 美濃國 藤原村 内石	花崗岩質		
210 3824 C-114	田中	地表	8.63 6.07 4.80	311.83	元 美濃國 飯石 内石 入村付帯	謹長石(ブレーカー)		
211 3825 C-021	田中	地表	8.09 6.70 4.32	314.93	元 美濃國 藤原村 内石	望山石(風化質)		
212 3826 C-222	田中	地表	12.44 3.94 3.35	514.52	元 美濃國 藤原村 内石	望山石(風化質)		
213 3827 C-415	田中	地表	11.38 3.39 4.51	514.27	元 美濃國 藤原村 内石	望山石(風化質)		
214 3828 C-001-403	田中	地表	11.43 3.88 4.37	511.36	元 美濃國 飯石 美濃國山内 滝門附	謹長石		
215 3829 C-046	地表	地表	8.20 6.81 3.00	500.00	元 美濃國 藤原村 内石	花崗岩質		
216 3830 C-400	地表	地表	8.47 6.00 4.27	571.41	元 美濃國 藤原村 入村付帯	望山石(風化質)		
217 3831 C-400	地表	地表	8.75 6.12 4.80	500.00	元 美濃國 藤原村 内石 入村付帯	河原石		
218 3832 C-101-291	地表上	地表	12.08 3.62 5.41	500.00	元 美濃國 飯石 美濃國山内 及び私有地	望山石(風化質)		
219 3833 C-101-291	地表A	地表	11.34 3.72 4.40	726.00	元 美濃國 藤原村 内石 入村付帯	謹長石		
220 3834 C-001-401	地表A	地表	11.17 3.03 3.94	437.00	元 石上野田打 藤原村 特級石 及び私有地	謹長石		
221 3835 C-288	地表A-B-C	地表	8.08 6.88 3.00	500.00	元 美濃國 藤原村 内石	花崗岩質		
222 3836 C-021	地表A-C	地表	8.18 6.81 3.00	432.00	元 美濃國 不良石 及び私有地	望山石(風化質)		
223 3837 C-234	地表A-C	地表	8.43 6.00 4.30	500.00	元 美濃國 藤原村 内石	望山石(風化質)		
224 3838 C-046	底下	地表	16.05 3.82 4.82	714.00	元 美濃國 藤原村 上野田打 飯石 美濃國山内 及び私有地	望山石(風化質)		
225 3839 C-022	地表	地表	8.38 6.99 7.01	726.00	元 美濃國 藤原村 御影	望山石(風化質)		
226 3840 C-223	底下	地表	12.78 11.01 3.60	537.00	元 美濃國 藤原村 内石	望山石(風化質)		
227 3841 C-102-148	地表A-C	地表	11.09 3.12 3.81	500.00	元 美濃國 入村付帯	花崗岩質		
228 3842 C-422	地表A-C	地表	14.22 3.22 3.00	500.00	元 美濃國 入村付帯	花崗岩質		
229 3843 C-001	地表	地表	17.90 4.00 4.30	511.00	千賀田 飯石 美濃國 藤原村 内石	望山石(風化質)		
230 3844 C-423	地表A	地表	15.08 3.80 3.80	540.00	元 美濃國 藤原村 内石	謹長石(ブレーカー)		
231 3845 C-236	底下	地表	14.01 4.47 4.71	514.00	元 美濃國 上野田打 飯石 美濃國山内 及び私有地	花崗岩質		
232 3846 C-423	地表A	地表	14.03 3.81 4.00	712.00	元 美濃國 藤原村 内石	謹長石(ブレーカー)		
233 3847 C-400	底下	地表	15.38 3.05 5.40	500.00	元 美濃國 藤原村 特級石 及び私有地 美濃國山内 滝門付	望山石(風化質)		
234 3848 C-050	底下	地表	15.19 3.78 5.54	575.00	元 美濃國 下野田打 飯石 及び私有地 岩谷付	花崗岩質		
235 3849 C-040	底下	地表	11.03 3.94 4.00	515.00	元 美濃國 入村付帯	謹長石		
236 3850 C-142	底下	地表	15.12 3.81 5.17	500.00	元 美濃國 藤原村 入村付帯	望山石(風化質)		
237 3851 C-001	底下	地表	14.88 3.07 3.82	510.00	元 美濃國 藤原村 不良石	望山石(風化質)		
238 3852 C-043	底下A	地表	16.03 10.00 6.40	530.00	元 美濃國 不良石	花崗岩質		
239 3853 C-020-229	底下B	地表	7.84 3.85 3.74	424.22	元 美濃國 藤原村 御影	謹長石		
240 3854 C-417	底下	地表	13.91 3.83 5.11	500.00	元 美濃國 藤原村 入村付帯	謹長石(ブレーカー)		
241 3855 C-415	底下	地表	10.38 3.75 4.00	500.00	元 美濃國 藤原村 内石	花崗岩質		
242 3856 C-001	底下	地表	11.03 3.94 4.00	515.00	元 美濃國 入村付帯	謹長石		
243 3857 C-142	底下	地表	14.44 3.29 3.00	510.00	元 美濃國 入村付帯	望山石(風化質)		
244 3858 C-142	底下	地表	14.44 3.29 3.00	510.00	元 美濃國 入村付帯	骨材		
245 3859 C-142	底下B	地表	12.08 3.87 3.80	500.00	元 美濃國 不良石 飯石 及び私有地 入村付帯 岩谷付	謹長石		
246 3860 C-219A-219B	底下	地表	7.95 3.86 3.80	226.67	元 石上野田打 飯石 内石	花崗岩質		
247 3861 C-104	底下	地表	13.35 3.80 3.80	500.00	元 美濃國 上野田打 飯石 及び私有地 入村付帯 岩谷付	花崗岩質		
248 3862 C-020-229	底下B	地表	1.30 4.49 2.90	124.29	元 石上野田打 飯石 入村付帯 岩谷付	謹長石		
249 3863 C-010A-219	底下	地表	10.68 3.84 4.00	500.00	元 不良石 飯石 小川 岩谷付	花崗岩質		
250 3864 C-001	底下	地表	1.44 7.72 3.22	510.00	元 不良石 飯石 岩谷付	花崗岩質		
251 3865 C-121	底下	地表	7.94 2.82 2.80	206.81	元 石上野田打 飯石 美濃國山内 岩谷付	謹長石(ブレーカー)		
252 3866 C-014	底下	地表	11.18 3.82 4.00	500.00	元 美濃國 飯石 及び私有地 中央 不良石 飯石 岩谷付	謹長石(ブレーカー)		
253 3867 C-414	底下	地表	10.87 4.33 3.00	182.77	元 不良石 飯石 及び私有地 各種門付	謹長石		
254 3868 C-021	底下	地表	5.18 3.87 3.80	539.87	元 石上野田打 飯石 岩谷付	望山石(風化質)		
255 3869 C-040	底下	地表	9.88 3.72 3.00	361.77	元 石上野田打 飯石 内石	花崗岩質		
256 3870 C-022	底下	地表	7.67 3.82 3.00	254.12	元 石上野田打 飯石 岩谷付	謹長石(ブレーカー)		
257 3871 C-024	底下A	地表	14.19 3.82 3.00	510.00	元 石上野田打 飯石 不良石	謹長石(ブレーカー)		
258 3872 C-401-403	底下A	地表	6.94 2.72 1.84	45.34	元 石上野田打 飯石 入村付帯	謹長石		
259 3873 C-101-211	底下	地表	10.18 3.84 4.30	476.80	元 石上野田打 飯石 入村付帯	花崗岩質		
260 3874 C-001-403	底下A	地表	1.72 7.83 5.40	514.23	元 美濃國 飯石 及び私有地 上野田打 飯石	望山石(風化質)		
261 3875 C-047	底下	地表	9.22 3.71 4.70	468.47	元 不良石 飯石 各種門付 岩谷付	謹長石		
262 3876 C-040	底下	地表	8.68 3.94 4.00	304.00	元 石上野田打 飯石 岩谷付	望山石(風化質)		
263 3877 C-042	底下A	地表	12.10 3.19 3.07	466.00	元 美濃國 飯石 岩谷付	望山石(風化質)		
264 3878 C-014	底下	地表	8.26 3.26 2.20	118.03	元 石上野田打 飯石 及び私有地 岩谷付	謹長石		
265 3879 C-142	底下A-C	地表	12.74 3.51 3.73	476.00	元 不良石 飯石 及び私有地	謹長石		
266 3880 C-120	底下A-C	地表	10.15 4.00 2.80	152.20	元 不良石 飯石 及び私有地 岩谷付	謹長石(ブレーカー)		
267 3881 C-045	底下	地表	5.42 5.95 3.20	438.70	元 石上野田打 飯石 岩谷付	謹長石		
268 3882 C-016	底下B	地表	7.69 3.82 3.80	578.02	元 美濃國 飯石 及び私有地 岩谷付	望山石(風化質)		
269 3883 C-011	底下B	地表	10.66 3.79 3.70	454.60	元 美濃國 飯石 及び私有地 岩谷付	謹長石		
270 3884 C-002	底下	地表	14.08 4.20 3.21	371.47	元 美濃國 飯石 及び私有地 岩谷付	謹長石		
271 3885 C-021	底下	地表	10.16 3.81 3.80	143.00	元 石上野田打 飯石 及び私有地 岩谷付	謹長石		

第27表 B・C地区石製品一覧 10

第27表 B・C地区石製品一覧 11

5 B・C地区の遺構・遺物

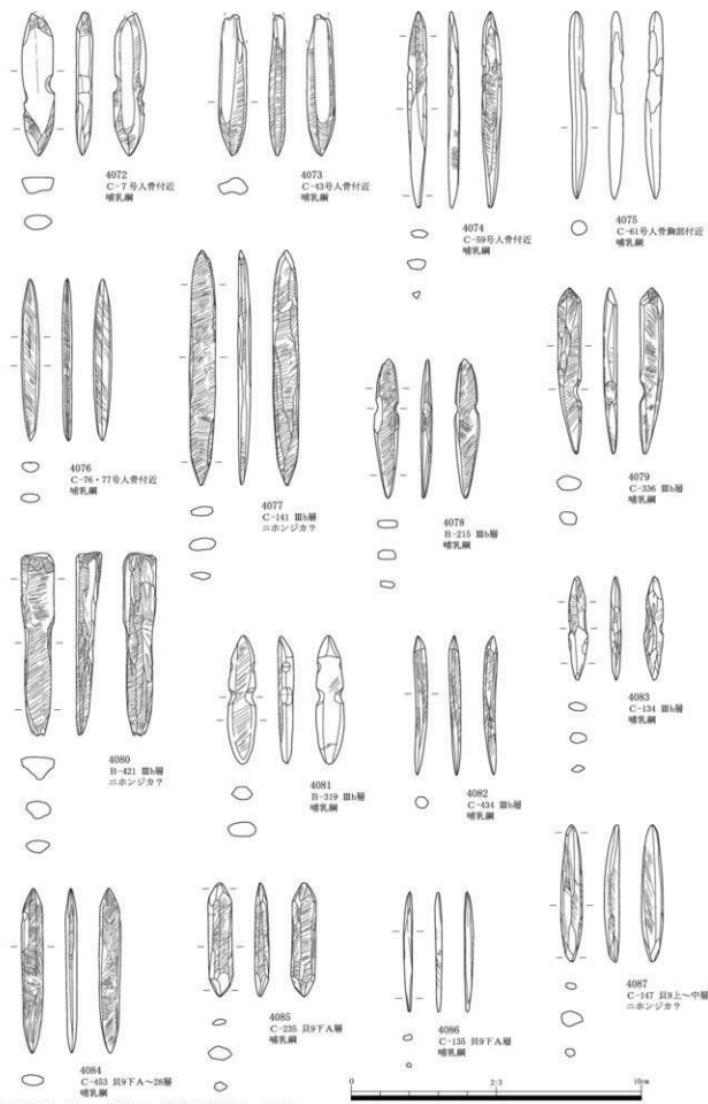
登録番号	遺跡・出土品名	層位	種類	測量 (m ²)			備考	年月
				南北×東西	幅	厚さ		
225 2846	C-431	最下段A-C	織物織物	10.65	10.62	0.91	100.38 炭・黒漆付・織物・漆瓦(瓦片)・朱絵画	白色織物
226 2852	D-225	段3	織物織物	2.74	4.39	4.14	10.71 炭・黒漆付・織物	白色織物
227 2851	C-245	段7	織物織物	5.12	2.64	1.80	14.00 炭	白色織物
228 2852	C-144	段3下段	織物織物	12.07	7.00	4.70	126.58 炭	白色織物
229 2852	D-122	段3-A	織物織物	0.74	8.20	0.57	11.04 炭・黒漆付・織物	白色織物
230 2853	B-112	段6	織物織物	11.17	8.02	2.80	88.87 炭	白色織物
231 2853	C-3段A・中付	織物		10.98	8.37	2.13	106.10 一段のみ・織物	織物
232 2854	C-7段A・中付	織物		10.98	8.39	0.93	104.80 一段のみ・織物	織物
233 2857	C-14段A・中付	No.4	織物	10.85	17.03	4.70	210.00 炭	織物
234 2858	C-15段A・中付	織物		8.10	7.22	3.88	102.40 一段のみ・織物	織物
235 2859	D-17段A・中付	No.1	織物	10.48	7.00	4.30	104.22 一段のみ・織物	織物
236 2860	C-14段A・中付	No.2	織物	10.40	7.00	4.30	104.22 一段のみ・織物	織物
237 2861	C-16段A・中付	織物		20.03	21.24	10.12	340.00 織物	織物
238 2862	C-18段A・中付	No.7	織物	12.07	10.00	0.54	126.00 一段のみ・織物	織物
239 2863	C-19段A・中付	No.2	織物	10.81	14.80	0.70	105.00 一段のみ	織物
240 2864	C-20段A・中付	No.1	織物	10.20	11.43	0.70	105.00 一段のみ	織物
241 2865	C-21段A・中付	織物		11.23	14.07	0.40	148.00 一段のみ・織物	織物
242 2866	C-27段A・中付	No.3	織物	20.41	10.10	7.01	235.00 平手・織物	織物
243 2867	C-44段A・中付	No.1	織物	18.42	7.49	0.52	194.00 織物	織物
244 2868	C-41段A・中付	No.1	織物	10.80	16.67	0.80	200.00 織物	織物
245 2869	C-45段A・中付	No.16	織物	27.03	25.30	0.51	740.00 炭・一段のみ	織物
246 2870	C-51段A・中付	No.2	織物	10.71	10.43	4.14	55.40 一段のみ・織物	織物
247 2871	C-60段A・中付	No.3	織物	4.07	11.32	2.14	90.01 一段のみ・織物	織物
248 2872	C-79段A・中付	No.2	織物	15.15	7.70	0.30	455.00 平手・織物・漆瓦(瓦片)	織物
249 2873	C-94段A・中付	織物		1.00	4.02	1.17	144.20 一段のみ・織物	織物
250 2874	C-4段A・大付	No.3	織物	12.00	17.17	0.24	270.00 一段のみ・織物	久穴付
251 2875	C-181	織物		20.81	13.84	0.10	260.00 炭・幾何文(縞模様)	炭(縞模様)
252 2876	C-142	織物		24.69	17.75	0.50	350.00 炭	炭
253 2877	D-121	織物		25.77	18.79	0.50	370.00 一段のみ・織物	織物
254 2878	D-451	織物		30.74	30.03	0.27	340.00 炭・織物(糸)・漆瓦(瓦片)	織物
255 2879	D-214	織物		20.70	20.00	1.40	260.00 炭・織物(糸)・漆瓦(瓦片)	織物
256 2880	B-117	織物		19.00	20.01	1.00	220.00 炭	炭
257 2881	D-216	織物		20.80	13.03	0.50	180.00 1/2 細縫・織物	織物
258 2882	C-126	織物		14.40	18.07	0.16	124.00 1/4 細縫・織物	織物
259 2883	D-015	織物		30.44	22.02	0.50	300.00 炭・織物	織物
260 2884	C-486	段3下-A	織物	25.94	22.47	0.40	440.00 平手・織物(糸)・其の他	織物
261 2885	D-122	段3	織物	20.80	16.80	1.00	200.00 1/2 細縫・水波文(瓦片)・漆瓦(瓦片)・入穴付	織物
262 2886	C-204	段3下	織物	16.00	12.10	1.00	152.00 1/2 細縫(瓦片)	織物
263 2887	C-204	段3下-A-C	織物	14.23	12.10	1.00	152.00 1/2 細縫(瓦片上段・後縫)	織物
264 2888	D-421	段3下-B	織物	20.77	21.04	7.02	340.00 1/4 細縫(瓦片)	織物
265 2889	C-241	段3	織物	11.36	14.47	7.02	230.00 1/4 細縫(瓦片)	織物
266 2890	C-483	段3	織物	22.47	18.86	17.10	300.00 炭・織物(糸)	織物
267 2891	D-426	段1	織物	15.48	13.43	2.71	145.00 1/4 細縫(瓦片)・入穴付	織物
268 2892	C-483	段14	織物	16.10	12.00	6.11	130.00 1/2 細縫(瓦片)・其の他	織物
269 2893	D-122	段3下	織物	22.16	20.00	0.50	310.00 1/2 細縫(瓦片)	織物
270 2894	C-483	段17下-12	織物	16.00	12.00	4.75	97.00 1/2 細縫(瓦片)	織物
271 2895	C-7段A・中付	織物		2.27	1.82	0.83	3.44 炭・白土・織物(瓦片第一段)・漆瓦(瓦片)	織物
272 2896	C-484	段14	織物	22.88	22.00	0.50	400.00 織物	織物
273 2897	C-144	段3	織物	26.18	21.31	11.40	300.00 炭・織物(瓦片)	織物
274 2898	C-144	段3下	織物	20.12	22.23	0.57	370.00 1/2 細縫(瓦片)	炭(縞模様)
275 2899	D-121	段3	織物	16.79	16.80	0.50	150.00 炭・入穴付	織物
276 2900	D-121	段3-A	織物	21.57	18.02	0.50	200.00 1/2 細縫(瓦片)	織物
277 2901	B-112	段6	織物	14.24	7.10	1.20	494.40 片 扇形織物(後縫)	織物(アラマ)
278 2902	D-122	段3	織物	2.27	1.82	0.83	3.44 炭	織物
279 2903	C-7段A・中付	織物		2.16	21.10	0.54	3.40 炭・土・織物(瓦片・第1・第2)	織物
280 2904	C-10段A・中付	織物		1.91	19.00	0.30	3.01 炭・白土・織物(瓦片)	織物
281 2905	C-234	段3下-A	織物	20.12	22.23	0.57	370.00 1/2 細縫(瓦片)	炭(縞模様)
282 2907	D-121	段3	織物	16.79	16.80	0.50	150.00 炭・入穴付	織物
283 2908	D-121	段3-A	織物	21.57	18.02	0.50	200.00 1/2 細縫(瓦片)	織物
284 2909	D-112	段6	織物	14.24	7.10	1.20	494.40 片 扇形織物(後縫)	織物(アラマ)
285 2910	D-122	段3	織物	2.27	1.82	0.83	3.44 炭	織物
286 2911	C-485	段14	織物	2.38	1.73	0.41	1.80 炭・織物(瓦片)	織物
287 2912	C-485	段3	織物	2.30	4.22	0.34	12.84 炭・白土・織物	織物
288 2913	C-485	段3	織物	4.38	2.09	0.44	8.03 炭・白土・織物(瓦片)	織物
289 2914	D-121	段3	織物	4.11	2.80	0.72	12.02 炭・白土・織物(瓦片)	織物
290 2915	C-146	段3下-A	織物	5.18	2.09	0.41	12.10 1/2 細縫(瓦片)	織物
291 2916	D-361	段3下-A-C	織物	3.00	17.10	0.42	3.38 炭・白土・織物(瓦片)・漆瓦(瓦片)	織物
292 2917	C-344	段3下-A-C	織物	3.01	1.90	0.40	3.42 炭・白土・織物(瓦片)	織物

第27表 B・C地区石製品一覧表

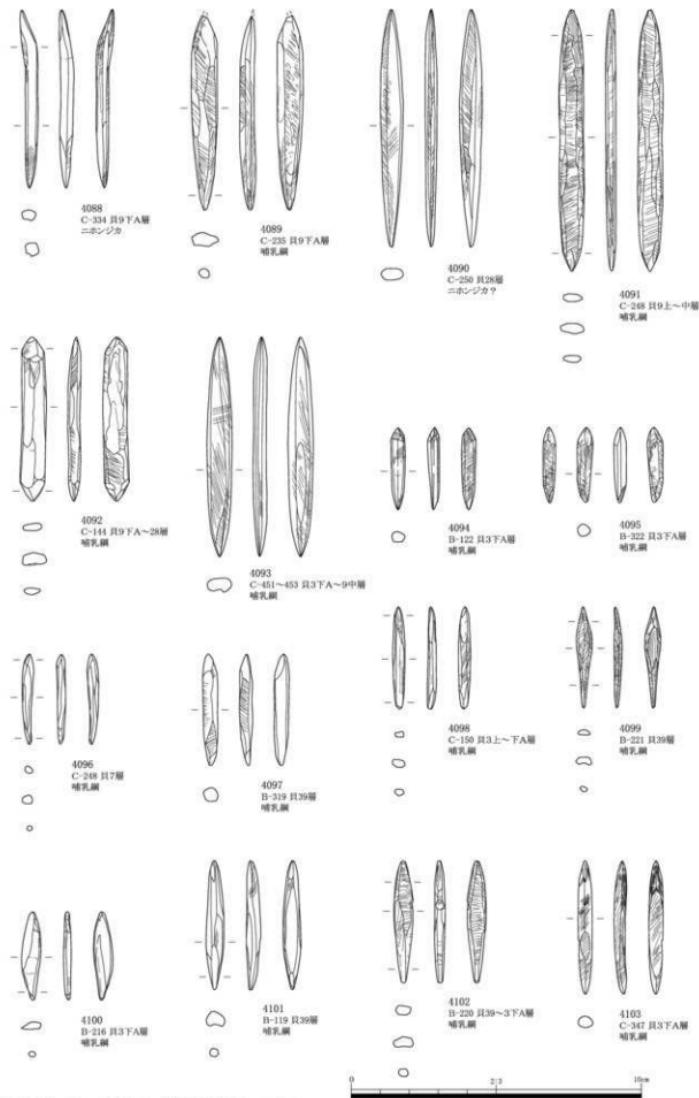
番号	測量番号	測量(±1.0m)	標高	地質	位置(m ² /g)			地名	区域
					高さ	幅	奥行き		
343	4014	○-147	直下Y-A-B	礫状地盤	0.11	0.67	0.98	半光 白色	●
343	4015	○-121	直下	礫状地盤	0.03	4.49	0.92	15.44	1-4階 備長 上部真面目石
343	4016	○-333	直下A-B-C	砂岩	2.27	2.61	0.57	742	正方形 中央部分 下部真面
343	4017	○-432	直下	砂岩	0.39	3.34	0.71	8.81	1-4階 砂岩地盤 半光 備長 上部真面
343	4018	○-484	直下E-1-E	礫状地盤	4.00	4.00	0.57	13.88	2-3階 小光 天然石 地盤(横)付帯
343	4019	○-449	直下E-2	砂岩	0.32	1.00	0.57	0.80	1-4階 砂岩地盤 半光 備長 上部真面
343	4020	○-164	直下E-3-E	砂岩	0.33	1.75	0.62	5.16	1-4階 砂岩地盤 半光 備長 小丸堅丸
343	4021	○-393	E-B	礫状地盤	2.87	2.34	0.75	5.26	半光 上部真面
343	4022	○-135	E-B-E	礫状地盤	0.18	1.46	0.62	2.35	半光 上部真面
343	4023	○-147	E-B-E	礫状地盤	4.20	2.06	0.58	8.52	1-4階 鮎
343	4024	○-1-半回	半回	礫状地盤	4.00	4.00	0.76	16.00	半回 周囲
343	4025	○-243	第2号上部真面地盤	碧玉地盤	2.94	1.21	0.80	2.12	2階 勝利門(半圓柱)
344	4026	○-401	E-B	碧玉	2.98	1.18	0.80	3.19	1-4階 天然石 E-B
344	4027	○-216	E-B	碧玉	2.03	1.31	0.80	4.81	1-4階 一方に天然石 碧玉地盤(半圓柱)
344	4028	○-402	E-B	碧玉	2.37	1.39	0.84	2.71	1-4階 碧玉地盤(半圓柱) 周囲(半圓柱) 周囲(半圓柱)
344	4029	○-222	E-B	碧玉	1.87	1.18	0.86	2.43	1-4階
344	4030	○-418	E-B	碧玉	1.98	1.02	0.87	2.02	1-4階 碧玉地盤(一部欠損)
344	4031	○-147	直下E-1-E	碧玉	0.12	1.00	1.14	9.12	1-4階 碧玉地盤
344	4032	○-238	直下E	碧玉	2.74	0.98	0.80	3.47	碧玉地盤(1階)
344	4033	○-183	E-B	碧玉	4.00	1.80	1.85	14.64	1-4階 碧玉地盤(1階) 碧玉地盤 大型
344	4034	○-335	直下Y-A-C	碧玉地盤品	0.37	1.40	0.77	4.81	1-4階 A-B-C部分(傾いて直下Y-A-C) 碧玉地盤(半圓柱)
344	4035	○-248	E-B-E	碧玉	2.53	1.79	1.28	6.04	下部真面 上下マサボル
344	4036	○-304	E-B	碧玉	1.89	1.37	1.18	4.02	下上から勝利 半丸 周囲(半圓柱) 碧玉地盤
344	4037	○-201	直下	碧玉	2.00	2.01	1.84	18.65	1-4階
344	4038	○-344	直下	碧玉地盤	4.14	3.00	0.82	30.00	1-4階 碧玉地盤(下部真面)
344	4039	○-412	直下	丸玉	0.79	1.10	1.12	1.34	1-4階(丸玉)
344	4040	○-148	直下A-B-C	丸玉	0.60	1.18	1.18	1.16	1-4階 A-B-C
344	4041	○-148	直下	丸玉	0.68	1.27	1.25	1.22	1-4階
344	4042	○-322	直下	丸玉	1.00	1.54	1.45	3.15	1-4階 碧玉地盤(一部欠損)
344	4043	○-397	直下	丸玉	0.69	1.29	1.31	1.87	1-4階 上から勝利 半丸 周囲(半圓柱) 碧玉地盤
344	4044	○-143	E-B-E	碧玉	1.29	1.09	0.71	1.21	1-4階 A-B-C
344	4045	○-352	直下E	碧玉	2.24	1.65	1.18	5.01	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4046	○-231	直下E-C	丸玉	0.38	1.00	1.00	1.00	1-4階 上から勝利 碧玉地盤(半圓柱)
344	4047	○-248	直下Y-A-D	丸玉	0.38	1.71	1.38	4.07	1-4階 上から勝利 碧玉地盤(半圓柱)
344	4048	○-418	E-B	碧玉	1.71	0.98	0.88	1.81	1-4階 碧玉地盤 上から勝利 碧玉地盤(半圓柱)
344	4049	○-182	E-B	碧玉	1.89	1.28	0.91	1.11	1-4階 天然石 碧玉地盤(一部欠損) 丸玉 周囲
344	4050	○-419	E-B	碧玉	2.07	0.95	0.91	2.30	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 半丸 周囲(半圓柱)
344	4051	○-245	直下	碧玉	0.22	1.98	0.98	3.65	下部真面地盤 上部真面 二階 上部真面部分 碧玉
344	4052	○-245	直下	碧玉	2.08	2.20	0.94	3.65	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4053	○-145	直下C-E	碧玉	1.88	1.87	0.90	2.04	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4054	○-234	直下Y-A-C	碧玉	0.31	1.00	0.88	1.82	1-4階 上から勝利 碧玉地盤(半圓柱)
344	4055	○-433	直下Y-A-C	碧玉地盤品(方塊)	0.77	2.94	0.62	7.23	1-4階 天然石 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4056	○-446	直下E-C	碧玉	2.00	1.00	0.85	3.65	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4057	○-443	直下E-C	碧玉地盤品	0.88	1.87	0.90	2.81	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4058	○-256	直下Y-A-C	碧玉地盤	4.30	1.28	1.12	8.16	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4059	○-398	E-B-E	碧玉地盤	0.75	0.75	0.60	0.16	上4丁目 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4060	○-414	直下	丸玉	1.84	1.34	0.37	1.14	1-4階 全周壁面 碧玉地盤 半丸 周囲
344	4061	○-218	E-B	碧玉地盤	2.00	2.34	0.91	5.02	1-4階 碧玉地盤(一部欠損)
344	4062	○-409	直下E	丸玉	0.18	2.12	1.12	0.87	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4063	○-244	E-B-E	碧玉地盤	0.18	0.15	0.31	2.76	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4064	○-418	E-B	碧玉地盤	1.82	1.72	0.46	2.00	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4065	○-214	E-B	丸玉	0.31	1.78	0.20	1.26	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4066	○-150	直下Y-A-B	丸玉	1.80	1.20	0.65	2.02	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4067	○-238	E-B	碧玉地盤品	4.11	4.09	0.62	17.67	1-4階 全周壁面 碧玉地盤 大型
344	4068	○-482	直下E-C	碧玉地盤品	0.63	2.94	0.62	7.23	1-4階 全周壁面 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4069	○-335	直下E-C	碧玉	0.63	0.18	7.12	114.00	直下E-C 碧玉地盤(一部欠損) マーブル
344	4070	○-483	直下	碧玉地盤品	0.67	0.67	0.60	0.93	1-4階 碧玉地盤(一部欠損) 碧玉
344	4071	○-244	直下	碧玉	0.67	0.67	0.60	12.12	1-4階 プラチナ 壁面(一部欠損) 碧玉
344	4072	○-394	直下	碧玉	12.07	3.00	2.61	23.16	直下E-C 上から丸玉 周囲

第27表 B・C地区石製品一覧13

5 B・C地区の遺構・遺物

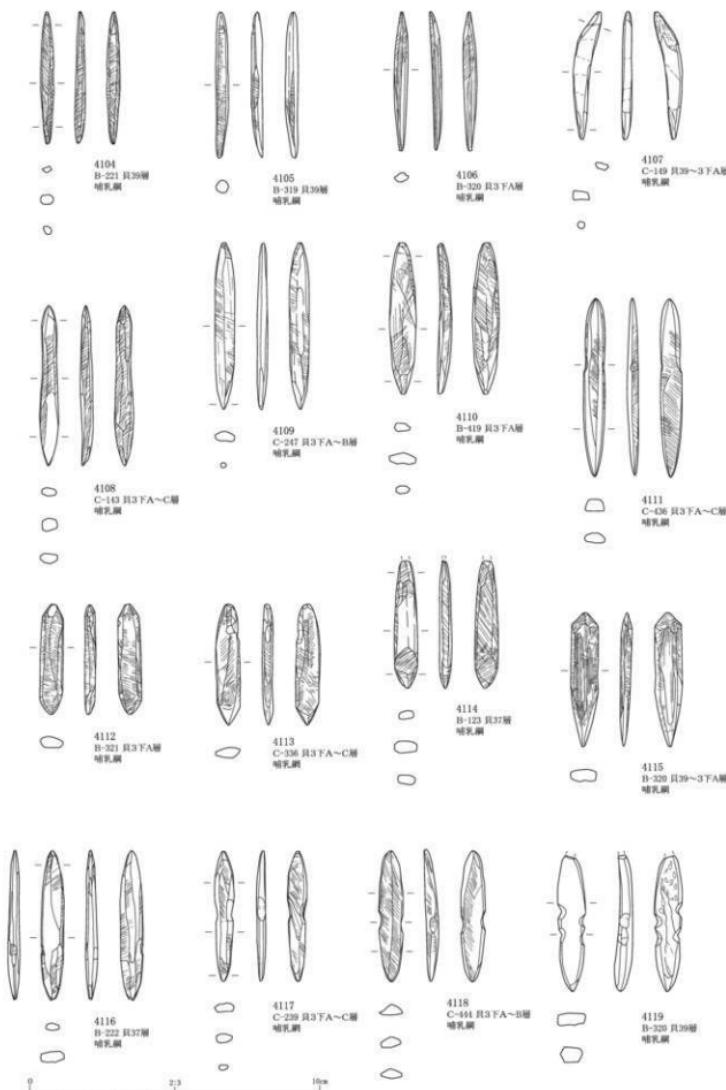


第347図 B・C地区 骨角貝製品1 (2/3)

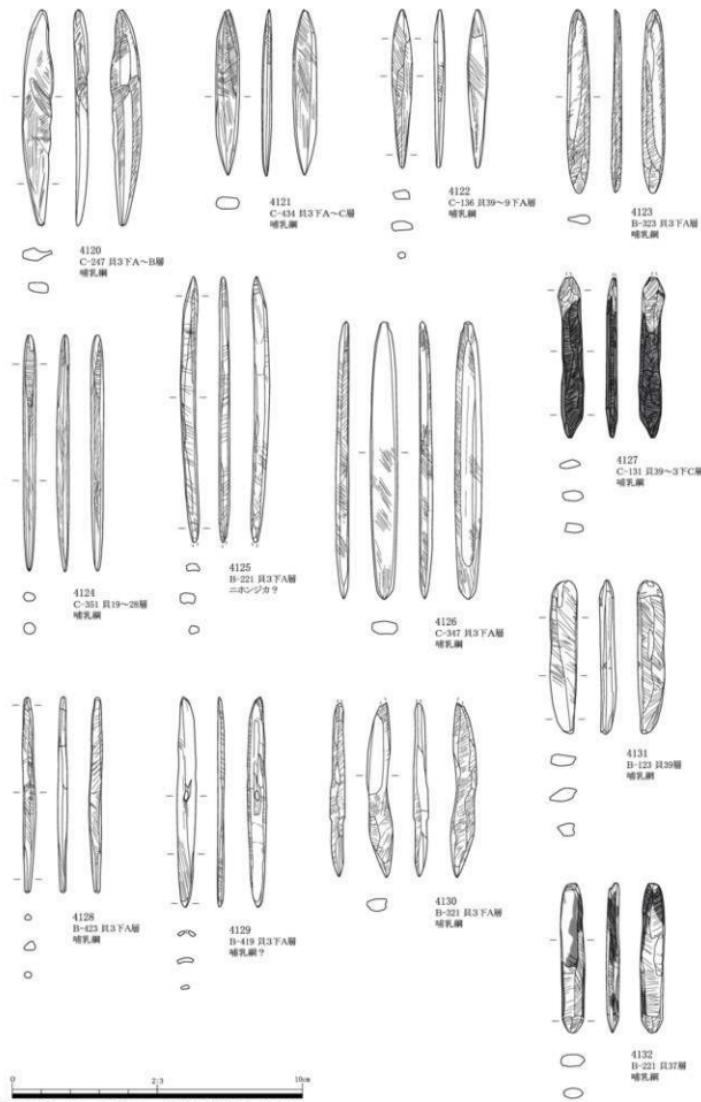


第348図 B・C地区 骨角貝製品2 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

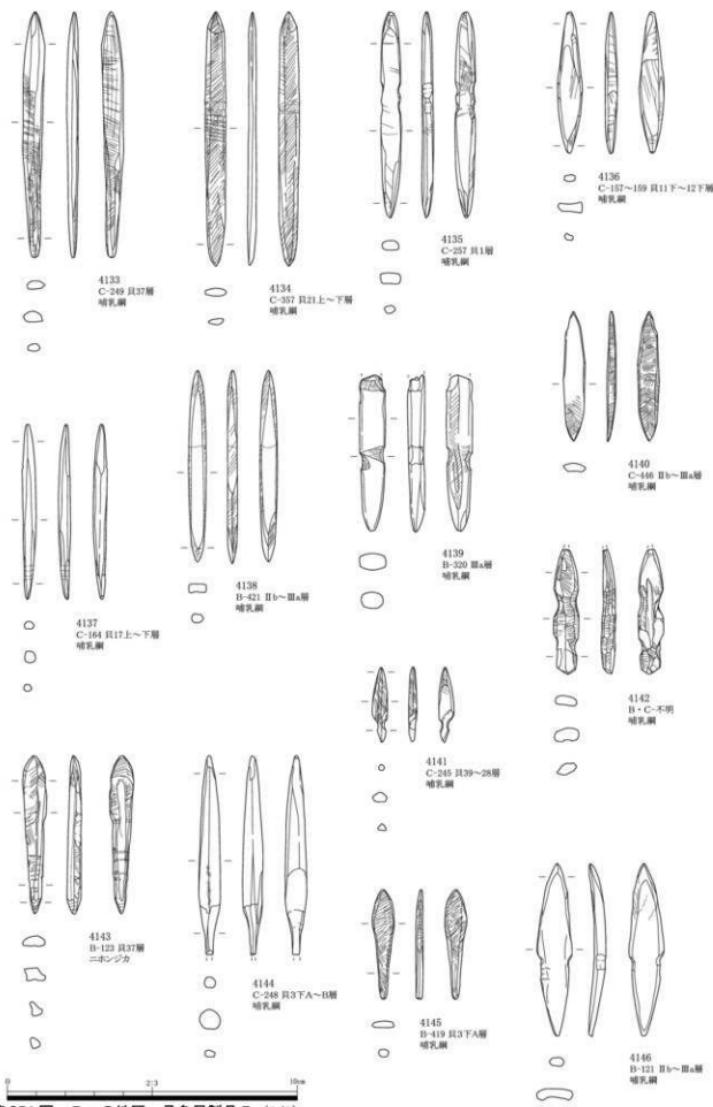


第349図 B・C地区 骨角製品3 (2/3)

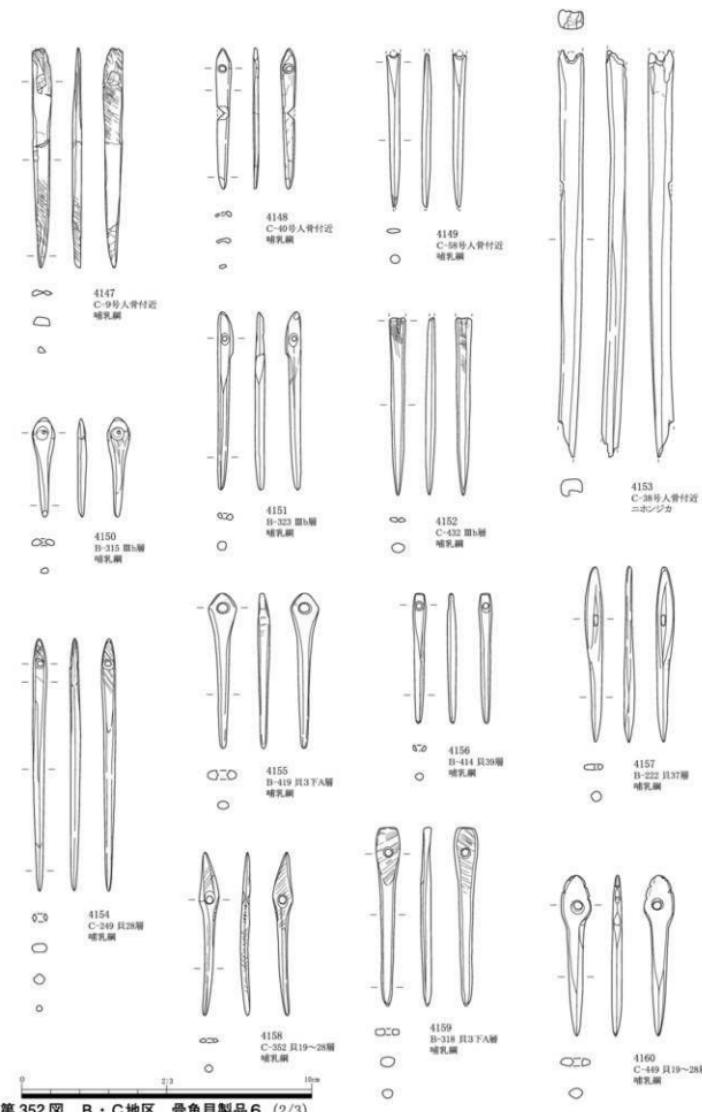


第350図 B・C地区 骨角貝製品4 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

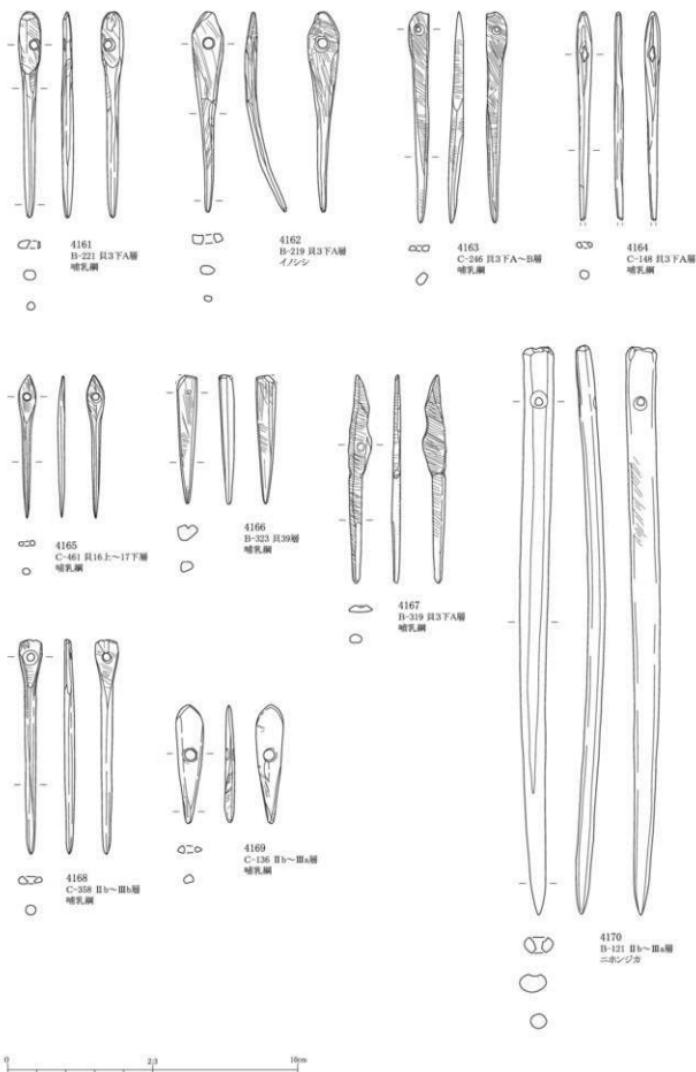


第351図 B・C地区 骨角貝製品5 (2/3)

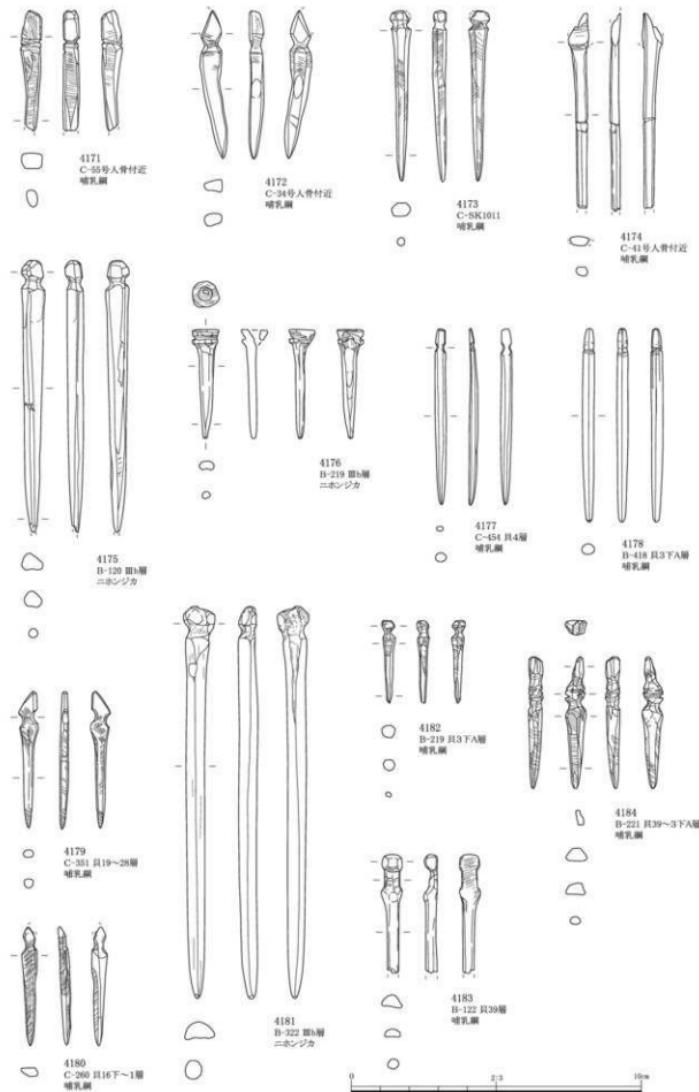


第352図 B・C地区 骨角貝製品6 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

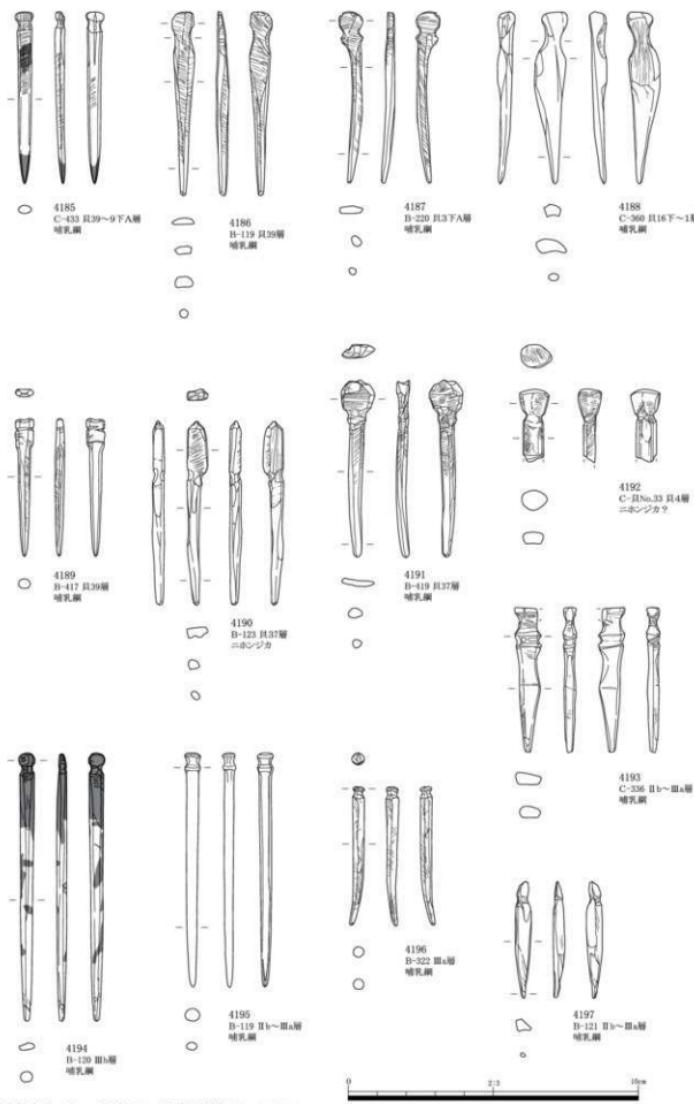


第353図 B・C地区 骨角貝製品7 (2/3)

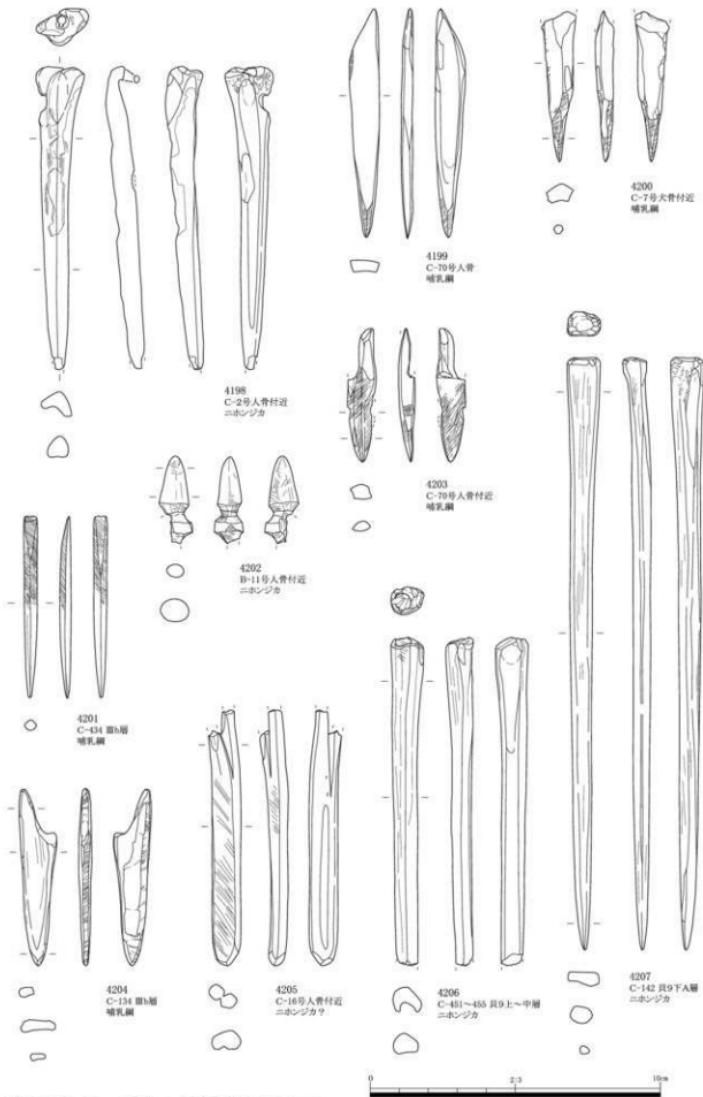


第354図 B・C地区 骨角貝製品8 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

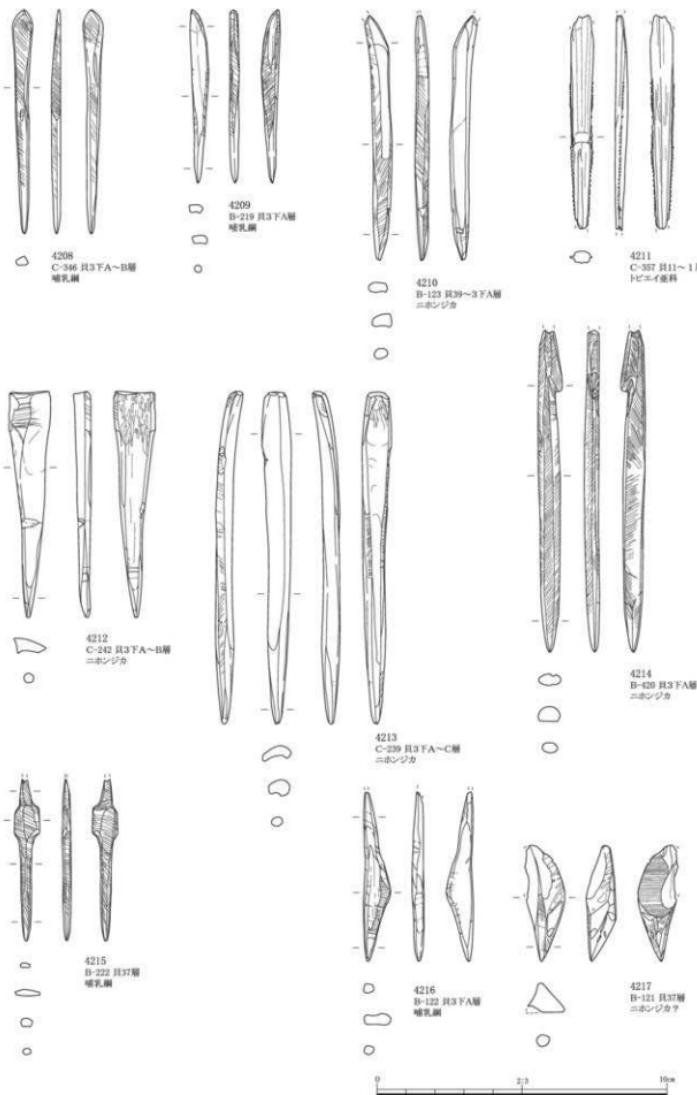


第355図 B・C地区 骨角貝製品9 (2/3)

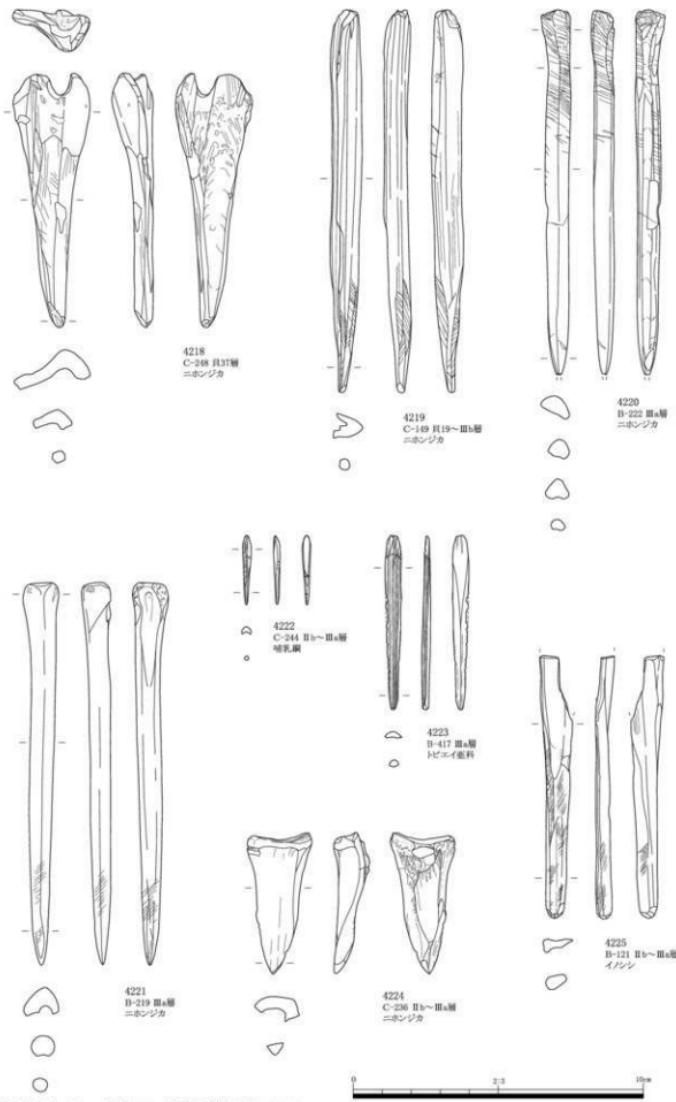


第356図 B・C地区 骨角貝製品10 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

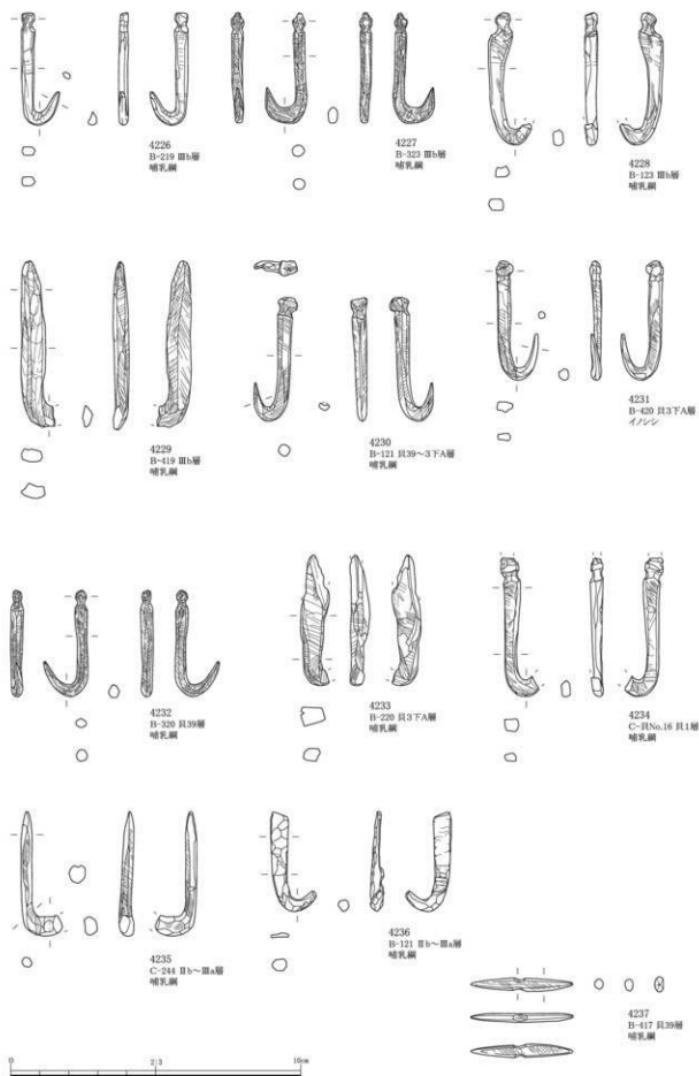


第357図 B・C地区 骨角貝製品11 (2/3)

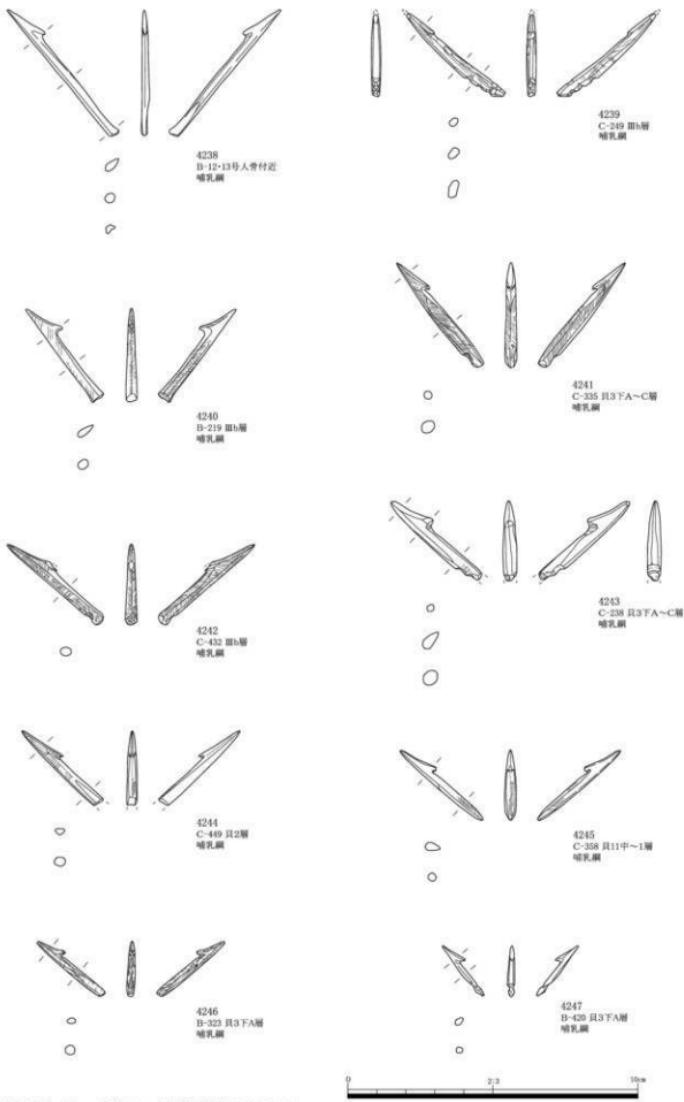


第358図 B・C地区 骨角貝製品12 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

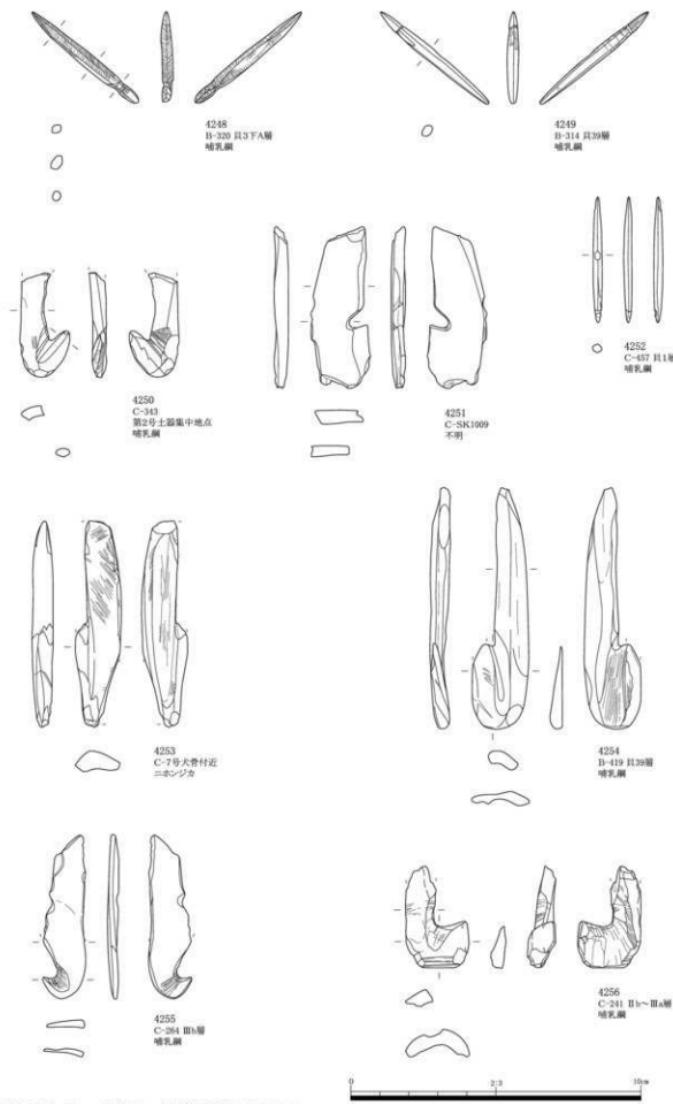


第359図 B・C地区 骨角貝製品13 (2/3)

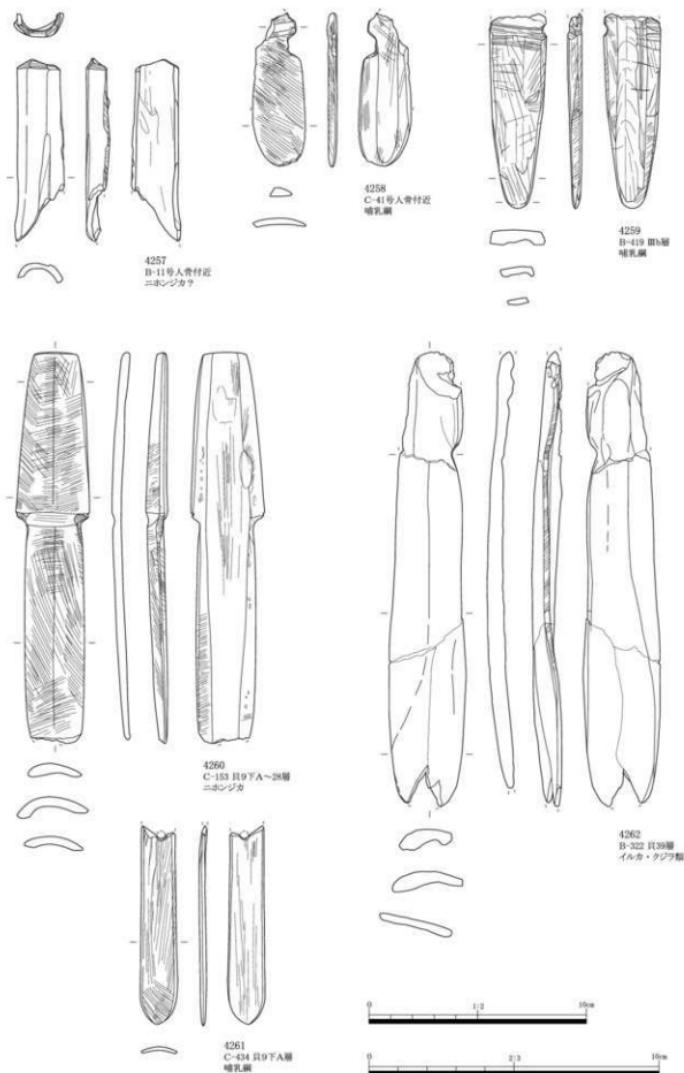


第360図 B・C地区 骨角貝製品14 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

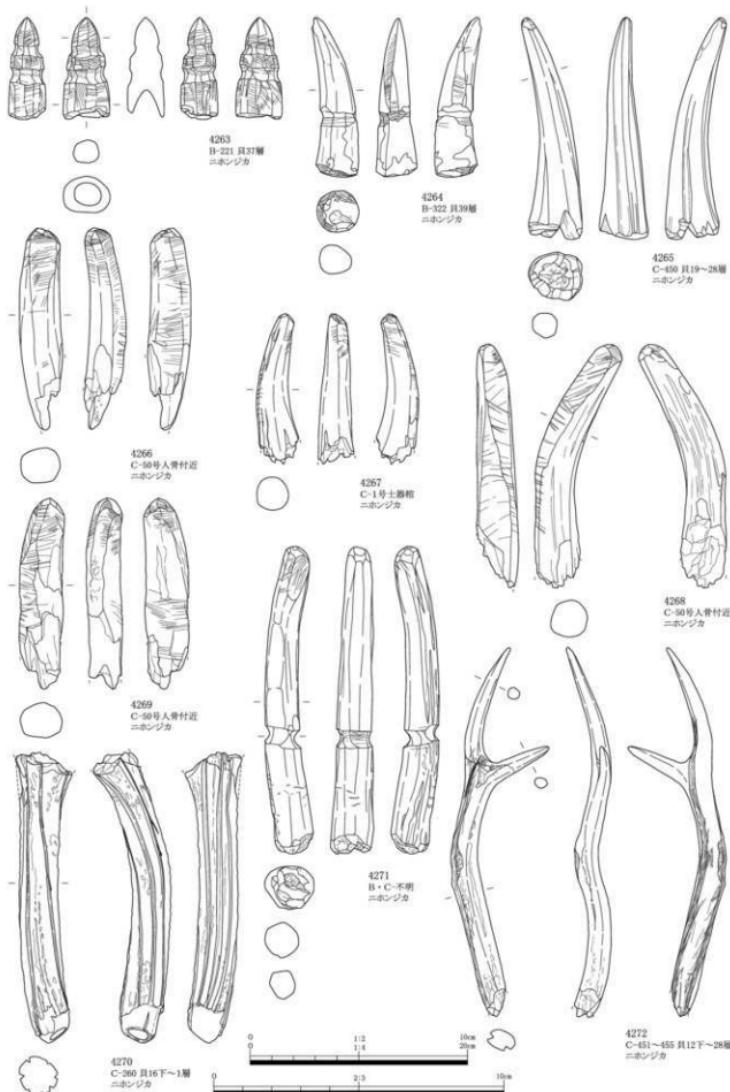


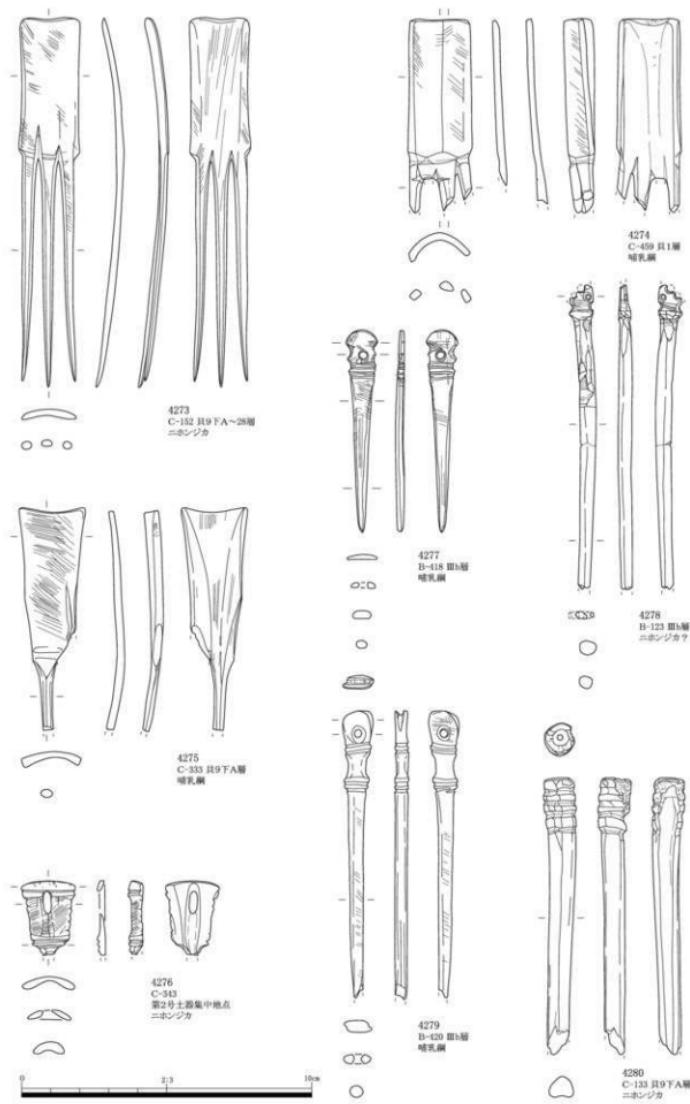
第361図 B・C地区 骨角貝製品15 (2/3)



第362図 B・C地区 骨角貝製品16 (4257~4261 2/3, 4262 1/2)

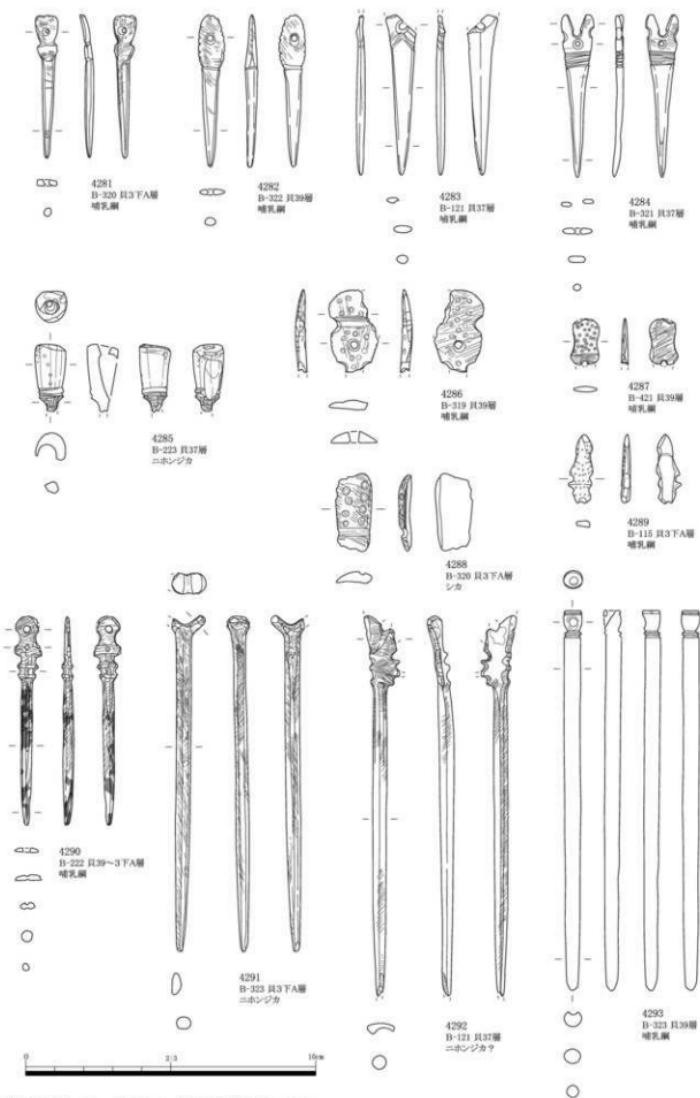
5 B・C地区の遺構・遺物



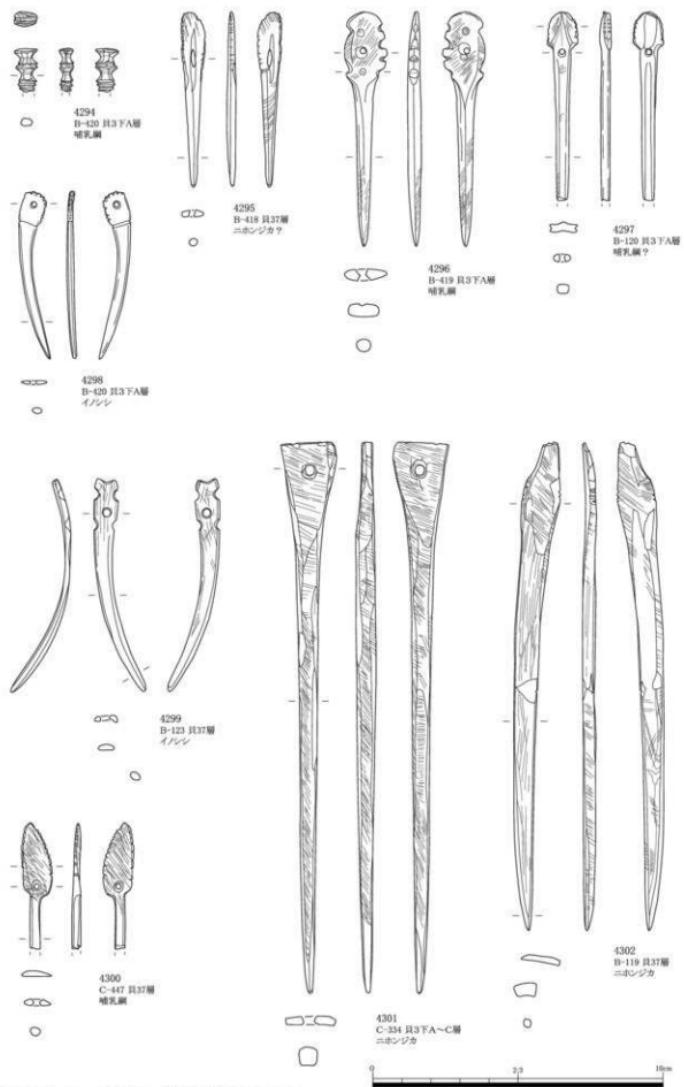


第364図 B・C地区 骨角貝製品18 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

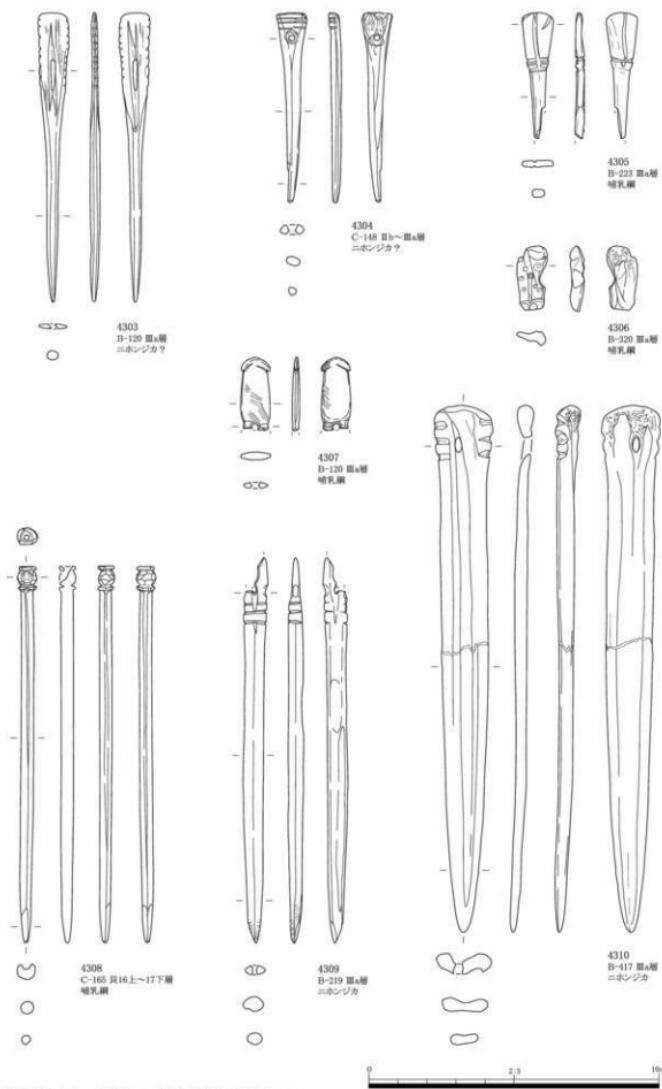


第365図 B・C地区 骨角貝製品19 (2/3)

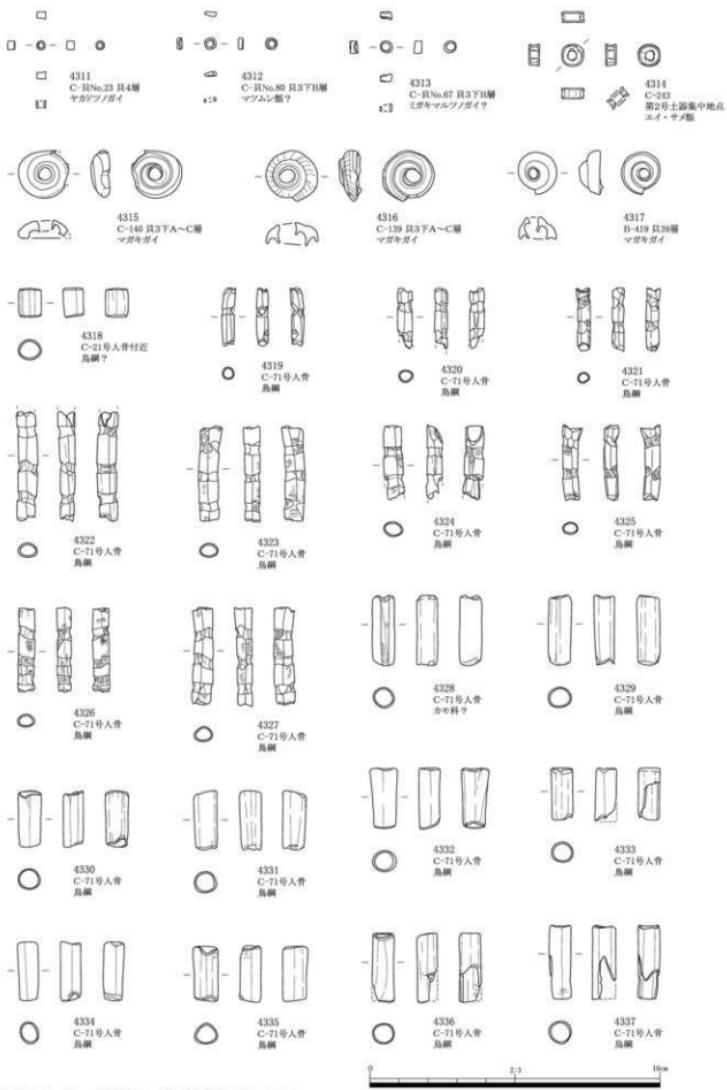


第366図 B・C地区 骨角貝製品20 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

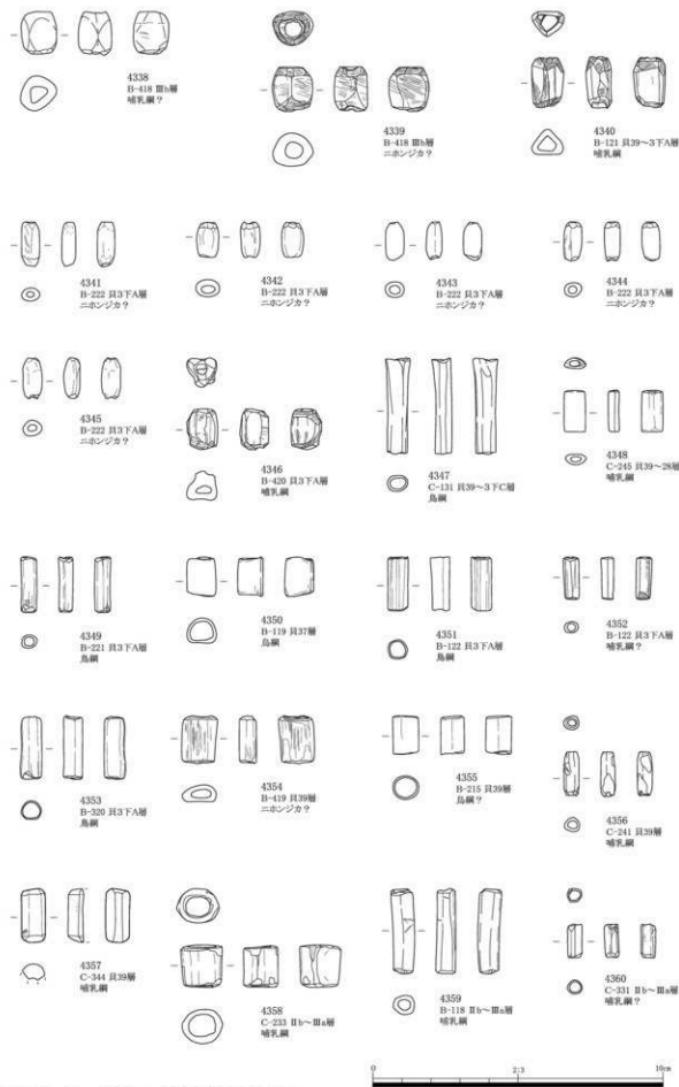


第367図 B・C地区 骨角貝製品21 (2/3)

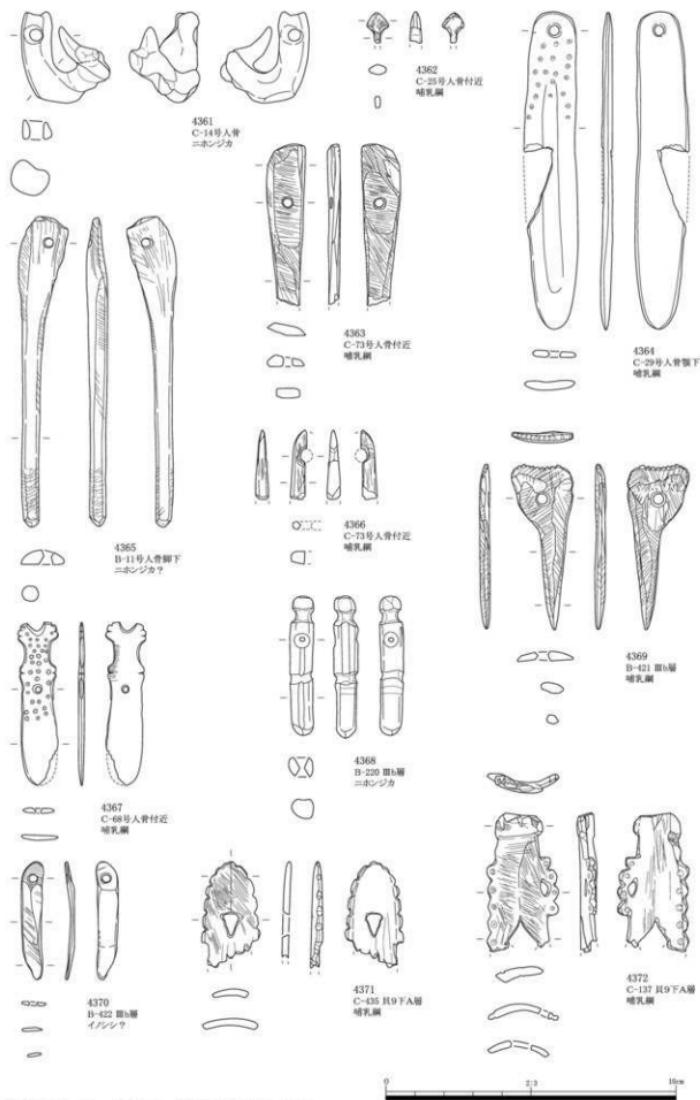


第368図 B・C地区 骨角貝製品22 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

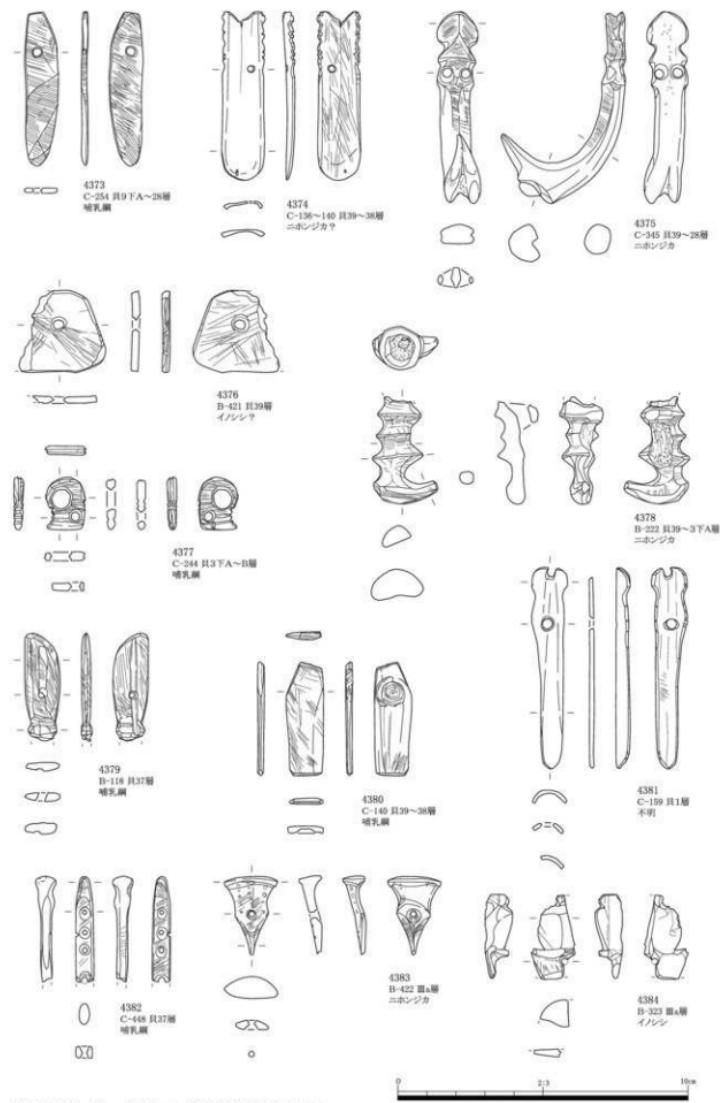


第369図 B・C地区 骨角貝製品23 (2/3)

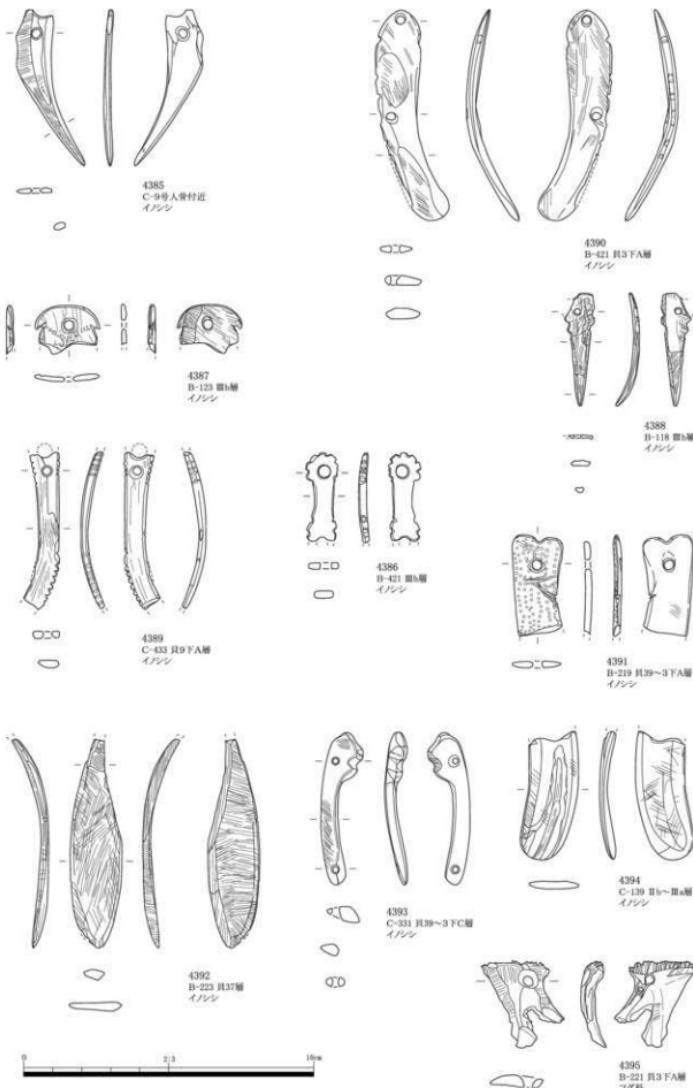


第370図 B・C地区 骨角貝製品25 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

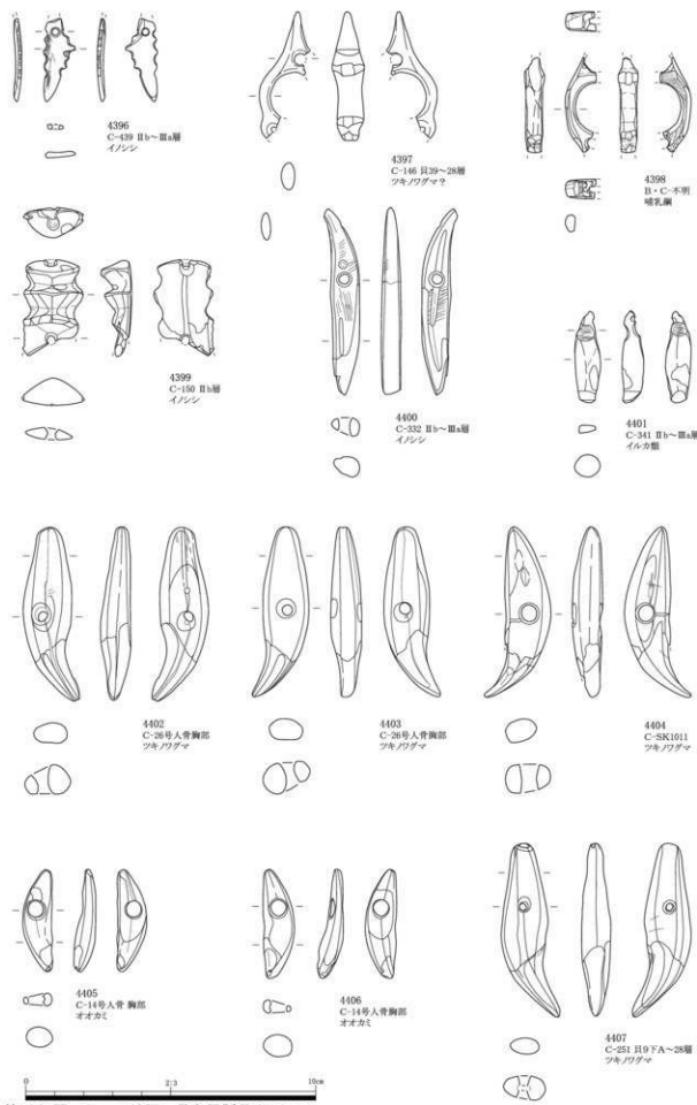


第371図 B・C地区 骨角貝製品25 (2/3)

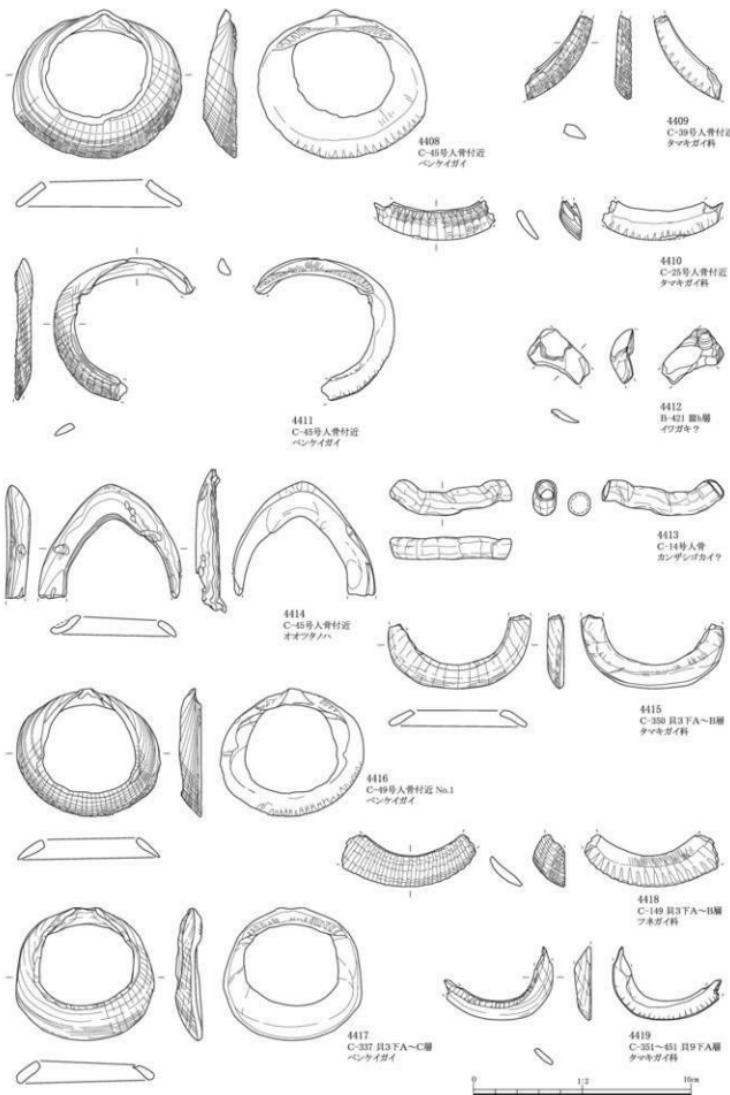


第372図 B・C地区 骨角貝製品26 (2/3)

5 B・C地区の遺構・遺物

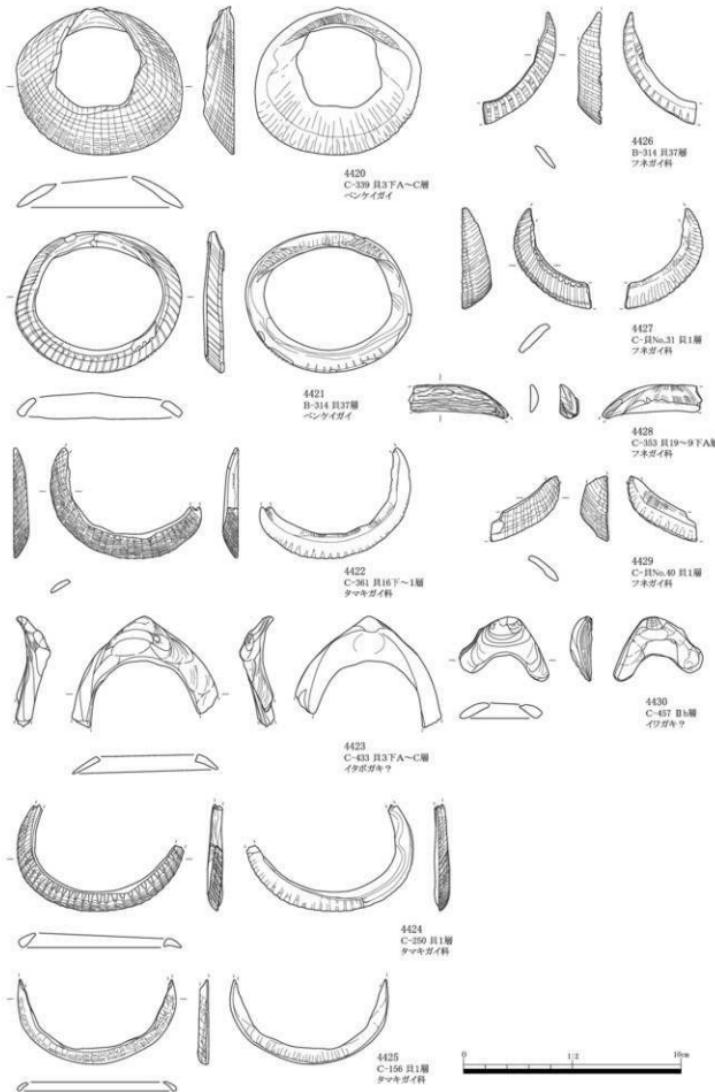


第373図 B・C地区 骨角貝製品27 (2/3)

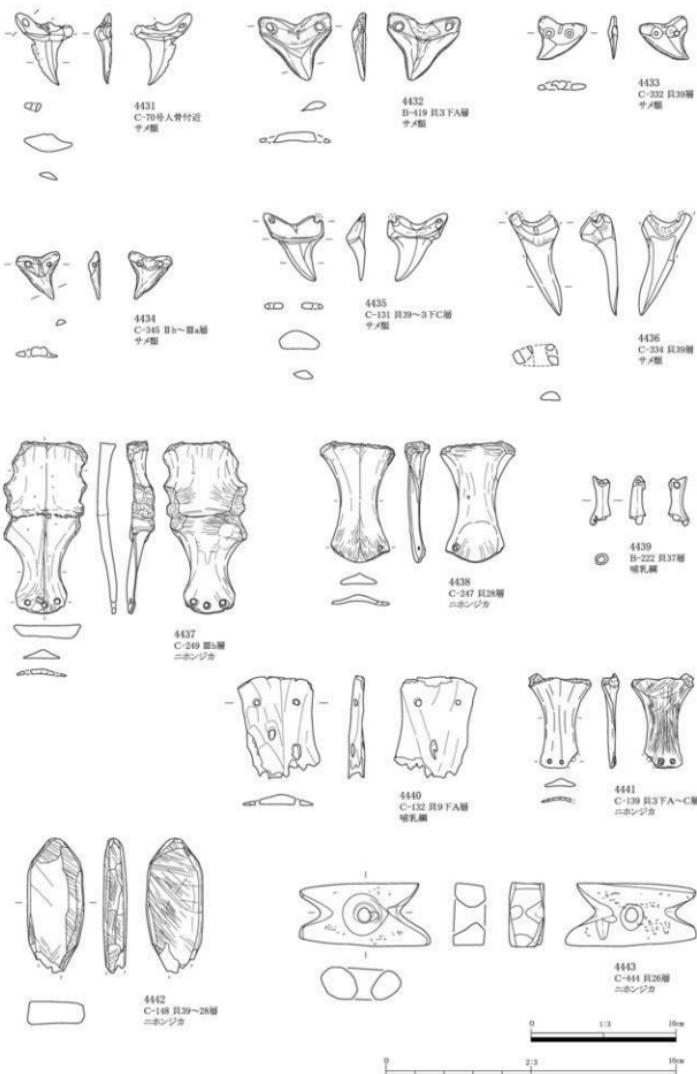


第374図 B・C地区 骨角貝製品28 (1/2)

5 B・C地区の遺構・遺物

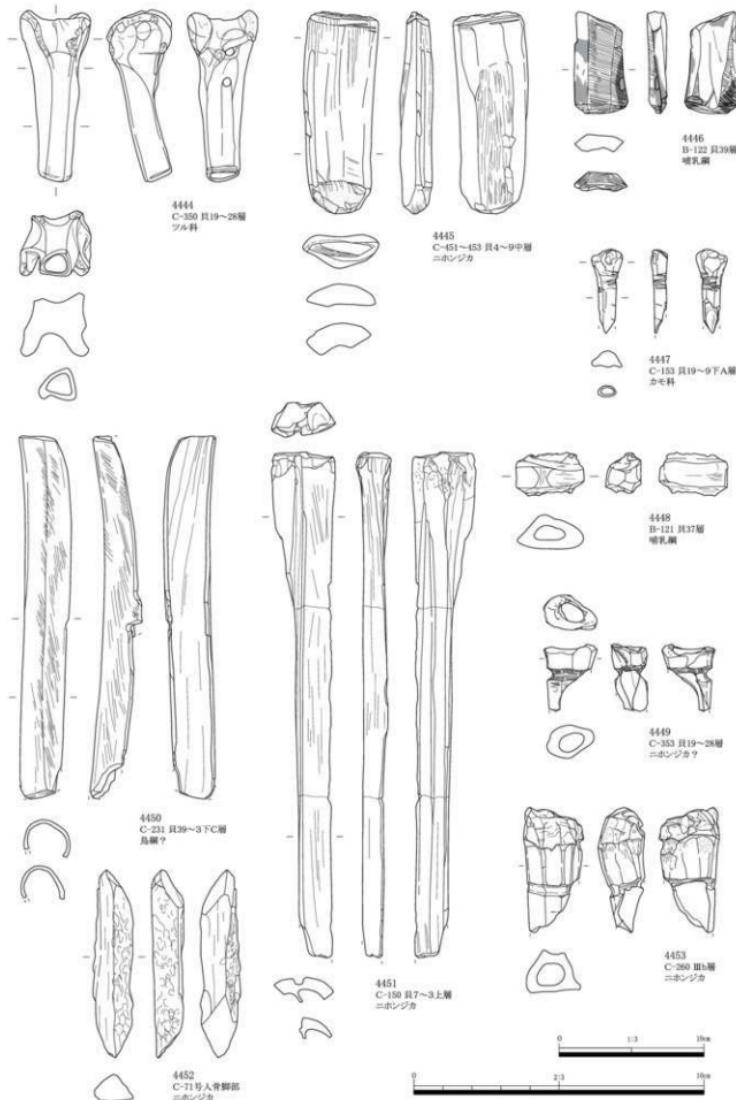


第375図 B・C地区 骨角貝製品29 (1/2)



第376図 B・C地区 骨角貝製品30 (4431～4436・4439・4440・4442・4443 2/3・4437・4438・4441 1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



第377図 B・C地区 骨角貝製品31 (4444~4448・4450~4452 2/3, 4449・4453 1/3)

番号	通路番号	地図	遺構	出土地点・層位	埋置	汎量(10 ⁻⁴ g)				参考	対質埋置	部位	割分	左右
						高さ	幅	厚さ	重さ					
247	4072	C	1号人骨付近	マスク頭部	4.92	1.09	0.59	2.13	高須文様 塗装模様	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-	
247	4073	C	13号人骨付近	マスク頭部	4.83	1.00	0.55	2.70	高須文様 塗装模様	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-	
247	4074	C	19号人骨付近	マスク頭部	4.70	0.89	0.49	2.11	高須 文様 模様模様	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-	
247	4075	C	21号人骨胸際付近	マスク頭部	4.49	0.90	0.50	1.67	高須 文化	埴乳頭	不規	-		
247	4076	C	20-21号人骨付近	マスク頭部	4.59	0.80	0.39	1.54	高須 小型	埴乳頭	不規	-		
247	4077	C	141	目	マスク頭部	8.10	0.83	0.45	2.85	高須 文化	ニホンジカ?	夷?	-	
247	4078	B	215	目	マスク頭部	4.80	0.89	0.39	1.64	高須 文様模様	埴乳頭	不規	-	
247	4079	C	238	目	マスク頭部	5.70	0.80	0.45	2.32	高須 文様模様	埴乳頭	不規	-	
247	4080	B	421	目	マスク頭部	4.30	1.13	0.88	1.61	高須 文様模様スズ	ニホンジカ?	牛骨?	-	
247	4081	B	219	目	マスク頭部	4.40	0.93	0.50	2.15	高須 文様模様	埴乳頭	不規	-	
247	4082	C	434	目	マスク頭部	4.80	0.80	0.40	1.63	高須 文様	埴乳頭	不規	-	
247	4083	C	124	目	マスク頭部	3.80	0.88	0.38	1.47	高須 文様模様	埴乳頭	不規	-	
247	4084	C	452	目A-26	マスク頭部	5.55	0.74	0.40	2.12	高須 小型 暗赤	埴乳頭	不規	-	
247	4085	C	226	目A-7A	マスク頭部	2.80	0.39	0.30	1.04	高須 小型 暗赤暗黒	埴乳頭	不規	-	
247	4086	C	135	目A-7A	マスク頭部	4.10	0.80	0.33	1.34	高須 小型 線	埴乳頭	不規	-	
247	4087	C	147	目A-2-10	マスク頭部	4.80	0.72	0.32	1.80	高須 小型 文化	ニホンジカ?	夷?	-	
248	4088	C	324	目A-7A	マスク頭部	6.10	0.80	0.40	1.54	高須	ニホンジカ?	牛骨?	-	
248	4089	C	229	目A-7A	マスク頭部	6.70	0.80	0.30	1.59	高須 大	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-
248	4090	C	250	耳	マスク頭部	8.20	0.80	0.40	3.06	高須 スズ	ニホンジカ?	牛骨?	-	
248	4091	C	248	耳A-1-9	マスク頭部	9.80	0.81	0.37	3.40	高須 文様	埴乳頭	不規	-	
248	4092	C	146	耳A-7A-26	マスク頭部	5.80	0.80	0.41	2.40	高須 文化	埴乳頭	不規	-	
248	4093	C	451-453	耳A-7A-9B	マスク頭部	7.98	0.81	0.30	2.89	高須 文様模様 大スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4094	B	122	耳A-7A	マスク頭部	2.80	0.84	0.40	0.83	高須 小型 大スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4095	D	272	耳A-7A	マスク頭部	7.80	0.81	0.40	2.72	高須 中型	埴乳頭	不規	-	
248	4096	C	248	耳?	マスク頭部	5.10	0.30	0.30	0.61	高須 小型	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-
248	4097	B	219	耳	マスク頭部	1.80	0.80	0.40	0.79	高須 小型	埴乳頭	不規	-	
248	4098	C	170	耳A-2-10	マスク頭部	3.80	0.83	0.32	0.57	高須 小型 大スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4099	B	221	耳	マスク頭部	1.40	0.82	0.30	0.46	高須 小型 暗赤	埴乳頭	不規	-	
248	4100	B	218	耳A-7A	マスク頭部	3.03	0.85	0.27	1.00	高須 小型	埴乳頭	不規	-	
248	4101	B	119	耳A-10	マスク頭部	4.40	0.88	0.49	1.40	高須 小型	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-
248	4102	B	220	耳A-2-7A	マスク頭部	4.72	0.83	0.38	1.18	高須 文様模様	埴乳頭	不規	-	
248	4103	C	247	耳A-7A	マスク頭部	4.80	0.80	0.40	1.13	高須 小型 スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4104	B	221	耳A-10	マスク頭部	4.58	0.82	0.37	1.19	高須 小型 大スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4105	B	219	耳A-7A	マスク頭部	5.00	0.80	0.40	1.04	高須 小型 大スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4106	B	320	耳A-7A	マスク頭部	4.80	0.90	0.35	1.18	高須 小型	埴乳頭	不規	-	
248	4107	C	149	耳A-2-7A	マスク頭部	4.30	0.80	0.32	1.00	高須 文様 小型	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-
248	4108	C	143	耳A-7A-C	マスク頭部	3.80	0.83	0.48	1.12	高須 文様	埴乳頭	不規	-	
248	4109	C	247	耳A-7A	マスク頭部	3.77	0.70	0.38	1.00	高須 文化	埴乳頭	高須?	-	
248	4110	B	410	耳A-7A	マスク頭部	3.77	0.83	0.40	1.37	高須 文様 小型	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-
248	4111	C	426	耳A-7A-C	マスク頭部	6.13	0.75	0.40	2.01	高須 文様模様スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4112	B	181	耳A-7A	マスク頭部	3.80	0.80	0.40	1.29	高須 小型	埴乳頭	不規	-	
248	4113	C	326	耳A-7A-C	マスク頭部	4.13	0.80	0.38	1.01	高須 文様 暗赤	埴乳頭	不規	-	
248	4114	B	123	耳A-7	マスク頭部	4.40	0.80	0.45	1.21	高須文様 暗赤	埴乳頭	不規	-	
248	4115	B	320	耳A-2-7A	マスク頭部	4.80	0.80	0.40	1.04	高須 文様模様 小型 大スズ	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-
248	4116	B	222	耳A-7	マスク頭部	5.10	0.80	0.41	1.80	高須 文様模様スズ 大スズ	埴乳頭	不規	-	
248	4117	C	228	耳A-7A-C	マスク頭部	4.50	0.83	0.32	1.90	高須 文様模様 斜尖	埴乳頭	不規	-	
248	4118	C	444	耳A-7A-B	マスク頭部	4.30	0.80	0.40	1.38	高須 文様模様 斜尖	埴乳頭	不規	-	
248	4119	B	220	耳A-7	マスク頭部	4.85	0.85	0.45	1.82	高須文様 文様模様V2	埴乳頭	高須文	埴乳頭付近	-
248	4120	C	247	耳A-7A-B	マスク頭部	7.40	1.00	0.40	3.64	高須 文様模様V1	埴乳頭	高須文	埴乳頭	-
248	4121	C	424	耳A-7A-C	マスク頭部	5.70	0.80	0.35	1.90	高須	埴乳頭	不規	-	

第28表 B・C地区骨器一覧1

5 B・C地区の遺構・遺物

番号	遺物番号	地名	基壇	出土場所・層位	種類	汎用(10 ⁻⁴)				備考	対応標題	段位	部分	左右	
						大きさ	幅	厚さ	重さ						
200	4122	C	134	長30~9下A	ヤマゾ新聞具	5.45	0.70	0.38	1.57	直角・丸穴	埴乳器	平側	一		
200	4123	B	323	長3下A	ヤマゾ新聞具	6.30	0.60	0.35	1.82	直角・丸穴	埴乳器	長直身	香野村	-	
200	4124	C	381	長18~28	ヤマゾ新聞具	8.12	0.61	0.40	2.08	直角・丸穴	埴乳器	平側	-		
200	4125	B	221	長3下A	ヤマゾ新聞具	9.18	0.53	0.35	2.25	直角・丸化	ニホンジカ?	中子原(中正)	-		
200	4126	C	343	長3下A	ヤマゾ新聞具	9.30	0.60	0.40	2.1	直角・丸化	埴乳器	長直身	香野村	-	
200	4127	C	131	長30~37C	ヤマゾ新聞具	9.50	0.60	0.38	2.08	直角・丸・直角・丸	埴乳器	不規	-		
200	4128	B	473	長3下A	ヤマゾ新聞具	9.75	0.62	0.35	2.13	直角・直角・丸	埴乳器	平側	-		
200	4129	B	419	長3下A	ヤマゾ新聞具	7.23	0.62	0.23	0.94	円筒・中空・縦溝横溝内穿孔	埴乳器?	長直身	香野村	-	
200	4130	B	321	長3下A	ヤマゾ新聞具	4.80	0.60	0.30	1.02	直角・中空・縦溝	埴乳器	平側	-		
200	4131	B	123	長30	ヤマゾ新聞具	5.30	0.65	0.33	1.13	直角・丸孔	埴乳器	不規	-		
200	4132	B	221	長3?	ヤマゾ新聞具	5.18	0.68	0.42	1.2	直角・直角・丸・スズ	埴乳器	不規	-		
201	4133	C	249	長3下A	ヤマゾ新聞具	8.40	0.68	0.38	2.08	直角・丸化	埴乳器	平側	-		
201	4134	C	287	長3上~下	ヤマゾ新聞具	6.75	0.70	0.29	1.26	直角・直角・丸	埴乳器	不規	-		
201	4135	C	257	長1	ヤマゾ新聞具	7.10	0.70	0.40	1.82	直角・側面底V2	埴乳器	平側	-		
201	4136	C	157~159	長3~7下A	ヤマゾ新聞具	4.95	0.65	0.40	1.7	直角・小窓	埴乳器	長直身	香野村	-	
201	4137	C	164	長3上~下	ヤマゾ新聞具	6.08	0.62	0.42	1.4	直角・丸化	埴乳器	平側	-		
201	4138	B	421	玉3~4下	ヤマゾ新聞具	6.80	0.60	0.35	1.33	直角	埴乳器	長直身	-		
201	4139	B	320	長3下	ヤマゾ新聞具	5.40	0.60	0.30	1.29	直角・側面底V2	埴乳器	平側	-		
201	4140	C	448	玉3~4下	ヤマゾ新聞具	4.60	0.70	0.30	1.11	直角・小窓	埴乳器	平側	-		
201	4141	C	243	長30~23	縫1	2.80	0.60	0.31	0.38	斜口・内側縫通込孔・小窓・スズ	埴乳器	不規	-		
201	4142	B-C	不規	玉3~4下	ヤマゾ新聞具	3.00	0.68	0.30	1.02	直角・丸・直角・縫通込V2	埴乳器	不規	-		
201	4143	B	123	長3?	ヤマゾ新聞具	5.40	0.60	0.35	1.05	直角・縫通込V1	ニホンジカ	中子原	香野村	-	
201	4144	C	248	長3下A~B	ヤマゾ新聞具	8.80	0.73	0.70	1.31	直角・丸・直角・縫通込V1	埴乳器	不規	-		
201	4145	B	419	長3下A	ヤマゾ新聞具	3.80	0.70	0.27	0.61	直角・縫通込	埴乳器	平側	-		
201	4146	B	121	玉3~4下	縫1	5.95	1.20	0.39	2.51	直角・側面底縫通込・異形・二ホンジカ手甲-中正	埴乳器	長直身	香野村	-	
202	4147	C	109号人骨付近	大型針		1.90	0.63	0.32	1.1	直角・縫通込・直角断孔・直孔:	埴乳器	平側	-		
202	4148	C	109号人骨付近	縫型針		4.80	0.52	0.20	0.43	直角・直角断孔	埴乳器	不規	-		
202	4149	C	109号人骨付近	骨内缝合2	縫型針	1.30	0.48	0.30	0.46	直角・直角・直角断孔	埴乳器	不規	-		
202	4150	B	215	縫1	縫型針	2.40	0.78	0.30	0.54	直角・直角・直角断孔・直孔:	埴乳器	不規	-		
202	4151	B	323	縫1	縫型針	6.10	0.60	0.30	0.89	直角・基盤断平穿孔、直孔:	埴乳器	平側	-		
202	4152	C	432	縫1	縫型針	6.10	0.55	0.35	1.14	直角・基盤断平穿孔	埴乳器	不規	-		
202	4153	C	109号人骨付近	大型針		14.00	0.90	0.70	7.25	直角・丸・直角	ニホンジカ	中子原(中正)	近田原-香野村	-	
202	4154	C	249	長30	縫型針	8.80	0.67	0.33	1.60	直角・直角断孔	埴乳器	長直身	香野村	-	
202	4155	B	419	長3下A	縫型針	5.34	0.98	0.40	1.24	直角・基盤断平穿孔、スズ	埴乳器	不規	-		
202	4156	B	414	縫10	縫型針	4.40	0.43	0.30	0.58	直角・基盤断穿孔、直孔:	埴乳器	不規	-		
202	4157	B	222	長3?	縫型針	4.00	0.60	0.37	1.16	直角・基盤断穿孔(内側)穴孔:	埴乳器	不規	-		
202	4158	C	352	長18~28	縫型針	1.81	0.70	0.30	0.87	直角・基盤断穿孔:	埴乳器	平側	-		
202	4159	B	318	長3下A	縫型針	4.10	0.60	0.38	1.32	直角・基盤断穿孔:	埴乳器	不規	-		
202	4160	C	449	長3~28	縫型針	5.51	1.05	0.35	1.43	直角・直角・直角断孔:	埴乳器	不規	-		
203	4161	B	221	長3下A	縫型針	7.10	0.77	0.40	1.38	直角・直角断孔:	埴乳器	不規	-		
203	4162	B	219	長3下A	縫型針穿孔器	6.80	1.07	0.42	2.21	直角・穿孔:	イノシシ	縫	下田大畠	-	
203	4163	C	248	長3下A~B	縫型針	7.29	0.70	0.45	1.71	直角・基盤断平穿孔:	埴乳器	平側	-		
203	4164	C	148	長3下A	縫型針	7.20	0.52	0.30	1.00	直角・直角・直角断孔:	埴乳器	平側	-		
203	4165	C	461	長3上~17?	縫型針	4.40	0.58	0.33	0.68	直角・基盤断平穿孔:	埴乳器	不規	-		
203	4166	B	323	縫10	縫型針	4.02	0.69	0.45	1.00	直角・直角断孔:	埴乳器	平側	-		
203	4167	B	219	長3下A	縫型針	7.10	0.80	0.30	1.32	直角・直角断孔・斜交叉:	埴乳器	不規	-		
203	4168	C	258	玉3~4下	縫型針	7.40	0.80	0.35	1.59	直角・基盤断平孔:	埴乳器	平側	-		
203	4169	C	128	玉3~4下	札状加工工具	4.10	0.30	0.33	1.12	直角・穿孔:	埴乳器	平側	-		
203	4170	B	121	玉3~4下	大型針	19.90	1.00	0.40	16.40	直角・基盤断孔:	ニホンジカ	角	角野	-	
204	4171	C	109号人骨付近	有縫針	4.12	0.70	0.55	1.00	下端穿孔・側面斜り・有縫	埴乳器	不規	-			

第28表 B・C地区骨器一覧表

部品	遺物番号	出成	品種	出土地名・埋状	埋置	汎用(10 ⁻⁴ g)				参考	対質埋置	埋分	左右		
						丸石	楕	球	重き						
254	4172	C	24号人骨付近		有頭前突頭	3.09	0.70	0.49	1.52	先端 研磨削り 有頭 スズ	埋丸頭	不規	-		
254	4172	C	SK1011	N.L.	無型針	3.89	0.85	0.45	1.33	先端 研磨削り 有頭	埋丸頭	不規	-		
255	4178	C	11号人骨付近		鑿針?	6.72	0.70	0.30	1.91	上下丸頭 研磨 基本形有頭 打丸	埋丸頭	不規	-		
256	4179	無		120	石	9.35	0.80	0.55	4.33	先端 研磨削り 有頭	ニホンジカ	中子骨/中足 骨頭部	-		
256	4179	無		219	石	2.73	0.80	0.80	1.01	先端 基本形打丸頭 上から穿孔	ニホンジカ	中子骨/中足 骨頭部	-		
256	4177	C		454	月4	無型針	6.05	0.38	0.30	0.94	先端 研磨削り 有頭	埋丸頭	不規	-	
256	4178	無		415	月3?A	無型針	4.85	0.40	0.39	1.18	先端 研磨削り 有頭	埋丸頭	不規	-	
256	4179	C		351	月3?~28	無型針	4.71	0.65	0.30	1.07	先端 研磨削り 有頭	埋丸頭	不規	-	
256	4180	C		280	月14?~1	無型針	4.10	0.33	0.32	0.78	先端 研磨削り 有頭	埋丸頭	不規	-	
256	4181	無		322	石	13.50	1.10	0.85	3.53	基底丸頭 研磨削り 有頭	ニホンジカ	中子骨/中足 近足部-脛骨	-		
256	4182	無		219	月3?A	無型針	2.80	0.40	0.42	0.80	先端 研磨削り 有頭	埋丸頭	不規	-	
256	4183	無		122	月3?	無型針?	4.10	0.70	0.49	1.24	先端丸頭 基本形有頭孔 麦子	埋丸頭	不規	-	
256	4184	無		221	月3?~27A	無型針?	4.50	0.70	0.30	1.20	先端研磨削り孔 基本形平	埋丸頭	不規	-	
256	4185	C		433	月3?~9?A	無型針	3.80	0.80	0.35	1.22	先端 基本形有頭孔 有頭孔 スズ	埋丸頭	不規	-	
256	4186	無		119	月3?	無型針	4.30	0.70	0.42	1.19	先端 研磨削り 有頭孔	埋丸頭	不規	-	
256	4187	無		220	月3?A	無型針	5.90	0.80	0.33	1.08	先端 研磨削り 平	埋丸頭	不規	-	
256	4188	C		360	月18?~1	新奥真三?	3.81	1.10	0.50	2.44	先端 研磨削り 有頭	埋丸頭	直骨管	-	
256	4189	無		417	月3?	鑿針?	4.75	0.80	0.30	0.83	先端丸頭 研磨削り スズ	埋丸頭	直骨管	-	
256	4190	無		123	月3?	無型針	6.30	0.70	0.40	1.61	先端 基本形有頭孔 有頭孔	ニホンジカ	角	馬頭	-
256	4191	無		419	月3?	鑿針?	6.12	1.13	0.44	1.40	先端 基本形孔 研磨	埋丸頭	不規	-	
256	4192	C	SK1033	N.L.	鑿針?	2.50	1.00	0.80	0.50	基底丸頭の側面研磨 有頭	ニホンジカ?	中子骨/中足 近足部	-		
256	4193	C		336	月3?~II-A	無型針	5.80	0.80	0.45	1.18	先端丸頭 研磨削り 横斜薄刃方4	埋丸頭	不規	-	
256	4194	無		120	石	9.20	0.83	0.34	2.00	先端 研磨削り 平	埋丸頭	不規	-		
256	4195	D		119	月3?~II-A	無型針	4.01	0.80	0.40	1.17	先端 研磨削り 有頭孔 スズ	埋丸頭	不規	-	
256	4196	無		322	石	4.75	0.40	0.43	0.82	先端 研磨削り 有頭孔 基本形	埋丸頭	不規	-		
256	4197	無		121	月3?~II-A	無型針	4.80	0.80	0.40	0.88	先端 研磨削り 小型 斧	埋丸頭	不規	-	
256	4198	C	24号人骨付近		大型針	10.44	1.83	1.15	2.78	先端丸頭 基底上から穿孔 麦子	ニホンジカ	中足骨	近足部-脛骨		
256	4199	C	10号人骨		新奥真三?	7.80	1.01	0.40	1.38	先端 研磨	コゲ	埋丸頭	直骨管	-	
256	4200	C	12号人骨付近		新奥真三?	5.18	1.20	0.85	2.07	基底丸頭 V字状	埋丸頭	直骨管	-		
256	4201	C		434	石	2.20	0.42	0.40	1.21	先端 基本形平に凹凸	埋丸頭	不規	-		
256	4202	B	11号人骨付近		鑿針?	3.50	1.13	0.35	1.87	基底 打丸 研磨	ニホンジカ	角	先頭部	-	
256	4202	C	10号人骨付近		鑿針?	4.80	1.00	0.50	1.80	基底丸頭 研磨削り 基本化	埋丸頭	不規	-		
256	4204	C		134	石	2.05	0.33	0.43	1.42	先端 研磨削り	埋丸頭	直骨管	直骨管		
256	4205	C	10号人骨付近		ヘラ	4.80	1.00	0.80	1.14	基底丸頭 基底形打丸頭 先端丸い	ニホンジカ?	角	-		
256	4206	C		451~405	月3?~II-A	新奥真三?	11.30	1.10	0.90	3.10	先端 基底平に凹凸	ニホンジカ	中足骨	近足部-脛骨	
256	4207	C		142	石	20.40	1.10	0.88	1.40	先端 研磨 基底上から穿孔 麦子	ニホンジカ	角	先頭部	-	
256	4208	C		346	月3?~II-A~II-B	新奥真三?	7.72	0.70	0.30	1.80	先端 基底丸頭 平穿孔あり ニホンジカ手	埋丸頭	直骨管	-	
256	4209	D		219	月3?~II-A	ヤマト刀劍新奥真三?	3.90	0.80	0.32	1.38	先端 研磨	スズ	埋丸頭	直骨管	-
256	4210	無		122	月3?~II-A	ヤマト刀劍新奥真三?	6.40	0.83	0.49	1.13	先端丸頭 研磨	ニホンジカ	中足骨/中足 脛骨	-	
256	4211	C		323	月3?~II-A	ヤマト刀劍新奥真三?	7.40	0.80	0.40	2.32	先端丸頭 研磨	スズ	トビイロ蜜柑	直骨管	-
256	4212	C		342	月3?~II-A~II-B	新奥真三?	1.80	1.40	0.90	0.22	先端 V字状 研磨	ニホンジカ	中足骨/中足 脛骨	-	
256	4213	C		328	月3?~II-C	新奥真三?	11.40	1.00	0.83	5.03	基底丸頭 研磨削り 黒色化	ニホンジカ	中足骨	腰骨/内臓骨	右?
256	4214	無		400	月3?~II-A	達州竹村新奥真三?	11.09	0.75	0.50	5.15	基底丸頭 基本形打丸頭 研磨	ニホンジカ	中足骨/中足 脛骨	-	
256	4215	B		222	月3?	新奥真三?	5.57	0.88	0.32	1.03	基底丸頭 基底形二角孔化	埋丸頭	不規	-	
256	4216	無		122	月3?~II-A	新奥真三?	5.80	0.80	0.40	1.17	基底丸頭 研磨	スズ	直骨管	-	
256	4217	無		121	月3?	新奥真三?	4.00	1.31	1.00	30.00	先端 打丸頭 研磨	ニホンジカ?	上歯骨?	骨頭部	左?
256	4218	C		346	月3?	新奥真三?	6.75	1.20	1.40	1.38	先端 V字状 スズ	ニホンジカ	直骨管	-	
256	4219	C		140	月3?~II-B	新奥真三?	12.15	1.10	0.80	11.21	基底丸頭 研磨 帽状切削邊2	ニホンジカ	中足骨/中足 脛骨	-	
256	4220	無		222	月3?	新奥真三?	12.80	1.00	0.80	1.42	先端丸頭 研磨 棒状内襷表面	ニホンジカ	中足骨/中足 脛骨	-	
256	4221	B		219	月3?	新奥真三?	12.15	1.21	1.00	1.96	先端 研磨	スズ	ニホンジカ	中足骨	腰骨/内臓骨

第28表 B・C地区骨器一覧3

5 B・C地区の遺構・遺物

遺構	遺物番号	地図	墓標	出土土地・埋位	埋置	坑蓋(10 ⁻² m)				参考	対質埋置	段	段分	左右	
						南北	幅	幅	南北						
208	4222	C	244	II-1-Ⅱ-A	斜坡裏 I	2.40	0.30	0.23	0.11	先端丸・研磨	埴丸型	不明	-	-	
209	4223	B	417	II-A	マス別削製品	6.00	0.60	0.30	0.76	先端丸・研磨 基盤切出	トボンジカ	高標	-	-	
210	4224	C	238	II-1-Ⅱ-A	斜坡裏 I	4.80	2.30	1.20	0.87	先端丸・研磨 基盤切出	ニホンジカ	中等骨	正	-	
210	4225	B	121	II-1-Ⅱ-A	ヘウ	9.00	1.10	0.55	0.20	先端丸・研磨 基盤切出	イシシカ	研磨	骨粉骨	右	
210	4226	B	219	II-A	式削製品	2.80	1.30	0.32	1.00	先端削り 研磨 大ス	埴丸型	不明	-	-	
210	4227	B	223	II-B	式削製品	2.80	1.45	0.40	1.05	先端削り 研磨	埴丸型	不明	-	-	
210	4228	B	123	II-B	式削製品削成品	4.50	1.40	0.40	1.18	先端丸・研磨	埴丸型	高標骨?	-	-	
210	4229	B	419	II-B	式削製品削成品	5.72	1.30	0.58	1.12	先端丸・研磨	埴丸型	高標骨	骨粉骨	-	
210	4230	B	121	II-1-Ⅲ-A	式削製品	4.24	1.30	0.30	1.00	先端削り 研磨	埴丸型	不明	-	-	
210	4231	B	420	II-1-Ⅳ	式削製品	4.00	1.40	0.40	1.03	先端削り 研磨	イシシカ	骨	下等大骨	-	
210	4232	B	120	II-1-B	式削製品	3.80	1.30	0.40	0.94	先端削り 研磨	埴丸型	不明	-	-	
210	4233	B	220	II-1-B	式削製品削成品	4.50	1.00	0.70	2.20	先端丸・研磨 下端切欠	埴丸型	高標骨	-	-	
210	4234	C	226a-16	貝1	式削製品削成品	4.00	0.80	0.40	1.64	海螺文様 高標骨2/先端丸	埴丸型	不明	-	-	
210	4235	C	244	II-1-Ⅱ-A	式削製品削成品	4.30	1.40	0.55	1.12	先端丸・研磨	埴丸型	不明	-	-	
210	4236	B	121	II-1-Ⅱ-A	式削製品	3.40	1.50	0.40	0.81	先端削り 研磨	埴丸型	不明	-	-	
210	4237	B	417	II-1-B	式削製品(1丁削)	3.51	0.42	0.30	0.53	先端丸・研磨 大ス	埴丸型	不明	-	-	
210	4238	B	12-13号人骨付	249	II-B	縦み合式削製品	4.20	0.80	0.20	0.60	先端削り	埴丸型	不明	-	-
210	4239	C	249	II-B	縦み合式削製品	4.32	0.48	0.20	0.66	先端削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4240	B	218	II-B	縦み合式削製品	2.20	0.70	0.40	0.60	先端削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4241	C	220	II-1-Ⅳ-A-C	縦み合式削製品	4.80	0.30	0.40	1.22	先端 剥離 基盤削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4242	C	422	II-B	縦み合式削製品	4.20	0.60	0.40	1.03	先端 剥離 基盤削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4243	C	228	II-1-Ⅳ-A-C	縦み合式削製品	4.80	0.72	0.50	1.00	先端 剥離 基盤削り2	埴丸型	不明	-	-	
210	4244	C	448	II-2	縦み合式削製品	3.10	0.50	0.30	0.50	海螺文様 先端削	埴丸型	不明	-	-	
210	4245	C	256	貝1-1-1	縦み合式削製品	2.70	0.40	0.40	0.57	先端削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4246	B	323	貝1-1-1	縦み合式削製品	2.90	0.45	0.25	0.58	先端削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4247	B	420	貝1-1-B	縦み合式削製品	1.70	0.40	0.20	0.14	先端 剥離 基盤削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4248	B	320	貝1-1-B	縦み合式削製品	4.80	0.40	0.30	0.99	先端 内側 剥離 基盤削り	埴丸型	不明	-	-	
210	4249	B	314	貝1-1-B	縦み合式削製品	4.80	0.40	0.30	0.99	先端 剥離 色白に焼け	埴丸型	不明	-	-	
210	4250	C	143	2号土器裏手地	式削製品削成品?	3.60	1.70	0.45	2.06	先端削り下端方抜り「J」字状	埴丸型	高標骨	骨粉骨	-	
210	4251	C	SH-1008	式削製品削成品?	1.50	2.00	0.40	0.70	中央1ヶ所削り 研磨	平形	不明	-	-		
210	4252	C	457	貝1	マス別削製品	4.30	0.30	0.23	0.45	先端 小型 研磨	埴丸型	不明	-	-	
210	4253	C	1号人骨付	245	式削製品削成品?	7.10	1.30	0.72	1.74	手先 研磨	ニホンジカ	角	手先	-	
210	4254	B	419	貝1-1	式削製品削成品?	8.30	1.80	0.45	1.19	先端削り「J」字状	埴丸型	高標骨	-	-	
210	4255	C	284	II-B	式削製品削成品?	5.80	1.40	0.30	1.06	上端剥離先端 下端V字「J」字状	埴丸型	不明	-	-	
210	4256	C	241	II-1-Ⅱ-A	式削製品削成品?	3.00	2.10	0.95	0.95	下端削り 「J」字状 ニホンジカ小手先	埴丸型	高標骨	骨粉骨	-	
210	4257	B	11号人骨付	ヘウ	ヘウ	4.20	1.60	0.90	4.21	下端削り 上端V字剥離 基盤削り	ニホンジカ?	大頭骨?	骨粉骨?	頭骨?	
210	4258	C	11号人骨付	ヘウ	ヘウ	3.00	1.80	0.30	1.33	上端削離大頭 剥離V字	埴丸型	平形	-	-	
210	4259	B	419	II-B	ヘウ	4.50	2.00	0.50	7.11	基盤削り 基盤削りV字1ヶ所 刻文? ス	埴丸型	高標骨	骨粉骨	-	
210	4260	C	152	貝1-2A-2B	ヘウ	11.40	2.55	0.75	17.44	先端削り 研磨	ニホンジカ	角	角骨?	-	
210	4261	C	424	II-B	ヘウ	6.82	1.30	0.20	2.21	基盤削り 基盤削りV字	埴丸型	高標骨	骨粉骨	-	
210	4262	B	322	貝1-1	縦削製品	20.80	3.35	0.75	41.79	海螺文様 削面に抜き 研磨(表・側面) イルカクリア層	イルカクリア層	骨?	-	-	
210	4263	C	321	貝1-1	縦削製品	3.50	1.57	1.27	5.06	研磨 破損2ヶ所 基盤削り切出 内側剥離	ニホンジカ	角	先端削	-	
210	4264	B	322	貝1-1	縦削製品	5.50	1.43	1.40	1.74	研磨 基盤削り 剥離V	ニホンジカ	角	先端削	-	
210	4265	C	400	貝1-1-2B	不規則削製品	10.20	2.40	2.35	20.38	研磨 基盤削り状況	ニホンジカ	角	先端削	-	
210	4266	C	10号人骨付	244	不規則削製品	8.20	1.93	1.83	24.12	基盤削り 剥離V字	ニホンジカ	角	-	-	
210	4267	C	1号土器裏	不規則削製品	6.80	1.80	1.83	13.13	下端削り 先端削り 研磨 基盤削り	ニホンジカ	角	-	-		
210	4268	C	10号人骨付	不規則削製品	11.20	2.10	1.93	25.30	研磨 基盤削り 剥離V字	ニホンジカ	角	-	-		
210	4269	C	10号人骨付	不規則削製品	6.70	1.93	1.88	20.07	研磨 基盤削り 剥離V字	ニホンジカ	角	-	-		
210	4270	C	280	貝1-1-1-1	不規則削製品	26.70	4.80	3.60	58.47	研磨後剥離V字(複数)	ニホンジカ	角	複数剥離	左	
210	4271	B-C	不規	不規則削製品	14.10	2.20	2.00	34.36	研磨 中央削り切出	ニホンジカ	角	複数剥離	左		

第28表 B・C地区骨器一覧4

図面	遺物番号	地名	墓標	出土地点・埋位	種類	測量(10 ⁻² m)				備考	研究機関	部材	部分	左右
						高さ	幅	幅	奥行き					
263	4272	C		451-405 真口下～29	木造唐衣冠飾品	23.80	2.80	1.80	140.40	元代？ 帽頭？ 頭マスク？ 頭巾？	ニホンジカ	角	頭骨(上) 頭骨(下) 頭巾	右
264	4273	C		132 真口下～26		12.70	2.10	0.35	1.00	元代？ 研磨 磨擦？	ニホンジカ	角	角削	一
265	4274	C		450 真口下	骨	4.70	2.11	1.00	1.80	元代灰陶 墓頭？ 木の丸丸	ニホンジカ	角	頭骨	一
266	4275	C		333 真口下	骨	7.70	2.30	0.30	0.80	元代灰陶 墓頭？ 木の丸丸	ニホンジカ	角	頭骨	一
267	4276	C	443 第2号土器集中地点		骨針	2.51	1.80	0.30	1.22	元代のA 墓内骨丸？ 研磨 磨擦？ 木の丸丸	ニホンジカ	中足骨	足底削(後脚)	一
268	4277	B		418 日口	骨針	8.81	1.08	0.30	1.45	元代 墓頭骨丸？ 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
269	4278	B		123 日口	骨針	10.40	0.80	0.30	1.45	元代 墓頭骨丸？ 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
270	4279	B		420 日口	骨針	8.85	1.05	0.45	1.76	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
271	4280	C		133 真口下	骨針	9.50	1.10	1.15	1.75	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	中足骨(中足骨)	骨針削	一
272	4281	B		320 真口下	骨針	4.81	0.80	0.30	0.87	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
273	4282	B		122 真口	骨針	9.20	0.80	0.30	1.40	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
274	4283	B		121 真口	骨針	9.50	0.80	0.30	1.29	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
275	4284	B		221 真口	骨針	8.60	1.10	0.30	1.00	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
276	4285	B		223 真口	骨針	2.31	1.00	1.05	1.89	元代 灰陶上から骨丸？ 木の丸？ 木の丸？	ニホンジカ	中足骨(中足骨)	骨針削	一
277	4286	B		319 真口	骨針	2.80	1.00	0.30	1.31	元代のA 中央骨丸？ 灰陶丸？ 木の丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
278	4287	B		421 真口	骨針	1.80	0.90	0.20	0.82	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
279	4288	B		320 真口下	骨針	2.80	1.20	0.30	1.47	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
280	4289	B		119 真口下	骨針	2.30	0.80	0.30	0.97	元代灰陶 木の丸丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
281	4290	B		222 真口下～3下	骨針	7.20	0.80	0.30	1.44	元代 灰陶？ 木の丸丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
282	4291	B		123 真口下	骨針	1.13	1.15	0.75	1.40	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	中足骨(中足骨)	骨針削	一
283	4292	B		121 真口	骨針	13.00	1.20	0.30	1.84	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
284	4293	B		323 真口	骨針	13.00	0.80	0.30	1.40	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
285	4294	B		420 真口下	骨針	1.40	0.80	0.40	0.87	元代灰陶 完成？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
286	4295	B		410 真口	骨針	4.00	0.80	0.30	1.00	元代 灰陶？ 木の丸丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
287	4296	B		410 真口下	骨針	6.00	1.45	0.40	1.48	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
288	4297	B		120 真口下	骨針	4.80	1.00	0.40	1.62	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
289	4298	B		420 真口下	骨針骨穿孔製品	9.80	0.80	0.30	1.22	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	イノシシ	角	下顎犬歯	一
290	4299	B		123 真口下	骨針骨穿孔製品	7.30	0.80	0.30	1.76	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	イノシシ	角	下顎犬歯	一
291	4300	C		447 真口	骨針	4.35	1.05	0.30	1.31	墓頭のA 木の裏？ 木の裏？ 木の裏？ 木の裏？	ニホンジカ	角	頭骨	一
292	4301	C		134 真口下～C	大型鉗	19.00	1.80	0.80	10.84	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	中足骨(中足骨)	骨針削	一
293	4302	B		119 真口	骨針	16.80	1.30	0.40	8.00	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	中足骨(中足骨)	骨針削	一
294	4302	B		120 真口	骨針	9.80	1.00	0.40	1.22	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
295	4304	C		148 三口～三口	骨針	8.50	1.02	0.37	1.12	元代 穴丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
296	4305	B		223 真口	骨針	4.32	1.00	0.30	1.13	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
297	4306	B		320 真口	骨針	2.21	0.90	0.50	1.50	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
298	4307	B		121 真口	骨針	2.50	1.00	0.30	0.94	墓頭のA 穴丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
299	4308	C		168 11口上～117口	骨針	12.80	0.80	0.30	1.47	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
300	4309	B		219 真口	骨針	13.20	0.70	0.30	0.87	元代灰陶 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	角	頭骨	一
301	4310	B		417 真口	骨針	16.15	2.01	0.80	20.58	元代 墓頭骨丸？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	ニホンジカ	中足骨	足底削(近脚)	左
302	4311	C		104 小玉串	骨針	0.30	0.30	0.20	0.50	元代 上下切削 線状状	ヤギラボイ	頭骨	足底削(近脚)	左
303	4312	C	104a	小玉串	骨針	0.40	0.40	0.18	0.81	元代 上下切削 線状状	ヤギラボイ	頭骨	中足	-
304	4313	C	104b	小玉串	骨針	0.40	0.40	0.20	0.80	元代 上下切削 線状状	ヤギラボイ	頭骨	中足	-
305	4314	C	143 第2号土器集中地点	木造唐衣冠飾品		0.70	0.73	0.37	0.70	元代 中央丸？ 木の丸丸？	エイソーマ	頭骨	一	-
306	4315	C	140 真口下～C	小玉串		1.80	1.70	0.80	1.77	元代灰陶 中央上から骨丸？ 木の丸丸？	ヤギラボイ	頭骨	一	-
307	4316	C	139 真口下～C	小玉串		1.72	1.79	0.73	1.82	元代 中央上から骨丸？ 木の丸丸？	ヤギラボイ	頭骨	一	-
308	4317	B		419 小玉串		1.40	1.30	0.70	0.65	元代 中央上から骨丸？ 木の丸丸？	ヤギラボイ	頭骨	一	-
309	4318	C	11号骨付近	管状骨		1.00	0.80	0.70	0.33	元代 上下切削 研磨	鳥獣	骨頭	骨頭	-
310	4319	C	11号骨付近	管状骨		2.00	0.80	0.40	0.40	元代灰陶 管状骨？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	鳥獣	骨頭	骨頭	-
311	4320	C	11号骨	管状骨		2.10	0.80	0.42	0.47	元代灰陶 管状骨？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	鳥獣	骨頭	骨頭	-
312	4321	C	11号骨	管状骨		2.10	0.42	0.40	0.24	元代灰陶 管状骨？ 木の丸丸？ 木の丸丸？	鳥獣	骨頭	骨頭	-

第28表 B・C地区骨器一覧5

5 B・C地区の遺構・遺物

番号	遺物番号	出所	基準	出土位置・段位	種類	汎量(10 ⁻³ m ³)				備考	研究者	研究機関	段位	部分	左右	
						長さ	幅	厚さ	重さ							
400	4222	C	11号人骨		骨状遺物	3.75	0.80	0.80	0.70	福井県木田郡舟形二又1号墳3号	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4223	C	11号人骨		骨状遺物	2.30	0.80	0.55	0.45	福井県木田郡舟形二又1号墳3号	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4224	C	11号人骨		骨状遺物	2.60	0.80	0.50	0.31	福井県木田郡舟形二又1号墳3号	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4225	C	11号人骨		骨状遺物	2.60	0.81	0.60	0.30	福井県木田郡舟形二又1号墳3号	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4226	C	11号人骨		骨状遺物	2.80	0.80	0.50	0.41	福井県木田郡舟形二又1号墳3号	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4227	C	11号人骨		骨状遺物	2.30	0.70	0.60	0.50	福井県木田郡舟形二又1号墳3号	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4228	C	11号人骨		骨状遺物	1.40	0.80	0.50	0.40	足趾 上下蹠切 破壊	丸澤?	骨部	骨部	足		
400	4229	C	11号人骨		骨状遺物	2.40	0.79	0.70	0.64	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4230	C	11号人骨		骨状遺物	1.80	0.80	0.60	0.20	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4231	C	11号人骨		骨状遺物	2.00	0.80	0.70	0.50	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4232	C	11号人骨		骨状遺物	2.00	0.80	0.70	0.47	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4233	C	11号人骨		骨状遺物	1.80	0.75	0.70	0.32	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	ね		
400	4234	C	11号人骨		骨状遺物	2.01	0.70	0.70	0.60	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4235	C	11号人骨		骨状遺物	1.81	0.80	0.73	0.50	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4236	C	11号人骨		骨状遺物	2.40	0.70	0.70	0.50	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4237	C	11号人骨		骨状遺物	2.00	0.75	0.80	0.50	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	丸澤?	骨部	-		
400	4238	田		415	乙	骨状遺物	1.40	1.21	1.12	1.27	足趾 上下蹠切 破壊 イルヌタキ/ツツタ	球乳頭?	直澤?	骨部	-	
400	4239	田		416	乙	骨状遺物	1.35	1.35	1.15	1.42	足趾 上下蹠切 破壊 球乳頭	二ホンジカラ?	角?	-		
400	4240	田		121	丘3-3下	骨状遺物	1.70	1.10	0.80	1.04	足趾 上下蹠切 破壊 イルヌタキ/ツツタ	球乳頭?	直澤?	骨部	-	
400	4241	田		122	丘3-7A	骨状遺物	1.51	0.81	0.49	0.51	足趾 破壊 研磨	二ホンジカラ?	角?	-		
400	4242	田		123	丘3-7A	骨状遺物	2.00	0.70	0.60	0.60	足趾 破壊 上下蹠切 破壊	二ホンジカラ?	角?	-		
400	4243	田		122	丘3-7A	骨状遺物	1.31	0.81	0.50	0.44	足趾 破壊 研磨	二ホンジカラ?	角?	-		
400	4244	田		123	丘3-7A	骨状遺物	1.33	0.82	0.55	0.40	足趾 破壊 上下蹠切 破壊	二ホンジカラ?	角?	-		
400	4245	田		122	丘3-7A	骨状遺物	1.40	0.81	0.51	0.53	足趾 破壊 研磨	二ホンジカラ?	角?	-		
400	4246	田		420	丘3-7A	骨状遺物	1.05	1.05	1.00	1.27	足趾 上下蹠切 破壊	球乳頭?	直澤?	-		
400	4247	C		121	丘30-37C	骨状遺物	1.30	0.80	0.50	0.30	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	上野?	骨部	-	
400	4248	C		245	丘3-28	骨状遺物	1.42	0.73	0.38	0.37	足趾 上下蹠切 破壊 スス	球乳頭?	直澤?	-		
400	4249	田		221	丘3-21	骨状遺物	1.80	0.93	0.50	0.30	足趾 上下蹠切 破壊	馬鹿	直澤?	骨部	-	
400	4250	田		119	丘31	骨状遺物	1.32	1.00	0.50	0.72	足趾 上下蹠切 破壊 スス	馬鹿	直澤?	骨部	-	
400	4251	田		122	丘3-7A	骨状遺物	1.80	0.70	0.60	0.30	足趾 上下蹠切 破壊 スス	馬鹿	直澤?	骨部	-	
400	4252	田		122	丘3-7A	骨状遺物	1.40	0.50	0.43	0.31	足趾 上下蹠切 破壊 小型球乳頭	球乳頭?	直澤?	骨部	-	
400	4253	田		200	丘3-7A	骨状遺物	2.15	0.75	0.40	0.30	足趾 上下蹠切 破壊 スス	馬鹿	丸澤?	骨部	-	
400	4254	田		419	丘30	骨状遺物	1.80	1.20	0.80	1.41	足趾 上下蹠切 破壊 スス	二ホンジカラ?	角?	-		
400	4255	田		215	丘30	骨状遺物	1.31	0.80	0.50	0.40	足趾 上下蹠切 破壊 大型角瘤?	馬鹿?	直澤?	骨部	-	
400	4256	C		241	丘30	骨状遺物	1.91	0.92	0.50	0.30	足趾 上下蹠切 破壊	球乳頭?	直澤?	-		
400	4257	C		244	丘30	骨状遺物	1.80	0.80	0.50	0.30	足趾 上下蹠切 破壊 小型球乳頭	球乳頭?	直澤?	骨部	-	
400	4258	C		223	丘3-21A	骨状遺物	1.40	1.42	1.20	0.87	足趾 上下蹠切 馬鹿 小型球乳頭?	球乳頭?	直澤?	骨部	-	
400	4259	田		118	丘3-21A	骨状遺物	2.00	0.80	0.70	1.07	足趾 上下蹠切 破壊 小型球乳頭?	球乳頭?	直澤?	骨部	-	
400	4260	C		221	丘3-21A	骨状遺物	1.15	0.90	0.50	0.31	足趾 上下蹠切 破壊 スス	球乳頭?	直澤?	-		
400	4261	C	14号人骨		新料不定形器物	2.10	3.00	2.40	4.33	基盤のみ 茶褐色UV「J」字状 研磨	二ホンジカラ?	角?	-			
400	4262	C	19号人骨付近		新料不定形器物?	1.00	0.75	0.40	0.30	基盤のみ 重複状 研磨	球乳頭?	直澤?	-			
400	4263	C	17号人骨付近		大型針?	5.50	1.30	0.40	3.30	先端丸錐 研磨 鋼針!	球乳頭?	直澤?	-			
400	4264	C	19号人骨付近		丸錐加工工具	10.92	1.70	0.30	7.29	研磨錐状 馬鹿錐丸1 丸錐削尖 鋼針錐状	球乳頭?	直澤?	-			
400	4265	田	14号人骨付近		新料不定形器物?	10.80	1.70	0.70	6.40	足錐 研磨 鋼針1 半丸	二ホンジカラ?	角?	-			
400	4266	C	19号人骨付近		鑿?	2.00	0.90	0.60	0.31	基盤のみ 研磨 鋼針1 半丸	球乳頭?	直澤?	-			
400	4267	C	19号人骨付近		丸錐加工工具?	8.80	1.35	0.30	5.27	丸錐状1 基盤削尖 鋼針丸1	球乳頭?	直澤?	-			
400	4268	田	220	丘30	新料不定形器物	4.00	0.80	0.81	1.54	足錐 基盤削丸1 中央部UV	二ホンジカラ?	角?	-			
400	4269	田	421	丘30	大型針?	3.50	2.10	0.30	2.87	足錐 基盤削丸1 UV	球乳頭?	直澤?	骨部付近	-		
400	4270	田	422	丘30	丸錐加工工具?	4.07	0.78	0.30	0.66	足錐 研磨 鋼針1 基盤?	イノシシ?	丁度大きさ	-			
400	4271	C	423	丘30-7A	丸錐加工工具?	3.65	2.00	2.00	2.32	基盤のみ 3点角孔の透丸? 側面丸み	球乳頭?	直澤?	-			

第28表 B・C地区骨器一覧表

番号	遺物番号	地名	墓種	出土点・埋位	埋置	坑蓋(100×100)				符号	対質埋置	段位	部分	左右
						長さ	幅	高さ	厚さ					
270	4272	C		137 真田A	瓦状加工壺形?	4.75	2.42	0.70	0.54	真円のH 瓦状加工壺形? 壁面丸み、斜文文	埴乳頭	不規	-	-
271	4273	C		154 真田A-28	瓦状加工壺形	5.30	1.10	0.20	1.58	瓦状加工壺形? 内側丸く、壁面丸み	埴乳頭	不規	-	-
271	4274	C		158-148 真田A-28	ヘラ	1.80	1.45	0.40	1.10	瓦状加工壺形? 内側丸く、壁面丸み	ニホンジカ?	大腹巻子	近位前/前 後?	-
271	4275	C		345 真田A-28	直剖不定形壺形	6.80	1.41	0.90	1.17	直剖不定形壺形? 2面削り、先端丸らし、下部直角	ニホンジカ	角	分岐部	-
271	4276	B		421 真田	瓦状加工壺形	2.75	1.00	0.20	1.20	瓦状加工壺形? 壁面丸み、斜文文?	イノシシ?	直?	直背直?	-
271	4277	C		244 真田A-15	管状壺形	1.80	1.40	0.33	0.83	瓦状加工壺形? 壁面丸く(2枚1・小1)	埴乳頭	不規	-	-
271	4278	B		272 真田-3丁2	直剖不定形壺形?	3.75	1.73	1.00	0.76	直剖のH 直剖2面削り? 下部から壁面丸み? 斜文	ニホンジカ	角	-	-
271	4279	B		118 真27	管状?	3.70	1.30	0.40	0.70	直剖のH 直剖2面削り? (二字)直背直? 斜文?	埴乳頭	不規	-	-
271	4280	C		140 真田-38	直剖加工品	2.80	1.20	0.23	1.30	直剖加工品? 壁面丸み	埴乳頭	直背直?	-	-
271	4281	C		158 真1	ヘラ	4.80	1.30	0.50	2.11	直剖加工品? 壁面丸み? 斜文?	埴乳頭	不規	-	-
271	4282	C		448 真17	管状?	3.80	0.70	0.80	1.10	直剖加工品? 上部削り? 壁面丸くから壁面丸?	埴乳頭	不規	-	-
271	4283	B		422 真4	斜削内部削除	2.70	1.80	0.80	0.80	斜削内部削除? 斜削丸み? 斜文?	ニホンジカ	角	-	-
271	4284	B		272 真4	直剖不定形壺形?	2.90	1.40	0.91	0.73	直剖のH 直剖2面削り?	イノシシ?	直?	直背直?	-
272	4285	C	少年人骨付	直剖加工壺形	3.00	1.35	0.75	1.00	直剖加工壺形? 斜文?	イノシシ?	直	下腹大頭	-	
272	4286	B		421 真4	直剖加工壺形	3.00	1.10	0.71	0.90	直剖? 斜丸み? 斜面丸み	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4287	B		123 真4	直剖加工壺形	1.70	2.21	0.28	0.70	直剖大頭	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4288	B		116 真4	直剖加工壺形	3.80	1.10	0.20	0.80	直剖加工? 斜面丸V2? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4289	C		433 真4?A	直剖加工壺形	5.40	1.00	0.30	1.20	直剖丸み? 片削り? 斜面丸み? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4290	B		421 真4?A	直剖加工壺形	2.20	1.55	0.30	0.16	直剖? 斜丸み? 斜面丸み	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4291	B		270 真田-3?A	直剖加工壺形	3.00	1.73	0.30	1.03	直剖丸み? 上端中央削り? 斜面丸文? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4292	B		273 真27	直剖加工壺形	7.20	1.80	0.34	0.54	直削丸文? 破損? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4293	C		251 真田-3?C	直剖加工壺形	5.25	1.15	0.82	1.20	直削? 斜面丸V1? 斜丸? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4294	C		128 真4-豆	直剖加工壺形	4.61	1.70	3.50	3.41	直削丸文? 破損? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4295	B		271 真4?A	直剖加工壺形	2.20	2.10	0.94	0.81	直削? 斜丸? 斜面丸?	ブズ科	直?	直背直?	-
272	4296	C		428 真4-豆	直剖加工壺形	2.80	1.05	0.33	0.47	直削丸文? 斜丸? 斜面丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4297	C		146 真4-28	直剖加工壺形	4.40	1.10	1.00	1.42	半削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸の複数枚?	リキノウヅマ?	直	丸頭?	-
272	4298	B-C	不規	直剖加工壺形	3.30	0.95	0.70	1.40	半削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	埴乳頭	直?	-	-	
272	4299	B		150 真4	直剖加工壺形	3.00	2.00	1.00	1.00	直削丸文? 斜削丸V2? 上端削丸? 中央削丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4300	C		271 真4?A	直剖加工壺形	4.40	1.00	0.70	0.45	直削丸文? 斜丸?	イノシシ?	直?	直背直?	-
272	4301	C		241 真4?B	直剖加工壺形	3.10	0.80	0.70	0.90	直削丸文? 斜丸?	イムズ鶴	直	-	-
272	4302	B		273 真27	直剖加工壺形	7.20	1.80	0.34	0.54	直削丸文? 破損? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4303	C		251 真田-3?C	直剖加工壺形	5.25	1.15	0.82	1.20	直削丸文? 斜面丸V1? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4304	C		128 真4-豆	直剖加工壺形	4.61	1.70	3.50	3.41	直削丸文? 破損? 斜丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4305	B		271 真4?A	直剖加工壺形	2.20	2.10	0.94	0.81	直削? 斜丸? 斜面丸?	ブズ科	直?	直背直?	-
272	4306	C		428 真4-豆	直剖加工壺形	2.80	1.05	0.33	0.47	直削丸文? 斜丸? 斜面丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4307	C		146 真4-28	直剖加工壺形	4.40	1.10	1.00	1.42	半削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸の複数枚?	リキノウヅマ?	直	丸頭?	-
272	4308	B-C	不規	直剖加工壺形	3.30	0.95	0.70	1.40	半削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	埴乳頭	直?	-	-	
272	4309	B		150 真4	直剖加工壺形	3.00	2.00	1.00	1.00	直削丸文? 斜削丸V2? 上端削丸? 中央削丸?	イノシシ?	直	下腹大頭	-
272	4310	C		272 真4-豆	直剖加工壺形	4.40	1.00	0.70	0.45	直削丸文? 斜丸?	オオカミ	直	上腹大頭	-
272	4311	C		241 真4?B	直剖加工壺形	3.10	0.80	0.70	0.90	直削丸文? 斜丸?	オオカミ	直	上腹大頭	-
272	4312	C	少年人骨付	直剖加工壺形	6.00	1.75	1.00	0.10	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	下腹大頭	左	
272	4313	C	241少年人骨付	直剖加工壺形	5.80	1.80	1.00	0.10	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	下腹大頭	左	
272	4314	C		251 真4?B	直剖加工壺形	5.25	1.15	0.82	1.20	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	ツキノウヅマ	直	下腹大頭	左
272	4315	C		146 真4-豆	直剖加工壺形	3.00	1.00	0.80	1.00	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	ツキノウヅマ	直	下腹大頭	左
272	4316	C		271 真4?A-26	直剖加工壺形	5.90	1.58	1.00	0.10	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4317	C		N.1 真4?A	直剖加工壺形	7.80	0.81	1.00	2.10	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4318	C		真4?A-骨	直剖加工壺形	4.80	1.10	0.75	0.40	直削丸文? 斜丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4319	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	5.90	1.40	0.35	0.54	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4320	C		250 真4?A-B	直剖加工壺形	6.50	1.30	0.38	0.58	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4321	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	6.40	0.93	0.30	1.31	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4322	C		272 真4-豆	直剖加工壺形	4.40	1.00	0.70	0.45	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直?	直背直?	左
272	4323	C		241 真4?B	直剖加工壺形	3.10	0.80	0.70	0.90	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4324	C		251 真4?B	直剖加工壺形	5.25	1.15	0.82	1.20	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4325	C		146 真4-豆	直剖加工壺形	3.00	1.00	0.80	1.00	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4326	C		271 真4?A	直剖加工壺形	5.90	1.58	1.00	0.10	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4327	C		N.1 真4?A	直剖加工壺形	7.80	0.81	1.00	2.10	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4328	C		真4?A-骨	直剖加工壺形	4.80	1.10	0.75	0.40	直削丸文? 斜丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4329	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	5.90	1.40	0.35	0.54	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4330	C		250 真4?A-B	直剖加工壺形	6.50	1.30	0.38	0.58	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4331	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	6.40	0.93	0.30	1.31	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4332	C		272 真4-豆	直剖加工壺形	4.40	1.00	0.70	0.45	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4333	C		N.1 真4?C	直剖加工壺形	5.80	1.30	0.72	0.40	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4334	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	4.80	1.10	0.75	0.40	直削丸文? 斜丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4335	C		251 真4?C	直剖加工壺形	5.90	1.40	0.35	0.54	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4336	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	6.50	1.30	0.38	0.58	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4337	C		272 真4?A-C	直剖加工壺形	6.40	0.93	0.30	1.31	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4338	C		272 真4-豆	直剖加工壺形	4.40	1.00	0.70	0.45	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4339	C		N.1 真4?A	直剖加工壺形	5.80	1.30	0.72	0.40	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4340	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	4.80	1.10	0.75	0.40	直削丸文? 斜丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4341	C		251 真4?A-B	直剖加工壺形	5.90	1.40	0.35	0.54	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4342	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	6.50	1.30	0.38	0.58	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4343	C		272 真4-豆	直剖加工壺形	6.40	0.93	0.30	1.31	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4344	C		N.1 真4?C	直剖加工壺形	5.80	1.30	0.72	0.40	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4345	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	4.80	1.10	0.75	0.40	直削丸文? 斜丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4346	C		251 真4?C	直剖加工壺形	5.90	1.40	0.35	0.54	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4347	C		真4?A-C	直剖加工壺形	6.40	0.93	0.30	1.31	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4348	C		272 真4-豆	直剖加工壺形	4.40	1.00	0.70	0.45	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4349	C		N.1 真4?A	直剖加工壺形	5.80	1.30	0.72	0.40	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4350	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	4.80	1.10	0.75	0.40	直削丸文? 斜丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4351	C		251 真4?A-B	直剖加工壺形	5.90	1.40	0.35	0.54	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4352	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	6.50	1.30	0.38	0.58	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4353	C		272 真4-豆	直剖加工壺形	6.40	0.93	0.30	1.31	直削丸文? 斜削丸V2? 斜面丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4354	C		N.1 真4?A	直剖加工壺形	5.80	1.30	0.72	0.40	直削丸文? 斜丸?	ツキノウヅマ	直	上腹大頭	右
272	4355	C		真4?A-骨付	直剖加工壺形	4.80	1.10	0.75	0.40	直削丸文? 斜丸?	タヌキノイ科	直	-	-
272	4356	C		251 真4?C	直剖加工壺形	5.90	1.40	0.35						

5 B・C地区の遺構・遺物

測定	遺物番号	地層	基準	出土点・部位	埋置	大きさ(単位)				参考	対応埋置	部位	形状	左右
						高さ	幅	厚さ	重さ					
275	4422	C		261 貝10T-1 貝殻(海側面)	直立	6.89	5.10	0.70	0.74	1/2 文冠研磨	タマセイイ科			-
275	4423	C		433 貝10A-C 貝殻(海側面)	直立	6.70	5.10	1.05	0.40	海塊文様 全面研磨	イタボガイ科	傾斜部	右	
275	4424	C		260 貝1 貝殻(海側面)	直立	7.80	4.80	0.70	1.24	海塊文様 全面研磨	タマセイイ科	傾斜部		
275	4425	C		158 貝1 貝殻(海側面)	直立	7.00	3.90	0.20	0.21	海塊文様 全面研磨	タマセイイ科	傾斜部		
275	4426	B		214 貝27 貝殻(海側面)	直立	6.80	4.80	1.10	1.24	1/4 全面研磨	フネガイ科	傾斜部		
275	4427	C	貝10t-21	貝1 貝殻(海側面)	直立	5.40	3.20	0.38	0.08	25% 開口研磨	フネガイ科			
275	4428	C		353 貝10-9下A 貝殻(海側面)	直立	4.50	1.90	0.60	0.10	1/4 開口研磨	フネガイ科	傾斜部	右	
275	4429	C	貝10t-40	貝1 貝殻(海側面)	直立	4.70	1.90	0.40	0.10	2.77% 開口研磨	フネガイ科	傾斜部		
275	4430	C		457 2-b 貝殻(海側面)	直立	4.10	2.80	1.00	0.18	1/4 開口研磨	イワガキ?	傾斜部	左	
276	4431	C	10号人骨付近	動物性骨質品	直立	2.80	1.80	0.80	0.02	海塊文様 基部穿孔2	サメ骨	直	-	
276	4432	B		419 貝10T-A 動物性骨質品	直立	2.30	2.30	0.46	0.17	海塊文様 基部穿孔2	サメ骨	直	-	
276	4433	C		252 貝30 動物性骨質品	直立	1.50	1.60	0.30	0.42	海塊文様 基部穿孔1	サメ骨	直	-	
276	4434	C		245 2-b-E 動物性骨質品	直立	1.82	1.30	0.20	0.01	海塊文様	サメ骨	直	-	
276	4435	C		131 貝10-3-T-C 動物性骨質品	直立	2.31	2.10	0.80	1.58	海塊文様 基部穿孔2	サメ骨	直	-	
276	4436	C		334 貝30 動物性骨質品	直立	3.00	1.70	1.00	2.00	海塊文様 基部穿孔2	サメ骨	直	-	
276	4437	C		249 2-b 動物性骨質品	直立	11.88	3.70	1.80	24.11	上端に穿孔3ヶ所 研磨	ニホンジカ 骨	直	-	
276	4438	C		247 貝30 動物性骨質品	直立	4.30	5.10	1.70	12.01	研磨 磨損から穿孔1	ニホンジカ 骨	直	-	
276	4439	B		222 貝31 動物性骨質品	直立	1.70	1.70	0.50	0.24	上下丸頭 穿孔2	ホタル骨	直	-	
276	4440	C		132 貝10A 動物性骨質品	直立	13.51	2.70	0.53	0.01	下端丸頭 穿孔2(研磨は個体)	ホタル骨	直	-	
276	4441	C		229 貝10-A-C 動物性骨質品	直立	6.30	4.30	1.10	0.31	上端穿孔3ヶ所 研磨 入ス	ニホンジカ 骨	直	-	
276	4442	C		148 貝10 動物性骨質品未成品	直立	4.00	1.80	0.80	0.00	1/2次文 全面研磨で丸角状 研磨	ニホンジカ 角	直	-	
276	4443	C		444 貝30 動物性骨質品西製品	直立	2.17	4.50	1.20	0.12	海塊文様 基部穿孔1 キガモ骨(裏裏から)	ニホンジカ 角	直	-	
277	4444	C		255 貝10-23 骨肉系成品	直立	5.81	2.40	1.30	1.24	下端に穿孔2個 ダンコウ?	ツム骨	傾斜部	直	
277	4445	C		471-402 貝10-P 骨肉系成品	直立	8.80	2.50	1.10	10.14	上端穿孔2個 破損	ニホンジカ 角	直	-	
277	4446	B		122 貝30 骨肉系成品	直立	3.50	1.82	0.89	0.23	上端穿孔2個 研磨 下部2箇	ホタル骨	直	-	
277	4447	C		153 貝10-9下A 骨肉系成品	直立	2.80	1.80	0.98	0.02	下端丸頭 穴縫下端切欠き マガキと同様の大さき	片骨	直		
277	4448	B		121 貝31 骨肉系成品	直立	1.50	2.30	1.15	2.08	研磨 上下穿孔2箇	ホタル骨	直	-	
277	4449	C		253 貝10-28 骨肉系成品	直立	4.60	3.70	2.30	14.47	研磨 穿孔1箇	ニホンジカ?	直	直	
277	4450	C		231 貝30-3-T-C 骨肉系成品	直立	12.45	1.35	1.80	0.54	縦形大孔 穴縫切欠き 倒伏入り 大きな骨?	鳥脚?	直	-	
277	4451	C		150 貝7-3-L 骨肉系成品	直立	11.40	2.30	1.80	17.87	下端丸頭 穴縫切欠き(後縫)	ニホンジカ 骨	直	-	
277	4452	C	10号人骨部	骨肉系成品	直立	8.40	1.35	1.10	1.67	垂直研磨	ニホンジカ 角	直	-	
277	4453	C		280 2-b 骨肉系成品	直立	8.80	4.10	2.20	45.30	骨肉系穿孔2箇	ニホンジカ 骨	直	-	

第28表 B・C地区骨角器一覧8

は櫛状木器で層位不明。3188～3193は籠状織維製品で同一個体。3207・3210・3217はヒメグルミ加工品。

- d 石製品（第267～269・271・280・282～285・290・293・306・314・318・322・323・326・328・340・341・343～345図）

台帳記入で1640点。石鏃462、磨製石斧265、石皿130、石錐96、磨石95、二次加工剥片92、軽石74、砥石51、叩石50、凹石48点の順に多い。

3361・3364～3384・3386～3406は凹基無茎鏃。3362・3408・3409・3411・3412・3414は平基無茎鏃。3407・3410・3413・3415・3559は有茎鏃。3430～3434は尖頭器。3515～3517・3520～3522は石匙で3520～3522は小型。3550～3554は石錐で3552はT字状。3555・3562・3566・3574は異形石器。3581は三角スクレイパー。3582はスクレイパー。3595・3596は二次加工剥片。3671～3673・3675～3678は磨製石斧で3671・3672・3676は小型。3672・3702～3704は磨製石斧未成品。3702は滑石で垂飾を擦り切った残材か。3807～3810は石錐で3810は凹石の転用。3853～3857は磨石で3857は特殊磨石。3880・3881・3883・3884は叩石で3880は磨石の転用。3883・3884は貝輪製作用か。3908～3914・3999は凹石。3937・3995・3997は砥石。3953・3954は軽石製品で3953は凹石で3954は砥石。3998は台石。4021～4023は琰状耳飾。4067は琰状耳飾未成品か。4033・4035・4036・4044は管玉。4042・4043は丸玉。

- e 骨角貝歯牙製品（第351・353・355・358・359・361・367・369・371～373・376図）

台帳記入で319点。刺突具108、針46、垂飾44、髪針41、未成品36、釣針21、貝輪11点の順に多い。

4138～4140・4223はヤス状刺突具で4139は側面を抉る。4146は鏃I。4168・4193～4197は細型針。4169は札状加工垂飾。4170は太型針。4220～4222・4224は刺突具I。4235・4236・4256は單式釣針で未成品。4225はヘラ。4303～4307・4309・4310は髪針。4358～4360は管状垂飾。4383は刺突文骨角製品。4384は彫刻不定形垂飾か。4394・4396・4399～4401・4434は垂飾状歯牙製品で4401はイルカ類。4430はイワガキとみられる貝輪（腕飾B）。

- f 動物遺存体（第二分冊18山崎他報文）

現地ではイノシシを確認。詳細は第二分冊山崎他報文。

- g 植物遺存体（第二分冊14金原報文）

種実遺体が少ない。コブシ・オニグルミ・オニバス・カヤが出土。詳細は第二分冊金原報文。

(3) 弥生時代以降の遺構・遺物（I～II b層）

A 概要

弥生時代以降の遺構はB地区で貝層上面に打ち込まれた杭や基本層序で確認した流路以外ではなく、I～II層中に遺物が含まれる程度。III a層以下では洪水、矢板打設、包蔵地確認調査時の混入とみられる。

B 遺物包含層

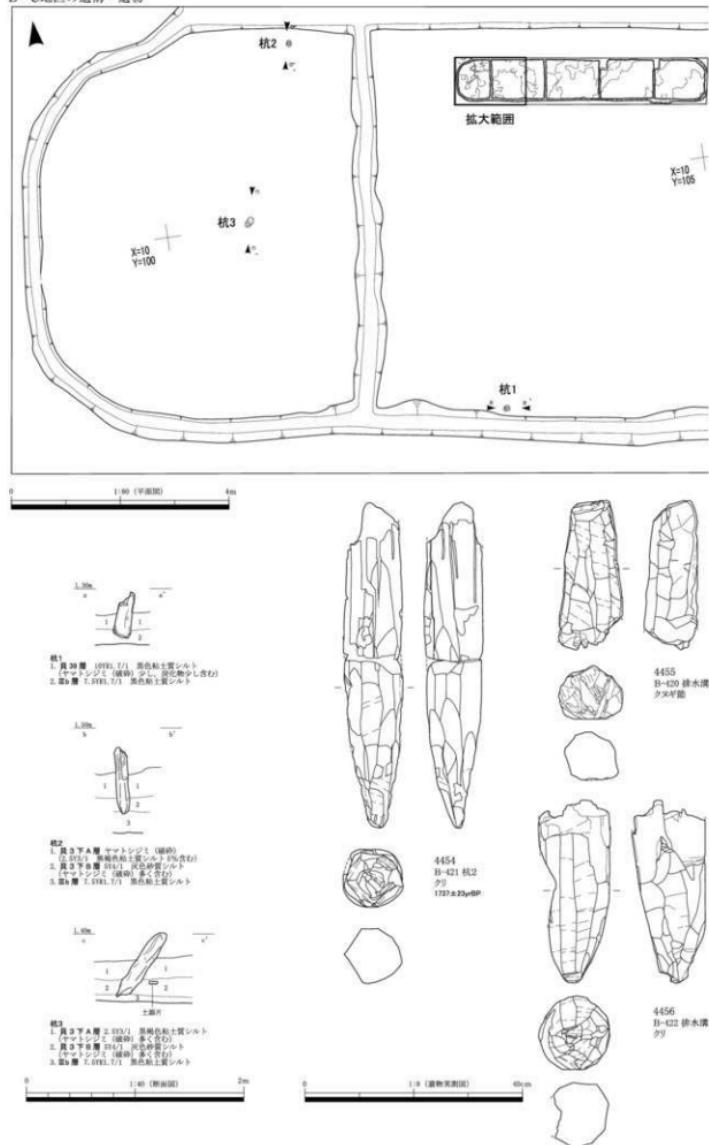
- a 土器・陶磁器（第379図）

4457～4469は弥生時代終末期の土器で4469は装飾器台。4470・4472は古代の土師器。4471・4473は須恵器で4473は底面外側にγ字状の墨書。4474は中世土師器皿。4476は瀬戸の椀。4475は越中瀬戸。

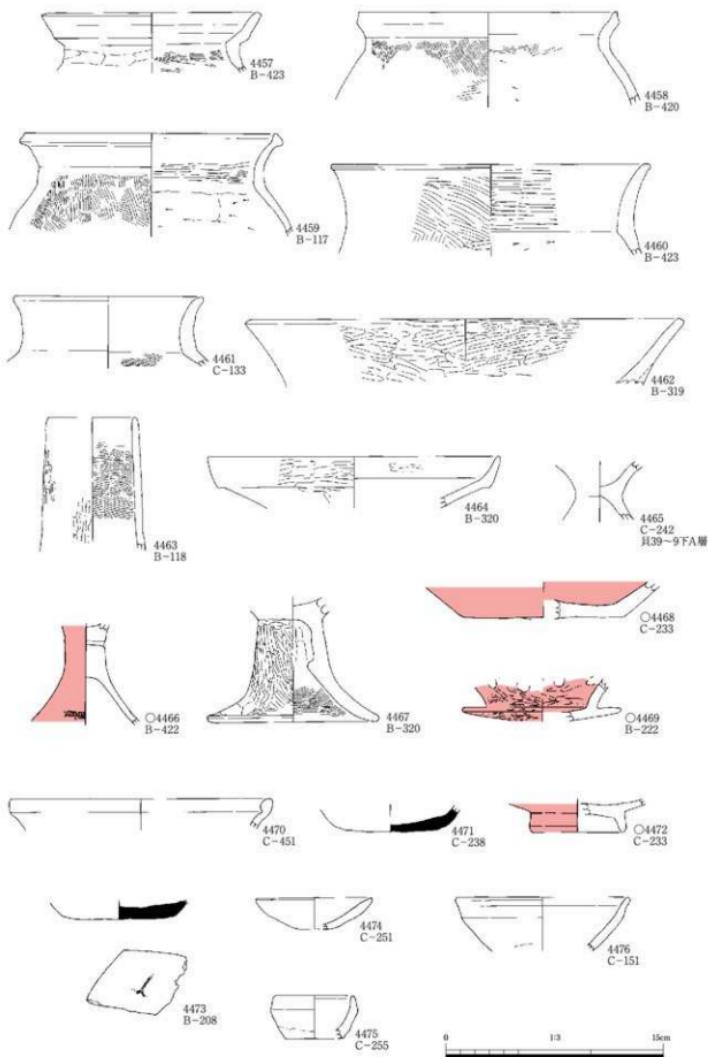
- b 木製品（第378・380図）

4477・4478は棒材で先端に抉りをもつもので下老子笠川遺跡に類例があり、弥生～古墳時代。4479は楔状の板材。4480は円形板で曲物底板か。4481は杭状の板材。

5 B・C地区の遺構・遺物

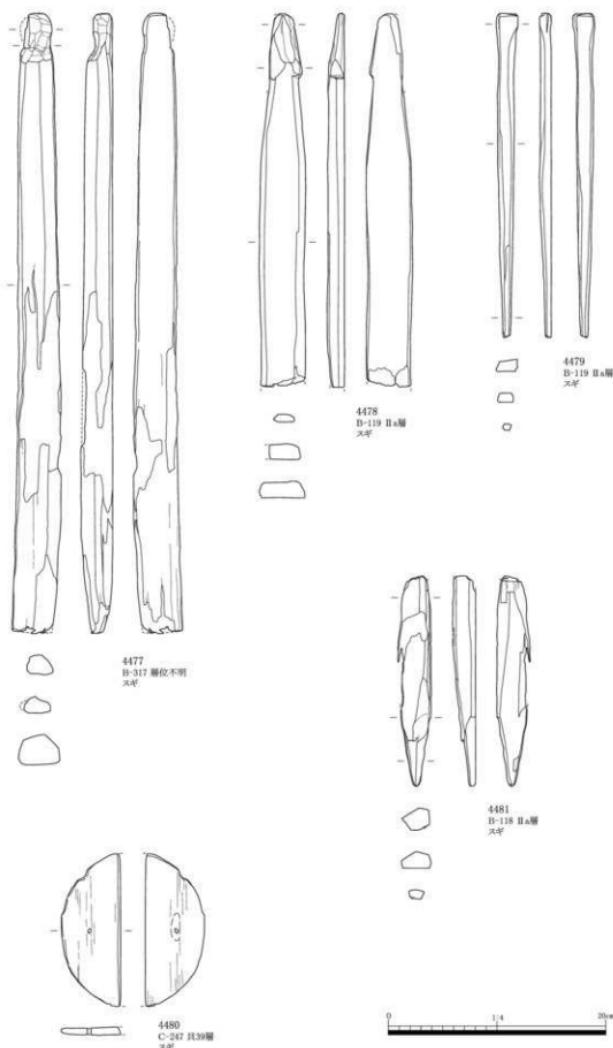


第378図 B地区 弥生時代以降 平面図・断面図(1/40・1/80) 木製品(1/8)



第379図 B・C地区 弥生時代以降 土器・陶磁器 (1/3)

5 B・C地区の遺構・遺物



第380図 B・C地区 弥生時代以降 木製品 (1/4)

番号	地名	出土場所	層位	種類	形態	寸法	質量(g)	表面	文書・器物		地質
									内面	外面	
279	4.647	B	423	土器	赤土器	筒	14.2	三コナードースル	ヨコナード、ヨコナード	—	石英、雲母
279	4.648	B	420	土器	赤土器	筒	11.7	タリナード・ヨコナード・スル	ヨコナード、ヨコナード	—	石英、雲母
279	4.649	B	117	土器	赤土器	筒	17.4	タリナード・ヨコナード・スル	ヨコナード、ヨコナード	—	石英、雲母
279	4.650	B	423	土器	赤土器	筒	12.0	タリナード・ヨコナード	ヨコナード、ヨコナード	—	石英、雲母
279	4.651	B	133	土器	赤土器	筒	12.0	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.652	B	219	土器	赤土器	筒	29.2	ヨコナード・ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.653	B	118	土器	赤土器	筒	8.0	ヨコナード・ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.654	B	220	土器	赤土器	筒	18.8	ヨコナード・ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.655	C	142	土器	赤土器	筒	7.0	ヨコナード・ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.656	B	422	土器	赤土器	筒	11.3	タリナード・ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.657	B	220	土器	赤土器	筒	11.3	タリナード・ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.658	B	233	土器	赤土器	筒	10.0	タリナード・ヨコナード・スル	タリナード・ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.659	B	651	土器	赤土器	筒	11.6	タリナード・ヨコナード・スル	タリナード・ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.671	B	233	土器	赤土器	筒	8.0	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.672	B	230	土器	赤土器	筒	8.0	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.673	B	255	土器	赤土器	筒	7.0	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.674	C	151	土器	赤土器	筒	5.2	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.675	C	151	土器	赤土器	筒	11.0	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.676	C	151	土器	赤土器	筒	5.2	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母
279	4.677	C	151	土器	赤土器	筒	11.0	ヨコナード	ヨコナード	—	石英、白雲石、雲母

第29表 B・C地区 弥生時代以降 土器・陶磁器一覧

番号	地名	出土場所	層位	出土遺物	種類	寸法	質量(g)	形状	文書		地質
									下	上	
279	4.654	B	421	柱	柱	(18.6)	1.90	丸柱	ヨコナード	ヨコナード	石英、雲母
279	4.655	B	420	漆木柵	柵	(27.4)	8.0	板状	ヨコナード	ヨコナード	石英、雲母
279	4.656	B	422	漆木柵	柵	(33.6)	13.2	12.0	ヨコナード	ヨコナード	石英、雲母
280	4.671	B	317	漆器残片	漆器	(53.0)	4.5	板状	ヨコナード	ヨコナード	石英、白雲石
280	4.710	B	119	玉	玉	(34.0)	4.8	1.50	板状	ヨコナード	石英、白雲石
280	4.710	B	119	玉	玉	(29.8)	2.00	0.80	板状	ヨコナード	石英、白雲石
280	4.680	C	247	貝串飾	貝串	(14.1)	0.45	0.15	板状	ヨコナード	石英、白雲石
280	4.681	B	118	玉	玉	(18.3)	0.70	0.10	板状	ヨコナード	石英、白雲石

第30表 B・C地区 弥生時代以降 木製品一覧

第IV章 総括

1 遺構・遺物と時期変遷

北陸新幹線建設に先立つ2009・2010年の発掘調査では、縄文時代前期～近世の遺構や遺物を確認した。なかでも中心となるのは縄文時代前期中～末葉で竪穴建物・土坑などの居住域、埋葬人骨などの墓域、板敷遺構などの生産加工域、貝層・土器集中地点などの廃棄域の四つの様相をもつ遺構を検出している。これらの遺構と遺物をあわせて大きく三つの時期に分けて変遷を追ってみたい。

(1) 埋葬人骨期前貝層・包含層（前期中～後葉：朝日C～福浦下層式期）出現期

遺構 B・C地区で人骨が埋葬される前の時期。A地区では台地部で建物の可能性がある土坑群（A地区下層土坑群）を検出している。市教委の新鐵治川改修に先立つ調査でも同様な遺構がみつかっており、遺跡の東側に島状の高まりがありこの部分を居住域としていたものとみられる。ここ以外の部分は谷状の窪地が巡っていて低湿地層（泥炭層）となっている（A地区Ⅲc層、B・C地区Ⅲb層）。A地区低地部には土器や動物遺存体などの廃棄場、B・C地区に丸木舟転用材を含む板材を並べた板敷遺構（第1～4号板敷遺構）、C地区に貝層（貝9・26・28・29・38層）、集石（第2号集石）、杭・土坑がある。板敷遺構周辺には木製未成品や動植物遺存体が多く出土しており、木製品および食材の加工や廃棄場としての役割をもつ。貝層はヤマトシジミからなるがC地区の一部で薄く形成される程度。

縄文土器 前葉の布目式併行期が数点ある程度で多くは中葉の朝日C～後葉の福浦下層式。北白川下層Ⅱa～Ⅱb式や黒浜～諸磯a式的影響を受けたもしくは搬入土器が多く、在地は外開きの羽状縄文を主体とする。底部の内外面もしくは外面のみに羽状縄文を施すのはこの時期の特徴と言える。また、深鉢や鉢の底部を漆液容器として転用するものも複数あり、この時期から漆塗りを行っていたことがわかる。

土製品 176点で多い順に土製円盤148、ミニチュア土器13、棒状11、耳栓、土器片鐵、有孔がある。

植物製造物 72点で多い順に容器16、杭16、オニグルミ加工品12、小型弓6、棒状5、ヒメグルミ加工品4、丸木舟3、斧柄、繩、漆塗容器、板状、漆繩、不明・未成品がある。

石製品 2506点で多い順に石鏡435、石錘340、磨製石斧327、石皿316、磨石206、叩石188、石匙168、石錐155、砥石67、凹石57、琰状耳飾43、輕石製品39、垂飾・玉類35点、尖頭器29、異形石器25、台石23、スクレイパー22、礫器16、二次加工剝片10などがある。

骨角貝製品 383点で多い順に刺突具166、針49、垂飾43、髮針35、釣針21、ヘラ12、鹿角製品、櫛、鐵、貝製品、羽形角製品、棒状骨製品、不明・未成品がある。個数は3時期で最も少ない。

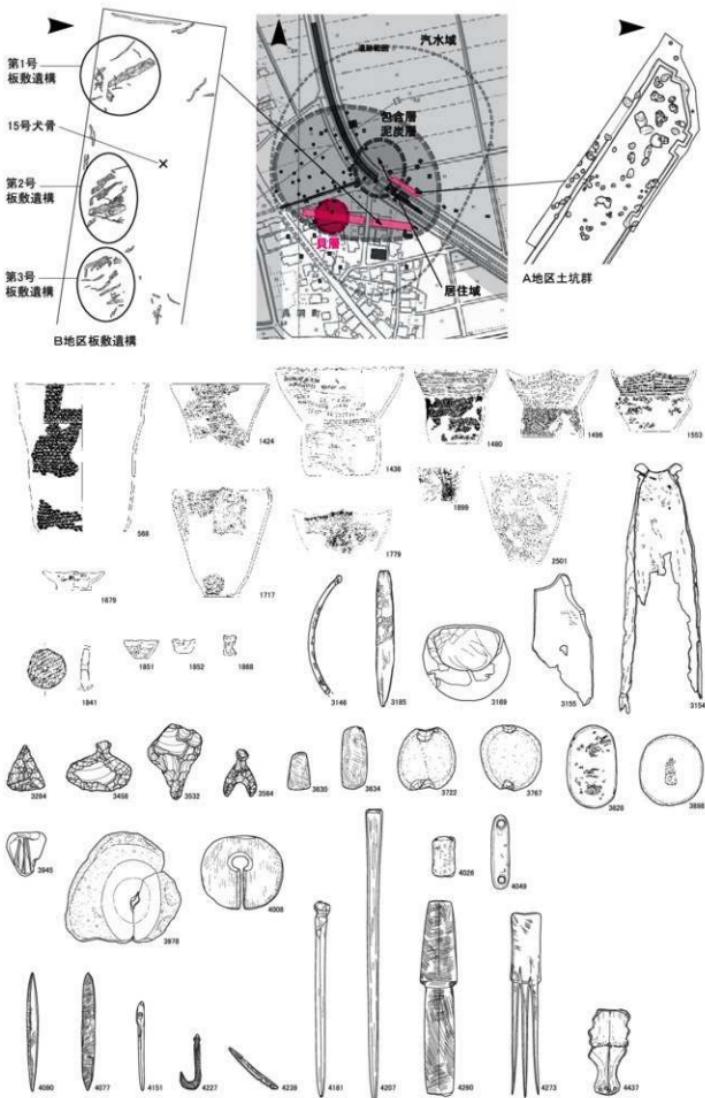
動物遺存体 魚類ではA地区でサケ属やコイ科、B・C地区でスズキ属が多く淡水～汽水域を主体。鳥類はカモ亞科やカツブリ科が多く魚類とはほぼ同じ生態。哺乳類ではニホンジカが多く、イノシシ・タヌキがこれに次ぐ。海棲ではカマイルカやマイルカ属が多く丘陵地や沖合へも出猟していたことがわかる。

植物遺存体 オニグルミとオニバスが同程度でコナラ属が次ぐ。湖沼やその周辺の林地で採集できる。

環境 土壌分析（第二分冊7金原報文）によれば、A地区台地部ではクリ林とアカザーヒユ科の分布するやや乾燥した環境でコナラ亞属やスキ林が隣に分布。それ以外はイネ科やカヤツリグサ科などの湿地で周囲にミズナラやハンノキ属などの林が分布。C地区西端では汽水性泥質干涸～沼沢の水域が流入している。

年代 縄文土器付着炭化物や木製品のAMS年代測定結果から5400yrBP、曆年較正すると4300calBCを中心に200年前後。

(2) 埋葬人骨期貝層（前期後葉：福浦下層～鰐ヶ森I式期）最盛期



第381図 埋葬人骨期以前の様相（前期中～後葉）

遺構 B・C地区で人骨が埋葬される時期。A地区では台地部で竪穴建物・土坑・焼土など居住関連遺構を検出し、市教委の調査から前時期同様な広がりが想定される。B・C地区では貝層が形成され厚いところでは2mに達する。貝層は2~5層に分層され、層間に細破碎貝の入る薄い灰層が形成されている。貝層内には人骨が少なくとも4時に分かれて埋葬されている。A地区では厚い貝層は形成されないが、低地部に数回の投棄でつくられたとみられる地点貝塚が9か所つくられる。貝種はほぼ全てヤマトシジミ。このほかにA地区低地部やC地区貝層上面に土器が集中して廃棄されている。

縄文土器 後業の福浦下層～規ヶ森I式。北白川下層IIb～IIc式。諸磧a～b式。刈羽式の影響を受けたもしくは搬入土器が多い。在地は外開きもしくはキャリバー型で斜行・羽状縄文を主体とする深鉢。規ヶ森I式期には口縁部に隆帯を貼り付ける在地の割合が多くなる。浅鉢は諸磧式か北白川下層式の搬入品がほとんど。前時期同様に深鉢や鉢の底部を漆液容器として転用するものも複数あり漆製品製作が考えられるが、黒・赤漆を塗り分けた良質な浅鉢は諸磧式の搬入品だろう。漆塗・赤彩土器も数多い。

土製品 271点で多い順に土製円盤151、棒状78、ミニチュア土器20、耳栓4、有孔4、円盤状、块状耳飾、丸玉、種実状、イノシシ形、錐状、三叉状、土器片鐵、勾玉状、垂飾状がある。

植物製造物 14点で多い順に縄5、ヒメグルミ加工品4、オニグルミ加工品2、容器、棒状があるが前時期に比べ、個数は2割程度、種類も大幅に減少する。

石製品 2825点で多い順に石鏡672、磨製石斧436、石皿286、石錐229、石匙218、磨石201、石錐194、块状耳飾116、叩石98、砥石67、垂飾・玉類49、凹石42、尖頭器35、台石35、異形石器33、スクレイバー29、裸器29、輕石製品19、二次加工剥片17などがある。3時期で最も多い。

骨角貝製品 1,134点で多い順に刺突具463、針135、垂飾126、釣針54、貝製品50、ヘラ47、鹿角製品19、棒状骨製品、鐵、櫛、彌形角製品があり、個数は3時期で最も多い。未成品も多く出土している。

動物遺存体 魚類ではA地区でサケ属やコイ科、B・C地区でクロダイ属が多く淡水～汽水域を主体。鳥類・哺乳類は前時期とほぼ同じ生態で狩猟地も変化はなかったのだろう。

植物遺存体 オニグルミが圧倒的に多くなり、前時期よりも林地での採集を主体とする。

環境 A地区ではムクノキの林やカヤツリグサの分布する潤湿な環境。B・C地区ではカヤツリグサの他にアカザヒユ科やヨモギ属などや乾燥した環境で周囲にクリ林が分布。

年代 人骨のAMS年代測定結果から5250yrBP、暦年較正すると4000calBCを中心に300年前後。

(3) 埋葬人骨以後貝層・包含層（前期末葉：規ヶ森II～福浦上層式期）終末期

遺構 B・C地区で人骨の埋葬が終了後の時期。A地区では竪穴建物1棟とその横に土器を集中して廃棄した地点があるだけで遺構の数は少なく、激減。B・C地区ではC地区西側で前時期の貝層が洪水等で削り取られた部分に貝層を形成するほかは遺物包含層のみ。C地区的貝層はほとんど他の遺物を含まないヤマトシジミの純貝層で、2~8層に分層でき層間に細破碎貝層を含む。埋葬人骨もなく、単に廃棄場として使われていたものとみられる。前期末葉以降の遺構・遺物はなく、次に遺構・遺物がみられる弥生～古墳時代までの間に洪水等で埋没していたようだ。

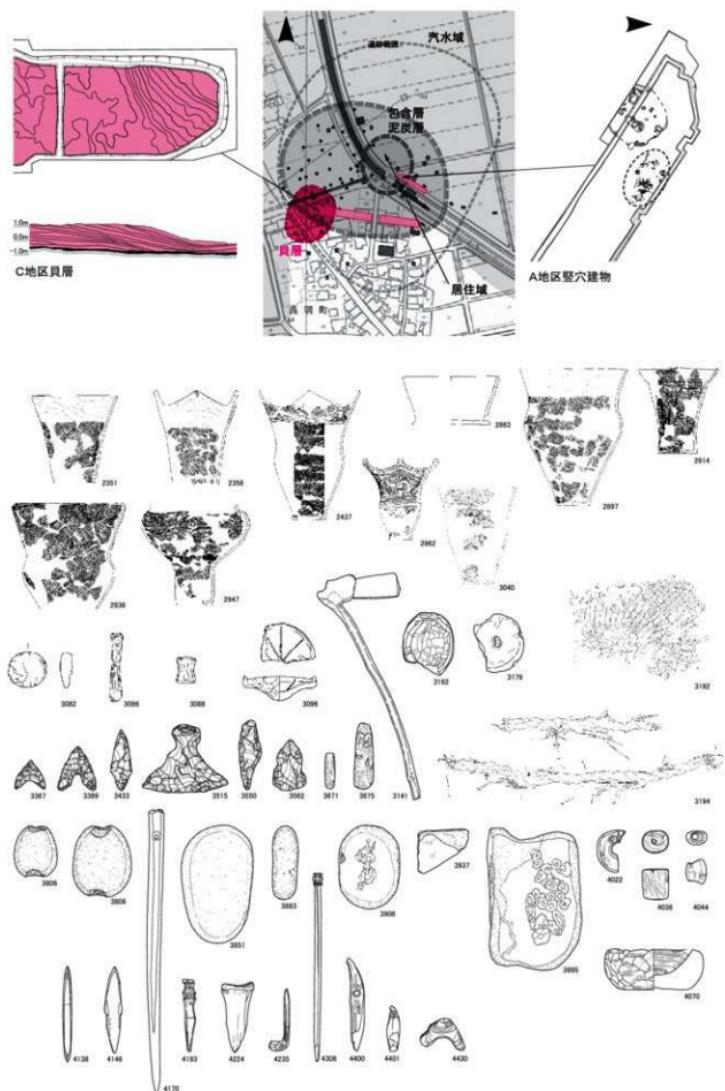
縄文土器 末葉の規ヶ森II～福浦上層式。在地は規ヶ森II式でも新しいタイプといわれる口縁部ヨコナデ無文と福浦上層式の全時期の深鉢。北白川下層III～大歳山式。諸磧c式の影響を受けたもしくは搬入土器も入るが少ない。漆液容器や漆塗土器は数少ない。

土製品 191点で多い順に土製円盤98、棒状52、ミニチュア土器21、円盤状4、丸玉4、有孔3、耳栓2、錐状2、三叉状、骨状、块状耳飾、垂飾状がある。

植物製造物 27点で多い順に縄9、ヒメグルミ加工品8、棒状5、容器3、編物、繩、杭がある。



第382図 埋葬人骨期の様相（前期後葉）



第383図 埋葬人骨期以降の様相（前期末葉）

石製品 2,117点で多い順に石鎚 539、磨製石斧 360、石皿 195、磨石 169、石錐 117、石匙 112、叩石 104、凹石 83、砥石 66、玦状耳飾 47、台石 46、尖頭器 27などがある。個数は3時期で最も少ない。

骨角貝製品 410点で多い順に刺突具 148、針 57、髪針 51、垂飾 46、釣針 28、貝製品 19、ヘラ 10、鎌、鹿角製品、棒状骨製品、櫛、羽形角製品がある。3時期中で未成品の割合が最も高い。

動物遺存体 魚類・鳥類・哺乳類は前時期とほぼ同じ生態で狩猟地も変化はないが数量が激減する。

植物遺存体 コナラ属が多く、オニグルミやオニバスが次ぐものの全体に数少ない。

環境 A地区ではハンノキやカヤツリグサなどの生息する湿潤な環境。B・C地区ではアカザヒユ科やヨモギ属など乾燥した環境でクリが周間に分布。C地区西端では海水性泥質干潟が入ってきている。

年代 繩文土器付着炭化物や木製品のAMS年代測定結果から4900yrBP、暦年較正すると3700calBCを中心に100年前後。

2 墓葬人骨

(1) 墓葬状況

埋葬人骨は、埋葬位置が明らかな72体と土器棺4基、それ以外の散乱骨を足した最大161体、最少個体数で91体となる。これはこれまで国内で明らかになっている縄文時代前期人骨数を超えるほどとなる。男女比でみると男性が女性の2倍以上と圧倒している。死亡推定年齢は青年が最も多く次いで周産期となり、若年の死亡率が高くなっている（第三分冊5坂上他報文）。これらは小竹貝塚人の特徴とも考えられるが、今回の調査地点が遺跡全体では一部であり未調査の別地点では異なるかもしれない。

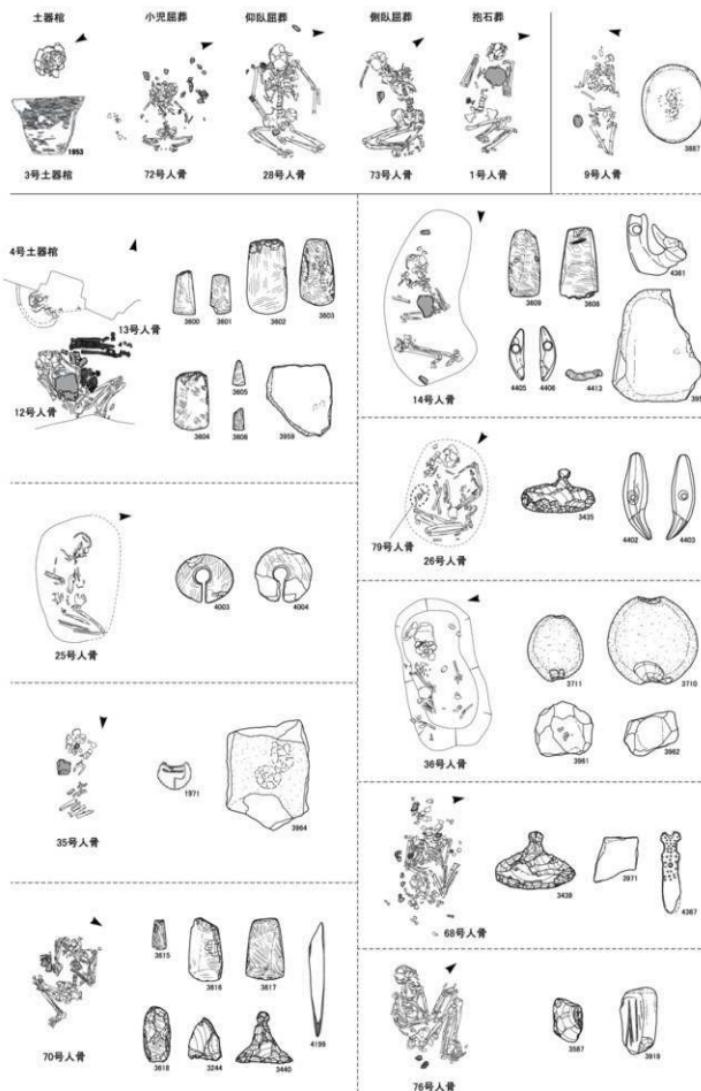
埋葬位置が明らかな72体（第〇号人骨）の埋葬形態をみてみると、屈葬36体、伸展葬1体、不明35体で屈葬が多い。屈葬は仰臥23体（男性19、女性3、不明1）、側臥10体（男性3、女性7）、不明3体（男性1、女性1、不明1）で仰臥が多く、側臥では女性が多い。仰臥屈葬のうち9体は抱石葬でいざれも男性。伸展葬は1体だが全国的にも早い事例となる。

埋葬位置が明らかな72体は層位と切り合いによって少なくとも4時期（第I～IV期）に区分することができ、1時期あたり11～26体となる。埋葬人骨は前期後葉の貝層のみにあり、更にその広がりは一部に限られている。人骨はこの限られた時期とエリアから出土しており、新たに人骨が埋葬される度に損壊されたり片づけられておりその痕跡が人為的な損傷痕としていくつかの骨にみられる。片付けを示すものとして頭骨のみを別地点に置いたり、四肢骨を並べることなどがあげられる。これらのことから埋葬地点へのこだわりすなわち墓域としての意識と祭祀的な改葬行為を考えることができよう。

(2) 装身具・副葬品

装身具・副葬品として人工遺物をもつ埋葬人骨は17体あり、そのうち8体は着装していたものとみられる。装身具としては石匙が4体、2個1対の垂飾状歯牙製品が2体、2個1対の玦状耳飾が1体、管状垂飾が2体、骨角製垂飾が2体。位置は玦状耳飾が頸部から、その他は頸下～胸部で出土。石匙は出土位置と鮮やかな色彩をもつことから首飾として着装していたのだろう。

着装以外の遺物は磨製石斧14、砥石3、凹石2、石錐2、石鎚2、台石2、石皿1、叩石1、石匙1、スクレイパー1、骨角製刺突具1、骨角製垂飾1、深鉢形土器1、ミニチュア土器1がある。複数の遺物を1か所にまとめておいている12・70・76号人骨は生前の持ち物とみられ個人所有を考えることができる。たとえば、12号人骨では大小7本の磨製石斧とそれを磨いたであろう砥石を抱石とし、70号人骨では未成品を含む大小4本の磨製石斧・石匙・骨角製刺突具・石錐をまとめて置いている。なお、70号人骨は大腿骨に大きな骨折をかかえながらも生きていた老年男性で手厚い埋葬がなされたのかもしれない。35号人骨は片付けられた人骨だが、四肢骨を平行し、頭部上にミニチュア土器を置き、改葬時の祭祀的行為が伺える。



第384図 主な人骨の埋葬形態と供伴・副葬品（人骨・土器棺（1/40） 遺物 縮尺不同）

遺物ごとの男女差は、玦状耳飾・鳥製管状垂飾・ミニチュア土器が女性で他は男性で性差があるようだ。78号骨は女性で頸下から石匙が出ているが上下逆に出土し、原位置を保っていないかもしれない。

3 遺物

(1) 製作遺物

小竹貝塚は低湿地性貝塚であり通常の遺跡では残存しにくい多種多様な遺物が出土している。これら多くは破損して廃棄されたものであるが未成品も含まれており、製作遺跡として的一面ももっている。

縄文土器はその材料とみられる焼成粘土塊が多く出土することと、両者と地山粘土（A地区V層）の胎土分析（第二分冊矢作・石岡報文）結果から在土地器の多くが遺跡で製作されたことがわかる。なお、胎土にヤマトシジミなどの貝殻や種子を入れている土器・焼成粘土塊があり、意図的かどうかは不明だが特徴的。

土製品は土製円盤が多く出土している。土製円盤は分類基準を設けて記載したが、側面削離・研磨、表裏面穿孔・貫通と各種の段階がある。ただ、単純な製作方法が追えるわけではない。穿孔途中でも側面を研磨していたり、側面研磨のみで仕上がっているものもあり用途が不明でどれが完成品なのかは定かではない。

木製品は斧柄、容器などで未成品が出土している。これらの方は同時期に同じ日本海側にある島浜貝塚（網谷1996）と同様である。特に筒形三足器はこれまで島浜貝塚しか知られていなかったがそれが複数未完成として出土している。先に筒形を削り抜いたものと先に三足を作り出したものとがあり少なくとも2系統の製作方法があるものと思われるが完成品はない。完成品のみの島浜貝塚とは対象的である。消費地よりも製作地のウェイトが高かったのだろうか。

漆製品は土器、木製容器で出土している。打ち欠かれた深鉢や鉢底部にシワ状の漆が固着した漆液容器が出土しており塗装りが行われていたと言える。

石製品は石鎌、石匙・磨製石斧、玦状耳飾・管玉などで未完成が出土している。磨製石斧は原石に近い段階から敲打・研磨まで各種の段階および制作時に出たチップが大量に出土している。また、大型品の破損後に縱方向に擦り切り、小型品に加工する過程のものも出土している。玦状耳飾と管玉も同様に製作工程を追えるものと破損後の垂飾への加工・転用品が出土している。

骨角貝製品では、單式釘・鹿角製品、貝輪などで未完成と完成品が出土している。貝輪では多くを占めるタマキガイ科（主にベンケイガイ）とフネガイ科（主にサトウガイ）が貝殻、殻頂部打穴のみ、研磨と各段階が揃っている。これらは食用に生貝を採取できないことから死貝を持ち込んできたことがわかる。

(2) 摂入遺物

遺物の材料から在地ではない遺物を推定される搬入先ごとにみてみる。最も遠方とみられるのはオオツタノハ製貝輪である。これは日本海側では縄文時代の出土例がない。南海産の貝で九州以南から伊豆諸島以南にしか生息しない死貝を採取することもできない。忍澤成視氏の研究（忍澤2011）では縄文時代のオオツタノハ製貝輪は北海道から東海までの太平洋側に分布は認められ伊豆諸島からの搬入と考えられている。ところが、中部高地などの山間部には出土しないことと近年、佐賀県東名遺跡から早期後葉のオオツタノハ製貝輪が出土（黒住2009）しており、九州から日本海ルートで入ってきた可能性がある。

次に遠方とみられるのは東北地方で縄文土器・石製品がある。縄文土器では山形県押出遺跡付近を中心と分布する前期後葉の大木4式が1点出土している。これはこれまで最も西方の出土となる。他にも押出V群（佐藤1990）としている土器も多く出土していたり、石材は異なるが押出型ポイントもあり東北南部との交流がうかがえる。一段階前にあたる前期中葉の朝日C式にみられる網目状撚糸文も大木2式の影響を受けている。このほかに垂飾と考えられる琥珀製品が1点出土し岩手県久慈・福島県いわき、千葉県銚子などとみられ、遠方との関係もうかがえる。なお、琥珀製品は県内では中期中葉開ヶ丘孤谷III遺跡が

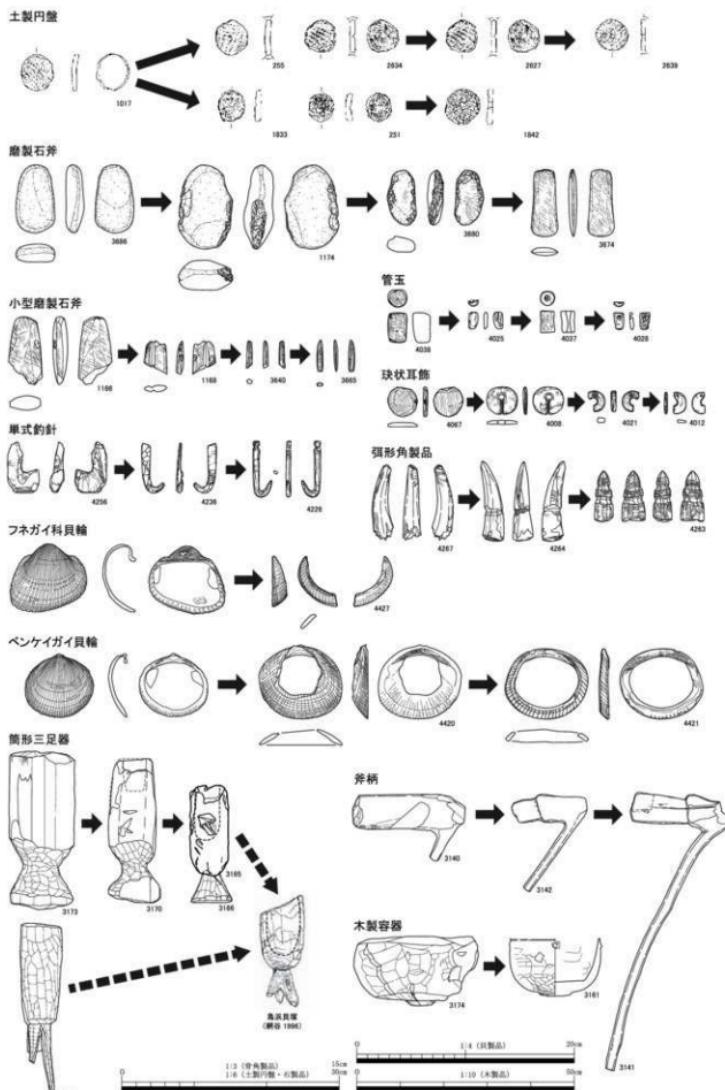
網谷忠厚 1996 「島浜貝塚出土の木製品の形態分類―①」『島浜貝塚研究Ⅰ』島浜貝塚研究会

忍澤成視 2012 「日本の古物」 同上社

黒住正一 2009 「4 摂入性遺物」 [1] 共編『東名遺跡群Ⅱ』第6分冊 佐賀市教育委員会

佐藤正一・長嶋里・佐々木洋治・佐藤正徳・林田文雄 1990 「押出遺跡発掘調査報告書」山形県教育委員会

3 遺物



第385図 遺物の製作過程推定図

古く、前期では石川県三引遺跡や真駒遺跡で出土しているが製品ではない（久田 2012）。

関東地方からは土器の影響が大きい。群馬県を中心とする諸磯式からの搬入もしくは模倣品が多く入っている。特に漆塗土器、有孔浅鉢、イノシシ顎面把手などの諸磯式そのものの搬入は目立つ。漆塗土器は胎土分析の結果外來と判定されておりより可能性が高い。これ以外にも模倣品は数多く諸磯式文化圏の大きな影響を受けていた。また、黒曜石の大半は長野県産であり、ここからのルートもあるかもしれない。

諸磯式と同様に大きな土器文化圏を形成していた関西地方を中心とする北白川下層式土器の影響も大きい。北白川下層Ⅱa～Ⅲ式そのものかその模倣品も多く含まれているとともに木製容器もその影響下にあるものとみられる。北白川下層式土器文化圏と言っても鳥浜貝塚との類似性が高く、それほど遠方の影響下ではないかもしれない。また、下呂石の存在は日本海側だけでなく南方からの山岳ルートも想定される。

北陸地方では新潟県から石材や刈羽式土器が入ってきている。石材には石鎚や石匙に使われる珪質頁岩が中～北越地方と推定されている（第二分冊 6 中村報文）。最も流入量が多いのは糸魚川付近の石材で透閃石岩・蛇紋岩などの磨製石斧の材、滑石・霰石・ヒスイなどの块状耳飾や垂飾の材がある。前期後葉の刈羽式土器は、在地の親ケ森 I 式土器と密接な関係にあるため搬入か模倣かはわからない。

石川県からは同じ土器文化圏にあるため差異はほほないが、石鎚や石匙などに使われる能登半島先端の玉鶴質珪質頁岩（横山真駒石）が多く出土している。この石材は從来玉髓として県内産とみられていたが、大屋道則氏らの研究（高田他 2008）によって世に知られ、県内の縄文遺跡でも黒曜石・下呂石と並び多く入っていたことがわかってきていている。石材以外にも能登半島の出土遺物との類似性も多くある。真駒遺跡とでは土器や石製品が類似し、イルカ類が多く出土することでも同じで生業も同様な部分があったものとみられる。部位は異なるが石鎚または小型尖頭器の刺さったイルカ骨はどちらでも出土し、狩猟方法も同様だった可能性がある。

4 他遺跡との比較

小竹貝塚は南の吳羽山から続く丘陵の先端にあり、周囲は繩文海進期からの水域に接していた。遺跡のなかでも安定した高い部分に建物を構築して居住域とし、周囲の低湿地帯である窪地を貝や土器などの捨てる廃棄域や足場を作り木製品の加工や動物を解体するなどの加工域としている。この立地は同時期の鳥浜貝塚と類似している。立地だけでなく小型で掘り方の浅い建物の構造、石・木・漆製品の形態もそっくりで直線距離にして 170 km 以上も離れているとは思えない様相である。遺物の類似性からみれば、新潟県刈羽貝塚や山形県押出遺跡も同様で、縄文時代前期後葉における日本海側の特徴かもしれない。

ただし、これらの遺跡との決定的な違いがある。それは埋葬人骨である。小竹貝塚では少なくとも 91 体の人骨が埋葬されている。発掘調査はまだ遺跡の 1 割程度で不明な点が多いが県教委や市教委の調査例から北方に広がり、その数はもっと多かったであろう。また、貝層全てに埋葬されているわけではない限られた区域に集中して墓域を形成している。その場所に対するこだわりは強かったようで何度も改葬している。そこには祭祀的行為を見いだすこともでき、葬制を考える上で貴重な資料となろう。

富山県内で調査が行われた縄文前期の遺跡は 122 ある（町田 2010）がその多くは小規模で不明確だが、平岡遺跡（町田 2013）と吉峰遺跡（森 1990）で大規模な調査が行われている。これと比較してみると、この二つは丘陵上に立地し、竪穴建物を環状もしくはそれに近い形状で配置する大集落である。時期は小竹貝塚と同じ前期後葉。特に平岡遺跡は小竹貝塚から南に約 10 km と近く、人骨は残っていないが墓壙とみられる土坑が竪穴建物群の内部に多くあり、墓域を形成している。小竹貝塚では居住域に適する土地が少なく、墓域を内包せずに居住域の外に出していたのだろう。このことから立地は異なるが前期後葉には居住域と墓域は明確に分かれていることがわかる。富山県内で環状集落がつくられるのは中期前葉以降であり、

高田秀樹・大室尚寿・仲上正夫・吉澤泰・大屋道則 2008 「高畠遺跡出土の玉鎧質石刀型とその発地」『研究紀要 第 23 号』財团法人埼玉県歴史文化財保存事業団

久田正弘 2012 「北陸地方の她的について」『石川県の考古学紹介』「山陰 畠 31 号」富山考古学会

町田英一 2010 「富山県における縄文遺跡のあたり－地形分類図から見た分布－」『紀元 富山考古学研究 第 13 号』財团法人富山県文化振興財团県文化財調査委員会

町田英一 2013 「平岡遺跡－平成 24 年度 研究文化年報」公財法財人蔵文化振興財团県文化財調査委員会

森秀典 1990 「ガ 漢文集録」『吉峰跡－第 7 次発掘調査報告書－』三山町役場委員会

この時期は計画性をもった集落形成の萌芽と言えよう。平岡遺跡は遺物整理中で集落構造は数年で明らかになるだろう。これと比較検討することで小竹目塚の構造がさらに明確になっていくだろう。

おわりに

最後に人骨や遺構・遺物の所見から小竹貝塚のあり方を推定してみたい。人骨の安定同位体結果から個々人に差異はあるが全体として海産物と陸産物をバランスよくとっていたとされる（第三分冊4米田報文）。

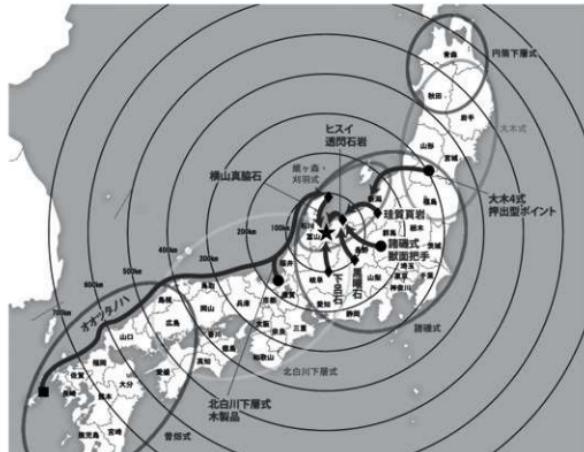
動物遺存体では淡水～汽水域に生息する貝類（ヤマトシジミ・オオタニシ・イシガキ科など）、魚類（コイ科・スズキ属・クロダイ属など）、鳥類（カモ亜科・カツツブリ科など）、哺乳類（カワウソなど）が多く出土し、眼前に広がる水域での狩猟活動がメインとなっていたことがわかる（第二分冊 18 山崎他報文）。植物遺存体でもオニバスなど水生植物が多く入っており動物だけでなく植物も採集している。植物は採集だけでなく、マメ類・エゴマ・シンケン・ヒヨウタンなどの存在から一部栽培を行っていた可能性がある。

陸生哺乳類ではニホンジカが多くオニグルミやドングリ類の出土から背後の丘陵地でも狩猟・採集を行っていたものとみられる。このほかに丸木舟の存在から時には水域を伝って遠方にまで狩猟・漁労・採集活動を行っていたようで海洋に棲むイルカ類、ニシン科、カタクチイワシ科、サザエなども出土している。また、貝輪材料としてベンケイガイやサトウガイなども採取してきている。

このような生業活動は小竹貝塚を中心として10~15km圏内で行うことができ、汽水域と丘陵地に面し、海洋にも近い小竹貝塚は縄文海進期にあたる縄文時代前期において生業活動を行う最適地といえる。

小竹貝塚ではこうした生業活動の拠点だけでなく居住域と墓域をもち、他地域からの搬入品も多くあることから交流の中心とも言える。このことから小竹貝塚は単なる貝類などの廃棄場だけでなく居住域・墓域・生産加工域など多様な側面をもった通年定住の集落であったと言える。富山県内では平岡遺跡や吉峰遺跡といった丘陵・山間部とは異なり低地にあることにより水域の影響を反映した性格をもっているもののこれらと並ぶ大集落と言えるだろう。

(町田賢一)



第386図 小竹貝塚搬入遺物推定図

図版 1



B+C地区

1. C地区貝層（西から） 2. C地区南壁貝層（北から）

図版 2



B・C地区

1. 12・13号人骨（南から） 2. 70号人骨（南から）



B・C地区

1. 76・77号人骨（東から） 2. 73・78号人骨（北から）

図版 4



1



2

A地区 捺文土器

1. 前期中葉 207 494 573 666
2. S11 271 291 293 325



1



2

A地区 繩文土器

1. 前期後葉 194 510 559 595 638 655 776
2. 前期末葉 797 811 818 823 836

図版 6



1



2

B・C地区 繩文土器

1. 前期中～後葉 1463 1479 1499 1679 2033 2159
2. 前期中～後葉 1424 1444 1451 1458 1461



1



2

B・C地区 縄文土器

1. 前期中～後葉 1539 1712 1717 1733 2531 2550
2. 前期後葉 1533 1565 1566 2036 2167 2189 2288

図版 8



B・C地区 繩文土器

1. 前期後業 1588 1602 2263 2269 2319 2839
2. 前期後業 1663 1702 1983 2296 2768 2900

図版 9



1



2

B・C地区 捺文土器

1. 前期末葉 2351 2358 2379 2894 2913 2927 2963
2. 漆塗・付着土器



1



2

B・C地区 繪文土器
漆塗土器



1



2

図版 12



1



2

A～C地区 石製品



1



2

A～C地区 石製品

1. ヒスイ製垂飾未成品 4058
2. 装身具

図版 14



A~C地区 骨角歯牙製品

図版 15

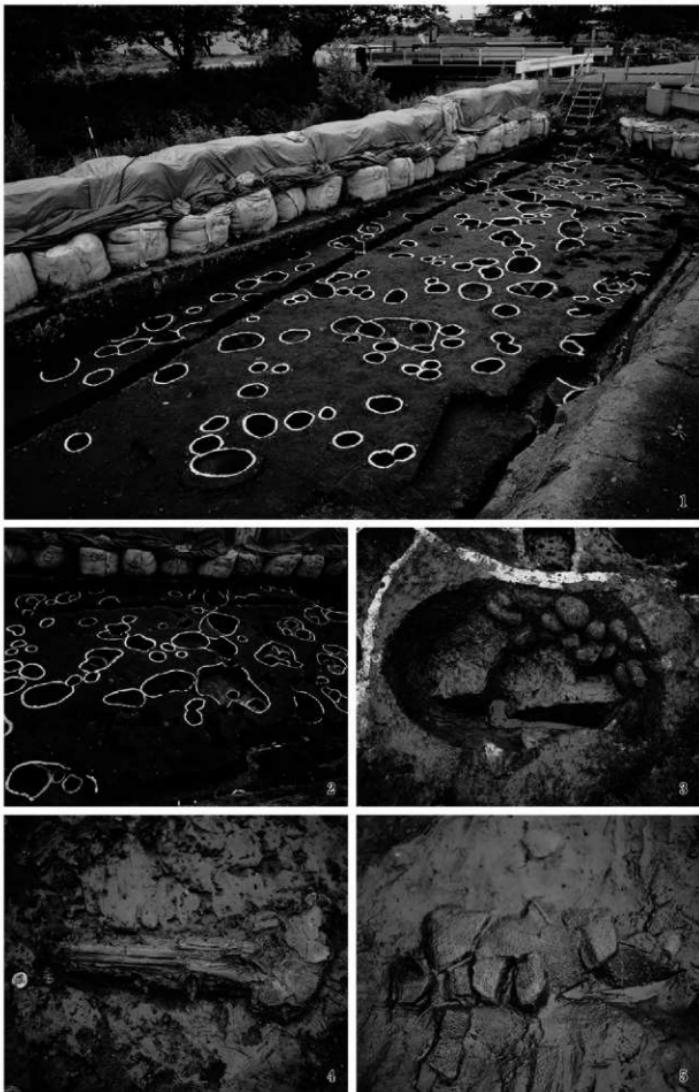


1. 昭和 21 年撮影（約 $S=1/11,920$ ） 2. 昭和 36 年撮影（約 $S=1/10,000$ ）

図版 16



1. 昭和 45 年撮影 (約 S=1/10,000) 2. 平成 19 年撮影 (約 S=1/10,000)



A地区

1. 下層全景（東から）
2. 下層土坑（北東から）
3. SK216（北東から）
4. イルカ頭骨出土状況
5. 繩文土器出土状況（南東から）

図版 18



A地区

1. 中層全景（北東から） 2. 北壁（南西から） 3. 南壁（北東から）

図版 19



A地区

1. 中層西側ブロック（西から） 2. 中層東側ブロック（南東から）

図版 20



A地区

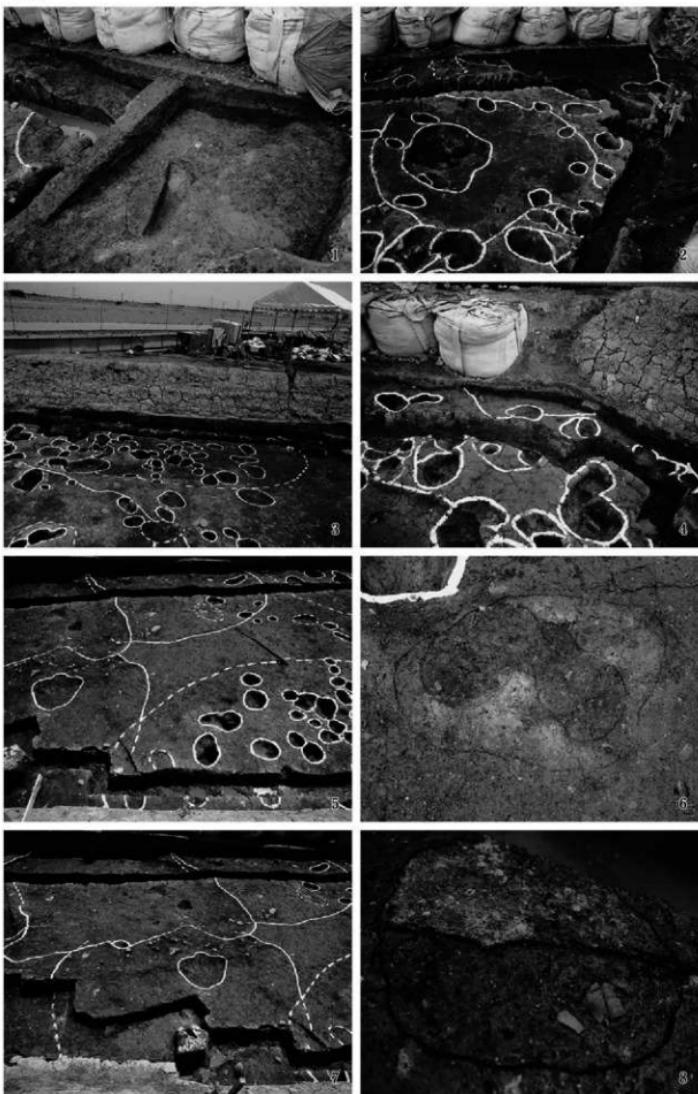
1. SII 遺物出土状況（北東から） 2. SII 貼床面（北東から）



A地区

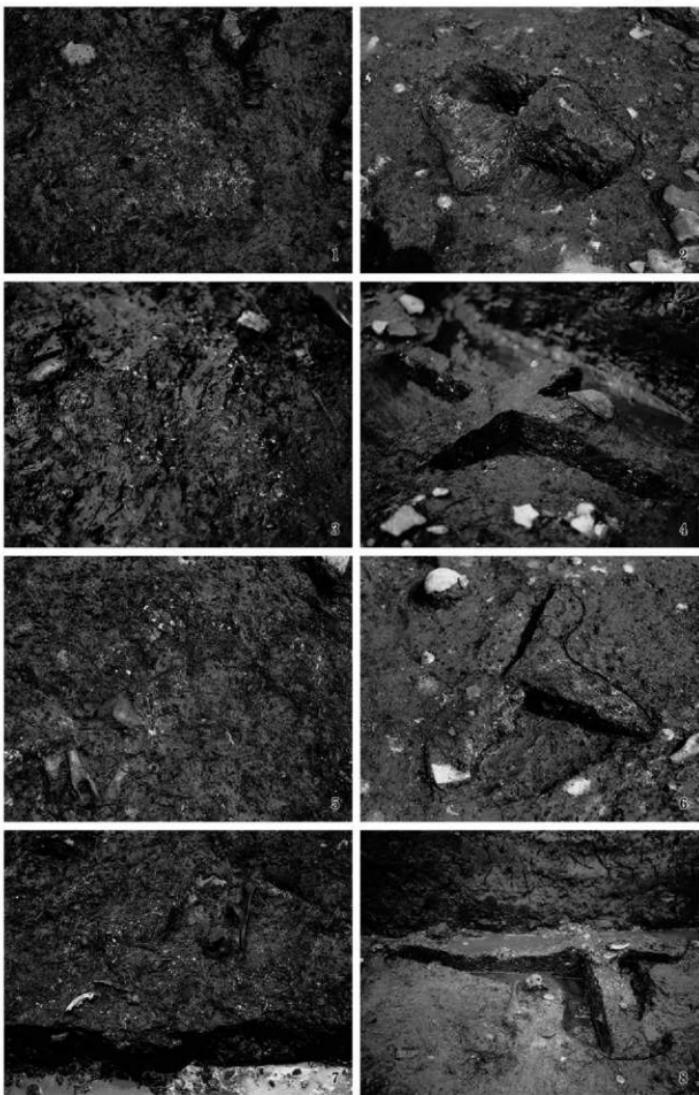
1. SI3 (北から) 2. 中層土坑群 (北東から)

図版 22



A地区

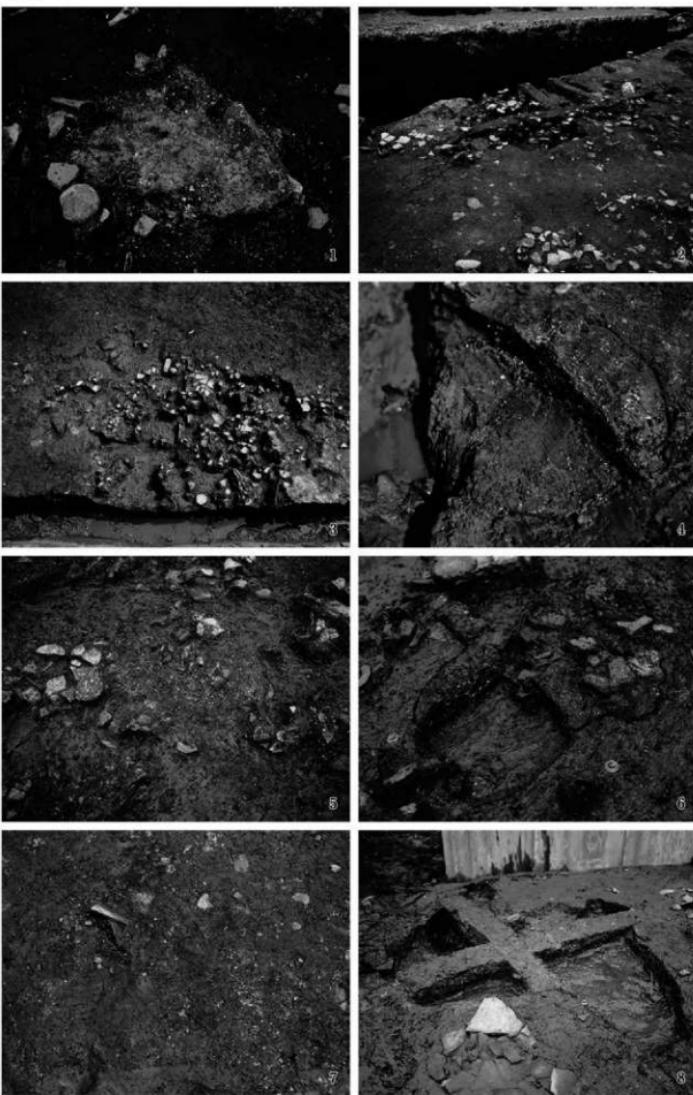
1. SI4 (北から) 2. SI3・4 (東から) 3. SI5 (南西から) 4. SI6 (南から) 5. SI7 (北東から)
6. SI7 炉 (東から) 7. SI9 (北東から) 8. SI10 炉 (北から)



A地区

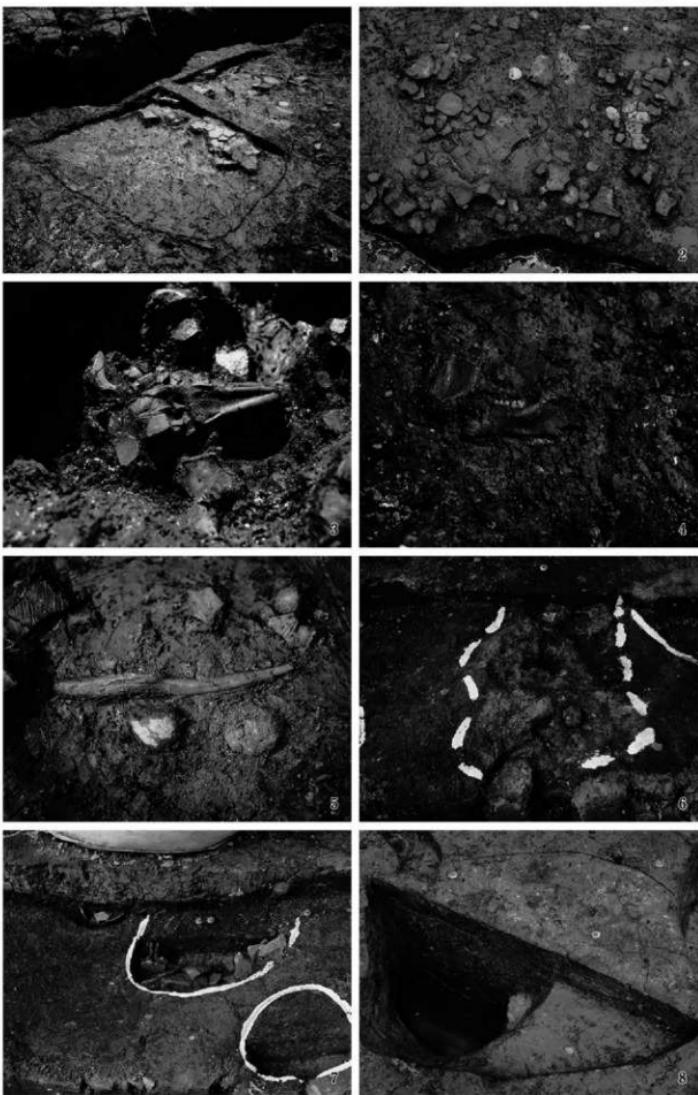
1. 1号貝層 (南東から) 2. 1号貝層 (西から) 3. 2号貝層 4. 2号貝層 (南から) 5. 3号貝層 (西から)
6. 3号貝層 (北西から) 7. 4号貝層 (北東から) 8. 4号貝層 (南北から)

図版 24



A地区

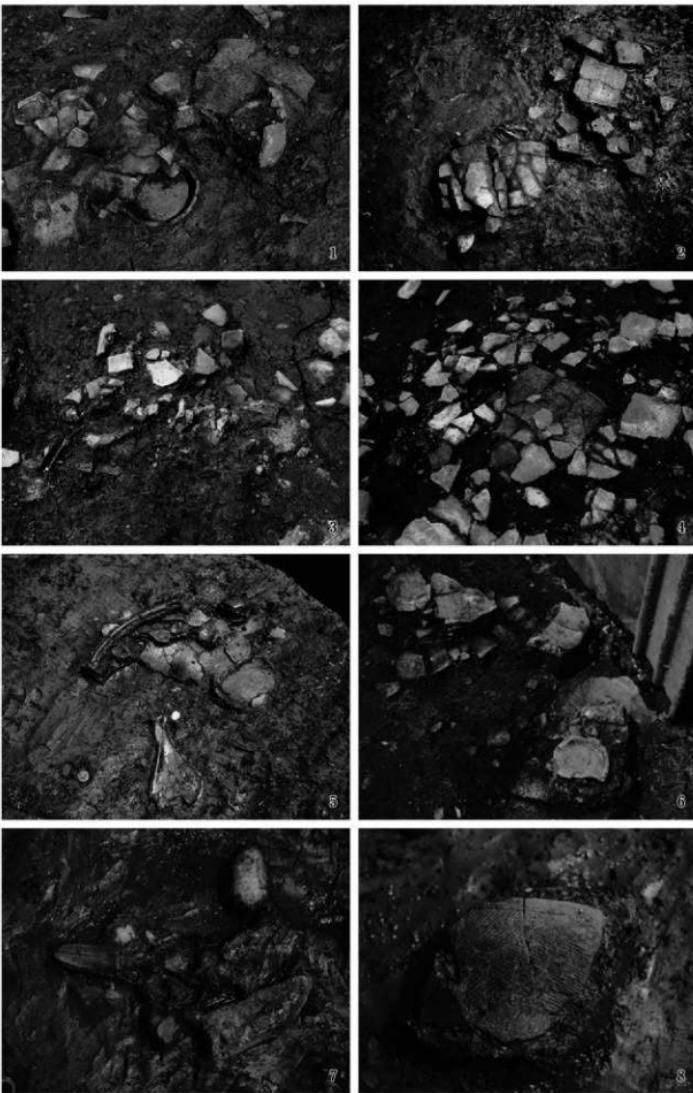
1. 5号貝層灰層（北から） 2. 5号貝層灰層（東から） 3. 5号貝層下層（南西から） 4. 8号貝層（北西から）
5. 6号貝層（北東から） 6. 6号貝層（北西から） 7. 7号貝層（北西から） 8. 7号貝層（南西から）



A地区

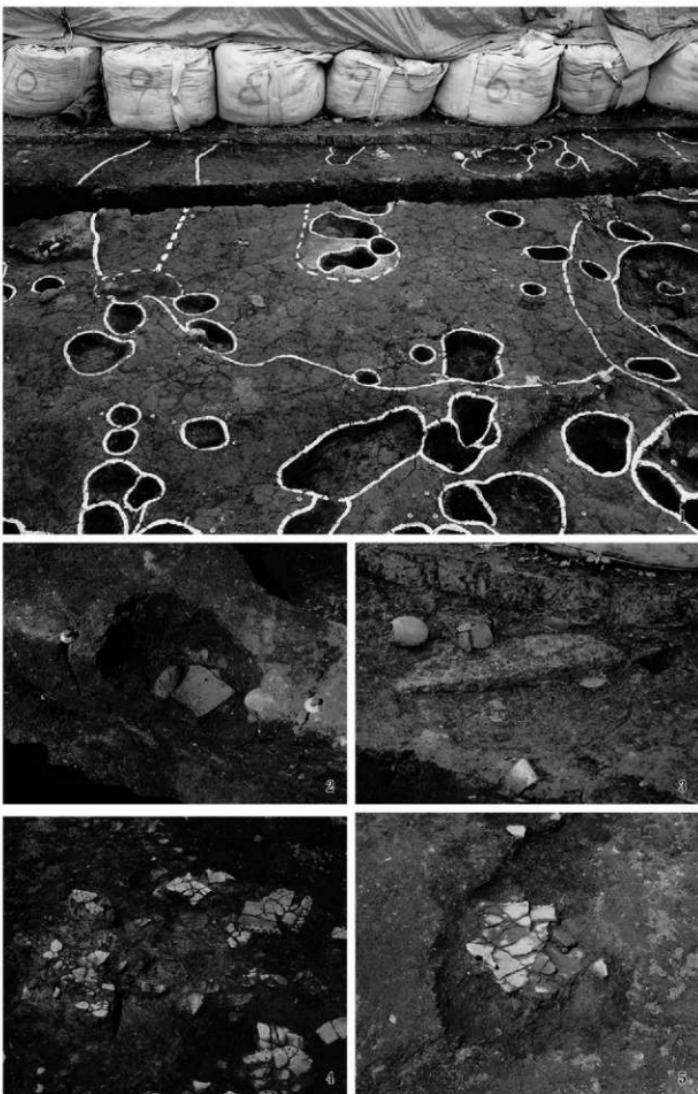
1. SX300（西から） 2. SX300（南から） 3. 5号貝層イルカ頭骨出土状況（東から）
 4. 5号貝層イノシシ下顎骨出土状況（北東から） 5. 2号貝層鹿角出土状況（南から） 6. SX60（北東から）
 7. SK69（北東から） 8. SK80（南東から）

図版 26



A地区

Ⅲb・Ⅲc層遺物出土状況



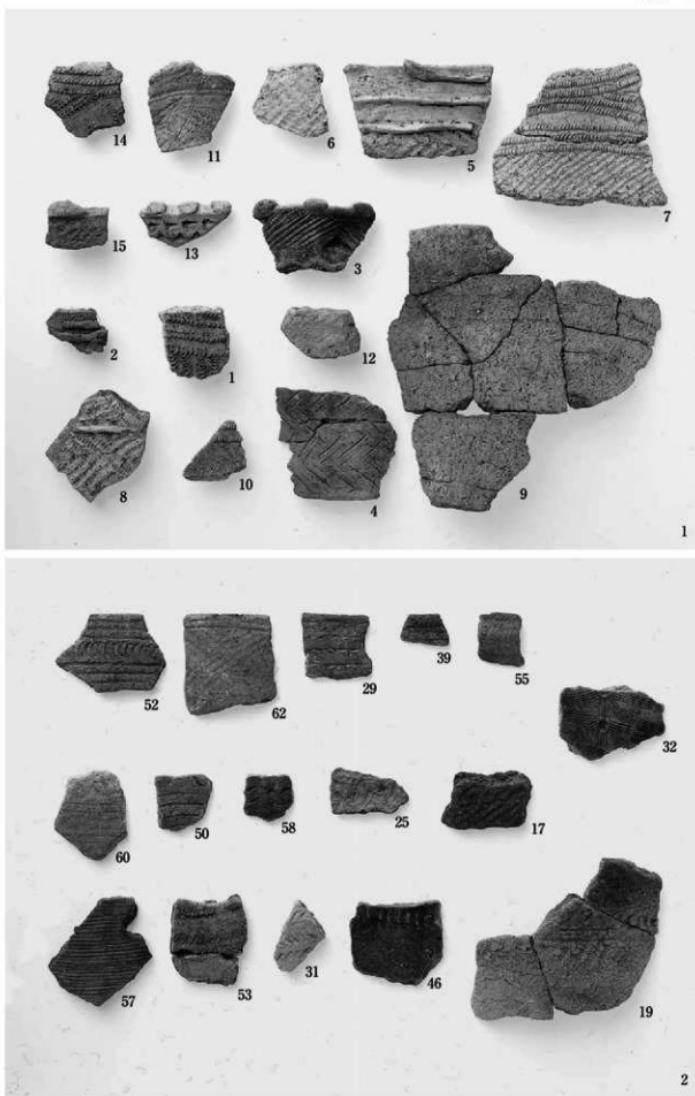
A地区

1. SI2 (北東から) 2. SI2 P2 (南西から) 3. SI2 P17~19 (北から) 4・5. IIIa層遺物出土状況

図版 28



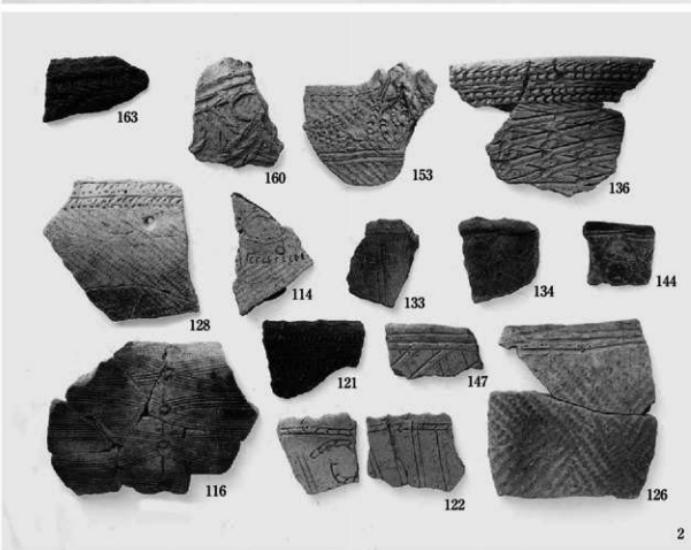
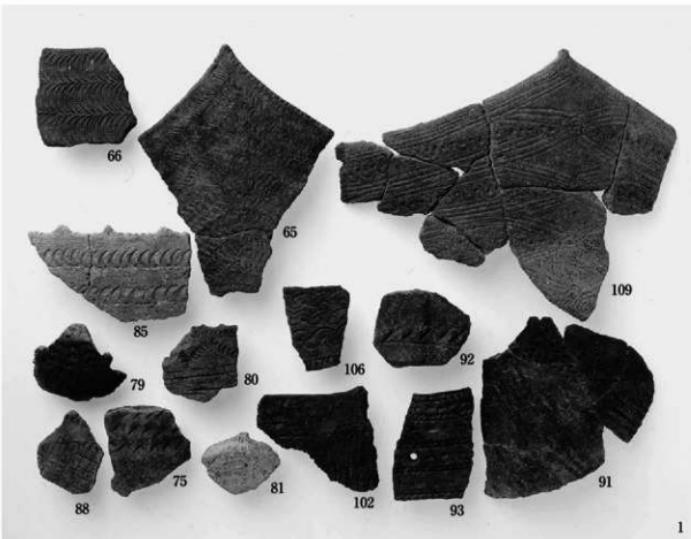
A地区 捺文土器



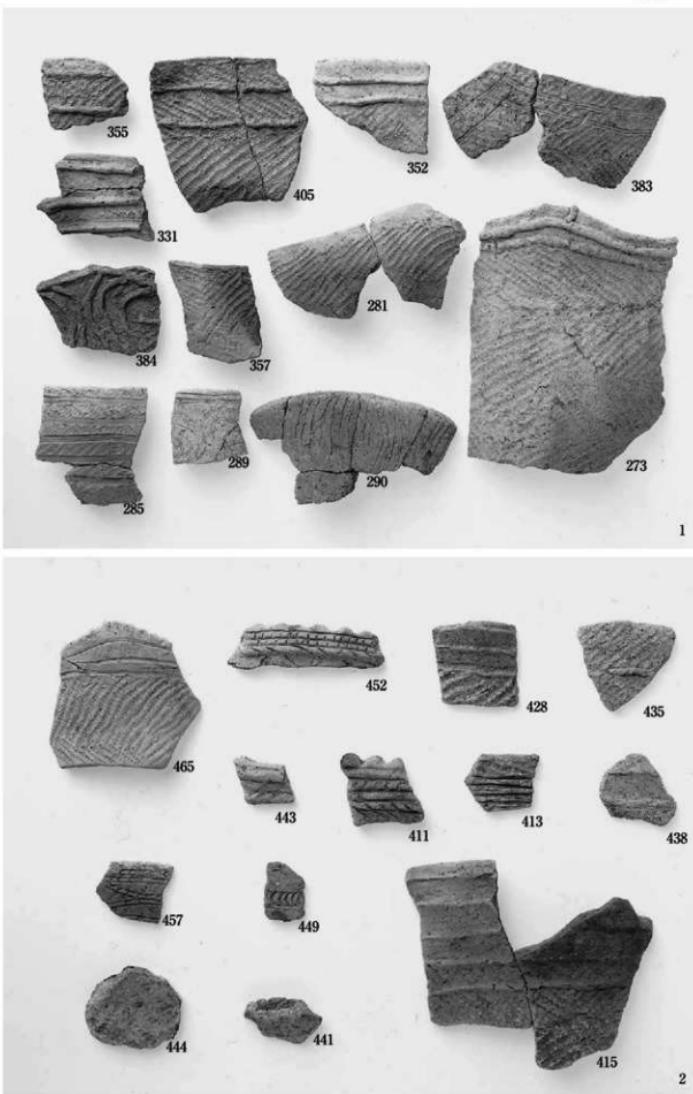
A地区 繩文土器

1. 基本層序 2. 下層土坑

図版 30



A地区 捺文土器
Ⅲc層



A地区 繩文土器

1. SII・3・4・6・7・9・10 2. 中層土坑



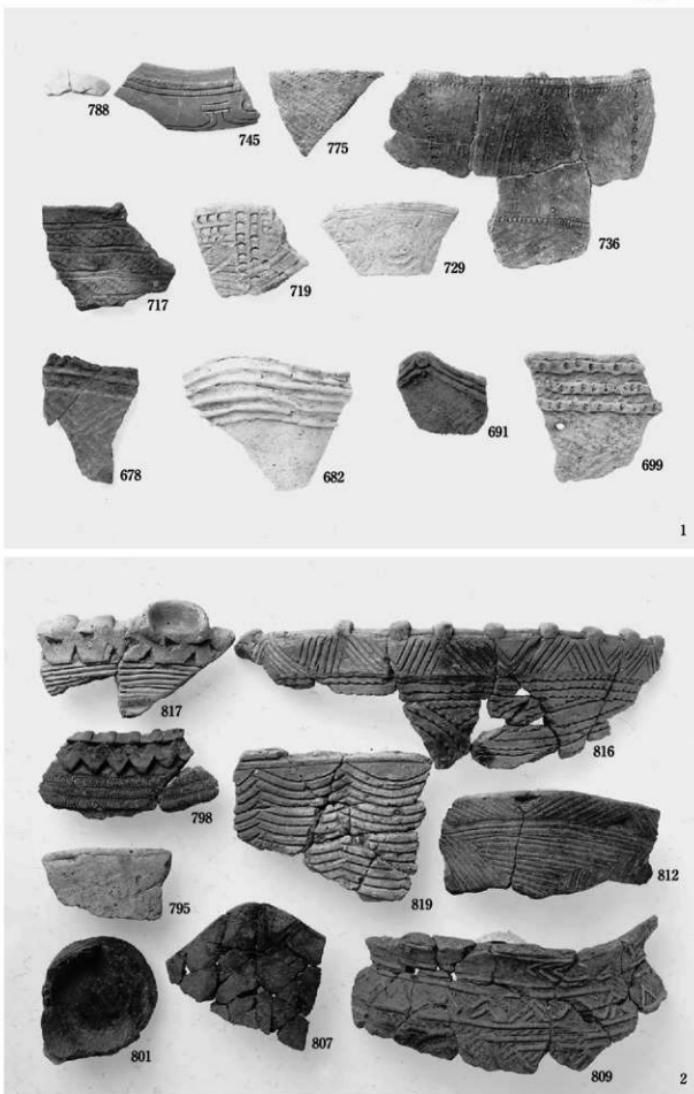
1



2

A地区 捺文土器

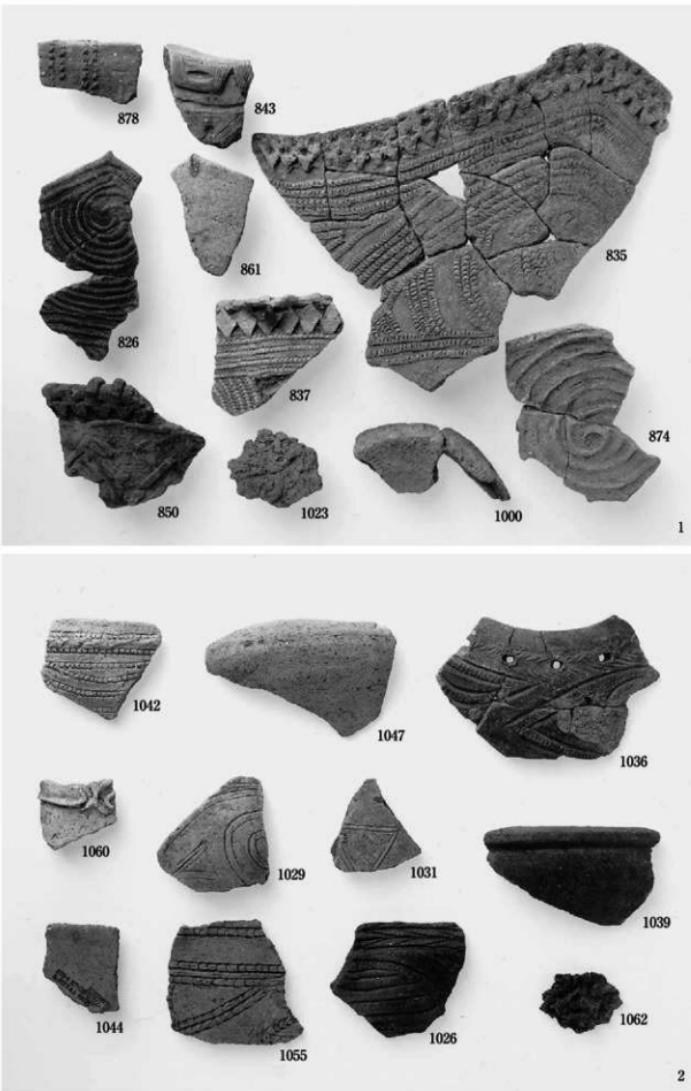
1. 中層地点貝塚・SX300 2. 低地部



A地区 繩文土器

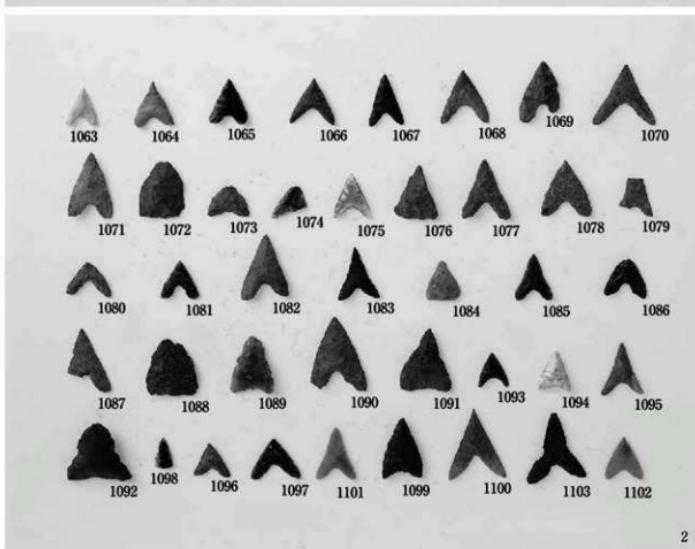
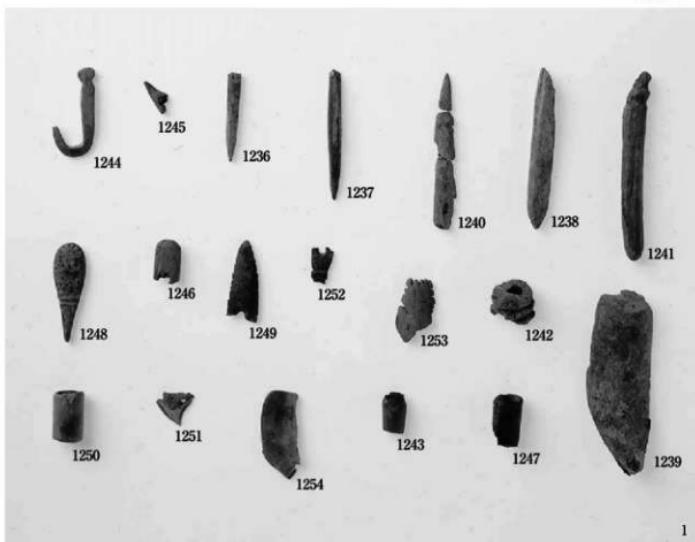
1. III b層 2. SI2 · 1号土器集中地点

図版 34



A地区 捺文土器

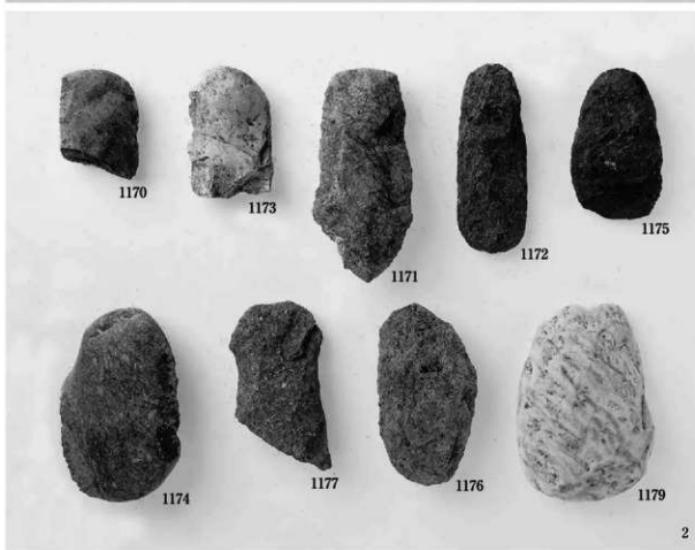
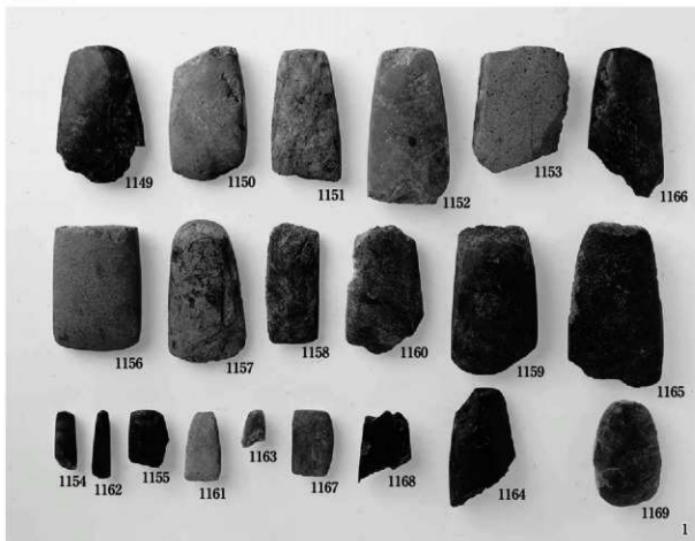
1. II層～IIIa層 2. 上層～下層 赤彩捺文土器



A地区 骨角歯牙製品・石製品

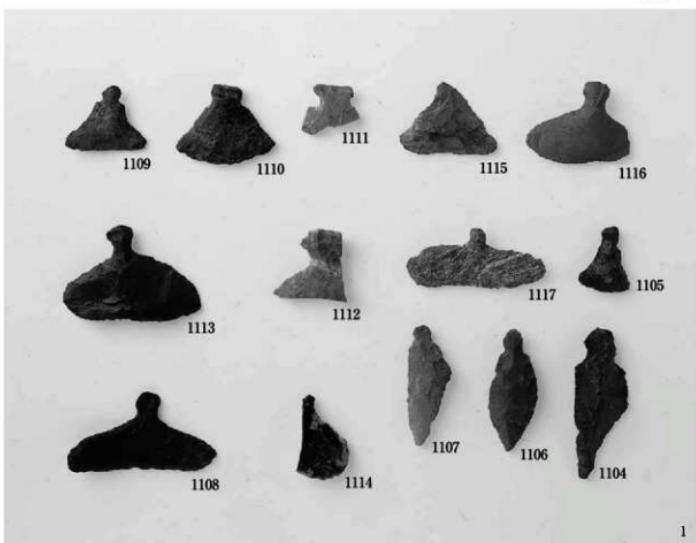
1. 骨角歯牙製品 2. 石器

図版 36

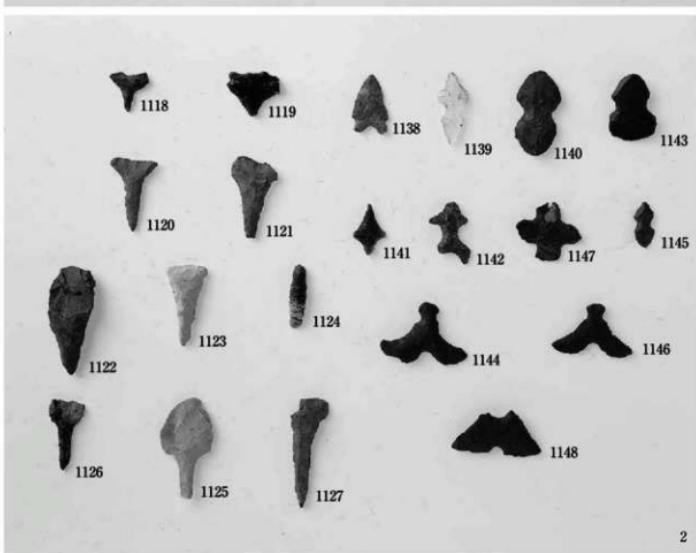


A地区 石製品

1. 磨製石斧 2. 磨製石斧未成品



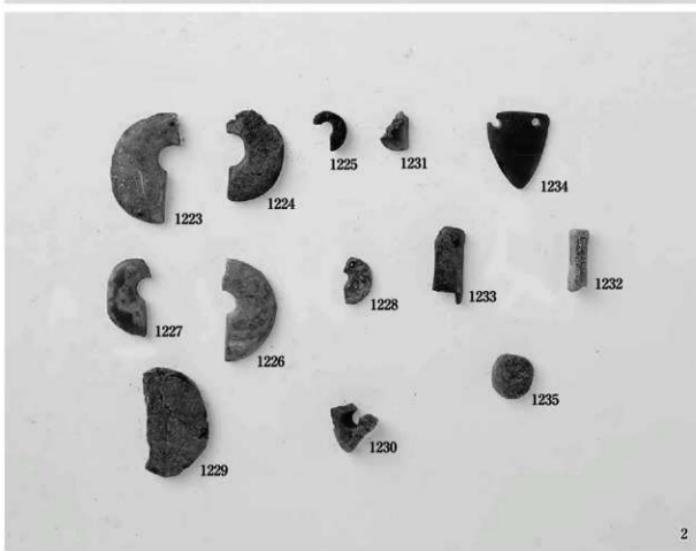
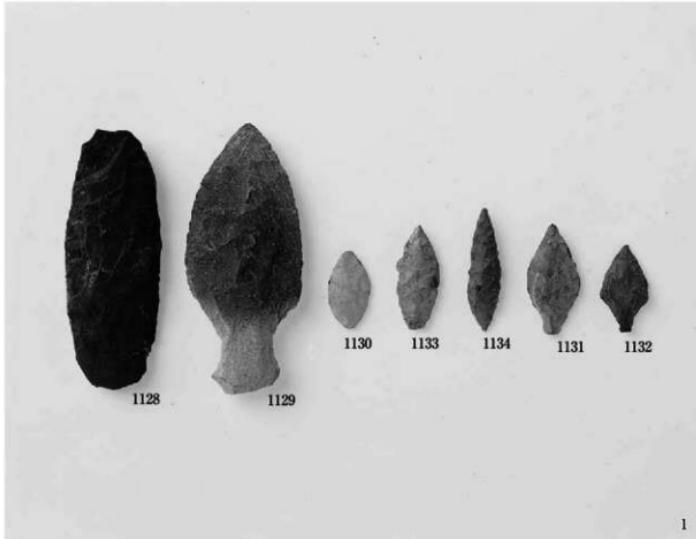
1



2

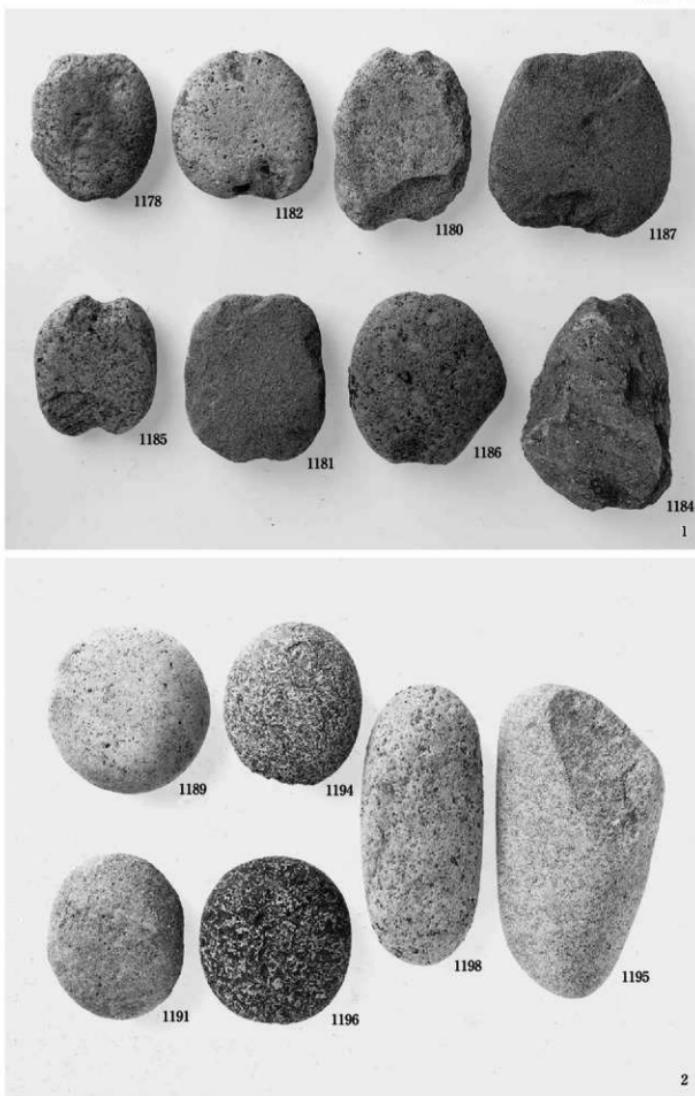
A地区 石製品

1. 石匙 2. 石錐・異形石器



A地区 石製品

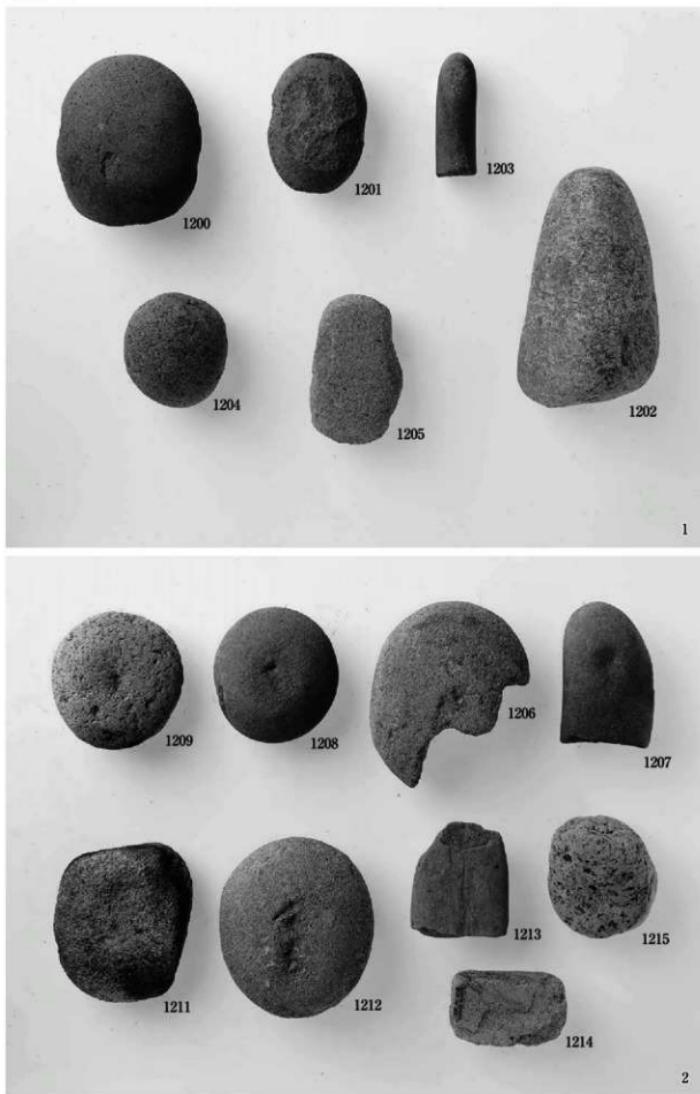
1. 尖頭器 2. 石製装身具



A地区 石製品

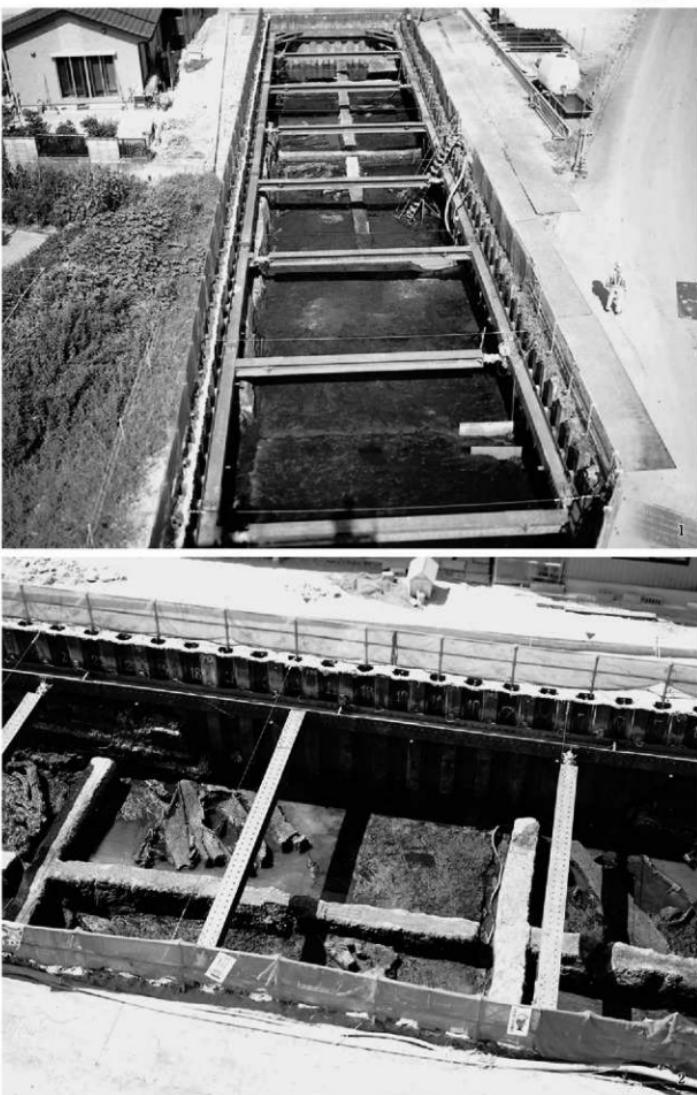
1. 石錐 2. 磨石

図版 40



A地区 石製品

1. 呵石 2. 凹石・砥石



B・C地区（下層）

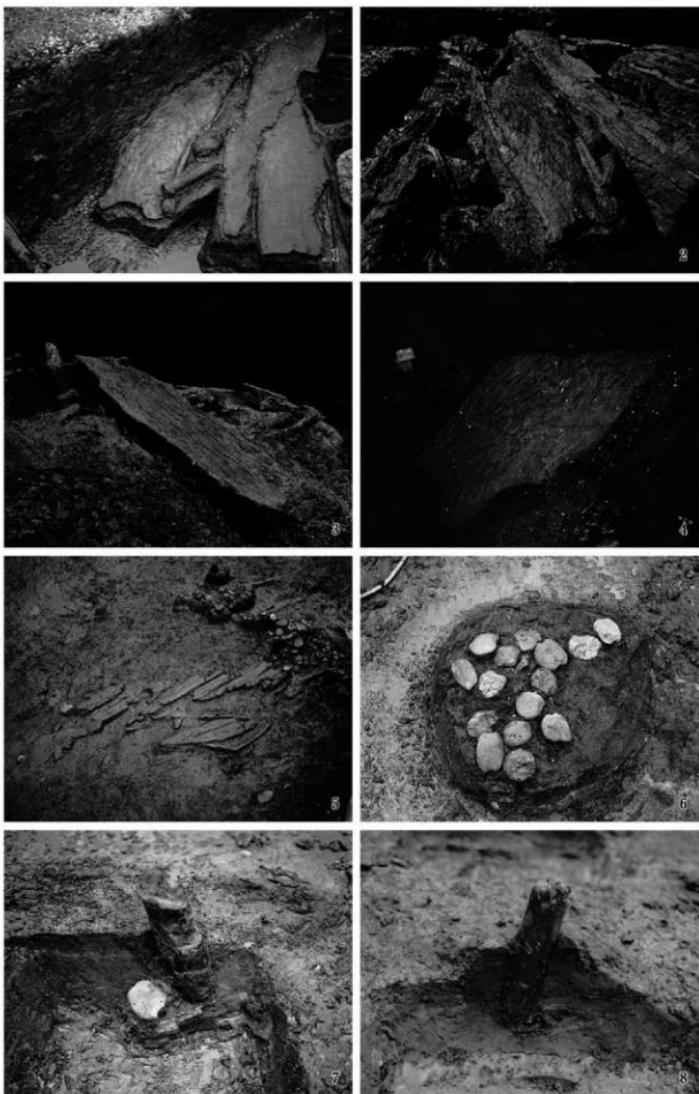
1. B地区全景（東から） 2. B地区西側ブロック（北から）

図版 42



B・C地区（下層）

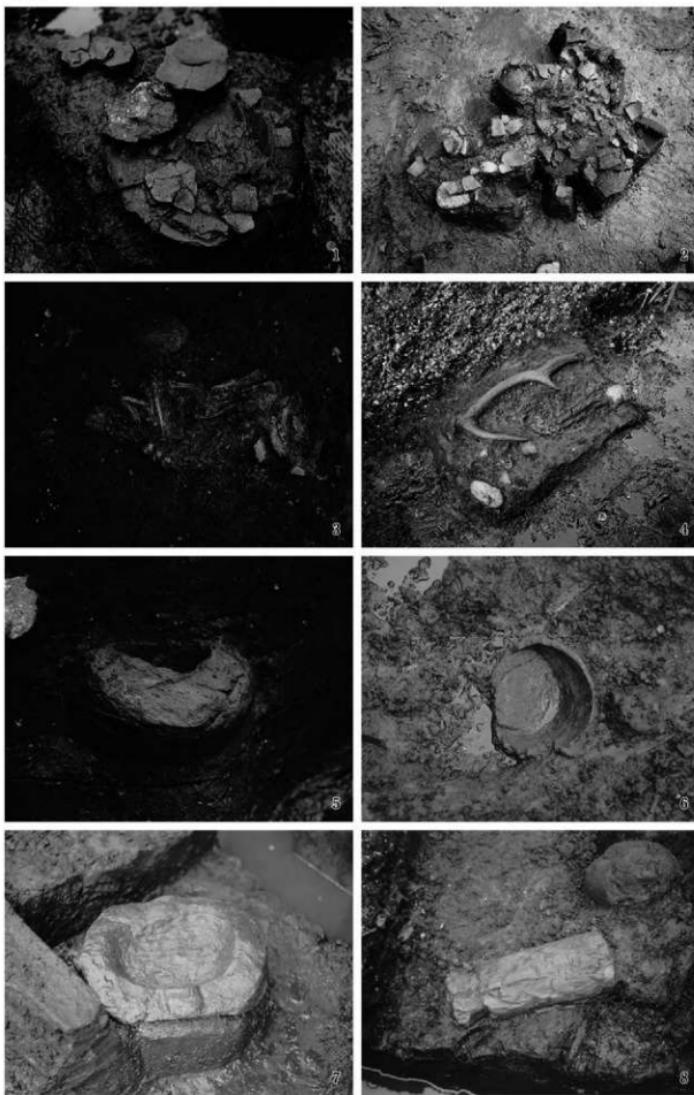
1. C地区全景（東から） 2. C地区全景（西から）



B・C地区（下層）

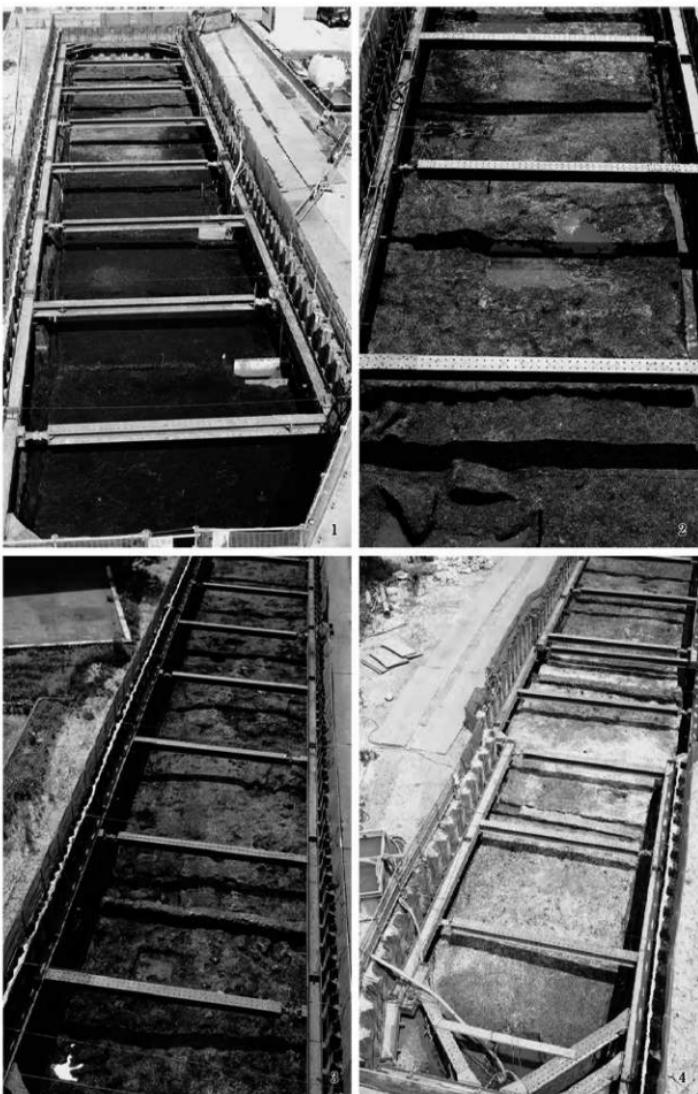
1・2. 1号丸木舟（北から） 3. 2号丸木舟（北から） 4. 3号丸木舟（北から） 5. 板敷遺構（東から）
6. 2号集石（南から） 7. 杖1（南東から） 8. 杖2（西から）

図版 44



B・C地区（下層）

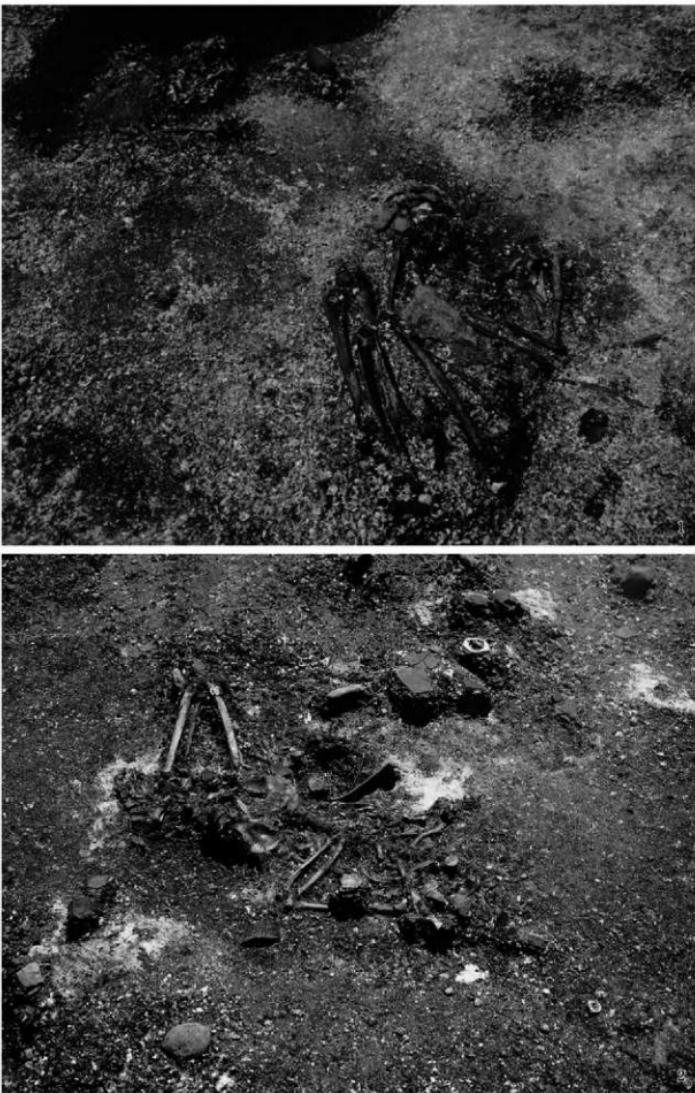
1. 縄文土器出土状況（東から）
2. 縄文土器出土状況（南から）
3. 15号犬骨（南から）
4. 鹿角出土状況（南西から）
5. 木製容器出土状況（東から）
6. 木製容器出土状況（東から）
7. 木製容器出土状況（南東から）
8. 木製容器未成品出土状況（西から）



B・C地区（上層）

1. B地区全景（東から） 2. B地区全景（西から） 3. C地区全景（東から） 4. C地区全景（西から）

図版 46



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅰ期
1. 42号人骨（西から） 2. 45号人骨（北西から）



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅰ期
1. 59号人骨（北から） 2. 68号人骨（北から）



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅰ期
1. 72号人骨（東から） 2. 73・78号人骨（北から）



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅰ期

1. 76・77号人骨（東から） 2. 44号人骨（南から） 3. 58号人骨（北から） 4. 60号人骨（東から）
5. 10号犬骨（北から）

図版 50



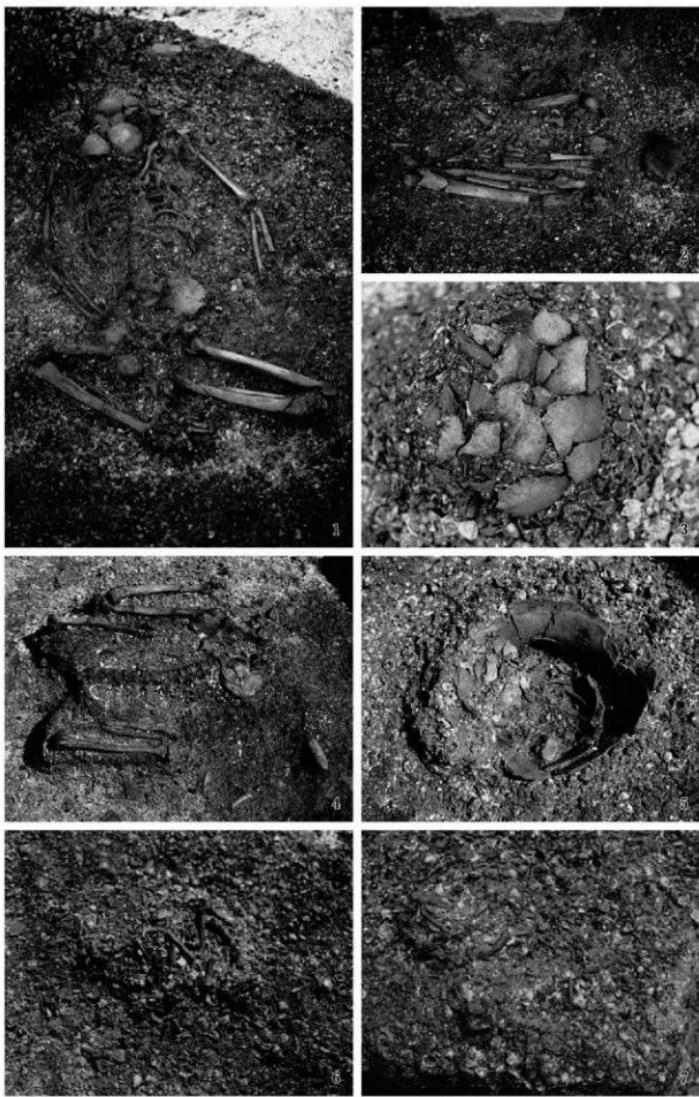
B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅱ期
1. 20・47号人骨（南から） 2. 48号人骨（北から）



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅱ期

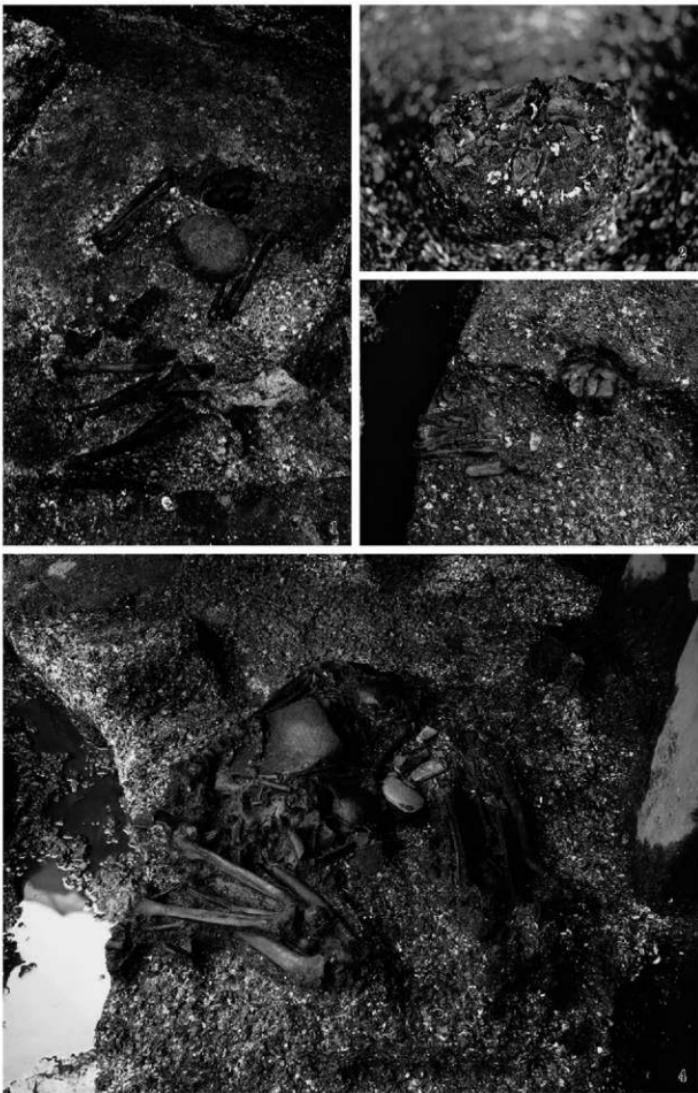
1. 61号人骨（南から） 2. 64号人骨（北から）

図版 52



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅱ期

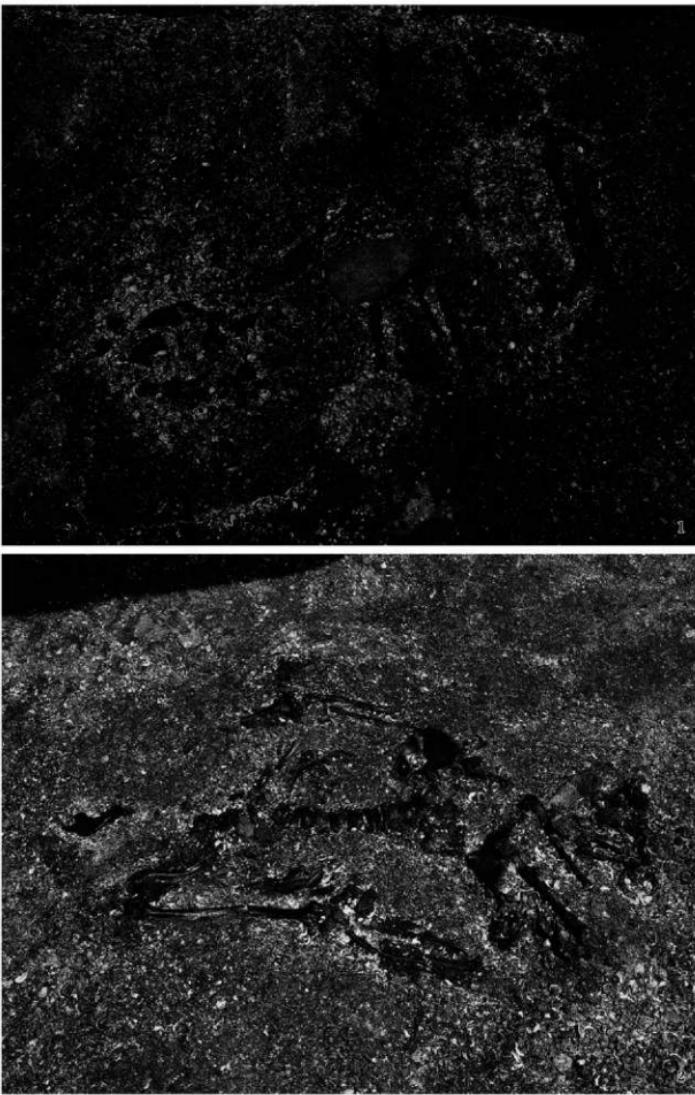
1. 28号人骨（南東から） 2. 16号人骨（南から） 3. 46号人骨（西から） 4. 67号人骨（南から）
5. 3号土器棺（南から） 6. 5号犬骨（北から） 7. 8号犬骨（西から）



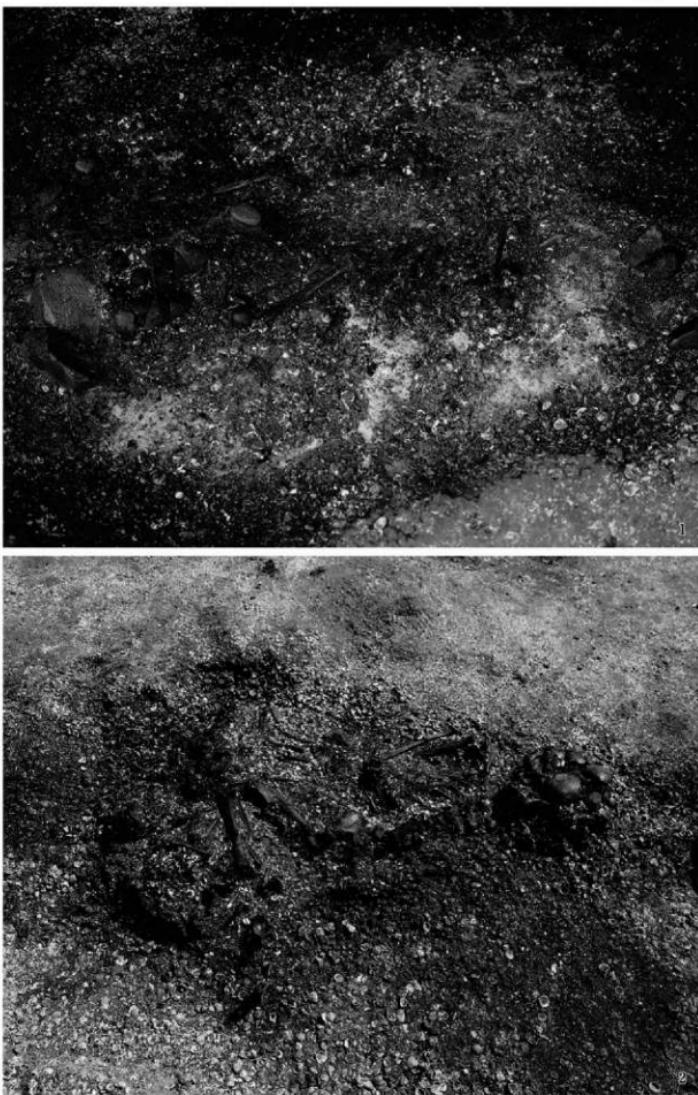
B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅲ期

1. 1号人骨（東から） 2. 6号人骨（南から） 3. 11号人骨（南から） 4. 12・13号人骨・4号土器棺（東から）

図版 54



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅲ期
1. 14号人骨（東から） 2. 19号人骨（南から）

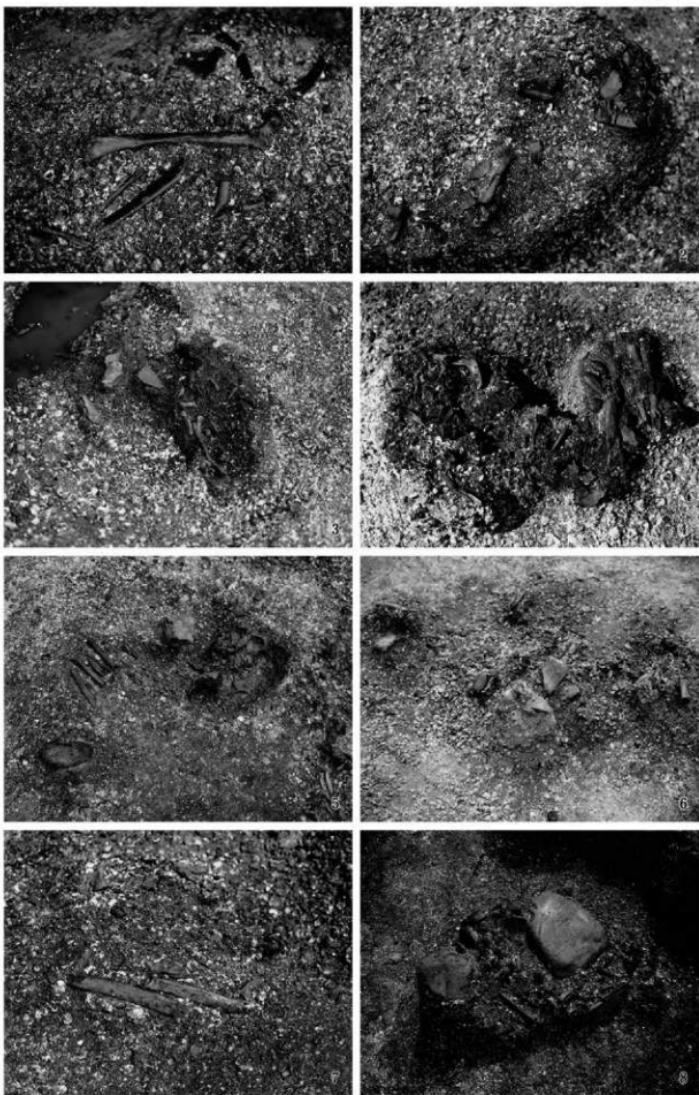


B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅲ期

1. 36号人骨（北から） 2. 38・63号人骨（北から）



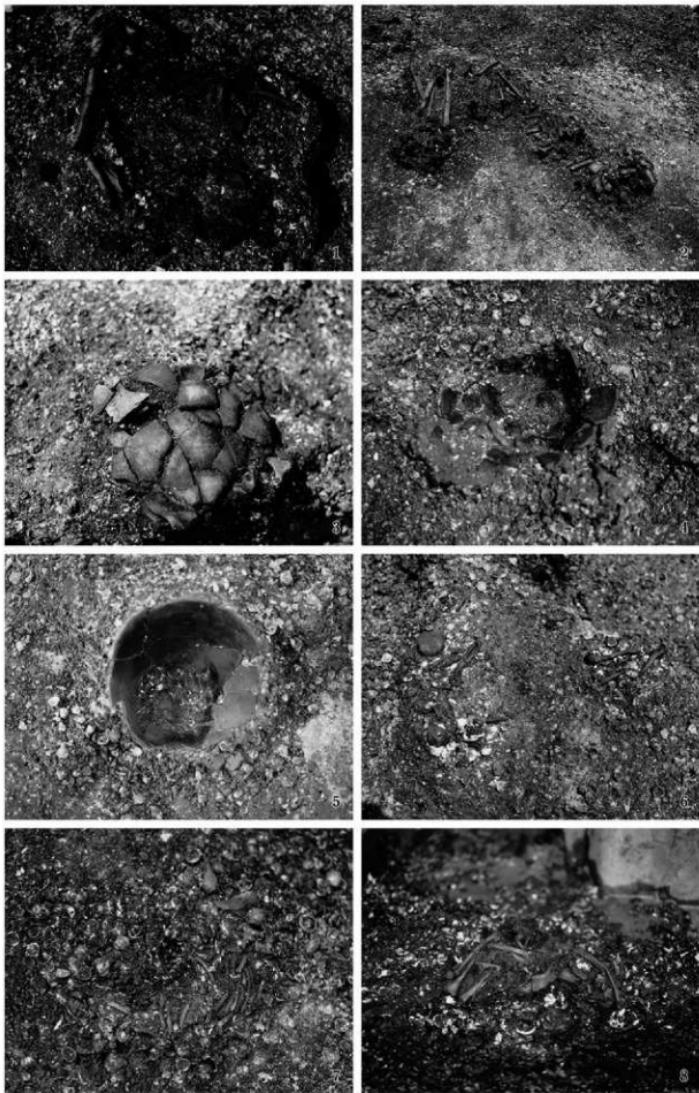
B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅲ期
1. 50～65号人骨（北から） 2. 70号人骨（南から）



B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅲ期

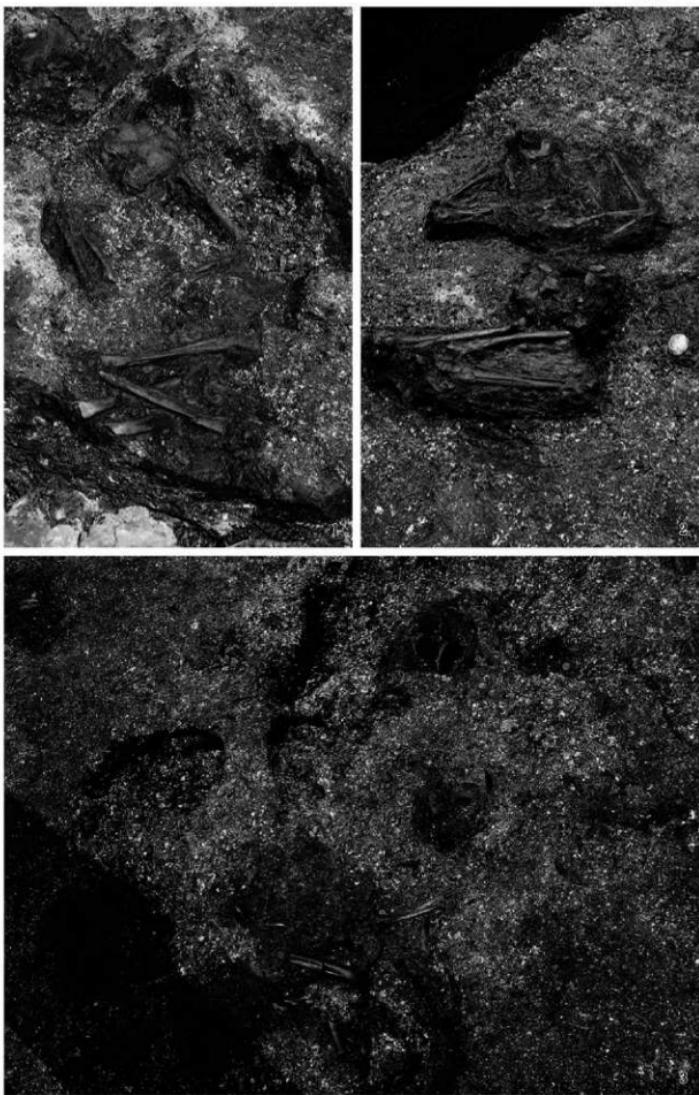
1. 18号人骨（南から） 2. 32号人骨（東から） 3. 34号人骨（南から） 4. 37号人骨（南から）
5. 35号人骨（南から） 6. 39号人骨（東から） 7. 40号人骨（南から） 8. 41号人骨（西から）

図版 58



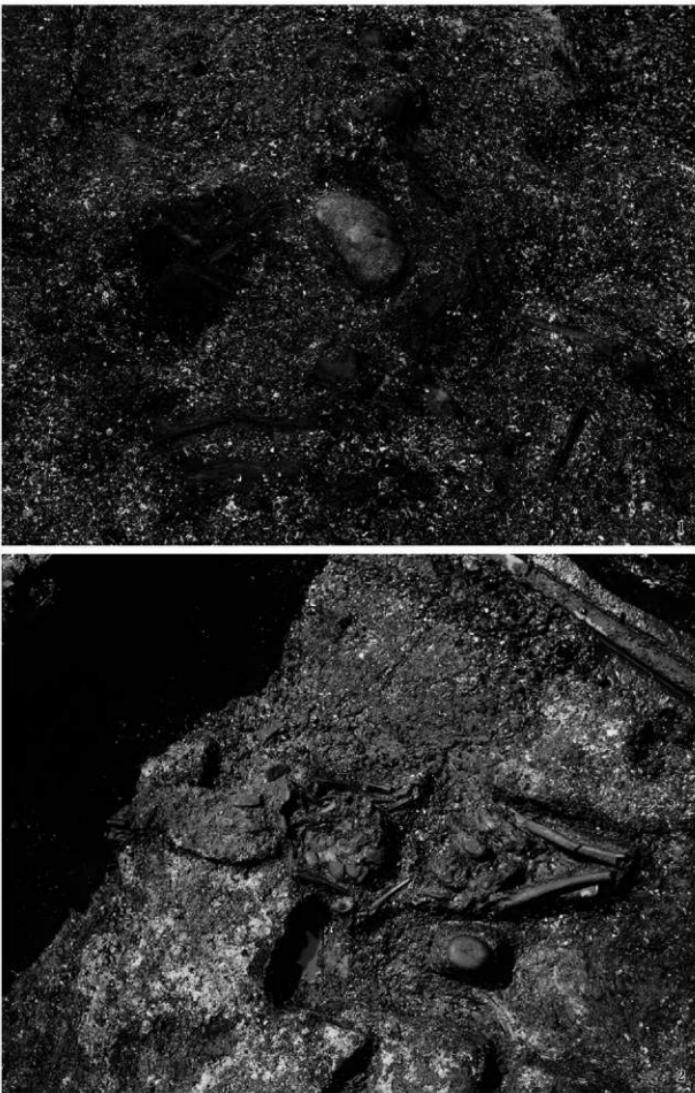
B・C地区（上層）埋葬人骨第Ⅲ期

1. 43号人骨（南から） 2. 52号人骨（北から） 3. 75号人骨（東から） 4. 1号土器棺（南から）
5. 2号土器棺（南から） 6. 4号犬骨（南から） 7. 6号犬骨（北から） 8. 13号犬骨（東から）

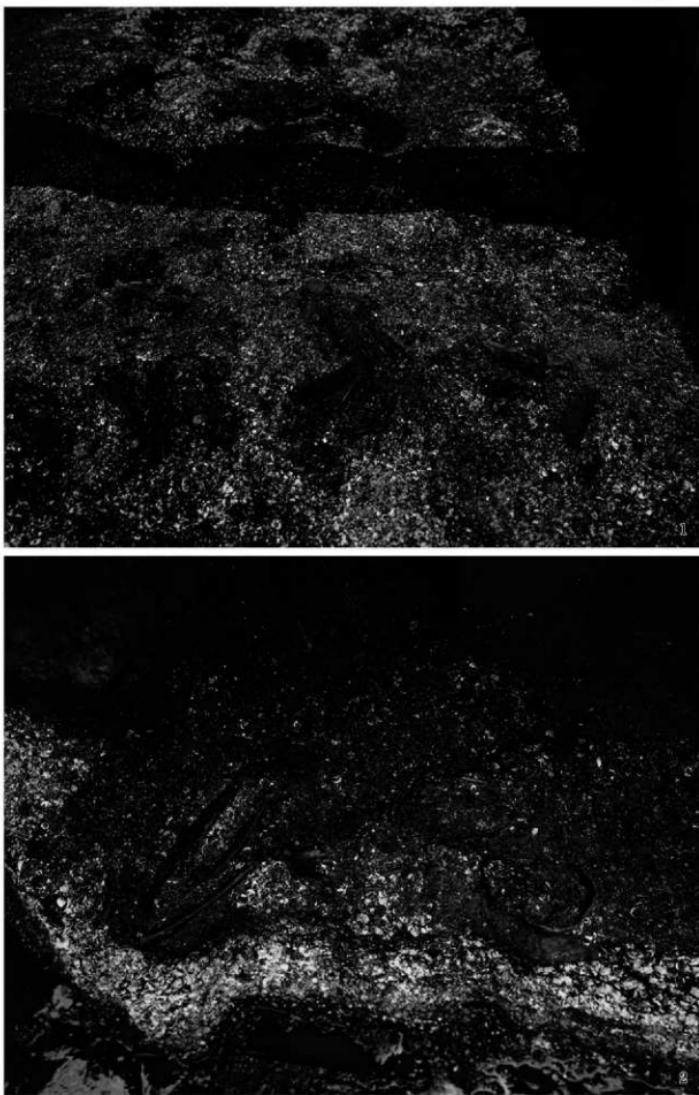


B・C地区（上層）埋葬人骨第IV期

1.2号人骨（西から） 2.3号人骨（北東から） 3.4号人骨（北東から）



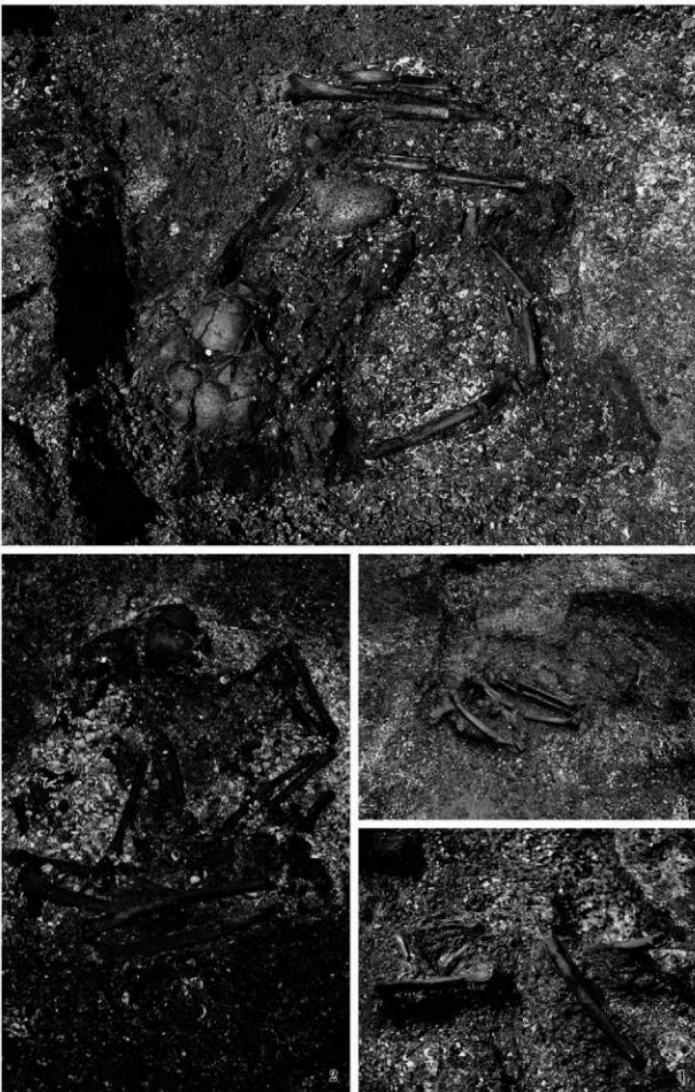
B・C地区（上層）埋葬人骨第IV期
1. 5号人骨（南から） 2. 9号人骨（北から）



B・C地区（上層）埋葬人骨第IV期

1. 10号人骨（東から） 2. 25号人骨（北から）

図版 62



B・C地区（上層）埋葬人骨第IV期

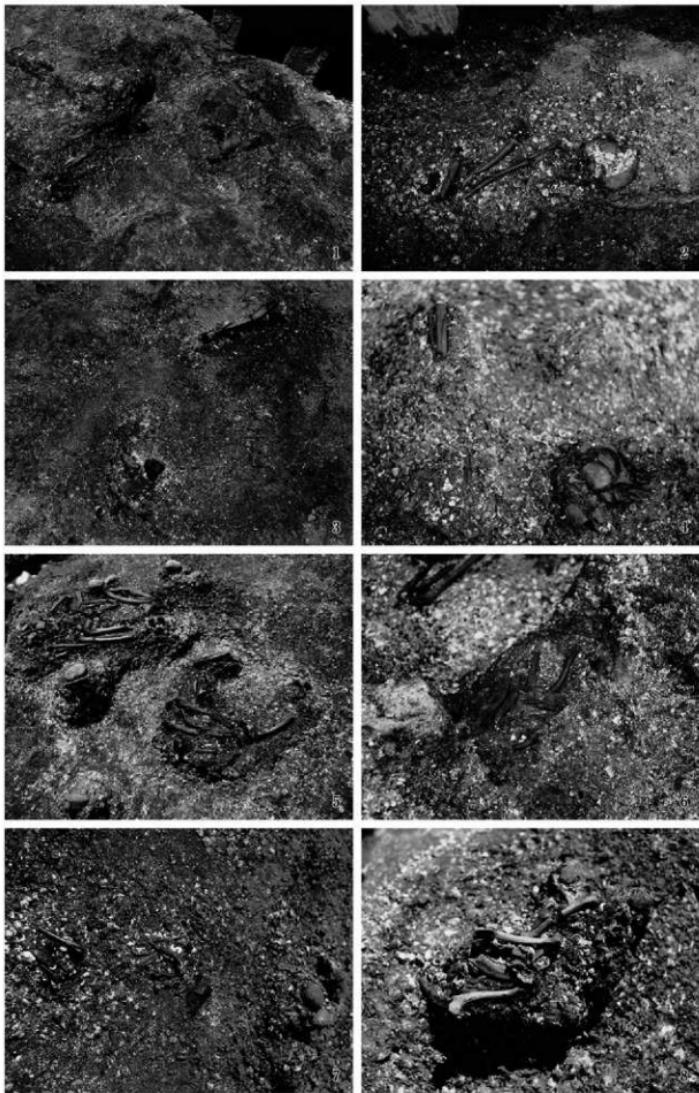
1. 30号人骨（南から） 2. 26・79号人骨（北から） 3. 7号人骨（西から） 4. 4・8号人骨（南から）



B・C地区（上層）埋葬人骨第IV期

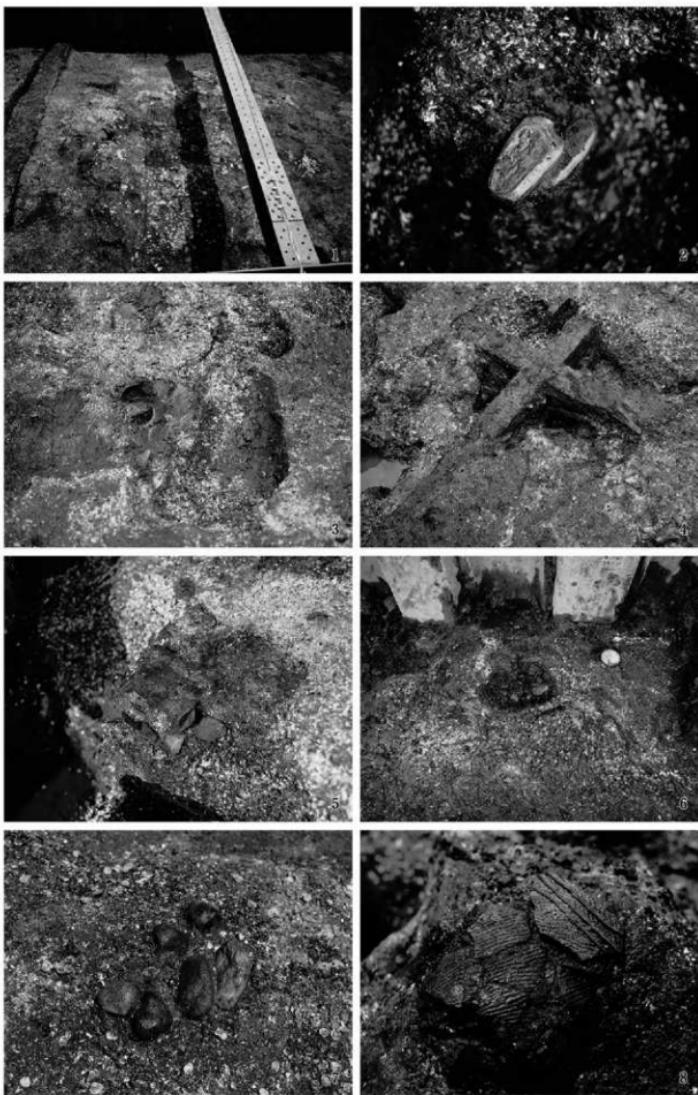
1. 51号人骨（西から） 2. 15号人骨（東から） 3. 21号人骨（西から） 4. 22号人骨（南から）
5. 24号人骨（南西から）

図版 64



B・C地区（上層）埋葬人骨第IV期

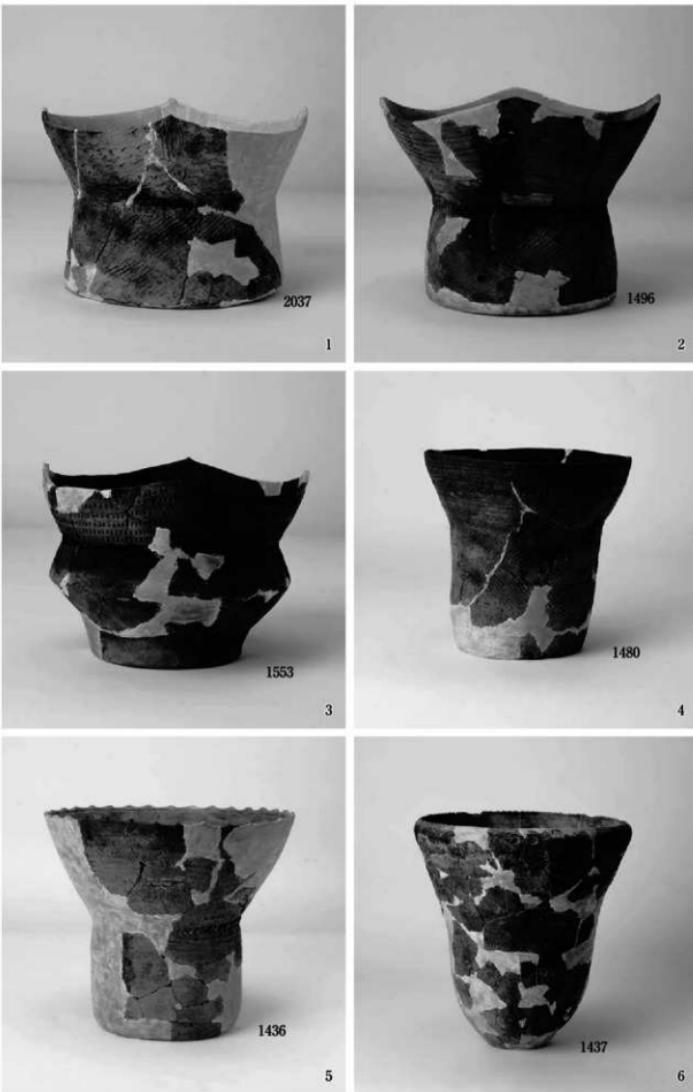
1. 27号人骨（南東から） 2. 29号人骨（北から） 3. 31号人骨（西から） 4. 33号人骨（西から）
5. 51・56号人骨（北から） 6. 2号犬骨（北東から） 7. 3号犬骨（南から） 8. 9号犬骨（北から）



B・C地区（上層）

1. 2号土器集中地点（北から） 2. SK1003 磨製石斧出土状況（南から） 3. SK1009（西から） 4. SK1011（北から）
5. SK1015（南西から） 6. SK1017（北から） 7. 1号集石（西から） 8. 繩文土器出土状況（東から）

図版 66



B・C地区 梗文土器



図版 68



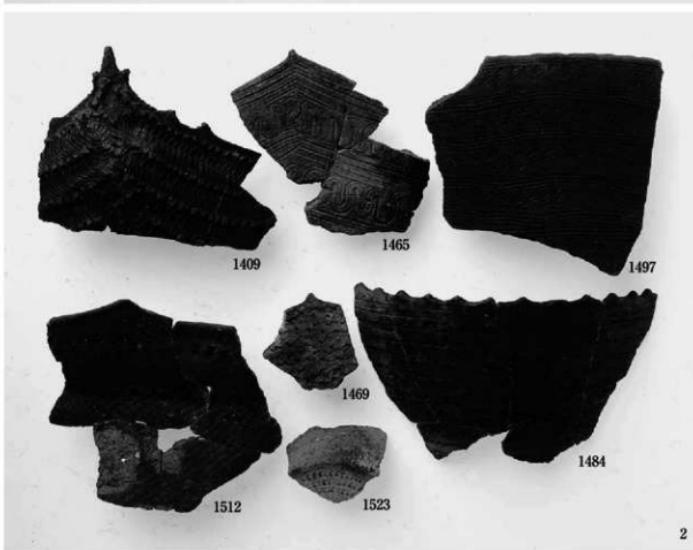
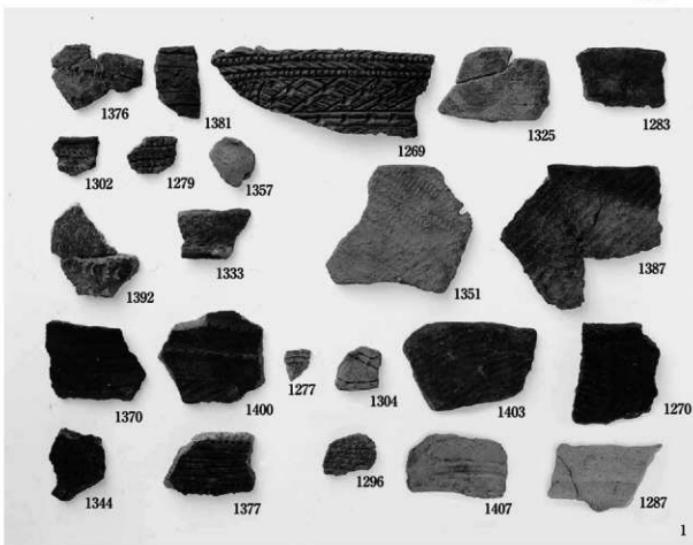
B・C地区 繩文土器



図版 70

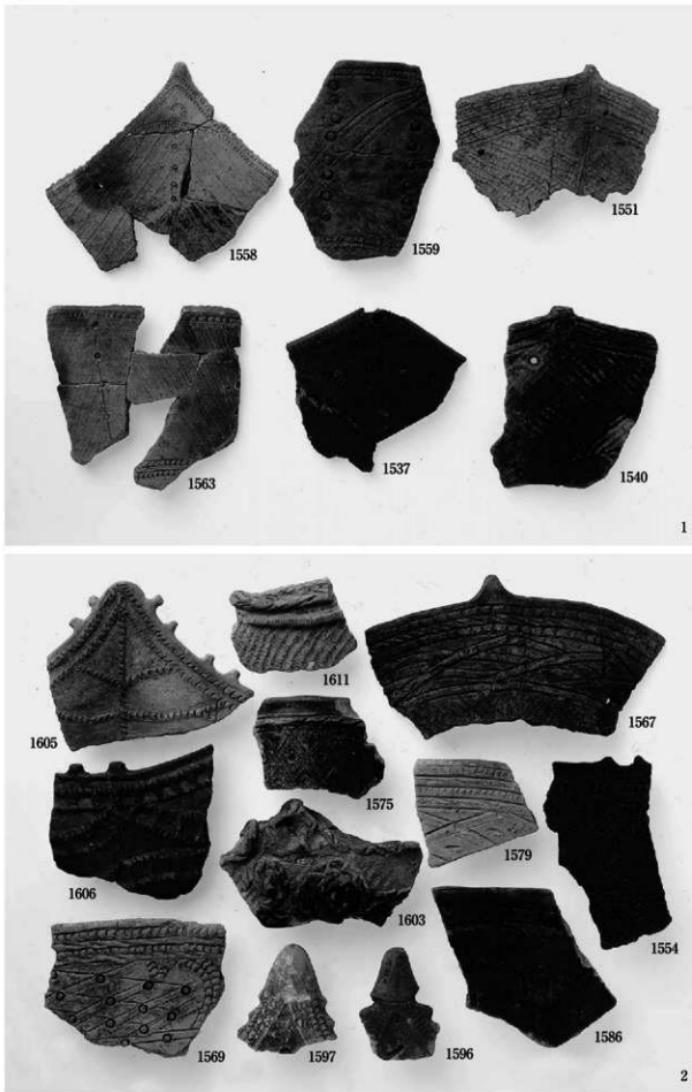


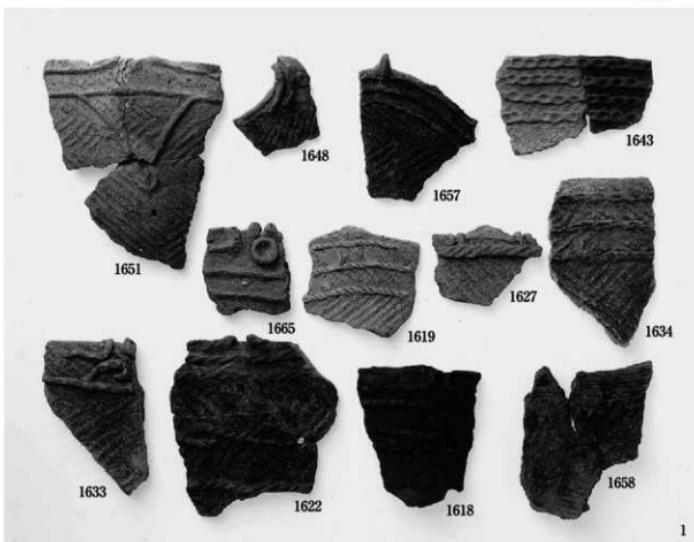
B・C地区 捻文土器



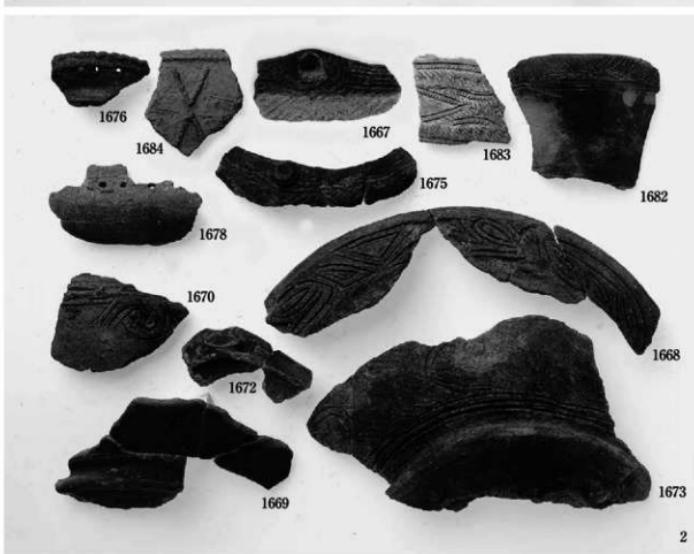
B・C地区 楕文土器

1. 基本層序 2. III b層



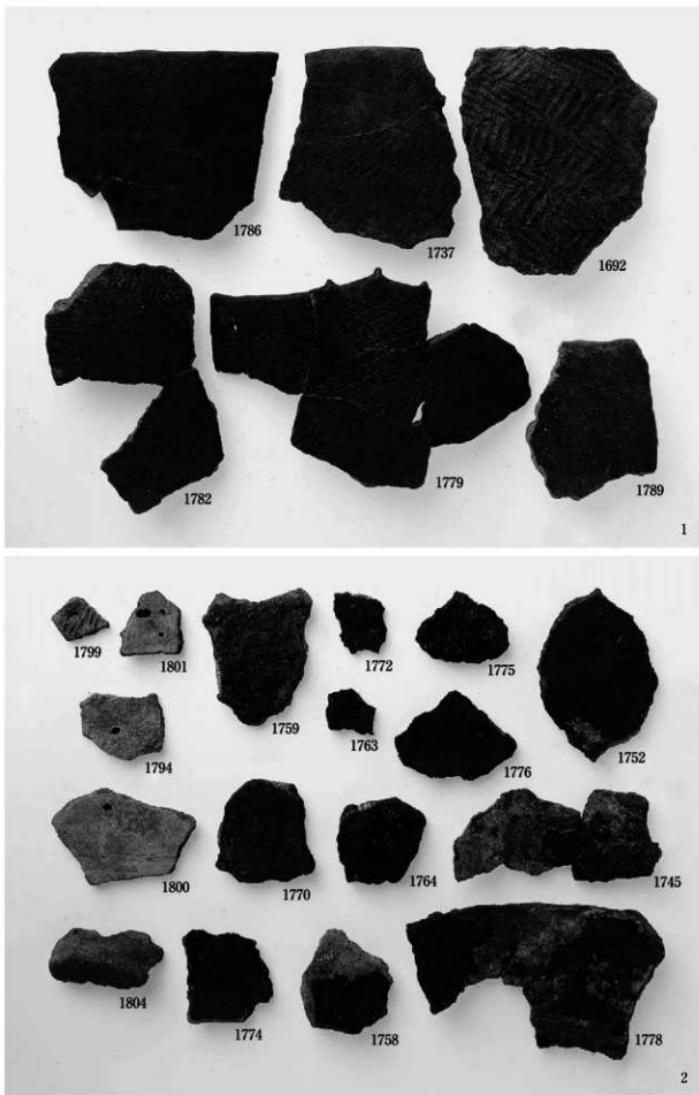


1

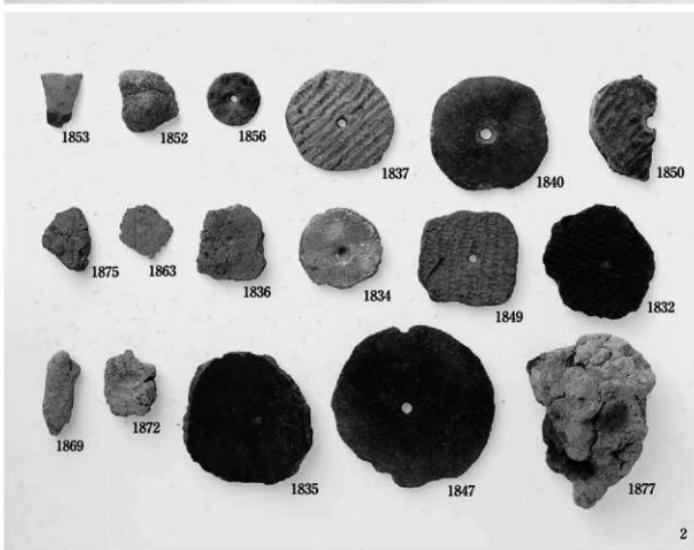
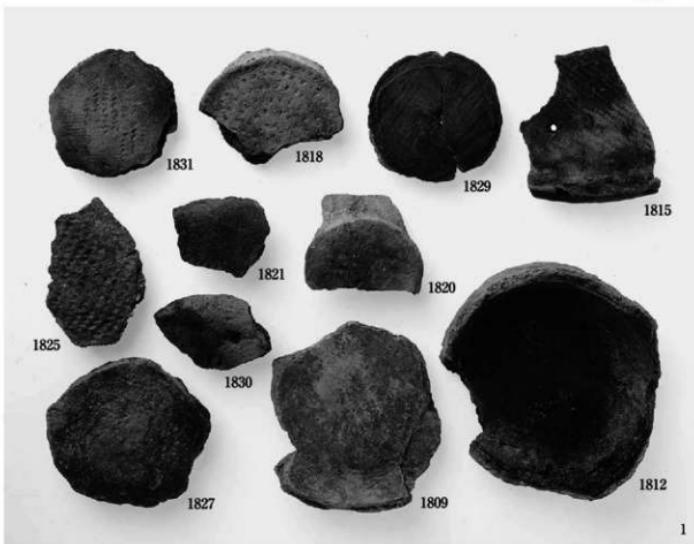


2

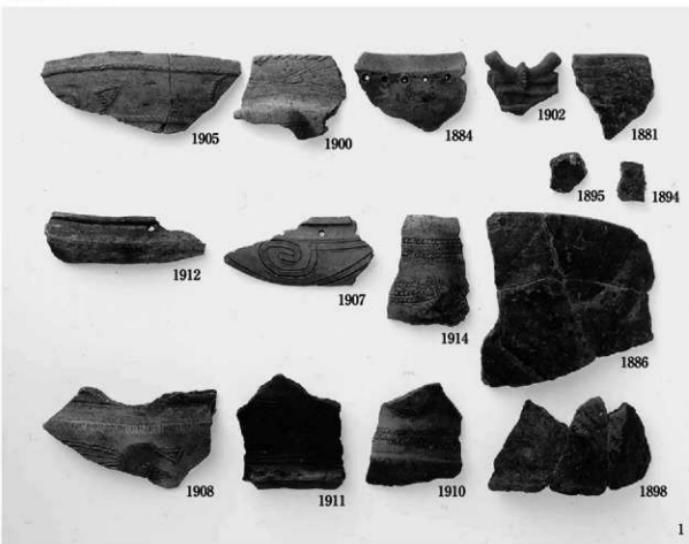
B・C地区 繩文土器
Ⅲ b層



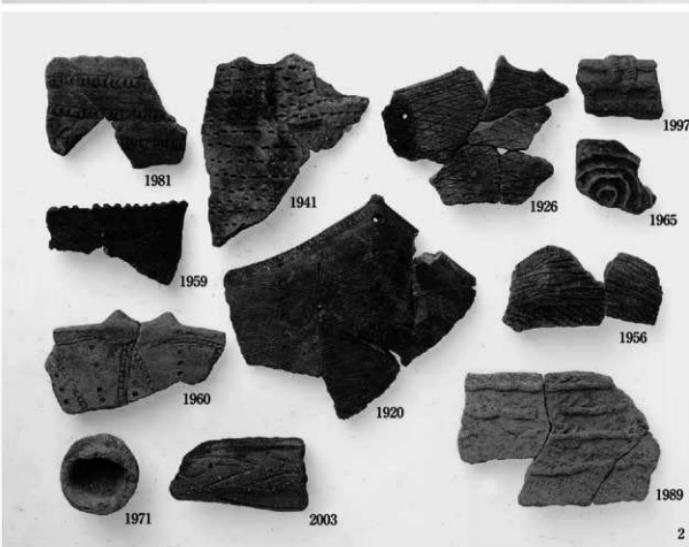
B・C地区 捺文土器
Ⅲb層



B・C地区 繩文土器・土製品
III b層



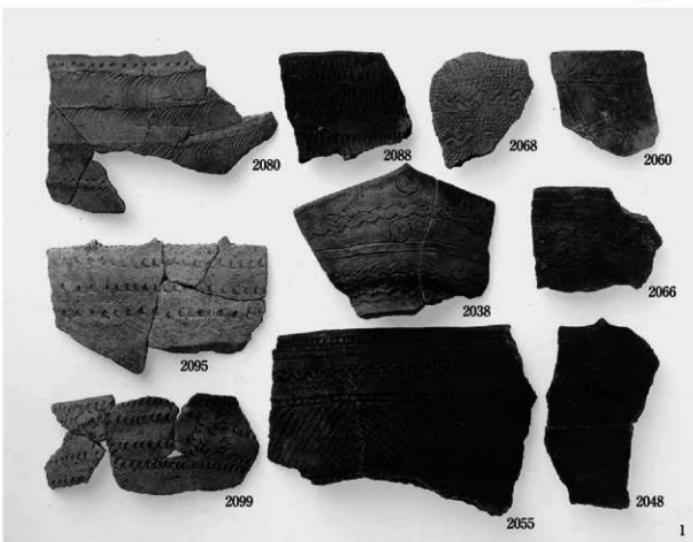
1



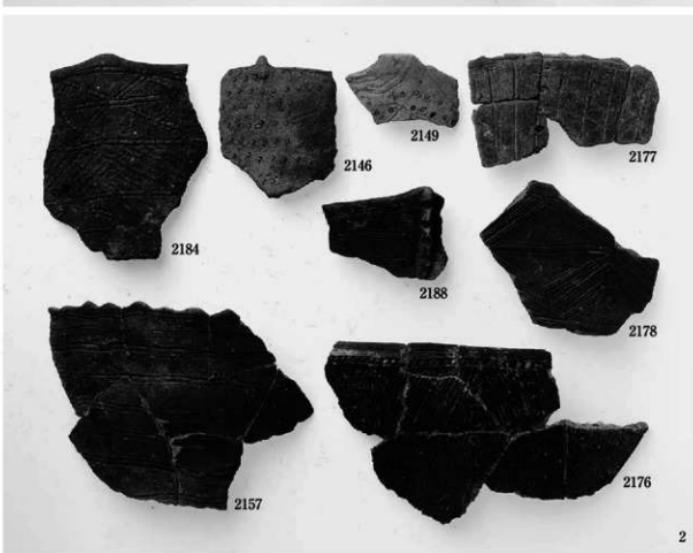
2

B・C地区 漆塗土器・漆液容器・縹文土器

1. III b層 2. 墓葬人骨周辺等（第I～IV期）

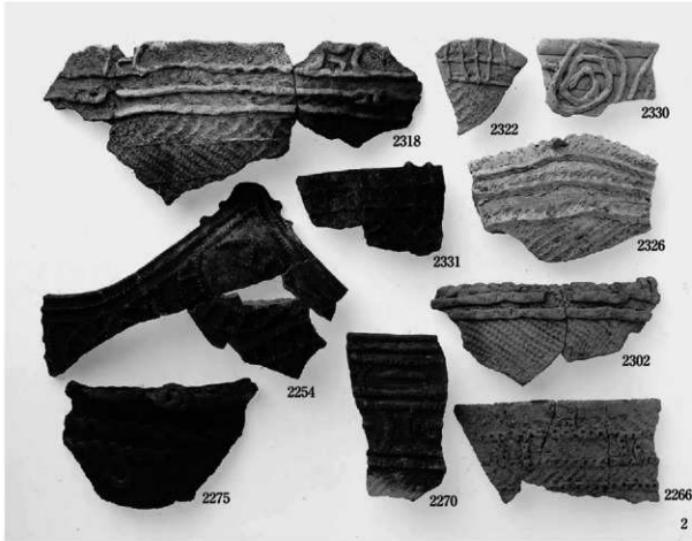
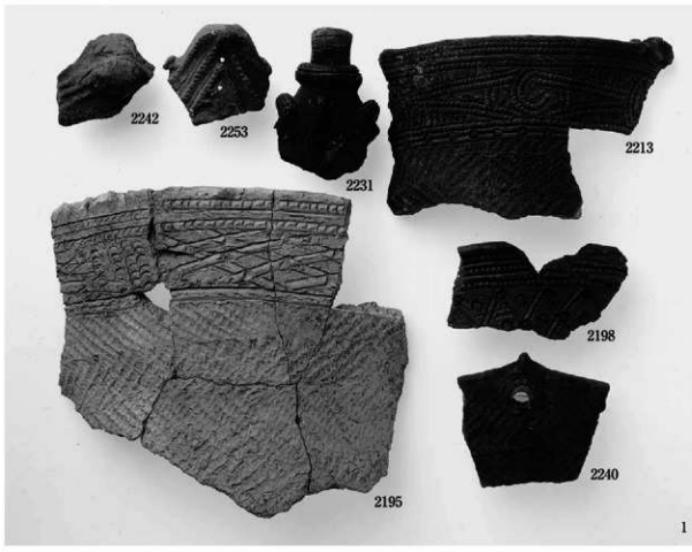


1

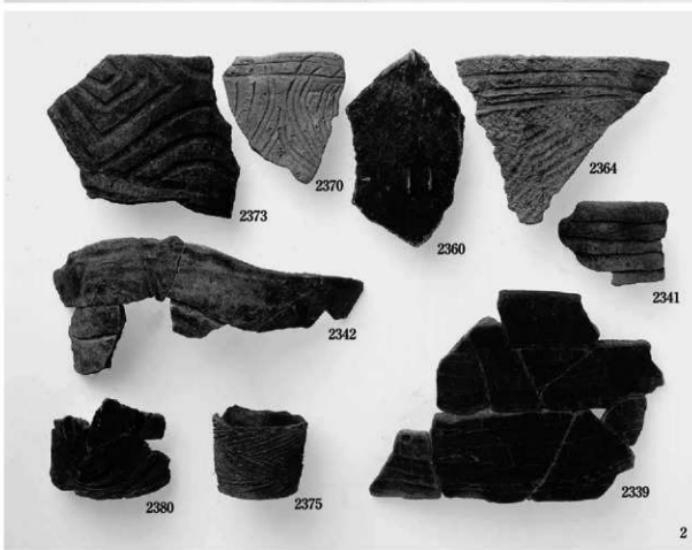
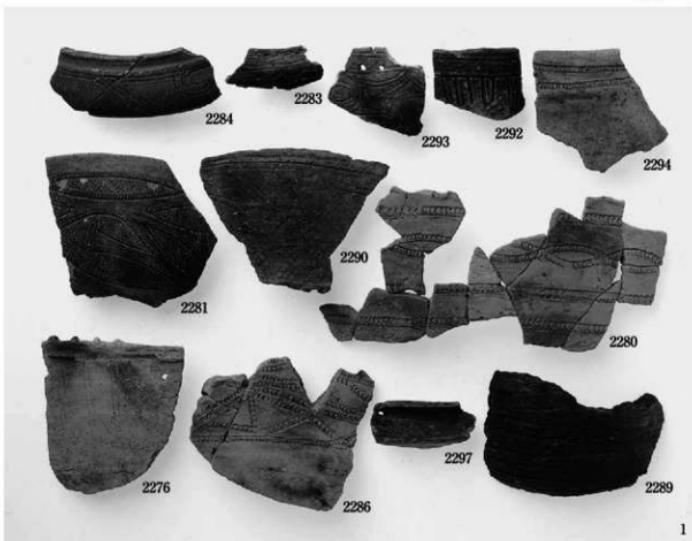


2

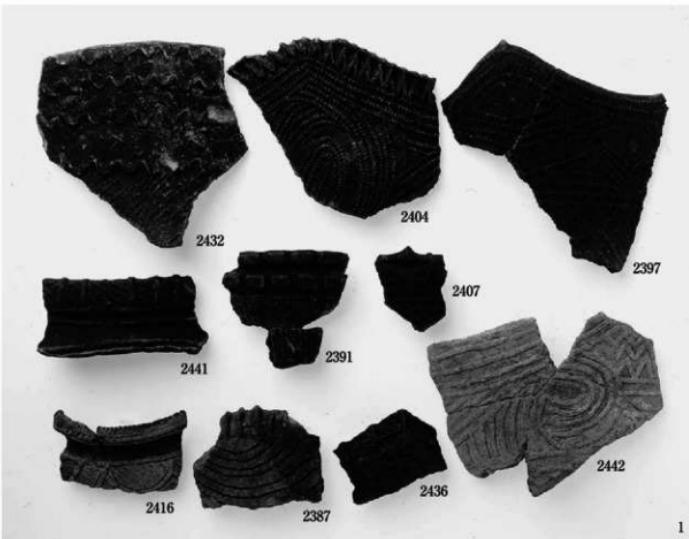
B・C地区 繩文土器
貝層



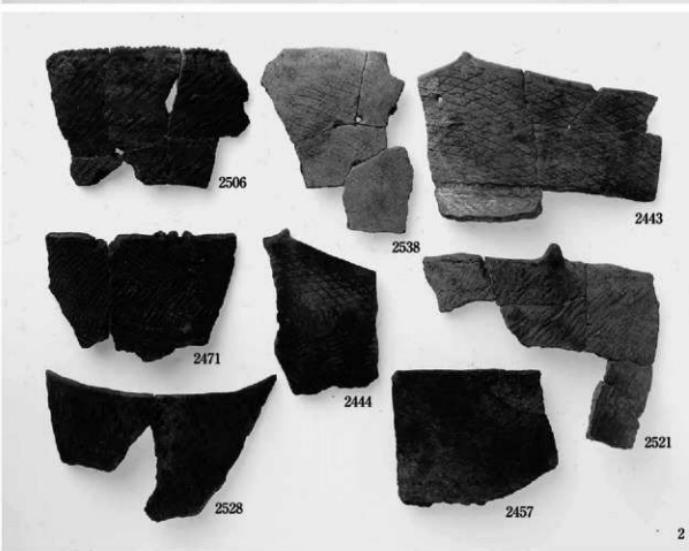
B・C地区 捣文土器
貝層



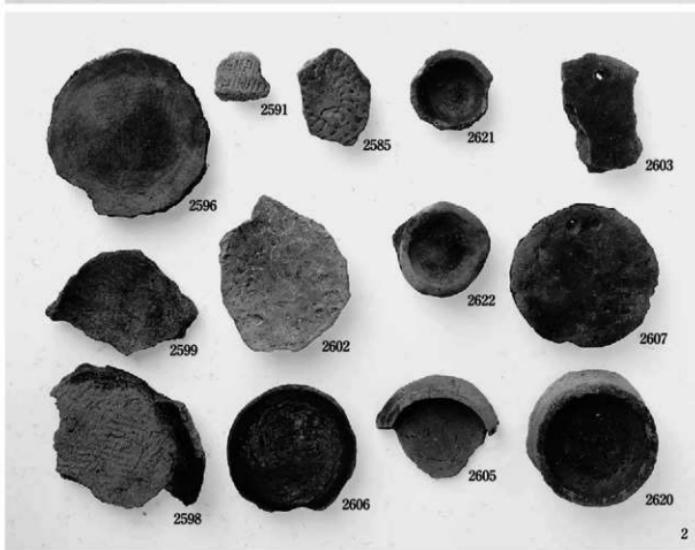
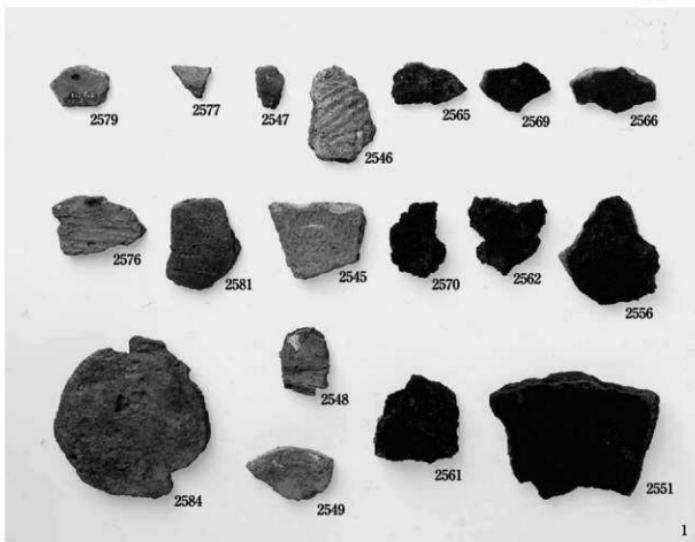
B・C地区 繩文土器
貝層



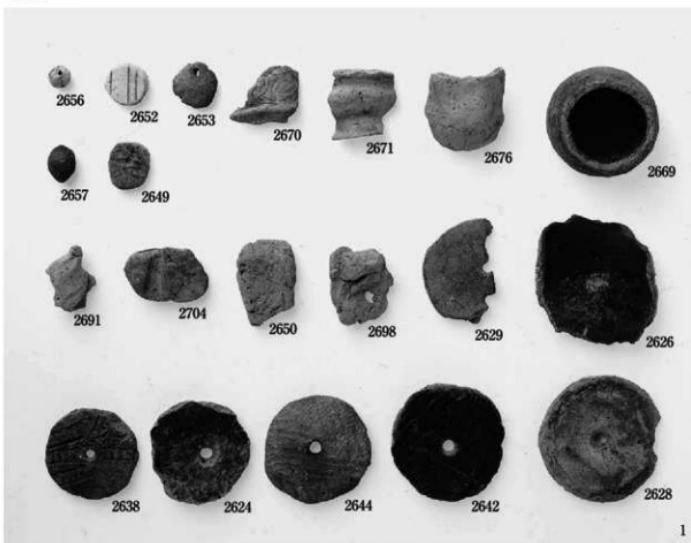
1



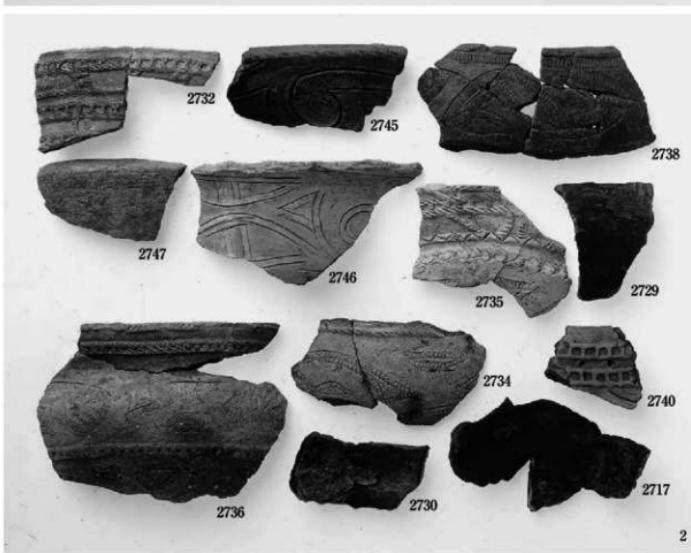
2



B・C地区 繩文土器
貝層



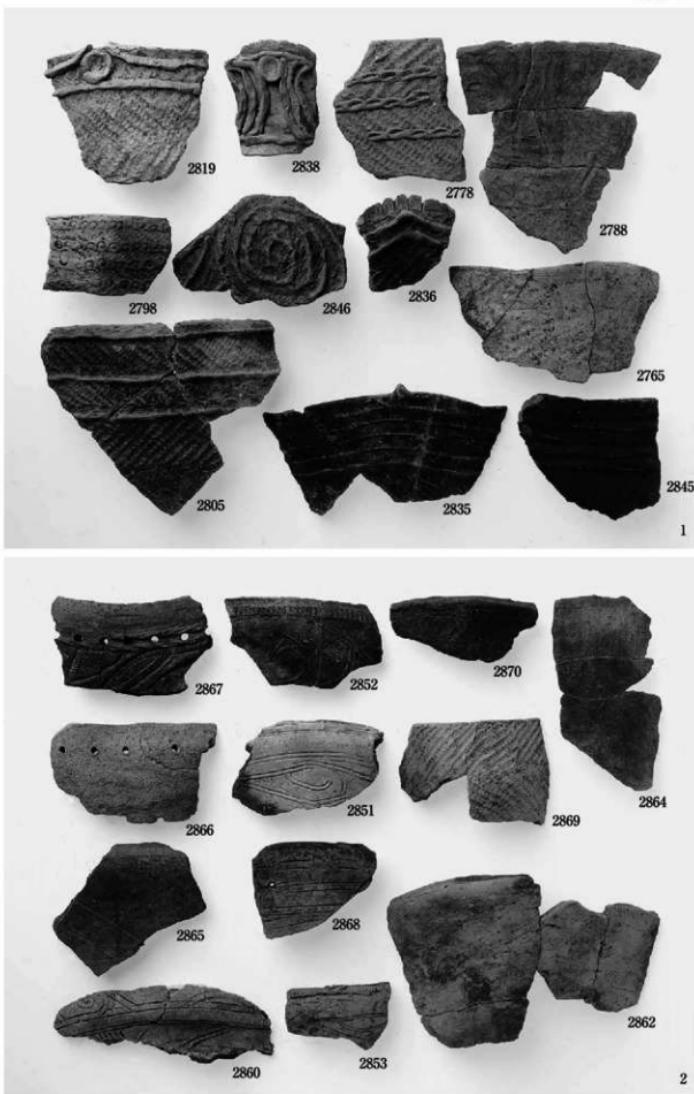
1



2

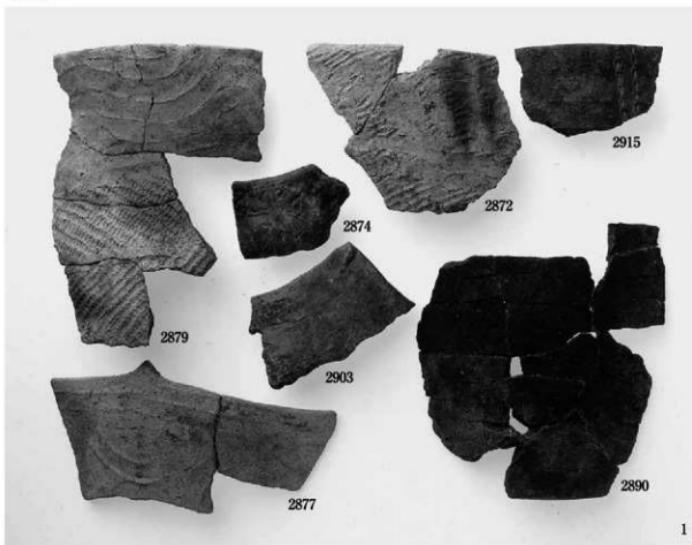
B・C地区 土製品・漆塗土器・漆液容器・赤彩土器
貝層

図版 83

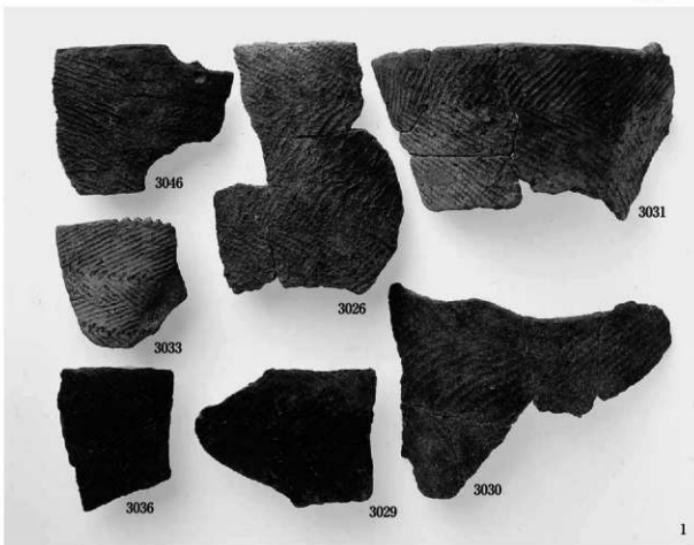


B・C地区 捣文土器

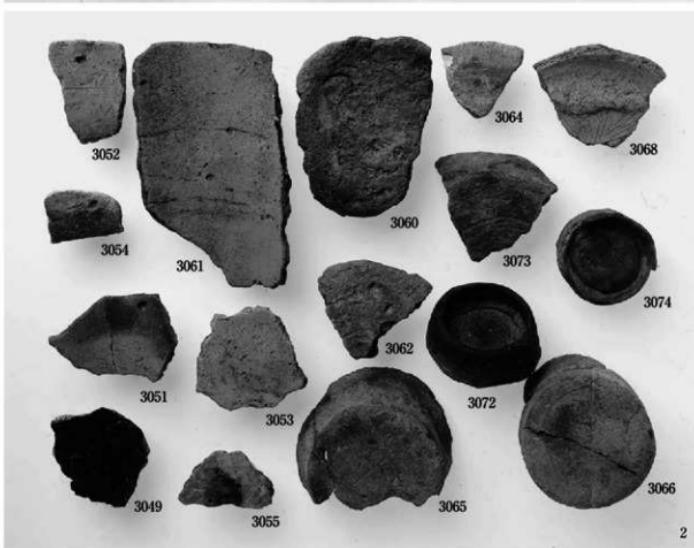
II b層～III a層



B・C地区 捻文土器
Ⅱb層～Ⅲa層

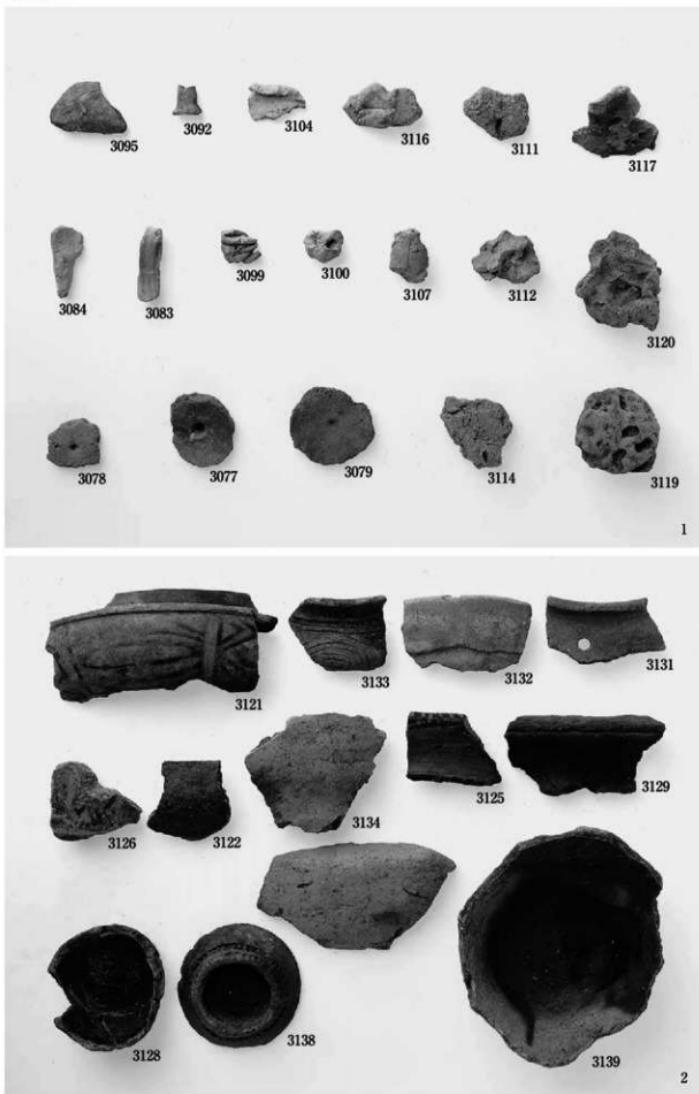


1



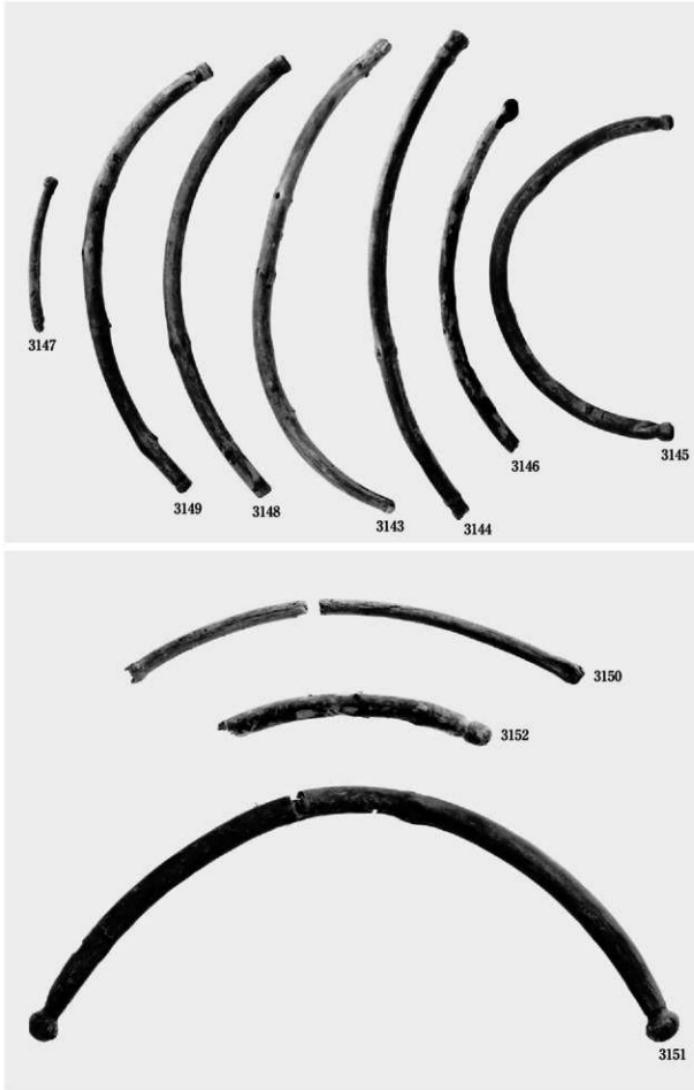
2

B+C地区 捻文土器
II b層～III a層

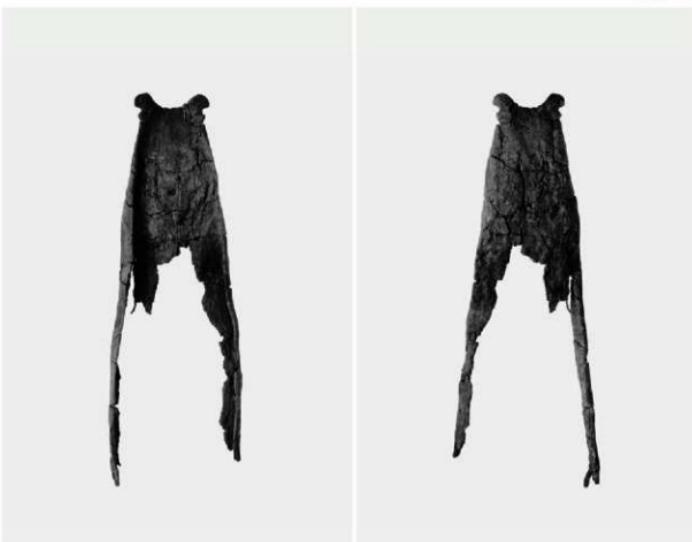


B・C地区 土製品・漆塗土器・漆液容器・赤彩土器
Ⅱb層～Ⅲa層





B・C地区 植物製造物（木製品）



3154

B・C地区 植物製遺物（木製品）



3155



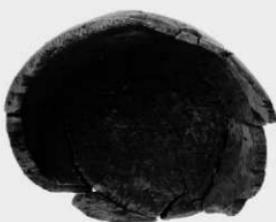
3153



3156



3180



3161



3162



3163



3164



3165



3166



3157



3158



3159



3160



3168



3170



3172



3173



3175



3174

図版 96



3169



3166



3178

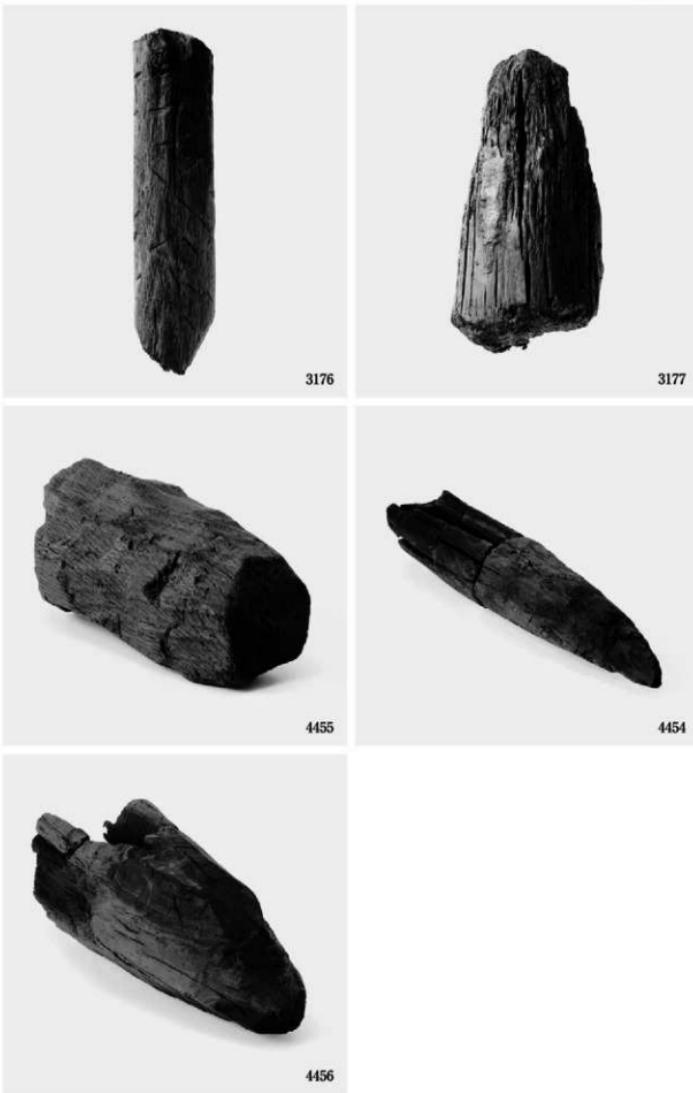


3171



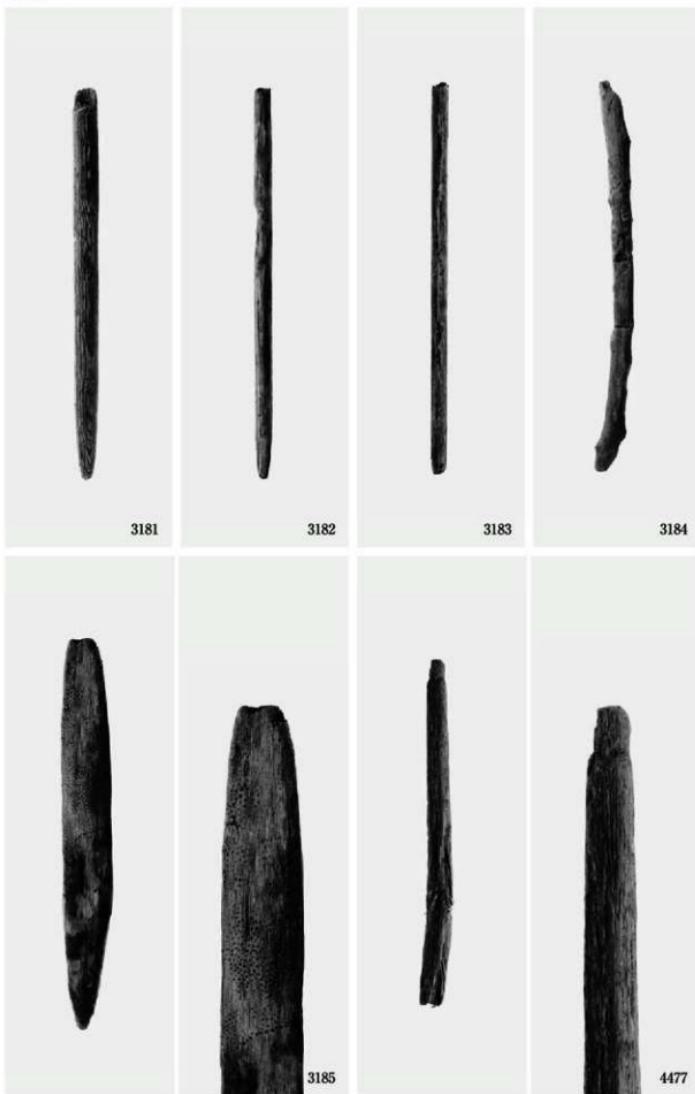
3179

B・C地区 植物製造物（木製品）

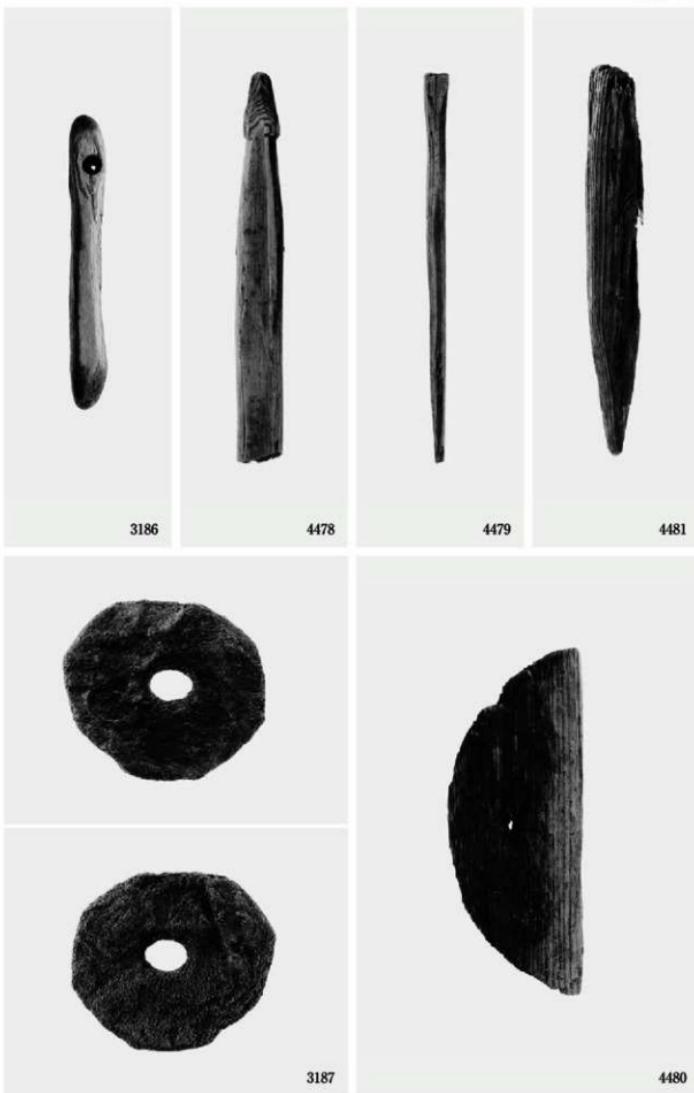


B・C地区 植物製遺物（木製品）

図版 96

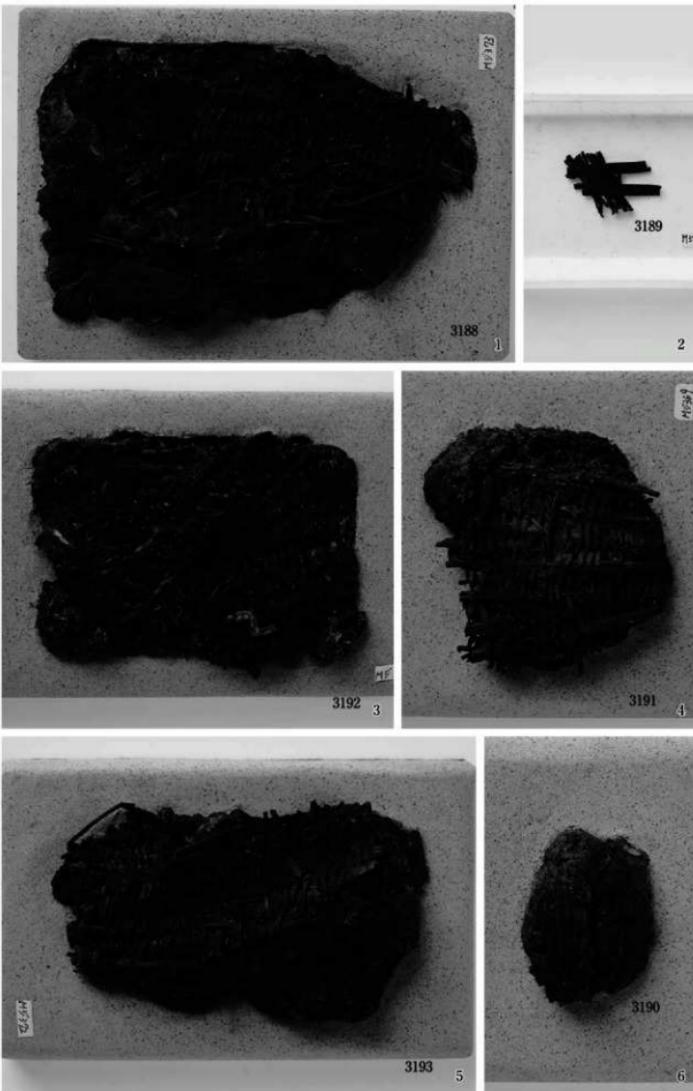


B・C地区 植物製造物（木製品）

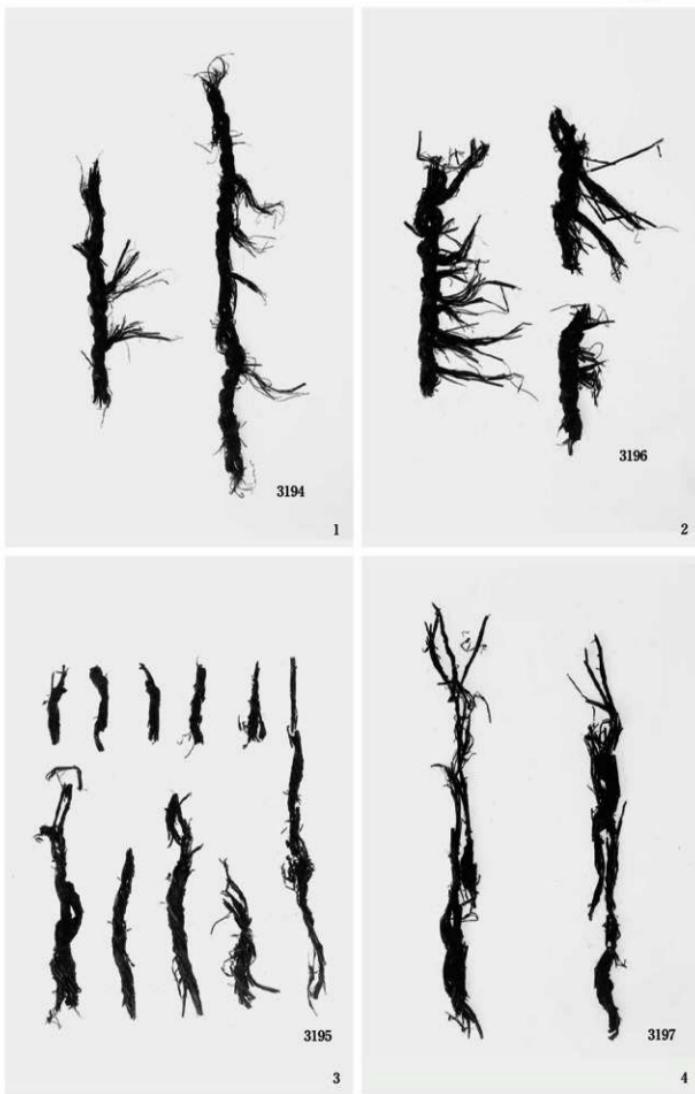


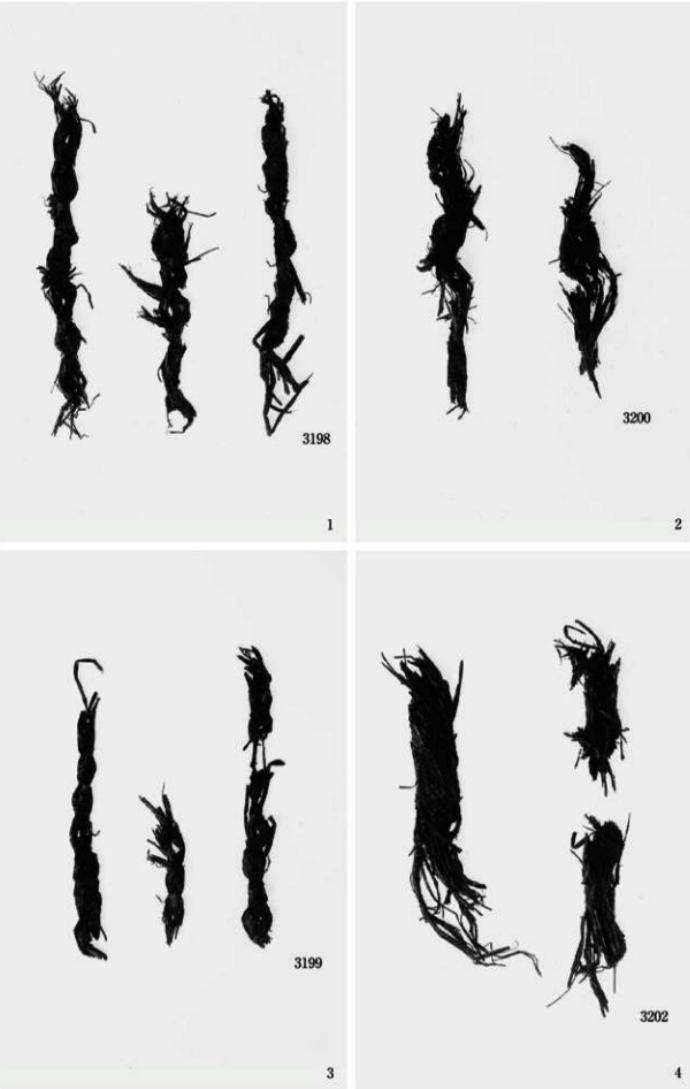
B・C地区 植物製遺物（木製品）

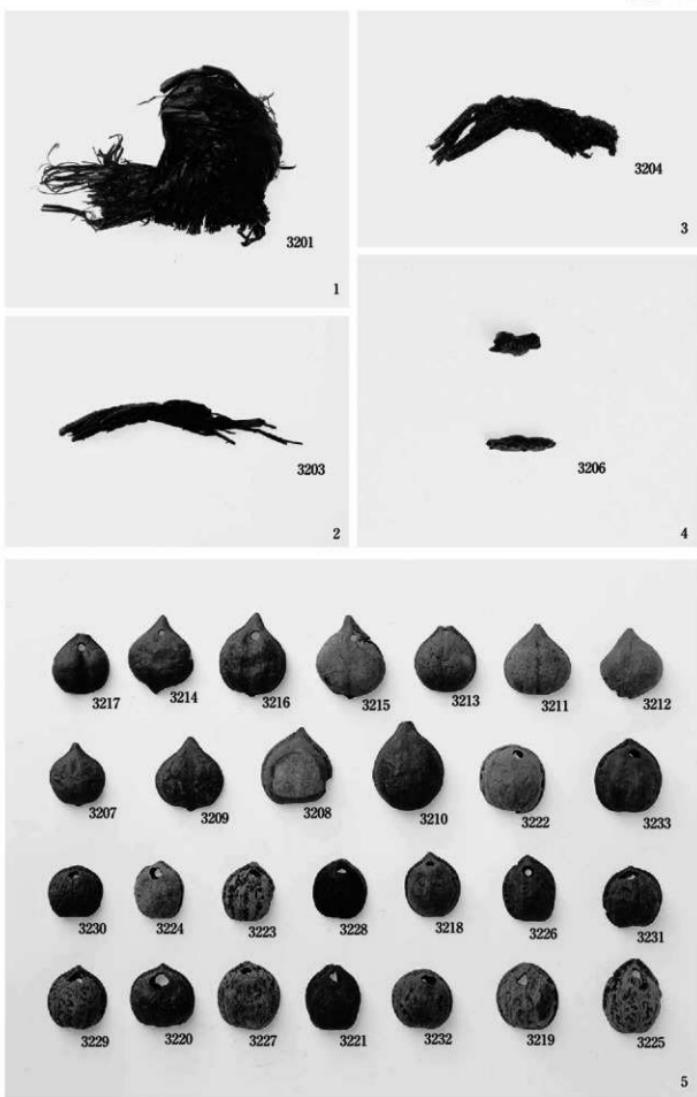
図版 100



B・C地区 植物製造物（編物製品）



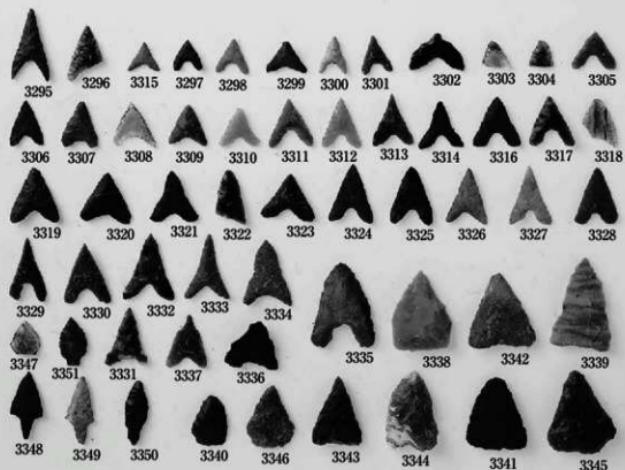




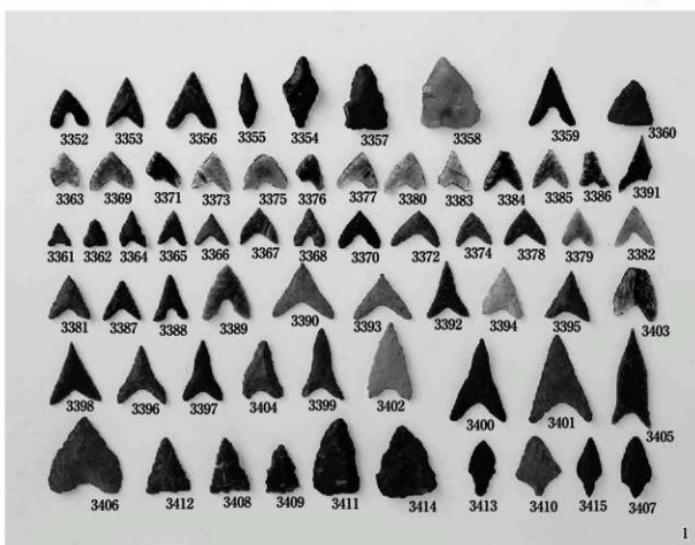
B・C地区 植物製造物 (縄製品・種実製品)



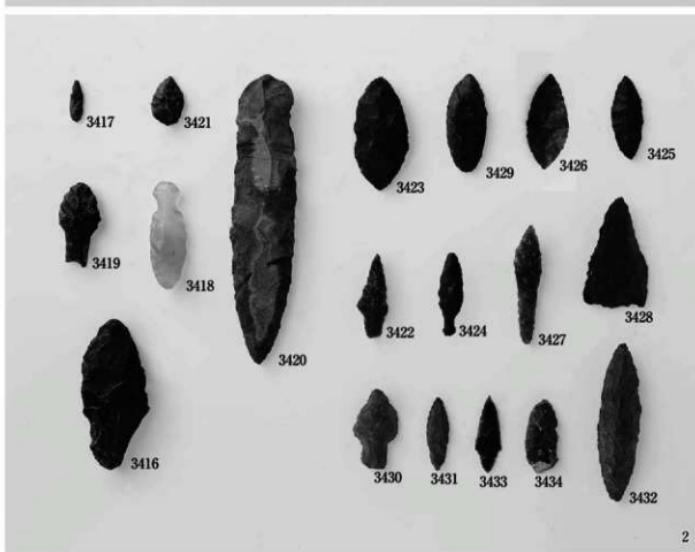
1



2



1

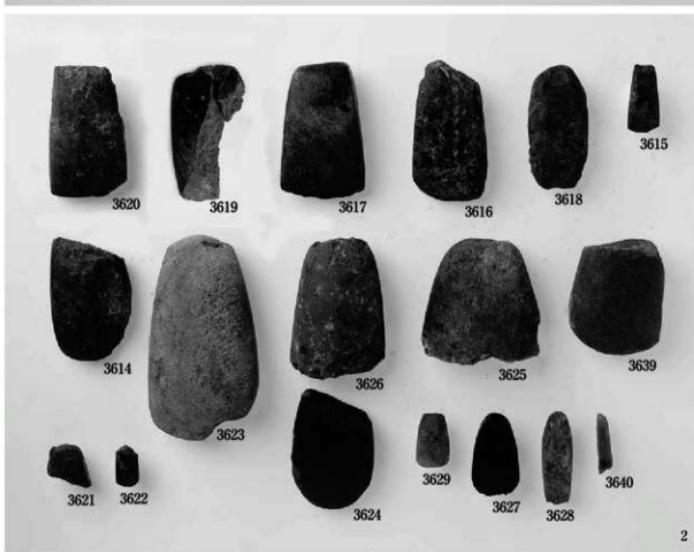
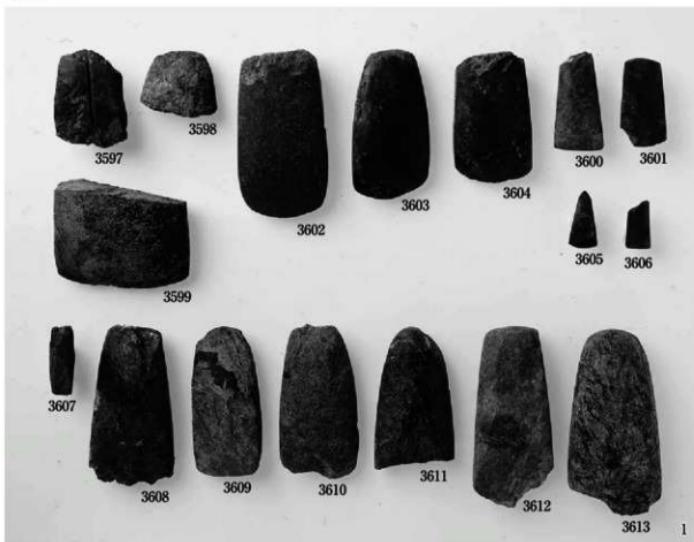


2

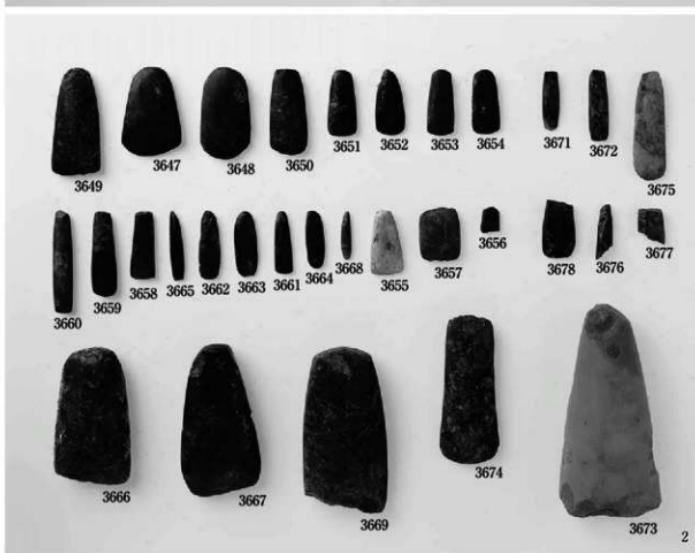
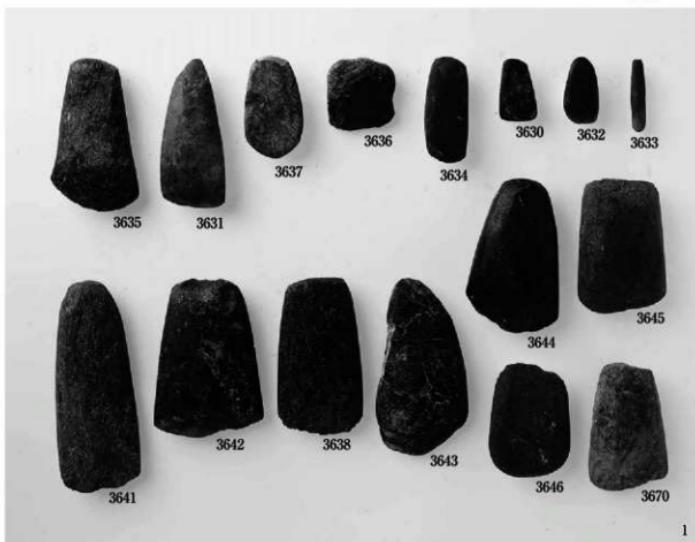
B・C地区 石制品

1. 石核 2. 尖頭器

図版 106



B・C地区 石製品
磨製石斧



B+C地区 石製品
磨製石斧

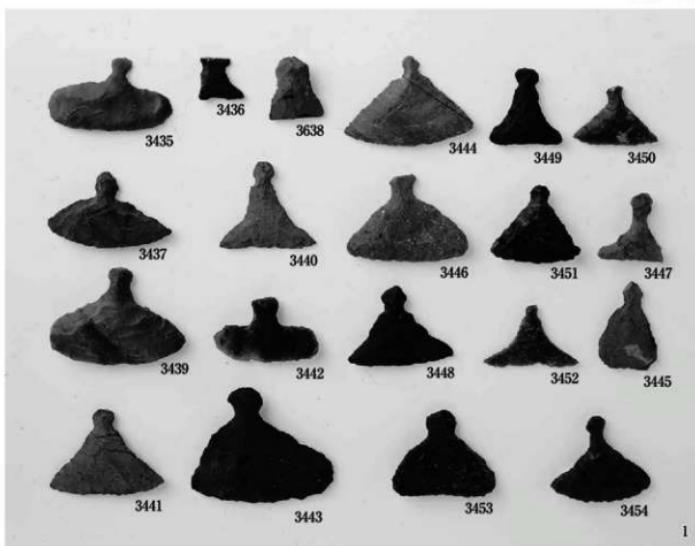


1

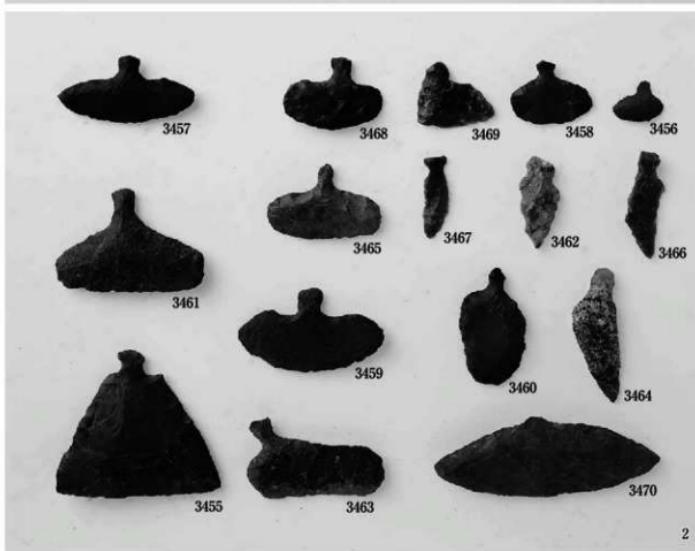


2

B・C地区 石製品
磨製石斧未成品

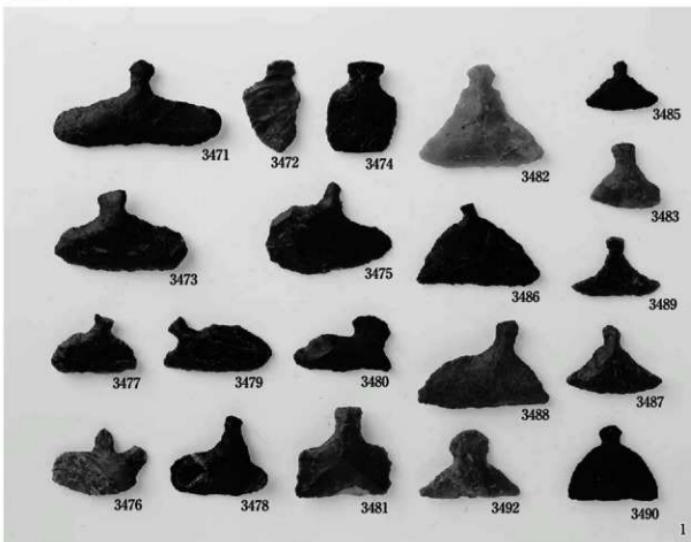


1

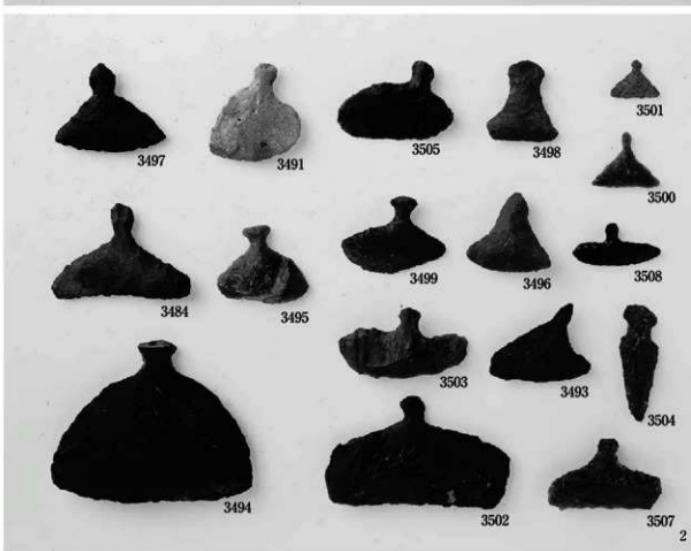


2

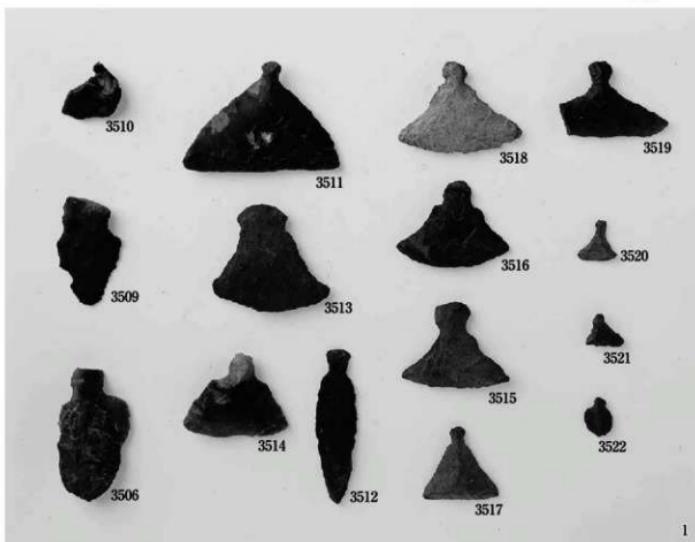
B・C地区 石製品
石匙



1



2



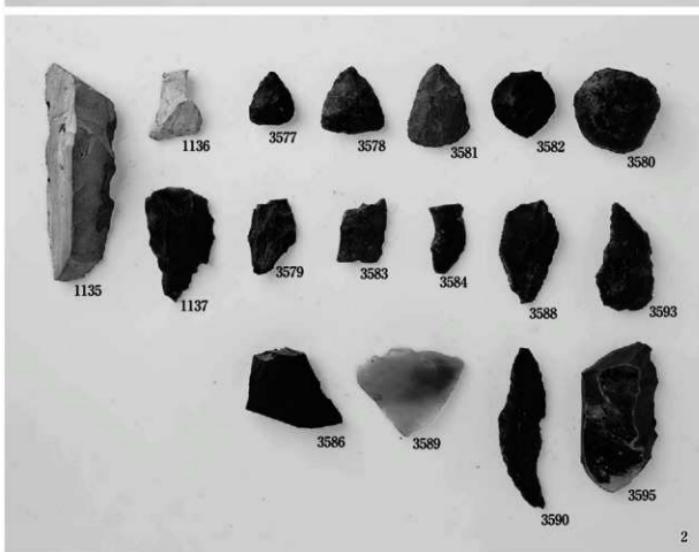
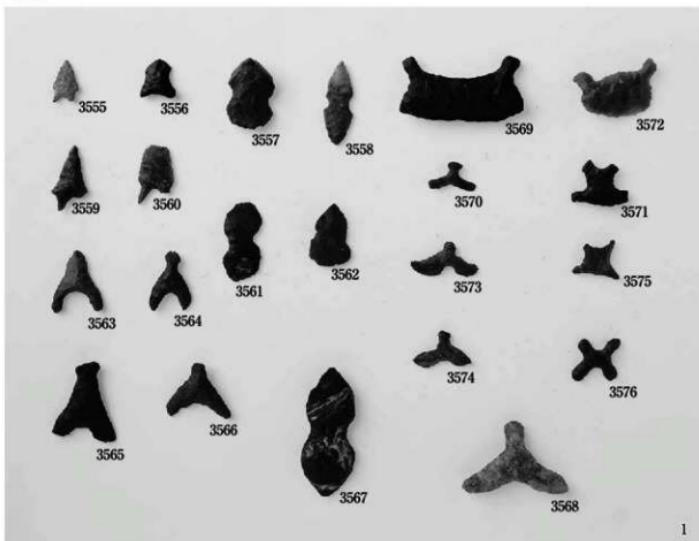
1



2

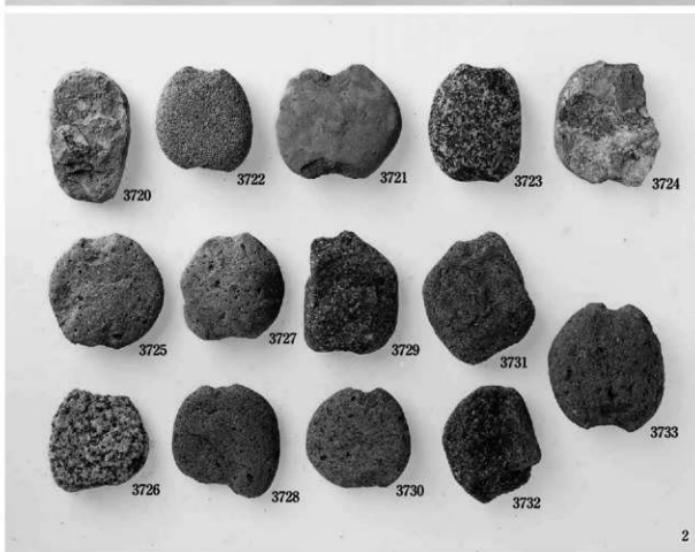
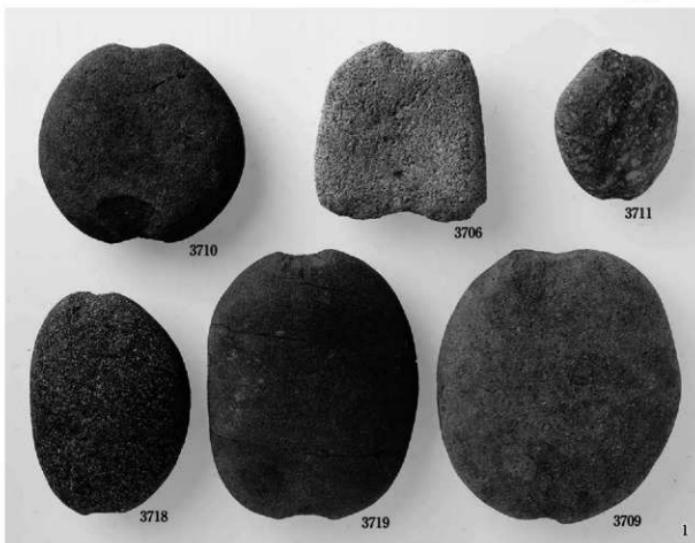
B·C地区 石制品

1. 石匙 2. 石锥

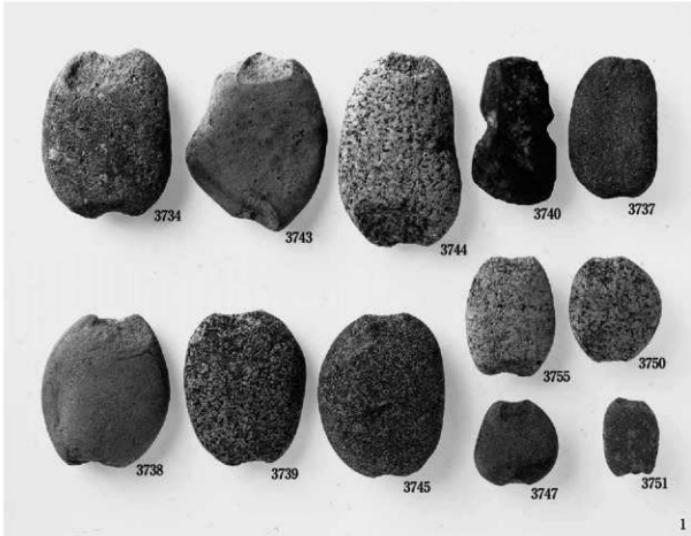


A・B・C地区 石製品

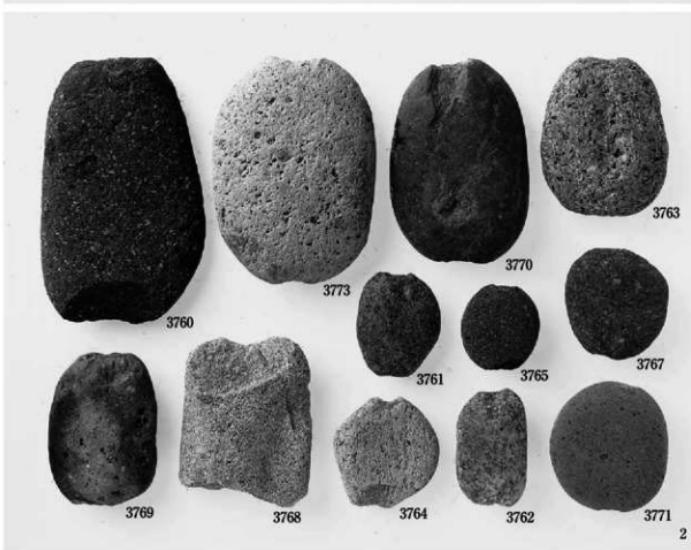
1. 異形石器 2. 剥片・スクレイパー他



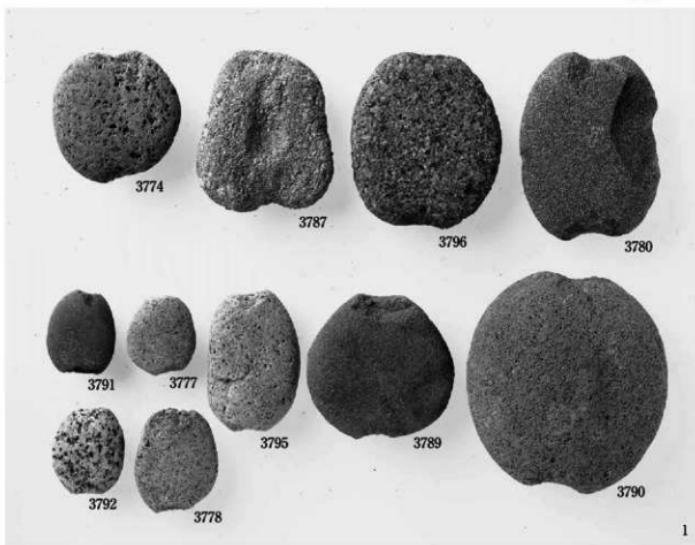
B・C地区 石製品
石錘



1



2



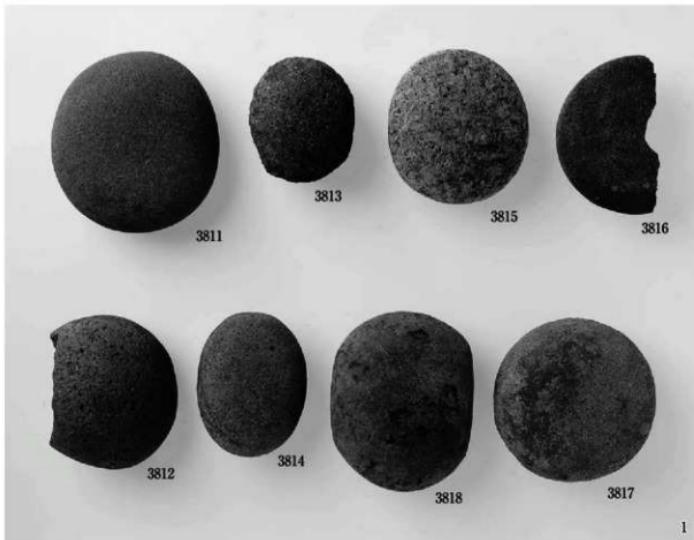
1



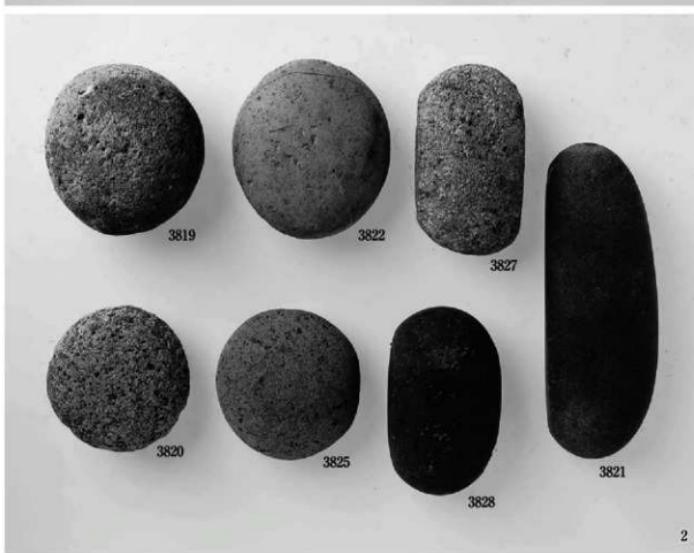
2

B・C地区 石製品
石錐

図版 116

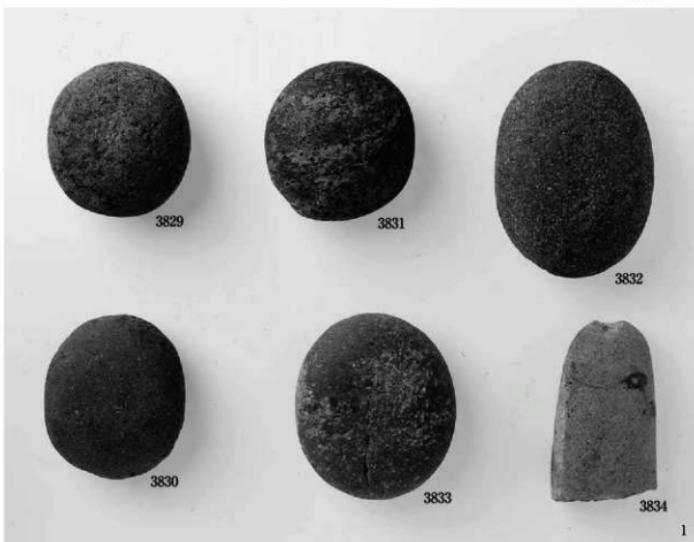


1

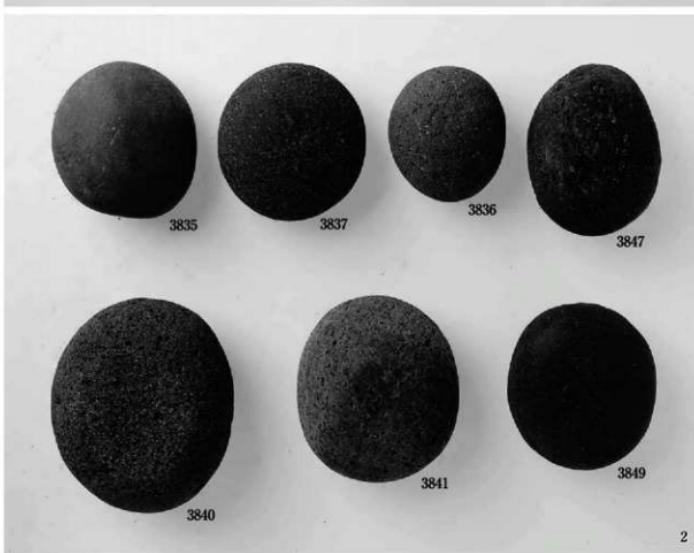


2

B・C地区 石製品
磨石

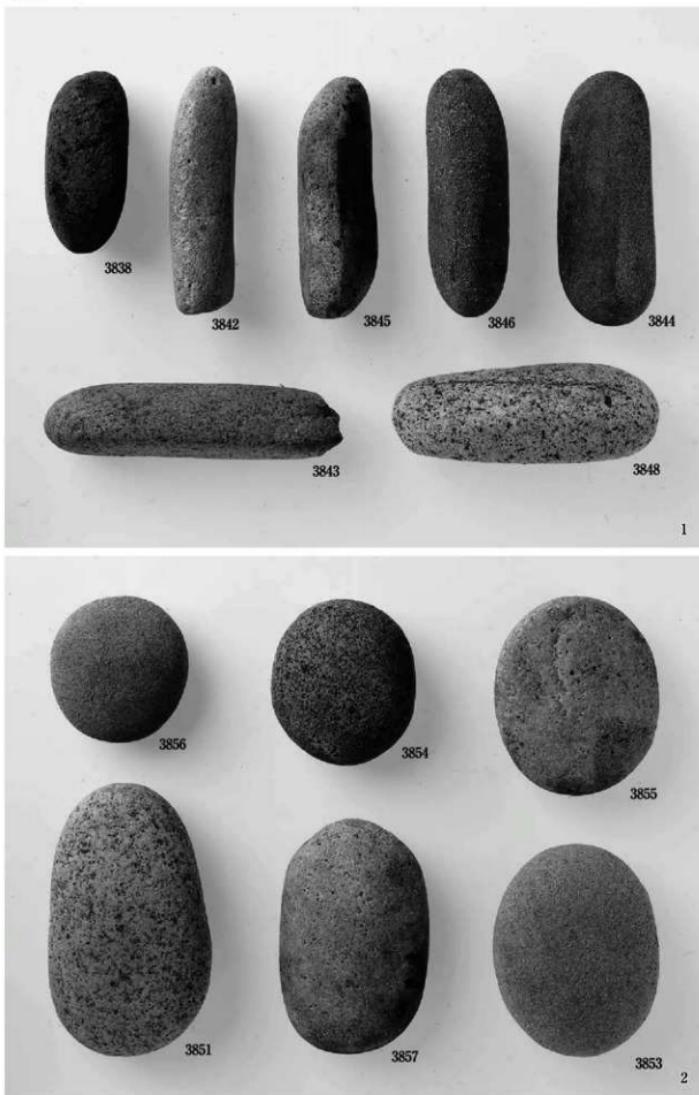


1

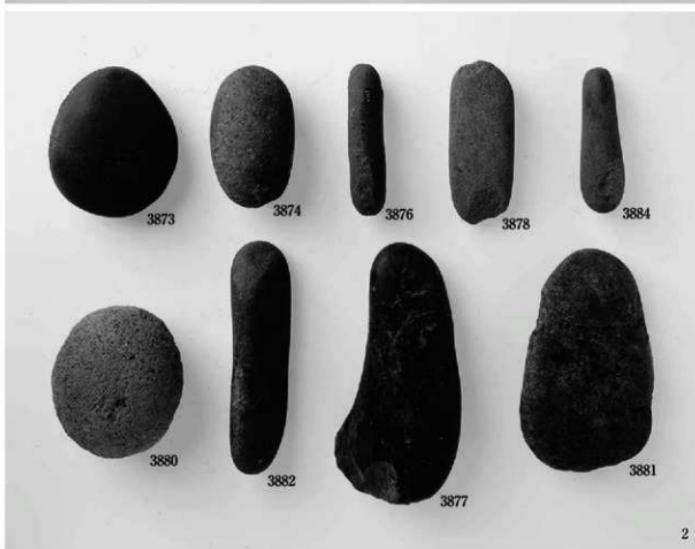
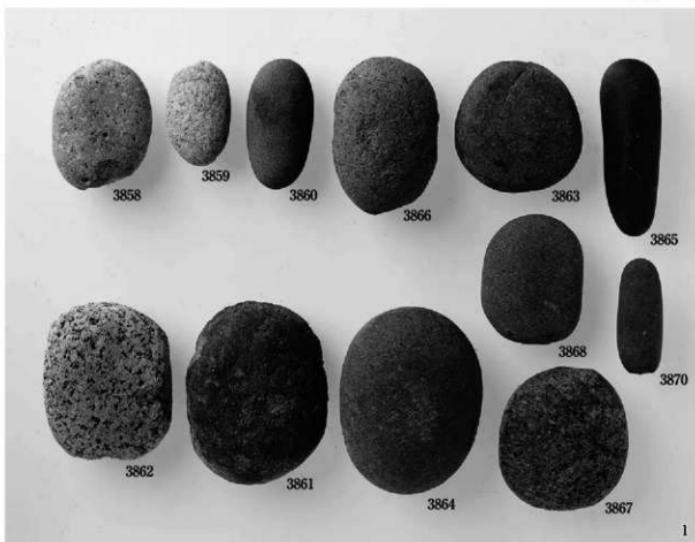


2

B・C地区 石製品
磨石

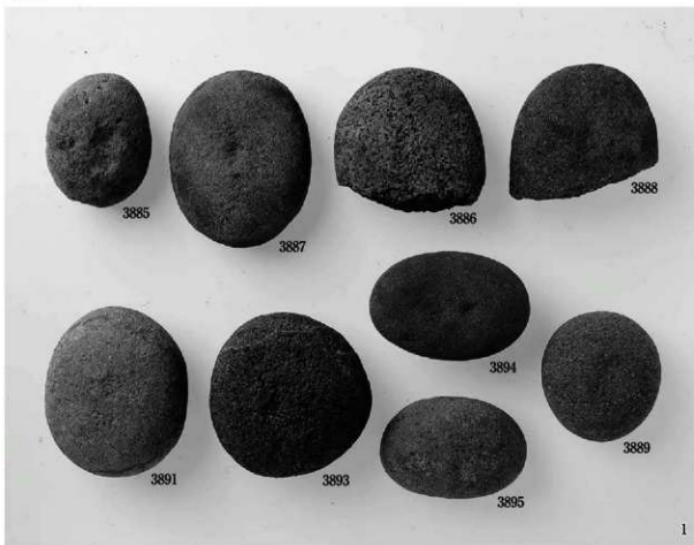


B・C地区 石製品
磨石



B・C地区 石製品
叩石

図版 120

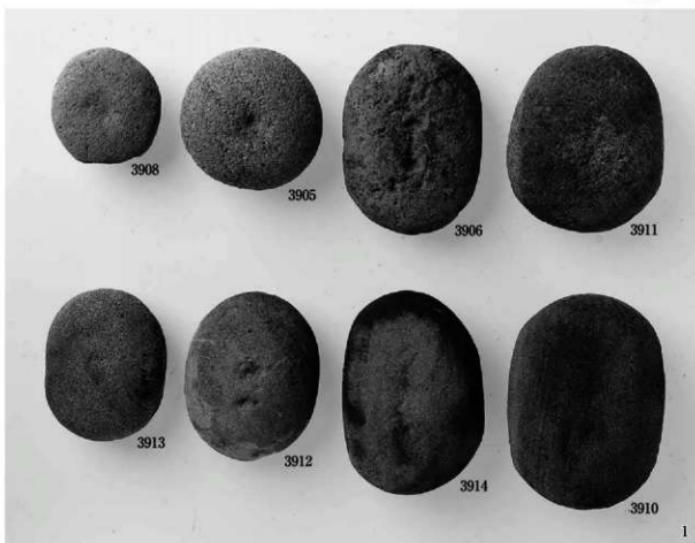


1

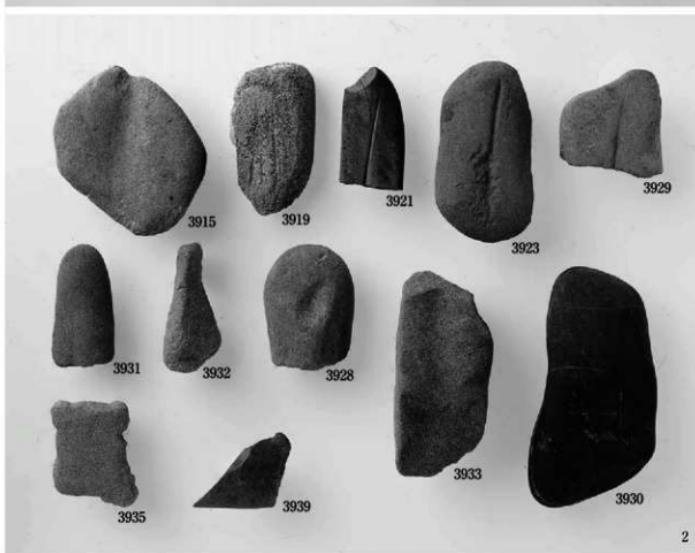


2

B・C地区 石製品
圓石



1

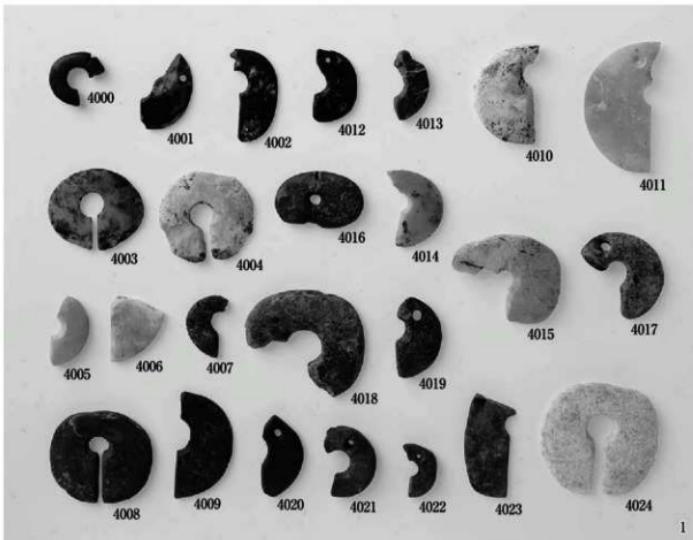


2

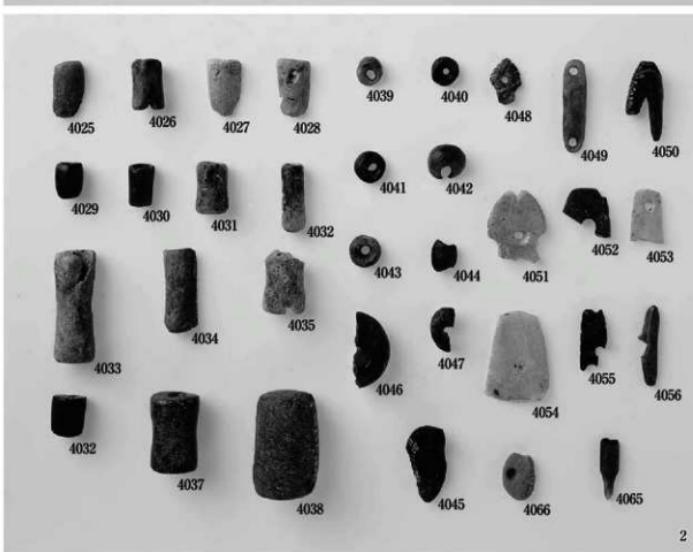
B・C地区 石製品

1. 四石 2. 砥石

図版 122



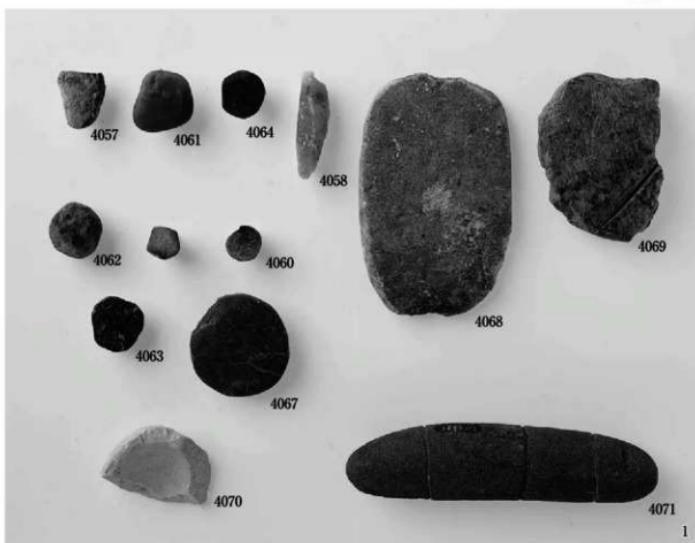
1



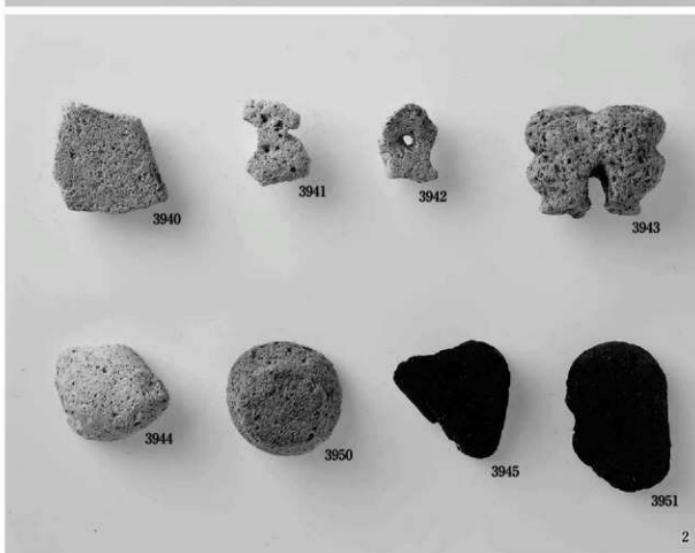
2

B・C地区 石製品

1. 玳状耳飾 2. 玉類他



1

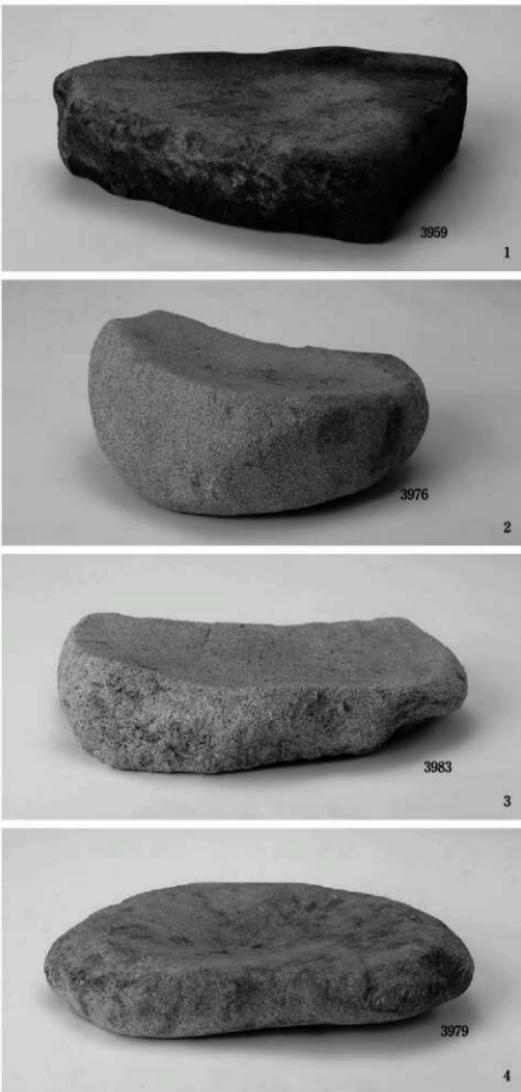


2

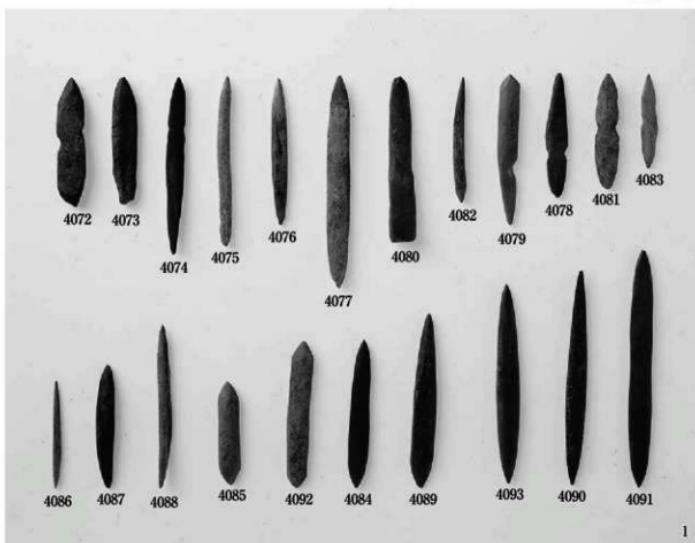
B+C地区 石製品

1. 石棒・未成品他 2. 靴石製品

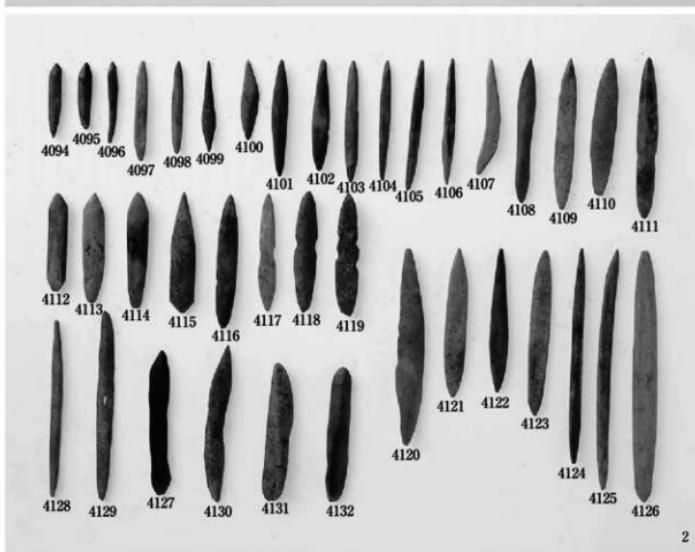
図版 124



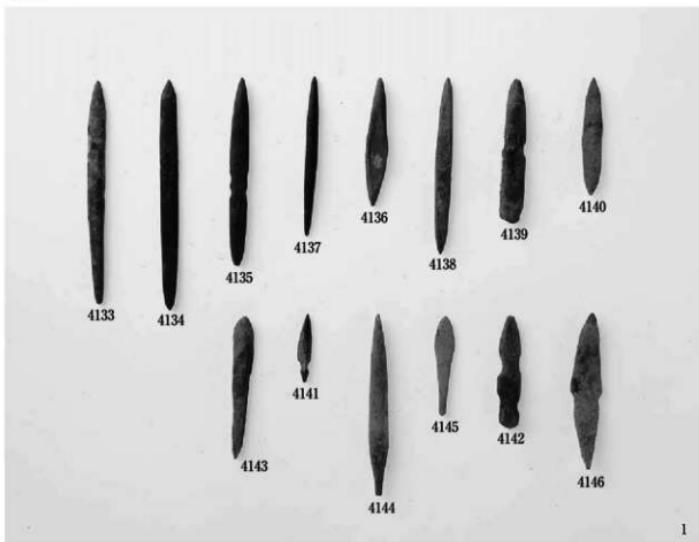
B・C地区 石製品
石皿



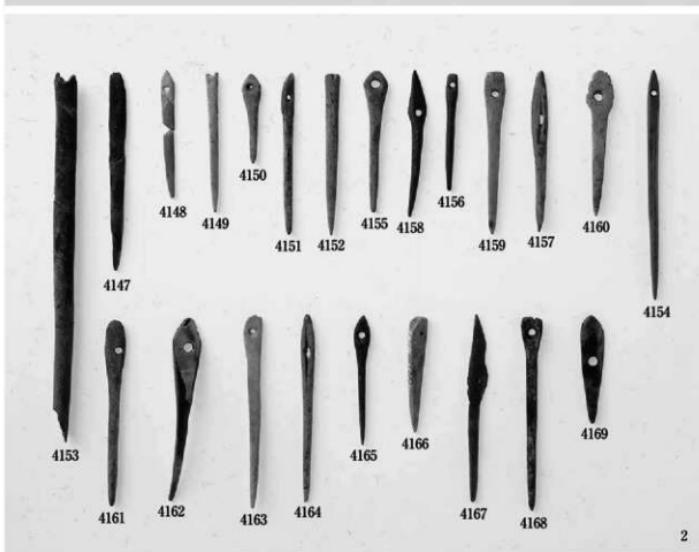
1



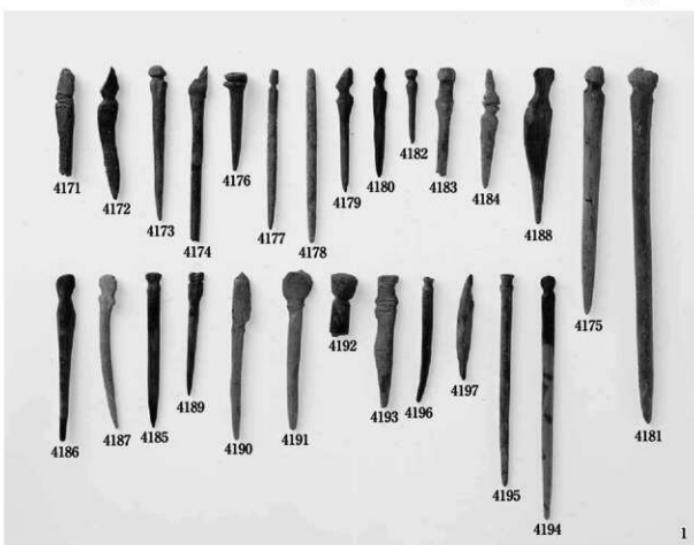
2



1



2

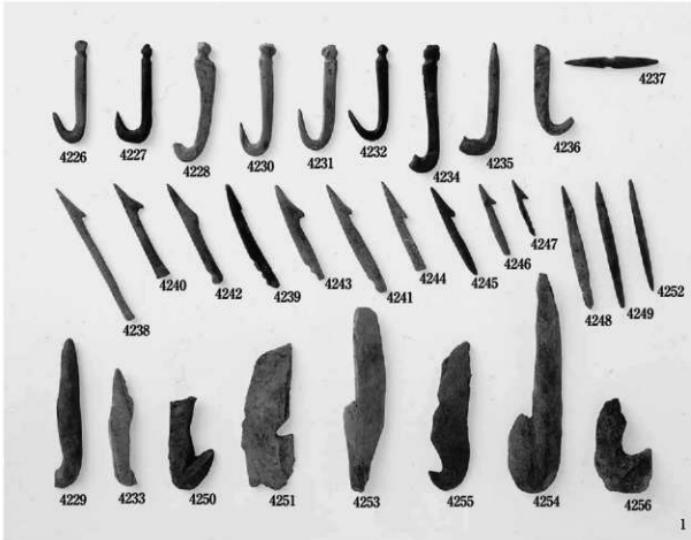


1

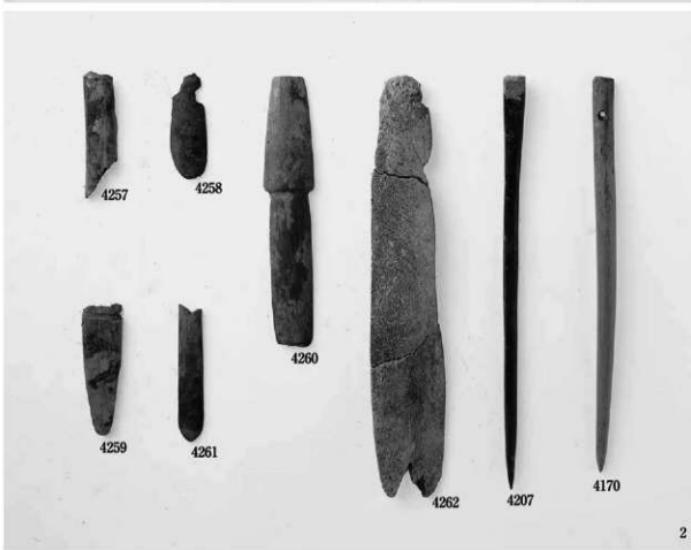


2

図版 128



1

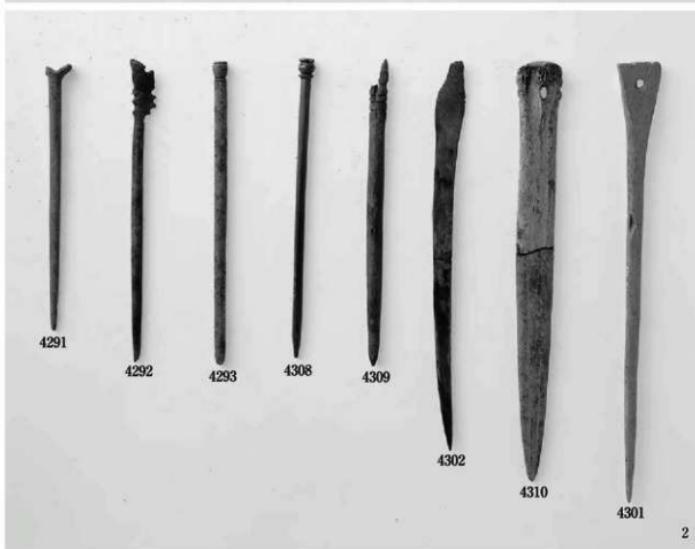


2

B・C地区 骨角歯牙製品

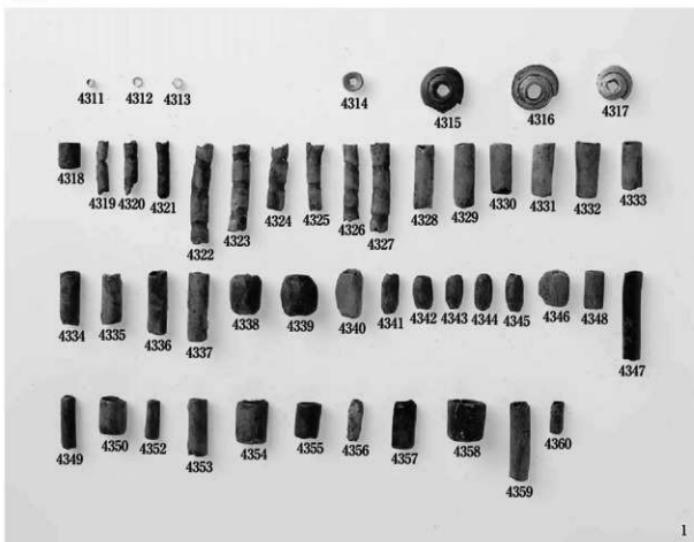


1

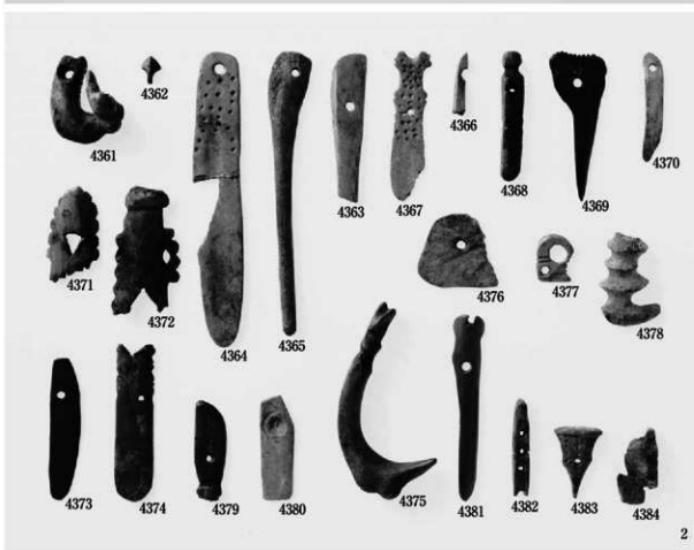


2

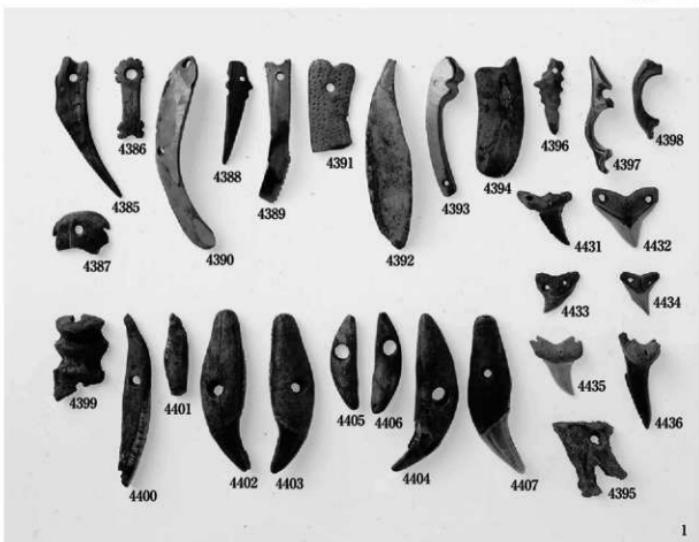
B · C 地区 骨角牙齿製品



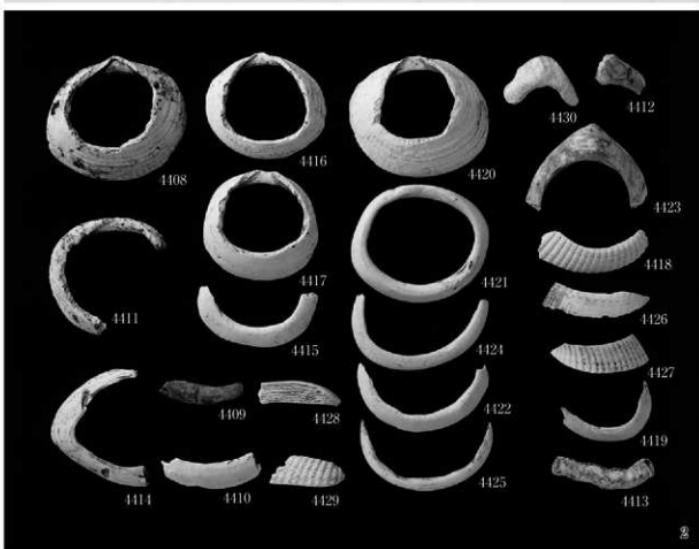
1



2

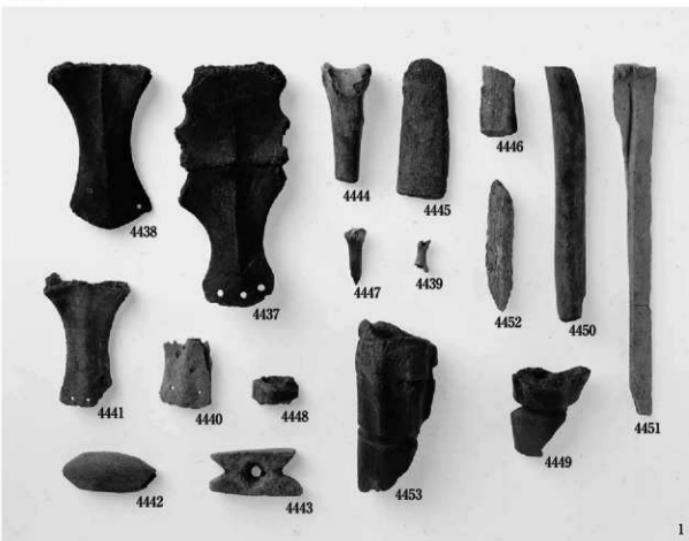


1



2

B・C地区 骨角歯牙製品・貝製品



報告書抄録

ふりがな	おだけかいづかはくつちよきはうこく						
書名	小竹貝塚発掘調査報告						
副書名	北陸新幹線建設に伴う埋蔵文化財発掘報告						
巻次	X						
シリーズ名	富山県文化振興財团埋蔵文化財発掘調査報告						
シリーズ番号	第60集						
編著者名	町田昇一（筆）・島田英恵子・瀬口優司・黒田謙一・米田輝・阪上和弘・河野礼子・茂原信生・中村由支・金原正子・小畠弘己・中沢道臣・中村賀太郎・鈴木義則・松永知理・平澤介・藤也久・望月明子・高橋義・金原美奈子・金井樹・丸山真史・菊池大樹・江田真毅・百原新一・宮島宏・矢作龍二・石岡武智・松崎哲也・三輪みなみ・田村朋美・赤堀昌輔・室谷安治・大坪伊羅之・鈴木二男・小林和貴・株式会社アルカ						
編集機関	公益財団法人富山県文化振興財团埋蔵文化財発掘調査事務所						
所在地	〒930-0887 富山県富山市五福4384番1号 TEL 076-442-4229						
発行年月日	西暦2014年3月20日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東経 度	発掘期間	発掘面積 m ²	調査原因
おだけかいづか 小竹貝塚	上中まし 富山市 小竹町 真羽町北・ 真羽町南和町	16201	201105 43分 16秒	36度 10分 05秒	20090420~20090714 20100112~20100928	1,193	北陸新幹線建 設に伴う事前 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
小竹貝塚	貝塚、集落	縄文時代前期	貝塚、埋葬人骨、土器棺、 土器、骨器、石器、集落、炭化物集中地點、土器集中地點、板敷遺構、杭	縄文土器、土製品、石製品、木製品、織物、骨角貝殻等の骨角製品、人骨、動物遺存体、骨角遺存体	日本海側最大級の貝塚。国内 最大級の土器棺、埋葬人骨、 骨角貝殻等となる低地に 立地する穴室建物群。国内最 古のイノシシ形土製品、県内 最古の丸舟舟・織機製品。		
		弥生時代～近世	杭、自然流路	弥生土器、土器鉢、鏡皮器、中世土器 器、珠洲、瀬戸美濃、越中郷戸、肥前陶 磁器、木製品、石製品、金属製品	洪水堆積層から弥生～古墳時 代の遺物が出土		
要約	小竹貝塚は、縄文海進時に水城であった射水平野の末端に位置する低湿地貝塚である。日本海側最大級として有名な貝塚であるが大規模な発掘調査は北陸新幹線建設に伴う本書にある調査が初めてとなる。調査の結果、縄文時代前期～末葉を主体として居住域、墓域、廐屋域をもつ集落が形成されていることがわかった。特に厚さ最大2mヤマトシジミ貝層と埋葬人骨は縄文時代前期では国内でも最大級といえる。遺物では通常の遺跡では残存しにくい漆製品、骨角貝製品、木製品、織機製品、動植物遺体など豊富に出土。焼成粘土塊、漆付骨土器、石・木・骨角貝木製品も多く出土していることから製作遺跡の一端ももつ。						

2014（平成26）年3月20日 印刷

2014（平成26）年3月20日 発行

富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第60集

小竹貝塚発掘調査報告

—北陸新幹線建設に伴う埋蔵文化財発掘報告X—

（第一分冊 本文編）

編集・発行 公益財団法人富山県文化振興財団

埋蔵文化財調査事務所

〒930-0887 富山市五福4384番1号
TEL 076-442-4229

印 研 越 浜 印 刷 株 式 会 社

〒939-8214 富山市黒崎松ノ木割624
TEL 076-425-0283